

科目名 (英)	DTM I	必修 選択	必修 選択	年次	1年		
	Desktop Music I	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科				(2)		
【授業の学習内容】 楽曲制作を行う為に必要なLogic Proの操作方法を学びます。							
＜実務者経験＞ 「もち浜ストア」テーマソング、アニメーション劇伴、テレビCM曲、アーティストへの楽曲提供など。トラックメイカーとして活動中。							
【到達目標】 ■コピー＆ペーストなどのLogicの基本操作を理解できるようになる ■オーディオインターフェイスを使用、レコーディングできるようになる ■MIDIでのレコーディングができるようになる ■Spliceの使用方法を理解できるようになる							
授業計画・内容							
1回目	■シラバス及び到達目標の確認 ■プロジェクトの立ち上げ、保存 ■バウンス						
2回目	■ LogicやSpliceの操作方法を学びながら、オーディオ素材を組み合わせ、短い曲を作る						
3回目	■ LogicやSpliceの操作方法を学びながら、ソフトウェア音源で短い曲を作る						
4回目	■ MIDIとオーディオについて ■オーディオインターフェース、MIDIキーボードでのレコーディング						
5回目	■ コード進行&Session Player（1／3）丸サ進行打ち込み Keyboard Player						
6回目	■ コード進行&Session Player（2／3）Bass Player Drummer 演奏						
7回目	■ コード進行&Session Player（3／3）AIでサビの制作						
8回目	■データの送受信(AirDrop、ギガファイル便) ■バラアウト						
9回目	■キーコマンドの変更方法 ■ソロツール、ミュートツールなど						
10回目	■ インストゥルメントのプリセットについて						
11回目	■Logicの詳細なウインドウ ■コントロールバーとディスプレイのカスタマイズ ■トラックスタック ■テンプレート						
12回目	■エフェクト初級① イコライザー_既存楽曲編						
13回目	■エフェクト初級① イコライザー_ローカット編						
14回目	■エフェクト初級① イコライザー_カット&ブースト編						
15回目	■総括						
準備学習 時間外学習	DAWは音楽を皆さんのやりたい音楽を形にするためのツールです。そのために音楽の3大要素である「メロディ」「リズム」「ハーモニー」を他の授業でしっかりと学んでください。また、DAW＝楽器です。毎日触らないと腕が落ちてしまうので、自宅でも毎日触る時間を作ってください。						
評価方法	■毎週の課題内容の理解と実践度 ■定期的に制作する作品の完成度 ■受講態度（主に出席・遅刻など）						
受講生への メッセージ	スポーツでいうと基礎体力を作るための「筋トレ」や「走り込み」に当たるフェーズです。ここで勉強したことは、これから先自分がやりたい音楽の制作に必ず応えてくれるので、一緒に頑張りましょう。						
【使用教科書・教材・参考書】							
Macbook.Logic Pro X							

科目名 (英)	DTM II	必修 選択	必修 選択	年次	1年		
	Desktop Music II	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科					曜日・時限	月曜1限
【授業の学習内容】 楽曲制作を行う為に必要なLogic Proの操作方法を学びます。 ＜実務者経験＞ 「もち浜ストア」テーマソング、アニメーション劇伴、テレビCM曲、アーティストへの楽曲提供など。トラックメイカーとして活動中。							
【到達目標】 ■ 下半期を通して簡単なオリジナル曲を作ることが目標です。最後の授業ではオリジナル曲をみんなの前で発表してもらいます。 ■ シンセサイザーで簡単な音色を作ることができる ■ サンプリングや逆再生など、オーディオ素材をより扱えるようになる ■ 積極的な音作りがきできるエフェクトを扱えるようになる							
授業計画・内容							
1回目	■ シラバス及び到達目標の確認						
2回目	■ シンセサイザーの基本について理解できる（ 1 ／ 3 ） ■ 基本の波形の種類、音色の違い、ADSRについて						
3回目	■ シンセサイザーの基本について理解できる（ 2 ／ 3 ） ■ 好みのプリセットを選び、さらに自分好みの音色に加工する						
4回目	■ シンセサイザーの基本について理解できる（ 3 ／ 3 ） ■ LFO等について						
5回目	■ サンプリング（Sampler & Quick Sampler）や逆再生など、オーディオに関するテクニックを用いてトラック制作						
6回目	■ FX系のサンプルを使用し、緩急のあるトラック制作						
7回目	■ 音色変化が効果的なエフェクトを使用したトラック制作						
8回目	■ エフェクトのオートメーション						
9回目	■ サイドチェーン（サイドチェーンコンプ、ボコーダー）を使用したトラック制作						
10回目	■ Logic付属のインストゥルメンツについて ■ 即戦力になる音源の紹介 ■ テンプレートの作り方						
11回目	■ フリープラグインをインストールし、トラック制作						
12回目	■ ループ素材を耳コピし、一つ一つのトラックをより理解する（ 1 ／ 3 ）						
13回目	■ ループ素材を耳コピし、一つ一つのトラックをより理解する（ 2 ／ 3 ）						
14回目	■ ループ素材を耳コピし、一つ一つのトラックをより理解する（ 3 ／ 3 ）						
15回目	■ 総括						
準備学習 時間外学習	DAWは音楽を皆さんのやりたい音楽を形にするためのツールです。そのために音楽の3大要素である「メロディ」「リズム」「ハーモニー」を他の授業でしっかりと学んでください。また、DAW＝楽器です。毎日触らないと腕が落ちてしまうので、自宅でも毎日触る時間を作ってください。						
評価方法	■ 毎週の課題内容の理解と実践度 ■ 定期的に制作する作品の完成度 ■ 受講態度（主に欠席・遅刻など）						
受講生への メッセージ	スポーツでいうと基礎体力を作るための「筋トレ」や「走り込み」に当たるフェーズです。ここで勉強したことは、これから先自分がやりたい音楽の制作に必ず応えてくれるので、一緒に頑張りましょう。						
【使用教科書・教材・参考書】							
Macbook.Logic Pro X							

科目名 (英)	楽曲制作技法 I Songwriting Techniques I	必修 選択	選択必修	年次	1年		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜3/火曜4限
【授業の学習内容】 作曲未経験者から作曲初学者を対象に、次年時の作編曲法Basicを履修する前提となる「メロディ作成の基本的作法」「メロディと和声の調和の基礎」を学び、抑揚のあるメロディとメロディを生かす効果的な和音を作れるようになる。 <実務者経験> 作編曲から、Re-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログの双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで、小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。							
【到達目標】 「メロディを作る発想の仕方のコツを身につける」 「抑揚のある魅力的なメロディの作り方を会得する」 「メロディとそのメロディに合う簡単で効果的な和声を組み合わせる事が出来る」							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認 授業概要説明 授業準備説明 作編曲のスキル向上の仕方
2回目	音高による抑揚 全音符課題
3回目	全音符と2分音符のみでのメロディ作成・休符も含めたリズム緩急
4回目	4分音符迄のメロディ作成・密と疎・順次進行と跳躍進行
5回目	8分音符迄のメロディ作成・リズムの反復
6回目	16分音符迄を使った自由なメロディ作成・モチーフと反復を使ったメロディの効果的な構成の仕方を出来るようになる
7回目	起承転結と二部形式・唱歌課題
8回目	内音と外音・どうコードがメロと合うのか・協和音と不協和音
9回目	外音の使い方①・経過音と刺繍音を使いこなし、変化のあるメロディを作れるようになる
10回目	外音の使い方②・先取音と係留音を使いこなし、意外性のあるメロディを作れるようになる
11回目	外音の使い方③・倚音と逸音を使いこなし、インパクトのあるメロディを作れるようになる
12回目	協和音と不協和音・メロディと和音の関係・既存のメロディにコードを複数パターンつけれる様にする
13回目	前期まとめ・自由課題
14回目	テスト実施
15回目	特別授業
準備学習 時間外学習	時間外作成作品を譜面で持参する
評価方法	各演習時の課題作成評価75%・学期末の時間外制作作品提出25% 各講義時の課題、各講義時任意提出の時間外制作作品において、どれだけ抑揚のあるメロディと、それを効果的に生かす和声が付けられているか、総合評価。
受講生への メッセージ	初心者者を脱するための基本的な作曲作法を身につけます
【使用教科書・教材・参考書】 音が出せる鍵盤楽器・五線譜・筆記用具・ヘッドフォン又はイヤフォン	

科目名 (英)	楽曲制作技法Ⅱ Songwriting TechniquesⅡ	必修 選択	選択必修	年次	1年		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜3/火曜4限
【授業の学習内容】 作曲未経験者から作曲初学者を対象に、次年時の作曲技法Basicを履修する前提となる「メロディ作成の基本的作法」「メロディと和声の調和の基礎」を学び、抑揚のあるメロディとメロディを生かす効果的な和音を作れるようになる。 <実務者経験> 作曲から、Re-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログの双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで、小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。							
【到達目標】 「メロディを作る発想の仕方のコツを身につける」 「抑揚のある魅力的なメロディの作り方を会得する」 「メロディとそのメロディに合う簡単で効果的な和声を組み合わせる事が出来る」							

授業計画・内容	
1回目	装飾としての外音の使い方・単純なメロディを外音を使って豊かなメロディにアレンジする
2回目	和音の種類・調の意味とTSDの役割・TSDT決め打ちの緩急のあるメロディ作成をする
3回目	ドミナントモーションと7thコード
4回目	四和音上での作曲と注意点
5回目	短音階上での作曲・ナチュラルマイナー
6回目	短音階上での作曲・ハーモニックマイナー
7回目	短音階上での作曲・メロディックマイナー
8回目	キーとは何か？キーの判別
9回目	sus4・sus2コードと解決
10回目	add9の使い方
11回目	6 t hコードの使い方
12回目	後期まとめ・自由課題
13回目	卒業進級制作 準備
14回目	卒業進級制作 準備
15回目	卒業進級制作 準備
準備学習 時間外学習	時間外作成作品を譜面で持参する
評価方法	各演習時の課題作成評価75%・学期末の時間外制作作品提出25% 各講義時の課題、各講義時任意提出の時間外制作作品において、どれだけ抑揚のあるメロディと、それを効果的に生かす和声が付けられているか、総合評価。
受講生への メッセージ	初心者を超するための基本的な作曲作法を身につけます
【使用教科書・教材・参考書】 音が出せる鍵盤楽器・五線譜・筆記用具・ヘッドフォン又はイヤフォン	

科目名 (英)	楽曲制作技法Ⅲ Songwriting TechniquesⅢ	必修 選択	選択必修	年次	2年		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜1限/火曜2限
【授業の学習内容】 作曲初学者から作曲中級者を対象に、メロディを生かすより効果的で複雑な和音を、複数の選択肢から選び実践出来る様にする。時代に沿った効果的な転調と和音進行、それらの有機的な連結出来る様になり、単純なメロディ作成だけでなく、転調やより複雑な和音進行前提のメロディ・対旋律を作る様にする。既存曲の分析をする事で、実践的なセオリーの使用法を学ぶ。 <実務者経験> 作編曲から、Re-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログの双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで、小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。							
【到達目標】 部分転調・代理和音を効果的に使えるようになる 本格転調をする引き出しを増やし、より多彩な作曲が行えるようになる 一つのメロディにつける和音の引き出しを増やし、メロディの表情を和音でコントロール出来るようになる ベースラインも含めた、メロディに対する効果的な対旋律を作るようになる							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認 授業概要説明 アベイラブルノートスケールの意味・ミクソリディアンの意味とドミナントモーションとの関係
2回目	セカンダリドミナント①・近親調とは何か？・属和音へのセカンダリドミナントIメジャーキーII7
3回目	セカンダリドミナント②・メジャー・マイナーでの下屬和音へのセカンダリドミナントI7・ミクソリディアンb6th
4回目	セカンダリドミナント③・平行調との行き来・IメジャーキーIII7・Hmp5
5回目	セカンダリドミナント④・メジャーキーVI7・マイナーキーI7
6回目	セカンダリドミナント⑤・メジャーキーVII7・マイナーキーII7
7回目	IIm7-V7・IIm7-5・ツーファイブモーション
8回目	テンション1_ドミナントV9&Vb9&V#9
9回目	テンション2_ドミナントV9sus4&V#11
10回目	テンション3_ドミナントV13sus4&Vb13
11回目	トニック・サブドミナントでのテンション
12回目	トライトーン・サブステイトーション
13回目	前期まとめ・自由課題
14回目	テスト実施
15回目	特別授業
準備学習 時間外学習	今週の課題が時間内に終わらなかった場合、次週の演習時間までに仕上げ、更に疑問点をリストアップしてくる
評価方法	各演習時の課題作成評価75%・学期末の時間外制作作品提出25% 各講義時の課題、各講義時任意提出の時間外制作作品において、どれだけ良いメロディと、それを効果的に生かす和声・展開を含めた編曲が出来ているかを総合評価。
受講生への メッセージ	ある程度和声や旋律を作る人が、更に完成度の高い作品制作が出来るように学習します
【使用教科書・教材・参考書】 DAW・音が出せる鍵盤楽器・五線譜・筆記用具	

科目名 (英)	楽曲制作技法Ⅳ Songwriting TechniquesⅣ	必修 選択	選択必修	年次	2年		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	半期
						曜日・時限	火曜1限/火曜2限
【授業の学習内容】 作曲初学者から作曲中級者を対象に、メロディを生かすより効果的で複雑な和音を、複数の選択肢から選び実践出来る様にする。時代に沿った効果的な転調と和音進行、それらの有機的な連結出来る様になり、単純なメロディ作成だけではなく、転調やより複雑な和音進行前提のメロディ・対旋律を作る様にする。既存曲の分析をする事で、実践的なセオリーの使用法を学ぶ。 <実務者経験> 作編曲から、Re-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログの双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで、小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。							
【到達目標】 部分転調・代理和音を効果的に使えるようになる 本格転調をする引き出しを増やし、より多彩な作曲が行えるようになる 一つのメロディにつける和音の引き出しを増やし、メロディの表情を和音でコントロール出来るようになる ベースラインも含めた、メロディに対する効果的な対旋律を作るようになる							

授業計画・内容	
1回目	パッシング・ディミニッシュ
2回目	b II9# 11_ホルトンスケール
3回目	ベース・ペダルポイント
4回目	モーダル・インターチェンジ-1
5回目	モーダル・インターチェンジ-2
6回目	モーダル・インターチェンジ-3
7回目	ソプラノ・ペダルポイント
8回目	ライン・クリシェ
9回目	Riffによる作曲実践
10回目	ドミナント転調・ピボットコード転調
11回目	dim7・augの読み替えによる転調
12回目	コモンノート転調・後期まとめ
13回目	卒業進級制作 準備
14回目	卒業進級制作 準備
15回目	卒業進級制作 準備
準備学習 時間外学習	今週の課題が時間内に終わらなかった場合、次週の演習時間までに仕上げ、更に疑問点をリストアップしてくる
評価方法	各演習時の課題作成評価75%・学期末の時間外制作作品提出25% 各講義時の課題、各講義時任意提出の時間外制作作品において、どれだけ良いメロディと、それを効果的に生かす和声・展開を含めた編曲が出来ているかを総合評価。
受講生への メッセージ	ある程度和声や旋律を作れる人が、更に完成度の高い作品制作が出来るように学習します
【使用教科書・教材・参考書】 DAW・音が出せる鍵盤楽器・五線譜・筆記用具	

科目名 (英)	楽曲制作技法Ⅴ Songwriting TechniquesⅤ	必修 選択	選択必修	年次	3年		
学科・コース	スーパー・エンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜5限
【授業の学習内容】 楽曲の中核、リズム隊と言われる「Drum/Bass」についてこれまでよりさらに深く学びます。 <実務者経験> 作編曲から、Re-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログの双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで、小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。							
【到達目標】 DAW上でLoop素材に頼ることのない「生感」のあるリズムを表現できるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	リズムのバリエーション 1 フレーズ
2回目	リズムのバリエーション 2 タイミング・ハネ
3回目	リズムのバリエーション 3 アクセント
4回目	リズムのバリエーション 4 ゴーストノート
5回目	Bass Line 1 root音と音域 Bassの役割
6回目	Bass Line 2 Groove1 デレーション
7回目	Bass Line 3 Groove 2 ゴーストノート
8回目	Bass Line 4 オクターブとアプローチノート
9回目	Bass Line 5 5thの使い方
10回目	Bass Line 6 7thと3rd
11回目	Bass Line 7 RiffとしてのBass
12回目	Bass Line 8 ジャンル毎の典型的なBass Line
13回目	リズム隊としてのBass 1 Drums と Bass のコンビネーション
14回目	リズム隊としてのBass 2 アクセントユニゾンと絡み合い
15回目	テスト・添削
準備学習 時間外学習	授業時間内では出来ない制作全般の実施
評価方法	締め切り毎の到達度合いと作品の総合的なクオリティを評価
受講生への メッセージ	音楽家の到達点の一つである「総合作品制作」を実施します。
【使用教科書・教材・参考書】 PC・DAW・その他音楽制作に必要なもの全般	

科目名 (英)	楽曲制作技法VI Songwriting TechniquesVI	必修 選択	選択必修	年次	3年		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	半期
						曜日・時限	火曜5限
【授業の学習内容】 実際の楽曲制作やアレンジを通じてブラスセクション/ストリングスセクションについて学ぶ <実務者経験> 作編曲から、Re-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログの双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで、小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。							
【到達目標】 DAW上でLoop素材に囚われることのないブラスセクション/ストリングスセクションの構築ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	Brass Section 1 プラスアレンジ面での楽器編成・奏法
2回目	Brass Section 2 音域とユニゾン
3回目	Brass Section 3 アーティキレーション
4回目	Brass Section 4 クローズドボイスイングとTopLine
5回目	Brass Section 5 Drop2
6回目	Brass Section 6 Drop2&4
7回目	Brass Section 7 Drop3
8回目	Brass Section 8 パッキングのバリエーション
9回目	Strings Arrange 1 Stringsの役割・編成・奏法
10回目	Strings Arrange 2 ユニゾンのバリエーション
11回目	Strings Arrange 3 奏法とエクスプレッション
12回目	Strings Arrange 4 四声体とオープンボイスイング
13回目	Strings Arrange 5 対位法的アプローチ 1
14回目	Strings Arrange 5 対位法的アプローチ 2
15回目	テスト・添削
準備学習 時間外学習	授業時間内では出来ない制作全般の実施
評価方法	締め切り毎の到達度合いと作品の総合的なクオリティを評価
受講生への メッセージ	音楽家の到達点の一つである「総合作品制作」を実施します。
【使用教科書・教材・参考書】 PC・DAW・その他音楽制作に必要なもの全般	

科目名 (英)	楽曲制作技法Ⅶ Songwriting TechniquesⅦ	必修 選択	選択必修	年次	4年		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	半期
						曜日・時限	火曜5限
【授業の学習内容】 近代の音楽制作、特に作編曲に於ける「音色」の重要性を鑑み、シンセサイザー・サンプラー・エフェクター等の電子楽器全般の音色制作の基礎を身につける、授業履修終了時には思い描いた音色を自分で表現出来る様に知識・経験を身に付けたい <実務者経験> 作編曲から、Re-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログの双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで、小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。							
【到達目標】 電子楽器全般とエフェクターのパラメータとその役割を学習し、リファレンスの音、イマジネーションの中の音を表現出来る具体的な手法を身につける							

授業計画・内容	
1回目	シンセサイザーとは何か？の概要を理解する
2回目	オシレータの波形の種類と特徴を理解する
3回目	Lo Pass Filterの特徴と使い方を実践する
4回目	Envelope Generatorのパラメータを実践する
5回目	音色(倍音)の時間的変化を付けられる様にする
6回目	音高の時間的変化を付けられる様にする
7回目	音高の周期的変化を付けられる様にする
8回目	音色の周期的変化を付けられる様にする
9回目	Detune効果を使った厚みのある音作りを実践する
10回目	音程感の無い音の音作りを実践する
11回目	音程感の無い音の音作りを実践する
12回目	単音楽器ならではの表現が出来る様になる
13回目	PWMとサブオシレータを使いこなせる様になる
14回目	イベント実践を通して音色制作を学ぶ
15回目	イベント実践を通して音色制作を学ぶ
準備学習 時間外学習	参考になる音色を探し出してリファレンスとし、実践で作成する準備をする
評価方法	締め切り毎の到達度合いと作品の総合的なクオリティを評価
受講生への メッセージ	音楽家の到達点の一つである「総合作品制作」を実施します。
【使用教科書・教材・参考書】 PC・DAW・その他音楽制作に必要なもの全般	

科目名 (英)	楽曲制作技Ⅷ Songwriting TechniquesⅧ	必修 選択	選択必修	年次	4年		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	半期
						曜日・時限	火曜5限
【授業の学習内容】 近代の音楽制作、特に作編曲に於ける「音色」の重要性を鑑み、シンセサイザー・サンプラー・エフェクター等の電子楽器全般の音色制作の基礎を身につける、授業履修終了時には思い描いた音色を自分で表現出来る様に知識・経験を身に付けたい <実務者経験> 作編曲から、Re-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログの双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで、小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。							
【到達目標】 電子楽器全般とエフェクターのパラメータとその役割を学習し、リファレンスの音、イマジネーションの中の音を表現出来る具体的な手法を身につける							

授業計画・内容	
1回目	SuperSawの作り方と実践を学ぶ
2回目	HPF&BPFの仕組みと実践が出来る
3回目	Oscillator Sync の仕組みと実践が出来る
4回目	Ring Modulation の仕組みと実践が出来る
5回目	Matrixによるフレーズ作成が出来る
6回目	リアルタイム・コントロールが出来る
7回目	Vocoderの仕組みと実践が出来る
8回目	Samplerの概念を知り基本的な使い方が出来る
9回目	エフェクターの概要を知り、基本的な効果を掛けられる
10回目	Delayの基本操作が出き、応用的な使い方が出来る
11回目	ダブリング系の効果を実践出来る
12回目	Delayを利用したフレーズ作成が出来る
13回目	Compressorの基本的な使い方が出来る
14回目	イベント実践を通して音色制作を学ぶ
15回目	イベント実践を通して音色制作を学ぶ
準備学習 時間外学習	授参考になる音色を探し出してリファレンスとし、実践で作成する準備をする
評価方法	締め切り毎の到達度合いと作品の総合的なクオリティを評価
受講生への メッセージ	音楽家の到達点の一つである「総合作品制作」を実施します。
【使用教科書・教材・参考書】 PC・DAW・その他音楽制作に必要なもの全般	

科目名 (英)	メロディーメイキングⅠ	必修 選択	必修 選択	年次	1年		
	Melody MakingⅠ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科					曜日・時限	水曜4限
【授業の学習内容】							
メロディの役割や作曲におけるメロディラインの作り方を学びます。各ジャンルでの違いや、コードやスケールとの兼ね合いも合わせて学習します。							
<実務者経験> テレビCM・ドラマ・お芝居などの楽曲制作、吹奏楽コンクールや様々なコンサートで依頼を受け作曲し演奏を行っている。							
【到達目標】							
コードやスケールとの兼ね合いを理解し、ディスコードなくメロディが作れる。又、そのジャンルにおけるメロディの特徴を作品に組み込むことができる。							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認、音楽の三大要素を理解し、作ったメロディをボイスメモを使って残すことができる。
2回目	調とメロディの役割を理解し、調とあったメロディを作れるようになる
3回目	コードとメロディの関係を理解し、メロディに適切なコードを選択できるようになる(メジャーダイアトニックコード) ※コードプレイヤーを使用
4回目	コードとメロディの関係を理解し、メロディに適切なコードを選択できるようになる(マイナーダイアトニックコード) ※コードプレイヤーを使用
5回目	コードとメロディの関係を理解し、コードに沿ったメロディが作れるようになる(メジャー・マイナー) ※コードプレイヤーを使用
6回目	一曲を通しての構成を理解し、聴き取ることができるようになる。
7回目	一曲を通しての構成を理解し、メロディが作れるようになる ※シンセサイザーVを使用
8回目	歌物とinst物の違いを理解し、音域通りのメロディが作れるようになる(歌物)
9回目	チャート上位の楽曲を聴き、メロディの動きを分析する①
10回目	チャート上位の楽曲を聴き、メロディの動きを分析する②
11回目	分析をふまえ、耳に残るメロディの動きと構成を考える
12回目	作詞について 実技テスト
13回目	テストを終えて、後期への課題の明確化と実践
14回目	テスト実施
15回目	特別授業
準備学習 時間外学習	楽曲制作をしながら講義の復習を積極的におこなってください。
評価方法	■毎週の課題内容の理解と実践度 ■定期的に行う作品の完成度 ■受講態度(主に出席・遅刻など)
受講生への メッセージ	メロディは作曲をするにあたって最も大切な要素と言っても過言ではありません。耳に残るメロディを目指し、作れるように学習しましょう。
Macbook.Logic Pro X メモを取れる準備をお願いします。又、保存用のHDDやUSBメモリも持参してください。	

科目名 (英)	メロディーメイキングⅡ	必修 選択	必修 選択	年次	1年		
	Melody MakingⅡ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科					曜日・時限	水曜4限
【授業の学習内容】							
メロディの役割や作曲におけるメロディラインの作り方を学びます。後期では各楽器についての知識を得て、より高度で演奏する楽器や声に沿ったメロディを作れるように学習します。							
<実務者経験> テレビCM・ドラマ・お芝居などの楽曲制作、吹奏楽コンクールや様々なコンサートで依頼を受け作曲し演奏を行っている。							
【到達目標】							
各楽器や声の音域や可能な動きに沿ったメロディを作れるようになる。又、裏メロディを作れるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認、楽器知識①(その他) 移調楽器、奏法など
2回目	楽器知識②(弦楽器)
3回目	楽器知識③(木管)
4回目	楽器知識④(打楽器)
5回目	楽器知識⑤(金管)
6回目	楽器知識⑥(スコア読解) ※打ち込み
7回目	楽器知識⑦(まとめテスト)
8回目	裏メロディの作り方①(あかとんぼ)
9回目	裏メロディの作り方②(ふるさと)
10回目	メロディ・コードの聴き取り、調の性格について 実技テスト
11回目	BGM制作について①(ゲーム音楽の試聴会)
12回目	BGM制作について②(楽器の特性を生かしたメロディ作り) プレスタイミング アーティキレーションについて
13回目	卒業進級制作 準備
14回目	卒業進級制作 準備
15回目	卒業進級制作 準備
準備学習 時間外学 習	楽曲制作をしながら講義の復習を積極的におこなってください。
評価方法	■毎週の課題内容の理解と実践度 ■定期的に行う作品の完成度 ■受講態度(主に欠席・遅刻など)
受講生への メッセージ	様々な楽器について知り、触れることはかけがえのない経験と知識となります。積極的に取り組んでください。
Macbook.Logic Pro X メモを取れる準備をお願いします。又、保存用のHDDやUSBメモリも持参してください。	

科目名 (英)	メロディーメイキングⅢ	必修 選択	必修 選択	年次	2年		
	Melody MakingⅢ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科					曜日・時限	水曜2限
【授業の学習内容】							
自身が作るメロディを客観的に見れるスキルを養います。各ジャンルの楽曲のメロディ譜やスコアを読む・書くという視点から情報を読み解き、さらに自身の楽曲に対しても譜面とDAW上の打ち込みの音の両方で同じ情報になるように学習します。又、仕事で必要なクライアントとのやりとりなども実習の中で習得を目指します。 <実務者経験> テレビCM・ドラマ・お芝居などの楽曲制作、吹奏楽コンクールや様々なコンサートで依頼を受け作曲し演奏を行っている。							
【到達目標】							
自身が作曲した楽曲のメロディやコード、各パートの動きを譜面に書くことができ、その譜面の情報とDAW上で打ち込んだ音が同じになるようにプログラミングできる。又、クライアントとのやりとりを円滑にするためのスキル(文章・連絡・相談)を実際に使用できる。							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認。譜面についての基本的な知識の確認。
2回目	POP'sの楽曲の進行を聴き取り、曲の尺通りに進行譜を書けるようになる。
3回目	POP'sの楽曲のコードを聴き取り、コード譜を書けるようになる。
4回目	コード譜にリズムの指示を書き込めるようになる。※提出課題
5回目	POP'sの楽曲を音符や休符を使ったメロディ譜で写譜できるようになる。
6回目	自分で制作したメロディを譜面に書くことができる。
7回目	奏法記号や曲想記号の意味を理解し、譜面に書けるようになる。又、前講義で自身が制作したメロディをDAW上で同じように表現できるようになる。
8回目	ドラム譜の基礎を理解し、写譜できるようになる。
9回目	8ビート・16ビートのリズムを聴き取り、ドラム譜を書けるようになる。
10回目	自分で制作したメロディに8ビートもしくは16ビートのドラムを入れてDAW上で表現できるようになる。
11回目	前講義で制作した曲をメロディ譜、コード譜(進行譜)、ドラム譜を書けるようになる。
12回目	まとめ試験。当日指定するメロディ譜を制限時間内に写譜する。又、クライアントとのやりとりを想定したやり方で納品(提出)できるようになる。※実習課題
13回目	前期の実習を終えて、後期への課題の明確化と実践
14回目	テスト実施
15回目	特別授業
準備学習 時間外学習	講義内で学習した内容の復習と反復をお願いします。
評価方法	■毎週の課題内容の理解と実践度 ■定期的に行う作品の完成度 ■受講態度（主に出欠席・遅刻など）
受講生への メッセージ	DAW上での表現と同時に譜面での表現ができると自身の楽曲を客観的に見ることができ、更にコミュニケーションが円滑にできるようになります。譜面が苦手な方もいると思いますが、ゆっくりと進めていきますので頑張りましょう。
Macbook.Logic Pro X メモを取れる準備と五線譜の持参をお願いします。又、保存用のHDDやUSBメモリも持参してください。	

科目名 (英)	メロディーメイキングⅣ	必修 選択	必修 選択	年次	2年		
	Melody MakingⅣ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科					曜日・時限	水曜2限
【授業の学習内容】							
自身が作るメロディを客観的に見れるスキルを養います。各ジャンルの楽曲のメロディ譜やスコアを読む・書くという視点から情報を読み解き、さらに自身の楽曲に対しても譜面とDAW上の打ち込みの音の両方で同じ情報になるように学習します。又、仕事で必要なクライアントとのやりとりなども実習の中で習得を目指します。 <実務者経験> テレビCM・ドラマ・お芝居などの楽曲制作、吹奏楽コンクールや様々なコンサートで依頼を受け作曲し演奏を行っている。							
【到達目標】							
自身が作曲した楽曲のメロディやコード、各パートの動きを譜面に書くことができ、その譜面の情報とDAW上で打ち込んだ音が同じになるようにプログラミングできる。又、クライアントとのやりとりを円滑にするためのスキル(文章・連絡・相談)を実際に使用できる。							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認。弦楽器の譜面についての基礎知識を理解し、譜面通りにDAWに打ち込むことができる。※提出課題
2回目	自分で弦楽器パートを制作し、DAWに打ち込むことができる。
3回目	前講義でDAW上で作った弦楽器のパートを譜面におこすことができるようになる。
4回目	ピアノの譜面についての基礎知識を理解し、譜面通りにDAWに打ち込むことができる。※提出課題
5回目	自分でピアノパートを制作し、DAWに打ち込むことができる。
6回目	前講義でDAW上で作ったピアノのパートを譜面におこすことができるようになる。
7回目	金管楽器の譜面についての基礎知識を理解し、譜面通りにDAWに打ち込むことができる。※提出課題
8回目	自分でブラスパートを制作し、DAWに打ち込むことができる。
9回目	前講義でDAW上で作ったブラスのパートを譜面におこすことができるようになる。
10回目	木管楽器の譜面についての基礎知識を理解し、譜面通りにDAWに打ち込むことができる。※提出課題
11回目	自分でウインドブラスパートを制作し、DAWに打ち込むことができる。
12回目	前講義でDAW上で作ったウインドブラスのパートを譜面におこすことができるようになる。
13回目	卒業進級制作 準備
14回目	卒業進級制作 準備
15回目	卒業進級制作 準備
準備学習 時間外学 習	講義内で学習した内容の復習と反復をお願いします。
評価方法	■毎週の課題内容の理解と実践度 ■定期的に行う作品の完成度 ■受講態度（主に出欠席・遅刻など）
受講生への メッセージ	DAW上での表現と同時に譜面での表現ができると自身の楽曲を客観的に見ることができ、更にコミュニケーションが円滑にできるようになります。譜面が苦手な方もいると思いますが、ゆっくりと進めていきますので頑張りましょう。
Macbook.Logic Pro X メモを取れる準備と五線譜の持参をお願いします。又、保存用のHDDやUSBメモリも持参してください。	

科目名 (英)	メロディーメイキングⅤ	必修 選択	必修 選択	年次	3年		
	Melody MakingⅤ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科					曜日・時限	水曜3限
【授業の学習内容】							
作曲・編曲をする上で必要な、「その曲のその箇所」に適したメロディや各楽器の動きを学びます。又、楽器の重ね方で起こりうるサウンドの違いや、各パート間で邪魔をしないフレーズを実習を通して身につけていきます。 ＜実務者経験＞ テレビCM・ドラマ・お芝居などの楽曲制作、吹奏楽コンクールや様々なコンサートで依頼を受け作曲し演奏を行っている。							
【到達目標】							
制作した一つのメロディで「①メロディとピアノ」「②弦楽器4本」「③管楽器5本」「④メロディ・ピアノ・弦楽器4本・管楽器・打楽器(ドラムを含む)・ギター・ベース・シンセサイザー」での各アレンジを実施することができるようになることで、作りたいサウンドに合わせた楽器の選択ができ、メロディを邪魔することなくそれを動かすことができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認。通年通して当講義で扱っていくメロディを制作する。
2回目	①-1 アレンジの方向性(BPM含む)を決め、そこに適切なコードを選択できるようになる。又、コード(進行)譜を制作する。
3回目	①-2 右手と左手の役割を理解し、ピアノパートを制作できるようになる。(DAW打ち込み)
4回目	①-3 メロディとピアノを合わせ、その動きや音域の偏りによってメロディを邪魔していないかを判断できるようになる。
5回目	①-4 前回までの講義内容を用いてアレンジを完成させることができる。
6回目	②-1 パートをまたいでのメロディの移り変わりや、弦楽器4本での音の重ね方を理解し、適切なコードの選択とアレンジの方向性を決めることができる。
7回目	②-2 コード(進行)譜を制作する。又、パート間をまたいでのメロディの移り変わりを行えるようになる。(DAW打ち込み)
8回目	②-3 パート間をまたいでのベースラインの移動を行うことができるようになる。弦楽アンサンブルにおける転回形を理解できるようになる。(全伸ばしの音)
9回目	②-4 前講義までで制作したメロディとベースラインをもとに内声の音を選択できるようになる。(全伸ばしの音)
10回目	②-5 弦楽器4本のみで成立するアレンジになるようにメロディ以外のパートを動かせるようになる。又、奏法の選択も行う。
11回目	②-6 パート間の動きや音域の偏りによってメロディを邪魔していないかを判断し、アレンジを進めることができるようになる。
12回目	②-7 前回までの講義内容を用いてアレンジを完成させることができる。又、オートメーションの処理も行う。
13回目	前期の実習を終えて、後期への課題の明確化と実践
14回目	テスト実施
15回目	特別授業
準備学習 時間外学習	講義内で学習した内容の復習と、できる限りの自主的な制作の進行をお願いします。
評価方法	■毎週の課題内容の理解と実践度 ■定期的に行う作品の完成度 ■受講態度(主に出席・遅刻など)
受講生への メッセージ	1つのメロディを元に様々なアレンジができることは自分の制作の幅を広げることにつながります。又、アレンジの上で行う各パートの動きも広い視野で見ればメロディ(フレーズ)を作ることと変わりません。細かく単元を分けて進めていきます。
Macbook.Logic Pro X メモを取れる準備と五線譜の持参をお願いします。又、保存用のHDDやUSBメモリも持参してください。	

科目名 (英)	メロディーメイキングⅥ	必修 選択	必修 選択	年次	3年		
	Melody MakingⅥ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科					曜日・時限	水曜3限
【授業の学習内容】							
作曲・編曲をする上で必要な、「その曲のその箇所」に適したメロディや各楽器の動きを学びます。又、楽器の重ね方で起こりうるサウンドの違いや、各パート間で邪魔をしないフレーズを実習を通して身につけていきます。 <実務者経験> テレビCM・ドラマ・お芝居などの楽曲制作、吹奏楽コンクールや様々なコンサートで依頼を受け作曲し演奏を行っている。							
【到達目標】							
制作した一つのメロディで「①メロディとピアノ」「②弦楽器4本」「③管楽器5本」「④メロディ・ピアノ・弦楽器4本・管楽器・打楽器(ドラムを含む)・ギター・ベース・シンセサイザー」での各アレンジを実施することができるようになることで、作りたいサウンドに合わせた楽器の選択ができ、メロディを邪魔することなくそれを動かすことができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認。③-1 アレンジの方向性を決め、そこに適切なコードを選択できるようになる。又、コード(進行)譜を制作する。
2回目	③-2 管楽器4本での音の重ね方を理解し、パート間をまたいでのメロディの移り変わりを行えるようになる。(DAW打ち込み)
3回目	③-3 パート間をまたいでのベースラインの移動を行うことができるようになる。プラスアンサンブルにおいての転回形を理解できるようになる。
4回目	③-4 前講義までで制作したメロディとベースラインをもとに内声の音を選択できるようになる。又、奏法を選択でき、オートメーションの処理も行う。
5回目	③-5 パート間の動きや音域の偏りによってメロディを邪魔していないかを判断し、アレンジを完成させることができる。
6回目	④-1 アレンジの方向性を決め、そこに適切なコードを選択できるようになる。又、コード(進行)譜を制作する。
7回目	④-2 決定したアレンジの方向性に沿ったリズムパターンを選択できるようになる。メロディ・コード・ドラムを打ち込む。
8回目	④-3 ピアノ又はギター、ベースを動きや音域の偏りによってメロディを邪魔していないかを判断できるようになる。又パートを打ち込むもしくは録音する。
9回目	④-4 前講義までのアレンジに加えて弦楽器4本を打ち込めるようになる。
10回目	④-5 前講義までのアレンジに加えて必要となる管楽器を選択し、打ち込めるようになる。
11回目	④-6 前講義までのアレンジに加えて必要となるシンセサイザーやパーカッションを選択し、打ち込めるようになる。
12回目	④-7 前回はまでの講義内容を用いてアレンジを完成させることができる。
13回目	卒業進級制作 準備
14回目	卒業進級制作 準備
15回目	卒業進級制作 準備
準備学習 時間外学 習	講義内で学習した内容の復習と、できる限りの自主的な制作の進行をお願いします。
評価方法	■毎週の課題内容の理解と実践度 ■定期的に行う作品の完成度 ■受講態度(主に出席・遅刻など)
受講生への メッセージ	1つのメロディを元に様々なアレンジができることは自分の制作の幅を広げることにつながります。又、アレンジの上で行う各パートの動きも広い視野で見ればメロディ(フレーズ)を作ることと変わりません。細かく単元を分けて進めていきます。
Macbook.Logic Pro X メモを取れる準備と五線譜の持参をお願いします。又、保存用のHDDやUSBメモリも持参してください。	

科目名 (英)	トラックメイク I Track Make I	必修 選択	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜2限
【授業の学習内容】 音楽の三大要素「リズム、メロディー、ハーモニー」の中の「リズム」を学習し、適切なリズムを自身の楽曲制作に取り入れる。 <実務者経験> 式場のバイオリン演奏者							
【到達目標】 ・基礎的なリズムをDAW上で再現できるようになる ・各ジャンルごとのリズムパターンを学習し求められるジャンルを適切に制作できるようにする。							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認、トラックメイク実演
2回目	各種ドラムのキットを理解する 8ビート、16ビートの打ち込み
3回目	4つ打ちの打ち込み
4回目	シャッフルビートの打ち込み
5回目	スイングビートの打ち込み
6回目	打ち込みのリアルタイムレコーディング
7回目	音楽ジャンルについて
8回目	各ジャンル毎のビートの打ち込み方①
9回目	各ジャンル毎のビートの打ち込み方②
10回目	Spliceの使い方
11回目	無料プラグイン紹介
12回目	トラックメイクの便利な手法紹介
13回目	新しい音楽の探し方
14回目	自分の好きな曲プレゼン大会
15回目	前期テスト
準備学習 時間外学習	・Logicのインストール ・各種データダウンロード
評価方法	■出席率 40% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	現代の音楽はビートのパターンはメロディと同じくらい大事な要素です。リズムを徹底的に追い込みドラム打ち込みを極めましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 Macbook.Logic Pro X	

科目名 (英)	トラックメイクⅡ Track MakeⅡ	必修 選択	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 木曜2限
【授業の学習内容】 前記に学習したリズムを更に発展させて、音色の加工について学習する <講師プロフィール> 黒子のバスケ公式リミックス提供、『Key』20周年記念リミックスCD「Key Best Song Remix -to the Future-」公式リミックス提供。KONAMI『SOUND VOLTEX VIVIDWAVE』へ公式リミックス提供。							
【到達目標】 ・各ジャンルに合った適切な音色を選択できるようになる ・商品にできるドラム音色の加工方法を習得する							

授業計画・内容	
1回目	生ドラムの音色について（3/10）
2回目	生ドラムの音色について（6/10）
3回目	生ドラムの音色について（10/10）
4回目	生ドラムの音色加工。エフェクターの使い方（3/10）
5回目	生ドラムの音色加工。エフェクターの使い方（6/10）
6回目	生ドラムの音色加工。エフェクターの使い方（10/10）
7回目	ドラムマシンの音色について（3/10）
8回目	ドラムマシンの音色について(6/10)
9回目	ドラムマシンの音色について(10/10)
10回目	ドラムマシンの音色加工。エフェクターの使い方（3/10）
11回目	ドラムマシンの音色加工。エフェクターの使い方（6/10）
12回目	ドラムマシンの音色加工。エフェクターの使い方（10/10）
13回目	テスト実施
14回目	特別授業/卒業進級制作 準備
15回目	特別授業/卒業進級制作 準備
準備学習 時間外 学習	・Logicのインストール ・学習用素材のダウンロード
評価方法	■出席率 40% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	ドラムの音色について学習して自身の楽曲に更に磨きをかけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 Logic Pro X、Battery4	

科目名 (英)	トラックメイクⅢ Track MakeⅢ	必修 選択	選択必修	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 金曜2限
【授業の学習内容】 Apple Logicを使用しダンスミュージックを主軸とした楽曲制作の手法の習得。ソフトウェアの使用方法、およびシンセサイザーの使用方法。 <実務者経験> 「ももち浜ストア」テーマソング、アニメーション劇伴、テレビCM曲、アーティストへの楽曲提供など。トラックメイカーとして活動中。							
【到達目標】 シンセサイザーを用いて各ジャンルごとに適切な音色が作成できるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認
2回目	シンセサイザーについて説明を行い各部の名称、仕組みを学び、理解する(2/10)・オシレーターについて
3回目	シンセサイザーについて説明を行い各部の名称、仕組みを学び、理解する(4/10)・フィルターについて
4回目	シンセサイザーについて説明を行い各部の名称、仕組みを学び、理解する(8/10)・エンベロープについて
5回目	シンセサイザーについて説明を行い各部の名称、仕組みを学び、理解する(10/10)・LFOについて
6回目	フリーシンセ「Noise Maker」を用いて指定した音色加工ができるようになる(3/10)2OSCシンセサイザーを用いてベース音色を作成
7回目	フリーシンセ「Noise Maker」を用いて指定した音色加工ができるようになる(7/10)2OSCシンセサイザーを用いてリード音色を作成
8回目	フリーシンセ「Noise Maker」を用いて指定した音色加工ができるようになる(10/10)2OSCシンセサイザーを用いてパッド音色を作成
9回目	フリーシンセ「Vital」を用いて指定した音色加工ができるようになる(3/10)ウェーブテーブルシンセサイザーを用いてベース音色を作成
10回目	フリーシンセ「Vital」を用いて指定した音色加工ができるようになる(7/10)ウェーブテーブルシンセサイザーを用いてベース音色を作成
11回目	フリーシンセ「Vital」を用いて指定した音色加工ができるようになる(10/10)ウェーブテーブルシンセサイザーを用いてリード、ブラック音色を作成
12回目	「Serum」を用いて指定した音色加工ができるようになる(5/10)ウェーブテーブルシンセサイザーを用いてベース音色を作成
13回目	「Serum」を用いて指定した音色加工ができるようになる(10/10)ウェーブテーブルシンセサイザーを用いてリード音色を作成
14回目	テスト実施
15回目	特別授業
準備学習 時間外学 習	・NoiseMakerのインストール ・Vitalのインストール ・各種データダウンロード
評価方法	■出席率 40% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	シンセサイザーは現代の音楽で必ずと言っていいほど使われる楽器になります。正解がない音色をどのように作り出すのか学習しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 Logic Pro X、Noise Maker、Vital、Serum	

科目名 (英)	トラックメイクⅣ Track MakeⅣ	必修 選択	選択必修	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜2限
【授業の学習内容】 Apple Logicを使用しダンスミュージックを主軸とした楽曲制作の手法の習得。ソフトウェアの使用方法、およびシンセサイザーの使用方法。 ＜実務者経験＞ 「もちもちストア」テーマソング、アニメーション劇伴、テレビCM曲、アーティストへの楽曲提供など。トラックメイカーとして活動中。							
【到達目標】 自身の設定したジャンルのオリジナルトラックが制作できるようになる							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認
2回目	各々ジャンルを選択して課題制作
3回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
4回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
5回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
6回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
7回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
8回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
9回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
10回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
11回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
12回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
13回目	テスト実施
14回目	特別授業/進級制作 準備
15回目	特別授業/進級制作 準備
準備学習 時間外 学習	・Logicのインストール ・学習用素材のダウンロード
評価方法	■出席率 40% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	ドラムの音色について学習して自身の楽曲に更に磨きをかけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 Logic Pro X、Battery4	

科目名 (英)	トラックメイクV Track Make V	必修 選択	選択必修	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 金曜3限
【授業の学習内容】 Apple Logicを使用しダンスミュージックを主軸とした楽曲制作の手法の習得。ソフトウェアの使用方法、およびシンセサイザーの使用方法。 <実務者経験> 「ももち浜ストア」テーマソング、アニメーション劇伴、テレビCM曲、アーティストへの楽曲提供など。トラックメイカーとして活動中。							
【到達目標】 シンセサイザーを用いて各ジャンルごとに適切な音色が作成できるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認
2回目	シンセサイザーについて説明を行い各部の名称、仕組みを学び、理解する(2/10)・オシレーターについて
3回目	シンセサイザーについて説明を行い各部の名称、仕組みを学び、理解する(4/10)・フィルターについて
4回目	シンセサイザーについて説明を行い各部の名称、仕組みを学び、理解する(8/10)・エンベロープについて
5回目	シンセサイザーについて説明を行い各部の名称、仕組みを学び、理解する(10/10)・LFOについて
6回目	フリーシンセ「Noise Maker」を用いて指定した音色加工ができるようになる(3/10)2OSCシンセサイザーを用いてベース音色を作成
7回目	フリーシンセ「Noise Maker」を用いて指定した音色加工ができるようになる(7/10)2OSCシンセサイザーを用いてリード音色を作成
8回目	フリーシンセ「Noise Maker」を用いて指定した音色加工ができるようになる(10/10)2OSCシンセサイザーを用いてパッド音色を作成
9回目	フリーシンセ「Vital」を用いて指定した音色加工ができるようになる(3/10)ウェーブテーブルシンセサイザーを用いてベース音色を作成
10回目	フリーシンセ「Vital」を用いて指定した音色加工ができるようになる(7/10)ウェーブテーブルシンセサイザーを用いてベース音色を作成
11回目	フリーシンセ「Vital」を用いて指定した音色加工ができるようになる(10/10)ウェーブテーブルシンセサイザーを用いてリード、ブラック音色を作成
12回目	「Serum」を用いて指定した音色加工ができるようになる(5/10)ウェーブテーブルシンセサイザーを用いてベース音色を作成
13回目	「Serum」を用いて指定した音色加工ができるようになる(10/10)ウェーブテーブルシンセサイザーを用いてリード音色を作成
14回目	テスト実施
15回目	特別授業
準備学習 時間外学 習	・NoiseMakerのインストール ・Vitalのインストール ・各種データダウンロード
評価方法	■出席率 40% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	シンセサイザーは現代の音楽で必ずと言っていいほど使われる楽器になります。正解がない音色をどのように作り出すのか学習しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 Logic Pro X、Noise Maker、Vital、Serum	

科目名 (英)	トラックメイクVI Track MakeVI	必修 選択	選択必修	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜3限
【授業の学習内容】 Apple Logicを使用しダンスミュージックを主軸とした楽曲制作の手法の習得。ソフトウェアの使用方法、およびシンセサイザーの使用方法。 ＜実務者経験＞ 「もちもち浜ストア」テーマソング、アニメーション劇伴、テレビCM曲、アーティストへの楽曲提供など。トラックメイカーとして活動中。							
【到達目標】 自身の設定したジャンルのオリジナルトラックが制作できるようになる							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認
2回目	各々ジャンルを選択して課題制作
3回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
4回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
5回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
6回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
7回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
8回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
9回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
10回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
11回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
12回目	選択したジャンルに沿った課題制作、及びアドバイス
13回目	テスト実施
14回目	特別授業/卒業進級制作 準備
15回目	特別授業/卒業進級制作 準備
準備学習 時間外 学習	・Logicのインストール ・学習用素材のダウンロード
評価方法	■出席率 40% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	ドラムの音色について学習して自身の楽曲に更に磨きをかけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 Logic Pro X、Battery4	

科目名 (英)	トラックメイクⅧ Track MakeⅧ	必修 選択	選択必修	年次	4		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 金曜3限
【授業の学習内容】 Apple Logicを使用しダンスミュージックを主軸とした楽曲制作の手法の習得。ソフトウェアの使用方法、およびシンセサイザーの使用方法。 <実務者経験> 「もち浜ストア」テーマソング、アニメーション劇伴、テレビCM曲、アーティストへの楽曲提供など。トラックメイカーとして活動中。							
【到達目標】 プロの作曲家、編曲家、エンジニア、アーティストとして最低限知っておかなければいけないデジタルの知識、録音、編集等のスキルなどを身につける							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認
2回目	デジタル化のしくみ、A/D D/Aコンバーター、サンプリング周波数ビット数とエイリアスと倍音
3回目	各種フォーマット、S/PDIF、AES/EBU、コアキシャル、オプティカル、圧縮フォーマット
4回目	ダイナミックレンジ、THD+N、ワードクロックの問題
5回目	シンセサイザーについて説明を行い各部の名称、仕組みを学び、理解する(10/10)・LFOについて
6回目	MacとWin、ノートとデスクトップ、ハードウェア構成の問題、ソフトアップデートの問題、自分のシステムを考える
7回目	他のシステムとの連携、互換、OMF、AAF、SMF
8回目	MIXの基本、リズムの修正、スライス、エラスティック
9回目	エフェクト処理の基本、オートメーション、編集作業
10回目	ステムミックス、パラレルミックス
11回目	フリーシンセ「Vital」を用いて指定した音色加工ができるようになる(10/10)ウェーブテーブルシンセサイザーを用いてリード、ブラック音色を作成
12回目	ピッチ修正（オートチューン、オートモード）
13回目	ピッチ修正（オートチューン、グラフィックモード1）
14回目	テスト実施
15回目	特別授業
準備学習 時間外学習	レコーディング機材の確認
評価方法	■出席率 40% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	デジタルレコーディングを理解し、クオリティの高いトラックメイクができるように学習しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 Logic Pro X、Noise Maker、Vital、Serum	

科目名 (英)	トラックメイクⅧ Track MakeⅧ	必修 選択	選択必修	年次	4		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント	授業形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜3限
【授業の学習内容】 Apple Logicを使用しダンスミュージックを主軸とした楽曲制作の手法の習得。ソフトウェアの使用方法、およびシンセサイザーの使用方法。 ＜実務者経験＞ 「もち浜ストア」テーマソング、アニメーション劇伴、テレビCM曲、アーティストへの楽曲提供など。トラックメイカーとして活動中。							
【到達目標】 プロの作曲家、編曲家、エンジニア、アーティストとして最低限知っておかなければいけないデジタルの知識、録音、編集等のスキルなどを身につける							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認
2回目	ボーカル録音、レイテンシー、リフレクションフィルター
3回目	ボーカル録音、レイテンシー、リフレクションフィルター
4回目	ボーカル録音、インプットミキサー、チャンネルストリップ
5回目	アコースティックギター録音、バミリ、ディレクション
6回目	エレキギター録音、ユニゾンテクノロジー、プラグイン処理
7回目	エレキギター録音、スピーカーシミュレーター、多くの方法の比較、歪み系エフェクター
8回目	アナログ感と歪み、歪みとレコーディングと音楽発展の歴史
9回目	アナログ感と歪み、プラグイン処理、リアンプ
10回目	マスタリング、DAWプラグイン、AI処理
11回目	マスタリング、WaveLab、ISRC、JAN
12回目	ノイズ対策、アナログ部分、デジタル部分、ノイズ除去
13回目	テスト実施
14回目	特別授業/卒業進級制作 準備
15回目	特別授業/卒業進級制作 準備
準備学習 時間外 学習	・Logicのインストール ・学習用素材のダウンロード
評価方法	■出席率 40% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 30%
受講生への メッセージ	楽器のレコーディングについて学習して自身の楽曲に更に磨きをかけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 Logic Pro X、Battery4	

科目名 (英)	ヴォイストレーニングⅠ	必修 選択	選択必修	年次	1		
	VoiceTrainingⅠ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 月曜日 1 限目
学科・コース	スーパー・エリタレント科・音楽プロデュース科・パフォーマンス芸術科						
【授業の学習内容】							
①Chestレジスター内もしくは少しMiddleレジスターに入るくらいのエリアで歌い、安心と安定を作る。							
②それぞれの声の特性を知り、それに則したトレーニングをする。							
③Headレジスターをじっくり作っていく。							
《講師プロフィール》							
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアボロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】							
①自分の声と向き合う習慣を持つ。							
②このトレーニングで行う3つのスケールを覚えて、歌うことができる。(5 ノート、オクターブ、オクターブ＆ハーフ)							
③楽曲練習にボーカライゼーションを取り入れる習慣を持つ。							
④ステージ経験をする。							

授業計画・内容	
1回目	【どんな授業？】 言葉は構成する要素には子音と母音があり、歌う際はこれのコンビネーションを使う。このクラスではそれらを分解し、スケール練習に入れることで、歌う下地を作る。自己紹介好きなアーティストを教えてください。なぜ好きなのか、どういふところをお手本にしたいのかまで聞く。こちらの到達目標も話し共有する。→トレーニング方法の講義、実演。(Liproll、Mum) 次回1コーラス歌ってみよう。
2回目	自分の好きな曲を歌ってみよう!!これを通してそれぞれの声の特徴を知っていきます。3つのトレーニング用スケールのレクチャー。ピアノで弾けるように。
3回目	始めはオの母音を中心にトレーニングをし、口を縦に開ける基礎を作る。課題曲①を使い、フレーズやセクション毎に歌ってもらおう。ボーカライゼーションも。
4回目	オの母音をまず復習し、アの母音にも応用するように口を開ける。課題曲①をセクションを跨いで歌唱。
5回目	ウの母音をレクチャー＆実演。オとアのトレーニングおさらいと経過観察。課題曲①を1コーラス歌唱してみよう。
6回目	イの母音をレクチャー＆実演。オとアとウのトレーニングおさらいと経過観察。課題曲②を使い、フレーズやセクション毎に歌ってもらおう。
7回目	エの母音をレクチャー＆実演。オとアとウとイのトレーニングおさらいと経過観察。課題曲②をセクションを跨いで歌唱。
8回目	全ての基本的な母音の口の開け方と共鳴をリラックスした状態でどこからどこまで歌えるのかを知る。課題曲②を1コーラス歌唱してみよう。
9回目	全ての基本的な母音の口の開け方と共鳴をリラックスした状態でどこからどこまで歌えるのかを知る②。課題曲③を使い、フレーズやセクション毎に歌ってもらおう。
10回目	3つのスケールをピアノで弾けるかをチェック。エクササイズ。課題曲③をセクションを跨いで歌唱。
11回目	質疑＆応答。エクササイズ。課題曲③を1コーラス歌唱してみよう。
12回目	課題曲①～③の中から1曲を選曲し、ステージで歌唱する。
13回目	振り返りとトレーニング。
14回目	学期末特別授業
15回目	学期末特別授業
準備学習 時間外学習	スケールの理解の為の反復。エクササイズを体現するための反復。
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	常に今のMyBestを録音しよう!!完璧じゃなくていい。後で聞いたときにきっと過去も今も誇れると思いますよ!!練習をする事で自分の事を知ろう!!経験を重ねることで成長しますので、その経験を重ねる努力をしていこう。
【使用教科書・教材・参考書】 ipad	

科目名 (英)	ヴォイストレーニングⅡ VoiceTrainingⅡ	必修 選択	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパーエンターテインメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜日 1 限目
【授業の学習内容】 ①Chestレジスター～Middleレジスターに入り、そのエリアで歌い、安心と安定を作る。 ②それぞれの声の特性を知り、それに則したトレーニングをする。 ③Headレジスターへの行き来をエクササイズに取り入れる。 〈講師プロフィール〉 200曲以上をレパートリーを持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井堅、海外では中国の日本大使館からNYアボロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 ①自分の声と向き合う習慣を持つ。 ②このトレーニングで行う3つのスケールをゆっくりでも弾きながら、歌うことができる。(5ノート、オクターブ、オクターブ&ハーフ) ③楽曲練習にボーカライゼーションを取り入れる習慣を持つ。 ④ステージ経験を積み重ねる。							

授業計画・内容	
1回目	前期を通して自分の声と向き合ってきたことをシェアしてみよう!! 3タイプに分ける。課題曲④を使い、フレーズやセクション毎に歌ってもらう。
2回目	LightChest、PullChest、Flipの3タイプのどれに属するかを診て、エクササイズを処方する。(個人をみるアプローチ) 課題曲④をセクションを跨いで歌唱。
3回目	それぞれのエクササイズへのアプローチを聴きながらアドバイスとエクササイズのプラス。課題曲④を1コーラス歌唱してみよう。
4回目	それぞれのエクササイズへのアプローチへのアドバイスとエクササイズのプラス。課題曲⑤を使い、フレーズやセクション毎に歌ってもらう。
5回目	それぞれのエクササイズへのアプローチへのアドバイスとエクササイズのプラス。課題曲⑤をセクションを跨いで歌唱。
6回目	それぞれのエクササイズへのアプローチへのアドバイスとエクササイズのプラス。課題曲⑤を1コーラス歌唱してみよう。
7回目	それぞれのエクササイズへのアプローチへのアドバイスとエクササイズのプラス。課題曲⑥を使い、フレーズやセクション毎に歌ってもらう。
8回目	それぞれのエクササイズへのアプローチへのアドバイスとエクササイズのプラス。課題曲⑥をセクションを跨いで歌唱。
9回目	それぞれのエクササイズへのアプローチへのアドバイスとエクササイズのプラス。課題曲⑥を1コーラス歌唱してみよう。
10回目	それぞれのエクササイズへのアプローチへのアドバイスとエクササイズのプラス。教室内リリ(曲を選んで歌唱)
11回目	後期の課題曲の中から1曲を選曲し、ステージで歌唱する。
12回目	振り返りとトレーニング。
13回目	振り返りとトレーニング。
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	自分に処方されたトレーニングを練習し、向き合う時間と歌の練習。
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	今までのMyBestの積み重ね、聞いてみましたか？時に過去の自分の歌から今の自分へのヒントが見つかることがありますよ。沢山の歌の思い出を作って行ってください。
【使用教科書・教材・参考書】 ipad	

科目名 (英)	ヴォイストレーニングⅢ Voice training Ⅲ	必修 選択	選択必修	年次	2		
学科・コース	スーパーエリメンタリー科・音楽プロデュース科・パフォーマンス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日 2 限目
【授業の学習内容】 ①シンガーにとって必要なヴォイストレーニングの基礎知識やノウハウを、実践を交えながら教えていく。また練習経過を丁寧に観察し、細やかなフィードバックや更なる練習法の提示、その後再度経過観察、を繰り返しながら声の基礎作りのサポートをする。 ②発声トレーニング（①）で学んだことを活かし歌唱の中で実践出来るようにレクチャーする。 〈講師プロフィール〉 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 声の基礎が固まり、様々な課題曲を自信を持って歌いこなすことが出来るようになる。							

授業計画・内容	
1回目	【発声】1年生の復習・呼吸・低音・表情筋の強化 【歌唱】共通 Bridge over troubled water (Simon&Garfunkel/LeannRimes) 発音・コツ・1 番を歌ってみよう
2回目	【発声】呼吸・低音・表情筋の徹底トレーニング 【歌唱】共通 Bridge over troubled water (Simon&Garfunkel/LeannRimes) 復習・1 曲通して歌ってみよう
3回目	【発声】ソルフェージュ・イーストレッチ・裏声 【歌唱】 Bridge over troubled water (Simon&Garfunkel/LeannRimes) ミニ発表会・1 人ずつ前で歌ってみよう
4回目	【発声】呼吸・低音・表情筋・イーストレッチの徹底トレーニング 【歌唱】 男 Fly me to the moon (FrankSinatra) 女 Top of the world (Carpenters) ※以下進行は1 曲目同様
5回目	【発声】ソルフェージュ・スタッカート・メミマム 【歌唱】 男 Fly me to the moon (FrankSinatra) 女 Top of the world (Carpenters)
6回目	【発声】クラシック発声・ロングトーン 【歌唱】 男 Fly me to the moon (FrankSinatra) 女 Top of the world (Carpenters)
7回目	【発声】まとめの小テスト 【歌唱】 男 Your song (EltonJohn) 女 The climb (MileyCyrus)
8回目	【発声】1対1での細かいチェックとフィードバック 【歌唱】 男 Your song (EltonJohn) 女 The climb (MileyCyrus)
9回目	【発声】前回からの経過チェック 【歌唱】 男 Your song (EltonJohn) 女 The climb (MileyCyrus)
10回目	【発声】呼吸・低音・表情筋の徹底トレーニング 【歌唱】 男 Love me tender (ElvisPresley) 女 So far away (CaroleKing) ※今回のみ仕上げ2 週間です
11回目	【発声】スタッカート・メミマム・ソルフェージュ・ロングトーン・クラシック発声の徹底トレーニング 【歌唱】 男 Love me tender (ElvisPresley) 女 So far away (CaroleKing)
12回目	曲決定・勘所のチェック・衣装の打ち合わせ・発表会のリハーサル
13回目	全体発表会（1 人1 曲・課題曲の中から選曲しステージで歌ってみよう）
14回目	学期末特別授業
15回目	学期末特別授業
準備学習 時間外学習	
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	人前で楽しく自信を持って歌えるように全力でサポートします！ いっぱい練習して来てください！
【使用教科書・教材・参考書】 歌詞カード・ノート・筆記用具・録音機器	

科目名 (英)	ヴォイストレーニングⅣ Voice training Ⅳ	必修 選択	選択必修	年次	2		
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 月曜日 2 限目
【授業の学習内容】 ①シンガーにとって必要なヴォイストレーニングの基礎知識やノウハウを、実践を交えながら教えていく。また練習経過を丁寧に観察し、細やかなフィードバックや更なる練習法の提示、その後再度経過観察、を繰り返しながら声の基礎作りのサポートをする。 ②発声トレーニング（①）で学んだことを活かし歌唱の中で実践出来るようにレクチャーする。 〈講師プロフィール〉 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 声の基礎が固まり、様々な課題曲を自信を持って歌いこなすことが出来るようになる。							

授業計画・内容	
1回目	【発声】前期の復習・個々の経過チェック 【歌唱】男She (ElvisCostello) 女Rainydays and mondays (Carpenter s) 発音・コツ・1 番を歌ってみよう
2回目	【発声】呼吸・低音・イーストレッチ強化 【歌唱】男She (ElvisCostello) 女Rainydays and mondays (Carpenter s) 復習・1 曲通して歌ってみよう
3回目	【発声】ソルフェージュ・クラシックボイス・裏声強化 【歌唱】男She (ElvisCostello) 女Rainydays and mondays (Carpenter s) ミニ発表会・1 人ずつ前で歌ってみよう
4回目	【発声】表情筋・ソルフェージュ・イーストレッチ強化 【歌唱】男Can you feel the love tonight (EltonJohn) 女Milion reasons (LadyGaga) ※以下進行は1 曲目同様
5回目	【発声】1 対 1 での細かいチェックとフィードバック 【歌唱】男Can you feel the love tonight (EltonJohn) 女Milion reasons (LadyGaga)
6回目	【発声】前回からの経過チェック 【歌唱】男Can you feel the love tonight (EltonJohn) 女Milion reasons (LadyGaga)
7回目	【発声】呼吸・低音・表情筋・ソルフェージュテスト 【歌唱】男Home (MichealBuble) 女Killing me softly (RobertaFlack)
8回目	【発声】スタカート・メロモム・クラシックボイステスト 【歌唱】男Home (MichealBuble) 女Killing me softly (RobertaFlack)
9回目	【発声】イーストレッチ・裏声テスト 【歌唱】男Home (MichealBuble) 女Killing me softly (RobertaFlack)
10回目	【発声】1 年間のまとめ・質疑応答 【歌唱】男Home (MichealBuble) 女Killing me softly (RobertaFlack) 後期発表会の曲決め
11回目	勘所のチェック・衣装の打ち合わせ・発表会のリハーサル
12回目	全体発表会（1 人 1 曲・課題曲の中から選曲しステージで歌ってみよう）
13回目	振り返りとトレーニング。
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	人前で楽しく自信を持って歌えるように全力でサポートします！ いっぱい練習して来てください！
【使用教科書・教材・参考書】 歌詞カード・ノート・筆記用具・録音機器	

科目名 (英)	ヴォイストレーニングⅤ	必修 選択	選択必修	年次	3		
	Voice TrainingⅤ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 月曜3限
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科						
【授業の学習内容】							
①各生徒の目標や問題点にフォーカスしてカウンセリングしています。②ウォーミングアップ、発声練習の具体的なやり方のレクチャーを全体で行い、その後個別に指導していきます。③発声練習で学んだ姿勢、呼吸、声の出し方を実際に歌で練習していきます。							
【講師プロフィール】							
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアボロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。							
【到達目標】							
①歌う前の適切なウォーミングアップと発声練習を習得、習慣化し、いつもベストなコンディションで歌えるようになる							
②学んだ発声の技術を歌に応用できるようになる							
③他者との比較ではなく自分の成長に集中し学習できるようになる							

授業計画・内容	
1回目	短いカウンセリング（質疑応答）、目標の確認、発声チェック、歌唱チェック
2回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
3回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
4回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
5回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
6回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
7回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
8回目	【発表会】各学生の改善点、課題に沿った課題曲を歌唱
9回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
10回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
11回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
12回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
13回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
14回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
15回目	【発表会】各学生の改善点、課題に沿った課題曲を歌唱
準備学習 時間外学習	発声練習 課題曲練習
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■発声の知識、理解度 ■課題曲
受講生への メッセージ	基礎力を身につけて弱点を克服するのはもちろんですが、しっかりと得意なところを伸ばしていきましょう。 体調、コンディションの管理なども徹底的にやっていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ヴォイストレーニングⅥ	必修 選択	選択必修	年次	3		
	Voice TrainingⅥ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 月曜3限
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科						
【授業の学習内容】							
①各生徒の目標や問題点にフォーカスしてカウンセリングしていきます。②ウォーミングアップ、発声練習の具体的なやり方のレクチャーを全体で行い、その後個別に指導していきます。③発声練習で学んだ姿勢、呼吸、声の出し方を実際に歌で練習していきます。							
【講師プロフィール】							
200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアボロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。							
【到達目標】							
①歌う前の適切なウォーミングアップと発声練習を習得、習慣化し、いつもベストなコンディションで歌えるようになる							
②学んだ発声の技術を歌に応用できるようになる							
③他者との比較ではなく自分の成長に集中し学習できるようになる							

授業計画・内容	
1回目	短いカウンセリング（質疑応答）、目標の確認、発声チェック、歌唱チェック
2回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
3回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
4回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
5回目	外化、発声チェック、歌唱チェック、発表会リハーサル
6回目	【発表会】各学生の改善点、課題に沿った課題曲を歌唱
7回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
8回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
9回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
10回目	外化、発声チェック、歌唱チェック（目標に合わせて深くアプローチ）
11回目	発表会リハーサル
12回目	【発表会】各学生の改善点、課題に沿った課題曲を歌唱
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	発声練習 課題曲練習
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■発声の知識、理解度 ■課題曲
受講生への メッセージ	レッスンごとに皆さんの目標をより明確にしていきます。 られる声とマインドを一緒に作っていきましょう。 歌い続け
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ヴォイストレーニングⅦ	必修 選択	選択必修	年次	4		
	Voice TrainingⅦ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科					曜日・時限	月曜2限
【授業の学習内容】							
①ヴォイストレーナーになるための必要な知識を身につけていきます。 ②課題曲を通して難易度の高い曲へのアプローチを学んでいきます。 ③模擬授業を通して講師としてのヴォキャブラリーを養っていきます（模擬授業は1年生を対象に行います）							
【講師プロフィール】 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。"□							
【到達目標】							
①歌う前の適切なウォーミングアップと発声練習を習得、習慣化し、いつもベストなコンディションで歌えるようになる ②学んだ発声の技術を歌に応用できるようになる ③他者との比較ではなく自分の成長に集中し学習できるようになる ④持っている知識を使い、他者の成長に貢献できる人材になる							

授業計画・内容	
1回目	ウォーミングアップ 発声個別チェック 課題曲 質疑応答
2回目	ウォーミングアップ 発声個別チェック 課題曲 質疑応答
3回目	模擬授業（腹式呼吸、表情筋）
4回目	ウォーミングアップ 発声個別チェック 課題曲 質疑応答
5回目	ウォーミングアップ 発声個別チェック 課題曲 質疑応答
6回目	模擬授業（イーストレッチ、低音）
7回目	ウォーミングアップ 発声個別チェック 課題曲 質疑応答
8回目	ウォーミングアップ 発声個別チェック 課題曲 質疑応答
9回目	模擬授業（裏声、共鳴）□
10回目	ウォーミングアップ 発声個別チェック 課題曲 質疑応答
11回目	ウォーミングアップ 発声個別チェック 課題曲 質疑応答
12回目	模擬授業（歌唱指導）□
13回目	ウォーミングアップ 発声個別チェック 課題曲 質疑応答
14回目	ウォーミングアップ 発声個別チェック 課題曲 質疑応答
15回目	【発表会】課題曲の発表会
準備学習 時間外学習	発声練習 課題曲練習
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■発声の知識、理解度 ■課題曲 ■模擬授業の内容
受講生への メッセージ	学んできた知識を人に伝えることで、さらに深い学びを得て自分を成長させることができます。 さらに高みを目指しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ヴォイストレーニングⅧ	必修 選択	選択必修	年次	4		
	Voice TrainingⅧ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 月曜2限
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科						
【授業の学習内容】 ①ヴォイストレーナーになるための必要な知識を身につけていきます。 ②課題曲を通して難易度の高い曲へのアプローチを学んでいきます。 ③模擬授業を通して講師としてのヴォキャブラリーを養っていきます（模擬授業は1年生を対象に行います） 【講師プロフィール】 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。"□							
【到達目標】 ①歌う前の適切なウォーミングアップと発声練習を習得、習慣化し、いつもベストなコンディションで歌えるようになる ②学んだ発声の技術を歌に応用できるようになる ③他者との比較ではなく自分の成長に集中し学習できるようになる ④持っている知識を使い、他者の成長に貢献できる人材になる							

授業計画・内容	
1回目	ウォーミングアップ 発声個別チェック 課題曲 質疑応答
2回目	ウォーミングアップ 発声個別チェック 課題曲 質疑応答
3回目	模擬授業（発声全般）
4回目	ウォーミングアップ 発声個別チェック 課題曲 質疑応答
5回目	ウォーミングアップ 発声個別チェック 課題曲 質疑応答
6回目	模擬授業（発声全般）
7回目	ウォーミングアップ 発声個別チェック 課題曲 質疑応答
8回目	ウォーミングアップ 発声個別チェック 課題曲 質疑応答
9回目	模擬授業（歌唱指導）
10回目	ウォーミングアップ 発声個別チェック 課題曲 質疑応答
11回目	ウォーミングアップ 発声個別チェック 課題曲 質疑応答
12回目	模擬授業（歌唱指導） □
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	発声練習 課題曲練習
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■発声の知識、理解度 ■課題曲
受講生への メッセージ	日々の習慣が強く魅力的な声をつくります。初心を忘れず基礎を磨いていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ヴォーカルパフォーマンス I	必修 選択	選択 必修	年次	1		
	Vocal Performance I	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科					曜日・時限	月曜日 3 限目
【授業の学習内容】 ピアノと一対一の最小規模のスタイルで、ステージでの歌唱、表現、演出を学ぶ。世界的に評価の高いピアノデュオ向きの楽曲を通して、ピアノ演奏とのコミュニケーションや対応力、歌唱の基盤、パフォーマンスを身につける。また、ソロヴォーカリストとして独自の確立を図る。 〈講師プロフィール〉 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 ピアノデュオというスタイルを、ピアニストと共に創り上げられるようになる。ピアノ以外に頼る部分がないことから、より一層歌唱を仕上げていけるようになる。ピアニストに明確に自分のイメージを演奏の形に指示できるようになる。フレージングやキー設定など、個々のスキルに沿ったの歌唱デザインが出来るようになる。							

授業計画・内容	
1回目	授業概要説明、課題曲①The Roseレクチャー（発音、音程、リズム、1コーラス仕上げ）
2回目	①復習、発表（1コーラス）、フルコーラス仕上げ、コーラスワークレクチャー
3回目	①復習、発表（フルコーラス、コーラスワーク）
4回目	②The long and winding road レクチャー（発音、音程、リズム、1コーラス仕上げ）
5回目	②復習、発表（1コーラス）、フルコーラス仕上げ
6回目	②復習、発表、フルコーラス仕上げ
7回目	③You light up my life, Now and foreverレクチャー（発音、音程、リズム、1コーラス仕上げ）
8回目	③復習、発表（1コーラス）、フルコーラス仕上げ
9回目	③復習、発表、フルコーラス仕上げ
10回目	④I won't last a day without you, Honestyレクチャー（発音、音程、リズム、1コーラス仕上げ）
11回目	④復習、発表（1コーラス）、フルコーラス仕上げ
12回目	④復習、発表、フルコーラス仕上げ
13回目	学期末発表会
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外 学習	課題アーティストに関連する動画の鑑賞、歌詞の和訳等
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	ピアノデュオというスタイルはヴォーカリストそのものが際立つ、非常にシンプルでダイレクトなスタイルです。このスタイルを習得することにより、ヴォーカリストとしての自信もつけていながら、より繊細に、よりダイナミックに、自分の持つ力を更に磨いていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 歌詞カード・ノート・筆記用具・録音機器	

科目名 (英)	ヴォーカルパフォーマンスⅡ	必修 選択	選択 必修	年次	1		
	Vocal Performance Ⅱ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパー・エンターテインメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科					曜日・時限	月曜日 3 限目
【授業の学習内容】 ピアノと一対一の最小規模のスタイルで、ステージでの歌唱、表現、演出を学ぶ。世界的に評価の高いピアノデュオ向きの楽曲を通して、ピアノ演奏とのコミュニケーションや対応力、歌唱の基盤、パフォーマンスを身につける。また、ソロヴォーカリストとして独自の確立を図る。 〈講師プロフィール〉 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカスクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 ピアノデュオというスタイルを、ピアニストと共に創り上げられるようになる。ピアノ以外に頼る部分がないことから、より一層歌唱を仕上げていけるようになる。ピアニストに明確に自分のイメージを演奏の形に指示できるようになる。フレージングやキー設定など、個々のスキルに沿った歌唱デザインが出来るようになる。							

授業計画・内容	
1回目	⑤Colorblind,Sheレクチャー（発音、音程、リズム、1コーラス仕上げ）
2回目	⑤復習、発表（1コーラス）、フルコーラス仕上げ、レクチャー
3回目	⑤復習、発表（フルコーラス、コーラスワーク）
4回目	⑥Let it rain,Hard to say I'm sorryレクチャー（発音、音程、リズム、1コーラス仕上げ）
5回目	⑥復習、発表（1コーラス）、フルコーラス仕上げ、レクチャー
6回目	⑥復習、発表（フルコーラス、コーラスワーク）
7回目	⑦Bridge over troubled waterレクチャー（発音、音程、リズム、1コーラス仕上げ）
8回目	⑦復習、発表（1コーラス）、フルコーラス仕上げ、レクチャー
9回目	⑦復習、発表（フルコーラス、コーラスワーク）
10回目	⑧Let it beレクチャー（発音、音程、リズム、1コーラス仕上げ）
11回目	⑧復習、発表（1コーラス）、フルコーラス仕上げ、レクチャー
12回目	総合発表会 本番
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	課題アーティストに関連する動画の鑑賞、歌詞の和訳等
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	ピアノデュオというスタイルはヴォーカリストそのものが際立つ、非常にシンプルでダイレクトなスタイルです。このスタイルを習得することにより、ヴォーカリストとしての自信もつけていながら、より繊細に、よりダイナミックに、自分の持つ力を更に磨いていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 歌詞カード・ノート・筆記用具・録音機器	

科目名 (英語表記)	キャリア教育 I	必修 選択	選択 必修	年次	1		
		授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科					曜日・時限	各クラスごとに異なる
【授業の学習内容】 本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ（思いやりの心）を理解し、セルフマネジメント（自己管理）とチームマネジメント（協働作業）が実践的にできるようになるための科目である。なお、より本科目を充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OB・OGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ「合同企業説明会」を別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるために、「海外実学研修」や「インターンシップ」などの校外学習を実施する。							
【到達目標】 1. セルフマネジメント（自己理解）を実践できる 2. チームマネジメント（協働作業）を実践し、集団での役割を果たすことができる 3. 自己の働く意義（勤労観・職業観）を説明できる 4. 目指す音楽業界を理解し、その特徴を説明できる 5. 自己実現（夢をかなえる）のための目標設定をし実践できる							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1 回目	集団（クラス）づくりの理解と実践（集団の中での自己の学校生活の土台づくりを行う）
2 回目	サポートアンケート実施。その他のインフォメーション 働く意義（勤労観・職業観）を理解し考える
3 回目	学園祭を盛り上げるためにはどうすれば良いか？「集団での役割」の理解と実践
4 回目	ネットリテラシー「集団での役割」の理解と実践
5 回目	「集団での役割」の理解と実践 <学園祭準備活動>
6 回目	グループワーク：音楽業界が求める人材を理解し、自己の目標を設定する
7 回目	グループワーク：音楽業界研究と自己の進路を考える ①
8 回目	グループワーク：人としての「在り方・生き方」を考え、自己の進むべき方向を定める
9 回目	グループワーク：希望進路を達成するための人間力を理解し、自己の現状を振り返る
1 0 回目	グループワーク：夢への一歩を踏み出す勇気を身につける
1 1 回目	グループワーク：音楽業界研究と自己の進路を考える ②
1 2 回目	グループワーク：セルフマネジメント（自己理解）とチームマネジメント（協働作業）の振り返り
1 3 回目	グループワーク：振り返りとこれからの目標を設定する
1 4 回目	CSU検定試験対策
1 5 回目	CSU検定試験
準備学習 時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、行動企業説明会、海外実学研修、動物施設での校外学習に参加する 3. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 【セルフマネジメント（自己理解）】 学習ポートフォリオ (5 0 %) 2. 【セルフマネジメント（自己理解）】 事前課題等の各種レポート (5 0 %)
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英語表記)	キャリア教育Ⅱ	必修 選択	選択 必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	各クラスごとに異なる
【授業の学習内容】 本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ（思いやりの心）を理解し、セルフマネジメント（自己管理）とチームマネジメント（協働作業）が実践的にできるようになるための科目である。なお、より本科目を充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OB・OGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ「合同企業説明会」を別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるために、「海外実学研修」や「インターンシップ」などの校外学習を実施する。							
【到達目標】 1. セルフマネジメント（自己理解）を実践できる 2. チームマネジメント（協働作業）を実践し、集団での役割を果たすことができる 3. 履歴書・プロフィールシート作成ができるようになる							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1 回目	自己理解 ① 働く意義（勤労観・職業観）を理解し考える
2 回目	自己理解 ② 自己PR/履歴書作成 <自己 P R ・ 趣味特技>
3 回目	自己理解 ③ 自己PR/履歴書作成 <専門分野 ・ 関心事>
4 回目	自己理解 ④ 自己PR/履歴書作成 <志望動機 ・ 立志作文>
5 回目	企業研究 ① 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会に向けての準備 ①
6 回目	企業研究 ② 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会に向けての準備 ②
7 回目	企業研究 ③ 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会の振り返り
8 回目	社会人準備 ① 夢をかなえた先輩たちの「行動の原則 +α」を学ぶ
9 回目	社会人準備 ② マネー教育（収入と支出のバランスを学ぶ）
1 0 回目	社会人準備 ③ 社会保険や税の仕組みなどを学ぶ
1 1 回目	「集団での役割」の理解と実践 ① <We are FSM 準備活動> ・ 自己理解とインターンシップ準備 ①
1 2 回目	「集団での役割」の理解と実践 ② <We are FSM 準備活動> ・ 自己理解とインターンシップ準備 ②
1 3 回目	卒業進級制作展 We are FSM
1 4 回目	卒業進級制作展 We are FSM
1 5 回目	卒業進級制作展 We are FSM 本番
準備学習 時間外学 習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、行動企業説明会、海外実学研修、動物施設での校外学習に参加する 3. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 【セルフマネジメント（自己理解）】学習ポートフォリオ (50%) 2. 【セルフマネジメント（自己理解）】事前課題等の各種レポート (50%)
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英語表記)	キャリア教育Ⅲ	必修 選択	選択 必修	年次	2		
		授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科					曜日・時限	各クラスごとに異なる
【授業の学習内容】 本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ（思いやりの心）を理解し、セルフマネジメント（自己管理）とチームマネジメント（協働作業）が実践的にできるようになるための科目である。なお、より本科目を充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OB・OGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ「合同企業説明会」を別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるために、「海外実学研修」や「インターンシップ」などの校外学習を実施する。							
【到達目標】 1. セルフマネジメント（自己理解）を実践できる 2. ホスピタリティを実践し、視野を拡大する。 3. 履歴書・プロフィールシート作成ができるようになる 4. インターンシップ、オーディションなど現場で行動できるコミュニケーション力をつける							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1 回目	自己理解とプレゼンテーション力強化 ① 個人スピーチの実施（自己肯定感を高める。）
2 回目	自己理解とプレゼンテーション力強化 ② 個人スピーチの実施（自己肯定感を高める。）
3 回目	自己理解とプレゼンテーション力強化 ③ 個人スピーチの実施（自己肯定感を高める。）
4 回目	ネットリテラシー「集団での役割」の理解と実践
5 回目	企業研究 ① 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会に向けての準備 ①
6 回目	企業研究 ② 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会に向けての準備 ②
7 回目	企業研究 ③ 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会の振り返り
8 回目	グループワーク ① チームワーク力
9 回目	グループワーク ② プレゼンテーション力
10 回目	グループワーク ③ イノベーション力
11 回目	自己理解とオーディション対策・インターンシップ準備 ①
12 回目	自己理解とオーディション対策・インターンシップ準備 ②
13 回目	自己理解とオーディション対策・インターンシップ準備 ③
14 回目	就職・デビュー対策講座① ※開催日はゲスト講師（講演者）・企業様のスケジュール変更になる場合があります。
15 回目	就職・デビュー対策講座② ※開催日はゲスト講師（講演者）・企業様のスケジュール変更になる場合があります。
準備学習 時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、行動企業説明会、海外実学研修、動物施設での校外学習に参加する 3. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 【セルフマネジメント（自己理解）】学習ポートフォリオ (50%) 2. 【セルフマネジメント（自己理解）】事前課題等の各種レポート (50%)
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英語表記)	キャリア教育Ⅳ	必修 選択	選択 必修	年次	2		
授業 形態		講義 演習		総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンタテインメント科・音楽プロデュース科					曜日・時限	各クラスごとに異なる
【授業の学習内容】 本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ（思いやりの心）を理解し、セルフマネジメント（自己管理）とチームマネジメント（協働作業）が実践的にできるようになるための科目である。なお、より本科目を充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OB・OGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ「合同企業説明会」を別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるために、「海外実学研修」や「インターンシップ」などの校外学習を実施する。							
【到達目標】 1. スピーチ能力を高める 2. 自分自身をしっかり表現できる 3. 履歴書・プロフィールシート作成ができるようになる 4. インターンシップ、オーディションなど現場で行動できるコミュニケーション力をつける							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1 回目	自己理解とプレゼンテーション力強化 ① 個人面談 （面接練習）
2 回目	自己理解とプレゼンテーション力強化 ② 個人面談 （面接練習）
3 回目	自己理解とプレゼンテーション力強化 ③ 個人面談 （面接練習）
4 回目	SNSについて学ぶ
5 回目	企業研究 ① 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会に向けての準備 ①
6 回目	企業研究 ② 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会に向けての準備 ②
7 回目	企業研究 ③ 新人発掘プレゼンテーション・合同企業説明会の振り返り
8 回目	スピーチ練習 スピーカーとは
9 回目	スピーチ練習 表現力を高める
1 0 回目	スピーチ練習 相手に伝えるには
1 1 回目	自己プロフィールを書く 将来の夢
1 2 回目	自己プロフィールを書く 一番得意な事
1 3 回目	卒業進級制作展 We are FSM リハーサル
1 4 回目	卒業進級制作展 We are FSM リハーサル
1 5 回目	卒業進級制作展 We are FSM 本番
準備学習 時間外学 習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、行動企業説明会、海外実学研修、動物施設での校外学習に参加する 3. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 【セルフマネジメント（自己理解）】 学習ポートフォリオ (5 0 %) 2. 【セルフマネジメント（自己理解）】 事前課題等の各種レポート (5 0 %)
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英語表記)	キャリア教育Ⅴ	必修 選択	選択 必修	年次	3		
		授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 各クラスごとに異なる
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科						
【授業の学習内容】 本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ（思いやりの心）を理解し、セルフマネジメント（自己管理）とチームマネジメント（協働作業）が実践的にできるようになるための科目である。なお、より本科目を充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OBOGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ「合同企業説明会」を別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるために、「海外実学研修」や「インターンシップ」などの校外学習を実施する。							
【到達目標】 1. 就職活動、デビュー活動を円滑に行うことが出来る							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1 回目	個人面談① 卒業後の目標を設定する
2 回目	個人面談② 卒業後の目標を設定する
3 回目	個人面談③ 卒業後の目標を設定する
4 回目	プロフィールシート、履歴書の書き方① 書式の説明
5 回目	プロフィールシート、履歴書の書き方② 記入
6 回目	プロフィールシート、履歴書の書き方③ チェック～フィードバック
7 回目	プロフィールシート、履歴書の書き方④ 修正～完成
8 回目	面接練習①
9 回目	面接練習②
1 0 回目	面接練習③
1 1 回目	面接練習 フィードバックと今後の対策
1 2 回目	前期のまとめ
1 3 回目	就職・デビュー対策講座③ ※開催日はゲスト講師（講演者）・企業様のスケジュール変更になる場合があります。
1 4 回目	就職・デビュー対策講座④ ※開催日はゲスト講師（講演者）・企業様のスケジュール変更になる場合があります。
1 5 回目	就職・デビュー対策講座⑤ ※開催日はゲスト講師（講演者）・企業様のスケジュール変更になる場合があります。
準備学習 時間外学 習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. O B ・ O G セミナー、行動企業説明会、海外実学研修、動物施設での校外学習に参加する 3. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 【セルフマネジメント（自己理解）】 学習ポートフォリオ (5 0 %) 2. 【セルフマネジメント（自己理解）】 事前課題等の各種レポート (5 0 %)
【使用教科書・教材・参考書】 新社会人の基礎力のテキスト（株式会社 教育企画センター）	

科 目 名 (英語表記)	キャリア教育Ⅵ	必修 選 択	選択 必修	年 次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形 態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	各クラスごとに異なる
【授業の学習内容】 本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ（思いやりの心）を理解し、セルフマネジメント（自己管理）とチームマネジメント（協働作業）が実践的にできるようになるための科目である。なお、より本科目を充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OBOGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ「合同企業説明会」を別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるために、「海外実学研修」や「インターンシップ」などの校外学習を実施する。							
【到達目標】 1. 就職活動、デビュー活動を円滑に行うことが出来る							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1 回目	新社会人の基礎力テキスト第1章「会社に入るということ」① 第1章01-10
2 回目	新社会人の基礎力テキスト第1章「会社に入るということ」② 第1章11-20
3 回目	新社会人の基礎力テキスト第2章「組織の中で働くということ」①第2章21-29
4 回目	新社会人の基礎力テキスト第2章「組織の中で働くということ」②第2章30-39
5 回目	新社会人の基礎力テキスト第3章「自分を成長させるキャリアパス」①第3章40-47
6 回目	新社会人の基礎力テキスト第3章「自分を成長させるキャリアパス」②第3章48-58
7 回目	新社会人の基礎力テキスト第4章「社会人の基礎力を高める」①第4章59-67
8 回目	新社会人の基礎力テキスト第4章「社会人の基礎力を高める」②第4章68-74
9 回目	新社会人の基礎力テキスト第5章「企業人として遵守すべき規範とは」①第5章75-86
1 0 回目	新社会人の基礎力テキスト第5章「企業人として遵守すべき規範とは」②第5章87-95
1 1 回目	新社会人の基礎力テキスト第6章「社会人として自分を守り高める」①第6章96-102
1 2 回目	新社会人の基礎力テキスト第6章「社会人として自分を守り高める」②第6章103-109
1 3 回目	卒業進級制作展 We are FSM リハーサル
1 4 回目	卒業進級制作展 We are FSM リハーサル
1 5 回目	卒業進級制作展 We are FSM 本番
準備学習 時間外学 習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. O B ・ O G セミナー、行動企業説明会、海外実学研修、動物施設での校外学習に参加する 3. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 【セルフマネジメント（自己理解）】 学習ポートフォリオ (5 0 %) 2. 【セルフマネジメント（自己理解）】 事前課題等の各種レポート (5 0 %)
【使用教科書・教材・参考書】 新社会人の基礎力のテキスト（株式会社 教育企画センター）	

科 目 名 (英語表記)	キャリア教育Ⅶ	必修 選 択	選択 必修	年 次	4		
		授 業 形 態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科					曜日・時限	各クラスごとに異なる
【授業の学習内容】 本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ（思いやりの心）を理解し、セルフマネジメント（自己管理）とチームマネジメント（協働作業）が実践的にできるようになるための科目である。なお、より本科目を充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OBOGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ「合同企業説明会」を別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるために、「海外実学研修」や「インターンシップ」などの校外学習を実施する。							
【到達目標】 1.進路先の決定							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1 回目	プロフィールシート、履歴書のチェック～フィードバック
2 回目	プロフィールシート、履歴書のチェック～フィードバック
3 回目	個人面談 進路活動状況の確認
4 回目	個人面談 進路活動状況の確認
5 回目	企業説明会
6 回目	企業説明会
7 回目	企業説明会
8 回目	企業説明会
9 回目	個人面談 進路活動状況の確認とフィードバック
1 0 回目	個人面談 進路活動状況の確認とフィードバック
1 1 回目	実務研修
1 2 回目	実務研修
1 3 回目	実務研修
1 4 回目	実務研修
1 5 回目	実務研修
準備学習 時間外学 習	魅力あるプロフィール・履歴書作成の為、自身のステージ出演・作品制作・関心事をメモやポートフォリオにまとめておく
評価方法	1.【セルフマネジメント（自己理解）】 学習ポートフォリオ (50%) 2.【セルフマネジメント（自己理解）】 事前課題等の各種レポート (50%)
【使用教科書・教材・参考書】	

科 目 名 (英語表記)	キャリア教育Ⅷ	必修 選 択	選択 必修	年 次	3		
		授 業 形 態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科					曜日・時限	各クラスごとに異なる
【授業の学習内容】 本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ（思いやりの心）を理解し、セルフマネジメント（自己管理）とチームマネジメント（協働作業）が実践的にできるようになるための科目である。なお、より本科目を充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「O B O Gセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ「合同企業説明会」を別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるために、「海外実学研修」や「インターンシップ」などの校外学習を実施する。							
【到達目標】 1.進路先の決定 2.社会人の基礎力の再確認と理解							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1 回目	実務研修
2 回目	実務研修
3 回目	実務研修
4 回目	復習 新社会人の基礎力テキスト第2章「組織の中で働くということ」①第2章21-29
5 回目	復習 新社会人の基礎力テキスト第2章「組織の中で働くということ」②第2章30-39
6 回目	グループワーク：人としての「在り方・生き方」の再考
7 回目	マネー教育（収入と支出のバランスを学ぶ）
8 回目	社会保険や税の仕組みなどを学ぶ
9 回目	復習 新社会人の基礎力テキスト第4章「社会人の基礎力を高める」①第4章59-67
1 0 回目	復習 新社会人の基礎力テキスト第4章「社会人の基礎力を高める」②第4章68-74
1 1 回目	復習 新社会人の基礎力テキスト第5章「企業人として遵守すべき規範とは」①第5章75-86
1 2 回目	復習 新社会人の基礎力テキスト第5章「企業人として遵守すべき規範とは」②第5章87-95
1 3 回目	卒業進級制作展 We are FSM
1 4 回目	卒業進級制作展 We are FSM
1 5 回目	卒業進級制作展 We are FSM 本番
準備学習 時間外学 習	魅力あるプロフィール・履歴書作成の為、自身のステージ出演・作品制作・関心事をメモやポートフォリオにまとめておく
評価方法	1.【セルフマネジメント（自己理解）】 学習ポートフォリオ (50%) 2.【セルフマネジメント（自己理解）】 事前課題等の各種レポート (50%)
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ミュージックセオリー I Music Theory I	選択 必修	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	半期 水曜2限
【授業の学習内容】 譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。 ※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家たちが担当							
【到達目標】 プロミュージシャンや声優、俳優には移調や楽曲制作、演奏に必要な基礎知識、裏方には照明や台本に照らし合わせてタイミングや間の取り方を、そして音楽の基礎知識をあまり必要としない学科の学生にも、学び方や、考え方の多面性を育てることが目標。							

授業計画・内容	
1回目	<楽譜の歴史> ファンデーションカリキュラムの説明、楽譜を時代ごとに追っていき、古代から現代への移り変わりを知る
2回目	<音名> 鍵盤と音名の一致 楽器ごとの音域を知る
3回目	<音符、休符> 音符、休符の表し方
4回目	<拍子記号> 小節線について、単純拍子、複合拍子は紹介のみ、タイ、シンコペーション
5回目	<反復記号> 反復記号を学び、音源を使用して楽譜を終えるようにする
6回目	<スコアリーディング> 楽譜と音源を使用し、前半の総復習
7回目	<確認テスト> 確認テスト
8回目	<メジャースケール> メジャースケールの仕組み、#系のメジャースケールの仕組み
9回目	<メジャースケール> 5度圏、b系のメジャースケールの仕組み
10回目	<記譜法、臨時記号> 調号を臨時記号の違い、臨時記号の効力、正しい楽譜の書き方
11回目	<テンポ、強弱記号> 速度記号、速度標語、強弱記号を学ぶ
12回目	<スコアリーディング> 楽譜と音源を使用し、後半の総復習
13回目	<期末テスト> 期末テスト
14回目	前期復習
15回目	後期内容の確認と予習
準備学習 時間外学 習	宿題はほぼありませんが、毎回プリントを提出して頂きます。
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 ミュージックセオリー教科書、ワークブック	

科目名 (英)	ミュージックセオリーⅡ Music TheoryⅡ	選択 必修	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	水曜2限
【授業の学習内容】 譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。 ※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家たちが担当							
【到達目標】 コード理論を学ぶにあたって、楽曲分析や作曲など創作に必要な知識を得る。							

授業計画・内容	
1回目	<マイナースケール> マイナースケールの仕組み、5度圏を用いてナチュラルマイナーの説明
2回目	<マイナースケール> ハーモニックマイナー、メロディックマイナーの説明
3回目	<近親調> 各調の関係を楽譜を用いて知る
4回目	<移調> 5線を用いて移調ができるようになる
5回目	<奏法> 省略記号、奏法記号、装飾記号を知る
6回目	確認テスト
7回目	復習・解説
8回目	<トライアド> コードの概念とトライアドの構造について知る
9回目	<7thコード> トライアドの知識を踏まえ7thコードに発展させる
10回目	<dim7と7thコードの復習> トライアドと7thコードの響きの違いを曲を用いて知る。dimコードの構造と響き
11回目	<その他のコード> add9,sus4,6thコードについて知る
12回目	テスト対策
13回目	期末予備テスト
14回目	期末テスト
15回目	復習・解説
準備学習 時間外 学習	コードについてのプリントで宿題がです。
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生への メッセージ	コードについて学ぶことは全ての演奏者にとって大切なことです。頑張りましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 ミュージックセオリー教科書、ワークブック、プリント	

科目名 (英)	ミュージックセオリーⅢ Music TheoryⅢ	選択 必修	選択必修	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜1限
【授業の学習内容】 譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。 ※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家たちが担当							
【到達目標】 メジャーダイアニックコードからマイナーダイアニックコードまでと、マイナーキーにおけるケーデンスまで。							

授業計画・内容	
1回目	＜メジャーダイアニックコード＞ダイアニックコードについて、コードネームとディグリーネームを書けるようにする
2回目	＜メジャーダイアニックコードの機能＞各機能の意味を知る、主要和音。代理和音について
3回目	＜ケーデンス＞終止形、ドミナントモーション、ⅡⅤ、セカンダリドミナント、偽終始について
4回目	＜転回形＞転回形の表記方法 ト音記号を用いた簡単なヴォイシング
5回目	＜ヴォイシング、複合拍子＞ケーデンスを実際に5線紙に書いてみる、8分の6拍子について詳しく学ぶ
6回目	中間テスト
7回目	復習・解説
8回目	＜マイナーダイアニックコード＞マイナーダイアニックコードの仕組み
9回目	＜マイナーダイアニックコード＞ハーモニックマイナー、メロディックマイナーのダイアニック
10回目	＜マイナーダイアニックコードの機能＞マイナーコードが持つ機能について知る
11回目	＜ヴォイシング＞マイナーキーにおけるケーデンスについて知る
12回目	＜スコアリーディング＞楽譜と音源を用いて後半の総復習
13回目	予備テスト
14回目	期末テスト
15回目	復習・解説
準備学習 時間外学習	基本的になし
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生への メッセージ	どんどん難しくなりますが、一緒に頑張りましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 ミュージックセオリー教科書、ワークブック、プリント	

科目名 (英)	ミュージックセオリーⅣ Music TheoryⅣ	選択 必修	選択必修	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	水曜1限
【授業の学習内容】 譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。 ※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家たちが担当							
【到達目標】 テンションの入るコード・ノンダイアトニックコードの入るコード進行の分析などができるようになる コード進行とスケールの関係を理解する							

授業計画・内容	
1回目	<ノンコードトーン> ノンコードトーン(経過音、刺繍音、掛留音、先取音、逸音)
2回目	<テンション> テンションの種類、コード使用可能テンション
3回目	<テンションリゾルブ> テンションの解決法、Omitの意味
4回目	<アベイラブルノートスケール> コードトーン、テンション、阿保井戸ノートについて、スケールの使い方について
5回目	<その他のスケール> マイナーのアベイラブルの紹介、ドミナントスケール、その他のスケール
6回目	中間テスト
7回目	復習・解説
8回目	<代理コード> メジャー、マイナーのダイアトニックコードの代理コードを中心にダイアトニック外の代理コードも知る
9回目	<代理コード> メジャー、マイナーのダイアトニックコードの代理コードを中心にダイアトニック外の代理コードも知る
10回目	<グリシェ、バッシング、定番コードパターン> グリシェ、バッシングコードの手法を学び、コードパターンを発展させる
11回目	<転調> 転調のパターンを知り、実践する
12回目	<アナライズ> 楽譜を用い、総復習を行う
13回目	テスト対策
14回目	期末テスト
15回目	復習・解説
準備学習 時間外 学習	基本的になし
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生への メッセージ	2年間の集大成です、頑張りましょう！！
【使用教科書・教材・参考書】 ミュージックセオリー教科書、ワークブック、プリント	

科目名 (英)	イヤートレーニング I Ear Training I	選択 必修	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	半期 水曜1限
【授業の学習内容】 譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。 ※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家たちが担当							
【到達目標】 音程 1 ～ 8 度、音程のまとめ、メジャーとマイナーの聞き分け。四分音符から 1 6 分音符まで。							

授業計画・内容	
1回目	<音名> リス`ムは四分音符と四分休符、2 線紙を使って音の高低を判定。
2回目	<音符、休符> 5 線紙を使っての書きとり、八分音符が入ったリス`ム打ち、3 線紙を使って音の高低判定。
3回目	<拍子記号> リス`ム八分休符の書きとり、5 線紙を使ってC～Eの書きとり、全音、半音と度数のみ
4回目	<反復記号> リス`ム復習、休符の多い書きとり問題、音程は1,2,3,8のみ
5回目	<スコアリーディング> リス`ム復習、1 6 分音符の導入、メロディー暗記問題、音程 1 , 2 , 3 , 8 度のみ、変化記号がついた場合。
6回目	<中間テスト>
7回目	<メジャースケール#系> リス`ム復習、1 6 分音符、書きとり、メロディーは跳躍進行、八分音符の導入、新曲視唱、音程は 1 ～ 5 , 8 トライトーン
8回目	<メジャースケールb系> リス`ム八分休符、八分音符の導入、メロディーはC～Fまでの順次進行、音程は 1 ～ 5 , 8 トライトーン②
9回目	<記譜法、臨時記号> リス`ム 8 分と 1 6 分の組み合わせの導入、メロディーC～Gまでの順次進行、音程 1 ～ 6 と 8 度
10回目	<テンポ、強弱記号> リス`ム 1 6 分と 8 分の組み合わせの導入、メロディーC～Gまでの跳躍進行、音程 1 ～ 8 度
11回目	<スコアリーディング> リス`ム総復習、メロディー総復習、音程 1 ～ 8 度
12回目	<予備テスト>
13回目	<期末テスト>
14回目	イベント実践を通してデザインスキルの必要性、重要性を学ぶ
15回目	イベント実践を通してデザインスキルの必要性、重要性を学ぶ
準備学習 時間外学 習	宿題はありませんが、進行に差し支える学生には復習プリントを用意しています。
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生への メッセージ	歌う事によって、体で音を感じていきましょう！！
【使用教科書・教材・参考書】 プリント	

科目名 (英)	イヤートレーニングⅡ Ear TrainingⅡ	選択 必修	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 水曜日2限
【授業の学習内容】 譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。 ※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家たちが担当							
【到達目標】 コードを聞きとる力、メロディを書きとる力を養い、実践に生かすこと。							

授業計画・内容	
1回目	<マイナースケール> リズム総復習、マイナーメロディの視唱、音程ドリル、メジャー、マイナーの聞きわけ
2回目	<マイナースケール> リズム、3連譜の導入、メロディ復習C〜Gまで、Cマイナースケールのメロディ視唱、コードC,F,Gの聞きわけ
3回目	<近親調> リズムC,F,Gコード付け導入、後付け、メロディC〜Aまでの臨時記号後付け、マイナースケールのメロディ視唱、音程ドリル
4回目	<移調>リズム 1 6 分 8 分 1 6 分の導入、メロディC〜Aまで臨時記号後付け、音程ドリル復習
5回目	<奏法> リズム符点 8 分 1 6 分の導入、タイの導入、後付け、メロディC〜Bまで臨時記号後付け、音程ドリル復習
6回目	<中間テスト>
7回目	<復習・解説>
8回目	<コード> リズム復習、メロディ低音部の書きとり、音程ドリル復習メジャーマイナーの聞きわけ
9回目	<コード4和音> リズム 8 分の 6 拍子、8 分 1 6 分 1 6 分の導入、低音部の書きとり、音程ドリル復習
10回目	<Dim7と7thコード復習> リズム 1 6 分休符の導入、8 分の 6 拍子、1 6、1 6、8 分の導入、2 声メロディ聞きとり
11回目	<その他のコード> 復習リズム打ち 8 分の 6 拍子、3 連譜の導入、2 声メロディ、音程ドリル復習
12回目	テスト対策
13回目	期末予備テスト
14回目	期末テスト
15回目	復習・解説
準備学習 時間外 学習	特にはなし
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生への メッセージ	慣れるとどんどんできてきます、お楽しみに！
【使用教科書・教材・参考書】 プリント	

科目名 (英)	イヤートレーニングⅢ Ear TrainingⅢ	選択 必修	選択必修	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日2限
【授業の学習内容】 譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。 ※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家たちが担当							
【到達目標】 EtⅠ、Ⅱをふまえて2声メロディ、ハーモニー、1, 3, 4, 5, 6, 7, 8、度音程、コード進行、タイ、臨時記号付きなどより難易度が高い聴きとり、書きとりをできるようにすること。							

授業計画・内容	
1回目	リス`ム4分の4、4分の3拍子の聴きとり、8分の6拍子のリス`ム打ち。メロディ1オクターブと2声メロディ書きとり。
2回目	リス`ム打ち8分の6拍子、メロディは1オクターブ+低音B、Cmの聴きとり、2声ハーモニーの導入、3度音程のハーモニー練習、IⅣⅤの進行
3回目	リス`ム4分の4、4分の3のタイ付き、8分の6書きとり、2声ハーモニーと3度の音程、IⅣⅤの進行その②
4回目	リス`ム4分の4、4分の3に16分音符の導入、メロディは1オクターブ+低音A、Amでのメロディ聴きとり、トライトーンハーモニーの練習
5回目	リス`ム4分の4、4分の3に16分音符、タイの導入、メロディは2オクターブ+低音A、Amでのメロディ聴きとり、2声ハーモニーの練習
6回目	中間テスト
7回目	復習・解説
8回目	リス`ム4分の4、4分の3、8分の6、メロディはKeyF、2声。ハーモニーの復習、コードⅡⅤⅠの聴きとり
9回目	8分の6、タイ付きリス`ム導入、メロディはKeyF、2声メロディ、ハーモニー復習
10回目	リス`ムはそれぞれにタイと符点付き、メロディは16分音符を導入、2声ハーモニーはオクターブとユニゾンの練習
11回目	タイ付きリス`ム書きとり、2声ハーモニーの復習
12回目	総合復習
13回目	予備テスト
14回目	期末テスト
15回目	復習・解説
準備学習 時間外学 習	基本的になし
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生への メッセージ	より専門的な勉強です。基礎をしっかりと学びましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 プリント	

科目名 (英)	イヤートレーニングⅣ Ear TrainingⅣ	選択 必修	選択必修	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 水曜日2限
【授業の学習内容】 譜面を読む、書く、歌うなど、こちらの課題プリントにて学習していきます。LMとリンクしているので、総合的に音楽の基礎を学びます。 ※実務者経験：株式会社国際エジュケーションズ所属、クラシック・ポピュラーミュージック業界での活動を10年以上続けるミュージシャン・音楽家たちが担当							
【到達目標】 スコアをみた段階で歌えたり、コード進行を考えたり、自分の音楽に対して有効な基礎を生分集大成。							

授業計画・内容	
1回目	リズム 4分の4、4分の3、8分の6拍子復習、メロディはKEY=G。8分の6メロディ視唱、2声メロディは1 6分3連譜導入
2回目	リズム4分の4、4分の3、8分4分8分の導入、この週から8分の6はメロディ問題と統合、2声メロディ、ハーモニー復習、コード聞き分け
3回目	リズム4分の4、4分の3、メロディ聞き分け、視唱、コードⅡⅤⅠの聞き分け
4回目	リズム4分の4、4分の3、1 6分、符点8分の導入、8分の6メロディ聞きとり、2声ハーモニー復習、コードⅥを含む聞き分け
5回目	リズム4分の4、復習、4分の3、1 6分8分の6メロディ聞き分け、視唱、KEY=Gの聞き取り、コードⅡⅤⅠ聞き分け
6回目	中間テスト
7回目	復習・解説
8回目	タイ付きリズム導入、2拍程度の短いフレーズで8分の6拍子、KEY=Fメロディ、2声メロディ復習、2声ハーモニー復習
9回目	リズム4分の4、4分の3、符点4分8分の導入、1 6分8分の6復習、視唱、KEY=F復習、オクターブとユニゾンのハーモニー練習
10回目	スコアリーディング①
11回目	スコアリーディング②
12回目	総合復習
13回目	予備テスト
14回目	期末テスト
15回目	復習・解説
準備学習 時間外 学習	基本的になし
評価方法	中間テストと期末テストの平均
受講生への メッセージ	2年間の集大成です。プロへの道としてしっかり学びましょう！！
【使用教科書・教材・参考書】 プリント	

科目名 (英)	デジタルファンデーションⅠ Digital FoundationⅠ	必修 選択	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
				曜日・時限	水曜3限		
【授業の学習内容】							
社会においてIT知識、広告・宣伝は欠かせないものであり、消費者として普段からよく目にするものでもある。 この科目の受講者自身にはビジネスにおけるIT知識、広告宣伝に使えるデザインの基礎知識を習得し、 講義では、デザイン技術、演習を中心に、使用頻度の高いアプリケーションを用いてスキル習得していく。							
実務者経験：大学職員管理システム開発、ネット印刷ECシステム開発、AIでの見積もり算出管理システム開発、DIP							
【到達目標】							
Macを自由に扱えるようになる。履修者全員がデジタルポートフォリオを所持できるようになる。 Adobe Photoshopの基本操作ができるようになる。（レタッチ中心） Adobe Illustratorの基本操作ができるようになる。（ベジェ曲線操作、デザイン中心） STUDIOを利用した自身のデジタルポートフォリオ（web）の運営ができるようになる。 Canvaでプレゼン資料や、名刺を作れるようになる。							
授業計画・内容							
1回目	Keynote基本操作理解。文字入力、サイズ、アニメーション Keynote（自己紹介PPT）を使用して資料を作成しプレゼンする						
2回目	ワードエクセル基本操作理解。ワード（ビジネス文章）/エクセル(タイムテーブル)提出 優秀資料のプレゼン発表する						
3回目	PhotoshopとIllustratorの違いを文字入力で理解、基本操作（ワークスペース、ツールバー、パレット、画面拡張、新規作成、保存）【Ai】図形						
4回目	【Ai】基本操作 選択、図形、バウンディングボックス、カラー、変形、重ね順、図形応用、ダイレクト選択ツール、スタイライズ、パスファインダ、整列、テキスト入力、グループ化、ベジェ曲線、スウォッチ、模様、グラデーション						
5回目	【Ps】レタッチと保存方法。画像変形、写真補正、カラーモード、解像度、フォーマット						
6回目	【Ai】配置画像を用いたフライヤーデザイン、クリッピングマスク、目を引くデザインとは何か。（コンセプト～ラフ作成・色理解～提案～レイアウトデザイン～ブラッシュアップ）						
7回目	【Ps】【Ai】写真を複数用いたフライヤー作成。イベントのロゴマーク						
8回目	【Ps】【Ai】写真を複数用いたフライヤー作成（レイアウトデザイン～ブラッシュアップ）よいデザイン、正確なデータ作成とは何かを考えて仕上げる						
9回目	【Ps】【Ai】オリジナルのLINEスタンプ作成、Psでの描画表現、Aiのブラシツール、アートボード、保存形式を指定して書き出し						
10回目	【STUDIO】自身のポートフォリオサイト作成の基礎。SNSアイコン等に使用できるデータ作成。リサイズ、フォーマット、商用利用可能素材。						
11回目	【STUDIO】自身のポートフォリオサイトを作成、STUDIO基本操作習得。TOP画像と初回授業で作成した自己紹介Keynoteの更新、素材を集める。						
12回目	【STUDIO】サイトの構成を考え、用意した素材を利用して作成し、完成させる。						
13回目	ポートフォリオサイトの提出 到達度テスト						
14回目	イベント実践を通してデザインスキルの必要性、重要性を学ぶ						
15回目	イベント実践を通してデザインスキルの必要性、重要性を学ぶ						
準備学習 時間外学習	定期的にメディアやサイト、店舗で雑誌のデザイン、CDのデザインなどを見て、自分の好みをよく考える						
評価方法	筆記又は、実技テストによる採点						
受講生への メッセージ	映像・写真を用いた魅力的な作品（ポートフォリオ）を制作できるようになってください。						
【使用教科書・教材・参考書】							
Mac,Microsoft office,Adobeアプリケーション、Canva							

科目名 (英)	デジタルファンデーションⅡ Digital FoundationⅡ	必修 選択	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
				曜日・時限	水曜3限		
【授業の学習内容】							
写真やビデオ等の映像機器及び映像編集ソフトを用いた表現に関する学習を通して、表現力・映像処理能力を高める。							
実務者経験：大学職員管理システム開発、ネット印刷ECシステム開発、AIでの見積もり算出管理システム開発、DIP							
【到達目標】							
履修者全員が動画制作ができるようになる。 Adobe AfterEffectsの基本操作ができるようになる。(アニメーション作成・エフェクト適用・実写合成中心) Adobe Premiereの基本操作ができるようになる。(カット編集中心) Youtubeに動画投稿し、自身が制作した動画を他社に共有できるようになる。							
授業計画・内容							
1回目	【Ae】AfterEffectsの基本操作理解。 新規プロジェクト作成、コンポジション作成、平面作成、テキスト入力、図形作成、素材読み込み。最終課題説明。						
2回目	【Ae】キーフレームアニメーションの理解。 基本的なパラメータを使用したキーフレームアニメーションの作成、動画書き出し方法を学ぶ。						
3回目	【Ae】トランジションの作成。 キーフレームアニメーションを用いてトランジション映像を作成し、発表をする。						
4回目	【Ae】テキストアニメーションを理解し、リリックビデオ制作に役立つ機能を取得する。						
5回目	【Ae】テキストアニメーションを理解し、リリックビデオ制作に役立つ機能を取得する。 エフェクトやテキストアニメーションプリセットを利用し、短いリリックビデオを作成、発表する。						
6回目	【Ae】エフェクトを理解し、ダンスビデオ制作に役立つ機能を取得する。 読み込んだ動画素材にエフェクトを適用し、エフェクトの機能を学ぶ。						
7回目	【Ae】エフェクトを理解し、ダンスビデオ制作に役立つ機能を取得する。 読み込んだ動画素材にエフェクトを適用し、動画を作成、発表する。						
8回目	【Ae】自動トラッキング機能について理解し、実写合成に役立つ機能を取得する。 読み込んだ動画素材と入力したテキストを合成する。						
9回目	【Pr】Premiereの基本操作理解。 新規プロジェクト作成、シーケンス作成、素材の読み込み、カット編集、字幕入力、色調補正、動画書き出し。Youtubeに動画を投稿しURLを共有する。						
10回目	最終課題選定。リリックビデオ・ダンスビデオ、実写合成から最終課題のジャンルを選択し、映像の構成を考える。 アイデア出し～絵コンテ制作について理解し、完成させる。						
11回目	個人制作						
12回目	個人制作						
13回目	個人制作と最終課題の提出(Youtubeに投稿しリンクを提出する) 到達度テスト						
14回目	イベント実践を通してデザインスキルの必要性、重要性を学ぶ						
15回目	イベント実践を通してデザインスキルの必要性、重要性を学ぶ						
準備学習 時間外学習	定期的にメディアやサイト、店舗で雑誌のデザイン、CDのデザインなどを見て、自分の好みをよく考える						
評価方法	筆記又は、実技テストによる採点						
受講生への メッセージ	映像・写真を用いた魅力的な作品（ポートフォリオ）を制作できるようになってください。						
【使用教科書・教材・参考書】							
Mac,Microsoft office,Adobeアプリケーション							

科目名 (英)	グローバルコミュニケーション Global Communication	必修 選択	選択	年次	1.2.3.4		
		授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	240 (16)	開講区分 曜日・時限	受講者のレベルにより異なる 受講者のレベルにより異なる
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科						
【授業の学習内容】 日常生活の様々な場面で使える頻度の高いコミュニケーション英語を学ぶ。 ※講師 1 実務者経験：2001年より日本にて英会話講師の経験あり ※講師 2 実務者経験：2000年より日本にて教授をしている。小学、中学、高等学校等で英会話の教授経験あり。							
【到達目標】 様々な場面で出てくるトピックに関して、自信を持って話せるようになる。							
授業計画・内容							
1回目	EVOLVE UNIT 01 ※使用テキスト（EVOLVE1.2.3）は受講者レベルにより異なる						
2回目	EVOLVE UNIT 02						
3回目	EVOLVE UNIT 03						
4回目	EVOLVE UNIT 04						
5回目	EVOLVE UNIT 05 授業内小テスト						
6回目	EVOLVE UNIT 06						
7回目	中間試験						
8回目	EVOLVE UNIT 07						
9回目	EVOLVE UNIT 08						
10回目	EVOLVE UNIT 09						
11回目	EVOLVE UNIT 10 授業内小テスト						
12回目	EVOLVE UNIT 11						
13回目	EVOLVE UNIT 12						
14回目	試験前対策						
15回目	期末試験						
準備学習 時間外学習	事前に教科書を読んでおきましょう。						
評価方法	TOEIC中間・期末試験の結果 60% 授業内小テストの結果 10% 授業内課題への取り組み 10% 出席状況 20%						
受講生への メッセージ	皆さんは既にたくさんの英語を知っています。英語を話せるように、一緒に頑張りましょう！						
【使用教科書・教材・参考書】 EVOLVE1.2.3 ※受講者のレベルにより異なる							

科目名 (英)	韓国語講座 I Korean	必修 選択	選択	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜2限
【授業の学習内容】 文字の読み、書き、発音。挨拶をする/ 自己紹介をする。国籍、趣味、職業、好みを尋ねる。家族紹介をする。場所を尋ねる。 (講師プロフィール) 韓国出身。日本在住22年。大学で観光経営学を学ぶ。日韓通訳案内士の免許を持って、通訳や翻訳。日本認定心理士の資格を持つ。							
【到達目標】 文字を読める書ける。 簡単な挨拶が出来る。 平易な韓国語が理解でき、初歩的な韓国語でコミュニケーションがとれるようになる							

授業計画・内容	
1回目	ハングルの仕組みと基本母音字
2回目	子音字（1）平音
3回目	子音字（2）激音、濃音
4回目	合成母音字
5回目	パッチム（一文字パッチム、二文字パッチム）
6回目	日本語のハングル表記、辞書引き方、キーボードの打ち方、発音上手になるコツ、小テスト（単語の正しい表記、発音通りの表記）
7回目	自己紹介：私は日本人です（～は、～です、～と申します、～といいます）
8回目	趣味は何ですか？（～が、～は、～ですか）語彙 単語
9回目	韓国人ではありません（～でいらしゃいますか、～ではありません）
10回目	今、日本にいます（あります・います/ありません・いません）、こそあど言葉
11回目	週末には普段何をしていますか？（します、しています、～です、～ですか）
12回目	演劇を見ます（です、ますのかしこまった丁寧語、用言の否定語、動詞の反対語、ハッピーバースデーの歌）
13回目	何料理が好きですか（です、ますの打ち解けた丁寧語）
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	テキストを見て学習した内容の復習をしましょう
評価方法	■出席率50% ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】小テスト50%
受講生への メッセージ	前期の授業ですべての韓国語の文字が読めます。文字が読めるとKPOPをもっと楽しめます 自分の名前も韓国語で書いて簡単な自己紹介もできます。
【使用教科書・教材・参考書】 楽しく学べる韓国語	

科目名 (英)	韓国語講座Ⅱ Korean	必修 選択	選択	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	水曜2限
【授業の学習内容】							
値段を尋ねる〔買い物〕。予定について話す。道を尋ねる。食事や映画を誘う。希望を述べる。							
(講師プロフィール)							
韓国出身。日本在住22年。大学で観光経営学を学ぶ。日韓通訳案内士の免許を持って、通訳や翻訳。日本認定心理士の資格を持つ。							
いつ、どこ、誰が、なぜ、どのように、いくらなどを使って簡単な会話できる。韓国旅行で買い物ができる。電車に乗ったり、道を尋ねる事が出来る。食堂で好きな食べ物を注文することなど簡単な会話ができる。							
授業計画・内容							
1回目	とても素敵でよかったです 用言の過去形（～した、～かった、だった）形容詞の反対語						
2回目	この靴いくらですか？漢数詞いち、に さん,,,,, けれど～ですね						
3回目	夕方 6 時から 1 0 時まであります、固有数詞一つ、二つ、三つ,,,,,						
4回目	運転できますか 可能、不可能の表現						
5回目	食事はされましたか 敬語（現在の尊敬語、～なさる、～される/過去の敬語、～なさった）						
6回目	旅行はどこへ行きますようか 勧誘形、しましょう/ざんざいな言い方/助詞～で、～の方へ						
7回目	映画を見たいです ～がしたい/～したがる						
8回目	写真を撮ってもいいですか してもいい/してみる/しないでください禁止						
9回目	報告書を作らなければなりません 義務、条件 しなければなりません						
10回目	コンビニがあるのでそこで尋ねてください 原因、理由 ～だから、～ので						
11回目	何をなさいますか ～します意志や推測の表現						
12回目	冬休みの時何をするつもりですか ～と思います、～のために						
13回目	<期末テスト>						
14回目	卒業進級制作展						
15回目	卒業進級制作展						
準備学習 時間外学 習	特にありません。						
評価方法	■出席率 5 0 % ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】小テスト 5 0 %						
受講生への メッセージ	文字は読めるようになったので、楽しく、しっかり基礎を勉強することによって、ますます興味を持つようになると思います。これから自分でも言いたいことを会話文を作ってどんどん会話しましょう。						
ぼ同じなので単語はたくさん覚えましょう。 日本語の語順とは							
【使用教科書・教材・参考書】							
楽しく学べる韓国語							

科目名 (英)	韓国語講座Ⅲ Korean	必修 選択	選択	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜2限
【授業の学習内容】 初対面の人と話す。趣味、家族、職業について話す。手紙やメールを書く。道案内をする。誘ったり、希望を述べる 感想をいう。 (講師プロフィール) 韓国出身。日本在住22年。大学で観光経営学を学ぶ。日韓通訳案内士の免許を持って、通訳や翻訳。日本認定心理士の資格を持つ。							
【到達目標】 自己紹介と他人の紹介ができる。交通手段を尋ねる事ができる。手紙やメールを書ける。誘ったり、希望を述べたり、 感想をいう事ができる。							

授業計画・内容	
1回目	お名前は何とおっしゃいますか (インタビューする) 会話 単語 表現
2回目	打ち解けた敬語 ～でいらっしゃいますか/条件、仮定 ～たら /意図、計画 ～ししたいと思います①練習問題 日本語を韓国語に訳する
3回目	朝子といいますが、日本から来ました (自己紹介) 会話 単語 表現
4回目	説明、紹介 ～なので/ 以来、期間～してから/動作の順序～した後で、～する前に 1) メールを読む
5回目	魚は焼かないでください(決まりを言う) 会話 単語 表現
6回目	義務～しなければなりません 2) メールを読む ② 練習問題 日本語を韓国語に訳する
7回目	丁寧な命令、許可、禁止～ください/～でもいいですか/～してはいけません
8回目	ファンの集いに行くことになりました(約束をする) 会話 単語 表現
9回目	形容詞の連体形～な、～い/理由～で、～なので/決心～することにしました ③ 練習問題 日本語を韓国語に訳する
10回目	道を渡って左にずっと行ってください(道案内をする) 会話 単語 表現
11回目	位置を表す語 前、後、左、右/ 手段～で/動作の順序～してから 3) メールを書く
12回目	ファンの集いに行ってみてください(感想を言う) 会話 単語 表現
13回目	動作、存在の現在連体形 ～している、～する～/試行、経験 ～してみました
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	特にありません。
評価方法	■出席率50% ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】小テスト50%
受講生への メッセージ	日常会話が少しずつ言えるようになります。 KPOPの歌詞も少しずつ訳することができます。
【使用教科書・教材・参考書】 楽しく学べる韓国語	

科目名 (英)	韓国語講座Ⅳ Korean	必修 選択	選択	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 水曜2限
【授業の学習内容】 一日の日課を話す。敬語で丁寧に依頼する。体の具合を言う。人の趣向や性格を言う。間接話法で伝える。 (講師プロフィール) 韓国出身。日本在住22年。大学で観光経営学を学ぶ。日韓通訳案内士の免許を持って、通訳や翻訳。日本認定心理士の資格を持つ。							
【到達目標】 最近のマイブームや経験したことを話することが出来る。敬語を使ってより丁寧な依頼をすることができる。体の具合を説明できる。間接話法で伝えることができる。							

授業計画・内容	
1回目	「朝子さんの一日」 読解 読んで韓国語で質問したり、答えましょう
2回目	「少し安くしてください」店での買い物 依頼
3回目	～してみてください(勧誘/アドバイス) /～させていただきますか(より丁寧な依頼)
4回目	「私の気持ちですから受け取ってください」(プレゼントする) ～だから(理由)
5回目	～ですね(感嘆) /～そうです、～だろうと思います(推測)
6回目	「咳がひどくて眠れませんでした」(体の具合をいう)
7回目	～出来ない(不可能) /～時、するとき(時間、場合)
8回目	「字幕を見ながら勉強しています」(勉強の仕方を話す)
9回目	～する方です(傾向) /～しながら(同時、並行動作) /～するのが(事柄)
10回目	「今日は来られないそうです」(話を伝える、間接話法)
11回目	～だそうです、～だったそうです(間接話法過去)
12回目	久しぶりに来てみて、どうですか(思い出を話す)
13回目	<期末テスト>
14回目	卒業進級制作展
15回目	卒業進級制作展
準備学習 時間外学習	特にありません。
評価方法	■出席率50% ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】小テスト50%
受講生への メッセージ	日常会話が出来て、一人で韓国に行った場合でも基本的な事柄に対応が出来るようになります。
【使用教科書・教材・参考書】 ちよこつとチャレンジ！韓国語	

科目名 (英)	韓国語講座Ⅴ Korean	必修 選択	選択	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
【授業の学習内容】 一日の日課を話す。敬語で丁寧に依頼する。体の具合を言う。人の趣向や性格を言う。間接話法で伝える。 (講師プロフィール) 韓国出身。日本在住22年。大学で観光経営学を学ぶ。日韓通訳案内士の免許を持って、通訳や翻訳。日本認定心理士の資格を持つ。							
【到達目標】 韓国語の中級文法を理解し、日常会話や簡単なビジネス会話ができる。 自分の意見や感想を韓国語で表現することができる 簡単な韓国語エッセイやスピーチ文を書けるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション／中級文法の復習・自己紹介リニューアル
2回目	～しなければなりません／～してもいいですか？（義務・許可）
3回目	～と思います／～つもりです（意見・意志の表現）
4回目	～しながら／～した後で（連続・並行動作）
5回目	短い記事やコラムの読解練習①（読解と要約）
6回目	韓国の文化紹介プレゼン①準備（テーマ選定・語彙準備）
7回目	韓国の文化紹介プレゼン①発表＆フィードバック
8回目	韓国語での買い物・レストランのやりとり練習
9回目	韓国語でのSNS投稿を読んで、意見交換
10回目	韓国語日記・エッセイの書き方①（構成と語彙）
11回目	韓国語エッセイ執筆①「私の好きな場所」
12回目	韓国語で電話・メールでのやりとり
13回目	<期末テスト>
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	特にありません。
評価方法	■出席率50% ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】小テスト50%
受講生への メッセージ	日常会話が出来て、一人で韓国に行った場合でも基本的な事柄に対応が出来るようになります。
【使用教科書・教材・参考書】 ちょこっとチャレンジ！韓国語	

科目名 (英)	韓国語講座Ⅵ Korean	必修 選択	選択	年次	3		
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
【授業の学習内容】 一日の日課を話す。敬語で丁寧に依頼する。体の具合を言う。人の趣向や性格を言う。間接話法で伝える。 (講師プロフィール) 韓国出身。日本在住22年。大学で観光経営学を学ぶ。日韓通訳案内士の免許を持って、通訳や翻訳。日本認定心理士の資格を持つ。							
【到達目標】 韓国語のニュースや映像を聞いて要点を理解する力を養う。 複雑な意見交換やディスカッションが韓国語でできる。 実践的な会話力と表現力を高め、社会的テーマにも対応できる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション／3年次の学びの振り返りと目標設定
2回目	コース記事を読む①（社会・文化）
3回目	コース記事を読む②（政治・経済）
4回目	韓国語のニュース映像を見て要約／内容確認
5回目	中級～上級文法①（仮定・条件文）
6回目	意見を述べる表現（～と思われる、～と考えられる）
7回目	ディスカッション①：日韓の若者文化
8回目	中級～上級文法②（原因・理由の複文構造）
9回目	韓国語でのSNS論争を読んで考察／まとめ
10回目	韓国語ディベート準備①（立場・主張の練習）
11回目	韓国語ディベート実践②（グループ形式）
12回目	韓国語のエッセイ執筆②「未来の社会」
13回目	<期末テスト>
14回目	卒業進級制作展
15回目	卒業進級制作展
準備学習 時間外学 習	特にありません。
評価方法	■出席率50% ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】小テスト50%
受講生への メッセージ	日常会話が出来て、一人で韓国に行った場合でも基本的な事柄に対応が出来るようになります。
【使用教科書・教材・参考書】 ちょこっとチャレンジ！韓国語	

科目名 (英)	韓国語講座Ⅶ Korean	必修 選択	選択	年次	4		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期
【授業の学習内容】 一日の日課を話す。敬語で丁寧に依頼する。体の具合を言う。人の趣向や性格を言う。間接話法で伝える。 (講師プロフィール) 韓国出身。日本在住22年。大学で観光経営学を学ぶ。日韓通訳案内士の免許を持って、通訳や翻訳。日本認定心理士の資格を持つ。							
【到達目標】 韓国語の上級表現を用いて、日常生活・社会問題について論理的に発信できる。 韓国語での資料読解・要約・発表を通して、高度な理解力と表現力を養う。 韓国語を使った専門的・職業的場面でのコミュニケーションができる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション／自己分析と4年次の目標設定
2回目	Ⅱ級文法① 比喩・譬え表現、敬語の応用
3回目	新聞・時事コラムの読解①（文化・社会）
4回目	韓国語で意見文を書く①「社会の中の私」
5回目	専門用語を含む韓国語プレゼン資料作成①
6回目	韓国の教育・福祉事情に関する討論
7回目	Ⅱレベル形式の会話練習：職場編
8回目	韓国語作文②「卒業後の進路と夢」
9回目	Ⅱ級聴解① ドキュメンタリーや講演を聞いてメモ取り
10回目	韓国語プレゼン①「社会問題×私の考察」準備
11回目	Ⅱプレゼン①実施&講評
12回目	韓国企業文化・マナーについて調べ発表
13回目	<期末テスト>
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	特にありません。
評価方法	■ 出席率 50% ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】小テスト 50%
受講生への メッセージ	日常会話が出来て、一人で韓国に行った場合でも基本的な事柄に対応が出来るようになります。
【使用教科書・教材・参考書】 ちよこつとチャレンジ！韓国語	

科目名 (英)	韓国語講座Ⅷ Korean	必修 選択	選択	年次	4		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期
【授業の学習内容】 一日の日課を話す。敬語で丁寧に依頼する。体の具合を言う。人の趣向や性格を言う。間接話法で伝える。 (講師プロフィール) 韓国出身。日本在住22年。大学で観光経営学を学ぶ。日韓通訳案内士の免許を持って、通訳や翻訳。日本認定心理士の資格を持つ。							
【到達目標】 韓国語を使ってプレゼン、面接、レポート作成などの総合力を発揮できる。 学びの集大成として、自ら企画・構成したテーマで発信活動ができる。 卒業後の韓国語活用に向けた実践的準備が整っている。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション／卒業に向けての個人テーマ設定
2回目	韓国語でのビジネスメール／職場会話演習
3回目	韓国語でのプレゼン・討論マナー復習
4回目	専門分野別語彙強化（教育／観光／メディアなど）
5回目	自主研究テーマリサーチ①（資料収集とメモ）
6回目	韓国語レポート執筆①（構成案と文型確認）
7回目	発表準備① スライド構成・ナレーション作成
8回目	韓国語での模擬発表・フィードバック
9回目	自主研究テーマリサーチ②（追加情報＆分析）
10回目	韓国語レポート執筆②（文章完成）
11回目	発表準備② プレゼン資料仕上げ
12回目	発表リハーサル＋相互評価
13回目	<期末テスト>
14回目	卒業進級制作展
15回目	卒業進級制作展
準備学習 時間外学 習	特にありません。
評価方法	■出席率50% ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】小テスト50%
受講生への メッセージ	日常会話が出来て、一人で韓国に行った場合でも基本的な事柄に対応出来るようになります。
【使用教科書・教材・参考書】 ちょこっとチャレンジ！韓国語	

科目名 (英)	ヴォーカルパフォーマンスⅢ	必修 選択	選択 必修	年次	2		
	Vocal Performance Ⅲ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパー・エンターテインメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科					曜日・時限	月曜日 3 限目
【授業の学習内容】 ピアノ一対一の最小規模のスタイルで、ステージでの歌唱、表現、演出を学ぶ。世界的に評価の高いピアノデュオ向きの楽曲を通して、ピアノ演奏とのコミュニケーションや対応力、歌唱の基盤、パフォーマンスを身につける。また、ソロヴォーカリストとして独自の確立を図る。 〈講師プロフィール〉 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 リズムやグルーブを意識して歌えるようになろう♪ タイミングをコントロールして歌えるようになろう♪ ダイナミクスを用いて音楽的に歌えるようになろう♪ リズム、タイミング、ダイナミクスを用いたアンサンブルができるようになろう♪							

授業計画・内容	
1回目	デュオアンサンブルの要素を知り、可能性を見つけよう
2回目	基本となるテンポ、ビートを意識して歌えるようになろう
3回目	グルーブを体感して躍動感のある歌を歌えるようになろう
4回目	タイミングを意識して歌えるようになろう
5回目	タイミングをコントロールして歌えるようになろう
6回目	リズムとタイミングを用いて歌ってみよう
7回目	小テスト
8回目	楽曲のダイナミクスを意識して歌えるようになろう
9回目	楽曲のダイナミクスをコントロールして歌えるようになろう
10回目	リズムとダイナミクスを意識して歌えるようになろう
11回目	タイミングとダイナミクスを意識して歌えるようになろう
12回目	リズムとタイミングとダイナミクスを意識して歌ってみよう
13回目	評価週
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	課題曲の熟聴、分析 発音、リズム、メロディー、音楽的表現の試歌唱練習
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	歌唱スキルとアンサンブル要素を修練していきます♪ みなさんが成果成長を感じ、自信を持って歌い続けられるように努めていきますので、一緒に頑張りましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 歌唱 音源 振り返りシート	

科目名 (英)	ヴォーカルパフォーマンスⅣ	必修 選択	選択 必修	年次	2		
	Vocal Performance Ⅳ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科・パフォーマンスアート科					曜日・時限	月曜日 3 限目
【授業の学習内容】 ピアノ一対一の最小規模のスタイルで、ステージでの歌唱、表現、演出を学ぶ。世界的に評価の高いピアノデュオ向きの楽曲を通して、ピアノ演奏とのコミュニケーションや対応力、歌唱の基盤、パフォーマンスを身につける。また、ソロヴォーカリストとして独自の確立を図る。 〈講師プロフィール〉 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 リズムパターンやテンポ感や曲のムードを指示して、その変化の中で歌えるようになる♪ 伴奏者の意図を読み取り呼吸を合わせて歌えるようになる♪ 合図やアイコンタクトを使い演奏をコントロールしながら歌えるようになる♪ 自身の歌唱力や発声力が活かせるキーで、アンサンブル要素を用いた総合的な歌唱ができるようになる♪							

授業計画・内容	
1回目	リズムパターンやテンポの変化を意識して歌えるようになる♪
2回目	リズムパターンやテンポをコントロールして歌えるようになる♪
3回目	伴奏者のプランに合わせて歌えるようになる♪
4回目	伴奏者と共に演奏をプランして歌えるようになる♪
5回目	リズム、タイミング、ダイナミクス、リズムパターン、テンポを用いて歌ってみよう
6回目	小テスト
7回目	合図やアイコンタクトを意識して歌えるようになる♪
8回目	合図やアイコンタクトで伴奏をコントロールして歌えるようになる♪
9回目	ニュートラルなポイントを見つけ、周りを観て聴いて歌えるようになる♪
10回目	周りを観て聴いて、アンサンブル要素を用いて歌えるようになる♪
11回目	歌唱要素とアンサンブル要素を合わせて歌ってみよう
12回目	評価週
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	課題曲の熟聴、分析 発音、リズム、メロディー、音楽的表現の試歌唱練習
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	歌唱スキルとアンサンブル要素を修練していきます♪ みなさんが成果成長を感じ、自信を持って歌い続けられるように努めていきますので、一緒に頑張りましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 歌唱 音源 振り返りシート	

科目名 (英)	ヴォーカルパフォーマンスⅤ Vocal Performance Ⅴ	必修 選択	選択 必修	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 火曜2限
【授業の学習内容】 テンポ、リズムパターン、タイミング、ダイナミックスを音楽的に聴感的に生成し演奏する 音楽的コミュニケーションの実践 歌唱とフィードバック 【講師プロフィール】 YUI、絢香のデビュー前のボーカルレッスン担当。グラミー賞受賞アーティストTAKE6のリーダー、クロードマックナイトさんや、EXILEのChoo Choi Trainなど数多くの名曲を手がける中西圭三さんと共演。自身の所属するTHE SOULMATICSFAMILYのために年間50曲以上コーラスアレンジし、九州を中心に活動するクワイアへも提供。地元うきはのための楽曲制作を行う。							
【到達目標】 リズムやグルーブをコントロールして歌えるようになろう♪ タイミングをコントロールして歌えるようになろう♪ ダイナミックスをコントロールして歌えるようになろう♪ 音楽的コミュニケーションができるようになろう♪♪							

授業計画・内容	
1回目	テンポとリズムパターンをコントロールして歌えるようになろう
2回目	自由にテンポやパターン設定し適応する術を学び、演奏できるようになろう♪
3回目	評価
4回目	タイミングとダイナミックスをコントロールして歌ってみよう
5回目	自由にタイミングとダイナミックスを設定し適応する術を学び、演奏できるようになろう♪
6回目	評価
7回目	タイミングとダイナミックス、テンポとリズムパターンをコントロールして歌ってみよう
8回目	上記のを設定適応させ演奏しよう
9回目	評価
10回目	コールアンドレスポンスのチャレンジ
11回目	音楽的なコールアンドレスポンスの技法を学び、実践できるようになろう
12回目	評価
13回目	シチュエーショントレーニング、無関心への対応
14回目	困難な場面での対応法を検証し、効果的な雰囲気づくりができるようになろう
15回目	総合評価
準備学習 時間外学習	課題曲の熟聴、分析 リズム、メロディー、音楽的表現の試歌唱練習
評価方法	出席率 受講態度 発表頻度と達成度
受講生への メッセージ	歌唱スキルとアンサンブル、アーティスト性の要素を修練していきます♪ みなさんが成果成長を感じ、自信を持って歌い続けられるように努めていきますので、一緒に頑張りましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 音源 スコア 振り返りシート	

科目名 (英)	ヴォーカルパフォーマンスⅥ Vocal Performance Ⅵ	必修 選択	選択 必修	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 火曜2限
【授業の学習内容】 テンポ、リズムパターン、タイミング、ダイナミクスを音楽的に聴感的に生成し演奏する 音楽的コミュニケーションの実践 歌唱とフィードバック 【講師プロフィール】 YUI、絢香のデビュー前のボーカルレッスン担当。グラミー賞受賞アーティストTAKE6のリーダー、クロードマックナイトさんや、EXILEのChoo Choi Trainなど数多くの名曲を手がける中西圭三さんと共演。自身の所属するTHE SOULMATICSFAMILYのために年間50曲以上コーラスアレンジし、九州を中心に活動するクワイアへも提供。地元うきはのための楽曲制作を行う。							
【到達目標】 印象的なフレーズを組み込み、魅力的な演奏ができるようになる♪ コーラスワークを曲中で実践し、聴衆との一体感を演出できるようになる♪ アーティストとしての魅力的な世界観を形成できるようになる♪							

授業計画・内容	
1回目	モーメントを意識して歌ってみよう
2回目	モーメントのバリエーションを知り実践できるようになるう
3回目	評価
4回目	曲中のコーラスワークにチャレンジ
5回目	決められたコーラスワークを理解し、提示歌唱できるようになるう
6回目	評価
7回目	オーディエンスの情動やリアクションと音楽的な再現を意識して歌ってみよう
8回目	情動やリアクションに対しての音楽的アプローチを検証し、実践できるようになるう
9回目	評価
10回目	アトモスフィアトレーニング、曲中での応対を意識して歌ってみよう
11回目	キャラクター設定、語調、身構え方などを検証し、効果的なインプレッションを与えられるようになるう♪
12回目	総合評価
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	課題曲の熟聴、分析 リズム、メロディー、音楽的表現の試歌唱練習
評価方法	出席率 受講態度 発表頻度と達成度
受講生への メッセージ	歌唱スキルとアンサンブル、アーティスト性の要素を修練していきます♪ みなさんが成果成長を感じ、自信を持って歌い続けられるように努めていきますので、一緒に頑張りましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 音源 スコア 振り返りシート	

科目名 (英)	ヴォーカルパフォーマンスⅦ	必修 選択	選択 必修	年次	4		
	Vocal Performance Ⅶ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科					曜日・時限	火曜1限
【授業の学習内容】 テンポ、リズムパターン、タイミング、ダイナミックスを音楽的に聴感的に生成し演奏する 魅力的で効果的な音楽的コミュニケーションの実践。歌唱とフィードバック 【講師プロフィール】 YUI、絢香のデビュー前のボーカルレッスン担当。グラミー賞受賞アーティストTAKE6のリーダー、クロードマックナイトさんやEXILEのChoo Choi Trainなど数多くの名曲を手がける中西圭三さんと共演。自身の所属するTHE SOULMATICCSファミリーのために年間50曲以上コーラスアレンジし、九州を中心に活動するクワイアへも提供。地元うきはのための楽曲制作を行う。							
【到達目標】 リズムやグルーブを演奏中にコントロールして歌えるようになろう♪ タイミングを演奏中にコントロールして歌えるようになろう♪ ダイナミックスを演奏中にコントロールして歌えるようになろう♪ フレキシブルな音楽的コミュニケーションができるようになろう♪♪							

授業計画・内容	
1回目	テンポとリズムパターンをコントロールしたフラクチュエイティブな歌唱にチャレンジしよう♪
2回目	テンポキープを根本に、聴衆を感動させるための情動的で音楽的なリズムックアプローチができるようになろう♪
3回目	評価
4回目	タイミングとダイナミックスをコントロールしたフラクチュエイティブな歌唱にチャレンジしよう♪
5回目	音楽的なだタイミングやダイナミックスを根本に、聴衆を感動させるための情動的で音楽的なリズムックアプローチができるようになろう♪
6回目	評価
7回目	タイミングとダイナミックス、テンポとリズムパターンをコントロールしたフラクチュエイティブな歌唱を完成させようp♪
8回目	上記を根本に、リズムックアプローチを完成させよう♪
9回目	評価
10回目	コールアンドレスポンスの演奏中の生成にチャレンジしよう♪
11回目	効果的で音楽的なフレージングのアイデアの生成法を学び実践できるようになろう♪
12回目	評価
13回目	シチュエーショントレーニング、フレキシブルな演奏ができるようになろう♪
14回目	自分の表現したいことや在りたい姿をぶれずに再現できることと、空気感や聴衆の欲するものに対応できる術を身につけよう♪
15回目	総合評価
準備学習 時間外学 習	課題曲の熟聴、分析 リズム、メロディー、音楽的表現の試歌唱練習
評価方法	出席率 受講態度 発表頻度と達成度
受講生への メッセージ	魅力的で質の高い音楽的要素とアーティスト性を修練していきます♪ みなさんが成果成長を感じ、自信を持って歌い続けられるように努めていきますので、一緒に頑張りましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 音源 スコア 振り返りシート	

科目名 (英)	ヴォーカルパフォーマンスⅧ	必修 選択	選択 必修	年次	4		
	Vocal Performance Ⅷ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科					曜日・時限	火曜1限
【授業の学習内容】 テンポ、リズムパターン、タイミング、ダイナミクスを音楽的に聴感的に生成し演奏する 魅力的で効果的な音楽的コミュニケーションの実践 歌唱とフィードバック 【講師プロフィール】 YUI、絢香のデビュー前のボーカルレッスン担当。グラミー賞受賞アーティストTAKE6のリーダー、クロードマックナイトさんや、EXILEのChoo Choi Trainなど数多くの名曲を手がける中西圭三さんと共演。自身の所属するTHE SOULMATICSFAMILYのために年間50曲以上コーラスアレンジし、九州を中心に活動するクワイアへも提供。地元うきはのための楽曲制作を行う。							
【到達目標】 情動や聴衆の反応を読み取り印象的な変化を演奏中にプランし演奏できるようになる♪ 効果的で印象的なコーラスワークを演奏中にプランし演奏できるようになる♪ 空気や情動を読み取りフレキシブルに魅力的な世界観を形成できるようになる♪ ♪							

授業計画・内容	
1回目	効果的で印象的なモーメントを演奏しながら生成できるようになる♪
2回目	モーメントのバリエーションを駆使して空気感や自身の情動に応じて魅力的な演奏ができるようになる♪
3回目	評価
4回目	曲中のコーラスワークを演奏しながら生成できるようになる♪
5回目	コーラスワークのアイデアを駆使して空気感や自身の情動に応じて魅力的な演奏ができるようになる♪
6回目	評価
7回目	オーディエンスの情動やリアクションと音楽的な再現を演奏中に生成できるようになる♪
8回目	空気感、情動、コンディション、反応や熱量など、聴き手と演奏者自身の現在に集中して魅力的で音楽的な演奏ができるようになる♪
9回目	評価
10回目	アトモスフィアトレーニング、聴衆を魅了する術をフレキシブルに効果的に発信できるようになる♪
11回目	空気感、情動、コンディション、熱量などを読み取り、魅力的かつ個性的な雰囲気や世界観を形成できるようになる♪
12回目	総合評価
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	課題曲の熟聴、分析 リズム、メロディー、音楽的表現の試歌唱練習
評価方法	出席率 受講態度 発表頻度と達成度
受講生への メッセージ	魅力的で質の高い音楽的要素とアーティスト性を修練していきます♪ みなさんが成果成長を感じ、自信を持って歌い続けられるように努めていきますので、一緒に頑張りましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 音源 スコア 振り返りシート	

科目名 (英)	楽器演奏基礎 I Basic Instrumental Technique	必修 選択	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパー・エンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜3限
【授業の学習内容】 ヒット曲にも多い基本のコード進行を使い、アレンジやリズムパターンのレパートリーを増やしていきます。 Logicを使いながら、作曲やアレンジに必要なコードの基礎やピアノの役割をしっかりと学びます。 この1年間で作曲、アレンジに必要な引き出しを増やします。 (講師プロフィール) アーティストの楽曲アレンジやバンドサポート、又CMロゴサウンドや校歌のアレンジ作成、ピアノのBGM演奏など様々なシーンで活躍している講師が、作曲やアレンジに必要なコードやフレーズなどを基礎から教えます。							
【到達目標】 曲やメロディーをより引き立てるヴォイシングを使うことが出来る 基本のコード進行の中でも更にオリジナリティーのコードアレンジをすることが出来る。 効果的にピアノの音色やフレーズを取り入れることができる。 サンプリングフレーズを作ることが出来る。							

授業計画・内容	
1回目	ダイアトニックスケールと3和音のダイアトニックコードを習得できる。メジャーコードとマイナーコードを理解できる。
2回目	key=Cの3コードを転回形で演奏できる。音符の長さや拍子を理解しリズム伴奏できる。
3回目	3コードを使って楽曲に伴奏スタイルを打ち込むことができる。また楽譜を読み書きすることができる。
4回目	【3コード＋1】の進行で流行りの曲を演奏できる。4156進行key=C
5回目	【3コード＋1】4156進行を使い、key=Fとkey=Gで伴奏を作ることができる。
6回目	【3コード＋1】1564進行と162(4)5進行をkey=B♭とkey=Dで転回形を取り入れて8ビートで伴奏できる。
7回目	【3コード＋1】※課題→6451進行を使い決められたサイズの楽曲を作ることができる。及び提出。
8回目	【6254進行】あらゆるヒット曲に多用される6254進行を理解し、key=E♭の第一転回形スタートで8ビートの両手伴奏ができる。
9回目	【6254進行】6254進行をkey=Aの第二転回形スタートで16ビートのバックギンができる。
10回目	【6254進行】6254進行をkey=Eの3連符のハネのリズムで伴奏し、課題曲に合ったヴォイシングを作ることができる。
11回目	4和音のダイアトニックコードで7thコードを習得することができる。
12回目	【4321進行】4和音のヴォイシングの作り方や両手でのハーモニーを習得することができる
13回目	テスト→筆記&実技
14回目	学期末特別授業
15回目	学期末特別授業
準備学習 時間外学 習	ヒットランキング上位に入った楽曲のコードを使いながら学んでいきます。 また、好きなジャンルだけでなく、ジャンルは問わず幅広く音楽を聴いてください。 学んだことは自分で使うこと！
評価方法	筆記と実技とアレンジ音源提出
受講生への メッセージ	ピアノの授業は1年間しかありません。作曲をする上で鍵盤は必須となりますので、頑張って1年間続けましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 Logicが入ったPCと五線譜は毎回持ってきてください。	

科目名 (英)	楽器演奏基礎Ⅱ Basic Instrumental Technique	必修 選択	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパーエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 木曜3限
【授業の学習内容】 後期は引き続きヒット曲の参考曲を使用し、ピアノ以外の音色も取り入れながら、さらに自分らしいアレンジができるような伴奏スタイルとハーモニーアレンジを身につけます。 (講師プロフィール) アーティストの楽曲アレンジやバンドサポート、又CMロゴサウンドや校歌のアレンジ作成、ピアノのBGM演奏など様々なシーンで活躍している講師が、作曲やアレンジに必要なコードやフレーズなどを基礎から教えます。							
【到達目標】 曲やメロディーをより引き立てる伴奏パターンやアレンジをすることが出来る。 効果的にピアノの音色やフレーズを取り入れることができる。 ピアノ以外の鍵盤の音色やその楽器に合ったフレーズを作ることが出来る。 テンションノートも取り入れることができる。							

授業計画・内容	
1回目	【456進行】add、sus、dimなどを理解できる。また指定曲にaddやsusを使いシンコペーションで演奏することができる
2回目	【456進行】オルガンの音色で音を繋ぐ奏法や、グリスなどの様々な奏法を習得できる
3回目	【カノンコード】key-Cでカノンコードを習得することができる
4回目	【カノンコード】分数コードを理解できる。トニックペダルやクリシェを理解し演奏することができる
5回目	【カノンコード課題】stringsで伸ばした音やピッチカートのフレーズを作ることができる→課題提出
6回目	ペントニックやマイナーペントニックスケールを使いシンセでリフを作ることができる
7回目	【Just the two of us進行】key=Cで基本的な進行とヴォイシングを身に付けることができる
8回目	【Just the two of us進行】key=E♭で課題曲に合ったヴォイシングとバックিংができる
9回目	【Just the two of us進行】同じ曲サイズで違うアレンジを作ることができる
10回目	独立した旋律でカルテットのハーモニーを作ることができる
11回目	テストと楽曲提出
12回目	授業振り返り
13回目	We are FSM 卒業進級制作
14回目	We are FSM 卒業進級制作
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	音楽の聴き方が変わって来たと思います。 後期はピアノ以外の音色も取り入れて、その楽器に合う伴奏パターンやハーモニーのアレンジなども扱っていきますので、普段から音楽を聴く際に耳を鍛えておいて下さい。
評価方法	アレンジ音源提出
受講生への メッセージ	いよいよ後期になりました。他人と比べる前にしっかり【自分】を活かして、自分にしかできない楽曲を世界に届けていけるよう、後期も学ぶことの楽しさを忘れずに！！ 曲を作るのは0から物を作ること。いつでも多様な材料を出せるように引き出しを沢山準備しておきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 PCと五線譜は毎回持ってきてください。	

科目名 (英)	楽器演奏基礎 I Basic Instrumental Technique I	選択 必修	選択必修	年次	2		
学科・コース	プロミュージシャン科(ヴォーカル)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 水曜日3限目(Aクラス)・4限(Bクラス)
【授業の学習内容】 鍵盤楽器の基礎知識を身につける。鍵盤に慣れることによって、音楽理論、イヤートレーニング等の理解度を向上させ、理論と実習という並行学習の効果を学ぶ。弾き語りの技術習得。 〈講師プロフィール〉 総合音楽教室、Sound Voice Space Jacaranda代表。音、色、香りをテーマとして、音楽全般(楽器、ボイストレーニング、作編曲、音楽療法、ニューマエクササイズ)の指導活動、演奏活動、各種セミナー、教室運営、専門学校講師等、国籍、性別、年令を問わず、指導活動を行っている。							
【到達目標】 弾き語り及び両手奏演奏を通し音楽の表現力を向上させる。 音楽活動をする上で必要な感性、技術等を専攻以外の分野からも学び、修得することによって自分の可能性や向上に活用、応用できる能力を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	鍵盤に慣れる(英音名、Scale、運指)長音階、半音階の理解、CMajorScale上の和音について
2回目	DmajorとTonic 弾き語りの準備(コード奏とスケール奏)
3回目	EmajorとTonic コード進行譜の作成 読譜力を強化
4回目	FmajorとTonic コードとコードネームの徹底
5回目	GmajorとTonic 一段符を見ながら伴奏形を考える(2～3曲)
6回目	AmajorとTonic 一段符を見ながら伴奏形を考える(2～3曲)
7回目	BmajorとTonic 中間テスト Scale、コードネームとPositionMajorコード、minorコード
8回目	D ♭ majorとTonic ジャズのフィーリングに慣れる為、既成の曲をCDに合わせて弾く
9回目	E ♭ majorとTonic CDに合わせて弾くことでアンサンブルの感覚を養う(各自のレベルに合わせる)
10回目	G ♭ majorとTonic 弾き語りの為の伴奏形、変奏、コードの理解を深める
11回目	A ♭ majorとTonic 弾き語り曲、Pianosolo曲の弾き込み
12回目	B ♭ majorとTonic 発声練習を各自でできる様に12のKeyTonic半音上行形を習得する
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	授業内容の復習および個人練習
評価方法	実技テスト(Piano演奏力と理解度)
受講生への メッセージ	1日1小節を目指し、ゆっくり確実に自分の力をつけて行きましょう
【使用教科書・教材・参考書】 譜面	

科目名 (英)	楽器演奏基礎 II	選択 必修	選択必修	年次	2		
	Basic Instrumental Technique II	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	プロミュージシャン科 (ヴォーカル)					曜日・時限	水曜日3限目 (Aクラス)・4限 (Bクラス)
【授業の学習内容】 鍵盤楽器の基礎知識を身につける。鍵盤に慣れることによって、音楽理論、イヤートレーニング等の理解度を向上させ、理論と実習という並行学習の効果を学ぶ。弾き語りの技術習得。 〈講師プロフィール〉 総合音楽教室、Sound Voice Space Jacaranda代表。音、色、香りをテーマとして、音楽全般（楽器、ボイストレーニング、作編曲、音楽療法、ニューメディアサイズ）の指導活動、演奏活動、各種セミナー、教室運営、専門学校講師等、国籍、性別、年令を問わず、指導活動を行っている。							
【到達目標】 ・弾き語り、及びPianosoloの技術を修得し、音楽表現の幅を広げる ・「曲にする」ということを認識し、演奏力を修得する							

授業計画・内容	
1回目	新曲の曲想、構成、演奏スタイルを知る。(ドレミ唱、CD鑑賞) オーホーリーナイト
2回目	歌詞（英語）の発音及びフレージング、アーティキュレーションをマスターする。コード譜作成
3回目	日本の童謡を英語歌詞で弾き語りする。移調も考える。T,S,Dの移調
4回目	「オーホーリーナイト」のコード進行、構成をマスターする・伴奏形及びKeyを自分の声に合わせてみる
5回目	長音階、短音階以外の音階を知る。「かえるの合唱」CDで様々な音階の特徴を知る
6回目	弾き語り曲及びPianosolo曲を弾き込む。メロディー奏、両手奏、コード奏
7回目	弾き語り曲のコードを基本形、転回形でできる様にする。12のKeyのT,S,Dを完全にマスターする
8回目	中間テスト「かえるの合唱」「オーホーリーナイト」「故郷」
9回目	「オーホーリーナイト」を自分の好きなアレンジでできる様に考えマスターする
10回目	「ロククリアモード さくらさくら」チャーチモードの説明、モードについて知る
11回目	自分の苦手なところを理解し、上達を目指す
12回目	期末テスト、Pianosolo,弾き語り
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	授業内容の復習および個人練習
評価方法	実技テスト（Piano演奏力と理解度）
受講生への メッセージ	入学時を思い出し自分の成長を評価し、自信につなげましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
譜面	

科目名 (英)	楽器演奏基礎Ⅴ Basic Instrumental TechniqueⅤ	選択 必修	選択必修	年次	3		
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 木曜3限
【授業の学習内容】 ソロピアニストにとって必要なテクニック、表現力の向上、対応力を身につける。 指の故障のない様、全部のキーを使ったエクササイズを継続。 (講師プロフィール) 式展やホテルでのソロピアニストとしての活動の他、海外アーティストとの競演などを行っている。							
【到達目標】 テクニックや表現も含め、人の前で心打つ演奏、独奏を目標とする。							

授業計画・内容	
1回目	指の故障がない様、全部のキーでストレッチエクササイズを行う。
2回目	ダイナミックレンジを意識し、強・中・弱音を身につける。
3回目	ダイナミックマークの付いた楽譜を用いて指定されたとおりに実践する。
4回目	曲を完成する。
5回目	スタaccartとテヌートの違いを理解し弾き分ける。
6回目	音を採譜し、五線紙上に完成させる。
7回目	コードの特性を理解し、いろいろなパターンでリハーモナイズを行う。
8回目	ソロピアノ曲を指導する。
9回目	指導した曲を発表する。
10回目	初見力を充実させ初心者への指導できる様、指導する。
11回目	今までの総合復習
12回目	実技テスト
13回目	期末テスト
14回目	学期末特別授業
15回目	学期末特別授業
準備学習 時間外学 習	人の前で、心打つ演奏する事をこの1年間で意識する。
評価方法	12週目に行う実技テスト (60%) 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	心打つ演奏とは何なのかを自らよく、この1年間考えてください。
【使用教科書・教材・参考書】 スタンダード曲集、ハノン、クラシック集、スタンダードジャズ集、プリント等	

科目名 (英)	楽器演奏基礎VI Basic Instrumental TechniqueVI	選択 必修	選択必修	年次	3		
学科・コース	音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期 木曜3限
【授業の学習内容】 ソロピアニストにとって必要なテクニック、表現力の向上、対応力を身につける。 指の故障のない様、全部のキーを使ったエクササイズを継続。 (講師プロフィール) 式展やホテルでのソロピアニストとしての活動の他、海外アーティストとの競演などを行っている。							
【到達目標】 テクニックや表現も含め、人の前で心打つ演奏、独奏がたくさんできる事を目標とする。							

授業計画・内容	
1回目	夏休み期間の課題を発表。
2回目	今までの復習テスト、理解できなかった箇所を確認する。
3回目	ロングトーンアルペジオのエクササイズを指導。
4回目	ジャンルによるバックングを理解する。
5回目	ジャンルによるバックングを実践する。
6回目	ボーカルとのデュオの実践を希望する。
7回目	ソロピアノ曲を指導。
8回目	指導した曲を発表。
9回目	初心者指導の実習を希望する。
10回目	今までの総合復習①
11回目	今までの総合復習②
12回目	実技テスト
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	授業以外、プライベートでいろいろな曲の研究を希望します。
評価方法	12週目に行う実技テスト (60%) 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	できれば人の前で発表できる曲をたくさん集めて暗譜する事を希望します。
【使用教科書・教材・参考書】 スタンダード曲集、ハノン、クラシック曲集、プリント等	

科目名 (英)	楽器演奏基礎 III Basic Instrumental Technique III)	必修 選択	選択必修	年次	2		
学科・コース	プロミュージシャン科 (ヴォーカル)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30時間 (2単位)	開講区分 曜日・時限	前期 水曜日1限目・2限目
【授業の学習内容】 ・ピアノに関する基礎的な演奏方法、及び実践的な伴奏の方法を身に付ける。 ・コードなどの理論の知識を深めるようにする。 ・ピアノの演奏を通して、ハーモニーの重要性、他楽器とのアンサンブルでの住み分けを覚える。 (講師プロフィール) 福岡中心にPops/Rock/Jazzなどは広いフィールドで活躍するほかにも、編曲・ミュージカルでの演奏アレンジなど活動は多岐にわたる							
【到達目標】 ・ピアノの基本的な演奏(コード弾き)ができる。 ・弾き語り、バンド演奏、レッスン時など、状況に応じて演奏ができる。 ・コード、コード進行などの音楽理論の知識が身に付く。							

授業計画・内容	
1回目	音階・コードの復習(理論・実演)
2回目	コード弾きの復習(理論・実演)
3回目	課題曲①8ビート系楽曲(実演),初見演奏
4回目	課題曲①(実演),初見演奏
5回目	課題曲①の別スタイルでの演奏(ボサノバ、バラードなど)(実演)
6回目	課題曲②8ビート系楽曲(実演),初見演奏
7回目	課題曲②(実演),初見演奏
8回目	課題曲②キーチェンジ(理論・実演)
9回目	課題曲③コードの数多めの楽曲(実演),初見演奏
10回目	課題曲③(実演),初見演奏
11回目	課題曲③(実演),初見演奏
12回目	初見演奏(コード譜)
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	・一年次で習った音楽理論の内容を復習する ・授業でもらった資料をもとに、継続的に復習する
評価方法	・出席率(40%) ・授業に取り組む姿勢(30%) ・各授業での達成度・実践度(30%)
受講生への メッセージ	ボーカリストも音楽理論の知識、楽器の知識があると音楽の見え方が一層変わります。 ピアノの演奏を通して、音楽の楽しさ・奥深さをさらに掘り下げていきましょう。
・筆記用具 ・iPad,Mac ・課題テキスト(授業で配布します)	

科目名 (英)	楽器演奏基礎 IV Basic Instrumental Technique IV)	必修 選択	選択必修	年次	2		
学科・コース	プロミュージシャン科 (ヴォーカル)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30時間 (2単位)	開講区分 曜日・時限	前期 水曜日1限目・2限目
【授業の学習内容】 ・ピアノに関する基礎的な演奏方法、及び実践的な伴奏の方法を身に付ける。 ・コードなどの理論の知識を深めるようにする。 ・ピアノの演奏を通して、ハーモニーの重要性、他楽器とのアンサンブルでの住み分けを覚える。 (講師プロフィール) 福岡中心にPops/Rock/Jazzなどは広いフィールドで活躍するほかにも、編曲・ミュージカルでの演奏アレンジなど活動は多岐にわたる							
【到達目標】 ・ピアノの基本的な演奏(コード弾き)ができる。 ・弾き語り、バンド演奏、レッスン時など、状況に応じて演奏ができる。 ・コード、コード進行などの音楽理論の知識が身に付く。							

授業計画・内容	
1回目	課題曲④(実演),初見演奏
2回目	課題曲④(実演),初見演奏
3回目	課題曲④(実演),初見演奏
4回目	初見演奏(メロディ譜)
5回目	課題曲⑤(実演),初見演奏
6回目	課題曲⑤(実演),初見演奏
7回目	課題曲⑤(実演),初見演奏
8回目	課題曲⑥(実演),初見演奏
9回目	課題曲⑥(実演),初見演奏
10回目	課題曲⑥(実演),初見演奏
11回目	課題曲⑦(実演),初見演奏
12回目	課題曲⑦(実演),初見演奏
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	・一年次で習った音楽理論の内容を復習する ・授業でもらった資料をもとに、継続的に復習する
評価方法	・出席率(40%) ・授業に取り組む姿勢(30%) ・各授業での達成度・実践度(30%)
受講生への メッセージ	ボーカリストも音楽理論の知識、楽器の知識があると音楽の見え方が一層変わります。 ピアノの演奏を通して、音楽の楽しさ・奥深さをさらに掘り下げていきましょう。
・筆記用具 ・iPad,Mac ・課題テキスト(授業で配布します)	

科目名 (英)	ハーモニックコンセプト I Harmonic Concept I	必修 選択	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパー・エンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 火曜 2限
【授業の学習内容】 音楽を作る・表現する上で欠かせないハーモニーを、基礎から実際のギターという楽器で演奏するところまで学びます。 様々なジャンルのスタイルを分析・理解し、吸収することにより応用力を習得する。バックিং・作曲及びアレンジに 必要なコードの仕組みやダイアトニックコード等を理解し、それを構成する様々なコードフォームを習得しリズムのアイディアも加え応用する。 〈講師プロフィール〉 これまでにNYのミュージシャンと2枚のリーダーアルバムを制作、九州のみならず全国的に活動を行うJazzプレーヤー							
【到達目標】 初見でコード譜を追えるようになる。それぞれのジャンルに適応したコードワークができるようになる。 元のコード譜に対しアレンジした対応ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。レベルチェック。
2回目	指板上の音名・ポジション
3回目	オクターブの位置関係
4回目	ルートだけコード進行を追う
5回目	中間チェック。理解度・到達度のチェック。
6回目	パワーコードの仕組み
7回目	ルートの位置と5thの位置関係
8回目	パワーコードで楽曲を演奏①
9回目	パワーコードで楽曲を演奏②
10回目	中間チェック。理解度・到達度のチェック。
11回目	インターバル、メジャーとマイナーの違い
12回目	トライアドの仕組み1
13回目	トライアドの仕組み2
14回目	学期末チェック
15回目	まとめ
準備学習 時間外学 習	三和音の理解・ダイアトニックコードの配列を覚える・指板上の音名の把握・オクターブの位置の把握 時間外学習
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	ハーモニーの理解やコードワークはギターにとって最も重要な事役割の一つです。 この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要なことを身に付けてください。
【使用教科書・教材・参考書】 I-real pro 、ギタリストハンドブック(クリス・ジャーガンセン)	

科目名 (英)	ハーモニックコンセプト II Harmonic Concept II	必修 選択	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパー・エンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 火曜 2限
【授業の学習内容】 音楽を作る・表現する上で欠かせないハーモニーを、基礎から実際のギターという楽器で演奏するところまで学びます。 様々なジャンルのスタイルを分析・理解し、吸収することにより応用力を習得する。バックিং・作曲及びアレンジに 必要なコードの仕組みやダイアトニックコード等を理解し、それを構成する様々なコードフォームを習得しリズムのアイデアも加え応用する。 〈講師プロフィール〉 これまでにNYのミュージシャンと2枚のリーダーアルバムを制作、九州のみならず全国的に活動を行うJazzプレーヤー							
【到達目標】 初見でコード譜を追えるようになる。それぞれのジャンルに適応したコードワークができるようになる。 元のコード譜に対しアレンジした対応ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り。到達度・理解度チェック。
2回目	3コードの理解①
3回目	3コードの理解②
4回目	3コードで楽曲演奏の解説。□
5回目	3コードで楽曲演奏の指導①
6回目	3コードで楽曲演奏の指導②
7回目	実践と発表、フィードバック。
8回目	中間チェック。
9回目	コードの機能(ファンクション)、代理コード①
10回目	コードの機能(ファンクション)、代理コード②
11回目	3和音のダイアトニックコード①
12回目	3和音のダイアトニックコード②
13回目	卒業進級制作
14回目	卒業進級制作
15回目	卒業進級制作
準備学習 時間外学習	三和音の理解・ダイアトニックコードの配列を覚える・指板上の音名の把握・オクターブの位置の把握 時間外学習
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	ハーモニーの理解やコードワークはギターにとって最も重要な事役割の一つです。 この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要なことを身に付けてください。
【使用教科書・教材・参考書】 I-real pro、ギタリストハンドブック(クリス・ジャーガンセン)	

科目名 (英)	ハーモニクコンセプト Ⅲ Harmonic Concept Ⅲ	必修 選択	選択必修	年次	2		
学科・コース	スーパー・エンターテインメント科・音楽プロデューサー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 火曜 2限
【授業の学習内容】 音楽を作る・表現する上で欠かせないハーモニーを、基礎から実際のギターという楽器で演奏するところまで学びます。 様々なジャンルのスタイルを分析・理解し、吸収することにより応用力を習得する。バックিং・作曲及びアレンジに 必要なコードの仕組みやダイアトニックコード等を理解し、それを構成する様々なコードフォームを習得しリズムのアイディアも加え応用する。 〈講師プロフィール〉 これまでにNYのミュージシャンと2枚のリーダーアルバムを制作、九州のみならず全国的に活動を行うJazzプレイヤー							
【到達目標】 初見でコード譜を追えるようになる。それぞれのジャンルに適応したコードワークができるようになる。 元のコード譜に対しアレンジした対応ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。レベルチェック。
2回目	3和音のダイアトニックコードの復習。
3回目	4和音・7thコードの理解①
4回目	4和音・7thコードの理解②
5回目	中間チェック。到達度・理解度チェック。
6回目	4和音のダイアトニックコード①
7回目	4和音のダイアトニックコード②
8回目	楽曲演奏・課題曲①
9回目	楽曲演奏・課題曲①の発表。
10回目	前回のフィードバックと次回に向けて。
11回目	楽曲演奏・課題曲②
12回目	楽曲演奏・課題曲②の発表。
13回目	その他のコード(sus・6th・add9など)
14回目	学期末チェック
15回目	まとめ
準備学習 時間外学 習	三和音の理解・ダイアトニックコードの配列を覚える・指板上の音名の把握・オクターブの位置の把握
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	ハーモニーの理解やコードワークはギターにとって最も重要な事役割の一つです。この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要なことを身に付けてください。
【使用教科書・教材・参考書】 I-real pro、ギタリストハンドブック(クリス・ジャーガンセン)	

科目名 (英)	ハーモニックコンセプト IV Harmonic Concept IV	必修 選択	選択必修	年次	2		
学科・コース	スーパー・エンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 火曜 2限
【授業の学習内容】 音楽を作る・表現する上で欠かせないハーモニーを、基礎から実際のギターという楽器で演奏するところまで学びます。 様々なジャンルのスタイルを分析・理解し、吸収することにより応用力を習得する。バックিং・作曲及びアレンジに 必要なコードの仕組みやダイアトニックコード等を理解し、それを構成する様々なコードフォームを習得しリズムのアイディアも加え応用する。 〈講師プロフィール〉 これまでにNYのミュージシャンと2枚のリーダーアルバムを制作、九州のみならず全国的に活動を行うJazzプレイヤー							
【到達目標】 初見でコード譜を追えるようになる。それぞれのジャンルに適応したコードワークができるようになる。 元のコード譜に対しアレンジした対応ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り。到達度・理解度チェック。
2回目	楽曲演奏・課題曲③
3回目	楽曲演奏・課題曲③の発表。
4回目	前回のフィードバックと次回に向けて。
5回目	楽曲演奏・課題曲④
6回目	楽曲演奏・課題曲④の発表。
7回目	前回のフィードバックと中間テストについて。
8回目	中間チェック。
9回目	ナチュラルマイナーのダイアトニックコード①
10回目	ナチュラルマイナーのダイアトニックコード②
11回目	その他（平行調など）
12回目	その他（平行調など）
13回目	卒業進級制作
14回目	卒業進級制作
15回目	卒業進級制作
準備学習 時間外学 習	三和音の理解・ダイアトニックコードの配列を覚える・指板上の音名の把握・オクターブの位置の把握
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	ハーモニーの理解やコードワークはギターにとって最も重要な事役割の一つです。この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要なことを身に付けてください。
【使用教科書・教材・参考書】 I-real pro、ギタリストハンドブック(クリス・ジャーガンセン)	

科目名 (英)	ハーモニックコンセプト V Harmonic Concept V	必修 選択	選択必修	年次	3		
学科・コース	スーパー・エンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜 1限
【授業の学習内容】 音楽を作る・表現する上で欠かせないハーモニーを、基礎から実際のギターという楽器で演奏するところまで学びます。 様々なジャンルのスタイルを分析・理解し、吸収することにより応用力を習得する。バックিং・作曲及びアレンジに 必要なコードの仕組みやダイアトニックコード等を理解し、それを構成する様々なコードフォームを習得しリズムのアイディアも加え応用する。 <講師プロフィール> これまでにNYのミュージシャンと2枚のリーダーアルバムを制作、九州のみならず全国的に活動を行うJazzプレイヤー							
【到達目標】 初見でコード譜を追えるようになる。それぞれのジャンルに適応したコードワークができるようになる。 元のコード譜に対しアレンジした対応ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。レベルチェック。
2回目	4和音・7thコードの理解①
3回目	4和音・7thコードの理解②
4回目	4和音のダイアトニックコード①
5回目	4和音のダイアトニックコード②
6回目	中間チェック。到達度・理解度チェック。
7回目	4和音のマイナーダイアトニックコード①
8回目	4和音のマイナーダイアトニックコード②
9回目	カッティングパターン①
10回目	カッティングパターン②
11回目	中間チェック。到達度・理解度チェック。
12回目	アルペジオ奏法①
13回目	アルペジオ奏法②
14回目	学期末チェック
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	三和音の理解・ダイアトニックコードの配列を覚える・指板上の音名の把握・オクターブの位置の把握
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	ハーモニーの理解やコードワークはギターにとって最も重要な事役割の一つです。この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要なことを身に付けてください。
【使用教科書・教材・参考書】 I-real pro、ギタリストハンドブック(クリス・ジャーガンセン)	

科目名 (英)	ハーモニックコンセプト VI Harmonic Concept VI	必修 選択	選択必修	年次	3		
学科・コース	スーパー・エンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 火曜 1限
【授業の学習内容】 音楽を作る・表現する上で欠かせないハーモニーを、基礎から実際のギターという楽器で演奏するところまで学びます。 様々なジャンルのスタイルを分析・理解し、吸収することにより応用力を習得する。バックিং・作曲及びアレンジに 必要なコードの仕組みやダイアトニックコード等を理解し、それを構成する様々なコードフォームを習得しリズムのアイディアも加え応用する。 <講師プロフィール> これまでにNYのミュージシャンと2枚のリーダーアルバムを制作、九州のみならず全国的に活動を行うJazzプレイヤー							
【到達目標】 初見でコード譜を追えるようになる。それぞれのジャンルに適応したコードワークができるようになる。 元のコード譜に対しアレンジした対応ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り。到達度・理解度チェック。
2回目	コード進行に沿ったバックিং①
3回目	課題曲の指導
4回目	課題曲での実践①
5回目	中間チェック。
6回目	コード進行に沿ったバックিং②
7回目	課題曲の指導
8回目	課題曲での実践②
9回目	ナチュラルテンションコード①
10回目	ナチュラルテンションコード②
11回目	オルタードテンションコード①
12回目	オルタードテンションコード②
13回目	卒業進級制作
14回目	卒業進級制作
15回目	卒業進級制作
準備学習 時間外学習	三和音の理解・ダイアトニックコードの配列を覚える・指板上の音名の把握・オクターブの位置の把握
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	ハーモニーの理解やコードワークはギターにとって最も重要な役割の一つです。この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要なことを身に付けてください。
【使用教科書・教材・参考書】 I-real pro、ギタリストハンドブック(クリス・ジャーガンセン)	

科目名 (英)	ハーモニックコンセプトⅦ Harmonic Concept Ⅶ	必修 選択	選択必修	年次	4		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 火曜 1限
【授業の学習内容】 音楽を作る・表現する上で欠かせないハーモニーを、基礎から実際のギターという楽器で演奏するところまで学びます。 様々なジャンルのスタイルを分析・理解し、吸収することにより応用力を習得する。バックিং・作曲及びアレンジに 必要なコードの仕組みやダイアトニックコード等を理解し、それを構成する様々なコードフォームを習得しリズムのアイディアも加え応用する。 〈講師プロフィール〉 これまでにNYのミュージシャンと2枚のリーダーアルバムを制作、九州のみならず全国的に活動を行うJazzプレーヤー							
【到達目標】 初見でコード譜を追えるようになる。それぞれのジャンルに適応したコードワークができるようになる。 元のコード譜に対しアレンジした対応ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	R&Bスタイル
2回目	課題曲を使用しての実践。
3回目	発表とフィードバック。
4回目	Funkスタイル
5回目	課題曲を使用しての実践。
6回目	発表とフィードバック。
7回目	ボサノヴァ・ラテン スタイル
8回目	課題曲を使用しての実践。
9回目	発表とフィードバック。
10回目	ブルーススタイル①
11回目	ブルーススタイル②
12回目	課題曲を使用しての実践。
13回目	発表とフィードバック。
14回目	学期末チェック
15回目	まとめ
準備学習 時間外学 習	三和音の理解・ダイアトニックコードの配列を覚える・指板上の音名の把握・オクターブの位置の把握
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	ハーモニーの理解やコードワークはギターにとって最も重要な事役割の一つです。この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要なことを身に付けてください。
【使用教科書・教材・参考書】 I-real pro 、ギタリストハンドブック(クリス・ジャーガンセン)	

科目名 (英)	ハーモニックコンセプトⅧ Harmonic Concept Ⅷ	必修 選択	選択必修	年次	4		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 火曜 1限
【授業の学習内容】 音楽を作る・表現する上で欠かせないハーモニーを、基礎から実際のギターという楽器で演奏するところまで学びます。様々なジャンルのスタイルを分析・理解し、吸収することにより応用力を習得する。バックিং・作曲及びアレンジに必要なコードの仕組みやダイアトニックコード等を理解し、それを構成する様々なコードフォームを習得しリズムのアイデアも加え応用する。 〈講師プロフィール〉 これまでにNYのミュージシャンと2枚のリーダーアルバムを制作、九州のみならず全国的に活動を行うJazzプレイヤー							
【到達目標】 初見でコード譜を追えるようになる。それぞれのジャンルに適応したコードワークができるようになる。 元のコード譜に対しアレンジした対応ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り。到達度・理解度チェック。
2回目	ジャズスタイル
3回目	課題曲を使用しての実践。
4回目	発表とフィードバック。
5回目	ソログuitarスタイル①
6回目	課題曲を使用しての実践。
7回目	発表とフィードバック。
8回目	ソログuitarスタイル②
9回目	課題曲を使用しての実践。
10回目	発表とフィードバック。
11回目	ソログuitarスタイル③
12回目	発表とフィードバック。
13回目	卒業進級制作
14回目	卒業進級制作
15回目	卒業進級制作
準備学習 時間外学習	三和音の理解・ダイアトニックコードの配列を覚える・指板上の音名の把握・オクターブの位置の把握
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	ハーモニーの理解やコードワークはギターにとって最も重要な事役割の一つです。この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要なことを身に付けてください。
【使用教科書・教材・参考書】 I-real pro、ギタリストハンドブック(クリス・ジャーガンセン)	

科目名 (英)	メロディックコンセプト I Melodic Concepts I	必修 選択	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜 3限
【授業の学習内容】 現代音楽におけるリードギターのフレージング、メロディの作り方、インプロビゼーションをオリジナルテキストを使用し習得する。 (講師プロフィール) 20歳で全国ギターコンテストにて準グランプリを獲得し、その後はJazzClubを中心にプロフェッショナルとして活動							
【到達目標】 メジャースケール、マイナースケール、ペンタトニックスケール、ブルーススケールを使用し様々なコード進行でのソロを作れるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。レベルチェック。
2回目	6弦ルートのメジャーペンタトニックスケール
3回目	6弦ルートのマイナーペンタトニックスケール
4回目	5弦ルートのメジャーペンタトニックスケール
5回目	5弦ルートのマイナーペンタトニックスケール
6回目	中間チェック。到達度・理解度チェック。
7回目	5,6弦ルートのペンタトニックスケールの復習、両サイドへの派生①
8回目	5,6弦ルートのペンタトニックスケールの復習、両サイドへの派生②
9回目	ペンタトニックスケールの派生、ブルーススケール、ブルーノート①
10回目	ペンタトニックスケールの派生、ブルーススケール、ブルーノート②
11回目	ペンタトニックスケールの派生、ブルーススケール、ブルーノート
12回目	ペンタトニック、ブルーススケールを使用したリックの実演
13回目	前期の振り返り。
14回目	学期末チェック
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	予習。与えたテキストを使用し復習。
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	様々なジャンルの楽曲でメロディやソロを作れるようになりましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルPDFテキスト、iReal Pro、YouTube、滋慶学園テキスト	

科目名 (英)	メロディックコンセプト II Melodic Concepts II	必修 選択	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパー・エンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 木曜 3限
【授業の学習内容】 現代音楽におけるリードギターのフレージング、メロディの作り方、インプロビゼーションをオリジナルテキストを使用し習得する。 (講師プロフィール) 20歳で全国のカンタートコンテストにて準グランプリを獲得し、その後はJazz Clubを中心にプロフェッショナルとして活動							
【到達目標】 メジャースケール、マイナースケール、ペンタトニックスケール、ブルーススケールを使用し様々なコード進行でのソロを作れるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り。到達度・理解度チェック。
2回目	メジャースケール(5,6弦 人差し指、中指スタート)①
3回目	メジャースケール(5,6弦 人差し指、中指スタート)②
4回目	メジャースケール(5,6弦 小指スタート)①
5回目	メジャースケール(5,6弦 小指スタート)②
6回目	メジャースケール(3 Note Per String、複合パターン)①
7回目	メジャースケール(3 Note Per String、複合パターン)②
8回目	中間チェック。到達度・理解度チェック。
9回目	ナチュラルマイナースケール 1 (5,6弦 人差し指、中指スタート)
10回目	ナチュラルマイナースケール 2 (5,6弦 小指スタート)
11回目	ナチュラルマイナースケール 3 (3 Note Per String、複合パターン)
12回目	後期の振り返り。
13回目	卒業進級制作
14回目	卒業進級制作
15回目	卒業進級制作
準備学習 時間外学 習	予習。与えたテキストを使用し復習。
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	様々なジャンルの楽曲でメロディやソロを作れるようになりましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルPDFテキスト、iReal Pro、YouTube、滋慶学園テキスト	

科目名 (英)	メロディックコンセプトⅢ Melodic ConceptsⅢ	必修 選択	選択必修	年次	2		
学科・コース	スーパー・エンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜 3限
【授業の学習内容】 現代音楽におけるリードギターのフレージング、メロディの作り方、インプロビゼーションをオリジナルテキストを使用し習得する。 (講師プロフィール) 20歳で全国のカンタートコンテストにて準グランプリを獲得し、その後はJazz Clubを中心にプロフェッショナルとして活動							
【到達目標】 メジャースケール、マイナースケール、ペンタトニックスケール、ブルーススケールを使用し様々なコード進行でのソロを作れるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。レベルチェック。
2回目	メジャートライアド
3回目	マイナートライアド
4回目	オーギュメント、ディミニッシュトライアド
5回目	中間チェック。到達度・理解度チェック。
6回目	4音のコードアルペジオ導入
7回目	課題曲での実践。
8回目	発表とフィードバック。
9回目	M7アルペジオ
10回目	7アルペジオ
11回目	課題曲での実践。
12回目	発表とフィードバック。
13回目	前期の振り返り。
14回目	学期末チェック
15回目	まとめ
準備学習 時間外学 習	予習。与えたテキストを使用し復習。
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	様々なジャンルの楽曲でメロディやソロを作れるようになりましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルPDFテキスト、iReal Pro、YouTube、滋慶学園テキスト	

科目名 (英)	メロディックコンセプトⅣ Melodic ConceptsⅣ	必修 選択	選択必修	年次	2		
学科・コース	スーパー・エンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 木曜 3限
【授業の学習内容】 現代音楽におけるリードギターのフレージング、メロディの作り方、インプロビゼーションをオリジナルテキストを使用し習得する。 (講師プロフィール) 20歳で全国のカンタートコンテストにて準グランプリを獲得し、その後はJazz Clubを中心にプロフェッショナルとして活動							
【到達目標】 メジャースケール、マイナースケール、ペンタトニックスケール、ブルーススケールを使用し様々なコード進行でのソロを作れるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り。到達度・理解度チェック。
2回目	m7アルペジオ
3回目	実践とフィードバック。
4回目	m7b5アルペジオ
5回目	実践とフィードバック。
6回目	dim7アルペジオ
7回目	実践とフィードバック。
8回目	代理のアルペジオ
9回目	実践とフィードバック。
10回目	3,4和音のコードトーンアルペジオを使用したフレージング。
11回目	実践とフィードバック。
12回目	後期の振り返り。
13回目	卒業進級制作
14回目	卒業進級制作
15回目	卒業進級制作
準備学習 時間外学 習	予習。与えたテキストを使用し復習。
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	様々なジャンルの楽曲でメロディやソロを作れるようになりましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルPDFテキスト、iReal Pro、YouTube、滋慶学園テキスト	

科目名 (英)	メロディックコンセプトⅤ Harmonic ConceptⅤ	必修 選択	選択必修	年次	3		
学科・コース	スーパー・エンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜 4限
【授業の学習内容】 メジャースケールから派生する各種スケールを学ぶ。 メロディラインの作り方、ギターソロの作り方。 (講師プロフィール) 20歳で全国のカンタートコンテストにて準グランプリを獲得し、その後はJazz Clubを中心にプロフェッショナルとして活動							
【到達目標】 初見でコード譜を追えるようになる。それぞ+A11:L16のジャンルに適応したコードワークができるようになる。 元のコード譜に対しアレンジした対応ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。レベルチェック。
2回目	Major Mode Scaleの導入と使用方法、Ionian Scale(IM7)
3回目	Aeolian Scale(VIm7)
4回目	実践練習とフィードバック。
5回目	Dorian Scale(IIIm7)
6回目	実践練習とフィードバック。
7回目	Mixolydian Scale(V7)
8回目	実践練習とフィードバック。
9回目	Lydian Scale(IVM7)
10回目	実践練習とフィードバック。
11回目	Phrygian Scale(IIIIm7)
12回目	実践練習とフィードバック。
13回目	Locrian Scale(VIIIm7b5)
14回目	実践練習とフィードバック。
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	予習。与えたテキストを使用し復習。
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	スケールの理解やメロディワークはギターにとって最も重要な事役割の一つです。 この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要なことを身に付けてください。
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルPDFテキスト、iReal Pro、YouTube、滋慶学園テキスト	

科目名 (英)	メロディックコンセプトVI Harmonic ConceptVI	必修 選択	選択必修	年次	3		
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 木曜 4限
【授業の学習内容】 メジャースケールから派生する各種スケールを学ぶ。 メロディラインの作り方、ギターソロの作り方。 (講師プロフィール) 20歳で全国のカンタートコンテストにて準グランプリを獲得し、その後はJazzClubを中心にプロフェッショナルとして活動							
【到達目標】 初見でコード譜を追えるようになる。それぞ+A11:L16のジャンルに適応したコードワークができるようになる。 元のコード譜に対しアレンジした対応ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り。到達度・理解度チェック。
2回目	ソロ構築についての解説
3回目	IIIm7-V7進行を用いてのソロ構築 (Dorian,Mixolydian)
4回目	課題曲のレクチャー。
5回目	実践と各自フィードバック。
6回目	中間チェック。
7回目	Jazz Blues進行でのソロ構築(Mixolydian,Dorian)
8回目	課題曲のレクチャー。
9回目	実践と各自フィードバック。
10回目	IM7-bIIIM7進行でのソロ構築(Ionian,Lydian)
11回目	課題曲のレクチャー。
12回目	実践と各自フィードバック。
13回目	卒業進級制作
14回目	卒業進級制作
15回目	卒業進級制作
準備学習 時間外学習	予習。与えたテキストを使用し復習。
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	スケールの理解やメロディワークはギターにとって最も重要な事役割の一つです。 この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要なことを身に付けてください。
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルPDFテキスト、iReal Pro、YouTube、滋慶学園テキスト	

科目名 (英)	メロディックコンセプトⅦ Harmonic ConceptⅦ	必修 選択	選択必修	年次	4		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜 4限
【授業の学習内容】 メロディックマイナースケールとハーモニックマイナースケールから派生する各種スケールやシンメトリカルスケールを学ぶ。 メロディラインの作り方、ギターソロの作り方。 (講師プロフィール) 20歳で全国のカンタートコンテストにて準グランプリを獲得し、その後はJazz Clubを中心にプロフェッショナルとして活動							
【到達目標】 メロディックマイナーモードとハーモニックマイナーモードスケールの中から使用頻度が高いスケールを指板上のすべての位置で把握し代表的なJazz Standard進行でアドリブが出来るようになる。 転調があるコード進行上でメロディラインやソロを作成できるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。レベルチェック。
2回目	Melodic Minor Mode導入、Melodic Minor Scale
3回目	Altered Scaleについて
4回目	実践と各自フィードバック。
5回目	Lydian b7 Scaleについて
6回目	実践と各自フィードバック。
7回目	Locrian 9 Scaleについて
8回目	実践と各自フィードバック。
9回目	Harmonic Minor Mode導入、Harmonic Minor Scaleについて
10回目	実践と各自フィードバック。
11回目	Hmp5 ↓ Scaleについて
12回目	実践と各自フィードバック。
13回目	前期の振り返り
14回目	学期末チェック
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	予習。与えたテキストを使用し復習。
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	スケールの理解やメロディワークはギターにとって最も重要な事役割の一つです。 この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要なことを身に付けてください。
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルPDFテキスト、iReal Pro、YouTube、滋慶学園テキスト	

科目名 (英)	メロディックコンセプトⅧ Harmonic ConceptⅧ	必修 選択	選択必修	年次	4		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 木曜 4限
【授業の学習内容】 メロディックマイナースケールとハーモニックマイナースケールから派生する各種スケールやシンメトリカルスケールを学ぶ。 メロディラインの作り方、ギターソロの作り方。 (講師プロフィール) 20歳で全国のカンタートコンテストにて準グランプリを獲得し、その後はJazz Clubを中心にプロフェッショナルとして活動							
【到達目標】 メロディックマイナーモードとハーモニックマイナーモードスケールの中から使用頻度が高いスケールを指板上のすべての位置で把握し代表的なJazz Standard進行でアドリブが出来るようになる。 転調があるコード進行上でメロディラインやソロを作成できるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り。到達度・理解度チェック。
2回目	Half Whole Diminished ScaleとWhole Half Diminished Scaleについて
3回目	Whole Tone Scale
4回目	実践と各自フィードバック。
5回目	Jazz Standardsでのソロ構築1 Autumn Leaves
6回目	実践と各自フィードバック。
7回目	Jazz Standardsでのソロ構築2 The Days of Wine and Roses
8回目	実践と各自フィードバック。
9回目	Jazz Standardsでのソロ構築3 Stella by starlight
10回目	実践と各自フィードバック。
11回目	ソロ構築についてのまとめ。
12回目	後期振り返り。
13回目	卒業進級制作
14回目	卒業進級制作
15回目	卒業進級制作
準備学習 時間外学習	予習。与えたテキストを使用し復習。
評価方法	中間(小)テスト / 期末テスト
受講生への メッセージ	スケールの理解やメロディワークはギターにとって最も重要な事役割の一つです。 この授業を受講することにより、より深く広く音楽・ギターに対して必要なことを身に付けてください。
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナルPDFテキスト、iReal Pro、YouTube、滋慶学園テキスト	

科目名 (英)	ベースラインコンセプト I Bassline Concepts I	選択 必修	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
【授業の学習内容】							月曜3限
音楽の3要素であるメロディ・リズム・ハーモニーに対する感性、知識、技能を深めるため五線上の音符やリズム譜に親しみ、ベースを専門分野とするために楽器の各部の知識、音が出る仕組み、メンテナンスの基礎を学習する。ベースラインを構築するために必要なリズムトレーニング(8ビート系)を学習しリズム譜読み、書き取りを学習する。将来のDTM等の制作時の要求に応えるため読み取った教材のリズムをクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。ベースラインを構築するために必要なコード(3和音、属7)のコードトーンを学習する。ベースラインを構築するために必要なメジャースケール、ナチュラルマイナースケールを学習する。ベースラインを構築しアンサンブル中で演奏するために必要な音楽性を身につけるために楽曲を用いてAメロ・Bメロ・サビ等曲の構成を書きとる方法を学習する。ベースラインに彩りを加えるために必要な経過音の知識・センスを学習する。 【講師プロフィール】 2010年リーダアルバム「THE SONG OF STRINGS」発表2013年3月知多半島音楽祭にリーダユニット「ゴザン・グザン」で出演。2011～2013年横浜メロディガードに出演。2015年大阪高校メロディストに出演。韓国のChilpo国際音楽フェスティバルに出演。2016年にNHK-FM「Session 2016」に出演。2017年にNHK-FM「Session 2017」に出演。2023年韓国蔚山ジャズフェスティバルに出演予定。また多くのCDのレコーディングに参加。ほっともっと、黑白波等のCMにてベースの演奏を担当。							
【到達目標】 自分の楽器をきちんとした状態で維持できるようになる。カウント、小節数を数えながら楽曲を聴けるようになる。Aメロ・Bメロ・サビ等の楽曲の構成について理解できるようになる。4小節単位・8小節単位の感覚が身につく。コード譜を見てルート音を弾きながら要所に経過音を挿入できるようになる。主に8ビートについて楽曲毎のベースラインの違い、ドラムとのコンビネーションを聞き取れるようになる。将来のDTM等の制作時の要求に応えるため教材にそったベースラインをクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。							

授業計画・内容	
1回目	エレクトリックベース各部の名称、音が出る仕組みを説明できる。楽器の簡単な健康チェックができる。1 2 個の音の場所が説明できる。
2回目	Cメジャースケールが複数の場所で弾ける。コード譜の8分音符のルート弾きができる① 8ビートのリズムが読める①読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
3回目	Cナチュラルマイナースケールが複数の場所で弾ける。コード譜の8分音符のルート弾きができる② 8ビートのリズムが読める②読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
4回目	Cメジャースケールを用いたスケール練習① コード譜の8分音符のルート+5度弾きができる① 8ビートのリズムが読める③読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
5回目	Cメジャースケールを用いたスケール練習② コード譜の8分音符のルート+5度弾きができる② 8ビートのリズムが読める④読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
6回目	Cメジャースケールを用いたスケール練習③ コード譜の8分音符の1+5+7度弾きができる④ 8ビートのリズムが読める⑤読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
7回目	Cメジャースケールを用いたスケール練習④ コード譜の8分音符の1+5+7度弾きができる② 8ビートのリズムが読める⑥読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
8回目	Aナチュラルマイナースケールを用いたスケール練習① コード譜の8分音符の1+3+5度弾きができる① 8ビートのリズムが読める⑦読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
9回目	Aナチュラルマイナースケールを用いたスケール練習② コード譜の8分音符の1+3+5度弾きができる② 8ビートのリズムが読める⑧読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
10回目	Aマイナーペンタトニックスケールとブルーノートを用いたスケール(ブルーススケール)の練習① コード譜の1+3+5+7弾きができる。8ビートのリズム譜が書き取れる①読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
11回目	Aマイナーペンタトニックスケールとブルーノートを用いたスケール(ブルーススケール)の練習② コード譜の1+3+5+7弾きができる。8ビートのリズム譜が書き取れる②読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
12回目	Aマイナーペンタトニックスケールとブルーノートを用いたスケール(ブルーススケール)の練習③ コード譜のルート弾きをしなが経過音を挿入できる。8ビートのリズム譜が書き取れる③読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。到達度確認
13回目	学期末テスト
14回目	振り返り
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	基本的に準備不要で授業に参加します。フレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。
評価方法	"授業へ取り組み姿勢(60%) 各課題曲での目標の達成度、実戦度(20%) 自己実現力と演奏力(歌唱力)の向上度(20%)"□
受講生への メッセージ	国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。 世界に認められたテクニックや表現、人を感動させる音楽の力(グループ)について学び、習得していきます。 それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。 楽しみましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
iPadやスマートフォンなどでYoutubeを検索。 テキスト(4～8小節程度のエクササイズを2種類)。 その他、資料配布。	

科目名 (英)	ベースラインコンセプトⅡ Bassline ConceptsⅡ	選択 必修	選択必修	年次	1		
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 月曜3限
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科						
【授業の学習内容】							
音楽の3要素であるメロディ・リズム・ハーモニーに対する感性、知識、技能を深めるため五線上の音符やリズム譜に親しむ。ベースラインを構築するために必要なリズムパターン(16ビート系、3連系)を学習しリズム譜読み、書き取りを学習する。ベースラインを構築するために必要なコード(4和音、属7)のコードトーンを学習する。ベースライン、ファイル等を構築するために必要なアイコン・ドラム・フジアン・フジアンメジャー・リディアン・ミソリディアン・エオリアン・ロリアンの各スケールを学習する。ベースラインを構築したサンプル中で演奏するために必要な音楽性を身につけるために楽曲を用いてメロ・Bメロ・サビ等曲の構成及びルート音を書きとる方法を学習する。ベースラインに彩りを加えるために必要な経過音の知識・用いる場合の条件等を学習する。重要なコード進行の1つであるツー・ファイブ・ワンについて学習する。将来のDTM等の制作時の要求に応えるため学習した内容をクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。							
【講師プロフィール】							
2010年「リーダールーム」THE SONG OF STRINGS」発表2013年3月知多半島音楽祭にリーダールーム「ザ・ソング・オブ・ストリングス」で出演。2011～2013年横浜「ピノキオ」に「ピノキオ」で出演。2015年大阪高槻「ピノキオ」に「ピノキオ」で出演。2016年にNHK-FM Session 2016」に出演。2017年にNHK-FM Session 2017」に出演。また多くのCDのレコーディングにエンジニア参加。ほむもと、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。2010年「リーダールーム」THE SONG OF STRINGS」発表2013年3月知多半島音楽祭にリーダールーム「ザ・ソング・オブ・ストリングス」で出演。2011～2013年横浜「ピノキオ」に「ピノキオ」で出演。2015年大阪高槻「ピノキオ」に「ピノキオ」で出演。2016年にNHK-FM Session 2016」に出演。2017年にNHK-FM Session 2017」に出演。2023年韓国蔚山ジャズフェスティバルに出演予定。また多くのCDのレコーディングにエンジニア参加。ほむもと、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。							
【到達目標】							
カウント、小節数を数えながら楽曲を聴けるようになる。Aメロ・Bメロ・サビ等の楽曲の構成について理解できるようになる。ルート音が聞き取れるようになる。4小節単位・8小節単位の感覚が身につく、リピート、ダレ・セーニョ、ダ・カーポ等の譜面の進行も読める。コード譜を見てルート音、3度、5度、7度の音を組み合わせ弾きながら要所に経過音を挿入できるようになる。8ビートに加えて16ビート、3連系について楽曲毎のベースラインの違い、ドラムとのコンビネーションを聞き取れるようになる。メジャー及びマイナーキーのツー・ファイブ・ワンのコード進行のスケール及びアルペジオが弾けるようになる。以上の内容を基に各習得段階に応じた任意の楽曲に沿ってベースラインを作成し将来のDTM等の制作時の要求に応えるためクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。							

授業計画・内容	
1回目	ドリアンスケールの練習① ルート音聞き取り練習① 16ビートのリズムが読める①読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
2回目	ドリアンスケールの練習② ルート音聞き取り練習② 16ビートのリズムが読める②読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
3回目	フリジアンスケールの練習 ルート音、構成の聞き取り練習① 16ビートのリズムが読める③読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
4回目	フリジアンメジャースケールの練習 ルート音、構成の聞き取り練習② 16ビートのリズムが読める④読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
5回目	リディアンスケールの練習 ルート音、構成を基に要所のフレーズも加えた簡易的なベース譜の作成練習① 3連系のリズムが読める①読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
6回目	ミソリディアンスケールの練習① ルート音、構成を基に要所のフレーズも加えた簡易的なベース譜の作成練習② 3連系のリズムが読める②読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
7回目	ミソリディアンスケールの練習② ルート音、構成を基に要所のフレーズも加えた簡易的なベース譜の作成練習③ 16ビートのリズムが書き取れる①読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
8回目	エオリアンスケールの練習 ルート音、構成を基に要所のフレーズも加えた簡易的なベース譜の作成練習④ 16ビートのリズムが書き取れる②読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
9回目	ロリアンスケールの練習 メジャーキーのツー・ファイブ・ワンのスケールの練習 16ビートのリズムが書き取れる③読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
10回目	各種スケール総合練習① メジャーキーのツー・ファイブ・ワンのアルペジオ練習 16ビートのリズムが書き取れる④読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
11回目	各種スケール総合練習② マイナーキーのツー・ファイブ・ワンのスケール練習 3連系のリズムが書き取れる①読み取ったリズムをクリックと共に録音し自己評価できる。
12回目	ダイアトニックスケール及びアルペジオの総合練習 メジャーキー・マイナーキーのツー・ファイブ・ワンの総合練習 到達度確認
13回目	卒業進級制作
14回目	卒業進級制作
15回目	卒業進級制作
準備学習 時間外学習	基本的に準備不要で授業に参加します。フレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。 授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。
評価方法	"授業へ取り組む姿勢（60%） 各課題曲での目標の達成度、実戦度（20%） 自己実現力と演奏力（歌唱力）の向上度（20%）"□
受講生への メッセージ	国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。 世界に認められたテクニックや表現、人を感動させる音楽の力(グループ)について学び、習得していきます。 それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。 楽しみましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
iPadやスマートフォンなどでYoutubeを検索。 テキスト(4～8小節程度のエクササイズを2種類)。 その他、資料配布。	

科目名 (英)	ベースラインコンセプトⅢ Bassline ConceptsⅢ	選択 必修	選択必修	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 月曜4限
【授業の学習内容】 1 年次同名授業で習得したダイアトニックスケール及びメジャー、マイナーキーのツー・ファイブ・ワンにおけるスケール及びアルペジオを用いて様々な曲に対応したベースラインを構築・アレンジする方法を実際の曲などから簡易的なベース譜の作成練習を通して学習する。コード進行の基礎となるダイアトニックコードおよび付帯するセカンダリドミナント・リレイテッドⅡ m7を簡記して簡易的なベース譜の作成効率を上げる。ディミニッシュコードのコードトーンとスケールと使用方法を学習する。オリジナル曲に対してベースラインを構築する方法を学習する。将来のDTM等の制作時の要求に応えるため構築したベースラインをクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。 【講師プロフィール】 2010 年リーザルバム『THE SONG OF STRINGS』発表2013 年3月知多半島音楽祭にリーザルバム『ザ・ソング・オブ・ストリングス』で出演。2011～2013 年横浜市民大に出演。2015 年大阪高槻市民大に出演。2016 年にNHK-FM Session 2016 に出演。2017 年にNHK-FM Session 2017 に出演。また多くの CD のレコーディングに参加。ほっとんど、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。2010 年リーザルバム『THE SONG OF STRINGS』発表2013 年3月知多半島音楽祭にリーザルバム『ザ・ソング・オブ・ストリングス』で出演。2011～2013 年横浜市民大に出演。2015 年大阪高槻市民大に出演。2016 年にNHK-FM Session 2016 に出演。2017 年にNHK-FM Session 2017 に出演。2023年韓国新山ジャズフェスティバルに出演予定。また多くの CD のレコーディングに参加。ほっとんど、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。							
【到達目標】 メジャーキーのダイアトニックコード及び付帯するセカンダリドミナント・リレイテッドⅡ m7をベースの指板を用いて表にまとめて書けるようになる。ダイアトニックコードのアルペジオ及びメジャー、マイナーキーのツー・ファイブ・ワンのアルペジオが弾ける。曲のコード進行においてルート音、3度、5度、7度等を使用してベースラインを構築できる。構築したベースラインを演奏しながら効果的に経過音を挿入できる。曲のキーに対応したブルーススケールを用いてフィルイン及びベースソロがとれる。曲のコード進行に沿ったスケールを弾ける。以上の内容を基に各習得段階に応じた任意の楽曲に沿ってベースライン・フィルイン等を作成し将来のDTM等の制作時の要求に応えるためクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。							

授業計画・内容	
1回目	メジャーキーのダイアトニックコード及びセカンダリドミナント、リレイテッドⅡ m7をまとめた表が書ける。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
2回目	アイオニアン、ドリアン、フリジアン、フリジアンメジャー、リディアン、ミクソリディアン、エオリアン、ロクリアンの各スケールが弾ける。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
3回目	メジャー、マイナーキーのツー・ファイブ・ワンのスケール及びアルペジオが弾ける。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
4回目	既存の曲の譜面を見てルート音が弾ける。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
5回目	既存の曲の譜面を見てルート音 + 5度が弾ける。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
6回目	既存の曲の譜面を見てルート音 + 3度 + 5度が弾ける。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
7回目	既存の曲の譜面を見てルート音 + 3度 + 5度 + 7度が弾ける。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
8回目	既存の曲の譜面を見てアヴェイラブル・ノート・スケールが弾ける①与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
9回目	既存の曲の譜面を見てアヴェイラブル・ノート・スケールが弾ける②与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
10回目	既存の曲の譜面を見てアヴェイラブル・ノート・スケールが弾ける③与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
11回目	既存の曲の譜面を見てマイナーペンタトニックスケールとブルーノートを用いてソロが取れる①与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
12回目	既存の曲の譜面を見てマイナーペンタトニックスケールとブルーノートを用いてソロが取れる② 与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。到達度確認
13回目	学期末テスト
14回目	振り返り
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	基本的に準備不要で授業に参加します。フレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。 授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。
評価方法	"授業へ取り組み姿勢（60%） 各課題曲での目標の達成度、実戦度（20%） 自己実現力と演奏力（歌唱力）の向上度（20%）"□
受講生への メッセージ	国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。 世界に認められたテクニクや表現、人を感動させる音楽の力(グループ)について学び、習得していきます。 それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。 楽しみましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 iPadやスマートフォンなどでYoutubeを検索。 テキスト(4～8小節程度のエクササイズを2種類)。 その他、資料配布。	

科目名 (英)	ベースラインコンセプトⅣ Bassline ConceptsⅣ	選択 必修	選択必修	年次	2		
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科					曜日・時限	月曜4限
【授業の学習内容】 既存の曲、オリジナル曲を聴いてキーを特定する方法を学習する。そのキーでのコード進行をまとめた表を書く方法を学習する。またベース、ドラムの基本的なパターンを聞き取る練習をする。ルート音を聞き取る練習をする。聞き取ったルート音をコード進行をまとめた表に照らしてコードネームを照推し、確認する練習をする。それらを基にベースラインを構築する方法を学習する。デミニッシュやオルタードスケールについて学習する。リハーモナイズの基本を学習する。将来のDTM等の制作時の要求に応えるため学習した内容をクリックに合わせて録音する。 【講師プロフィール】 2010 年リー・ザルバム THE SONG OF STRINGS 発表2013 年3月知多半島音楽祭にリー・ザルバム THE SONG OF STRINGS 発表。2011～2013 年横浜浜辺の森に出演。2015 年大阪高槻音楽祭にリー・ザルバム THE SONG OF STRINGS 発表。2016 年にNHK-FM Session 2016 に出演。2017 年にNHK-FM Session 2017 に出演。また多くの CD のレコーディングに参加。ほかもと、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。2010 年リー・ザルバム THE SONG OF STRINGS 発表2013 年3月知多半島音楽祭にリー・ザルバム THE SONG OF STRINGS 発表。2011～2013 年横浜浜辺の森に出演。2015 年大阪高槻音楽祭にリー・ザルバム THE SONG OF STRINGS 発表。2016 年にNHK-FM Session 2016 に出演。2017 年にNHK-FM Session 2017 に出演。2023年韓国南山ジャズフェスティバルに出演予定。また多くの CD のレコーディングに参加。ほかもと、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。							
【到達目標】 ベース音からその曲のキーを確定できる。そのキーでのコード進行をまとめた表を書ける。曲の構成要素を聞き取ることができる。構成要素ごとのベースとドラムのパターンを聞き取れる。ルート音とコード進行をまとめた表からコードを確定できる。コード進行からベースラインを構築する事ができる。簡単なリハーモナイズができる。以上の内容を基に各習得段階に応じた任意の楽曲に沿ってベースライン・フィルイン等を作成し将来のDTM等の制作時の要求に応えるためクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。							

授業計画・内容	
1回目	曲のキーを使ってあるベースの音から類推し、確認して確定できる。そのキーにおけるダイアトニックコード及びセカンダリドミナント、リレイテッドⅡ m7をまとめた表が書ける。曲のキーを使ってあるベースの音から類推し、確認して確定できる。そのキーにおけるダイアトニックコード及びセカンダリドミナント、リレイテッドⅡ m7をまとめた表が書ける。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
2回目	曲を聴きイントロ、Aメロ・Bメロ・サビ等の曲の構成要素を書き取れる。ベースとドラムを聴き基本的なパターンを聞き取れる。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
3回目	曲のルート音を聞き取ることができる。そのルート音から曲のキーにおけるダイアトニックコード及びセカンダリドミナント、リレイテッドⅡ m7をまとめた表を用いてコードを類推し確認できる。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
4回目	確定したコード進行と聞き取った基本的なパターンから音使いの規則性を探し、曲の構成毎にまとめることができる。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
5回目	作成した簡易的なベース譜を見ながらベースを演奏する事ができる。オリジナルのフィルイン等を聞き取り譜面にすることができる。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
6回目	デミニッシュコードのアルペジオとスケールを弾くことができる。バッシングデミニッシュの用法について説明できる。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
7回目	オルタードスケールを弾くことができる。オルタードスケールの用法について説明できる。フリジアンメジャースケールとの違いを説明できる。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
8回目	課題曲(唱歌等)のコード進行をアレンジし、メロディを阻害しないような別のコード進行を考えられる①与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
9回目	課題曲(唱歌等)のコード進行をアレンジし、メロディを阻害しないような別のコード進行を考えられる②与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
10回目	オリジナル曲に対してダイアトニックコード及びセカンダリドミナント、リレイテッドⅡ m7をまとめた表を基に与えられたリズムパターンの上でベースラインを構築する①与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。
11回目	オリジナル曲に対してダイアトニックコード及びセカンダリドミナント、リレイテッドⅡ m7をまとめた表を基に与えられたリズムパターンの上でベースラインを構築する①与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。 期末テスト
12回目	オリジナル曲に対してダイアトニックコード及びセカンダリドミナント、リレイテッドⅡ m7をまとめた表を基に与えられたリズムパターンの上でベースライン、フィルインを構成する。与えられたコード進行に対してベースラインを作成しクリックに合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。 到達度確認
13回目	卒業進級制作
14回目	卒業進級制作
15回目	卒業進級制作
準備学習 時間外学習	基本的に準備不要で授業に参加します。フレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。 授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。
評価方法	"授業へ取り組み姿勢（60％） 各課題曲での目標の達成度、実戦度（20％） 自己実現力と演奏力（歌唱力）の向上度（20％）"口
受講生への メッセージ	国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。 世界に認められたテクニックや表現、人を感動させる音楽の力(グループ)について学び、習得していきます。 それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。 楽しみましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 iPadやスマートフォンなどでYoutubeを検索。 テキスト(4～8小節程度のエクササイズを2種類)。 その他、資料配布。	

科目名 (英)	ベースラインコンセプトⅤ	選択必修	選択必修	年次	3		
	Bassline ConceptsⅤ	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科					曜日・時限	月曜1限
【授業の学習内容】							
ポピュラー音楽のリズムの題材として用いられる世界各国の民族音楽を基にしたリズムパターンを実際の曲を通して学びベースラインの動きの特徴を学ぶ。Ⅰ～Ⅳまでで学習したコード進行の理論及びベースラインの構築方法を基にオリジナル曲のコード進行においてそれらの特徴的なベースラインを作成し演奏することができるようになる。また各国の民族音楽に特徴的なコード進行、リズムパターン等を学習して既存の曲等のアレンジメントに活かすことができるようになる。オリジナルのコード進行を作成し演奏する。 【講師プロフィール】 2010 年リリースアルバム「THE SONG OF STRINGS」発表2013 年3月知多半島音楽祭にリーダー・デュエット「サ・ソングス」で出演。2011～2013 年横浜音楽フェスティバルに出演。2015 年大阪高槻音楽フェスティバルに出演。2016 年にNHK-FM「Session 2016」に出演。2017 年にNHK-FM「Session 2017」に出演。また多くの CD のレコーディングに参加。ほっともっと、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。2010 年リリースアルバム「THE SONG OF STRINGS」発表2013 年3月知多半島音楽祭にリーダー・デュエット「サ・ソングス」で出演。2011～2013 年横浜音楽フェスティバルに出演。2015 年大阪高槻音楽フェスティバルに出演。2016 年にNHK-FM「Session 2016」に出演。2017 年にNHK-FM「Session 2017」に出演。2023年韓国蔚山ジャズフェスティバルに出演予定。また多くの CD のレコーディングに参加。ほっともっと、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。							
【到達目標】							
各国の民族音楽のリズムの特徴とベースラインの音使いの特徴を譜面でできるようになる。基本的なコード進行を想定し各国の民族音楽風にベースラインを作成できる。作成した音源に合わせてベースラインを録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。既存の曲を各国の民族音楽風にアレンジしてベースラインを作成し音源に合わせて録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。							

授業計画・内容	
1回目	ボサノバの曲を聴きベースラインを聴き取ることができる。そのベースラインの特徴を学習し他のコード進行上でもベースラインが構築できるようになる。構築できたベースラインを音源に合わせて演奏できる。演奏を録音し自己評価を行う。
2回目	サンバの曲を聴きベースラインを聴き取ることができる。そのベースラインの特徴を学習し他のコード進行上でもベースラインが構築できるようになる。構築できたベースラインを音源に合わせて演奏できる。演奏を録音し自己評価を行う。
3回目	ショーロの曲を聴きベースラインを聴き取ることができる。そのベースラインの特徴を学習し他のコード進行上でもベースラインが構築できるようになる。構築できたベースラインを音源に合わせて演奏できる。演奏を録音し自己評価を行う。
4回目	ルンバの曲を聴きベースラインを聴き取ることができる。そのベースラインの特徴を学習し他のコード進行上でもベースラインが構築できるようになる。構築できたベースラインを音源に合わせて演奏できる。演奏を録音し自己評価を行う。
5回目	マンボの曲を聴きベースラインを聴き取ることができる。そのベースラインの特徴を学習し他のコード進行上でもベースラインが構築できるようになる。構築できたベースラインを音源に合わせて演奏できる。演奏を録音し自己評価を行う。
6回目	チャチャチャの曲を聴きベースラインを聴き取ることができる。そのベースラインの特徴を学習し他のコード進行上でもベースラインが構築できるようになる。構築できたベースラインを音源に合わせて演奏できる。演奏を録音し自己評価を行う。
7回目	レゲエの曲を聴きベースラインを聴き取ることができる。そのベースラインの特徴を学習し他のコード進行上でもベースラインが構築できるようになる。構築できたベースラインを音源に合わせて演奏できる。演奏を録音し自己評価を行う。
8回目	タンゴの曲を聴きベースラインを聴き取ることができる。そのベースラインの特徴を学習し他のコード進行上でもベースラインが構築できるようになる。構築できたベースラインを音源に合わせて演奏できる。演奏を録音し自己評価を行う。
9回目	スウィングの曲を聴きベースラインを聴き取ることができる。そのベースラインの特徴を学習し他のコード進行上でもベースラインが構築できるようになる。構築できたベースラインを音源に合わせて演奏できる。演奏を録音し自己評価を行う。
10回目	ロックの曲を聴きベースラインを聴き取ることができる。そのベースラインの特徴を学習し他のコード進行上でもベースラインが構築できるようになる。構築できたベースラインを音源に合わせて演奏できる。演奏を録音し自己評価を行う。
11回目	ロックバラードの曲を聴きベースラインを聴き取ることができる。そのベースラインの特徴を学習し他のコード進行上でもベースラインが構築できるようになる。構築できたベースラインを音源に合わせて演奏できる。演奏を録音し自己評価を行う。
12回目	ヒップホップの曲を聴きベースラインを聴き取ることができる。そのベースラインの特徴を学習し他のコード進行上でもベースラインが構築できるようになる。構築できたベースラインを音源に合わせて演奏できる。演奏を録音し自己評価を行う。
13回目	学期末テスト
14回目	振り返り
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	基本的に準備不要で授業に参加します。フレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。 授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。
評価方法	"授業へ取り組み姿勢（60%） 各課題曲での目標の達成度、実戦度（20%） 自己実現力と演奏力（歌唱力）の向上度（20%）"□
受講生への メッセージ	国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。 世界に認められたテクニックや表現、人を感動させる音楽の力(グループ)について学び、習得していきます。 それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。 楽しみましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
iPadやスマートフォンなどでYoutubeを検索。 テキスト(4～8小節程度のエクササイズを2種類)。 その他、資料配布。	

科目名 (英)	ベースラインコンセプトVI Bassline ConceptsVI	選択 必修	選択必修	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 月曜1限
【授業の学習内容】 既存の曲(60'～00')を聴いて曲の構成、コード進行及びベースラインを書き留めコード進行の分析及びベースラインの分析を行う。分析を基に各年代の曲の特徴を捉えたコード進行を作成し演奏・録音する。 【講師プロフィール】 2010 年リー・ダアルバム「THE SONG OF STRINGS」発表2013 年3月知多半島音楽祭にリー・ダユニット「ザ・ソング・オブ・ストリングス」で出演。2011～2013 年横浜ライブ・ナードに 出演。2015 年大阪高槻ライブ・ナードに 出演。2016 年にNHK-FM「Session 2016」に出演。2017 年にNHK-FM「Session 2017」に出演。また多くの CD のレコーディングに参加。ほっともっと、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。2010 年リー・ダアルバム「THE SONG OF STRINGS」発表2013 年3月知多半島音楽祭にリー・ダユニット「ザ・ソング・オブ・ストリングス」で出演。2011～2013 年横浜ライブ・ナードに 出演。2015 年大阪高槻ライブ・ナードに 出演。2016 年にNHK-FM「Session 2016」に出演。2017 年にNHK-FM「Session 2017」に出演。2023年韓国蔚山ジャズフェスティバルに出演予定。また多くの CD のレコーディングに参加。ほっともっと、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。							
【到達目標】 各年代の既存の曲の構成、コード進行、ベースラインを書き留めることができる。コード進行及びベースラインについてこれまで学習した理論等を用いて分析ができる。これらに基づいて各年代の既存の曲の特徴を捉えたコード進行を作成できる。作成したコード進行にベースラインを作成し録音しプレイバックを聴いて自己評価を行う。							

授業計画・内容	
1回目	60年代の既存の曲を聴きコード進行、ベースラインを書き留める。そしてコード進行を分析する。それらを基に曲の特徴を捉えたコード進行を作成しベースラインを作成し演奏する。
2回目	前回の分析結果を基に曲の特徴を捉えたコード進行を作成しベースラインを作成し演奏する。録音して自己評価を行う。
3回目	70年代の既存の曲を聴きコード進行、ベースラインを書き留める。そしてコード進行を分析する。それらを基に曲の特徴を捉えたコード進行を作成しベースラインを作成し演奏する。
4回目	前回の分析結果を基に曲の特徴を捉えたコード進行を作成しベースラインを作成し演奏する。録音して自己評価を行う。
5回目	80年代の既存の曲を聴きコード進行、ベースラインを書き留める。そしてコード進行を分析する。それらを基に曲の特徴を捉えたコード進行を作成しベースラインを作成し演奏する。
6回目	前回の分析結果を基に曲の特徴を捉えたコード進行を作成しベースラインを作成し演奏する。録音して自己評価を行う。
7回目	90年代の既存の曲を聴きコード進行、ベースラインを書き留める。そしてコード進行を分析する。それらを基に曲の特徴を捉えたコード進行を作成しベースラインを作成し演奏する。
8回目	前回の分析結果を基に曲の特徴を捉えたコード進行を作成しベースラインを作成し演奏する。録音して自己評価を行う。
9回目	00年代の既存の曲を聴きコード進行、ベースラインを書き留める。そしてコード進行を分析する。それらを基に曲の特徴を捉えたコード進行を作成しベースラインを作成し演奏する。
10回目	前回の分析結果を基に曲の特徴を捉えたコード進行を作成しベースラインを作成し演奏する。録音して自己評価を行う。
11回目	10年代の既存の曲を聴きコード進行、ベースラインを書き留める。そしてコード進行を分析する。それらを基に曲の特徴を捉えたコード進行を作成しベースラインを作成し演奏する。
12回目	前回の分析結果を基に曲の特徴を捉えたコード進行を作成しベースラインを作成し演奏する。録音して自己評価を行う。
13回目	卒業進級制作
14回目	卒業進級制作
15回目	卒業進級制作
準備学習 時間外学習	基本的に準備不要で授業に参加します。フレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。
評価方法	"授業へ取り組む姿勢（60%） 各課題曲での目標の達成度、実戦度（20%） 自己実現力と演奏力（歌唱力）の向上度（20%）"□
受講生への メッセージ	国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。 世界に認められたテクニックや表現、人を感動させる音楽の力(グループ)について学び、習得していきます。 それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。 楽しみましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 iPadやスマートフォンなどでYoutubeを検索。 テキスト(4～8小節程度のエクササイズを2種類)。 その他、資料配布。	

科目名 (英)	ベースラインコンセプトⅦ Bassline ConceptsⅦ	選択 必修	選択必修	年次	4		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 月曜2限
【授業の学習内容】 ベースのソロに焦点を当ててベースレジェンドたちのソロを分析して練習する。コード進行に対してのアベイラブル・ノート・スケール及びアルペジオそして経過音を指摘できるようになる。ソロを弾くために自分にとって最適なポジションングを研究し考察する。 【講師プロフィール】 2010 年リー・ダル・ナムの「THE SONG OF STRINGS」発表2013 年3月知多半島音楽祭にリー・ダニエル・ゴッ・ス・ストリングスで出演。2011～2013 年横浜でライブに出演。2015 年大阪高槻でライブに出演。2016 年にNHK-FM「Session 2016」に出演。2017 年にNHK-FM「Session 2017」に出演。また多くの CD のレコーディングに参加。ほっともっと、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。2010 年リー・ダル・ナムの「THE SONG OF STRINGS」発表2013 年3月知多半島音楽祭にリー・ダニエル・ゴッ・ス・ストリングスで出演。2011～2013 年横浜でライブに出演。2015 年大阪高槻でライブに出演。2016 年にNHK-FM「Session 2016」に出演。2017 年にNHK-FM「Session 2017」に出演。2023年韓国蔚山ジャズフェスティバルに出演予定。また多くの CD のレコーディングに参加。ほっともっと、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。							
【到達目標】 ベースレジェンド達のベースソロを聴いて音とリズムを採譜できる。コード進行を採譜してベースソロ各音のアベイラブル・ノート・スケール及びアルペジオそして経過音の分析ができる。各部分を練習し演奏できる。練習したベースソロをベースの異なるポジションングで弾いてみて自分にあったポジションングを検討できる。映像等でオリジナルの演奏が確認できるものについては自分で検討したポジションングと比較・検討できる。							

授業計画・内容	
1回目	課題曲 1 のベースソロを聴き音とリズムを採譜する。コード進行を採譜してベースソロ各音のアベイラブル・ノート・スケール及びアルペジオそして経過音について分析する。
2回目	採譜したベースソロを練習する。また異なるポジションングにて弾いてみて自分に合ったポジションングを考察する。オリジナルの映像等と比較検討する。録音してじ
3回目	課題曲 2 のベースソロを聴き音とリズムを採譜する。コード進行を採譜してベースソロ各音のアベイラブル・ノート・スケール及びアルペジオそして経過音について分析する。
4回目	採譜したベースソロを練習する。また異なるポジションングにて弾いてみて自分に合ったポジションングを考察する。オリジナルの映像等と比較検討する。録音してじ
5回目	課題曲 3 のベースソロを聴き音とリズムを採譜する。コード進行を採譜してベースソロ各音のアベイラブル・ノート・スケール及びアルペジオそして経過音について分析する。
6回目	採譜したベースソロを練習する。また異なるポジションングにて弾いてみて自分に合ったポジションングを考察する。オリジナルの映像等と比較検討する。録音してじ
7回目	課題曲 4 のベースソロを聴き音とリズムを採譜する。コード進行を採譜してベースソロ各音のアベイラブル・ノート・スケール及びアルペジオそして経過音について分析する。
8回目	採譜したベースソロを練習する。また異なるポジションングにて弾いてみて自分に合ったポジションングを考察する。オリジナルの映像等と比較検討する。録音してじ
9回目	課題曲 5 のベースソロを聴き音とリズムを採譜する。コード進行を採譜してベースソロ各音のアベイラブル・ノート・スケール及びアルペジオそして経過音について分析する。
10回目	採譜したベースソロを練習する。また異なるポジションングにて弾いてみて自分に合ったポジションングを考察する。オリジナルの映像等と比較検討する。録音してじ
11回目	課題曲 6 のベースソロを聴き音とリズムを採譜する。コード進行を採譜してベースソロ各音のアベイラブル・ノート・スケール及びアルペジオそして経過音について分析する。
12回目	採譜したベースソロを練習する。また異なるポジションングにて弾いてみて自分に合ったポジションングを考察する。オリジナルの映像等と比較検討する。録音してじ
13回目	学期末テスト
14回目	振り返り
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	基本的に準備不要で授業に参加します。フレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。 授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。
評価方法	"授業へ取り組む姿勢（60%） 各課題曲での目標の達成度、実戦度（20%） 自己実現力と演奏力（歌唱力）の向上度（20%）"□
受講生への メッセージ	国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。 世界に認められたテクニックや表現、人を感動させる音楽の力(グループ)について学び、習得していきます。 それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。 楽しみましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 iPadやスマートフォンなどでYoutubeを検索。 テキスト(4～8小節程度のエクササイズを2種類)。 その他、資料配布。	

科目名 (英)	ベースラインコンセプトⅧ Bassline ConceptsⅧ	選択 必修	選択必修	年次	4		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 月曜2限
【授業の学習内容】 実際の演奏現場を想定して音源を基に自分がステージ上で使用するための情報を全て網羅した譜面を作成する。キー、イントロ、テーマ、間奏、エンディング、ユニゾン、リズムキメ、リフそして曲の進行等を無駄なくわかり易く表記し演奏する。 【講師プロフィール】 2010 年リー・ダアルバム『THE SONG OF STRINGS』発表2013 年3月知多半島音楽祭にリー・ダユニット『ザ・ソング・オブ・ストリングス』で出演。2011～2013 年横浜ジャズフェスティバルに出演。2015 年大阪高槻ジャズフェスティバルに出演。2016 年にNHK-FM『Session 2016』に出演。2017 年にNHK-FM『Session 2017』に出演。また多くの CD のレコーディングにも参加。ほっともっと、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。2010 年リー・ダアルバム『THE SONG OF STRINGS』発表2013 年3月知多半島音楽祭にリー・ダユニット『ザ・ソング・オブ・ストリングス』で出演。2011～2013 年横浜ジャズフェスティバルに出演。2015 年大阪高槻ジャズフェスティバルに出演。2016 年にNHK-FM『Session 2016』に出演。2017 年にNHK-FM『Session 2017』に出演。2023年韓国蔚山ジャズフェスティバルに出演予定。また多くの CD のレコーディングにも参加。ほっともっと、黒白波等のCFにてベースの演奏を担当。							
【到達目標】 音源を聴いて曲の構成（イントロ、テーマ、間奏、エンディング等）が譜面にできる。音源を聴いてキーを特定できる。音源のルートを特定できる。特定したルートと学習した音楽理論からコード進行を確定できる。ドラム等のリズムパターンを採譜できる。ベースラインを音・リズムの両面から特定できる。ベースのフィルインを採譜できる。各所での他の楽器の特徴的なフレーズを採譜できる。ユニゾン、リズムキメを採譜し演奏できる。間奏のコード進行を想定しベースソロを作成し演奏できる。曲の構成、実際の進行を簡潔な表現で譜面に書ける。							

授業計画・内容	
1回目	課題曲 1 音源を聴いて曲の構成（イントロ、テーマ、間奏、エンディング等）を採譜する。次にキーを特定しベースのルート音を特定する。
2回目	前回特定したルート音と学習した音楽理論からコード進行を推定し、チェックする。ドラム等のリズムパターンを採譜しベースラインも採譜する。
3回目	ベースのフィルインを採譜する。そしてユニゾン、リズムキメを採譜する。間奏のコード進行を想定しベースソロを作成し演奏する。最後に音源と録音し自己評価を行う。
4回目	課題曲 2 音源を聴いて曲の構成（イントロ、テーマ、間奏、エンディング等）を採譜する。次にキーを特定しベースのルート音を特定する。
5回目	前回特定したルート音と学習した音楽理論からコード進行を推定し、チェックする。ドラム等のリズムパターンを採譜しベースラインも採譜する。
6回目	ベースのフィルインを採譜する。そしてユニゾン、リズムキメを採譜する。間奏のコード進行を想定しベースソロを作成し演奏する。最後に音源と録音し自己評価を行う。
7回目	課題曲 3 音源を聴いて曲の構成（イントロ、テーマ、間奏、エンディング等）を採譜する。次にキーを特定しベースのルート音を特定する。
8回目	前回特定したルート音と学習した音楽理論からコード進行を推定し、チェックする。ドラム等のリズムパターンを採譜しベースラインも採譜する。
9回目	ベースのフィルインを採譜する。そしてユニゾン、リズムキメを採譜する。間奏のコード進行を想定しベースソロを作成し演奏する。最後に音源と録音し自己評価を行う。
10回目	課題曲 4 音源を聴いて曲の構成（イントロ、テーマ、間奏、エンディング等）を採譜する。次にキーを特定しベースのルート音を特定する。
11回目	前回特定したルート音と学習した音楽理論からコード進行を推定し、チェックする。ドラム等のリズムパターンを採譜しベースラインも採譜する。
12回目	ベースのフィルインを採譜する。そしてユニゾン、リズムキメを採譜する。間奏のコード進行を想定しベースソロを作成し演奏する。最後に音源と録音し自己評価を行う。
13回目	卒業進級制作
14回目	卒業進級制作
15回目	卒業進級制作
準備学習 時間外学習	基本的に準備不要で授業に参加します。フレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。 授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。
評価方法	"授業へ取り組み姿勢（60%） 各課題曲での目標の達成度、実戦度（20%） 自己実現力と演奏力（歌唱力）の向上度（20%）"□
受講生への メッセージ	国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。 世界に認められたテクニックや表現、人を感動させる音楽の力(グループ)について学び、習得していきます。 それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。 楽しみましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 iPadやスマートフォンなどでYoutubeを検索。 テキスト(4～8小節程度のエクササイズを2種類)。 その他、資料配布。	

科目名 (英)	グループアナライズ I Groove Analyze I	必修 選択	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜2限
【授業の学習内容】 ダイアトニックコード、ドミナントコード、Key内、key外でのコードに対して使用可能なアルペジオとスケールを学習し、アレンジ能力やアドリブ時のフレーズに幅を広げることを目的とした授業になります。 （講師プロフィール） 福岡を中心に活動するセッション・スタジオミュージシャン。その演奏ジャンルとスタイルは幅広く、クラシック・ロック・ポプス・Pop・ラテン・ジャズ・R&B・フュージョン・ソウル・ファンク・R&Bなど様々な音楽スタイルを演奏する。それらスタイルや楽曲に合わせ、コントラバスのエレキベースを上手に使い分けている。							
【到達目標】 前期の期間で指板上の音の位置を覚え、譜面上のRoot音(+5th)を即座に演奏可能になること。							

授業計画・内容	
1回目	楽器(ベース)についての基礎知識とフォームについて
2回目	8ビート(8beat)のルート弾き①
3回目	8ビート(8beat)のルート弾き②
4回目	8ビート(8beat)のRoot+5thによるベースライン①(上の5thのみ)
5回目	8ビート(8beat)のRoot+5thによるベースライン②(上の5thのみ)
6回目	8ビート(8beat)のRoot+5thによるベースライン③(上の5thのみ)
7回目	8ビート(8beat)のRoot+5thによるベースライン①②③(上の5th+下の5th)
8回目	8ビート(8beat)のRoot+5thによるベースライン①②③(上の5th+下の5th)
9回目	8ビート(8beat)のRoot+3rd+5thによるベースライン①
10回目	8ビート(8beat)のRoot+3rd+6thによるベースライン②
11回目	8ビート(8beat)のRoot+3rd+7thによるベースライン③
12回目	8ビート(8beat)のRoot+3rd+5thによるベースライン①②③(ワンポジション)
13回目	振り返り
14回目	テスト
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	テキストの「グループアナライズ・ドリル」を基に予習と復習（授業内での説明も多くあるので復習をしっかりとしてもらいたい）。
評価方法	期末テスト（60%） 出席、態度(40%)
受講生への メッセージ	ベースをしっかり弾く為の基礎を作る授業になります。 一緒に頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 iPad、もしくはPCでテキストを開くので必ずどちらかを持参してください。	

科目名 (英)	グループアナライズ I Groove Analyze I	必修 選択	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 火曜2限
【授業の学習内容】 タイアトリックコード、ドミナントコード、Key内、key外でのコードに対して使用可能なアルペジオとスケールを学習し、アレンジ能力やアドリブ時のフレーズに幅を広げることを目的とした授業になります。 (講師プロフィール) 福岡を中心に活動するセッション・スタジオミュージシャン。その演奏ジャンルとスタイルは幅広く、クラシック・ロック・ポプス J-Pop・ラテン・ジャズ・R&B・フュージョン・ソウル・ファンク・演歌など様々な音楽スタイルを演奏する。それらスタイルや楽曲に合わせ、コントラバスのレキベースを使い分けている。							
【到達目標】 前期に続き後期ではコードの3rd、7thをプラスした演奏を可能になること。 また16beatにも触れ、より細かいリズムの中での安定した演奏、グループを生み出す。							

授業計画・内容	
1回目	16ビート (16beat) のRoot+3rd+5th+7thによるベースライン①
2回目	16ビート (16beat) のRoot+3rd+5th+7thによるベースライン②
3回目	16ビート (16beat) のRoot+3rd+5th+7thによるベースライン③
4回目	16ビート (16beat) のRoot+3rd+5th+7thによるベースライン①②③ (ワンポジション)
5回目	16ビート (16beat) のRoot+3rd+5th+7thによるベースライン①②③ (ワンポジション)
6回目	Sample song1-① Root+3rd+5thを基本とした8beatのベースラインを弾こう
7回目	Sample song1-② Root+3rd+5thを基本とした8beatのベースラインを弾こう
8回目	Sample song2-① Root+3rd+5thを基本とした8beatのベースラインを弾こう
9回目	Sample song2-② Root+3rd+5thを基本とした8beatのベースラインを弾こう
10回目	Sample song3-① Root+3rd+5thを基本とした8beatのベースラインを弾こう
11回目	Sample song3-② Root+3rd+5thを基本とした8beatのベースラインを弾こう
12回目	まとめ
13回目	We Are FSM RH
14回目	We Are FSM RH
15回目	We Are FSM 本番
準備学習 時間外学習	テキストの「グループアナライズ・ドリル」を基に予習と復習 (授業内での説明も多くあるので復習をしっかりとしてもらいたい)。
評価方法	期末テスト (60%) 出席、態度 (40%)
受講生への メッセージ	ベースを弾く上での基礎的な運指や姿勢、体作りを行い安定したリズムやグループと一緒に生み出していきたいと思います。
【使用教科書・教材・参考書】 iPad、もしくはPCでテキストを開くので必ずどちらかを持参してください。	

科目名 (英)	グループアナライズⅢ	必修 選択	選択必修	年次	2		
	Groove AnalyzeⅢ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科					曜日・時限	火曜1限
【授業の学習内容】 ダイアトニックコード、ドミナントコード、Key内、Key外のコードに対しての使用可能なアルペジオとスケールを学習し、アレンジ能力やアドリブ時のフレーズに幅を持たせること、様々なリズムパターンを用いてのグループ鍛錬を目的とした授業になります。 （講師プロフィール） 福岡を中心に活動するセッション・スタジオミュージシャン。その演奏ジャンルとスタイルは幅広く、クラシック・ロック・ポプス・J-Pop・ラテン・ジャズ・R&B・フュージョン・ソウル・ファンク・R&Bなど様々な音楽スタイルを演奏する。それらスタイルや楽曲に合わせ、コントラバス・エレキベースを 使い分けている。							
【到達目標】 前期でアルペジオの理解やジャンルごとのリズムパターンに沿ったフレーズの構築ができる。							

授業計画・内容	
1回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びトリレイトッドⅡ m7、Ⅱ m7[b 5]を含む参考曲でのアルペジオ①と符割感覚トレーニング
2回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びトリレイトッドⅡ m7、Ⅱ m7[b 5]を含む参考曲でのアルペジオ②とゴーストノート
3回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びトリレイトッドⅡ m7、Ⅱ m7[b 5]を含む参考曲でのアルペジオ③と16裏トレーニング
4回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びトリレイトッドⅡ m7、Ⅱ m7[b 5]を含む参考曲でのアルペジオ③と16裏トレーニング
5回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びトリレイトッドⅡ m7、Ⅱ m7[b 5]を含む参考曲でのアルペジオ⑤とポリリズム
6回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びトリレイトッドⅡ m7、Ⅱ m7[b 5]を含む参考曲でのアルペジオ⑥と変拍子フレーズ
7回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びトリレイトッドⅡ m7、Ⅱ m7[b 5]を含む参考曲でのアルペジオ⑦とハーモニクス
8回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びトリレイトッドⅡ m7、Ⅱ m7[b 5]を含む参考曲でのアルペジオ⑧と速い弦跳び
9回目	アルペジオ復習
10回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びトリレイトッドⅡ m7、Ⅱ m7[b 5]を含む参考曲でのスケール①とBluesフレーズ
11回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びトリレイトッドⅡ m7、Ⅱ m7[b 5]を含む参考曲でのスケール①[ワンポジション]とR&Rフレーズ
12回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びトリレイトッドⅡ m7、Ⅱ m7[b 5]を含む参考曲でのスケール①[ワンポジション]とR&Rフレーズ
13回目	振り返り
14回目	テスト
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	テキストの「グループアナライズ・ドリル」を基に予習と復習（授業内での説明も多くあるので復習をしっかりとしてもらいたい）。
評価方法	期末テスト（60%） 出席、態度(40%)
受講生への メッセージ	ベースをしっかり弾く為の基礎を作る授業になります。 一緒に頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 iPad、もしくはPCでテキストを開くので必ずどちらかを持参してください。	

科目名 (英)	グループアナライズⅣ Groove AnalyzeⅣ	必修 選択	選択必修	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 火曜1限
【授業の学習内容】 ダイアトニックコード、ドミナントコード、Key内、Key外のコードに対しての使用可能なアルペジオとスケールを学習し、アレンジ能力やアドリブ時のフレーズに幅を持たせることと、様々なリズムパターンを用いてのグループ鍛錬を目的とした授業になります。 (講師プロフィール) 福岡を中心に活動するセッション・スタジオミュージシャン。その演奏ジャンルとスタイルは幅広く、クラシック・ロック・ポプス・Pop・ラテン・ジャズ・R&B・フュージョン・ソウル・ファンク・演歌など、様々な音楽スタイルを演奏する。それらスタイルや楽曲に合わせ、コントラバス・エレキベース・ドラムを使い分けている。							
【到達目標】 曲中に使えるリックの作り方、ウォーキングベース等のベースラインの構成を即座に作る知識と演奏できる技術、アドリブ演奏時の対応力を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びリレイテッドⅡ m7、Ⅱ m7[b 5]を含む参考曲でのスケール②[ワンポジション]とFUNKSlapフレーズ
2回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びリレイテッドⅡ m7、Ⅱ m7[b 5]を含む参考曲でのスケール③と高速Slapフレーズ[サムダウン、ロータリー奏法]
3回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びリレイテッドⅡ m7、Ⅱ m7[b 5]を含む参考曲でのスケール③[ワンポジション]とMetalリフ
4回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びリレイテッドⅡ m7、Ⅱ m7[b 5]を含む参考曲でのスケール④と高速Metalリフ
5回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びリレイテッドⅡ m7、Ⅱ m7[b 5]を含む参考曲でのスケール④[ワンポジション]とコード弾き
6回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びリレイテッドⅡ m7、Ⅱ m7[b 5]を含む参考曲でのスケール⑤とコード弾き
7回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びリレイテッドⅡ m7、Ⅱ m7[b 5]を含む参考曲でのスケール⑤[ワンポジション]とコード弾き
8回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びリレイテッドⅡ m7、Ⅱ m7[b 5]を含む参考曲でのスケール⑥とソロベースについて
9回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びリレイテッドⅡ m7、Ⅱ m7[b 5]を含む参考曲でのスケール⑥[ワンポジション]とソロベースについて
10回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びリレイテッドⅡ m7、Ⅱ m7[b 5]を含む参考曲でのスケール⑦とベースアンサンブル
11回目	ダイアトニックコード、セカンダリドミナント及びリレイテッドⅡ m7、Ⅱ m7[b 5]を含む参考曲でのスケール⑦[ワンポジション]とベースアンサンブル
12回目	まとめ
13回目	We Are FSM RH
14回目	We Are FSM RH
15回目	We Are FSM 本番
準備学習 時間外学習	テキストの「グループアナライズ・ドリル」を基に予習と復習（授業内での説明も多くあるので復習をしっかりとしてもらいたい）。
評価方法	期末テスト（60%） 出席、態度(40%)
受講生への メッセージ	ベースを弾く上での基礎的な運指や姿勢、体作りを行い安定したリズムやグループと一緒に生み出していきたいと思います。
【使用教科書・教材・参考書】 iPad、もしくはPCでテキストを開くので必ずどちらかを持参してください。	

科目名 (英)	グループアナライズⅤ Groove AnalyzeⅤ	必修 選択	選択必修	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜2限
【授業の学習内容】 世の中に多種ある音楽ジャンルやスタイルのグルーヴ(ノリ)を分析(アナライズ)し、自分の表現する音楽に応用できる力を養います。 教材からは、国内外のレジェンドベーシストの紹介と研究・サウンドメイク・コード・スケール・グルーヴ・テクニクが学べます。ベーシスト(広くはミュージシャンとして)に必要なリズム(グルーヴ)と、音楽知識と技術を得得する授業です。 【講師プロフィール】福岡を中心に活動するセッション・スタジオミュージシャン。その演奏ジャンルとスタイルは幅広く、クラシック・ロック・ポップス・ラテン・ジャズ・ゴスペル・R&B・フュージョン・ソウル・ファンク・演歌などを演奏する。それらスタイルや楽曲に合わせてコントラバスとエレキベースを使い分けている。							
【到達目標】 ①コードネームから構成される音が理解できるようになる。 ②世の中の音楽を聴いてリズムのスタイル(Rock,Jazz,Funkといったジャンルと8beat,16beatといったリズムの細かさ)を判別できるようになる。 ③歴史的・世界的に有名なベーシストたちを知ること。 ④その特徴となる奏法技術やグルーヴを経験・習得する。 ⑤演奏する楽器の種類(プレジジョンベースやジャズベースなど)のコントロールや、エフェクターの知識と操作を学ぶ。							

授業計画・内容	
1回目	Donald"Duck"Dunn Cコード1発・6thへ繋ぐスライドテクニク・ブルーススタイルグループ。
2回目	Donald"Duck"Dunn C7コード1発・テンポ速めの8beat。
3回目	Adam Clayton Rock 8beatスタイル。コードチェンジのとき、少し下の音からスライドさせるグループ。
4回目	Adam Clayton Rock 8beatスタイル。左手で休符。休符でノリを作る。ピック弾き。
5回目	指板ポジション把握テキスト・エレキベースの指板にあるすべての音の位置を理解把握する① メジャースケール
6回目	指板ポジション把握テキスト・エレキベースの指板にあるすべての音の位置を理解把握する② ストレッチポジション
7回目	指板ポジション把握テキスト・エレキベースの指板にあるすべての音の位置を理解把握する③ 音使いとグループの関係
8回目	Tom Hamilton(Aero Smith) 8beatロックンロール。開放弦を混ぜたライン。左手と右手のコンビネーション。
9回目	Tom Hamilton(Aero Smith) シャッフルビート。ブルースロックのウォーキングベース。メトロノームと合わせられる技術。
10回目	Robert"Kool"Bell ディスコグループ。16分音符を混ぜた定番リズム。音の止め方。ミュート。音価コントロール。
11回目	Robert"Kool"Bell ディスコ風ライン。マンネリ化したベースラインにアイデアを。マイナーペンタニックスケール。
12回目	Bernard Edwards ディスコ系ベースライン。
13回目	Bernard Edwards ディスコ系ベースライン。オクターブライン。弦跳び。オクターブ上の音のスタッカート他。
14回目	Francis Rocco Prestia 2フィンガー16beatファンク①。左手ミュート。2フィンガーの強化。
15回目	Francis Rocco Prestia 2フィンガー16beatファンク②。左手ミュート。2フィンガーの強化。
準備学習 時間外学習	基本的に準備不要で授業に参加します。ただし、次週にわたって同内容の復習が必要となる場合は準備して参加します。 教材資料のフレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。習得のために練習が必要です。 授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。
評価方法	授業へ取り組む姿勢(60%) 各課題曲での目標の達成度、実践度(20%) 自己実現力と演奏力の向上度(20%)
受講生への メッセージ	国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。 世界に認められたテクニクや表現。人を感動させる音楽のノリ(グルーヴ)について学び、習得していきます。 それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。 楽しみましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 iPadやスマートフォンでYoutubeを検索。 テキスト(4-8小節の程度のエクササイズを2種類)。 その他、資料配布	

科目名 (英)	グループアナライズVI Groove AnalyzeVI	必修 選択	選択必修	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 木曜2限
【授業の学習内容】 世の中に多種ある音楽ジャンルやスタイルのグルーヴ(ノリ)を分析(アナライズ)し、自分の表現する音楽に応用できる力を養います。 教材からは、国内外のレジェンドベーシストの紹介と研究・サウンドメイク・コード・スケール・グルーヴ・テクニクが学べます。ベーシスト(広くはミュージシャンとして)に必要なリズム(グルーヴ)と、音楽知識と技術を得得する授業です。 【講師プロフィール】福岡を中心に活動するセッション・スタジオミュージシャン。その演奏ジャンルとスタイルは幅広く、クラシック・ロック・ポップス・ラテン・ジャズ・ゴスペル・R&B・フュージョン・ソウル・ファンク・演歌などを演奏する。それらスタイルや楽曲に合わせてコントラバスとエレキベースを使い分けている。							
【到達目標】 ①コードネームから構成される音が理解できるようになる。 ②世の中の音楽を聴いてリズムのスタイル(Rock,Jazz,Funkといったジャンルと8beat,16beatといったリズムの細かさ)を判別できるようになる。 ③歴史的・世界的に有名なベーシストたちを知ること。 ④その特徴となる奏法技術やグルーヴを経験・習得する。 ⑤演奏する楽器の種類(プレジジョンベースやジャズベースなど)のコントロールや、エフェクターの知識と操作を学ぶ。							

授業計画・内容	
1回目	Roscoe Beck ファンキーなR&Bグループ。ドラムとのコンビネーション。休符・16分音符の引っ掛け。
2回目	Roscoe Beck 4beat風ブルース。
3回目	Darryl Jones Cm1発コードリフ。ミディアムテンポの16th。
4回目	Darryl Jones ブルース系シャッフルパターン。ブルース12小節コード進行の確認。
5回目	サウンドメイクとグループの関係。エフェクター操作・知識。プリアンプ・EQ・コンプ①
6回目	サウンドメイクとグループの関係。エフェクター操作・知識。プリアンプ・EQ・コンプ②
7回目	サウンドメイクとグループの関係。エフェクター操作・知識。プリアンプ・EQ・コンプ③
8回目	Paul McCartney ロックンロールリフ。Day Tripper。
9回目	Paul McCartney ロックブルースリフ。I Saw Her Standing There
10回目	グループとサウンドメイク(音色)、技術の関係。②
11回目	Tommy Shannon 7th系シャッフルビート。
12回目	Tommy Shannon 8beatファンクブルース。
13回目	We Are FSM RH
14回目	We Are FSM RH
15回目	We Are FSM 本番
準備学習 時間外学 習	基本的に準備不要で授業に参加します。ただし、次週にわたって同内容の復習が必要となる場合は準備して参加します。 教材資料のフレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。習得のために練習が必要です。 授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。
評価方法	授業へ取り組み姿勢(60%) 各課題曲での目標の達成度、実践度(20%) 自己実現力と演奏力の向上度(20%)
受講生への メッセージ	国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。 世界に認められたテクニクや表現、人を感動させる音楽のノリ(グルーヴ)について学び、習得していきます。 それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。 楽しみましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 iPadやスマートフォンでYoutubeを検索。 テキスト(4-8小節の程度のエクササイズを2種類)。 その他、資料配布	

科目名 (英)	グループアナライズⅦ	必修 選択	選択必修	年次	4		
	Groove AnalyzeⅦ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科					曜日・時限	木曜3限
【授業の学習内容】 世の中に多種ある音楽ジャンルやスタイルのグルーヴ(ノリ)を分析(アナライズ)し、自分の表現する音楽に応用できる力を養います。 教材からは、国内外のレジェンドベーシストの紹介と研究・サウンドメイク・コード・スケール・グルーヴ・テクニックが学べます。ベーシスト(広くはミュージシャンとして)に必要なリズム(グルーヴ)と、音楽知識と技術を得得する授業です。 【講師プロフィール】福岡を中心に活動するセッション・スタジオミュージシャン。その演奏ジャンルとスタイルは幅広く、クラシック・ロック・ポップス・ラテン・ジャズ・ゴスペル・R&B・フュージョン・ソウル・ファンク・演歌などを演奏する。それらスタイルや楽曲に合わせてコントラバスとエレキベースを使い分けている。							
【到達目標】 ①コードネームから構成される音が理解できるようになる。 ②世の中の音楽を聴いてリズムのスタイル(Rock,Jazz,Funkといったジャンルと8beat,16beatといったリズムの細かさ)を判別できるようになる。 ③歴史的・世界的に有名なベーシストたちを知ること。 ④その特徴となる奏法技術やグルーヴを経験・習得する。 ⑤演奏する楽器の種類(プレジジョンベースやジャズベースなど)のコントロールや、エフェクターの知識と操作を学ぶ。							

授業計画・内容	
1回目	Anthony Jackson ピック弾きでハーフタイムシャッフル。正確なオルタネイトピッキングとグルーブ。
2回目	Anthony Jackson ラテンブラジルグルーブ。音価コントロール。2拍目と4拍目のスルド。
3回目	Chuck Rainey ダブルストップ奏法。ワンフィンガー奏法でのソウル・ファンク・R&Bグルーブ。
4回目	Chuck Rainey 高速オクターブフレーズ。ポジションシフト。R & Bスタイル。
5回目	特殊テクニックとグルーブをかけ合わせる①ハーモニクス
6回目	Jaco Pastorius ベースソロ曲「Portrait Of Tracy」
7回目	Jaco Pastorius 16thファンクスタイル。ゴーストノートでノリを作る。
8回目	スラップテクニック復習。サウンドメイク。定番16thファンクグルーブ。
9回目	Marcus Miller 16thファンクスタイルDmのグルーブ。マイナーペンタトニックスケールの定番フィル。
10回目	Marcus Miller Smooth Jazzスタイル。ハーフタイムシャッフルグルーブ。
11回目	Louis Johnson ダブルストップ使用スラップグルーブ。Musicman①
12回目	Louis Johnson ダブルストップ使用スラップグルーブ。Musicman②
13回目	Mark King フュージョン風指弾きベースライン。16beat 複雑。
14回目	Mark King 高速スラップ(サムピング)
15回目	スラップ奏法・2フィンガー・ハーモニクス等振り返り。
準備学習 時間外学 習	基本的に準備不要で授業に参加します。ただし、次週にわたって同内容の復習が必要となる場合は準備して参加します。 教材資料のフレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。習得のために練習が必要です。 授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。
評価方法	授業へ取り組み姿勢(60%) 各課題曲での目標の達成度、実践度(20%) 自己実現力と演奏力の向上度(20%)
受講生への メッセージ	国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。 世界に認められたテクニックや表現。人を感動させる音楽のノリ(グルーヴ)について学び、習得していきます。 それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。 楽しみましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 iPadやスマートフォンでYoutubeを検索。 テキスト(4-8小節の程度のエクササイズを2種類)。 その他、資料配布	

科目名 (英)	グループアナライズⅧ	必修 選択	選択必修	年次	4		
	Groove AnalyzeⅧ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科					曜日・時限	木曜3限
【授業の学習内容】 世の中に多種ある音楽ジャンルやスタイルのグルーヴ(ノリ)を分析(アナライズ)し、自分の表現する音楽に応用できる力を養います。 教材からは、国内外のレジェンドベーシストの紹介と研究・サウンドメイク・コード・スケール・グルーヴ・テクニクが学べます。ベーシスト(広くはミュージシャンとして)に必要なリズム(グルーヴ)と、音楽知識と技術を得得する授業です。 【講師プロフィール】福岡を中心に活動するセッション・スタジオミュージシャン。その演奏ジャンルとスタイルは幅広く、クラシック・ロック・ポップス・ラテン・ジャズ・ゴスペル・R&B・フュージョン・ソウル・ファンク・演歌などを演奏する。それらスタイルや楽曲に合わせてコントラバスとエレキベースを使い分けている。							
【到達目標】 ①コードネームから構成される音が理解できるようになる。 ②世の中の音楽を聴いてリズムのスタイル(Rock,Jazz,Funkといったジャンルと8beat,16beatといったリズムの細かさ)を判別できるようになる。 ③歴史的・世界的に有名なベーシストたちを知ること。 ④その特徴となる奏法技術やグルーヴを経験・習得する。 ⑤演奏する楽器の種類(プレジジョンベースやジャズベースなど)のコントロールや、エフェクターの知識と操作を学ぶ。							

授業計画・内容	
1回目	James Jemarson モータウン・ソウルR&Bグループ。プレジジョンベース・フラットワウンド。楽器とグループの関係。
2回目	James Jemarson モータウングループ②16th シンコペーションのグループ。
3回目	Willie Weeks ソウル・モータウン。マイナーペンタトニックスケールの定番曲・ベースライン。
4回目	Willie Weeks メロウなリズムミクなライン。複雑なシンコペーション・レイキング。
5回目	サウンドメイクとグループの関係。エフェクター操作・知識。プリアンプ・EQ・コンプ①
6回目	サウンドメイクとグループの関係。エフェクター操作・知識。プリアンプ・EQ・コンプ②
7回目	サウンドメイクとグループの関係。エフェクター操作・知識。プリアンプ・EQ・コンプ③
8回目	Sting ハーモニクス入りレゲエライン。
9回目	Sting 呼吸するレゲエグループ。Englishman in new york
10回目	Ray Brown ジャズ4beatグループ。Med Swing。スウィングとは。
11回目	Ray Brown ジャズBossa Nova。
12回目	Juan Formell ラテン。トウンバオ・アフロ・キューバンのグループ。
13回目	We Are FSM RH
14回目	We Are FSM RH
15回目	We Are FSM 本番
準備学習 時間外学習	基本的に準備不要で授業に参加します。ただし、次週にわたって同内容の復習が必要となる場合は準備して参加します。 教材資料のフレーズが4小節や8小節と短く覚えやすいため、反復練習に向いています。習得のために練習が必要です。 授業終了後も個人練習を積んでいくことで、その解釈や学びがより強くなります。
評価方法	授業へ取り組む姿勢(60%) 各課題曲での目標の達成度、実践度(20%) 自己実現力と演奏力の向上度(20%)
受講生への メッセージ	国内外の有名ベーシストのフレーズを扱います。自分の音楽の幅を広げ、新しい表現の世界がきっと見つかります。 世界に認められたテクニクや表現、人を感動させる音楽のノリ(グルーヴ)について学び、習得していきます。 それら学んだことを、皆さんのやりたい音楽表現に応用できるようにしていく授業です。 楽しみましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 iPadやスマートフォンでYoutubeを検索。 テキスト(4-8小節の程度のエクササイズを2種類)。 その他、資料配布	

科目名 (英)	グループメイク I Groove Making I	必修 選択	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパー・エンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜 3 限
【授業の学習内容】 様々な楽曲の核となる「グルーブ」、「リズムパターン」の習得を目的とし、テキスト、及び参考楽曲による基本的なドラムパターンスタイル、リズムスタイルの分析と習得。その中でドラマーとして必要なテクニック、表現方法などを身につけさせる。 (講師プロフィール) スタジオミュージシャンとして九州はじめ全国でレコーディング、ライブサポートをしている。 また、(株)KISS・MUSICのチーフプロデューサーとしても活動している。							
【到達目標】 ポピュラーミュージックにおいて必要なグルーブの中で代表的な「8beat」、「16Beat」、「Shuffle Beat」においてそれぞれのBPM120を目標とする。 基本的なドラム譜面の読み書き							

授業計画・内容	
1回目	基本となるリズム（4分音符、8分音符等）の考え方 譜面の読み方
2回目	8BeatのBasicパターン BPM=60～90 (High 120)
3回目	8BeatのAdvanceパターン BPM=90～120 (High 140)
4回目	8分音符のシンコペーションを使ったパターン、リズムキープ方法 左足でのテンポキープ
5回目	3連符の説明、リズム感の習得
6回目	Shuffle Beatの説明、右手のダウンアップ奏法の習得
7回目	Shuffle BeatのBasicパターン BPM=90 (High 120)
8回目	Shuffle BeatのAdvanceパターン BPM=120 (High 140) ブルースシャッフルの習得
9回目	3連符系のFill In、及び2拍3連の説明
10回目	2拍3連の習得、2拍3連を使ったパターンやFill In
11回目	16分音符の説明、16BeatのBasicパターン BPM=60～90 (High 120)
12回目	16BeatのAdvanceパターンとFill In BPM=90～120 (High 140)
13回目	期末テスト
14回目	振り返り
15回目	まとめ
準備学習 時間外学 習	BPMに合わせて正確な4分音符、8分音符、3連符、16分音符の理解とスティックコントロール 体の重心の安定と4wayインディペンデンスの確立 テキスト及び授業内容の復習
評価方法	12週目に行う実技テスト（50%） 各授業内で行うミニ実技テスト(20%) 動画撮影と譜面製作(30%)
受講生への メッセージ	ドラムの演奏において必要不可欠なパターンなど みなさんが聴いている楽曲はもちろん、様々な音楽が演奏できるようになるためのクラスです。 ドラムキッドでの演奏ですのでリアルなサウンドメイクや表現方法を習得してください。
【使用教科書・教材・参考書】 教科書：Drum Groove Making 1：滋慶出版	

科目名 (英)	グループメイクⅡ Groove Making Ⅱ	必修 選択	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパー・エンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 木曜 3 限
【授業の学習内容】 様々な楽曲の核となる「グルーブ」、「リズムパターン」の習得を目的とし、テキスト、及び参考楽曲による基本的なドラムパターンスタイル、リズムスタイルの分析と習得。その中でドラマーとして必要なテクニック、表現方法などを身につけさせる。 (講師プロフィール) スタジオミュージシャンとして九州はじめ全国でレコーディング、ライブサポートをしている。 また、(株)KISS・MUSICのチーフプロデューサーとしても活動している。							
【到達目標】 ポピュラーミュージックにおいて必要なグルーブの中で代表的な「8beat」、「16Beat」、「Shuffle Beat」をさらに発展させたグルーブの習得 「Halftime Shuffle」BPM=70、「6/8拍子」BPM=60、「12/8拍子」BPM=75 パーカッションの基本的な演奏方法							

授業計画・内容	
1回目	16Beatにおけるゴーストノートについて (4つのストローク (Tap,Down,Up,Full) の確認と習得)
2回目	ゴーストノートを使ったパターン、Fill In BPM=75 (High 90)
3回目	Halftime ShuffleのBasicパターン BPM=60 (High 75)
4回目	Halftime ShuffleのAdvanceパターンとFill In BPM=70 (Hgh 85)
5回目	Halftime Shuffleと 4 拍 3 連
6回目	6/8拍子について カウンティング、基本的なリーディング
7回目	6/8拍子のパターン、Fill In BPM=60 (High 75)
8回目	12/8拍子について カウンティング、リーディング
9回目	12/8拍子のパターン、Fill in BPM=75 (High 90)
10回目	Percussion Cajon
11回目	Percussion Conga,Bongo
12回目	Percussion Shaker,Tambalineなど
13回目	卒業進級展準備
14回目	卒業進級展準備
15回目	卒業進級展準備
準備学習 時間外 学習	BPMに合わせて正確な 4 分音符、8 分音符、3連符、1 6 分音符の理解とスティックコントロール、裏クリックでのリズムトレーニング 体の重心の安定と4wayインディペンデンスの確立 テキスト及び授業内容の復習
評価方法	12週目に行う実技テスト (50%) 各授業内で行うミニ実技テスト(20%) 動画撮影と譜面製作(30%)
受講生への メッセージ	"前期に引き続きドラムの演奏において必要不可欠なパターンなど みなさんが聴いている楽曲はもちろん、様々な音楽が演奏できるようになるためのクラスです。 後半ではパーカッションなども演奏できるようにしましょう。"
【使用教科書・教材・参考書】 教科書：The Drummer Handbook Drum Groove Making 1、2：滋慶出版	

科目名 (英)	グループメイクⅢ Groove Making Ⅲ	必修 選択	選択必修	年次	2		
学科・コース	スーパーエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜 4 限
【授業の学習内容】 様々な楽曲の核となる「グルーブ」、「リズムパターン」の習得を目的とし、テキスト、及び参考楽曲による基本的なドラムパターンスタイル、リズムスタイルの分析と習得。その中でドラマーとして必要なテクニック、表現方法などを身につけさせる。 (講師プロフィール) スタジオミュージシャンとして九州はじめ全国でレコーディング、ライブサポートをしている。 また、(株)KISS・MUSICのチーフプロデューサーとしても活動している。							
【到達目標】 ポピュラーミュージックだけではなく、JAZZやLATINなど幅広いグルーブの習得 Bossa Nova BPM=120、Samba BPM=105、4Beat Swin BPM=120、Reggae BPM=90 基本的なドラム譜面の読み書き ラテンパーカッションの奏法の習得							

授業計画・内容	
1回目	Bossa Novaについての説明
2回目	Bossa Nova Basicパターン BPM=110 (High 140)
3回目	Bossa Nova Advanceパターン BPM=120 (High 140)
4回目	Sambaについて説明 Samba Kickの練習法
5回目	Samba Basicパターン BPM=90 (High 105)
6回目	Samba Advanceパターン BPM=105 (High 120)
7回目	4Beat Swing についての説明
8回目	4beat Swing Basicパターン BPM=90 (High 120)
9回目	4Beat Swing Advanceパターン BPM=120
10回目	4Beat Swingでの4way インディペンデンス
11回目	Reggae についての説明
12回目	Reggae Basicパターン BPM=70 (High 85)
13回目	期末テスト
14回目	振り返り
15回目	まとめ
準備学習 時間外学 習	BPMに合わせて正確な 4 分音符、8 分音符、3 連符、1 6 分音符の理解とスティックコントロール 体の重心の安定と4wayインディペンデンスの確立 テキスト及び授業内容の復習
評価方法	12週目に行う実技テスト (50%) 各授業内で行うミニ実技テスト(20%) 動画撮影と譜面製作(30%)"
受講生への メッセージ	"今までに習得したグルーブ以外の様々な演奏スタイルを習得して さらに幅広い技術、知識を身につけるクラスです。 まずは色々な音楽に触れてください。"
【使用教科書・教材・参考書】	
教科書：The Drummer Handbook Drum Groove Making 1、2：滋慶出版	

科目名 (英)	グループメイクⅣ Groove Making Ⅳ	必修 選択	選択必修	年次	2		
学科・コース	スーパー・エンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 木曜 4 限
【授業の学習内容】 様々な楽曲の核となる「グルーブ」、「リズムパターン」の習得を目的とし、テキスト、及び参考楽曲による基本的なドラムパターンスタイル、リズムスタイルの分析と習得。その中でドラマーとして必要なテクニック、表現方法などを身につけさせる。 (講師プロフィール) スタジオミュージシャンとして九州はじめ全国でレコーディング、ライブサポートをしている。 また、(株)KISS・MUSICのチーフプロデューサーとしても活動している。							
【到達目標】 ポピュラーミュージックにおける代表的なグルーブに加え JAZZやLATINなどさらにジャンル、スタイルを広げたグルーブの習得 また、Odd Meter (変拍子) やポリリズム、リニアパターンでのグルーブの構築。 SPDなどサンプリングパッドの使い方、アナログとデジタルの混合パターンの習得							

授業計画・内容	
1回目	Aflo Cubanについて説明
2回目	Afro Cuban Basicパターン BPM=60 (High 85)
3回目	Afro Cuban Advance 6/8パターン BPM=60 (High 75)
4回目	ポリリズムを使ったBasicパターン BPM=90 (High 120)
5回目	ポリリズム Advanceパターン BPM=120 (High 135)
6回目	メトリック モジュレーション Basicパターン
7回目	メトリック モジュレーション Advanceパターン
8回目	サンプリングパッドの使い方
9回目	サンプリングパッドとアコースティックドラムとの混合パターン
10回目	リニアパターン Basic
11回目	Odd Meterの説明とカウンティング
12回目	5/8拍子、7/8拍子のBasicパターンとFill In BPM=120 (High 135)
13回目	卒業進級展準備
14回目	卒業進級展準備
15回目	卒業進級展準備
準備学習 時間外 学習	"BPMに合わせて正確な 4 分音符、8 分音符、3 連符、1 6 分音符の理解とスティックコントロール 体の重心の安定と4wayインディペンデンスの確立 テキスト及び授業内容の復習"
評価方法	12週目に行う実技テスト (50%) 各授業内で行うミニ実技テスト(20%) 動画撮影と譜面製作(30%)
受講生への メッセージ	前期に引き続きドラムの演奏において必要不可欠なパターンなど みなさんが聴いている楽曲はもちろん、様々な音楽が演奏できるようになるためのクラスです。 後半では リズムの変形パターンや変拍子も演奏できるようにしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
教科書：The Drummer Handbook Drum Groove Making 1、2：滋慶出版 Drum Groove Making 2：滋慶出版	

科目名 (英)	グルーブメイクV	必修 選択	選択必修	年次	3		
	Groove Making V	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 火曜5時限目
【授業の学習内容】 FSM創設時よりドラム講師として20年以上の経験、またスタジオミュージシャンとして九州はじめ全国でレコーディング、ライブサポートをしている。 また、(株)KISS・MUSICのチーフプロデューサーとしても活動している伊藤公了。 様々な楽曲の核となる「グルーブ」、「リズムパターン」の習得を目的とし、 テキスト、及び参考楽曲による基本的なドラムパターンスタイル、リズムスタイルの分析と習得。 その中でドラマーとして必要なテクニック、表現方法などを身につけさせる。							
【到達目標】 ポピュラーミュージックだけではなく、JAZZやLATINなど幅広いグルーブの習得 Bossa Nova BPM=120 Samba BPM=105 4Beat Swin BPM=120 Reggae BPM=90 基本的なドラム譜面の読み書き							

授業計画・内容	
1回目	Bossa Novaについての説明
2回目	Bossa Nova Basicパターン BPM=110 (High 140)
3回目	Bossa Nova Advanceパターン BPM=120 (High 140)
4回目	Bossa Nova Song1
5回目	Sambaについて説明 Samba Kickの練習法
6回目	Samba Basicパターン BPM=90 (High 105)
7回目	Samba Advanceパターン BPM=105 (High 120)
8回目	Samba Song1
9回目	Reggae についての説明
10回目	Reggae Basicパターン BPM=70 (High 85)
11回目	Reggae Advanceパターン BPM=70 (High 85)
12回目	Reggae Song1
13回目	Afro Cubanについて説明
14回目	Afro Cuban Basicパターン BPM=60 (High 85)
15回目	Afro Cuban Advance 6/8パターン BPM=60 (High 75)
準備学習 時間外学習	BPMに合わせて正確な4分音符、8分音符、16分音符に加え3連符、6連符の理解とスティックコントロール テキスト及び授業内容の復習
評価方法	授業態度 参考楽曲等による習得度の確認
受講生への メッセージ	ポピュラーミュージック以外にもJazzなどよく使われるグルーブです。 ドラムセットだけではなくアコースティックスタイルの演奏方法も身につけて表現の幅を広げていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 教科書：The Drummer Handbook Drum Groove Making 1、2：滋慶出版	

科目名 (英)	グルーブメイクVI Groove Making VI	必修 選択	選択必修	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 火曜5時限目
【授業の学習内容】 FSM創設時よりドラム講師として20年以上の経験、またスタジオミュージシャンとして九州はじめ全国でレコーディング、ライブサポートをしている。 また、(株)KISS・MUSICのチーフプロデューサーとしても活動している伊藤公了。 様々な楽曲の核となる「グルーブ」、「リズムパターン」の習得を目的とし、 テキスト、及び参考楽曲による基本的なドラムパターンスタイル、リズムスタイルの分析と習得。 その中でドラマーとして必要なテクニック、表現方法などを身につけさせる。							
【到達目標】 ポピュラーミュージックにおける代表的なグルーブに加え JAZZやLATINなどさらにジャンル、スタイルを広げたグルーブの習得 また、Odd Meter（変拍子） やポリリズム、リニアパターンでのグルーブの構築など							

授業計画・内容	
1回目	ポリリズムについて
2回目	ポリリズムを使ったBasicパターン BPM=90 (High 120)
3回目	ポリリズム Advanceパターン BPM=120 (High 135)
4回目	ポリリズム Song1
5回目	メトリック モジュレーションについて
6回目	メトリック モジュレーション Basicパターン
7回目	メトリック モジュレーション Advanceパターン
8回目	メトリック モジュレーション Song1
9回目	リニアパターン Basic
10回目	Odd Meterの説明とカウンティング
11回目	5/8拍子、7/8拍子のBasicパターンとFill In BPM=120 (High 135)
12回目	変拍子 Song1
13回目	卒業進級展準備
14回目	卒業進級展準備
15回目	卒業進級展準備
準備学習 時間外学習	BPMに合わせて正確な4分音符、8分音符、16分音符に加え3連符、6連符の理解とスティックコントロール テキスト及び授業内容の復習
評価方法	授業態度 参考楽曲等による習得度の確認
受講生への メッセージ	Jazz、Fusion、Latinなどポピュラーミュージック以外のスタイルを勉強することによって 幅広い音楽性を身につけていきましょう！！
【使用教科書・教材・参考書】 教科書：The Drummer Handbook Drum Groove Making 1、2：滋慶出版	

科目名 (英)	グルーブメイクⅦ	必修 選択	選択必修	年次	4		
	Groove Making Ⅶ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 火曜5時限目
学科・コース	スーパーエンターテイメント科						
【授業の学習内容】 FSM創設時よりドラム講師として20年以上の経験、またスタジオミュージシャンとして九州はじめ全国でレコーディング、ライブサポートをしている。 また、(株)KISS・MUSICのチーフプロデューサーとしても活動している伊藤公了。 様々な楽曲の核となる「グルーブ」、「リズムパターン」の習得を目的とし、 テキスト、及び参考楽曲による基本的なドラムパターンスタイル、リズムスタイルの分析と習得。 その中でドラマーとして必要なテクニック、表現方法などを身につけさせる。							
【到達目標】 リニアパターンやルーディメンツ（マーチング奏法）をドラムセットに応用したグルーブの習得							

授業計画・内容	
1回目	リニアパターン 説明
2回目	リニアパターン Basic
3回目	リニアパターン Advance
4回目	リニアパターン Song1
5回目	リニアパターン Song2
6回目	バラディドルを使ったグルーブの説明
7回目	バラディドルを使ったグルーブ Basic
8回目	バラディドルを使ったグルーブAdvance
9回目	バラディドルを使ったグルーブ Song1
10回目	バラディドルを使ったグルーブ Song2
11回目	5stroke、7strokeを使ったグルーブの説明
12回目	5stroke、7strokeを使ったグルーブ Basic
13回目	5stroke、7strokeを使ったグルーブ Advance
14回目	5stroke、7strokeを使ったグルーブ Song1
15回目	5stroke、7strokeを使ったグルーブ Song2
準備学習 時間外学習	BPMに合わせて正確なシングルストローク、ダブルストローク、バラディドルなどのスティックコントロール テキスト及び授業内容の復習
評価方法	授業態度 参考楽曲等による習得度の確認
受講生への メッセージ	ルーディメンツのドラムセットへの応用することにより 複雑なグルーブを作ることだけでなく、様々なスタイルへ応用することができるので しっかり身につけていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 教科書：The Drummer Handbook Drum Groove Making 1、2：滋慶出版	

科目名 (英)	グルーブメイクⅧ Groove Making Ⅷ	必修 選択	選択必修	年次	4		
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 火曜5時限目
【授業の学習内容】 FSM創設時よりドラム講師として20年以上の経験、またスタジオミュージシャンとして九州はじめ全国でレコーディング、ライブサポートをしている。 また、(株)KISS・MUSICのチーフプロデューサーとしても活動している伊藤公了。 様々な楽曲の核となる「グルーブ」、「リズムパターン」の習得を目的とし、 テキスト、及び参考楽曲による基本的なドラムパターンスタイル、リズムスタイルの分析と習得。 その中でドラマーとして必要なテクニック、表現方法などを身につけさせる。							
【到達目標】 今までに習得したグルーブをつかっのオリジナルパターンやオリジナルSongの制作							

授業計画・内容	
1回目	オリジナルソング制作 1 Rock スタイル1
2回目	オリジナルソング制作2 Rock スタイル2
3回目	オリジナルソング制作3 Funk スタイル 1
4回目	オリジナルソング制作4 Funk スタイル2
5回目	オリジナルソング制作5 R&Bスタイル1
6回目	オリジナルソング制作6 R&Bスタイル2
7回目	オリジナルソング制作7 Swing スタイル1
8回目	オリジナルソング制作8 Swing スタイル2
9回目	オリジナルソング制作9 ラテンスタイル1
10回目	オリジナルソング制作10 ラテンスタイル2
11回目	オリジナルソング制作11 Fusionスタイル1
12回目	オリジナルソング制作12 Fusionスタイル2
13回目	卒業進級展準備
14回目	卒業進級展準備
15回目	卒業進級展準備
準備学習 時間外学習	BPMに合わせて正確なシングルストローク、ダブルストローク、パラディドルなどのスティックコントロール テキスト及び授業内容の復習
評価方法	授業態度 参考楽曲等による習得度の確認
受講生への メッセージ	今までに習得した様々なスタイルをオリジナリティあふれるアプローチで 自分のスタイルを確立していきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 教科書：The Drummer Handbook Drum Groove Making 1、2：滋慶出版	

科目名 (英)	コントロールセオリー I Control Theory I	選択 必修	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパーエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜1限
【授業の学習内容】 ①ルーディメンツをドラマーとして必要なスティックコントロールを身につける。 ②ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。 ③ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになって欲しい。 (講師プロフィール) メジャーアーティストのレコーディング・ライブサポートを行う他、ミュージカルライオンキングでのパーカッション演奏、 ベースドラムに関する教則DVDを販売するなど国内屈指のテクニシャンとして知られている。							
【到達目標】 ①それぞれのエクササイズを丁寧に練習し無駄のないスティックコントロールを身につける。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。レベルチェック。
2回目	グリップ&フォーム、フィンガーコントロール
3回目	フットワーク
4回目	中間チェック。
5回目	アクセレーションコントロール16分音符 3種類
6回目	各自実践、フィードバック。
7回目	アクセレーションコントロール3連符 2種類
8回目	各自実践、フィードバック。
9回目	中間チェック。
10回目	ダブルストロークロール
11回目	5.7.9.11.13ストロークロール
12回目	バズ、バズ5、バズ7
13回目	前期の振り返り
14回目	学期末チェック
15回目	まとめ
準備学習 時間外 学習	理想的な達成レベル・全てのエクササイズを習得し更に自分のアイデアを加え実践応用出来る事。 標準的な達成レベル・全てのエクササイズを習得する事。
評価方法	期末試験 (60%) 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	ドラミングを豊かにするために必要な技術を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 コントロールセオリーテキスト	

科目名 (英)	コントロールセオリーⅡ Control TheoryⅡ	選択 必修	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパーエエターテイメント科・音楽プロデュース科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜1限
【授業の学習内容】 ①ルーディメンツをドラマーとして必要なスティックコントロールを身につける。 ②ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。 ③ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになって欲しい。 (講師プロフィール) メジャーアーティストのレコーディング・ライブサポートを行う他、ミュージカルライオンキングでのパーカッション演奏、 ベースドラムに関する教則DVDを販売するなど国内屈指のテクニシャンとして知られている。							
【到達目標】 ①それぞれのエクササイズを丁寧に練習し無駄のないスティックコントロールを身につける。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り。到達度・理解度チェック。
2回目	シングルパラディドル
3回目	実践練習とフィードバック。
4回目	ダブルパラディドル
5回目	実践練習とフィードバック。
6回目	トリプルパラディドル
7回目	実践練習とフィードバック。
8回目	中間チェック。
9回目	フラム、フラムアクセント16分&3連符
10回目	フラムパラディドル
11回目	フラムタップ、ラタマキュー
12回目	後期の振り返り
13回目	卒業進級展制作
14回目	卒業進級展制作
15回目	卒業進級展制作
準備学習 時間外 学習	理想的な達成レベル・全てのエクササイズを習得し更に自分のアイデアを加え実践応用出来る事。 標準的な達成レベル・全てのエクササイズを習得する事。
評価方法	期末試験 (60%) 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	ドラミングを豊かにするために必要な技術を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 コントロールセオリーテキスト	

科目名 (英)	コントロールセオリーⅢ Control TheoryⅢ	選択 必修	選択必修	年次	2		
授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期		
学科・コース	スーパーエンターテインメント科・音楽プロデュース科	曜日・時限			金曜2限		
【授業の学習内容】 ①ルーディメンツを通してドラマーとして必要なスティックコントロールを身につける。連符感をやしない楽曲やソロでの自由度を身につける。 ②ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。 ③ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになって欲しい。楽曲の中での自由度を広げて欲しい。 (講師プロフィール) メジャーアーティストのレコーディング・ライブサポートを行う他、ミュージカルライオンキングでのパーカッション演奏、ベースドラムに関する教則DVDを販売するなど国内屈指のテクニシャンとして知られている。							
【到達目標】 ①それぞれのエクササイズを丁寧に練習し無駄のないスティックコントロールと連符感を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。レベルチェック。
2回目	ラフ、4.5ストロークラフ
3回目	ドラッグ
4回目	シングルドラッグ
5回目	ダブルドラッグ
6回目	中間チェック。到達度・理解度チェック。
7回目	ドラッグバラディドルNo.1.2
8回目	ラタマキュー
9回目	シングルラタマキュー
10回目	ダブルラタマキュー
11回目	トリプルラタマキュー
12回目	ルーディメンツ小テスト
13回目	チェンジアップ
14回目	学期末チェック
15回目	まとめ
準備学習 時間外 学習	理想的な達成レベル・全てのエクササイズを習得し更に自分のアイデアを加え実践応用出来る事。 標準的な達成レベル・全てのエクササイズを習得する事。
評価方法	12週目に行う実技テスト(60%) 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	ドラミングを豊かにするために必要な技術を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 コントロールセオリーテキスト	

科目名 (英)	コントロールセオリーⅣ Control TheoryⅣ	選択 必修	選択必修	年次	2		
授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期		
学科・コース	スーパーエリターメント科・音楽プロデュース科	曜日・時限	金曜2限				
【授業の学習内容】 ①ルーディメンツを通してドラマーとして必要なスティックコントロールを身につける。連符感をやしない楽曲やソロでの自由度を身につける。 ②ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。 ③ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになって欲しい。楽曲の中での自由度を広げて欲しい。 (講師プロフィール) メジャーアーティストのレコーディング・ライブサポートを行う他、ミュージカルライオンキングでのパーカッション演奏、ベースドラムに関する教則DVDを販売するなど国内屈指のテクニシャンとして知られている。							
【到達目標】 ①それぞれのエクササイズを丁寧に練習し無駄のないスティックコントロールと連符感を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り。到達度・理解度チェック。
2回目	2拍3連、カウント、コンビネーション
3回目	課題の提示・実践練習。
4回目	実践発表とフィードバック。
5回目	4拍3連、カウント、コンビネーション
6回目	課題の提示・実践練習。
7回目	実践発表とフィードバック。
8回目	3拍4連、カウント、コンビネーション
9回目	実践発表とフィードバック。
10回目	3拍4連on4/4
11回目	実践発表とフィードバック。
12回目	5拍4連、カウント、コンビネーション・7拍フレーズの紹介
13回目	卒業進級展制作
14回目	卒業進級展制作
15回目	卒業進級展制作
準備学習 時間外 学習	理想的な達成レベル・全てのエクササイズを習得し更に自分のアイデアを加え実践応用出来る事。 標準的な達成レベル・全てのエクササイズを習得する事。
評価方法	12週目に行う実技テスト(60%) 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	ドラミングを豊かにするために必要な技術を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 コントロールセオリーテキスト	

科目名 (英)	コントロールセオリー V Control Theory VI	選択 必修	選択必修	年次	3		
学科・コース	スーパー・eエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜1限
【授業の学習内容】 ①ルーディメンツのドラムセットへのオーケストレーション。ポリリズムのドラムセットへの応用。各ルーディメンツのマーチングとしての応用。 ②ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。 ③ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになって欲しい。 楽曲の中で自由度を更に広げて欲しい。 (講師プロフィール) メジャーアーティストのレコーディング・ライブサポートを行う他、ミュージカルライオンキングでのパーカッション演奏、 ベースドラムに関する教則DVDを販売するなど国内屈指のテクニシャンとして知られている。							
【到達目標】 ①それぞれのエクササイズを丁寧に練習しハイレベルなドラミングに挑戦する。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。レベルチェック。
2回目	シングルストロークコンビネーション、オールアメリカンドラマーNo.1
3回目	実践発表とフィードバック。
4回目	ダブルストロークコンビネーション・オールアメリカンドラマーNo.2
5回目	実践発表とフィードバック。
6回目	シングルパラディドルコンビネーション、オールアメリカンドラマーNo.3
7回目	実践発表とフィードバック。
8回目	ダブルストロークコンビネーション、オールアメリカンドラマーNo.4
9回目	実践発表とフィードバック。
10回目	トリプルパラディドルコンビネーション、オールアメリカンドラマーNo.5
11回目	実践発表とフィードバック。
12回目	ダブルパラディドルバリエーション・オールアメリカンドラマーNo.6
13回目	実践発表とフィードバック。
14回目	学期末チェック
15回目	まとめ
準備学習 時間外 学習	理想的な達成レベル・全てのエクササイズを習得し更に自分のアイデアを加え実践応用出来る事。 標準的な達成レベル・全てのエクササイズを習得する事。
評価方法	期末試験 (60%) 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	ドラミングを豊かにするために必要な技術を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 コントロールセオリーテキスト・All American Drummerテキスト	

科目名 (英)	コントロールセオリーⅥ Control TheoryⅥ	選択 必修	選択必修	年次	3		
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜1限
【授業の学習内容】 ①ルーディメンツのドラムセットへのオーケストレーション。ポリリズムのドラムセットへの応用。各ルーディメンツのマーチングとしての応用。 ②ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。 ③ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになって欲しい。 楽曲の中で自由度を更に広げて欲しい。 (講師プロフィール) メジャーアーティストのレコーディング・ライブサポートを行う他、ミュージカルライオンキングでのパーカッション演奏、 ベースドラムに関する教則DVDを販売するなど国内屈指のテクニシャンとして知られている。							
【到達目標】 ①それぞれのエクササイズを丁寧に練習しハイレベルなドラミングに挑戦する。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り。到達度・理解度チェック。
2回目	トリプルパラディドルバリエーション、オールアメリカンドラマーNo.7
3回目	実践発表とフィードバック。
4回目	フラムダブルパラディドルバリエーション、オールアメリカンドラマーNo.8
5回目	実践発表とフィードバック。
6回目	フラムトリプルパラディドルバリエーション、オールアメリカンドラマーNo.9
7回目	実践発表とフィードバック。
8回目	2拍3連応用、オールアメリカンドラマーNo.10
9回目	実践発表とフィードバック。
10回目	2拍3連メトリックモジュレーション、オールアメリカンドラマー復習
11回目	4拍3連応用、オールアメリカンドラマーNo.11
12回目	実践発表とフィードバック。
13回目	卒業進級展制作
14回目	卒業進級展制作
15回目	卒業進級展制作
準備学習 時間外 学習	理想的な達成レベル・全てのエクササイズを習得し更に自分のアイデアを加え実践応用出来る事。 標準的な達成レベル・全てのエクササイズを習得する事。
評価方法	期末試験 (60%) 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	ドラミングを豊かにするために必要な技術を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 コントロールセオリーテキスト・All American Drummerテキスト	

科目名 (英)	コントロールセオリーⅦ Control TheoryⅦ	選択 必修	選択必修	年次	4		
学科学	スーパ-eエンターテインメント科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜2限
【授業の学習内容】 ①ルーディメンツのドラムセットへのオーケストレーション、ポリリズムのドラムセットへの応用。 各ルーディメンツのマーチングとしての応用。オスティナートやリエアドラミングの習得。ダブルベースドラミングの習得。 ②ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。 ③ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになって欲しい。楽曲の中で自由度を更に広げて欲しい。 (講師プロフィール) メジャーアーティストのレコーディング・ライブサポートを行う他、ミュージカルライオンキングでのパーカッション演奏、 ベースドラムに関する教則DVDを販売するなど国内屈指のテクニシャンとして知られている。							
【到達目標】 ①それぞれのエクササイズを丁寧に練習しハイレベルなドラミングに挑戦する。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。レベルチェック。
2回目	3拍4連応用、オールアメリカンドラマーNo.13
3回目	実践発表とフィードバック。
4回目	ハイブリッドルーディメンツの紹介、オールアメリカンドラマーNo.14
5回目	実践発表とフィードバック。
6回目	サンバオスティナート、オールアメリカンドラマーNo.15
7回目	実践発表とフィードバック。
8回目	サンバオスティナートオールアメリカンドラマーNo.16
9回目	実践発表とフィードバック。
10回目	サンバオスティナート・オールアメリカンドラマーNo.17
11回目	実践発表とフィードバック。
12回目	クラベオスティナート・オールアメリカンドラマーNo.18
13回目	実践発表とフィードバック。
14回目	学期末チェック
15回目	まとめ
準備学習 時間外 学習	理想的な達成レベル・全てのエクササイズを習得し更に自分のアイデアを加え実践応用出来る事。 標準的な達成レベル・全てのエクササイズを習得する事。
評価方法	12週目に行う実技テスト（60%） 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	ドラミングを豊かにするために必要な技術を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 コントロールセオリーテキスト・All American Drummerテキスト	

科目名 (英)	コントロールセオリーⅧ Control TheoryⅧ	選択 必修	選択必修	年次	4		
学科学	スーパ-エ-タ-メント科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜2限
【授業の学習内容】 ①ルーディメンツのドラムセットへのオーケストレーション。ポリリズムのドラムセットへの応用。 各ルーディメンツのマーチングとしての応用。オスティナートやリニアドラミングの習得。ダブルベースドラミングの習得。 ②ドラムを演奏する全ての科目でのテクニックの上達。 ③ドラムを演奏するにあたり音色、ダイナミクス等を無意識にコントロール出来るようになって欲しい。楽曲の中で自由度を更に広げて欲しい。 (講師プロフィール) メジャーアーティストのレコーディング・ライブサポートを行う他、ミュージカルライオンキングでのパーカッション演奏、 ベースドラムに関する教則DVDを販売するなど国内屈指のテクニシャンとして知られている。							
【到達目標】 ①それぞれのエクササイズを丁寧に練習しハイレベルなドラミングに挑戦する。							

授業計画・内容	
1回目	前期の振り返り。到達度・理解度チェック。
2回目	クラーベオスティナート・オールアメリカンドラマーNo.19
3回目	実践発表とフィードバック。
4回目	クラーベオスティナート・オールアメリカンドラマーNo.20
5回目	実践発表とフィードバック。
6回目	リニアエクササイズ・オールアメリカンドラマー復習
7回目	実践発表とフィードバック。
8回目	リニアエクササイズ・クレイジーアーミー
9回目	実践発表とフィードバック。
10回目	リニア応用・ダブルベースドラミング
11回目	実践発表とフィードバック。
12回目	後期の振り返り。
13回目	卒業進級展制作
14回目	卒業進級展制作
15回目	卒業進級展制作
準備学習 時間外 学習	理想的な達成レベル・全てのエクササイズを習得し更に自分のアイデアを加え実践応用出来る事。 標準的な達成レベル・全てのエクササイズを習得する事。
評価方法	12週目に行う実技テスト(60%) 各授業内で行うミニ実技テスト(40%)
受講生への メッセージ	ドラミングを豊かにするために必要な技術を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 コントロールセオリーテキスト・All American Drummerテキスト	

科目名 (英)	ダンススタイル I Dance Style I	必修 選択	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 金曜 5 限
【授業の学習内容】 ストレッチ、体感トレーニング。フロアトレーニング。 ブレイキンに必要なフットワーク&スキルトレーニング。 振り付け（ブレイキン） （講師）USJ振付担当							
【到達目標】 フロアでのボディーコントロール習得。 ブレイキンに必要なステップ&フットワーク&フリーズ習得 ステップ、フットワーク、フリーズを自由に組み立てて、ソロが踊れるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	体幹トレーニング、フロアトレーニングでブレイキンに必要な体を作る 振り付け
2回目	体幹トレーニング、フロアトレーニングでブレイキンに必要な体を作る 振り付け
3回目	体幹トレーニング、フロアトレーニングでブレイキンに必要な体を作る 振り付け
4回目	体幹トレーニング、フロアトレーニングでブレイキンに必要な体を作る 振り付け
5回目	フロアトレーニング、ステップ、フットワーク ① 振り付け
6回目	フロアトレーニング、ステップ、フットワーク ② 振り付け
7回目	フロアトレーニング、ステップ、フットワーク ③ 振り付け
8回目	フットワーク、フリーズ ① 振り付け
9回目	フットワーク、フリーズ ② 振り付け
10回目	フットワーク、フリーズ ③ 振り付け
11回目	フットワーク組み立て ① 振り付け
12回目	フットワーク組み立て ② 振り付け
13回目	フットワーク組み立て ③ 振り付け
14回目	まとめ
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	フロアでのボディーコントロール能力、フロアスキルをUPさせて、一緒にレベルUPを目指しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 動きやすい服装。動きやすいスニーカー。	

科目名 (英)	ダンススタイルⅡ Dance StyleⅡ	必修 選択	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 金曜日、5限
【授業の学習内容】 ストレッチ、体感トレーニング。フロアトレーニング。 プレイキンに必要なフットワーク&スキルトレーニング。 振り付け（プレイキン） （講師）USJ振付担当							
【到達目標】 フロアでのボディーコントロール習得。 プレイキンに必要なステップ&フットワーク&フリーズ習得 ステップ、フットワーク、フリーズを自由に組み立てて、ソロが踊れるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	フロアトレーニング、スキルトレーニング ①
2回目	フロアトレーニング、スキルトレーニング ②
3回目	フロアトレーニング、スキルトレーニング ③
4回目	ステップ、フットワーク、フリーズ組み立て ① 振り付け
5回目	ステップ、フットワーク、フリーズ組み立て ② 振り付け
6回目	ステップ、フットワーク、フリーズ組み立て ③ 振り付け
7回目	ステップ、フットワーク、フリーズ組み立て ④ 振り付け
8回目	即興でソロで踊るトレーニング
9回目	即興でソロで踊るトレーニング
10回目	即興でソロで踊るトレーニング
11回目	即興でソロで踊るトレーニング
12回目	まとめ
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	フロアでのボディーコントロール能力、フロアスキルをUPさせて、一緒にレベルUPを目指しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 動きやすい服装、動きやすいスニーカー	

科目名 (英)	ダンススタイルⅢ Dance StyleⅢ	必修 選択	選択必修	年次	2		
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科・	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 水2限
【授業の学習内容】 ストリートの基礎と応用を身につける。 (講師) クラブ等show出演の他、sunsetliveなどの野外フェス出演、インストラクター、ダンスコンテスト審査員、振付等、福岡を拠点に幅広い分野でダンサーとして活躍中。							
【到達目標】 1人で踊る感覚を身につけ、自己表現力を習得する。							

授業計画・内容	
1回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け①
2回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け②
3回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け③
4回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け④
5回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け⑤
6回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け⑥
7回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け⑦
8回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け⑧
9回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け⑨
10回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け⑩
11回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け⑪
12回目	実技試験
13回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、セッション
14回目	ミュージカル演習
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学 習	リズム、アイソレーション、振り付けの復習。
評価方法	実技試験
受講生への メッセージ	自己表現がしっかりできるダンサーを目指して下さい。
【使用教科書・教材・参考書】 レッスン着・シューズ・タオル	

科目名 (英)	ダンススタイルⅣ Dance StyleⅣ	必修 選択	選択必修	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 水2限
【授業の学習内容】 ストリートの基礎と応用を身につける。 (講師) クラブ等show出演の他、sunsetliveなどの野外フェス出演、インストラクター、ダンスコンテスト審査員、振付等、福岡を拠点に幅広い分野でダンサーとして活躍中。							
【到達目標】 1人で踊る感覚を身につけ、自己表現力を習得する。 振り付けとソロの違いを理解する。 自分で振付を作る。							

授業計画・内容	
1回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け、セッション①
2回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け、セッション②
3回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け、セッション③
4回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け、セッション④
5回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け、セッション⑤
6回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け、セッション⑥
7回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、振り付け、セッション⑦
8回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、セッション①
9回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、セッション②
10回目	ストレッチ、リズム、アイソレーション、ステップ、セッション③
11回目	後期まとめ
12回目	実技試験
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	リズム、アイソレーション、振り付けの復習。
評価方法	実技試験
受講生への メッセージ	自己表現がしっかりできるダンサーを目指して下さい。
【使用教科書・教材・参考書】 レッスン着・シューズ・タオル	

科目名 (英)	ダンススタイルⅤ Dance StyleⅤ	必修 選択	選択必修	年次	3		
学科・コース	スーパー・エンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜4限
【授業の学習内容】 ウオーミングUP、ストレッチ、アイソレーション、クロスフロア（テクニック）を準備運動として実施し、それを使ってJAZZ、JAZZ HOPHOPコンビネーションを2～3週を目途に実施する。 （講師）アメリカで単身レッスンを受け、ラスベガスで数々の日本人初となるイベント出演を果たす。最新のLAスタイルジャズを主体とした自身のジャズファンクを確立。現在、「福岡から世界へ」をベースに日本はもとよりアメリカ ラスベガスにもレギュラーイベントを持つダンスパフォーマンスユニット「ソウル・スブラッシュ・クルー」として活躍中。							
【到達目標】 いろんな種類のダンスを実習していき、それをこなせる陽にしていく。1年間でダンスの基礎を学ぶ。							

授業計画・内容	
1回目	ダンサーとは！の講義を前半に行い、後半4～6×8の振付を覚え、踊る。
2回目	JAZZHIPHOPを踊る。上記のウオーミングUPの後に6～8×8の振付を踊る。
3回目	前半ストレッチやアイソレーションの仕方を覚え、後半8～12×8の振付を踊る。
4回目	クロスフロアで使ったテクニックを振付の中に入れ練習をし、習得する。
5回目	クロスフロアで使ったテクニックを振付の中に入れ練習をし、習得する。
6回目	グループ分けをし、課題を与え、自分たちで振付をし、それを発表し、意見交換を行う。
7回目	フォーメーションダンスを踊る。前後左右の動きを取り入れたダンスを踊り、協調性を養う。
8回目	フォーメーションダンスを踊る。前後左右の動きを取り入れたダンスを踊り、協調性を養う。
9回目	JAZZダンスを踊る。身体の使い方や動きの流れ方の練習し、4×8のJAZZを踊る。
10回目	JAZZダンスを踊る。身体の使い方や動きの流れ方の練習し、4×8のJAZZを踊る。
11回目	グループ分けをし、課題を与え自分たちで振付をし、それを発表し、意見交換を行う。
12回目	前期の評価。4～6×8の振付を覚え、3～4人に分け、踊り、評価する。
13回目	前期まとめ
14回目	まとめ
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外 学習	なし
評価方法	主席率50%、技術向上率20%、授業の取り組み態度30%
受講生への メッセージ	基本的にはJAZZスタイルで進めていきます。JAZZが得意ではない人も多くいますが、それぞれの持っている個性を出し、いろんな自分の可能性を見つけ出して視野を広げてもらえればと思います。
【使用教科書・教材・参考書】 なし	

科目名 (英)	ダンススタイルVI Dance StyleVI	必修 選択	選択必修	年次	3		
学科・コース	スーパー・エンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜4限
【授業の学習内容】 ウオーミングUP、ストレッチ、体幹トレーニング（タンジェ、バランスなど）、クロスフロア（テクニック）を準備運動として実施し、それを使ってJAZZ、JAZZ HOPHOPコンビネーションを2～3週を目途に実施する。 （講師）アメリカで単身レッスンを受け、ラスベガスで数々の日本人初となるイベント出演を果たす。最新のLAスタイルジャズを主体とした自身のジャズファンクを確立。現在、「福岡から世界へ」をベースに日本はもとよりアメリカ ラスベガスにもレギュラーイベントを持つダンスパフォーマンスユニット「ソウル・スプラッシュ・クルー」として活躍中。							
【到達目標】 基礎体力を付け、ダンステクニックを習得させ、あらゆるジャンルのダンスに対応できる能力を身に付け、社会に出たときに率先力となる様にする。							

授業計画・内容	
1回目	JAZZダンスを踊る。JAZZの基礎を取り入れたダンスを覚え、それを実習していく。
2回目	JAZZダンスを踊る。JAZZの基礎を取り入れたダンスを覚え、それを実習していく。
3回目	テクニック、スキルUPの強化。ターンやジャンプを取り入れたダンスコンビを踊る。
4回目	テクニック、スキルUPの強化。ターンやジャンプを取り入れたダンスコンビを踊る。
5回目	リズムの取り方を覚える。HIPHOP系のダンスを踊り、ニュアンス等を学ぶ。
6回目	グループ分けをし、課題を与え、自分たちで振付をし、それを発表する。
7回目	リズムの取り方を覚える。HIPHOP系のダンスを踊り、ニュアンス等を学ぶ。
8回目	フロアテクニックを身に付ける。フロアへの導入の仕方や動かし方、体重移動を学ぶ。
9回目	2つのグループに分ける。1つの曲で2つの違う振付を踊る。又、それを交代する。
10回目	小道具（帽子）を使う。帽子を使った振付を踊り、シアターダンスを学ぶ。
11回目	グループ分けをし、課題を与え、自分たちで振付をし、それを発表する。
12回目	前期の評価。4～6×8の振付を覚え、3～4人に分け、踊り、評価する。
13回目	9月特別授業
14回目	9月特別授業
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外 学習	なし
評価方法	主席率50%、技術向上率20%、授業の取り組み態度30%
受講生への メッセージ	1年間の中で、自分は何をしたいのか？を模索し、考え、最終的なビジョンを作り、そこに向かって、自分らしさを見つけて欲しいと思います。
【使用教科書・教材・参考書】 なし	

科目名 (英)	ダンススタイルⅦ Dance StyleⅦ	必修 選択	選択必修	年次	4		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜2限
【授業の学習内容】 ダンス基礎の習得 【講師プロフィール】 1986年、M-TRAP'S結成。JAZZDANCEにSTREET DANCEを取り入れた LOCKJAZZを考案。 1992年、全米ネットワークTVSHOW “STAR SEARCH”(CBS)に日本代表として出演。以来、L・Aにて“WINNERS”や日系人 フェスティバル、ユニバーサルスタジオなどに出演。 1999年、ジャニーズ事務所ミュージカル“PLAY ZONE”(少年隊、V6、MA、Jr) 振付・Travis Payneアシスタント。							
【到達目標】 ダンスの基礎を学び、更に自己発見する。							

授業計画・内容	
1回目	ストレッチ説明1
2回目	ストレッチ説明2
3回目	ストレッチ、腹筋説明
4回目	ストレッチ、腹筋チェック
5回目	ストレッチ、腹筋、プッシュアップ説明
6回目	ストレッチ、腹筋、プッシュアップチェック
7回目	ストレッチ、筋トレ、プリエ説明
8回目	ストレッチ、筋トレ、プリエ、クロスフロア説明
9回目	ストレッチ、筋トレ、プリエ、クロスフロアチェック
10回目	ストレッチ、筋トレ、クロスフロア、コンビネーション①
11回目	ストレッチ、筋トレ、クロスフロア、コンビネーション②
12回目	ストレッチ、筋トレ、クロスフロア、コンビネーション③
13回目	前期まとめ
14回目	実技試験
15回目	9月特別講義
準備学習 時間外学 習	ストレッチ、筋トレ、コンビネーションの復習
評価方法	実技試験
受講生への メッセージ	基礎をしっかり習得し、どんなオーディションにも対応できる応用力を身につけて下さい。
【使用教科書・教材・参考書】 レッスン着・シューズ・タオル	

科目名 (英)	ダンススタイルⅧ Dance StyleⅧ	必修 選択	選択必修	年次	4		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 木曜2限
【授業の学習内容】 ダンス基礎の習得 【講師プロフィール】 1986年、M-TRAP'S結成。JAZZDANCEにSTREET DANCEを取り入れた LOCKJAZZを考案。 1992年、全米ネットワークTVSHOW “STAR SEARCH”(CBS)に日本代表として出演。以来、L・Aにて“WINNERS”や日系人 フェスティバル、ユニバーサルスタジオなどに出演。 1999年、ジャニーズ事務所ミュージカル“PLAY ZONE”(少年隊、V6、MA、Jr) 振付・Travis Payneアシスタント。							
【到達目標】 ダンスの基礎を学び、更に自己発見する。							

授業計画・内容	
1回目	ストレッチ、筋トレ、クロスフロアー、コンビネーション
2回目	ストレッチ、筋トレ、クロスフロアー、コンビネーション、ターン、アウトサイドターンの基礎説明
3回目	ストレッチ、筋トレ、クロスフロアー、コンビネーション、ターン、アウトサイドターンの説明
4回目	ストレッチ、筋トレ、クロスフロアー、コンビネーション、ターン、インサイドターンの基礎説明
5回目	ストレッチ、筋トレ、クロスフロアー、コンビネーション、ターン、インサイドターンの説明
6回目	ストレッチ、筋トレ、クロスフロアー、コンビネーション、ターン、ジャンプの基礎説明
7回目	ストレッチ、筋トレ、クロスフロアー、コンビネーション、ターン、ジャンプの説明
8回目	ストレッチ、筋トレ、クロスフロアー、コンビネーション、ターン、ダンスにおける表現方法①
9回目	ストレッチ、筋トレ、クロスフロアー、コンビネーション、ターン、ダンスにおける表現方法②
10回目	ストレッチ、筋トレ、クロスフロアー、コンビネーション、ターン、舞台でのノウハウ①
11回目	ストレッチ、筋トレ、クロスフロアー、コンビネーション、ターン、舞台でのノウハウ②
12回目	後期まとめ
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	ストレッチ、筋トレ、コンビネーションの復習
評価方法	実技試験
受講生への メッセージ	基礎をしっかり習得し、どんなオーディションにも対応できる応用力を身につけて下さい。
【使用教科書・教材・参考書】 レッスン着・シューズ・タオル	

科目名 (英)	ダンスベーシック I Dance Basic I	必修 選択	選択 必修	年次	1年		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 水曜1限
【授業の学習内容】							
まず、身体を動かす上で大切な「解剖学」身体はどこにどの様についているのかを必要なポイントだけを選択し理解していただきその中で実際に筋トレやボディーケアに繋がっていきと思います。ただ身体を動かす事と理解して身体を動かす事でコンディショニング、パフォーマンスが大きく左右されます。この授業では上記の内容をしっかりと学びながらダンスなどの動きに繋がってれるように進めていきます。その他にも外見の面ボディースタイルや食事栄養管理の面も学びます。 (講師) 熊本県小国中学校柔道部指導・スポーツクラブ、ジムにてトレーニング指導。							
【到達目標】							
①セルフストレッチ、コンディショニングをしっかり理解し日頃から行う知識、技術を習得する。 ②ダンスなどに必要な筋肉などを理解して自分だけでなく他の学生などに説明できるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション（これからのボディコンディショニング）について
2回目	姿勢のチェック改善について、自分の身体について理解しよう①
3回目	上半身の筋肉について理解し学びトレーニング・ストレッチを学ぶ①基礎編
4回目	上半身の筋肉について理解し学びトレーニング・ストレッチを学ぶ②応用編～まとめ～
5回目	下半身の筋肉について理解し学びトレーニング・ストレッチを学ぶ①基礎編
6回目	下半身の筋肉について理解し学びトレーニング・ストレッチを学ぶ②応用編～まとめ～
7回目	適切なストレッチの種類とその目的を学ぶ スタティックストレッチとバリスティックストレッチ
8回目	トレーニングを行う前になぜ、柔軟性をつける？可動域を先につけることの理由についてメリット&デメリット
9回目	コンディショニング！！身体を動かす前には必ずやるべき動きを習得する
10回目	実は見逃しがち。足の裏（足底）が身体の姿勢の鍵を握っているケアとトレーニング
11回目	体幹は腹筋だけでは不可欠？アウターマッスルとインナーマッスルについて
12回目	自分に適したトレーニングとストレッチでメニュー作成をしよう①
13回目	前期まとめ
14回目	実技試験・評価
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	・授業で学んだトレーニングやストレッチなどはボディコンディショニングの授業以外の日常から実践して頂き常にベストコレクションで学校生活を過ごして頂きたい。
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	筋トレ、トレーニングと聞くと「きつい」などが頭に浮かぶと思いますがまずは、今の皆さんの身体がどうなっているのかを理解した上でストレッチなどからスタートして後半にトレーニングなどを取り入れたいと思います。中にはきついトレーニングもありますが今後の自分のために思い頑張りましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスベーシックⅡ Dance BasicⅡ	必修 選択	選択 必修	年次	1年		
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 水曜1限
【授業の学習内容】							
後期では前期で習得した（セルフストレッチ・コンディショニング）の他に怪我をしない身体作り（予防医学）に方向を向けて授業を進め行きます。 特に中心になってくるのが食事・栄養の管理の授業が入ってきます。ここはトレーニング、ストレッチはもちろん大切な事ですが皆さんの身体を支えているのは食事になりますので中心的に学んでいきます。それを踏まえてダイエットやスタイル維持などに繋げていきましょう。							
【到達目標】							
①食事・栄養管理など自分には何が必要なのか理解し自分自身の健康を管理できる。 ②ダンスなどに必要な（トレーニング・セルフストレッチ）を習得し実践できるスキルを身に着ける。							

授業計画・内容	
1回目	習得したトレーニング・ストレッチの見直し復習～考え直し～
2回目	食事・栄養について学び理解しよう①～比率は運動 3 割食事 7 割～
3回目	食事・栄養について学び理解しよう②～食事とトレーニングを組み合わせよう～
4回目	姿勢のチェック改善について、自分の身体について理解しよう②～前期との評価～
5回目	セルフストレッチとペアストレッチの違い効果についてとメリット・デメリット
6回目	ペアトレーニングで効果 + 強度upできる！注意すべき点とメリット・デメリット
7回目	ジャンプや切り返しなど動きの中でのトレーニングについて
8回目	睡眠について学び理解しよう～皆さんの睡眠時間は1日どれくらいですか？～
9回目	運動・食事・睡眠について～この3つはどれも欠けてはいけない～
10回目	自分に適したトレーニングとストレッチでメニュー作成をしよう②～全体を通しての組みなおし～
11回目	トレーニング・ストレッチの復習・食事栄養管理について見直し
12回目	実技試験・評価
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	後期では、トレーニング・セルフストレッチはもちろん学びますが、食事・栄養管理も勉強します。日頃の食事などを見直して少しでも意識をして取り入れてみてください。
評価方法	■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	後期はミュージカルや発表に向けて怪我などをしないような身体作りを考えて授業を進めていきます。怪我でできない、出られないようにならないようにトレーニング・セルフストレッチはもちろん食事・栄養の授業も行いますのでスタイル維持などにも繋げてください。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスベーシックⅢ Dance BasicⅢ	必修 選択	選択 必修	年次	2年		
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 月曜日(2限目)
【授業の学習内容】							
1年次に学んだ内容を復習し今後、業界で必要とされるダンサーとしてのスキル（持久力・柔軟性・筋力）を中心に強化しパフォーマンスUPはもちろん怪我をしない身体作りを行い、自主的にできるように繰り返し行いながらスキルを身につけていく。その他にもボディスタイルを整える、維持するための知識なども同時に身につける。							
【到達目標】							
・前期の授業が終了するまでにダンサーとしてのスキル（持久力・柔軟性・筋力）を80%理解し実践できるようになる。 ・ボディスタイルなども自己管理することができオーディションなどで必要とされる身体作りの知識を習得する。							

授業計画・内容	
1回目	目標設定と今後の授業の進め方について
2回目	スキルチェック①（持久力・柔軟性・筋力・コンディション）
3回目	上半身のストレッチ・トレーニング基礎（個人で行うメニュー）
4回目	下半身のストレッチ・トレーニング基礎（個人で行うメニュー）
5回目	上半身のストレッチ・トレーニング基礎（ペア・グループで行うメニュー）
6回目	下半身のストレッチ・トレーニング基礎（ペア・グループで行うメニュー）
7回目	食事の管理を行う①（現在食べている食事について見直そう）
8回目	スキルチェック②（持久力・柔軟性・筋力・コンディション）
9回目	現在のコンディションスキルに合ったストレッチ・トレーニングを考える①
10回目	現在のコンディションスキルに合ったストレッチ・トレーニングを考える②
11回目	睡眠の管理を行う①（現在の睡眠はどれくらいかそれが今後のコンディションにどう繋がるのか）
12回目	前期最終スキルチェックに向けての応用
13回目	スキルチェック③（持久力・柔軟性・筋力・コンディション）
14回目	後期に向けて前期の振り返り～どう成長したか今後の目標について～
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	・パフォーマンスUPするには見えない所での自分に対して、ケアやリラクゼーションにどれだけの時間を使えるかだと思います。 授業で学んだ事はまず一度、自分に合うものが復習する。
評価方法	■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	いよいよ2年生の授業がスタートです！この1年でたくさんのスキルを身につけて業界で活躍できるダンサー・アーティストを目指そう！！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスベーシックⅣ Dance BasicⅣ	必修 選択	選択 必修	年次	2年		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 月曜2限
【授業の学習内容】							
業界で必要とされるためのスキルを完全に取得し、卒業して即戦力で活動できるように仕上げていく！また前期に目標を立てその目標に到達できるよう1年から学んだ内容を復習し自分に必要なストレッチ・栄養・睡眠など100%理解する。							
【到達目標】							
・業界で必要とされるためのスキルを身につけて自信を持って業界で活動できる様になる。 ・1年次を含めストレッチ・栄養管理・睡眠を100%理解できるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	スキルチェック④（持久力・柔軟性・筋力・コンディション）
2回目	後期の目標設定と今後の授業の進め方について
3回目	上半身のストレッチ・トレーニング応用（個人で行うメニュー）
4回目	下半身のストレッチ・トレーニング応用（個人で行うメニュー）
5回目	上半身のストレッチ・トレーニング応用（ペア・グループで行うメニュー）
6回目	下半身のストレッチ・トレーニング応用（ペア・グループで行うメニュー）
7回目	スキルチェック⑤（持久力・柔軟性・筋力・コンディション）
8回目	食事の管理を行う②（現在食べている食事について見直そう）
9回目	睡眠の管理を行う②（現在の睡眠はどれくらいかそれが今後のコンディションにどう繋がるのか）
10回目	最終スキルチェックに向けての応用・確認
11回目	最終スキルチェック⑥（持久力・柔軟性・筋力・コンディション）
12回目	年間を通しての振り返り、目標達成できたか
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	スキルテストなどをスポットで入れてますのでそれに対応できるように常に自己管理を行いましょう！
評価方法	■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	さて後期のスタートです！残り少ない学校生活、怪我のなくイベントなどにも率先して取り組み素晴らしいダンサー・アーティストとして卒業しよう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスアドバンス I Dance Advance I	必修 選択	選択必修	年次	3年		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 火曜3限
【授業の学習内容】 ファンデーションをメインにしたルーティンや作品制作。同時にフィジカルやミュージカリティが身につく筋トレ、リズム遊び、音楽知識を学ぶ。 （講師）19歳より大阪の専門学校にてダンス、演技、歌を学ぶ。スペースワールドにレヴューダンサーとして就職後、東京、ロサンゼルスと在住しさらに技術を高める。ほぼ全てのジャンルを高次元でこなし、さらにそれをM i xさせたオリジナルスタイルで自身を表現。またディレクターとして20代後半に頭角を現し、様々なダンスチーム、アーティストにも振付、演出指導をしている。特にアイドル業界では何組ものアイドルへの振付。その数述べ300曲を超える。現在も九州を拠点に、関西、関東などで活動中。							
【到達目標】 ダンサーとして行きて行ける知識、技術、モラルなどを習得。ダンスが上手でも行きていけない世界なのを生き抜く術を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	アイソレーションを丁寧に。分解、反復の理論
2回目	リズムの解説。右脳と左脳で理解できるように
3回目	ベーシックステップのいくつかをレクチャー
4回目	ベーシックステップのいくつかをレクチャー
5回目	体重移動の基礎。バランスの取り方
6回目	ヒップホップで使われるステップと9 0 年代の曲
7回目	ウェーブの分解と練習方法
8回目	ストップ、ヒット、エアーのニュアンスと使いどころ
9回目	フリースタイル発表
10回目	ハイトempoの曲にたいするステップの運び方
11回目	ターンを数種類じっくり
12回目	自主制作コンテスト
13回目	コンテスト発表
14回目	まとめテスト
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	
評価方法	■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	好きという気持ちを忘れないために反復の楽しさを覚えましょう。それをわかりやすく教えるので安心してください！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスアドバンスⅡ Dance AdvanceⅡ	必修 選択	選択必修	年次	3年		
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 火曜3限
【授業の学習内容】							
オールドスクールを中心とした半年間。またダンスの関わり方の可能性を伝えます。 (講師) 19歳より大阪の専門学校にてダンス、演技、歌を学ぶ。スペースワールドにレヴューダンサーとして就職後、東京、ロサンゼルスと在住しさらに技術を高める。ほぼ全てのジャンルを高次元でこなし、さらにそれをM i xさせたオリジナルスタイルで自身を表現。またディレクターとして20代後半に頭角を現し、様々なダンスチーム、アーティストにも振付、演出指導をしている。特にアイドル業界では何組ものアイドルへの振付。その数述べて300曲を超える。現在も九州を拠点に、関西、関東などで活動中。							
【到達目標】							
ダンサーとして行きて行ける知識、技術、モラルなどを習得。ダンスが上手でも行きていけない世界なのを生き抜く術を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	ブーガルーの基礎
2回目	ヒットとブーガルーをリズムに合わせて踊れるように
3回目	ロックダンスのファンデーション 1
4回目	ロックダンスのファンデーション 2
5回目	ロックダンスのファンデーション 3
6回目	7 0 年代の曲とロックダンスの関係、歴史
7回目	waackの基礎
8回目	waackのバリエーション
9回目	soulダンスのイロハ
10回目	soulダンスと現代音楽との混ぜ方
11回目	邦楽をかつこよく振付する方法
12回目	まとめテスト
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	知らない事は当たり前なので、知ろうとしてください。分からないものを分からないままにしない。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスアドバンスⅢ Dance AdvanceⅢ	必修 選択	選択必修	年次	4年		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜2限目
【授業の学習内容】							
ストレッチ、筋力トレーニング、クロスフロア、ターンコンビネーション、コンビネーションを継続的に行う。							
【到達目標】							
現時点の自分と比べて、柔軟性が増し怪我をしにくい身体になる、体幹が鍛えられ軸のある動きが出来るようになる、手足を大きく使い踊れるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション、ストレッチ、筋力トレーニング
2回目	ストレッチ、筋力トレーニング、プリエ、クロスフロア
3回目	ストレッチ、筋力トレーニング、プリエ、クロスフロア
4回目	ストレッチ、筋力トレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット
5回目	ストレッチ、筋力トレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット
6回目	ストレッチ、筋力トレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット
7回目	ストレッチ、筋力トレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット
8回目	ストレッチ、筋力トレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット、コンビネーション
9回目	ストレッチ、筋力トレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット、コンビネーション
10回目	ストレッチ、筋力トレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット、コンビネーション
11回目	ストレッチ、筋力トレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット、コンビネーション
12回目	ストレッチ、筋力トレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット、コンビネーション
13回目	ストレッチ、筋力トレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット、コンビネーション
14回目	まとめ・前期試験
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	授業内で次回までの課題を出します。
評価方法	出席率(50%)授業態度(50%)
受講生への メッセージ	ジャズダンスというジャンルの基礎技術力を身に付けるのはもちろんですが、この授業では同じことを繰り返し行い積み重ねて習得していく事が多い為、継続力もつけてほしいです。一人ではないので、一緒に頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスアドバンスⅣ Dance AdvanceⅣ	必修 選択	選択必修	年次	4年		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 木曜2限目
【授業の学習内容】							
ストレッチ、筋力トレーニング、クロスフロア、ターンコンビネーション、コンビネーションを継続的に行う。							
【到達目標】							
現時点の自分と比べて、柔軟性が増し怪我をしにくい身体になる、体幹が鍛えられ軸のある動きが出来るようになる、手足を大きく使い踊れるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	ストレッチ、筋力トレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット
2回目	ストレッチ、筋力トレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット
3回目	ストレッチ、筋力トレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット、コンビネーション
4回目	ストレッチ、筋力トレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット、コンビネーション
5回目	ストレッチ、筋力トレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット、コンビネーション
6回目	ストレッチ、筋力トレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット、コンビネーション
7回目	ストレッチ、筋力トレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット、コンビネーション
8回目	ストレッチ、筋力トレーニング、プリエ、クロスフロア、ピルエット、コンビネーション
9回目	授業内での作品制作
10回目	授業内での作品発表
11回目	コンビネーション、リハーサル
12回目	コンビネーション、リハーサル
13回目	コンビネーション、リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	授業内で次回までの課題を出します。
評価方法	出席率(50%)授業態度(50%)
受講生への メッセージ	ジャズダンスというジャンルの基礎技術力を身に付けるのはもちろんですが、この授業では同じことを繰り返し行い積み重ねて習得していく事が多い為、継続力もつけてほしいです。一人ではないので、一緒に頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	マルチパフォーマンスⅠ		必修 選択	選択必修	年次	1		
	Multi PerformanceⅠ		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科						曜日・時限	月曜2限
【授業の学習内容】								
自分の理想の歌声や目標に向けて、ヴォイストレーニングの基本部分を学んでいく。楽曲歌唱も取り入れ、実際の歌唱にも結びつける。								
((講師プロフィール))								
福岡を拠点に、海外での歌唱や、国内の商業施設、中学・高校への芸術鑑賞会や九州各地でのゴスペルワークショップやブライダルなど、幅広く活動している。								
【到達目標】								
自分の理想の歌声に向かって、なぜヴォイストレーニングをする必要なのかを理解し、発声の基本項目を習得し、なおかつ習慣化し行う出来る。								

授業計画・内容	
1回目	授業概要説明、自己紹介、自分の理想の歌声や到達目標を考えてみよう、発声レベルチェック、発声①（姿勢、呼吸、リップロール）
2回目	発声①＋課題曲①レクチャー
3回目	発声①復習＆チェック＋課題曲①復習
4回目	発声①復習＆チェック＋課題曲①復習
5回目	発声①②（表情筋）＋課題曲②レクチャー
6回目	発声①②復習＆チェック＋課題曲②復習
7回目	発声①②復習＆チェック＋課題曲②復習
8回目	発声①②③（前に響かせる低音、後ろに響かせる低音）＋課題曲③レクチャー
9回目	発声①②③復習＆チェック＋課題曲③復習
10回目	発声①②③復習＆チェック＋課題曲③復習
11回目	発声①②③④（声帯周りの筋肉をストレッチする）、課題曲④レクチャー
12回目	発声①②③④復習＆チェック＋課題曲④復習
13回目	発声①②③④復習＆チェック＋課題曲④復習
14回目	発声総復習（疑問点確認）
15回目	発声レベルチェックテスト、前期振り返り（自分自身での到達度・進捗度を評価してみよう）
準備学習 時間外学習	各発声方法、楽曲の復習
評価方法	■出席率 40% ■授業へ取り組む姿勢 30% ■発声レベルの達成度、実践度 30%
受講生への メッセージ	取り組みば取り組みほど、夢や目標に確実に近づきます！ぜひ一緒に沢山トライしていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
歌詞、課題音源、iPad、録音機材（ボイスレコーダーや携帯に録音機能など）、筆記用具	

科目名 (英)	マルチパフォーマンスⅡ	必修 選択	選択必修	年次	1		
	Multi Performance Ⅱ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科					曜日・時限	月曜2限
【授業の学習内容】							
自分の理想の歌声や目標に向けて、ヴォイストレーニングの基本部分を学んでいく。楽曲歌唱も取り入れ、実際の歌唱にも結びつける。 ((講師プロフィール)) 福岡を拠点に、海外での歌唱や、国内の商業施設、中学・高校への芸術鑑賞会や九州各地でのゴスペルワークショップやブライダルなど、幅広く活動している。							
【到達目標】							
発声の基本項目＋新しいアプローチ方法を習得し、なおかつ習慣化し行う出来る。							

授業計画・内容	
1回目	発声①②③④⑤（共鳴）、課題曲⑤レクチャー
2回目	発声①②③④⑤復習＆チェック＋課題曲⑤復習
3回目	発声①②③④⑤復習＆チェック＋課題曲⑤復習
4回目	発声①②③④⑤⑥（裏声）＋課題曲⑥復習
5回目	発声①②③④⑤⑥復習＆チェック＋課題曲⑥復習
6回目	発声①②③④⑤⑥復習＆チェック＋課題曲⑥復習
7回目	発声①復習＆様々なスケール＋課題曲⑦レクチャー
8回目	発声①復習＆チェック＋課題曲⑦復習
9回目	発声①復習＆チェック＋課題曲⑦復習
10回目	発声①②③④⑤⑥総復習、発表会に向けて選曲してみよう
11回目	発声レベルチェックテスト＋発表会に向けて
12回目	発表会、後期振り返り（自分自身での到達度・進捗度を評価してみよう）
13回目	卒業進級制作リハーサル
14回目	卒業進級制作リハーサル
15回目	卒業進級制作本番
準備学習 時間外 学習	各発声方法、楽曲の復習
評価方法	■出席率 40% ■授業へ取り組む姿勢 30% ■発声レベルの達成度、実践度 30%
受講生への メッセージ	取り組みば取り組むほど、夢や目標に確実に近づきます！ぜひ一緒に沢山トライしていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
歌詞、課題音源、iPad、録音機材（ボイスレコーダーや携帯に録音機能など）、筆記用具	

科目名 (英)	マルチパフォーマンスⅢ		必修 選択	選択必修	年次	2		
	Multi Performance Ⅲ		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科						曜日・時限	月曜3限
【授業の学習内容】								
自分の理想の歌声や目標に向けて、ヴォイストレーニングの基本部分のアプローチ方法を増やし、より細かく学んでいく。楽曲歌唱も取り入れ、実際の歌唱にも結びつける。								
((講師プロフィール))								
福岡を拠点に、海外での歌唱や、国内の商業施設、中学・高校への芸術鑑賞会や九州各地でのゴスペルワークショップやブライダルなど、幅広く活動している。								
【到達目標】								
基本的な発声＋アプローチ方法を取得し、より深い発声力を身につけて習慣にして取り組む事が出来る。								

授業計画・内容	
1回目	授業概要説明、自己紹介、自分の理想の歌声や到達目標を考えてみよう、発声レベルチェック、発声①（姿勢、呼吸、リップロール、表情筋）
2回目	発声①（姿勢、呼吸、リップロール、表情筋）＋課題曲①レクチャー
3回目	発声①復習＆チェック＋課題曲①復習
4回目	発声①復習＆チェック＋課題曲①復習
5回目	発声①②（前に響かせる低音、後ろに響かせる低音）＋課題曲②レクチャー
6回目	発声①②復習＆チェック＋課題曲②復習
7回目	発声①②復習＆チェック＋課題曲②復習
8回目	発声①②③（声帯周りの筋肉をストレッチする）＋課題曲③レクチャー
9回目	発声①②③復習＆チェック＋課題曲③復習
10回目	発声①②③復習＆チェック＋課題曲③復習
11回目	発声①②③④（共鳴）、課題曲④レクチャー
12回目	発声①②③④復習＆チェック＋課題曲④復習
13回目	発声①②③④復習＆チェック＋課題曲④復習
14回目	発声総復習（疑問点確認）
15回目	発声レベルチェックテスト、前期振り返り（自分自身での到達度・進捗度を評価してみよう）
準備学習 時間外学 習	各発声方法、楽曲の復習
評価方法	■出席率 40% ■授業へ取り組む姿勢 30% ■発声レベルの達成度、実践度 30%
受講生への メッセージ	取り組みば取り組むほど、夢や目標に確実に近づきます！ぜひ一緒に沢山トライしていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
歌詞、課題音源、iPad、録音機材（ボイスレコーダーや携帯に録音機能など）、筆記用具	

科目名 (英)	マルチパフォーマンスⅣ		必修 選択	選択必修	年次	2		
	Multi Performance Ⅳ		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科						曜日・時限	月曜3限
【授業の学習内容】								
自分の理想の歌声や目標に向けて、前期で学んだ基本の発声方法 4 項目をベースに、様々なスケールやアプローチ方法を使い、より深掘りしていく。楽曲歌唱も取り入れ、実際の歌唱にも結びつける。								
((講師プロフィール))								
福岡を拠点に、海外での歌唱や、国内の商業施設、中学・高校への芸術鑑賞会や九州各地でのゴスペルワークショップやブライダルなど、幅広く活動している。								
【到達目標】								
基本的な発声＋様々なスケール感の中で実践する事ができ、より深い発声力を身につけて習慣にして取り組む事が出来る。								

授業計画・内容	
1回目	発声①②③④⑤（裏声）、課題曲⑤レクチャー
2回目	発声①②③④⑤復習＆チェック、課題曲⑤レクチャー
3回目	発声①②③④⑤復習＆チェック、課題曲⑤レクチャー
4回目	発声①復習＆様々なスケール＋課題曲⑥レクチャー
5回目	発声①復習＆チェック＋課題曲⑥復習
6回目	発声②復習＆様々なスケール＋課題曲⑦レクチャー
7回目	発声②復習＆チェック＋課題曲⑦レクチャー
8回目	発声③復習＆母音を変えてみよう＋課題曲⑧レクチャー
9回目	発声③復習＆チェック＋課題曲⑧復習
10回目	発声復習＆チェック＋課題曲⑧復習
11回目	発声レベルチェックテスト＋発表会に向けて
12回目	発表会、後期振り返り（自分自身での到達度・進捗度を評価してみよう）
13回目	卒業進級制作リハーサル
14回目	卒業進級制作リハーサル
15回目	卒業進級制作本番
準備学習 時間外 学習	各発声方法、楽曲の復習
評価方法	■出席率 40% ■授業へ取り組む姿勢 30% ■発声レベルの達成度、実践度 30%
受講生への メッセージ	取り組みば取り組むほど、夢や目標に確実に近づきます！ぜひ一緒に沢山トライしていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
歌詞、課題音源、iPad、録音機材（ボイスレコーダーや携帯に録音機能など）、筆記用具	

科目名 (英)	マルチパフォーマンスⅤ		必修 選択	選択必修	年次	3		
	Multi Performance VI		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科						曜日・時限	月曜3限
【授業の学習内容】								
自分の理想の歌声や目標に向けて、様々なスケールやアプローチ方法を使い、より発声の質をあげていく。楽曲歌唱も取り入れ、実際の歌唱にも結びつける。								
((講師プロフィール))								
福岡を拠点に、海外での歌唱や、国内の商業施設、中学・高校への芸術鑑賞会や九州各地でのゴスペルワークショップやブライダルなど、幅広く活動している。								
【到達目標】								
新しいスケールを増やし、基本的な発声とともに質を上げて実践する事が出来る。								

授業計画・内容	
1回目	授業概要説明、自己紹介、自分の理想の歌声や到達目標を考えてみよう、発声レベルチェック、発声①（姿勢、呼吸、リップロール、表情筋）
2回目	発声①（姿勢、呼吸、リップロール、表情筋：マイナースケール）＋課題曲①レクチャー
3回目	発声①復習＆チェック＋課題曲①復習
4回目	発声①復習＆チェック＋課題曲①復習
5回目	発声①②（前に響かせる低音、後ろに響かせる低音：マイナースケール）＋課題曲②レクチャー
6回目	発声①②復習＆チェック＋課題曲②復習
7回目	発声①②復習＆チェック＋課題曲②復習
8回目	発声①②③（声帯周りの筋肉をストレッチする：母音を変えて）＋課題曲③レクチャー
9回目	発声①②③復習＆チェック＋課題曲③復習
10回目	発声①②③復習＆チェック＋課題曲③復習
11回目	発声①②③④（共鳴：マイナースケール）、課題曲④レクチャー
12回目	発声①②③④復習＆チェック＋課題曲④復習
13回目	発声①②③④復習＆チェック＋課題曲④復習
14回目	発声総復習（疑問点確認）
15回目	発声レベルチェックテスト、前期振り返り（自分自身での到達度・進捗度を評価してみよう）
準備学習 時間外学 習	各発声方法、楽曲の復習
評価方法	■出席率 40% ■授業へ取り組む姿勢 30% ■発声レベルの達成度、実践度 30%
受講生への メッセージ	取り組みば取り組みほど、夢や目標に確実に近づきます！ぜひ一緒に沢山トライしていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
歌詞、課題音源、iPad、録音機材（ボイスレコーダーや携帯に録音機能など）、筆記用具	

科目名 (英)	マルチパフォーマンスⅥ		必修 選択	選択必修	年次	3		
	Multi Performance IV		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科						曜日・時限	月曜3限
【授業の学習内容】								
自分の理想の歌声や目標に向けて、前期で学んだ基本の発声方法 4 項目をベースに、様々なスケールやアプローチ方法を使い、より深掘りしていく。楽曲歌唱も取り入れ、実際の歌唱にも結びつける。								
((講師プロフィール))								
福岡を拠点に、海外での歌唱や、国内の商業施設、中学・高校への芸術鑑賞会や九州各地でのゴスペルワークショップやブライダルなど、幅広く活動している。								
【到達目標】								
新しいスケールを増やし、基本的な発声とともに質を上げて実践する事が出来、シンプルなスケールから発声＋ピアノを演奏しながら実践することが出来る。								

授業計画・内容	
1回目	発声①②③④⑤（裏声：母音を変えて）、課題曲⑤レクチャー
2回目	発声①②③④⑤復習 & チェック、課題曲⑤レクチャー
3回目	発声①②③④⑤復習 & チェック、課題曲⑤レクチャー
4回目	発声①復習 & ピアノを自分で弾いてみよう + 課題曲⑥レクチャー
5回目	発声①復習 & チェック + 課題曲⑥復習
6回目	発声②復習 & ピアノを自分で弾いてみよう + 課題曲⑦レクチャー
7回目	発声②復習 & チェック + 課題曲⑦レクチャー
8回目	発声③④復習 & ピアノを自分で弾いてみよう + 課題曲⑧レクチャー
9回目	発声③④復習 & チェック + 課題曲⑧復習
10回目	発声⑤復習 & チェック + 課題曲⑧復習
11回目	発声レベルチェックテスト + 発表会に向けて
12回目	発表会、後期振り返り（自分自身での到達度・進捗度を評価してみよう）
13回目	卒業進級制作リハーサル
14回目	卒業進級制作リハーサル
15回目	卒業進級制作本番
準備学習 時間外 学習	各発声方法、楽曲の復習
評価方法	■出席率 40% ■授業へ取り組む姿勢 30% ■発声レベルの達成度、実践度 30%
受講生への メッセージ	取り組みば取り組みほど、夢や目標に確実に近づきます！ぜひ一緒に沢山トライしていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
歌詞、課題音源、iPad、録音機材（ボイスレコーダーや携帯に録音機能など）、筆記用具	

科目名 (英)	マルチパフォーマンスⅦ		必修 選択	選択必修	年次	4		
	Multi PerformanceⅦ		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科						曜日・時限	月曜3限
【授業の学習内容】								
3年間学んだ発声を、他者にも教える事が出来るように項目を再度確認しながら、実際にピアノでスケールやコードを弾きながら発声の質をあげていく。楽曲歌唱も取り入れ、実際の歌唱にも結びつける。								
((講師プロフィール))								
福岡を拠点に、海外での歌唱や、国内の商業施設、中学・高校への芸術鑑賞会や九州各地でのゴスペルワークショップやブライダルなど、幅広く活動している。								
【到達目標】								
ピアノでスケールやコード弾きながら、質の高い発声を実践することが出来る。								

授業計画・内容	
1回目	授業概要説明、自己紹介、自分の理想の歌声や到達目標を考えてみよう、発声レベルチェック、発声①（姿勢、呼吸、リップロール、表情筋：ピアノ演奏）
2回目	発声①復習＆チェック：ピアノ演奏＋課題曲①レクチャー
3回目	発声①復習＆チェック：ピアノ演奏＋課題曲①復習
4回目	発声①復習＆チェック：ピアノ演奏＋課題曲①復習
5回目	発声①②（前に響かせる低音、後ろに響かせる低音：ピアノ演奏）＋課題曲②レクチャー
6回目	発声①②復習＆チェック：ピアノ演奏＋課題曲②復習
7回目	発声①②復習＆チェック：ピアノ演奏＋課題曲②復習
8回目	発声①②③（声帯周りの筋肉をストレッチする：ピアノ演奏）＋課題曲③レクチャー
9回目	発声①②③復習＆チェック：ピアノ演奏＋課題曲③復習
10回目	発声①②③復習＆チェック：ピアノ演奏＋課題曲③復習
11回目	発声①②③④（共鳴：ピアノ演奏）、課題曲④レクチャー
12回目	発声①②③④復習＆チェック：ピアノ演奏＋課題曲④復習
13回目	発声①②③④復習＆チェック：ピアノ演奏＋課題曲④復習
14回目	発声総復習（疑問点確認）
15回目	発声レベルチェックテスト、前期振り返り（自分自身での到達度・進捗度を評価してみよう）
準備学習 時間外 学習	各発声方法、楽曲の復習
評価方法	■出席率 40% ■授業へ取り組む姿勢 30% ■発声レベルの達成度、実践度 30%
受講生への メッセージ	取り組みば取り組みほど、夢や目標に確実に近づきます！ぜひ一緒に沢山トライしていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
歌詞、課題音源、iPad、録音機材（ボイスレコーダーや携帯に録音機能など）、筆記用具	

科目名 (英)	マルチパフォーマンスⅧ		必修 選択	選択必修	年次	4		
	Multi PerformanceⅧ		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科						曜日・時限	月曜3限
【授業の学習内容】								
3年間学んだ発声を、他者にも教える事が出来るように項目を再度確認しながら、実際にピアノでスケールやコードを弾きながら発声の質をあげていく。〔発声の各項目を再度確認しながら他者へ説明をしてみる。〕								
((講師プロフィール)) 福岡を拠点に、海外での歌唱や、国内の商業施設、中学・高校への芸術鑑賞会や九州各地でのゴスペルワークショップやブライダルなど、幅広く活動している。								
【到達目標】								
ピアノでスケールやコード弾きながら、質の高い発声を実践することが出来、発声の各項目を自分自身の言葉で他者へ説明する事ができる。								
授業計画・内容								
1回目	発声①②③④⑤（裏声：ピアノ演奏）＋課題曲⑤レクチャー							
2回目	発声①②③④⑤復習＆チェック：ピアノ演奏＋課題曲⑤レクチャー							
3回目	発声①②③④⑤復習＆チェック：ピアノ演奏＋課題曲⑤レクチャー							
4回目	発声①復習＆発声の要点や注意点を説明してみよう＋課題曲⑥レクチャー							
5回目	発声①②復習＆発声の要点や注意点を説明してみよう＋課題曲⑥復習							
6回目	発声②③復習＆発声の要点や注意点を説明してみよう＋課題曲⑦レクチャー							
7回目	発声②③復習＆発声の要点や注意点を説明してみよう＋課題曲⑦レクチャー							
8回目	発声③④復習＆発声の要点や注意点を説明してみよう＋課題曲⑧レクチャー							
9回目	発声③④復習＆発声の要点や注意点を説明してみよう＋課題曲⑧復習							
10回目	発声⑤復習＆発声の要点や注意点を説明してみよう＋課題曲⑧復習							
11回目	発声レベルチェックテスト＋発表会に向けて							
12回目	発表会、後期振り返り（自分自身での到達度・進捗度を評価してみよう）							
13回目	卒業進級制作リハーサル							
14回目	卒業進級制作リハーサル							
15回目	卒業進級制作本番							
準備学習 時間外 学習	各発声方法、楽曲の復習							
評価方法	■出席率 40% ■授業へ取り組む姿勢 30% ■発声レベルの達成度、実践度 30%							
受講生への メッセージ	取り組みば取り組むほど、夢や目標に確実に近づきます！ぜひ一緒に沢山トライしていきましょう！							
【使用教科書・教材・参考書】								
歌詞、課題音源、iPad、録音機材（ボイスレコーダーや携帯に録音機能など）、筆記用具								

科目名 (英)	エンタメ業界知識Ⅰ	必修 選択	選択 必修	年次	1		
	エンタメ業界知識	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科					曜日・時限	月曜1・2限
【授業の学習内容】 本授業では、音楽業界の構造、各職種の役割、ビジネスモデルを体系的に学ぶ。 アーティスト、マネージャー、レコード会社、プロダクション、配信プラットフォームなどの関係性を理解し、業界全体の流れを把握することを目的とする。 また、近年のデジタル化やSNSの普及による変化を踏まえ、現代の音楽ビジネスについて実践的に学ぶ。							
【到達目標】 ・音楽業界の全体構造を理解できる ・各職種の役割と関係性を説明できる ・音楽ビジネスの収益構造を理解できる ・現代の音楽マーケットの変化を理解できる ・業界で働くための基礎知識を身につける							

授業計画・内容	
1回目	授業概要と音楽業界の全体像を理解する
2回目	音楽業界の歴史と変遷を学ぶ
3回目	アーティストの役割を理解する
4回目	マネージャーの役割を理解する
5回目	芸能事務所の仕組みを学ぶ
6回目	レコード会社の役割を理解する
7回目	音楽出版社の役割を学ぶ
8回目	著作権の基本を理解する
9回目	原盤権の概念を学ぶ
10回目	印税の仕組みを理解する
11回目	音楽の収益構造を学ぶ
12回目	CDビジネスの仕組みを理解する
13回目	配信ビジネスの基本を学ぶ
14回目	ストリーミングサービスの仕組みを理解する
15回目	前期の振り返りを行う
準備学習 時間外学習	
評価方法	・課題・レポート：40% ・小テスト・理解度確認：30% ・授業態度・参加度：30%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 	

科目名 (英)	エンタメ業界知識Ⅱ	必修 選択	選択 必修	年次	1		
	エンタメ業界知識)	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科					曜日・時限	月曜1・2限
【授業の学習内容】 本授業では、音楽業界の構造、各職種の役割、ビジネスモデルを体系的に学ぶ。 アーティスト、マネージャー、レコード会社、プロダクション、配信プラットフォームなどの関係性を理解し、業界全体の流れを把握することを目的とする。 また、近年のデジタル化やSNSの普及による変化を踏まえ、現代の音楽ビジネスについて実践的に学ぶ。							
【到達目標】 ・音楽業界の全体構造を理解できる ・各職種の役割と関係性を説明できる ・音楽ビジネスの収益構造を理解できる ・現代の音楽マーケットの変化を理解できる ・業界で働くための基礎知識を身につける							

授業計画・内容	
1回目	ライブビジネスの仕組みを学ぶ
2回目	イベント制作の流れを理解する
3回目	プロモーターの役割を学ぶ
4回目	メディアと音楽の関係を理解する
5回目	テレビ・ラジオの役割を学ぶ
6回目	SNSと音楽の関係を理解する
7回目	ファンビジネスの考え方を学ぶ
8回目	グッズビジネスの仕組みを理解する
9回目	ケーススタディを分析する
10回目	業界構造を整理する
11回目	自分の興味分野を明確にする
12回目	発表とディスカッションを行う
13回目	理解度の確認を行う
14回目	年間振り返りを行う
15回目	総括を行う
準備学習 時間外学 習	
評価方法	・課題・レポート：40% ・小テスト・理解度確認：30% ・授業態度・参加度：30%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	エンタメ業界知識Ⅲ	必修 選択	選択 必修	年次	2		
	エンタメ業界知識)	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科					曜日・時限	月曜1・2限
【授業の学習内容】 本授業では、音楽業界の構造、各職種の役割、ビジネスモデルを体系的に学ぶ。 アーティスト、マネージャー、レコード会社、プロダクション、配信プラットフォームなどの関係性を理解し、業界全体の流れを把握することを目的とする。 また、近年のデジタル化やSNSの普及による変化を踏まえ、現代の音楽ビジネスについて実践的に学ぶ。							
【到達目標】 ・音楽業界の全体構造を理解できる ・各職種の役割と関係性を説明できる ・音楽ビジネスの収益構造を理解できる ・現代の音楽マーケットの変化を理解できる ・業界で働くための基礎知識を身につける							

授業計画・内容	
1回目	業界構造の復習と応用を行う
2回目	契約の基本を理解する
3回目	アーティスト契約の種類を学ぶ
4回目	マネジメント契約を理解する
5回目	レコード契約を理解する
6回目	著作権契約を学ぶ
7回目	配信契約の仕組みを理解する
8回目	権利ビジネスの全体像を把握する
9回目	二次利用と収益化を学ぶ
10回目	音楽出版ビジネスを理解する
11回目	海外展開の基本を学ぶ
12回目	グローバル市場を理解する
13回目	インディーズとメジャーの違いを学ぶ
14回目	A&Rの役割を理解する
15回目	プロモーションの流れを学ぶ
準備学習 時間外学習	
評価方法	・課題・レポート：40% ・小テスト・理解度確認：30% ・授業態度・参加度：30%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	エンタメ業界知識Ⅳ	必修 選択	選択 必修	年次	2		
	エンタメ業界知識)	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科					曜日・時限	月曜1・2限
【授業の学習内容】 本授業では、音楽業界の構造、各職種の役割、ビジネスモデルを体系的に学ぶ。 アーティスト、マネージャー、レコード会社、プロダクション、配信プラットフォームなどの関係性を理解し、業界全体の流れを把握することを目的とする。 また、近年のデジタル化やSNSの普及による変化を踏まえ、現代の音楽ビジネスについて実践的に学ぶ。							
【到達目標】 ・音楽業界の全体構造を理解できる ・各職種の役割と関係性を説明できる ・音楽ビジネスの収益構造を理解できる ・現代の音楽マーケットの変化を理解できる ・業界で働くための基礎知識を身につける							

授業計画・内容	
1回目	マーケティングとの関係を理解する
2回目	SNS戦略の基本を学ぶ
3回目	データ分析の基礎を学ぶ
4回目	ヒットの要因を分析する
5回目	ケーススタディを行う
6回目	グループワークを実施する
7回目	企画立案を行う
8回目	プレゼンを実施する
9回目	フィードバックを受ける
10回目	企画を改善する
11回目	応用理解を深める
12回目	業界トピックを学ぶ
13回目	振り返りを行う
14回目	年間総括を行う
15回目	講評を行う
準備学習 時間外学 習	
評価方法	・課題・レポート：40% ・小テスト・理解度確認：30% ・授業態度・参加度：30%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	エンタメ業界知識Ⅴ	必修 選択	選択 必修	年次	3		
	エンタメ業界知識)	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科					曜日・時限	月曜1・2限
【授業の学習内容】 本授業では、音楽業界の構造、各職種の役割、ビジネスモデルを体系的に学ぶ。 アーティスト、マネージャー、レコード会社、プロダクション、配信プラットフォームなどの関係性を理解し、業界全体の流れを把握することを目的とする。 また、近年のデジタル化やSNSの普及による変化を踏まえ、現代の音楽ビジネスについて実践的に学ぶ。							
【到達目標】 ・音楽業界の全体構造を理解できる ・各職種の役割と関係性を説明できる ・音楽ビジネスの収益構造を理解できる ・現代の音楽マーケットの変化を理解できる ・業界で働くための基礎知識を身につける							

授業計画・内容	
1回目	実務レベルの業界理解を深める
2回目	アーティスト戦略を考える
3回目	リリース計画を立てる
4回目	プロモーション施策を設計する
5回目	ライブ戦略を考える
6回目	ファン育成の方法を学ぶ
7回目	SNS運用を設計する
8回目	データ分析を行う
9回目	課題を抽出する
10回目	改善策を考える
11回目	チームで企画を進行する
12回目	中間発表を行う
13回目	フィードバックを受ける
14回目	企画を修正する
15回目	実践プロジェクトを進める
準備学習 時間外学 習	
評価方法	・課題・レポート：40% ・小テスト・理解度確認：30% ・授業態度・参加度：30%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 	

科目名 (英)	エンタメ業界知識Ⅵ	必修 選択	選択 必修	年次	3		
	エンタメ業界知識)	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科					曜日・時限	月曜1・2限
【授業の学習内容】 本授業では、音楽業界の構造、各職種の役割、ビジネスモデルを体系的に学ぶ。 アーティスト、マネージャー、レコード会社、プロダクション、配信プラットフォームなどの関係性を理解し、業界全体の流れを把握することを目的とする。 また、近年のデジタル化やSNSの普及による変化を踏まえ、現代の音楽ビジネスについて実践的に学ぶ。							
【到達目標】 ・音楽業界の全体構造を理解できる ・各職種の役割と関係性を説明できる ・音楽ビジネスの収益構造を理解できる ・現代の音楽マーケットの変化を理解できる ・業界で働くための基礎知識を身につける							

授業計画・内容	
1回目	成果を分析する
2回目	改善施策を実行する
3回目	プロジェクトを完成させる
4回目	プレゼン準備を行う
5回目	最終プレゼンを実施する
6回目	講評を受ける
7回目	ポートフォリオ化を行う
8回目	業界研究を行う
9回目	キャリアを考える
10回目	OB・OG交流を行う
11回目	現場理解を深める
12回目	振り返りを行う
13回目	学びを整理する
14回目	年間総括を行う
15回目	最終まとめを行う
準備学習 時間外学 習	
評価方法	・課題・レポート：40% ・小テスト・理解度確認：30% ・授業態度・参加度：30%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	電気・ネットワーク知識 I Electricity・Network knowledge I	選択 必修	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜2限
【授業の学習内容】 電気の基本（電圧・電流・抵抗・オームの法則）、回路図の読み方と基本配線 LANの基礎、IPアドレス、機器の接続方法 <講師プロフィール> ステージオフィスヤマダ代表。コンサートや日本舞踊、バレエなどの多くの公演に携わる。クロスエフエム開局に携わり、博多駅スタジオのシステム担当、ユニバーシアード福岡大会コミュニティラジオシステム担当の他、九州各県のコミュニティ放送設立に際してシステム設計から立ち上げに関わっている。							
【到達目標】 電気の基本（電圧・電流・抵抗・電力）の概念を理解できる。 舞台・スタジオで使われるAC電源・ケーブルの種類や接続方法が分かる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション - 授業の目的、概要、評価基準
2回目	電気の基礎①：電気とは - 電気の性質、電圧・電流・抵抗の基本
3回目	電気の基礎②：オームの法則 - 電力計算と電気回路の基本計算
4回目	回路図の読み方① - 回路記号、基本回路の構造
5回目	回路図の読み方② - 実用的な回路例の解析
6回目	回路図の読み方③ - 実用的な回路例の解析
7回目	配線と接続の基本 - ケーブル種別、色分け、結線技術
8回目	安全と工具の使い方 - 安全対策、基本工具の使い方
9回目	電気設備の種類 - コンセント、分電盤、照明等の構成
10回目	電力供給の仕組み - 商用電源、UPS、バッテリーの役割
11回目	照明と電気の関係 - 舞台・設備照明における電気管理
12回目	ネットワークの基礎① - ネットワークの構造と用語
13回目	ネットワークの基礎② - IPアドレス、MACアドレス、LAN/WAN
14回目	ネットワークの基礎③ - IPアドレス、MACアドレス、LAN/WAN
15回目	前期まとめ
準備学習 時間外学習	学内外において開催されている各種催事・イベントを見学することで、あらゆる場面を見ることができるので積極的に触れるように努力する。各種メディア（4 K-TV、インターネット等）での劇場上演映像等を、聴取することで多くの舞台に触れる事ができるので、機会があれば聴取するように努める。
評価方法	出席率と授業態度で判断します。 ○実技テスト：40% ○課題提出：30%（課題提出、提出期限の厳守） ○習熟度：30%（到達目標に対する習熟度） 出席：別途規定（出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし）に基づきます
受講生への メッセージ	判らない事は、なんでも質問して可能な限り疑問の解消に努めましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 ・PA照明舞台用語辞典 ・公立文化施設 舞台技術ハンドブック	

科目名 (英)	電気・ネットワーク知識 II Electricity・Network knowledge II	選択 必修	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 木曜2限
【授業の学習内容】 電気の基本（電圧・電流・抵抗・オームの法則）、回路図の読み方と基本配線 LANの基礎、IPアドレス、機器の接続方法 <講師プロフィール> ステージオフィスヤマダ代表。コンサートや日本舞踊、バレエなどの多くの公演に携わる。クロスエフエム開局に携わり、博多駅スタジオのシステム担当、ユニバーシアード福岡大会コミュニティラジオシステム担当の他、九州各県のコミュニティ放送設立に際してシステム設計から立ち上げに関わっている。							
【到達目標】 コンセント、分電盤、ブレーカー等の構造と安全な使用法が分かる。 感電・火災などの電気事故を防ぐための基礎的安全知識を理解する。							

授業計画・内容	
1回目	ネットワーク機器① - ルーター、スイッチ、HUBの役割
2回目	ネットワーク機器② - 実際の配線と接続手順
3回目	ネットワーク機器③ - 実際の配線と接続手順
4回目	ネットワーク機器④ - 実際の配線と接続手順
5回目	ネットワーク機器⑤ - 実際の配線と接続手順
6回目	中間確認テスト - 理論確認と理解度テスト
7回目	実習課題（電気・ネットワーク）① - 模擬配線・簡易ネットワーク構築・トラブル対応演習
8回目	実習課題（電気・ネットワーク）② - 模擬配線・簡易ネットワーク構築・トラブル対応演習
9回目	実習課題（電気・ネットワーク）③ - 模擬配線・簡易ネットワーク構築・トラブル対応演習
10回目	実習課題（電気・ネットワーク）④ - 模擬配線・簡易ネットワーク構築・トラブル対応演習
11回目	実習課題（電気・ネットワーク）⑤ - 模擬配線・簡易ネットワーク構築・トラブル対応演習
12回目	実習課題（電気・ネットワーク）⑥ - 模擬配線・簡易ネットワーク構築・トラブル対応演習
13回目	実習課題（電気・ネットワーク）⑦ - 模擬配線・簡易ネットワーク構築・トラブル対応演習
14回目	実習課題（電気・ネットワーク）⑧ - 模擬配線・簡易ネットワーク構築・トラブル対応演習
15回目	振り返りとまとめ - 1年次の復習と理解度の確認
準備学習 時間外学 習	学内外において開催されている各種催事・イベントを見学することで、あらゆる場面を見ることができ、積極的に触れるように努力する。各種メディア（4K-TV、インターネット等）での劇場上演映像等を、聴取することで多くの舞台に触れる事ができるので、機会があれば聴取するように努める。
評価方法	出席率と授業態度で判断します。 ○実技テスト : 40% ○課題提出 : 30% (課題提出、提出期限の厳守) ○習熟度 : 30% (到達目標に対する習熟度) 出席 : 別途規定 (出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし) に基づきます
受講生への メッセージ	判らない事は、なんでも質問して可能な限り疑問の解消に努めましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 ・PA照明舞台用語辞典 ・公立文化施設 舞台技術ハンドブック	

科目名 (英)	電気・ネットワーク知識 Ⅲ	選択 必修	選択必修	年次	2		
	Electricity・Network knowledge Ⅲ	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科					曜日・時限	木曜3限
【授業の学習内容】 分電盤・コンセント・電源設計、トラブル対応（断線・漏電・通信不良） DHCPや固定IP設定などネットワーク実践、DMX・ArtNet等の業務用ネットワークの理解 <講師プロフィール> ステージオフィスヤマダ代表。コンサートや日本舞踊、バレエなどの多くの公演に携わる。クロスエフエム開局に携わり、博多駅スタジオのシステム担当、ユニバーシアード福岡大会コミュニティラジオシステム担当の他、九州各県のコミュニティ放送設立に際してシステム設計から立ち上げに関わっている。							
【到達目標】 舞台・音響・映像機器の電源管理方法（容量計算、分岐方法）を理解する。 映像・音響・照明ネットワークの基礎構造（LAN、IP、スイッチ、VLAN）を理解する。							

授業計画・内容	
1回目	電源管理の実践 - 電源容量・分配・電源スケジュール管理
2回目	コンセント・分電盤の配線計画 - 機材に合わせた電源設計
3回目	アースと安全設計 - 接地・漏電対策・ブレーカーの仕組み
4回目	電圧変換と機材保護 - トランス・変圧器の使い方
5回目	DMX・ArtNetなど照明系ネットワーク - 舞台・照明系のネットワーク基礎
6回目	IPアドレッシングとDHCP - 固定IPと動的IPの仕組み
7回目	ネットワーク構築演習① - 小規模ネットワークの設計と構築
8回目	ネットワーク構築演習② - 実践的な配線とトポロジー設計
9回目	ネットワーク構築演習③ - 実践的な配線とトポロジー設計Ⅰ
10回目	ネットワーク構築演習④ - 実践的な配線とトポロジー設計
11回目	ネットワーク構築演習⑤ - 実践的な配線とトポロジー設計Ⅱ
12回目	ネットワーク監視とログ - ping、traceroute、ログ閲覧
13回目	トラブル対応① - 電気トラブル（断線・漏電）
14回目	トラブル対応② - ネットワークトラブル（通信不良・設定ミス）
15回目	前期まとめ
準備学習 時間外学習	学内外において開催されている各種催事・イベントを見学することで、あらゆる場面を見ることができるので積極的に触れるように努力する。各種メディア（4K-TV、インターネット等）での劇場上演映像等を、聴取することで多くの舞台に触れる事ができるので、機会があれば聴取するように努める。
評価方法	出席率と授業態度で判断します。 ○実技テスト：40% ○課題提出：30%（課題提出、提出期限の厳守） ○習熟度：30%（到達目標に対する習熟度） 出席：別途規定（出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし）に基づきます
受講生への メッセージ	判らない事は、なんでも質問して可能な限り疑問の解消に努めましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 ・PA照明舞台用語辞典 ・公立文化施設 舞台技術ハンドブック	

科目名 (英)	電気・ネットワーク知識 IV	選択 必修	選択必修	年次	2		
	Electricity・Network knowledge IV	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科					曜日・時限	木曜3限
【授業の学習内容】 分電盤・コンセント・電源設計、トラブル対応（断線・漏電・通信不良） DHCPや固定IP設定などネットワーク実践、DMX・ArtNet等の業務用ネットワークの理解 <講師プロフィール> ステージオフィスヤマダ代表。コンサートや日本舞踊、バレエなどの多くの公演に携わる。クロスエフエム開局に携わり、博多駅スタジオのシステム担当、ユニバーシアード福岡大会コミュニティラジオシステム担当の他、九州各県のコミュニティ放送設立に際してシステム設計から立ち上げに関わっている。							
【到達目標】 CAT5e・CAT6ケーブル、光ファイバーなどの特性と用途を使い分けられる。 Dante、Art-Net、sACNなど業界標準プロトコルの基礎が説明できる。							

授業計画・内容	
1回目	Wi-Fiと電波の知識 - 無線LANの基礎とセキュリティ
2回目	ネットワークとセキュリティ - パスワード管理、ファイアウォール
3回目	実習：簡易舞台電源設計 - 計画から結線までの実践
4回目	中間課題提出 - 応用設計レポート or 実習作品
5回目	プロジェクト課題演習① - グループによる設計・施工・動作確認
6回目	プロジェクト課題演習② - グループによる設計・施工・動作確認
7回目	プロジェクト課題演習③ - グループによる設計・施工・動作確認
8回目	プロジェクト課題演習④ - グループによる設計・施工・動作確認
9回目	プロジェクト課題演習⑤ - グループによる設計・施工・動作確認
10回目	プロジェクト課題演習⑥ - グループによる設計・施工・動作確認
11回目	プロジェクト課題演習⑦ - グループによる設計・施工・動作確認
12回目	プロジェクト課題演習⑧ - グループによる設計・施工・動作確認
13回目	プレゼンと講評① - 成果発表・質疑応答・フィードバック
14回目	プレゼンと講評② - 成果発表・質疑応答・フィードバック
15回目	後期まとめ
準備学習 時間外学 習	学内外において開催されている各種催事・イベントを見学することで、あらゆる場面を見ることができるので積極的に触れるように努力する。各種メディア（4K-TV、インターネット等）での劇場上演映像等を、聴取することで多くの舞台に触れる事ができるので、機会があれば聴取するように努める。
評価方法	出席率と授業態度で判断します。 ○実技テスト：40% ○課題提出：30%（課題提出、提出期限の厳守） ○習熟度：30%（到達目標に対する習熟度） 出席：別途規定（出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし）に基づきます
受講生への メッセージ	判らない事は、なんでも質問して可能な限り疑問の解消に努めましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 ・PA照明舞台用語辞典 ・公立文化施設 舞台技術ハンドブック	

科目名 (英)	電気・ネットワーク知識 V	選択 必修	選択必修	年次	3		
	Electricity・Network knowledge V	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科					曜日・時限	木曜4限
【授業の学習内容】 現場での電源・LAN設計と施工、配線図・ネットワーク構成図の作成 複雑な電源・ネットワーク構成の統合管理、トラブルシューティング演習 <講師プロフィール> ステージオフィスヤマダ代表。コンサートや日本舞踊、バレエなどの多くの公演に携わる。クロスエフエム開局に携わり、博多駅スタジオのシステム担当、ユニバーシアード福岡大会コミュニティラジオシステム担当の他、九州各県のコミュニティ放送設立に際してシステム設計から立ち上げに関わっている。							
【到達目標】 大規模な舞台・イベント等の電源・通信ネットワーク構成を自ら設計できる。 複数の電源回路を分散・統合し、安全かつ効率的に配線できる。							

授業計画・内容	
1回目	現場対応の心得 - 現場での立ち回りと連携
2回目	イベント電源計画 - 電力量・同時使用・ブレーカー容量計算
3回目	配線図と施工図作成 - 専用CADや手書き図面の作成演習
4回目	ネットワーク構成図作成 - サーバー・クライアント構成の可視化
5回目	実習：複合電源・LAN設計演習① - 現場設定想定の特ータル設計
6回目	実習：複合電源・LAN設計演習② - 現場設定想定の特ータル設計
7回目	実習：複合電源・LAN設計演習③ - 現場設定想定の特ータル設計
8回目	実習：複合電源・LAN設計演習④ - 現場設定想定の特ータル設計
9回目	実習：複合電源・LAN設計演習⑤ - 現場設定想定の特ータル設計
10回目	実習：構築・動作チェック① - 全体配線・機器設定・テスト実施
11回目	実習：構築・動作チェック② - 全体配線・機器設定・テスト実施
12回目	実習：構築・動作チェック③ - 全体配線・機器設定・テスト実施
13回目	実習：構築・動作チェック④ - 全体配線・機器設定・テスト実施
14回目	実習：構築・動作チェック⑤ - 全体配線・機器設定・テスト実施
15回目	前期まとめ
準備学習 時間外学習	学内外において開催されている各種催事・イベントを見学することで、あらゆる場面を見ることができるので積極的に触れるように努力する。各種メディア（4K-TV、インターネット等）での劇場上演映像等を、聴取することで多くの舞台に触れる事ができるので、機会があれば聴取するように努める。
評価方法	出席率と授業態度で判断します。 ○実技テスト：40% ○課題提出：30%（課題提出、提出期限の厳守） ○習熟度：30%（到達目標に対する習熟度） 出席：別途規定（出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし）に基づきます
受講生への メッセージ	判らない事は、なんでも質問して可能な限り疑問の解消に努めましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 ・PA照明舞台用語辞典 ・公立文化施設 舞台技術ハンドブック	

科目名 (英)	電気・ネットワーク知識 VI	選択 必修	選択必修	年次	3		
	Electricity・Network knowledge VI	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科					曜日・時限	木曜4限
【授業の学習内容】 現場での電源・LAN設計と施工、配線図・ネットワーク構成図の作成 複雑な電源・ネットワーク構成の統合管理、トラブルシューティング演習 <講師プロフィール> ステージオフィスヤマダ代表。コンサートや日本舞踊、バレエなどの多くの公演に携わる。クロスエフエム開局に携わり、博多駅スタジオのシステム担当、ユニバーシアード福岡大会コミュニティラジオシステム担当の他、九州各県のコミュニティ放送設立に際してシステム設計から立ち上げに関わっている。							
【到達目標】 ネットワーク障害（接続不良、IP重複、スループット不足）を診断し対応できる。 UPS（無停電電源装置）やリモート制御機器を適切に運用できる。							

授業計画・内容	
1回目	トラブル対応シナリオ演習① - 想定トラブルへの即時対応訓練
2回目	トラブル対応シナリオ演習② - 想定トラブルへの即時対応訓練
3回目	トラブル対応シナリオ演習③ - 想定トラブルへの即時対応訓練
4回目	トラブル対応シナリオ演習④ - 想定トラブルへの即時対応訓練
5回目	トラブル対応シナリオ演習⑤ - 想定トラブルへの即時対応訓練
6回目	ネットワーク拡張・中継技術① - VLAN、PoE、中継器、仮想ネットワーク
7回目	ネットワーク拡張・中継技術② - VLAN、PoE、中継器、仮想ネットワーク
8回目	ネットワーク拡張・中継技術③ - VLAN、PoE、中継器、仮想ネットワーク
9回目	卒業制作プロジェクト① - 実案件に近い電源・ネットワーク統合設計実施
10回目	卒業制作プロジェクト② - 実案件に近い電源・ネットワーク統合設計実施
11回目	卒業制作プロジェクト③ - 実案件に近い電源・ネットワーク統合設計実施
12回目	卒業制作プロジェクト④ - 実案件に近い電源・ネットワーク統合設計実施
13回目	卒業制作プロジェクト⑤ - 実案件に近い電源・ネットワーク統合設計実施
14回目	発表準備・資料制作 - プレゼン資料・技術資料作成
15回目	最終プレゼン・講評 - 成果発表・評価・総括・進路相談
準備学習 時間外学 習	学内外において開催されている各種催事・イベントを見学することで、あらゆる場面を見ることができるので積極的に触れるように努力する。各種メディア（4K-TV、インターネット等）での劇場上演映像等を、聴取することで多くの舞台に触れる事ができるので、機会があれば聴取するように努める。
評価方法	出席率と授業態度で判断します。 ○実技テスト：40% ○課題提出：30%（課題提出、提出期限の厳守） ○習熟度：30%（到達目標に対する習熟度） 出席：別途規定（出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし）に基づきます
受講生への メッセージ	判らない事は、なんでも質問して可能な限り疑問の解消に努めましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 ・PA照明舞台用語辞典 ・公立文化施設 舞台技術ハンドブック	

科目名 (英)	WEBデザイン I WEB Design I	必修 選択	選択 必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 月1限
【授業の学習内容】 WEB制作に必要なイラストレーター、フォトショップで基礎的なパーツの作り方や、イラストレーター、フォトショップを使用してチラシや名刺の制作、写真の補正等の応用も学習する。							
【到達目標】 webの制作時に必要となるイラストレーターの操作を中心に、名刺や広告等を印刷物として入稿できるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	macとイラストレーターを触ってみるmacの初歩的な使用の仕方、コピー & ペーストやfinderの操作の仕方、wan内でのファイルのやり取り仕方（課題の提出）等を学ぶ、イラストレータは新規ファイルの作成、ツールボックスの説明と機能の説明
2回目	イラストレータの基礎、パス編 まずはイラストレータの基礎で最も重要なパスをしっかりと学ぶ、波線やフリーハンドでの正円を描き、パスの使い方に慣れる
3回目	イラストレータの基礎、大きなカーブをパスで描く パスで感覚が掴みにくい、大きな円の切り替えしを学ぶ、ガイドラインを利用してパスでハートを描く
4回目	イラストレータの基礎、大きなカーブの連続を描く Sと言う文字を下絵にして、大きなカーブの連続のパスを丁寧に描く、アンカーポイント数を制限して丁寧にトレースを仕上げる。
5回目	イラストレータを利用してイラストを描く レイヤーとレイヤー内での上下の関係を意識しながら単純なイラスト描く、まずはライブペイントを使用せずに重なり付だけでイラスト描く。
6回目	前回の続きと作品のチェック、修正作業があれば修正を行う。
7回目	複雑なイラストをイラストレーターで描く レイヤーや上下の関係を意識して複雑なイラストを仕上げる、同時にグラデーションや透明などの機能も学ぶ
8回目	前回の続きと作品のチェック、修正作業があれば修正を行う。
9回目	複雑なイラストをイラストレーターで描く、ライブペイントツールとライブペイント選択ツールを使用してイラストを製作する。
10回目	前回の続きと作品のチェック、修正作業があれば修正を行う。
11回目	ロゴマークのデザイン、仮想の店舗等のコンセプトを考え、ラフスケッチを描いてCI、VIをイラストレーターにて制作する。
12回目	制作したラフスケッチをスキャナーにてスキャンして、イラストレーターで清書する。
13回目	期末テスト
14回目	評価
15回目	振り返り
準備学習 時間外学習	
評価方法	■出席率 30% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 40%
受講生への メッセージ	イラストレータはwebだけでなく、広告やポスター、名刺など色々なもの制作に使用するソフトです。基礎をしっかりと学び活用していけるように努力をしてください。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	WEB デザイン II WEB Design II	必修 選択	選択 必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 月1限
【授業の学習内容】 WEB制作に必要なイラストレーター、フォトショップで基礎的なパーツの作り方や、イラストレーター、フォトショップを使用してチラシや名刺の制作、写真の補正等の応用も学習する。							
【到達目標】 webの制作時に必要となるイラストレーターの操作を中心に、名刺や広告等を印刷物として入稿できるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	名刺の制作、前回制作したCI,VIを使用して名刺のデザインを行う。印刷出来るようにトリムマークから制作して縦組み、横組みの名刺のレイアウトを考える。
2回目	前回の続きと作品のチェック、修正作業があれば修正を行う。
3回目	広告のデザイン、写真を配置する、広告のレイアウトを考える。まずはPhotoshopにて配置する写真の切り抜きや加工を行う。
4回目	広告のデザイン、基本的な文字の組み方を覚え、前回加工した写真をレイアウトして広告のデザインを行う。
5回目	前回の続きと作品のチェック、修正作業があれば修正を行う。
6回目	本の見開きページのレイアウトを考える。用意したパーツを使用して段組設定等を覚えて見開きページの作り方を覚える。
7回目	見開きページのレイアウトデザインの続き途中段階のチェック
8回目	見開きページのレイアウトデザインの提出と校正
9回目	グループワーク、三人一組でFSMをPRするグッズの制作、個人で企画案を3案提出する。
10回目	グループワーク、FSMグッズの制作。企画書の提出、9案の中から制作するグッズを三案選んで担当分けをして制作。
11回目	グループワーク、FSMグッズの制作。制作期間と途中経過のチェック
12回目	グループワーク、FSMグッズの制作。最終校正と課題の提出。
13回目	卒業進級制作 準備
14回目	卒業進級制作 準備
15回目	卒業進級制作 準備
準備学習 時間外 学習	
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	イラストレータはwebだけでなく、広告やポスター、名刺など色々なものの制作に使用するソフトです。基礎をしっかりと学び活用していけるように努力をしてください。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	WEB デザインⅢ WEB Design Ⅲ	必修 選択	選択 必修	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 月2限
【授業の学習内容】 web制作に必要なPhotoshopの使用の仕方を学習し、ドリームウィーバーを使用してweb制作の基礎を学び最後にオリジナルでサイトを制作する。							
【到達目標】 web制作に必須となるイラストレーター、phptpshopを習得し、基本的なCSSを覚えて初歩的なレスポンスサイトをテキストエディターにて制作できるようにする							

授業計画・内容	
1回目	photoshopのツールの紹介と、photoshopの基本的な使い方の説明、自分の写真を加工してphotoshopの機能を知る。
2回目	Photoshopの初歩の使い方をサンプル画像を使用して、ツールボックスの説明も兼ねて使用してみる。
3回目	Photoshopの合成課題、画像解像度の理解とペンツールを使用しての合成の基礎を覚える、野菜のパーツを切り抜いて組み合わせサンプル通りに合成する。
4回目	photoshopの合成課題レイヤーを理解する、レイヤーの描画モード、レイヤースタイル等レイヤーの機能を使用して合成を行う、又グラデーションの作り方を覚える。
5回目	photoshopの色塗り、ブラシの使い方やレイヤーの描画モード、選択範囲を使用して下絵を元に乗算を使用して着色していく、又カスタムブラシの作り方も覚える。
6回目	photoshopのスタンプツール、スタンプツールを使用して画像の画像の修正作業を行う。修正の際に必要な歪みツールや変形ツールを覚える。
7回目	photoshopの影付け、用意した写真に影をつける、パスを引いて選択範囲を読み込み変形ツールを使用して、リアルなガウスのぼかしを使用して影付けを覚える。
8回目	photoshop合成と色合わせ、見本に合わせて、今までの技術を総合的に使用して合成と色合わせを行う、色合わせは調整レイヤーを使用して行う。
9回目	photoshopの合成課題、前回の課題に引き続き色合わせと合成課題、今回は更に複雑な合成に挑戦する。その際に効率のよい合成技術を身に付ける。
10回目	前回の続きと作品のチェック、修正作業があれば修正を行う。
11回目	photoshop商品にロゴマークを入れる、変形ツールや選択範囲を上手く使い商品写真にロゴマークを入れ、商品の色を色相と彩度を利用して変更する。
12回目	前回の続きと作品のチェック、修正作業があれば修正を行う。
13回目	期末テスト
14回目	評価
15回目	振り返り
準備学習 時間外学習	
評価方法	■出席率 30% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 40%
受講生への メッセージ	現在、様々な事をWEBを通して出来るようになっていきます。WEB全般の基礎的な力は就職や実務の際にも必ず必要になって
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	WEBデザインⅣ WEB Design Ⅳ	必修 選択	選択 必修	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 月2限
【授業の学習内容】 WEB制作に必要なイラストレーター、フォトショップで基礎的なパーツの作り方や、イラストレーター、フォトショップを使用してチラシや名刺の制作、写真の補正等の応用も学習する。							
【到達目標】 web制作に必須となるイラストレーター、phptpsnopを習得し、基本的なCSSを覚えて初歩的なレスポンスサイトをテキストエディターにて制作できるようにする							

授業計画・内容	
1回目	インターネットの成り立ちとルール、WEBを制作するにあたって初歩的な知識とドリームウィーバーの使い方の説明
2回目	WEBを制作するにあたってのHTMLとCSSの説明と、ファイルの階層やリンクの考え方。HTMLを使用してリンクを張ってみる。
3回目	CSSを使用してWEBページを作ってみる。CSSの初歩的な1段組レイアウトを制作しながらCSSの基本を覚える。
4回目	CSSを使用して2段組のレイアウトを組み、ヘッダー/フッター/ナビゲーション等、各パーツをCSSにて制作する。
5回目	webの制作、3段組のレイアウトをソースの見本を見ながら制作して、ソースを書き換えて応用できる様にする。
6回目	webの制作、4段組レイアウト、画像のレイアウトを見ながらソースを書いてページを完成させる。CSSの応用
7回目	見本をもとにレスポンスサイトを制作する。レスポンスサイトを制作する際に必要な基礎知識の説明。
8回目	自分で用意できるコンテンツでオリジナルのサイトを制作する。材料集めと、最終的にネットアップする、FTPツールの仕様の仕方。
9回目	自分のサイトの企画書を制作する。企画書で合格したら自分のサイトの制作に入る。
10回目	前回の続きオリジナルサイトの制作
11回目	前回の続きオリジナルサイトの制作、途中段階のチェックと修正
12回目	オリジナルサイトの提出評価
13回目	卒業進級制作 準備
14回目	卒業進級制作 準備
15回目	卒業進級制作 準備
準備学習 時間外 学習	
評価方法	■ 出席率 ■ 受講態度 ■ 【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	現在、様々な事をWEBを通して出来るようになっていきます。WEB全般の基礎的な力は就職や実務の際にも必ず必要になって
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	WEBデザインⅤ WEB Design Ⅴ	必修 選択	選択 必修	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木2限
【授業の学習内容】 WEB制作に必要なイラストレーター、フォトショップで基礎的なパーツの作り方や、イラストレーター、フォトショップを使用してチラシや名刺の制作、写真の補正等の応用も学習する。							
【到達目標】 webの制作時に必要となるイラストレーターの操作を中心に、名刺や広告等を印刷物として入稿できるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	【Photoshop × Illustrator】バナー広告制作①：テーマを設定し、ターゲットを明確にしたバナーの設計図を考える。構成・サイズ・目的などを整理。
2回目	バナー広告制作②：素材集め、ラフ作成、メインビジュアルのデザイン構成。Photoshopで画像加工、Illustratorでレイアウト調整。
3回目	バナー広告制作③：サイズ違い（スマホ用、PC用など）の展開とデザイン整合性の確認。
4回目	制作バナーのチェックと修正：講評・フィードバックを受けてブラッシュアップ。
5回目	【グループワーク】仮想クライアントを設定し、簡易Webプロジェクトの企画立案（例：飲食店やイベント告知など）。企画書制作。
6回目	グループワーク：ワイヤーフレームと構成案の制作、担当分け（HTML/CSS/ビジュアルパーツ等）。
7回目	各自パーツ制作：バナー・ロゴ・アイコン等、IllustratorやPhotoshopで作成。
8回目	HTML/CSSでページ構築作業①：トップページ制作。
9回目	HTML/CSSでページ構築作業②：下層ページ制作。
10回目	レスポンス対応・検証作業、調整。
11回目	中間発表（プレゼン練習）、制作中のWebサイトの進捗発表。講評とアドバイス。
12回目	修正作業・ブラッシュアップ。
13回目	最終提出準備とプレゼン資料作成（PowerPoint or PDF）。
14回目	グループ発表・講評会①（発表＋質疑応答）。
15回目	グループ発表・講評会②（発表＋質疑応答）。
準備学習 時間外学習	
評価方法	■出席率 30% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 40%
受講生への メッセージ	イラストレーターはwebだけでなく、広告やポスター、名刺など色々なものの制作に使用するソフトです。基礎をしっかりと学び活用していけるように努力をしてください。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	WEBデザインⅡ WEB DesignⅡ	必修 選択	選択 必修	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木2限
【授業の学習内容】 WEB制作に必要なイラストレーター、フォトショップで基礎的なパーツの作り方や、イラストレーター、フォトショップを使用してチラシや名刺の制作、写真の補正等の応用も学習する。							
【到達目標】 webの制作時に必要となるイラストレーターの操作を中心に、名刺や広告等を印刷物として入稿できるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	【LP（ランディングページ）制作①】概要説明と成功するLPの構成要素について学ぶ。参考事例の分析。
2回目	LP制作②：商品・サービスの訴求ポイントを整理し、ワイヤーフレームを制作。
3回目	LP制作③：Photoshopでキービジュアル、見出し画像などのパーツ作成。
4回目	LP制作④：HTML/CSSコーディング。スクロール運動の効果なども含めた構成に。
5回目	LP制作⑤：レスポンス対応と検証。
6回目	LP制作⑥：CTA（Call To Action）とデザイナー貫性の確認・修正。
7回目	LP制作⑦：仕上げ・提出準備。
8回目	LP制作の講評とフィードバック。
9回目	【プレゼン演習①】Webポートフォリオ制作準備、自己紹介ページの構成案作成。
10回目	プレゼン演習②：ワイヤーフレームと内容の整理。どんな仕事を見せたいかを明確にする。
11回目	ポートフォリオサイト制作①：HTML/CSSで構築。
12回目	ポートフォリオサイト制作②：実績ページ・作品紹介ページの構成。
13回目	ポートフォリオサイト制作③：問い合わせページ・SNS連携など。
14回目	ポートフォリオサイト制作④：完成・提出準備。
15回目	中間発表：ポートフォリオサイトのプレゼン。
準備学習 時間外 学習	
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	イラストレータはwebだけでなく、広告やポスター、名刺など色々なものの制作に使用するソフトです。基礎をしっかりと学び活用していけるように努力をしてください。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	WEBデザインⅦ WEB Design Ⅶ	必修 選択	選択 必修	年次	4		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木2限
【授業の学習内容】 web制作に必要なPhotoshopの使用の仕方を学習し、ドリームウィーバーを使用してweb制作の基礎を学び最後にオリジナルでサイトを制作する。							
【到達目標】 web制作に必須となるイラストレーター、phptpsnopを習得し、基本的なCSSを覚えて初歩的なレスポンスサイトをテキストエディターにて制作できるようにする							

授業計画・内容	
1回目	【CMS入門】WordPressなどを使った簡単な投稿サイトの構成を学ぶ。インストール～基本操作。
2回目	CMSでWebページを作ってみる：テンプレート選定とカスタマイズの基本。
3回目	実習：ブログ記事や商品ページの作成と投稿。デザインテンプレートの調整。
4回目	SEO・SNS連携・フォーム設置など公開サイトの基本知識。
5回目	本格的なWebサイト運用に必要な考え方と運用設計。アクセス解析の基本。
6回目	公開サイトのチェックと修正。
7回目	発展デザイン演習①：モーションやアニメーション表現（CSSアニメーション、GIFなど）。
8回目	発展デザイン演習②：JavaScriptを使った簡易な動きの追加（スライダーなど）。
9回目	JavaScript演習③：jQueryライブラリを使ったエフェクトを実装してみる。
10回目	【卒業制作準備①】自分の卒業制作テーマを決定、調査・リサーチ。
11回目	卒業制作準備②：ワイヤーフレーム、素材準備、ロゴ・画像制作など。
12回目	卒業制作③：コーディング作業。
13回目	卒業制作④：レスポンス対応やフォームなどの組み込み。
14回目	卒業制作⑤：デザインブラッシュアップ、プレゼン資料の作成開始。
15回目	卒業制作⑥：途中チェックと修正。講師と面談・レビュー。
準備学習 時間外学 習	
評価方法	■出席率 30% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 40%
受講生への メッセージ	現在、様々な事をWEBを通して出来るようになっていきます。WEB全般の基礎的な力は就職や実務の際にも必ず必要になって
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	WEBデザインⅧ WEB Design Ⅷ	必修 選択	選択 必修	年次	4		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 木2限
【授業の学習内容】 WEB制作に必要なイラストレーター、フォトショップで基礎的なパーツの作り方や、イラストレーター、フォトショップを使用してチラシや名刺の制作、写真の補正等の応用も学習する。							
【到達目標】 web制作に必須となるイラストレーター、phptpshopを習得し、基本的なCSSを覚えて初歩的なレスポンスサイトをテキストエディターにて制作できるようにする							

授業計画・内容	
1回目	卒業制作⑦：プレゼン練習、他者への説明・伝え方を練習。
2回目	卒業制作⑧：最終確認、修正と提出準備。
3回目	卒業制作：個人プレゼン1日目（半数発表）。
4回目	卒業制作：個人プレゼン2日目（残りの学生）。
5回目	総合振り返り①：技術面の成長、今後の目標の共有、Web制作の将来性について話し合う。
6回目	総合振り返り②：ポートフォリオの最終調整・希望進路に向けた準備。
7回目	卒業進級制作準備：リハーサル用にWeb作品を調整、動作確認。
8回目	卒業進級制作準備：リハーサル用にWeb作品を調整、動作確認。
9回目	卒業進級制作振り返り
10回目	プレゼン・展示準備（パネルや補足資料の制作）。
11回目	自己評価シート記入・クラス内発表に向けた最終練習。
12回目	校内発表会準備・展示ブースセッティング。
13回目	校内発表会本番：一般向けプレゼンと質疑応答。
14回目	作品片付け・ファイルの整理・振り返りアンケート記入。
15回目	最終授業：表彰・作品講評・進路の話・写真撮影。
準備学習 時間外 学習	
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	現在、様々な事をWEBを通して出来るようになっていきます。WEB全般の基礎的な力は就職や実務の際にも必ず必要になって
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	カメラ I	必修 選択	選択 必修	年次	1		
	撮影技術	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科					曜日・時限	金3・4
【授業の学習内容】 各種カメラ、音声収録、照明機材の基本的な操作方法と撮影技術を学びます。 <講師プロフィール> 1985年4月～1994年12月まで（株）映像ボックス勤務。 1995年1月 石田撮影事務所設立。各種TV番組、CM、ドキュメンタリー映画等を撮影。							
【到達目標】 各種動画撮影用カメラ、デジタル一眼レフカメラの使用方法を習得します。また音声収録や照明実習を行い、どのような動画撮影にも対応できるスキルを身につけます。							

授業計画・内容	
1回目	映像制作の基礎理解と使用ツールの概要を学ぶ
2回目	編集ソフトの基本操作と画面構成を理解する
3回目	カット編集とトリミングの基本を習得する
4回目	テロップとBGM挿入の基礎を学ぶ
5回目	映像の構図とカメラワークの基本を理解する
6回目	カメラ機材の使い方と撮影基礎を学ぶ
7回目	簡単な撮影課題を実施する
8回目	撮影素材の取り込みと整理方法を学ぶ
9回目	シンプルな編集課題を実施する
10回目	映像の流れとカット割りの考え方を理解する
11回目	モーショントラッキングの基本概念を学ぶ
12回目	トラッキングを使った簡単な情報表示を作る
13回目	トラッキングを活用した映像企画を作成する
14回目	トラッキング用の撮影を行う
15回目	トラッキング編集を行い作品を完成させる
準備学習 時間外学習	この講義を受けるには「映像制作ハンドブック」の熟読と理解が不可欠です。 その上で常に色々な映像制作を鑑賞し、その映像の再現方法を考える必要があります。
評価方法	■出席率：50% ■受講態度：20% ■【到達目標に対する達成度】：30%
受講生への メッセージ	実習や演習を通じて実際の撮影に取り組む機会を提供します また、批評やフィードバックを受けながら自身の撮影スキルを向上させることができます。
【使用教科書・教材・参考書】 映像制作ハンドブック	

科目名 (英)	カメラⅡ	必修 選択	選択 必修	年次	1		
	撮影技術	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科					曜日・時限	金3・4
【授業の学習内容】 各種カメラ、音声収録、照明機材の基本的な操作方法と撮影技術を学びます。 <講師プロフィール> 1985年4月～1994年12月まで（株）映像ボックス勤務。 1995年1月 石田撮影事務所設立。各種TV番組、CM、ドキュメンタリー映画等を撮影。							
【到達目標】 各種動画撮影用カメラ、デジタル一眼レフカメラの使用方法を習得します。また音声収録や照明実習を行い、どのような動画撮影にも対応できるスキルを身につけます。							

授業計画・内容	
1回目	3Dカメラトラッカーの基本を理解する
2回目	3D空間を意識した映像表現を学ぶ
3回目	3Dトラッキングの企画を作成する
4回目	奥行きを意識した撮影を行う
5回目	3Dトラッキング編集を行う
6回目	3Dトラッキング作品を完成させる
7回目	クロマキー合成の基本を理解する
8回目	合成に適した撮影方法を学ぶ
9回目	クロマキー映像の企画を作成する
10回目	クロマキー撮影を実施する
11回目	クロマキー編集を行う
12回目	合成映像作品を完成させる
13回目	基礎技術の振り返りと改善を行う
14回目	複合課題として短編映像を制作する
15回目	作品講評と総括を行う
準備学習 時間外学習	この講義を受けるには「映像制作ハンドブック」の熟読と理解が不可欠です。 その上で常に色々な映像制作を鑑賞し、その映像の再現方法を考える必要があります。
評価方法	■出席率：50% ■受講態度：20% ■【到達目標に対する達成度】：30%
受講生への メッセージ	実習や演習を通じて実際の撮影に取り組む機会を提供します また、批評やフィードバックを受けながら自身の撮影スキルを向上させることができます。
【使用教科書・教材・参考書】 映像制作ハンドブック	

科目名 (英)	カメラⅢ 撮影技術	必修 選択	選択 必修	年次	2		
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 金3・4
【授業の学習内容】 各種カメラ、音声収録、照明機材の基本的な操作方法と撮影技術を学びます。 <講師プロフィール> 1985年4月～1994年12月まで（株）映像ボックス勤務。 1995年1月 石田撮影事務所設立。各種TV番組、CM、ドキュメンタリー映画等を撮影。							
【到達目標】 各種動画撮影用カメラ、デジタル一眼レフカメラの使用方法を習得します。また音声収録や照明実習を行い、どの様な動画撮影にも対応できるスキルを身につけます。							

授業計画・内容	
1回目	映像表現の応用技術とAfter Effects操作を強化する
2回目	ロトブラシの基本操作を学ぶ
3回目	被写体切り抜きの精度を高める方法を理解する
4回目	ブラシアニメーションの基礎を学ぶ
5回目	ロトブラシを活用した企画を作成する
6回目	素材撮影を行う
7回目	ロトブラシ編集を実施する
8回目	ロトブラシ作品を完成させる
9回目	Mocha AEの平面トラッキングを理解する
10回目	画面差し替えの基本を学ぶ
11回目	Mocha AEを活用した企画を作成する
12回目	トラッキング用の撮影を行う
13回目	Mocha AE編集を実施する
14回目	Mocha AE作品を完成させる
15回目	映像と音の関係性を理解する
準備学習 時間外学習	この講義を受けるには「映像制作ハンドブック」の熟読と理解が不可欠です。 その上で常に色々な映像制作を鑑賞し、その映像の再現方法を考える必要があります。
評価方法	■出席率：50% ■受講態度：20% ■【到達目標に対する達成度】：30%
受講生への メッセージ	実習や演習を通じて実際の撮影に取り組む機会を提供します また、批評やフィードバックを受けながら自身の撮影スキルを向上させることができます。
【使用教科書・教材・参考書】 映像制作ハンドブック	

科目名 (英)	カメラⅣ 撮影技術	必修 選択	選択 必修	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 金3・4
【授業の学習内容】 各種カメラ、音声収録、照明機材の基本的な操作方法と撮影技術を学びます。 <講師プロフィール> 1985年4月～1994年12月まで（株）映像ボックス勤務。 1995年1月 石田撮影事務所設立。各種TV番組、CM、ドキュメンタリー映画等を撮影。							
【到達目標】 各種動画撮影用カメラ、デジタル一眼レフカメラの使用方法を習得します。また音声収録や照明実習を行い、どのような動画撮影にも対応できるスキルを身につけます。							

授業計画・内容	
1回目	効果音とBGMの演出手法を学ぶ
2回目	音を意識した映像編集を行う
3回目	SNS動画の構成と特徴を理解する
4回目	縦動画と短尺動画の編集手法を学ぶ
5回目	SNS向け動画の企画を作成する
6回目	SNS動画の撮影を行う
7回目	SNS動画の編集を行う
8回目	SNS動画作品を完成させる
9回目	タイトルやモーショングラフィックスの応用を学ぶ
10回目	情報伝達を意識したデザインを作成する
11回目	モーショングラフィックスを使った映像制作を行う
12回目	応用作品を完成させる
13回目	作品のブラッシュアップを行う
14回目	ポートフォリオの作成を開始する
15回目	講評と振り返りを行う
準備学習 時間外学習	この講義を受けるには「映像制作ハンドブック」の熟読と理解が不可欠です。 その上で常に色々な映像制作を鑑賞し、その映像の再現方法を考える必要があります。
評価方法	■出席率：50% ■受講態度：20% ■【到達目標に対する達成度】：30%
受講生への メッセージ	実習や演習を通じて実際の撮影に取り組む機会を提供します また、批評やフィードバックを受けながら自身の撮影スキルを向上させることができます。
【使用教科書・教材・参考書】 映像制作ハンドブック	

科目名 (英)	カメラV 撮影技術	必修 選択	選択 必修	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 金3・4
【授業の学習内容】 各種カメラ、音声収録、照明機材の基本的な操作方法と撮影技術を学びます。 <講師プロフィール> 1985年4月～1994年12月まで（株）映像ボックス勤務。 1995年1月 石田撮影事務所設立。各種TV番組、CM、ドキュメンタリー映画等を撮影。							
【到達目標】 各種動画撮影用カメラ、デジタル一眼レフカメラの使用方法を習得します。また音声収録や照明実習を行い、どのような動画撮影にも対応できるスキルを身につけます。							

授業計画・内容	
1回目	実践的な映像制作フローと役割分担を理解する
2回目	チーム制作の進め方とコミュニケーションを学ぶ
3回目	ミュージックビデオの演出手法を理解する
4回目	MVの企画とコンテ作成を行う
5回目	MVの撮影準備を行う
6回目	MVの撮影を実施する
7回目	MVの編集を行う
8回目	MV作品を完成させる
9回目	ドキュメンタリー映像の構成を学ぶ
10回目	取材計画と企画を作成する
11回目	インタビュー撮影を行う
12回目	ドキュメンタリー編集を行う
13回目	ドキュメンタリー作品を完成させる
14回目	広告映像の目的設計を理解する
15回目	商品やサービスのPR企画を作成する
準備学習 時間外学習	この講義を受けるには「映像制作ハンドブック」の熟読と理解が不可欠です。 その上で常に色々な映像制作を鑑賞し、その映像の再現方法を考える必要があります。
評価方法	■出席率：50% ■受講態度：20% ■【到達目標に対する達成度】：30%
受講生への メッセージ	実習や演習を通じて実際の撮影に取り組む機会を提供します また、批評やフィードバックを受けながら自身の撮影スキルを向上させることができます。
【使用教科書・教材・参考書】 映像制作ハンドブック	

科目名 (英)	カメラVI 撮影技術	必修 選択	選択 必修	年次	3		
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 金3・4
【授業の学習内容】 各種カメラ、音声収録、照明機材の基本的な操作方法と撮影技術を学びます。 <講師プロフィール> 1985年4月～1994年12月まで（株）映像ボックス勤務。 1995年1月 石田撮影事務所設立。各種TV番組、CM、ドキュメンタリー映画等を撮影。							
【到達目標】 各種動画撮影用カメラ、デジタル一眼レフカメラの使用方法を習得します。また音声収録や照明実習を行い、どのような動画撮影にも対応できるスキルを身につけます。							

授業計画・内容	
1回目	広告映像の撮影を行う
2回目	広告映像の編集を行う
3回目	広告映像作品を完成させる
4回目	クライアントワークの流れを理解する
5回目	修正対応とフィードバックの考え方を学ぶ
6回目	企画提案資料の作成を行う
7回目	プレゼンテーションを実施する
8回目	映像の品質向上のための改善を行う
9回目	チーム作品のブラッシュアップを行う
10回目	複合プロジェクト制作を実施する
11回目	実践作品を完成させる
12回目	ポートフォリオの強化を行う
13回目	業界研究と進路設計を行う
14回目	作品講評とフィードバックを受ける
15回目	年間総括を行う
準備学習 時間外学習	この講義を受けるには「映像制作ハンドブック」の熟読と理解が不可欠です。 その上で常に色々な映像制作を鑑賞し、その映像の再現方法を考える必要があります。
評価方法	■出席率：50% ■受講態度：20% ■【到達目標に対する達成度】：30%
受講生への メッセージ	実習や演習を通じて実際の撮影に取り組む機会を提供します また、批評やフィードバックを受けながら自身の撮影スキルを向上させることができます。
【使用教科書・教材・参考書】 映像制作ハンドブック	

科目名 (英)	カメラⅢ 撮影技術	必修 選択	必修 選択	年次	4		
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 金3・4
【授業の学習内容】 各種カメラ、音声収録、照明機材の基本的な操作方法と撮影技術を学びます。 <講師プロフィール> 1985年4月～1994年12月まで（株）映像ボックス勤務。 1995年1月 石田撮影事務所設立。各種TV番組、CM、ドキュメンタリー映画等を撮影。							
【到達目標】 各種動画撮影用カメラ、デジタル一眼レフカメラの使用方法を習得します。また音声収録や照明実習を行い、どのような動画撮影にも対応できるスキルを身につけます。							

授業計画・内容	
1回目	卒業制作の方向性とテーマ設定を行う
2回目	コンセプト設計とターゲット設定を行う
3回目	シナリオと構成台本を作成する
4回目	絵コンテと演出設計を行う
5回目	撮影計画とスケジュールを作成する
6回目	ロケハンと技術テストを実施する
7回目	撮影準備と機材確認を行う
8回目	本撮影①を実施する
9回目	本撮影②を実施する
10回目	本撮影③を実施する
11回目	編集作業①ラフカットを行う
12回目	編集作業②構成調整を行う
13回目	編集作業③演出加工を行う
14回目	編集作業④モーショングラフィックスを追加する
15回目	編集作業⑤音響とカラー調整を行う
準備学習 時間外学習	この講義を受けるには「映像制作ハンドブック」の熟読と理解が不可欠です。 その上で常に色々な映像制作を鑑賞し、その映像の再現方法を考える必要があります。
評価方法	■出席率：50% ■受講態度：20% ■【到達目標に対する達成度】：30%
受講生への メッセージ	実習や演習を通じて実際の撮影に取り組む機会を提供します また、批評やフィードバックを受けながら自身の撮影スキルを向上させることができます。
【使用教科書・教材・参考書】 映像制作ハンドブック	

科目名 (英)	カメラⅣ 撮影技術	必修 選択	選択 必修	年次	4		
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 金3・4
【授業の学習内容】 各種カメラ、音声収録、照明機材の基本的な操作方法と撮影技術を学びます。 <講師プロフィール> 1985年4月～1994年12月まで（株）映像ボックス勤務。 1995年1月 石田撮影事務所設立。各種TV番組、CM、ドキュメンタリー映画等を撮影。							
【到達目標】 各種動画撮影用カメラ、デジタル一眼レフカメラの使用方法を習得します。また音声収録や照明実習を行い、どのような動画撮影にも対応できるスキルを身につけます。							

授業計画・内容	
1回目	仮完成版のレビューを行う
2回目	フィードバックを元に修正を行う
3回目	最終編集を行う
4回目	卒業制作作品を完成させる
5回目	上映用データを書き出す
6回目	プレゼン資料を作成する
7回目	ポートフォリオを完成させる
8回目	デモリールを制作する
9回目	プレゼン練習を行う
10回目	卒業制作発表を実施する
11回目	講評とフィードバックを受ける
12回目	作品の最終ブラッシュアップを行う
13回目	就職活動用資料を整理する
14回目	4年間の振り返りを行う
15回目	映像クリエイターとしての今後の目標を設定する
準備学習 時間外学 習	この講義を受けるには「映像制作ハンドブック」の熟読と理解が不可欠です。 その上で常に色々な映像制作を鑑賞し、その映像の再現方法を考える必要があります。
評価方法	■出席率：50% ■受講態度：20% ■【到達目標に対する達成度】：30%
受講生への メッセージ	実習や演習を通じて実際の撮影に取り組む機会を提供します また、批評やフィードバックを受けながら自身の撮影スキルを向上させることができます。
【使用教科書・教材・参考書】 映像制作ハンドブック	

科目名（英）	レコーディング I Recording Seminar I	必修選択	選択必修	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	90 (6)	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日 2.3.4限
【授業の学習内容】 作曲・編曲コースの楽曲のレコーディングおよびミックス。制作を通してアレンジャーとエンジニアのコミュニケーションを学ぶ。 <講師プロフィール>レコーディングエンジニア 安室奈美恵、荻野目洋子、ゴダイゴ、ミッキー吉野の専属エンジニアを務める。映画「スینگ・ガールズ」などの映画音楽制作にも携わる。 【到達目標】 主にプリプロダクション制作課題・卒業制作等の作品を完成させることが出来る。 楽曲制作を通して、ミュージシャンなど他学科の学生とも交流をはかり、コミュニケーション能力を高める事が出来る。 スケジュール管理、役割分担などチームワークとリーダーシップ能力を高める事が出来る。							

授業計画・内容	
1回目	音の基礎（周波数・音圧・位相）
2回目	マイクの種類（ダイナミック／コンデンサー）
3回目	指向性と使い分け
4回目	オーディオインターフェースとは
5回目	ケーブルと接続（XLR／TRS）
6回目	ゲイン構造の基礎
7回目	DAW入門（基本操作）
8回目	トラック作成・録音方法
9回目	メトロノームとテンポ管理
10回目	ボーカル録音基礎
11回目	ギター録音基礎
12回目	簡易ドラム録音（ステレオ）
13回目	マイキング基礎①（距離）
14回目	マイキング基礎②（角度）
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	作曲学生とのプリプロダクション制作
評価方法	作品提出
受講生への メッセージ	グループワークを通して、コミュニケーション、特にスケジューリングが大切です。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名（英）	レコーディングⅡ	必修選択	選択必修	年次	2		
	Recording SeminarⅡ	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	90 (6)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科					曜日・時限	水曜日 2.3.4限
【授業の学習内容】 作曲・編曲コースの楽曲のレコーディングおよびミックス。制作を通してアレンジャーとエンジニアのコミュニケーションを学ぶ。 <講師プロフィール>レコーディングエンジニア 安室奈美恵、荻野目洋子、ゴダイゴ、ミッキー吉野の専属エンジニアを務める。映画「スイング・ガールズ」などの映画音楽制作にも携わる。 【到達目標】 主にプリプロダクション制作課題・卒業制作等の作品を完成させることが出来る。 楽曲制作を通して、ミュージシャンなど他学科の学生とも交流をはかり、コミュニケーション能力を高める事が出来る。 スケジュール管理、役割分担などチームワークとリーダーシップ能力を高める事が出来る。							

授業計画・内容	
1回目	ノイズ対策（ハム・環境音）
2回目	モニタリング基礎
3回目	ヘッドホンミックス
4回目	編集基礎（カット・フェード）
5回目	ピッチ／タイミング補正入門
6回目	簡単なミックス①（バランス）
7回目	簡単なミックス②（パン）
8回目	簡単なミックス③（EQ入門）
9回目	レコーディング実習①
10回目	レコーディング実習②
11回目	個人作品制作①
12回目	個人作品制作②
13回目	講評・フィードバック
14回目	実技試験
15回目	総括
準備学習 時間外 学習	作曲学生とのプリプロダクション制作
評価方法	作品提出
受講生への メッセージ	グループワークを通して、コミュニケーション、特にスケジューリングが大切です。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名（英）	レコーディングⅢ Recording Seminar Ⅲ	必修選択	選択 必修	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	90 (6)	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日 3.4.5限
【授業の学習内容】 プロミュージシャン・卒業生等の楽曲をレコーディングおよびミックスして配信音源の完成形まで作り上げる。 <講師プロフィール>レコーディングエンジニア 安室奈美恵、荻野目洋子、ゴダイゴ、ミッキー吉野の専属エンジニアを務める。映画「シング・ガールズ」などの映画音楽制作にも携わる。 【到達目標】 アーティストのアルバムを完成させることが出来る。							

授業計画・内容	
1回目	レコーディングフロー再確認
2回目	DAW応用操作
3回目	マルチトラック録音
4回目	ドラムマイキング（複数マイク）
5回目	ベース録音（DI／アンプ）
6回目	ギター録音応用（アンプ／ライン）
7回目	ボーカル録音応用（表現とテイク管理）
8回目	コンピング（テイク編集）
9回目	EQ詳細
10回目	コンプレッサー基礎
11回目	リバーブ／ディレイ基礎
12回目	空間処理（奥行き・定位）
13回目	オートメーション
14回目	サブミックス・バス処理
15回目	ミックスバランス調整
準備学習 時間外学 習	Pro Tools知識
評価方法	作品提出
受講生への メッセージ	アーティストがアルバムを完成させるまでの、エンジニアの仕事を学びます。コミュニケーション力、ホスピタリティを発揮しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名（英）	レコーディングⅣ Recording Seminar Ⅳ	必修選択	選択必修	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	90 (6)	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜日 3.4.5限
【授業の学習内容】 プロミュージシャン・卒業生等の楽曲をレコーディングおよびミックスして配信音源の完成形まで作り上げる。 <講師プロフィール>レコーディングエンジニア 安室奈美恵、荻野目洋子、ゴダイゴ、ミッキー吉野の専属エンジニアを務める。映画「シング・ガールズ」などの映画音楽制作にも携わる。 【到達目標】 アーティストのアルバムを完成させることが出来る。							

授業計画・内容	
1回目	ジャンル別ミックス①（バンド）
2回目	ジャンル別ミックス②（ポップス）
3回目	ノイズ除去・修復
4回目	マスタリング入門
5回目	ラウドネス理解
6回目	リファレンス比較
7回目	ミックス実習①
8回目	ミックス実習②
9回目	グループ制作①
10回目	グループ制作②
11回目	トラブル対応（音割れ・遅延）
12回目	現場想定演習
13回目	作品講評
14回目	実技試験
15回目	総括
準備学習 時間外 学習	Pro Tools知識
評価方法	作品提出
受講生への メッセージ	アーティストがアルバムを完成させるまでの、エンジニアの仕事を学びます。コミュニケーション力、ホスピタリティを発揮しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名（英）	レコーディングⅤ Recording Seminar Ⅴ	必修選択	選択必修	年次	4		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	90 (6)	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日 3.4.5限
【授業の学習内容】 プロミュージシャン・卒業生等の楽曲をレコーディングおよびミックスして配信音源の完成形まで作り上げる。 <講師プロフィール>レコーディングエンジニア 安室奈美恵、荻野目洋子、ゴダイゴ、ミッキー吉野の専属エンジニアを務める。映画「シング・ガールズ」などの映画音楽制作にも携わる。 【到達目標】 アーティストのアルバムを完成させることが出来る。							

授業計画・内容	
1回目	サウンドプロデュース概論
2回目	アレンジと録音の関係
3回目	サウンドデザイン基礎
4回目	シンセ・打ち込み基礎
5回目	サンプル活用
6回目	ボーカルプロデュース
7回目	ハーモニー制作
8回目	クリエイティブエフェクト
9回目	ミックス応用（質感調整）
10回目	パラレル処理
11回目	サイドチェイン
12回目	空間演出応用
13回目	ジャンル研究①（ロック）
14回目	ジャンル研究②（EDM）
15回目	ジャンル研究③（映像音楽）
準備学習 時間外学習	Pro Tools知識
評価方法	作品提出
受講生への メッセージ	アーティストがアルバムを完成させるまでの、エンジニアの仕事を学びます。コミュニケーション力、ホスピタリティを発揮しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名（英）	レコーディングⅣ Recording Seminar Ⅳ	必修選択	選択必修	年次	4		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	90 (6)	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜日 3.4.5限
【授業の学習内容】 プロミュージシャン・卒業生等の楽曲をレコーディングおよびミックスして配信音源の完成形まで作り上げる。 <講師プロフィール>レコーディングエンジニア 安室奈美恵、荻野目洋子、ゴダイゴ、ミッキー吉野の専属エンジニアを務める。映画「シング・ガールズ」などの映画音楽制作にも携わる。 【到達目標】 アーティストのアルバムを完成させることが出来る。							

授業計画・内容	
1回目	劇伴・SE制作
2回目	ライブレコーディング基礎
3回目	フィールドレコーディング
4回目	コラボ制作①
5回目	コラボ制作②
6回目	ディレクション実習
7回目	クライアント想定課題①
8回目	クライアント想定課題②
9回目	修正対応力
10回目	ポートフォリオ制作①
11回目	ポートフォリオ制作②
12回目	総合制作①
13回目	総合制作②
14回目	実技試験
15回目	総括
準備学習 時間外 学習	Pro Tools知識
評価方法	作品提出
受講生への メッセージ	アーティストがアルバムを完成させるまでの、エンジニアの仕事を学びます。コミュニケーション力、ホスピタリティを発揮しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名(英)	レコーディングⅦ Recording Seminar Ⅶ	必修選択	選択 必修	年次	4		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業形態	講義・演習	総時間(単位)	90 (6)	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜日 3.4.5限
【授業の学習内容】 プロミュージシャン・卒業生等の楽曲をレコーディングおよびミックスして配信音源の完成形まで作り上げる。 <講師プロフィール>レコーディングエンジニア 安室奈美恵、荻野目洋子、ゴダイゴ、ミッキー吉野の専属エンジニアを務める。映画「シング・ガールズ」などの映画音楽制作にも携わる。 【到達目標】 アーティストのアルバムを完成させることが出来る。							

授業計画・内容	
1回目	Flap案件 レコーディング
2回目	Flap案件 レコーディング
3回目	Flap案件 レコーディング
4回目	Flap案件 レコーディング
5回目	Flap案件 レコーディング
6回目	Flap案件 レコーディング
7回目	Flap案件 レコーディング
8回目	Flap案件 レコーディング
9回目	Flap案件 ミックス
10回目	Flap案件 ミックス
11回目	Flap案件 ミックス
12回目	Flap案件 マスタリング
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	Pro Tools知識
評価方法	作品提出
受講生への メッセージ	アーティストがアルバムを完成させるまでの、エンジニアの仕事を学びます。コミュニケーション力、ホスピタリティを発揮しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名(英)	レコーディングⅧ Recording Seminar Ⅷ	必修選択	選択 必修	年次	4		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業形態	講義・演習	総時間(単位)	90 (6)	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜日 3.4.5限
【授業の学習内容】 プロミュージシャン・卒業生等の楽曲をレコーディングおよびミックスして配信音源の完成形まで作り上げる。 <講師プロフィール>レコーディングエンジニア 安室奈美恵、荻野目洋子、ゴダイゴ、ミッキー吉野の専属エンジニアを務める。映画「シング・ガールズ」などの映画音楽制作にも携わる。 【到達目標】 アーティストのアルバムを完成させることが出来る。							

授業計画・内容	
1回目	Flap案件 レコーディング
2回目	Flap案件 レコーディング
3回目	Flap案件 レコーディング
4回目	Flap案件 レコーディング
5回目	Flap案件 レコーディング
6回目	Flap案件 レコーディング
7回目	Flap案件 レコーディング
8回目	Flap案件 レコーディング
9回目	Flap案件 ミックス
10回目	Flap案件 ミックス
11回目	Flap案件 ミックス
12回目	Flap案件 マスタリング
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	Pro Tools知識
評価方法	作品提出
受講生への メッセージ	アーティストがアルバムを完成させるまでの、エンジニアの仕事を学びます。コミュニケーション力、ホスピタリティを発揮しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	就職対策Ⅰ Preparatuon For Career	選択 必修	選択 必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
						曜日・時限	水曜1限
【授業の学習内容】							
就職活動の内容は年々変化が激しい状況にある。その中で、遅すぎたと言われない就職対策を提供して行く。就活において初めの一步を踏み出すことがとても重要。初めの一步を踏み出す方法を具体的に解説。また、他授業ではあまり機会のないグループディスカッション、グループワークの機会を提供し、今般言われるチーム力を身に着ける内容となる。							
【到達目標】							
1. 仕事観・人生観・職業観を持つことができる。 2. 自己理解を深め、自分らしい職業選択ができる。 3. 自己の選択した仕事・職について、企業が求める書類を提出し就職試験を受ける準備ができる。 4. 就職活動の流れを把握し、有効なスケジュール管理ができる。インターンシップ等に参加する事ができる。							
授業計画・内容							
1回目	オリエンテーション						
2回目	あなたが知らない就活の世界						
3回目	先輩の就活						
4回目	ビジョン型か価値観型か						
5回目	グループ学習の基本						
6回目	就職活動において必要な事						
7回目	グループディスカッション						
8回目	自己理解Ⅰ「強み」						
9回目	自己理解Ⅱ 価値観						
10回目	検索エンジンの使い方						
11回目	履歴書とEsⅠ						
12回目	履歴書とEsⅡ						
13回目	履歴書とEsⅢ						
14回目	企業研究						
15回目	インターンシップに参加しよう						
準備学習 時間 外学習	準備： 自身の就活を自主的に進める。進める過程で発生する準備や疑問について、自己の課題として授業内で解決。 時間外学習：合同企業説明会等への積極的参加（WEB含む）。インターンシップ等での自己研鑽。						
評価方法	●取組姿勢：20点（学習に対する取組姿勢とグループへの貢献） ●テスト評価：60点（課題提出状況） ●習熟度：20点（到達目標に対する成長具合や習熟度） ◇出席：別途規定（出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし）に基づきます。 ◇合否：60点以上で合格						
受講生への メッセージ	就職活動はゴールではない。一生涯使うことのできるスキルとともに発見しましょう。そして、社会に出て豊かに生きるために何が必要かを一緒に考えましょう。						
【使用教科書・教材・参考書】							
講師が用意する冊子。プリント等。パワーポイントによる準備。							

科目名 (英)	就職対策Ⅱ Preparatuon For Career	選択 必修	選択 必修	年次	2年次		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜1限
【授業の学習内容】							
就職活動の内容は年々変化が激しい状況にある。その中で、遅すぎたと言われない就職対策を提供して行く。就活において初めの一步を踏み出すことがとても重要。初めの一步を踏み出す方法を具体的に解説。また、他授業ではあまり機会のないグループディスカッション、グループワークの機会を提供し、今般言われるチーム力を身に着ける内容となる。							
【到達目標】							
1. 仕事観・人生観・職業観を持つことができる。 2. 自己理解を深め、自分らしい職業選択ができる。 3. 自己の選択した仕事・職について、企業が求める書類を提出し就職試験を受ける準備ができる。 4. 就職活動の流れを把握し、有効なスケジュール管理ができる。インターンシップ等に参加する事ができる。							
授業計画・内容							
1回目	オリエンテーション						
2回目	面接官は何を重視しているのか						
3回目	オンライン面接						
4回目	面接演習の基礎						
5回目	面接演習Ⅰ						
6回目	面接演習Ⅱ						
7回目	面接演習Ⅲ						
8回目	心理的安全性と成果						
9回目	ビジネススキルⅠ						
10回目	ビジネススキルⅡ						
11回目	ビジネススキルⅢ						
12回目	ビジネスマナー敬語と応対						
13回目	ビジネスマナーⅡ						
14回目	ビジネスマナーⅢ						
15回目	学期末テスト						
準備学習 時間 外学習	準備： 自身の就活を自主的に進める。進める過程で発生する準備や疑問について、自己の課題として授業内で解決。 時間外学習： 合同企業説明会等への積極的参加（WEB含む）。インターンシップ等での自己研鑽。						
評価方法	●取組姿勢： 20点（学習に対する取組姿勢とグループへの貢献） ●テスト評価： 60点（課題提出状況） ●習熟度： 20点（到達目標に対する成長具合や習熟度） ◇出席： 別途規定（出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし）に基づきます。 ◇合否： 60点以上で合格						
受講生への メッセージ	就職活動は社会人としての初めの一步。就活を通じて社会人として大人の仲間入りをしよう。						
【使用教科書・教材・参考書】							
講師が用意する冊子。プリント等。パワーポイントによる準備。							

科目名 (英)	就職対策Ⅲ Preparatuon For Career	選択 必修	選択 必修	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	水曜2限
【授業の学習内容】							
就職活動の内容は年々変化が激しい状況にある。その中で、遅すぎたと言われない就職対策を提供して行く。就活において初めの一步を踏み出すことがとても重要。初めの一步を踏み出す方法を具体的に解説。また、他授業ではあまり機会のないグループディスカッション、グループワークの機会を提供し、今般言われるチーム力を身に着ける内容となる。							
【到達目標】							
1. 仕事観・人生観・職業観を持つことができる。 2. 自己理解を深め、自分らしい職業選択ができる。 3. 自己の選択した仕事・職について、企業が求める書類を提出し就職試験を受ける準備ができる。 4. 就職活動の流れを把握し、有効なスケジュール管理ができる。インターンシップ等に参加する事ができる。							
授業計画・内容							
1回目	これまでの内容を振り返りながら、現時点までの各々の就職活動の進捗具合を振り返る。就活における情報や悩みをシェア。						
2回目	ジョブカードの紹介（意義・目的）。シートを使って自己分析を行う。自己のエントリーシートに起こすために必要な部分を補足する。						
3回目	各人のエントリー企業を確認。これからエントリーできる、またエントリーしたい企業の洗い出しを行い、情報収集について考える。						
4回目	キャリア・プランを描くために大切な「興味・関心」「こだわり・価値観」「強み・能力」を精査しながらジョブカードの作成を進める。						
5回目	ジョブカードを基に面接時に求められる応対内容の確認と、面接時のマナー・立ち居振る舞いを演習する。						
6回目	面接演習 個人面接を中心にグループで面接演習を行なう。						
7回目	面接演習 実際の企業での面接を出来る限り再現して演習を行う。						
8回目	企業の社会的な役割と組織を学ぶ。						
9回目	就業規則やコンプライアンス等、社会と企業のルールを学ぶ。						
10回目	仕事のプライオリティの付け方、報告・連絡・相談等、仲間との連携について学ぶ。						
11回目	名刺の受け渡し、来客応対、電話応対等ビジネスマナーの基本を身につける。						
12回目	就職内定までの状況を再確認。演習予備日。						
13回目	課題チェック						
14回目	学期末特別授業						
15回目	学期末特別授業						
準備学習 時間外学 習	準 備： 自身の就活を自主的に進める。進める過程で発生する準備や疑問について、自己の課題として授業内で解決。 時間外学習： 合同企業説明会等への積極的参加（WEB含む）。インターンシップ等での自己研鑽。						
評価方法	課題 （課題提出、提出期限の厳守） 習熟度 （到達目標に対する習熟度）						
受講生への メッセージ	就職活動において最も大切なものはグリッド（熱意と継続力）。自分自身が納得できる就活を達成できるまで、諦めず粘り強く、取り組んで下さい。昨日の自分よりも今日の自分、未来の自分へ。自分で自分を超えて成長していきましょう。						
【使用教科書・教材・参考書】							
講師が用意する冊子。プリント等。パワーポイントによる準備。							

科目名 (英)	就職対策Ⅳ Preparatuon For Career	選択 必修	選択 必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時限	後期 水曜2限
【授業の学習内容】							
就職活動の内容は年々変化が激しい状況にある。その中で、遅すぎたと言われない就職対策を提供して行く。就活において初めの一步を踏み出すことがとても重要。初めの一步を踏み出す方法を具体的に解説。また、他授業ではあまり機会のないグループディスカッション、グループワークの機会を提供し、今般言われるチーム力を身に着ける内容となる。							
【到達目標】							
1. 仕事観・人生観・職業観を持つことができる。 2. 自己理解を深め、自分らしい職業選択ができる。 3. 自己の選択した仕事・職について、企業が求める書類を提出し就職試験を受ける準備ができる。 4. 就職活動の流れを把握し、有効なスケジュール管理ができる。インターンシップ等に参加する事ができる。							
授業計画・内容							
1回目	自分の就職活動の進捗を言語化する						
2回目	志望動機を深掘りする（講義＋演習）						
3回目	業界研究Ⅰ（エンタメ・メディア系）						
4回目	業界研究Ⅱ（IT・広告・制作系）						
5回目	業界研究Ⅲ（サービス・小売・メーカー系）						
6回目	履歴書再点検（改善とアップデート）						
7回目	自己PRのブラッシュアップ						
8回目	グループディスカッション演習Ⅰ						
9回目	グループディスカッション演習Ⅱ						
10回目	プレゼンテーション演習（就活の成果共有）						
11回目	面接総まとめ（実技試験形式）						
12回目	就活Q&A（よくある悩み解消）						
13回目	エントリー前のチェックリスト						
14回目	マナー・対応の最終確認						
15回目	前半総まとめ・振り返り						
準備学 習 時間 外学習	準備： 自身の就活を自主的に進める。進める過程で発生する準備や疑問について、自己の課題として授業内で解決。 時間外学習：合同企業説明会等への積極的参加（WEB含む）。インターンシップ等での自己研鑽。						
評価方 法	●取組姿勢： 20点（学習に対する取組姿勢とグループへの貢献） ●テスト評価： 60点（課題提出状況） ●習熟度： 20点（到達目標に対する成長具合や習熟度） ◇出 席： 別途規定（出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし）に基づきます。 ◇合 否： 60点以上で合格						
受講生への メッセージ	就職活動はゴールではない。一生涯使うことのできるスキルをともに発見しましょう。そして、社会に出て豊かに生きるために何が必要かを一緒に考えましょう。						
【使用教科書・教材・参考書】							
講師が用意する冊子。プリント等。パワーポイントによる準備。							

位)

科目名 (英)	ビジュアルミキシング I Visual Mixing I	選択 必修	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義/演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜4限
【授業の学習内容】 映像の基礎知識（解像度・信号・フォーマットなど）、映像ミキサーやVJソフトの操作（Resolume など） <講師プロフィール> 大物アーティストのライブレコーディングでエンジニアを務める。また、九州最大級のクラブ、Bijouのハウスエンジニアとして音響を行うなどPAエンジニア業も精力的に行う。							
【到達目標】 映像の基礎知識（解像度・フレームレート・信号規格）を理解している。 映像ミキサーやVJソフトの構造・機能を理解して説明できる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション - 授業の概要とゴール、VJとは何か
2回目	映像の基本知識 - 解像度、フレームレート、コーデック
3回目	ビジュアルミキシングとは - 用途・歴史・業界事例紹介
4回目	機材の基礎知識① - 映像ミキサー、スイッチャーの基本
5回目	機材の基礎知識② - プロジェクター・ディスプレイ出力
6回目	入出力と接続 - HDMI・SDI・VGAなどケーブルの基礎
7回目	映像ソースの種類 - カメラ・PC・映像ファイルなど
8回目	ビジュアルミキサー実習① - 基本操作と切替
9回目	ビジュアルミキサー実習② - 基本操作と切替
10回目	ビジュアルミキサー実習③ - 基本操作と切替
11回目	ミックスとフェードの理解 - 切替効果の種類と演出意図
12回目	VJソフト①：概要と導入 - Resolume/Arena/VDMXなど
13回目	VJソフト②：基本操作 - レイヤー、クリップ再生、エフェクト
14回目	VJソフト③：基本操作 - レイヤー、クリップ再生、エフェクト
15回目	前期まとめ
準備学習 時間外学 習	映像視聴やVJパフォーマンスに関心を持つこと。
評価方法	出席率と授業態度で判断します。 ○実技テスト：40% ○課題提出：30%（課題提出、提出期限の厳守） ○習熟度：30%（到達目標に対する習熟度） 出席：別途規定（出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし）に基づきます
受講生への メッセージ	最初は機材やソフトに戸惑うかもしれませんが、発想と工夫で表現の幅は無限に広がります。 ライブや舞台、展示など、あなたの映像が“場の空気”を変える瞬間を一緒に作っていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ビジュアルミキシング II Visual Mixing II	選択 必修	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義/演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 木曜4限
【授業の学習内容】 映像の基礎知識（解像度・信号・フォーマットなど）、映像ミキサーやVJソフトの操作（Resolume など） <講師プロフィール> 大物アーティストのライブレコーディングでエンジニアを務める。また、九州最大級のクラブ、Bijouのハウスエンジニアとして音響を行うなどPAエンジニア業も精力的に行う。							
【到達目標】 映像の基礎知識（解像度・フレームレート・信号規格）を理解している。 映像ミキサーやVJソフトの構造・機能を理解して説明できる。							

授業計画・内容	
1回目	ループ素材の扱い - 映像素材の選定とループ設定
2回目	テキスト・ロゴの表示 - タイトルや演出文字の配置①
3回目	テキスト・ロゴの表示 - タイトルや演出文字の配置②
4回目	簡単な演出づくり - 音に合わせた映像切替練習①
5回目	簡単な演出づくり - 音に合わせた映像切替練習②
6回目	中間制作① - ショートVJパフォーマンス
7回目	中間制作② - ショートVJパフォーマンス
8回目	中間制作③ - ショートVJパフォーマンス
9回目	実習・課題演習① - 素材収集・VJセッション・個人制作
10回目	実習・課題演習② - 素材収集・VJセッション・個人制作
11回目	実習・課題演習③ - 素材収集・VJセッション・個人制作
12回目	実習・課題演習④ - 素材収集・VJセッション・個人制作
13回目	実習・課題演習⑤ - 素材収集・VJセッション・個人制作
14回目	実習・課題演習⑥ - 素材収集・VJセッション・個人制作
15回目	後期まとめ
準備学習 時間外学 習	映像視聴やVJパフォーマンスに関心を持つこと。
評価方法	出席率と授業態度で判断します。 ○実技テスト : 40% ○課題提出 : 30%（課題提出、提出期限の厳守） ○習熟度 : 30%（到達目標に対する習熟度） 出席 : 別途規定（出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし）に基づきます
受講生への メッセージ	最初は機材やソフトに戸惑うかもしれませんが、発想と工夫で表現の幅は無限に広がります。 ライブや舞台、展示など、あなたの映像が“場の空気”を変える瞬間を一緒に作っていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	映像制作Ⅷ 編集技術Ⅰ	必修 選択	選択必修	年次	1年		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 水曜 4限
【授業の学習内容】 文章や映像などのコンテンツを編集するためのスキルを学習します。 <講師プロフィール> 株式会社ヒューマンセントリックスで5年間、イベントのOPやダイジェスト、会社紹介や商品紹介などさまざまな映像の編集業務を担当。その後はフリーランスとして主にNHKの番組のOP映像やテロップ編集、映像の構成からアニメーション部分などを担当する。							
【到達目標】 情報を整理し、構成を調整し、最終的な成果物を魅力的に仕上げる能力を向上させます。 実習や実践的な経験を積むことで、エディティングスキルを向上させます。							

授業計画・内容	
1回目	映像編集の歴史と基本原理①
2回目	映像編集の歴史と基本原理②□
3回目	編集ソフトウェアの紹介と操作方法①
4回目	編集ソフトウェアの紹介と操作方法②□
5回目	プロジェクトの作成と設定①
6回目	プロジェクトの作成と設定②
7回目	カットの種類と効果①
8回目	カットの種類と効果②
9回目	トランジションの使い方と表現効果①
10回目	トランジションの使い方と表現効果②□
11回目	タイミングとリズムの調整①
12回目	タイミングとリズムの調整②
13回目	タイミングとリズムの調整③
14回目	期末テスト
15回目	振り返り
準備学習 時間外学 習	パソコンを使用しての編集作業になります。 普段からパソコンを使用し、パソコン操作に慣れてください。
評価方法	■出席率：40% ■受講態度：30% ■【到達目標に対する達成度】：30%
受講生への メッセージ	映像制作、広告、メディア業界、コンテンツ制作など、さまざまな職業において重要なスキルとなります。 しっかり学習しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	映像制作Ⅷ 編集技術Ⅱ	必修 選択	選択必修	年次	1年		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 水曜 4限
【授業の学習内容】 文章や映像などのコンテンツを編集するためのスキルを学習します。 <講師プロフィール> 株式会社ヒューマンセントリックスで5年間、イベントのOPやダイジェスト、会社紹介や商品紹介などさまざまな映像の編集業務を担当。その後はフリーランスとして主にNHKの番組のOP映像やテロップ編集、映像の構成からアニメーション部分などを担当する。							
【到達目標】 情報を整理し、構成を調整し、最終的な成果物を魅力的に仕上げる能力を向上させます。 実習や実践的な経験を積むことで、エディティングスキルを向上させます。							

授業計画・内容	
1回目	ショットの組み合わせとストーリーテリング①
2回目	ショットの組み合わせとストーリーテリング②
3回目	タイムラインの操作とシーケンシャルフロー①
4回目	タイムラインの操作とシーケンシャルフロー②
5回目	モンタージュの構築と感情表現①
6回目	モンタージュの構築と感情表現②
7回目	オーディオトラックの追加と編集①
8回目	オーディオトラックの追加と編集②
9回目	レベル調整とミキシング①
10回目	レベル調整とミキシング②
11回目	サウンドエフェクトと音楽の組み込み①
12回目	サウンドエフェクトと音楽の組み込み②
13回目	We are FSM 卒業進級制作 準備①
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備②
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	パソコンを使用しての編集作業になります。 普段からパソコンを使用し、パソコン操作に慣れてください。
評価方法	■出席率：40% ■受講態度：30% ■【到達目標に対する達成度】：30%
受講生への メッセージ	映像制作、広告、メディア業界、コンテンツ制作など、さまざまな職業において重要なスキルとなります。 しっかり学習しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	映像制作Ⅷ 編集技術Ⅲ	必修 選択	選択必修	年次	2年		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 水曜 5限
【授業の学習内容】 文章や映像などのコンテンツを編集するためのスキルを学習します。 <講師プロフィール> 株式会社ヒューマンセントリックスで5年間、イベントのOPやダイジェスト、会社紹介や商品紹介などさまざまな映像の編集業務を担当。 その後はフリーランスとして主にNHKの番組のOP映像やテロップ編集、映像の構成からアニメーション部分などを担当する。							
【到達目標】 情報を整理し、構成を調整し、最終的な成果物を魅力的に仕上げる能力を向上させます。 実習や実践的な経験を積むことで、エディティングスキルを向上させます。							

授業計画・内容	
1回目	カラーコレクションとトーン補正①
2回目	カラーコレクションとトーン補正②
3回目	カラーグレーディングの基本技術①
4回目	カラーグレーディングの基本技術②
5回目	色調の統一とムードの演出①
6回目	色調の統一とムードの演出②
7回目	タイトルの追加と編集①
8回目	タイトルの追加と編集②
9回目	テキストアニメーションとエフェクト①
10回目	テキストアニメーションとエフェクト②
11回目	字幕の挿入とタイミング調整①
12回目	字幕の挿入とタイミング調整②
13回目	字幕の挿入とタイミング調整③
14回目	期末テスト
15回目	振り返り
準備学習 時間外学習	パソコンを使用しての編集作業になります。 普段からパソコンを使用し、パソコン操作に慣れてください。
評価方法	■出席率：40% ■受講態度：30% ■【到達目標に対する達成度】：30%
受講生への メッセージ	映像制作、広告、メディア業界、コンテンツ制作など、さまざまな職業において重要なスキルとなります。 しっかり学習しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	映像制作Ⅷ 編集技術Ⅳ	必修 選択	選択必修	年次	2年		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 水曜 5限
【授業の学習内容】 文章や映像などのコンテンツを編集するためのスキルを学習します。 <講師プロフィール> 株式会社ヒューマンセントリックスで5年間、イベントのOPやダイジェスト、会社紹介や商品紹介などさまざまな映像の編集業務を担当。 その後はフリーランスとして主にNHKの番組のOP映像やテロップ編集、映像の構成からアニメーション部分などを担当する。							
【到達目標】 情報を整理し、構成を調整し、最終的な成果物を魅力的に仕上げる能力を向上させます。 実習や実践的な経験を積むことで、エディティングスキルを向上させます。							

授業計画・内容	
1回目	ビジュアルエフェクトの種類と応用①
2回目	ビジュアルエフェクトの種類と応用②
3回目	グリーンスクリーン合成とクロマキー①
4回目	グリーンスクリーン合成とクロマキー②
5回目	グリーンスクリーン合成とクロマキー③
6回目	パーティクルエフェクトとモーショングラフィックス①
7回目	パーティクルエフェクトとモーショングラフィックス②
8回目	パーティクルエフェクトとモーショングラフィックス③
9回目	プリプロダクションとシナリオの分析①
10回目	プリプロダクションとシナリオの分析②
11回目	プロジェクトの組織と管理①
12回目	プロジェクトの組織と管理②
13回目	クライアントのフィードバックと修正
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	パソコンを使用するの編集作業になります。 普段からパソコンを使用し、パソコン操作に慣れてください。
評価方法	■出席率：40% ■受講態度：30% ■【到達目標に対する達成度】：30%
受講生への メッセージ	映像制作、広告、メディア業界、コンテンツ制作など、さまざまな職業において重要なスキルとなります。 しっかり学習しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	映像制作Ⅷ 編集技術ⅤⅥ	必修 選択	選択必修	年次	3年		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	通年 水曜 6限
【授業の学習内容】 文章や映像などのコンテンツを編集するためのスキルを学習します。 <講師プロフィール> 株式会社ヒューマンセントリックスで5年間、イベントのOPやダイジェスト、会社紹介や商品紹介などさまざまな映像の編集業務を担当。 その後はフリーランスとして主にNHKの番組のOP映像やテロップ編集、映像の構成からアニメーション部分などを担当する。							
【到達目標】 情報を整理し、構成を調整し、最終的な成果物を魅力的に仕上げる能力を向上させます。 実習や実践的な経験を積むことで、エディティングスキルを向上させます。							

授業計画・内容	
1回目	マルチカメラの撮影と編集①
2回目	マルチカメラの撮影と編集②
3回目	マルチカメラの撮影と編集③
4回目	マルチカメラの撮影と編集④
5回目	マルチアングルシーケンスの組み立て①
6回目	マルチアングルシーケンスの組み立て②
7回目	マルチアングルシーケンスの組み立て③
8回目	マルチアングルシーケンスの組み立て④
9回目	ライブイベントの編集と配信①
10回目	ライブイベントの編集と配信②
11回目	ライブイベントの編集と配信③
12回目	ライブイベントの編集と配信④
13回目	ライブイベントの編集と配信⑤
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	パソコンを使用しての編集作業になります。 普段からパソコンを使用し、パソコン操作に慣れてください。
評価方法	■出席率：40% ■受講態度：30% ■【到達目標に対する達成度】：30%
受講生への メッセージ	映像制作、広告、メディア業界、コンテンツ制作など、さまざまな職業において重要なスキルとなります。 しっかり学習しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	映像制作Ⅷ 編集技術Ⅶ Ⅷ	必修 選択	選択必修	年次	4年		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	通年 水曜 6限
【授業の学習内容】 文章や映像などのコンテンツを編集するためのスキルを学習します。 <講師プロフィール> 株式会社ヒューマンセントリックスで5年間、イベントのOPやダイジェスト、会社紹介や商品紹介などさまざまな映像の編集業務を担当。 その後はフリーランスとして主にNHKの番組のOP映像やテロップ編集、映像の構成からアニメーション部分などを担当する。							
【到達目標】 情報を整理し、構成を調整し、最終的な成果物を魅力的に仕上げる能力を向上させます。 実習や実践的な経験を積むことで、エディティングスキルを向上させます。							

授業計画・内容	
1回目	映像フォーマットと圧縮設定
2回目	映像フォーマットと圧縮設定
3回目	オンラインプラットフォームへのアップロード
4回目	映像制作のポートフォリオ作成
5回目	映像制作のポートフォリオ作成
6回目	映像制作のポートフォリオ作成□
7回目	映像制作のポートフォリオ作成□
8回目	映像制作のポートフォリオ作成□
9回目	卒業制作①
10回目	卒業制作②
11回目	卒業制作③
12回目	卒業制作④
13回目	We are FSM 卒業進級制作 準備①
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備②
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	パソコンを使用しての編集作業になります。 普段からパソコンを使用し、パソコン操作に慣れてください。
評価方法	■出席率：40% ■受講態度：30% ■【到達目標に対する達成度】：30%
受講生への メッセージ	映像制作、広告、メディア業界、コンテンツ制作など、さまざまな職業において重要なスキルとなります。 しっかり学習しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	映像制作Ⅷ 編集技術Ⅶ	必修 選択	選択必修	年次	4年		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	通年 水曜 6限
【授業の学習内容】 文章や映像などのコンテンツを編集するためのスキルを学習します。 <講師プロフィール> 株式会社ヒューマンセントリックスで5年間、イベントのOPやダイジェスト、会社紹介や商品紹介などさまざまな映像の編集業務を担当。 その後はフリーランスとして主にNHKの番組のOP映像やテロップ編集、映像の構成からアニメーション部分などを担当する。							
【到達目標】 情報を整理し、構成を調整し、最終的な成果物を魅力的に仕上げる能力を向上させます。 実習や実践的な経験を積むことで、エディティングスキルを向上させます。							

授業計画・内容	
1回目	トーン&ムード別演出スタイルの研究①（シネマ／ドラマ）
2回目	トーン&ムード別演出スタイルの研究②（CM／MV）
3回目	映像ジャンルごとの編集スタイル分析①（ドキュメンタリー）
4回目	映像ジャンルごとの編集スタイル分析②（SNS向け動画）
5回目	ストック素材やフッテージの活用と著作権理解
6回目	効果的なBGM選定と演出（雰囲気の変化を操る）
7回目	モーショングラフィックス応用（After Effects連携）
8回目	ロゴアニメーションとイントロ動画制作①
9回目	ロゴアニメーションとイントロ動画制作②
10回目	スピード編集演習：短時間で高品質を目指す
11回目	編集者の視点：他者の作品分析とコメント実習
12回目	グループ制作①：チームで映像を構成・分担
13回目	グループ制作②：演出と編集の最終調整
14回目	グループ制作③：プレゼン準備とスライド作成
15回目	グループ発表会：講評と自己評価／相互フィードバック
準備学習 時間外学 習	パソコンを使用しての編集作業になります。 普段からパソコンを使用し、パソコン操作に慣れてください。
評価方法	■出席率：40% ■受講態度：30% ■【到達目標に対する達成度】：30%
受講生への メッセージ	映像制作、広告、メディア業界、コンテンツ制作など、さまざまな職業において重要なスキルとなります。 しっかり学習しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	映像制作Ⅷ 編集技術Ⅷ	必修 選択	選択必修	年次	4年		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	通年 水曜 6限
【授業の学習内容】 文章や映像などのコンテンツを編集するためのスキルを学習します。 <講師プロフィール> 株式会社ヒューマンセントリックスで5年間、イベントのOPやダイジェスト、会社紹介や商品紹介などさまざまな映像の編集業務を担当。 その後はフリーランスとして主にNHKの番組のOP映像やテロップ編集、映像の構成からアニメーション部分などを担当する。							
【到達目標】 情報を整理し、構成を調整し、最終的な成果物を魅力的に仕上げる能力を向上させます。 実習や実践的な経験を積むことで、エディティングスキルを向上させます。							

授業計画・内容	
1回目	卒業・進級制作テーマ決定と企画立案
2回目	プロジェクトのスケジュール設計と役割分担
3回目	撮影素材の準備と管理方法（クラウド活用含む）
4回目	編集工程の中間レビュー①：構成と演出の確認
5回目	編集工程の中間レビュー②：音響とタイミングの調整
6回目	編集工程の中間レビュー③：エフェクトとビジュアル統一
7回目	講師チェックと改善指導：完成度向上に向けた修正
8回目	本編集作業①（個人orチーム別）
9回目	本編集作業②（ディテール調整・細部演出）
10回目	書き出し設定と最終テスト上映
11回目	成果物プレゼン資料作成（ポートフォリオ構成）
12回目	成果発表会①（グループA・B）
13回目	成果発表会②（グループC・D）
14回目	成果発表会まとめと今後の展望共有
15回目	最終振り返り・ポートフォリオ仕上げと提出
準備学習 時間外学習	パソコンを使用しての編集作業になります。 普段からパソコンを使用し、パソコン操作に慣れてください。
評価方法	■出席率：40% ■受講態度：30% ■【到達目標に対する達成度】：30%
受講生への メッセージ	映像制作、広告、メディア業界、コンテンツ制作など、さまざまな職業において重要なスキルとなります。 しっかり学習しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	企画制作 I Produce&Direction Work	必修 選択	必修 選択	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	前期 火曜1・2限目
【授業の学習内容】 ◆スピードで変化していく社会では、個人や企業がひとつひとつゼロからその分野を極めていく時間はありません。そのためすべて自分(自社)で完結するのではなく、得意分野を組み合わせるように他者(他社)と協力することがとても大切な時代になりました。「良いものを作れば売れる」という時代ではなく、お客様が欲しいものをヒアリングし、「売れる流れを作る」ことがとても大切になっています。そしてフリーランス(個人)が活躍できる場が増えていることから、専門スキルを身につけるのはもちろんですが、その先のお客様にその物や技術、サービスを届ける力も必要になっています。これからは時間や物量で仕事をするのではなく、発想で仕事をする時代です。競合ではなく協力する考え方が必要なため、新しい価値を創造(プロデュース)し、協力者を募り、チームをマネジメントしディレクションできる人を育てています。 ◆プロデュース(何かを創造する)や、ディレクション(それらを指揮する)は、すべての科目に大きく関係します。各科目のスキルをビジネスに展開することで社会と繋がることができ、継続的にお客様(ファン)のニーズを満たすことができます。 ◆プロデュース&ディレクションを学ぶことで、エンタメ業界に限らず、どの業界でも通用する原理原則があることを勉強します。世の中で起こっているさまざまな戦略の基本が理解できるようになり、学生自らがイメージしたアイデアを具現化でき、自己表現ができるようになります。具体的には、講義形式(座学)とグループワーク(演習)を中心に構成します。グループワークでは、エンタメ業界や日常生活にある事例や課題を見つけ、みんなで考えをシェアし、どのような仕組みになっているかを紐解いていきます。またプロデュース&ディレクションに必要なマネジメント、コミュニケーション、マーケティングの勉強・体験もしていきます。学ぶことも大切にしなが、卒業後に即戦力となるように在学中から"実際にやってみる"ということに慣れるため、実践の場もあります。							
【到達目標】 ■ シミュレーション演習によって、今まで知らない職種や立場を理解し、業界の全体像を理解できるようになる。 ■ プロデュースやディレクションを行う上でのコミュニケーションの大切さを理解できる。 ■ 身近にあるマーケティングの仕組みを理解し、そこから逆算してプロデュース&ディレクションを理解できるようになる。 ■ プロデュース&ディレクションを学ぶことで、エンターテイメント業界に限らず、一般企業のビジネスの全体像が理解できるようになる。 ■ タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場が理解できるようになる。 ■ ゼロから1を作る方法がわかる。							

授業計画・内容	
1回目	授業概要とマーケティング・プロデュースの基本を理解する
2回目	プロデュースとディレクションの違いを学ぶ
3回目	なぜ売れる流れが重要なのかを理解する
4回目	現代のビジネス環境と変化の速さを学ぶ
5回目	協力と共創の重要性を理解する
6回目	自己紹介と将来の目標を共有する
7回目	プレゼンテーションの基本を学ぶ
8回目	自己プロデュースのプロフィール作成を行う
9回目	自己表現の重要性を理解する
10回目	ビジョンボードを作成する
11回目	やりたいことリスト100を作成する
12回目	目標設定と達成プロセスを学ぶ
13回目	エンタメ業界のビジネス構造を理解する
14回目	お金の流れとビジネスモデルを学ぶ
15回目	商品やサービスの価値の考え方を学ぶ
準備学習 時間外学習	目標①：プロデュースやディレクションはチームの中で各々が主体性を発揮して物事を進めることが大切です。授業でも主体性を発揮してください。 目標②：プロデュースやディレクションは質問の質が非常に重要です。授業では1人1回は講師に質問するという目標を持って臨んでください。 目標③：プロデューサーやディレクターは目的や理由、コンセプトを持って仕事します。授業を受ける目的と目標を毎回明確にして臨んでください。
評価方法	■出席率：60% ■受講態度：20% ■【到達目標に対する達成度】：20%
受講生への メッセージ	魅力：プロデュースやディレクションというスキルはエンタテインメント業界はもちろん、ほとんどの業界や企業で必要とされている役割です。あらゆる業界の事例を基にたくさん考えて、検証し、企画して、事例を見て、聞いて、触れて、行動しながら学ぶことで、どの分野でも活用できるようになります。そして今まで見えていなかった世界がずっとたくさん見えるようになり、可能性が広がっていくことを実感できるので楽しみにしててください。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	企画制作Ⅱ Produce&Direction Work	必修 選択	必修 選択	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜1・2限目
【授業の学習内容】 ◆猛スピードで変化していく社会では、個人や企業がひとつひとつゼロからその分野を極めていく時間はありません。そのためすべて自分(自社)で完結するのではなく、得意分野を組み合わせるように他者(他社)と協力することがとても大切な時代になりました。「良いものを作れば売れる」という時代ではなく、お客様が欲しいものをヒアリングし、「売れる流れを作る」ことがとても大切になっています。そしてフリーランス(個人)が活躍できる場が増えていることから、専門スキルを身につけるのはもちろんですが、その先のお客様にその物や技術、サービスを届ける力も必要になっています。これからは時間や物量で仕事をするのではなく、発想で仕事をする時代です。競合ではなく協力する考え方が必要なため、新しい価値を創造(プロデュース)し、協力者を募り、チームをマネジメントしディレクションできる人を育てていきます。 ◆プロデュース(何かを創造する)や、ディレクション(それらを指揮する)は、すべての科目に大きく関係します。各科目のスキルをビジネスに展開することで社会と繋がることができ、継続的にお客様(ファン)のニーズを満たすことができます。 ◆プロデュース&ディレクションを学ぶことで、エンタメ業界に限らず、どの業界でも通用する原理原則があることを勉強します。世の中で起こっているさまざまな戦略の基本が理解できるようになり、学生自らがイメージしたアイデアを具現化でき、自己表現ができるようになります。具体的には、講義形式(座学)とグループワーク(演習)を中心に構成します。グループワークでは、エンタメ業界や日常生活にある事例や課題を見つけ、みんなで考えをシェアし、どのような仕組みになっているかを紐解いていきます。またプロデュース&ディレクションに必要なマネジメント、コミュニケーション、マーケティングの勉強・体験もしていきます。学ぶことも大切にしなが、卒業後に即戦力となるように在学中から"実際にやってみる"ということに慣れるため、実践の場もあります。							
【到達目標】 ■シミュレーション演習によって、今まで知らない職種や立場を理解し、業界の全体像を理解できるようになる。 ■プロデュースやディレクションを行う上でのコミュニケーションの大切さを理解できる。 ■身近にあるマーケティングの仕組みを理解し、そこから逆算してプロデュース&ディレクションを理解できるようになる。 ■プロデュース&ディレクションを学ぶことで、エンターテイメント業界に限らず、一般企業のビジネスの全体像が理解できるようになる。 ■タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場が理解できるようになる。 ■ゼロから1を作る方法がわかる。							

授業計画・内容	
1回目	USP（独自の強み）の概念を理解する
2回目	既存のアーティストやサービスのUSPを分析する
3回目	ターゲットと顧客視点の考え方を学ぶ
4回目	消費者ニーズの捉え方を学ぶ
5回目	身近なマーケティング事例を分析する
6回目	発想力を高める思考法を学ぶ
7回目	アイデア発想ワークを実施する
8回目	グループワークで意見共有を行う
9回目	他者の視点を理解する力を養う
10回目	課題解決型思考を学ぶ
11回目	簡単な企画立案を行う
12回目	企画の言語化と整理を行う
13回目	プレゼンテーションを実施する
14回目	フィードバックを受けて改善する
15回目	基礎内容の振り返りと総括を行う
準備学習 時間外 学習	目標①：プロデュースやディレクションはチームの中で各々が主体性を発揮して物事を進めることが大切です。授業でも主体性を発揮してください。 目標②：プロデュースやディレクションは質問の質が非常に重要です。授業では1人1回は講師に質問するという目標を持って臨んでください。 目標③：プロデューサーやディレクターは目的や理由、コンセプトを持って仕事します。授業を受ける目的と目標を毎回明確にして臨んでください。
評価方法	■出席率：60% ■受講態度：20% ■【到達目標に対する達成度】：20%
受講生への メッセージ	魅力：プロデュースやディレクションというスキルはエンタテインメント業界はもちろん、ほとんどの業界や企業で必要とされている役割です。あらゆる業界の事例を基にたくさん考えて、検証し、企画して、事例を見て、聞いて、触れて、行動しながら学ぶことで、どの分野でも活用できるようになります。そして今まで見えていなかった世界がずっとたくさん見えるようになり、可能性が広がっていくことを実感できるので楽しみにしててください。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	企画制作Ⅲ Produce&Direction Work	必修 選択	必修 選択	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	前期 火曜1・2限目
【授業の学習内容】 ◆猛スピードで変化していく社会では、個人や企業がひとつひとつゼロからその分野を極めていく時間はありません。そのためすべて自分(自社)で完結するのではなく、得意分野を組み合わせるように他者(他社)と協力することがとても大切な時代になりました。「良いものを作れば売れる」という時代ではなく、お客様が欲しいものをヒアリングし、「売れる流れを作る」ことがとても大切になっています。そしてフリーランス(個人)が活躍できる場が増えていることから、専門スキルを身につけるのはもちろんですが、その先のお客様にその物や技術、サービスを届ける力も必要になっています。これからは時間や物量で仕事をするのではなく、発想で仕事をする時代です。競争ではなく協力する考え方が必要なため、新しい価値を創造(プロデュース)し、協力者を募り、チームをマネジメントしディレクションできる人を育てていきます。 ◆プロデュース(何かを創造する)や、ディレクション(それらを指揮する)は、すべての科目に大きく関係します。各科目のスキルをビジネスに展開することで社会と繋がることができ、継続的にお客様(ファン)のニーズを満たすことができます。 ◆プロデュース&ディレクションを学ぶことで、エンタメ業界に限らず、どの業界でも通用する原理原則があることを勉強します。世の中で起こっているさまざまな戦略の基本が理解できるようになり、学生自らがイメージしたアイデアを具現化でき、自己表現ができるようになります。具体的には、講義形式(座学)とグループワーク(演習)を中心に構成します。グループワークでは、エンタメ業界や日常生活にある事例や課題を見つけ、みんなで考えをシェアし、どのような仕組みになっているかを紐解いていきます。またプロデュース&ディレクションに必要なマネジメント、コミュニケーション、マーケティングの勉強・体験もしていきます。学ぶことも大切にしなが、卒業後に即戦力となるように在学中から"実際にやってみる"ということに慣れるため、実践の場もあります。							
【到達目標】 ■シミュレーション演習によって、今まで知らない職種や立場を理解し、業界の全体像を理解できるようになる。 ■プロデュースやディレクションを行う上でのコミュニケーションの大切さを理解できる。 ■身近にあるマーケティングの仕組みを理解し、そこから逆算してプロデュース&ディレクションを理解できるようになる。 ■プロデュース&ディレクションを学ぶことで、エンターテインメント業界に限らず、一般企業のビジネスの全体像が理解できるようになる。 ■タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場が理解できるようになる。 ■ゼロから1を作る方法がわかる。							

授業計画・内容	
1回目	プロデュースの実務的な考え方を理解する
2回目	ゼロから1を生み出す方法を学ぶ
3回目	アイデアを形にするプロセスを理解する
4回目	ターゲット設定とペルソナ設計を行う
5回目	コンセプト設計の方法を学ぶ
6回目	商品・サービス設計を行う
7回目	価値提供の考え方を学ぶ
8回目	リスクリバーサル概念を理解する
9回目	相手の立場に立った提案方法を学ぶ
10回目	企画の魅力を伝える方法を学ぶ
11回目	ジョイントベンチャーの仕組みを理解する
12回目	戦略的提携の事例を分析する
13回目	コラボレーション企画を考える
14回目	チームで企画立案を行う
15回目	役割分担と進行管理を行う
準備学習 時間外学習	目標①：プロデュースやディレクションはチームの中で各々が主体性を発揮して物事を進めることが大切です。授業でも主体性を発揮してください。 目標②：プロデュースやディレクションは質問の質が非常に重要です。授業では1人1回は講師に質問するという目標を持って臨んでください。 目標③：プロデューサーやディレクターは目的や理由、コンセプトを持って仕事します。授業を受ける目的と目標を毎回明確にして臨んでください。
評価方法	■出席率：60% ■受講態度：20% ■【到達目標に対する達成度】：20%
受講生への メッセージ	魅力：プロデュースやディレクションというスキルはエンタテインメント業界はもちろん、ほとんどの業界や企業で必要とされている役割です。あらゆる業界の事例を基にたくさん考えて、検証し、企画して、事例を見て、聞いて、触れて、行動しながら学ぶことで、どの分野でも活用できるようになります。そして今まで見えていなかった世界がずっとたくさん見えるようになり、可能性が広がっていくことを実感できるので楽しみにしててください。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	企画制作Ⅳ Produce&Direction Work	必修 選択	必修 選択	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜1・2限目
【授業の学習内容】 ◆猛スピードで変化していく社会では、個人や企業がひとつひとつゼロからその分野を極めていく時間はありません。そのためすべて自分(自社)で完結するのではなく、得意分野を組み合わせるように他者(他社)と協力することがとても大切な時代になりました。「良いものを作れば売れる」という時代ではなく、お客様が欲しいものをヒアリングし、「売れる流れを作る」ことがとても大切になっています。そしてフリーランス(個人)が活躍できる場が増えていることから、専門スキルを身につけるのはもちろんですが、その先のお客様にその物や技術、サービスを届ける力も必要になっています。これからは時間や物量で仕事をするのではなく、発想で仕事をする時代です。競合ではなく協力する考え方が必要なため、新しい価値を創造(プロデュース)し、協力者を募り、チームをマネジメントしディレクションできる人を育てていきます。 ◆プロデュース(何かを創造する)や、ディレクション(それらを指揮する)は、すべての科目に大きく関係します。各科目のスキルをビジネスに展開することで社会と繋がることができ、継続的にお客様(ファン)のニーズを満たすことができます。 ◆プロデュース&ディレクションを学ぶことで、エンタメ業界に限らず、どの業界でも通用する原理原則があることを勉強します。世の中で起こっているさまざまな戦略の基本が理解できるようになり、学生自らがイメージしたアイデアを具現化でき、自己表現ができるようになります。具体的には、講義形式(座学)とグループワーク(演習)を中心に構成します。グループワークでは、エンタメ業界や日常生活にある事例や課題を見つけ、みんなで考えをシェアし、どのような仕組みになっているかを紐解いていきます。またプロデュース&ディレクションに必要なマネジメント、コミュニケーション、マーケティングの勉強・体験もしていきます。学ぶことも大切にしなが、卒業後に即戦力となるように在学中から"実際にやってみる"ということに慣れるため、実践の場もあります。							
【到達目標】 ■シミュレーション演習によって、今まで知らない職種や立場を理解し、業界の全体像を理解できるようになる。 ■プロデュースやディレクションを行う上でのコミュニケーションの大切さを理解できる。 ■身近にあるマーケティングの仕組みを理解し、そこから逆算してプロデュース&ディレクションを理解できるようになる。 ■プロデュース&ディレクションを学ぶことで、エンターテイメント業界に限らず、一般企業のビジネスの全体像が理解できるようになる。 ■タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場が理解できるようになる。 ■ゼロから1を作る方法がわかる。							

授業計画・内容	
1回目	プレゼン資料の作成を行う
2回目	プレゼンテーションを実施する
3回目	フィードバックを受けて改善する
4回目	プロジェクトのブラッシュアップを行う
5回目	マーケティング視点で企画を再設計する
6回目	SNSやメディアとの連動を考える
7回目	集客導線の設計を学ぶ
8回目	プロモーション戦略を立てる
9回目	実践に近い企画を完成させる
10回目	小規模アウトプットを実施する
11回目	結果を分析する
12回目	改善案を作成する
13回目	チームで再提案を行う
14回目	応用内容の振り返りを行う
15回目	講評と総括を行う
準備学習 時間外 学習	目標①：プロデュースやディレクションはチームの中で各々が主体性を発揮して物事を進めることが大切です。授業でも主体性を発揮してください。 目標②：プロデュースやディレクションは質問の質が非常に重要です。授業では1人1回は講師に質問するという目標を持って臨んでください。 目標③：プロデューサーやディレクターは目的や理由、コンセプトを持って仕事します。授業を受ける目的と目標を毎回明確にして臨んでください。
評価方法	■出席率：60% ■受講態度：20% ■【到達目標に対する達成度】：20%
受講生への メッセージ	魅力：プロデュースやディレクションというスキルはエンタテインメント業界はもちろん、ほとんどの業界や企業で必要とされている役割です。あらゆる業界の事例を基にたくさん考えて、検証し、企画して、事例を見て、聞いて、触れて、行動しながら学ぶことで、どの分野でも活用できるようになります。そして今まで見えていなかった世界がずっとたくさん見えるようになり、可能性が広がっていくことを実感できるので楽しみにしててください。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	企画制作Ⅴ Produce&Direction Work	必修 選択	必修 選択	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	前期 火曜1・2限目
【授業の学習内容】 ◆猛スピードで変化していく社会では、個人や企業がひとつひとつゼロからその分野を極めていく時間はありません。そのためすべて自分(自社)で完結するのではなく、得意分野を組み合わせるように他者(他社)と協力することがとても大切な時代になりました。「良いものを作れば売れる」という時代ではなく、お客様が欲しいものをヒアリングし、「売れる流れを作る」ことがとても大切になっています。そしてフリーランス(個人)が活躍できる場が増えていることから、専門スキルを身につけるのはもちろんですが、その先のお客様にその物や技術、サービスを届ける力も必要になっています。これからは時間や物量で仕事をするのではなく、発想で仕事をする時代です。競争ではなく協力する考え方が必要なため、新しい価値を創造(プロデュース)し、協力者を募り、チームをマネジメントしディレクションできる人を育てていきます。 ◆プロデュース(何かを創造する)や、ディレクション(それらを指揮する)は、すべての科目に大きく関係します。各科目のスキルをビジネスに展開することで社会と繋がることができ、継続的にお客様(ファン)のニーズを満たすことができます。 ◆プロデュース&ディレクションを学ぶことで、エンタメ業界に限らず、どの業界でも通用する原理原則があることを勉強します。世の中で起こっているさまざまな戦略の基本が理解できるようになり、学生自らがイメージしたアイデアを具現化でき、自己表現ができるようになります。具体的には、講義形式(座学)とグループワーク(演習)を中心に構成します。グループワークでは、エンタメ業界や日常生活にある事例や課題を見つけ、みんなで考えをシェアし、どのような仕組みになっているかを紐解いていきます。またプロデュース&ディレクションに必要なマネジメント、コミュニケーション、マーケティングの勉強・体験もしていきます。学ぶことも大切にしなが、卒業後に即戦力となるように在学中から"実際にやってみる"ということに慣れるため、実践の場もあります。							
【到達目標】 ■シミュレーション演習によって、今まで知らない職種や立場を理解し、業界の全体像を理解できるようになる。 ■プロデュースやディレクションを行う上でのコミュニケーションの大切さを理解できる。 ■身近にあるマーケティングの仕組みを理解し、そこから逆算してプロデュース&ディレクションを理解できるようになる。 ■プロデュース&ディレクションを学ぶことで、エンターテインメント業界に限らず、一般企業のビジネスの全体像が理解できるようになる。 ■タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場が理解できるようになる。 ■ゼロから1を作る方法がわかる。							

授業計画・内容	
1回目	ディレクションの役割と重要性を理解する
2回目	プロジェクト全体管理の方法を学ぶ
3回目	スケジュール設計を行う
4回目	タスク管理の手法を学ぶ
5回目	チームマネジメントの基本を理解する
6回目	コミュニケーションの重要性を学ぶ
7回目	テレマーケティングの基礎を学ぶ
8回目	交渉術と折衝力を身につける
9回目	クライアント対応の基本を学ぶ
10回目	トラブル対応とリスク管理を学ぶ
11回目	企画を実行に移す準備を行う
12回目	実際のプロジェクトを立ち上げる
13回目	制作進行を管理する
14回目	チーム内で役割を遂行する
15回目	中間報告を行う
準備学習 時間外学習	目標①：プロデュースやディレクションはチームの中で各々が主体性を発揮して物事を進めることが大切です。授業でも主体性を発揮してください。 目標②：プロデュースやディレクションは質問の質が非常に重要です。授業では1人1回は講師に質問するという目標を持って臨んでください。 目標③：プロデューサーやディレクターは目的や理由、コンセプトを持って仕事します。授業を受ける目的と目標を毎回明確にして臨んでください。
評価方法	■出席率：60% ■受講態度：20% ■【到達目標に対する達成度】：20%
受講生へのメッセージ	魅力：プロデュースやディレクションというスキルはエンタテインメント業界はもちろん、ほとんどの業界や企業で必要とされている役割です。あらゆる業界の事例を基にたくさん考えて、検証し、企画して、事例を見て、聞いて、触れて、行動しながら学ぶことで、どの分野でも活用できるようになります。そして今まで見えていなかった世界がずっとたくさん見えるようになり、可能性が広がっていくことを実感できるので楽しみにしてみてください。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	企画制作VI Produce&Direction Work	必修 選択	必修 選択	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜1・2限目
【授業の学習内容】 ◆猛スピードで変化していく社会では、個人や企業がひとつひとつゼロからその分野を極めていく時間はありません。そのためすべて自分(自社)で完結するのではなく、得意分野を組み合わせるように他者(他社)と協力することがとても大切な時代になりました。「良いものを作れば売れる」という時代ではなく、お客様が欲しいものをヒアリングし、「売れる流れを作る」ことがとても大切になっています。そしてフリーランス(個人)が活躍できる場が増えていることから、専門スキルを身につけるのはもちろんですが、その先のお客様にその物や技術、サービスを届ける力も必要になっています。これからは時間や物量で仕事をするのではなく、発想で仕事をする時代です。競合ではなく協力する考え方が必要なため、新しい価値を創造(プロデュース)し、協力者を募り、チームをマネジメントしディレクションできる人を育てていきます。 ◆プロデュース(何かを創造する)や、ディレクション(それらを指揮する)は、すべての科目に大きく関係します。各科目のスキルをビジネスに展開することで社会と繋がることができ、継続的にお客様(ファン)のニーズを満たすことができます。 ◆プロデュース&ディレクションを学ぶことで、エンタメ業界に限らず、どの業界でも通用する原理原則があることを勉強します。世の中で起こっているさまざまな戦略の基本が理解できるようになり、学生自らがイメージしたアイデアを具現化でき、自己表現ができるようになります。具体的には、講義形式(座学)とグループワーク(演習)を中心に構成します。グループワークでは、エンタメ業界や日常生活にある事例や課題を見つけ、みんなで考えをシェアし、どのような仕組みになっているかを紐解いていきます。またプロデュース&ディレクションに必要なマネジメント、コミュニケーション、マーケティングの勉強・体験もしていきます。学ぶことも大切にしなが、卒業後に即戦力となるように在学中から"実際にやってみる"ということに慣れるため、実践の場もあります。							
【到達目標】 ■シミュレーション演習によって、今まで知らない職種や立場を理解し、業界の全体像を理解できるようになる。 ■プロデュースやディレクションを行う上でのコミュニケーションの大切さを理解できる。 ■身近にあるマーケティングの仕組みを理解し、そこから逆算してプロデュース&ディレクションを理解できるようになる。 ■プロデュース&ディレクションを学ぶことで、エンターテイメント業界に限らず、一般企業のビジネスの全体像が理解できるようになる。 ■タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場が理解できるようになる。 ■ゼロから1を作る方法がわかる。							

授業計画・内容	
1回目	フィードバックを受けて改善する
2回目	プロジェクトを継続的に運営する
3回目	市場の反応を分析する
4回目	改善施策を実行する
5回目	成果を最大化する工夫を行う
6回目	実務に近い環境で運営する
7回目	チーム内の問題解決を行う
8回目	プロジェクトの最終調整を行う
9回目	成果物を完成させる
10回目	最終プレゼンを準備する
11回目	プレゼンテーションを実施する
12回目	講評と評価を受ける
13回目	改善点を整理する
14回目	ポートフォリオ化を行う
15回目	実践内容の総括を行う
準備学習 時間外 学習	目標①：プロデュースやディレクションはチームの中で各々が主体性を発揮して物事を進めることが大切です。授業でも主体性を発揮してください。 目標②：プロデュースやディレクションは質問の質が非常に重要です。授業では1人1回は講師に質問するという目標を持って臨んでください。 目標③：プロデューサーやディレクターは目的や理由、コンセプトを持って仕事します。授業を受ける目的と目標を毎回明確にして臨んでください。
評価方法	■出席率：60% ■受講態度：20% ■【到達目標に対する達成度】：20%
受講生への メッセージ	魅力：プロデュースやディレクションというスキルはエンタテインメント業界はもちろん、ほとんどの業界や企業で必要とされている役割です。あらゆる業界の事例を基にたくさん考えて、検証し、企画して、事例を見て、聞いて、触れて、行動しながら学ぶことで、どの分野でも活用できるようになります。そして今まで見えていなかった世界がずっとたくさん見えるようになり、可能性が広がっていくことを実感できるので楽しみにしててください。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	企画制作Ⅶ Produce&Direction Work	必修 選択	必修 選択	年次	4		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	前期 火曜1・2限目
【授業の学習内容】 ◆猛スピードで変化していく社会では、個人や企業がひとつひとつゼロからその分野を極めていく時間はありません。そのためすべて自分(自社)で完結するのではなく、得意分野を組み合わせるように他者(他社)と協力することがとても大切な時代になりました。「良いものを作れば売れる」という時代ではなく、お客様が欲しいものをヒアリングし、「売れる流れを作る」ことがとても大切になっています。そしてフリーランス(個人)が活躍できる場が増えていることから、専門スキルを身につけるのはもちろんですが、その先のお客様にその物や技術、サービスを届ける力も必要になっています。これからは時間や物量で仕事をするのではなく、発想で仕事をする時代です。競合ではなく協力する考え方が必要なため、新しい価値を創造(プロデュース)し、協力者を募り、チームをマネジメントしディレクションできる人を育てていきます。 ◆プロデュース(何かを創造する)や、ディレクション(それらを指揮する)は、すべての科目に大きく関係します。各科目のスキルをビジネスに展開することで社会と繋がることができ、継続的にお客様(ファン)のニーズを満たすことができます。 ◆プロデュース&ディレクションを学ぶことで、エンタメ業界に限らず、どの業界でも通用する原理原則があることを勉強します。世の中で起こっているさまざまな戦略の基本が理解できるようになり、学生自らがイメージしたアイデアを具現化でき、自己表現ができるようになります。具体的には、講義形式(座学)とグループワーク(演習)を中心に構成します。グループワークでは、エンタメ業界や日常生活にある事例や課題を見つけ、みんなで考えをシェアし、どのような仕組みになっているかを紐解いていきます。またプロデュース&ディレクションに必要なマネジメント、コミュニケーション、マーケティングの勉強・体験もしていきます。学ぶことも大切にしなが、卒業後に即戦力となるように在学中から"実際にやってみる"ということに慣れるため、実践の場もあります。							
【到達目標】 ■シミュレーション演習によって、今まで知らない職種や立場を理解し、業界の全体像を理解できるようになる。 ■プロデュースやディレクションを行う上でのコミュニケーションの大切さを理解できる。 ■身近にあるマーケティングの仕組みを理解し、そこから逆算してプロデュース&ディレクションを理解できるようになる。 ■プロデュース&ディレクションを学ぶことで、エンターテインメント業界に限らず、一般企業のビジネスの全体像が理解できるようになる。 ■タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場が理解できるようになる。 ■ゼロから1を作る方法がわかる。							

授業計画・内容	
1回目	実務レベルのプロデュース思考を理解する
2回目	クライアントワークの全体像を学ぶ
3回目	課題発見と要件定義を行う
4回目	市場分析と競合分析を行う
5回目	戦略立案を行う
6回目	施策設計を行う
7回目	チーム編成を行う
8回目	プロジェクトマネジメントを実践する
9回目	実案件を想定した企画を進行する
10回目	スケジュールとコスト管理を行う
11回目	実行フェーズを進める
12回目	問題発生時の対応を行う
13回目	クオリティ管理を行う
14回目	成果を分析する
15回目	改善施策を提案する
準備学習 時間外学習	目標①：プロデュースやディレクションはチームの中で各々が主体性を発揮して物事を進めることが大切です。授業でも主体性を発揮してください。 目標②：プロデュースやディレクションは質問の質が非常に重要です。授業では1人1回は講師に質問するという目標を持って臨んでください。 目標③：プロデューサーやディレクターは目的や理由、コンセプトを持って仕事します。授業を受ける目的と目標を毎回明確にして臨んでください。
評価方法	■出席率：60% ■受講態度：20% ■【到達目標に対する達成度】：20%
受講生への メッセージ	魅力：プロデュースやディレクションというスキルはエンタテインメント業界はもちろん、ほとんどの業界や企業で必要とされている役割です。あらゆる業界の事例を基にたくさん考えて、検証し、企画して、事例を見て、聞いて、触れて、行動しながら学ぶことで、どの分野でも活用できるようになります。そして今まで見えていなかった世界がずっとたくさん見えるようになり、可能性が広がっていくことを実感できるので楽しみにしてみてください。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	企画制作Ⅷ Produce&Direction Work)	必修 選択	必修 選択	年次	4		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜1・2限目
【授業の学習内容】 ◆猛スピードで変化していく社会では、個人や企業がひとつひとつゼロからその分野を極めていく時間はありません。そのためすべて自分(自社)で完結するのではなく、得意分野を組み合わせるように他者(他社)と協力することがとても大切な時代になりました。「良いものを作れば売れる」という時代ではなく、お客様が欲しいものをヒアリングし、「売れる流れを作る」ことがとても大切になっています。そしてフリーランス(個人)が活躍できる場が増えていることから、専門スキルを身につけるのはもちろんですが、その先のお客様にその物や技術、サービスを届ける力も必要になっています。これからは時間や物量で仕事をするのではなく、発想で仕事をする時代です。競合ではなく協力する考え方が必要なため、新しい価値を創造(プロデュース)し、協力者を募り、チームをマネジメントしディレクションできる人を育てていきます。 ◆プロデュース(何かを創造する)や、ディレクション(それらを指揮する)は、すべての科目に大きく関係します。各科目のスキルをビジネスに展開することで社会と繋がることができ、継続的にお客様(ファン)のニーズを満たすことができます。 ◆プロデュース&ディレクションを学ぶことで、エンタメ業界に限らず、どの業界でも通用する原理原則があることを勉強します。世の中で起こっているさまざまな戦略の基本が理解できるようになり、学生自らがイメージしたアイデアを具現化でき、自己表現ができるようになります。具体的には、講義形式(座学)とグループワーク(演習)を中心に構成します。グループワークでは、エンタメ業界や日常生活にある事例や課題を見つけ、みんなで考えをシェアし、どのような仕組みになっているかを紐解いていきます。またプロデュース&ディレクションに必要なマネジメント、コミュニケーション、マーケティングの勉強・体験もしていきます。学ぶことも大切にしなが、卒業後に即戦力となるように在学中から"実際にやってみる"ということに慣れるため、実践の場もあります。							
【到達目標】 ■ シミュレーション演習によって、今まで知らない職種や立場を理解し、業界の全体像を理解できるようになる。 ■ プロデュースやディレクションを行う上でのコミュニケーションの大切さを理解できる。 ■ 身近にあるマーケティングの仕組みを理解し、そこから逆算してプロデュース&ディレクションを理解できるようになる。 ■ プロデュース&ディレクションを学ぶことで、エンターテイメント業界に限らず、一般企業のビジネスの全体像が理解できるようになる。 ■ タレント側、クライアント側、関係各所の気持ちや立場が理解できるようになる。 ■ ゼロから1を作る方法がわかる。							

授業計画・内容	
1回目	プレゼン資料を作成する
2回目	クライアント視点で提案を行う
3回目	フィードバックを反映する
4回目	企画をブラッシュアップする
5回目	実務レベルの完成度に仕上げる
6回目	デモリールやポートフォリオにまとめる
7回目	自己ブランディングを設計する
8回目	就職・独立に向けた戦略を立てる
9回目	面接・営業用プレゼンを作成する
10回目	最終プロジェクトを完成させる
11回目	卒業制作として発表を行う
12回目	講評と評価を受ける
13回目	最終ブラッシュアップを行う
14回目	4年間の振り返りを行う
15回目	今後のキャリア目標を設定する
準備学習 時間外 学習	目標①：プロデュースやディレクションはチームの中で各々が主体性を発揮して物事を進めることが大切です。授業でも主体性を発揮してください。 目標②：プロデュースやディレクションは質問の質が非常に重要です。授業では1人1回は講師に質問するという目標を持って臨んでください。 目標③：プロデューサーやディレクターは目的や理由、コンセプトを持って仕事します。授業を受ける目的と目標を毎回明確にして臨んでください。
評価方法	■出席率：60% ■受講態度：20% ■【到達目標に対する達成度】：20%
受講生への メッセージ	魅力：プロデュースやディレクションというスキルはエンタテインメント業界はもちろん、ほとんどの業界や企業で必要とされている役割です。あらゆる業界の事例を基にたくさん考えて、検証し、企画して、事例を見て、聞いて、触れて、行動しながら学ぶことで、どの分野でも活用できるようになります。そして今まで見えていなかった世界がきっとたくさん見えるようになり、可能性が広がっていくことを実感できるので楽しみにしててください。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	配信技術 I Video Distribution technology I)	必修 選択	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜4
【授業の学習内容】 配信におけるサウンドと映像の基礎知識を身につけ、生ライブの運営のみならず配信ライブの運営にも携われる技術を身につける。							
【到達目標】 ライブイベント等の収録配信・ライブ配信を行えるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	配信の基礎知識(オンデマンドとライブ)、OBSの導入と使用方法
2回目	簡単な配信ライブのセッティング(Roland VR-50HD mk II の使用法①)
3回目	クロップとクロマキー合成(Roland VR-51HD mk II の使用法②)
4回目	簡単な配信ライブの本番運営
5回目	中規模な配信ライブのシステム構築(ATEM Studio使用法、オーディオインターフェースの使用法)
6回目	配信ライブにおけるサウンドミックス① (ライブサウンドの考え方と知識、エフェクター処理)
7回目	配信ライブにおけるサウンドミックス② (マスタリングとLOUDNESS値)
8回目	中規模な配信ライブのシステム構築と本番運営①
9回目	中規模な配信ライブのシステム構築と本番運営②
10回目	ライブにおけるカメラワーク① (ライブ配信におけるカメラワークの考え方と知識、カメラの基本操作)
11回目	ライブにおけるカメラワーク② (フォーカス、色合い、明るさの調整、ズームとパン)
12回目	中規模な配信ライブの収録と配信①
13回目	中規模な配信ライブの収録と配信②
14回目	期末特別授業
15回目	期末特別授業
準備学習 時間外学習	予習・復習 PC操作
評価方法	期末テスト
受講生への メッセージ	新しいライブイベントの形である、配信ライブを皆さんでも行えるように、しっかりと知識と技術を身につけましょう
【使用教科書・教材・参考書】 パソコン	

科目名 (英)	配信技術Ⅱ Video Distribution technologyⅡ	必修 選択	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜5限
【授業の学習内容】 配信におけるサウンドと映像の基礎知識を身につけ、生ライブの運営のみならず配信ライブの運営にも携われる技術を身につける。							
【到達目標】 ライブイベント等の収録配信・ライブ配信を行えるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	収録配信の基礎知識
2回目	収録配信を含むライブ配信のシステム構築
3回目	レイテンシーとリップシンク
4回目	ワイプを使った映像配信① システムの構築と設定
5回目	ワイプを使った映像配信② ゲーム実況におけるシステムの構築
6回目	ワイプを使った映像配信③ eSports大会におけるシステムの構築
7回目	収録配信における映像と音の編集①
8回目	収録配信における映像と音の編集②
9回目	さまざまなイベントを想定したライブ配信システムの構築①
10回目	さまざまなイベントを想定したライブ配信システムの構築②
11回目	さまざまなイベントを想定したライブ配信システムの構築と運営①
12回目	さまざまなイベントを想定したライブ配信システムの構築と運営②
13回目	イベント実習
14回目	卒業進級制作準備
15回目	卒業進級制作準備
準備学習 時間外学 習	予習・復習 PC操作
評価方法	期末テスト
受講生への メッセージ	新しいライブイベントの形である、配信ライブを皆さんでも行えるように、しっかりと知識と技術を身につけましょう
【使用教科書・教材・参考書】 パソコン	

科目名 (英)	配信技術Ⅲ Video Distribution technologyⅢ	必修 選択	選択必修	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜4
【授業の学習内容】 配信におけるサウンドと映像の基礎知識を身につけ、生ライブの運営のみならず配信ライブの運営にも携われる技術を身につける。							
【到達目標】 ライブイベント等の収録配信・ライブ配信を行えるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	小規模イベント向けの配信機材選定と設計①（ケーブル、入力系統の確認）
2回目	小規模イベント向けの配信機材選定と設計②（スイッチャー／ミキサー運用）
3回目	会場における音響と配信音声の最適化①（集音の基本）
4回目	会場における音響と配信音声の最適化②（PAとの連携）
5回目	配信の進行表とオペレーション台本の作成
6回目	複数カメラ配信における構成とスイッチング
7回目	カメラマンとの連携、カメラ指示とモニタリング
8回目	配信画面のデザインとレイアウト設計（L字、テロップ、ロゴなど）
9回目	配信シミュレーション演習①（準備とテスト）
10回目	配信シミュレーション演習②（本番対応）
11回目	通信トラブル対処とバックアップ体制の構築
12回目	安定した配信を実現するためのネットワーク構成と知識
13回目	実際の配信イベント設計・準備①
14回目	実際の配信イベント設計・準備②
15回目	小規模イベント配信 実施本番
準備学習 時間外学 習	予習・復習 PC操作
評価方法	期末テスト
受講生への メッセージ	新しいライブイベントの形である、配信ライブを皆さんでも行えるように、しっかりと知識と技術を身につけましょう
【使用教科書・教材・参考書】 パソコン	

科目名 (英)	配信技術Ⅳ Video Distribution technologyⅣ)	必修 選択	選択必修	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜5限
【授業の学習内容】 配信におけるサウンドと映像の基礎知識を身につけ、生ライブの運営のみならず配信ライブの運営にも携われる技術を身につける。							
【到達目標】 ライブイベント等の収録配信・ライブ配信を行えるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	番組形式配信の基礎（進行、構成、素材の準備）
2回目	テロップとオープニング・エンディングの作成と挿入
3回目	リアルタイムでのメディア管理とタイムライン意識
4回目	視聴者とのインタラクティブな要素（コメント連携・画面反映）
5回目	ストリーミングプラットフォーム（YouTube, Twitchなど）の設定
6回目	配信イベントにおけるリハーサル的重要性と進め方
7回目	番組形式配信の事前準備と役割分担
8回目	番組形式配信 本番①
9回目	番組形式配信 本番②
10回目	トラブル対応のロールプレイング
11回目	映像と音声のトラブル事例研究
12回目	配信イベントのアーカイブ処理と動画編集
13回目	配信内容のダイジェスト制作①（Premiere Proの活用）
14回目	配信内容のダイジェスト制作②（After Effectsの活用）
15回目	振り返り・発表・フィードバック
準備学習 時間外学 習	予習・復習 PC操作
評価方法	期末テスト
受講生への メッセージ	新しいライブイベントの形である、配信ライブを皆さんでも行えるように、しっかりと知識と技術を身につけましょう
【使用教科書・教材・参考書】 パソコン	

科目名 (英)	編集技術 I Editing Technology I	必修 選択	選択必修	年次	1年		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜1限
【授業の学習内容】 文章や映像などのコンテンツを編集するためのスキルを学習します。 <講師プロフィール> 株式会社ヒューマンセントリックスで5年間、イベントのOPやダイジェスト、会社紹介や商品紹介などさまざまな映像の編集業務を担当。その後はフリーランスとして主にNHKの番組のOP映像やテロップ編集、映像の構成からアニメーション部分などを担当する。							
【到達目標】 情報を整理し、構成を調整し、最終的な成果物を魅力的に仕上げる能力を向上させます。 実習や実践的な経験を積むことで、エディティングスキルを向上させます。							

授業計画・内容	
1回目	映像編集の歴史と基本原理①
2回目	映像編集の歴史と基本原理②□
3回目	編集ソフトウェアの紹介と操作方法①
4回目	編集ソフトウェアの紹介と操作方法②□
5回目	プロジェクトの作成と設定①
6回目	プロジェクトの作成と設定②
7回目	カットの種類と効果①
8回目	カットの種類と効果②
9回目	トランジションの使い方と表現効果①
10回目	トランジションの使い方と表現効果②□
11回目	タイミングとリズムの調整①
12回目	タイミングとリズムの調整②
13回目	タイミングとリズムの調整③
14回目	期末テスト
15回目	振り返り
準備学習 時間外学 習	パソコンを使用しての編集作業になります。 普段からパソコンを使用し、パソコン操作に慣れてください。
評価方法	■出席率：40% ■受講態度：30% ■【到達目標に対する達成度】：30%
受講生への メッセージ	映像制作、広告、メディア業界、コンテンツ制作など、さまざまな職業において重要なスキルとなります。 しっかり学習しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	編集技術Ⅱ Editing TechnologyⅡ	必修 選択	選択必修	年次	1年		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 木曜1限
【授業の学習内容】 文章や映像などのコンテンツを編集するためのスキルを学習します。 <講師プロフィール> 株式会社ヒューマンセントリックスで5年間、イベントのOPやダイジェスト、会社紹介や商品紹介などさまざまな映像の編集業務を担当。その後はフリーランスとして主にNHKの番組のOP映像やテロップ編集、映像の構成からアニメーション部分などを担当する。							
【到達目標】 情報を整理し、構成を調整し、最終的な成果物を魅力的に仕上げる能力を向上させます。 実習や実践的な経験を積むことで、エディティングスキルを向上させます。							

授業計画・内容	
1回目	ショットの組み合わせとストーリーテリング①
2回目	ショットの組み合わせとストーリーテリング②
3回目	タイムラインの操作とシーケンシャルフロー①
4回目	タイムラインの操作とシーケンシャルフロー②
5回目	モンタージュの構築と感情表現①
6回目	モンタージュの構築と感情表現②
7回目	オーディオトラックの追加と編集①
8回目	オーディオトラックの追加と編集②
9回目	レベル調整とミキシング①
10回目	レベル調整とミキシング②
11回目	サウンドエフェクトと音楽の組み込み①
12回目	サウンドエフェクトと音楽の組み込み②
13回目	卒業進級制作 準備①
14回目	卒業進級制作 準備②
15回目	卒業進級制作 評価・振り返り
準備学習 時間外学 習	パソコンを使用しての編集作業になります。 普段からパソコンを使用し、パソコン操作に慣れてください。
評価方法	■出席率：40% ■受講態度：30% ■【到達目標に対する達成度】：30%
受講生への メッセージ	映像制作、広告、メディア業界、コンテンツ制作など、さまざまな職業において重要なスキルとなります。 しっかり学習しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	編集技術Ⅲ Editing TechnologyⅢ	必修 選択	選択必修	年次	2年		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜2限
【授業の学習内容】 文章や映像などのコンテンツを編集するためのスキルを学習します。 ＜講師プロフィール＞ 株式会社ヒューマンセントリックスで5年間、イベントのOPやダイジェスト、会社紹介や商品紹介などさまざまな映像の編集業務を担当。その後はフリーランスとして主にNHKの番組のOP映像やテロップ編集、映像の構成からアニメーション部分などを担当する。							
【到達目標】 情報を整理し、構成を調整し、最終的な成果物を魅力的に仕上げる能力を向上させます。 実習や実践的な経験を積むことで、エディティングスキルを向上させます。							

授業計画・内容	
1回目	カラーコレクションとトーン補正①
2回目	カラーコレクションとトーン補正②
3回目	カラーグレーディングの基本技術①
4回目	カラーグレーディングの基本技術②
5回目	色調の統一とムードの演出①
6回目	色調の統一とムードの演出②
7回目	タイトルの追加と編集①
8回目	タイトルの追加と編集②
9回目	テキストアニメーションとエフェクト①
10回目	テキストアニメーションとエフェクト②
11回目	字幕の挿入とタイミング調整①
12回目	字幕の挿入とタイミング調整②
13回目	字幕の挿入とタイミング調整③
14回目	期末テスト
15回目	振り返り
準備学習 時間外学 習	パソコンを使用しての編集作業になります。 普段からパソコンを使用し、パソコン操作に慣れてください。
評価方法	■出席率：40% ■受講態度：30% ■【到達目標に対する達成度】：30%
受講生への メッセージ	映像制作、広告、メディア業界、コンテンツ制作など、さまざまな職業において重要なスキルとなります。 しっかり学習しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	編集技術Ⅳ Editing TechnologyⅣ	必修 選択	選択必修	年次	2年		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 木曜2限
【授業の学習内容】 文章や映像などのコンテンツを編集するためのスキルを学習します。 ＜講師プロフィール＞ 株式会社ヒューマンセントリックスで5年間、イベントのOPやダイジェスト、会社紹介や商品紹介などさまざまな映像の編集業務を担当。その後はフリーランスとして主にNHKの番組のOP映像やテロップ編集、映像の構成からアニメーション部分などを担当する。							
【到達目標】 情報を整理し、構成を調整し、最終的な成果物を魅力的に仕上げる能力を向上させます。 実習や実践的な経験を積むことで、エディティングスキルを向上させます。							

授業計画・内容	
1回目	ビジュアルエフェクトの種類と応用①
2回目	ビジュアルエフェクトの種類と応用②
3回目	グリーンスクリーン合成とクロマキー①
4回目	グリーンスクリーン合成とクロマキー②
5回目	グリーンスクリーン合成とクロマキー③
6回目	パーティクルエフェクトとモーショングラフィックス①
7回目	パーティクルエフェクトとモーショングラフィックス②
8回目	パーティクルエフェクトとモーショングラフィックス③
9回目	プリプロダクションとシナリオの分析①
10回目	プリプロダクションとシナリオの分析②
11回目	プロジェクトの組織と管理①
12回目	プロジェクトの組織と管理②
13回目	クライアントのフィードバックと修正
14回目	卒業進級制作 準備
15回目	卒業進級制作 準備
準備学習 時間外学 習	パソコンを使用しての編集作業になります。 普段からパソコンを使用し、パソコン操作に慣れてください。
評価方法	■出席率：40% ■受講態度：30% ■【到達目標に対する達成度】：30%
受講生への メッセージ	映像制作、広告、メディア業界、コンテンツ制作など、さまざまな職業において重要なスキルとなります。 しっかり学習しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	編集技術V Editing Technology V	必修 選択	選択必修	年次	3年		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	通年 木曜3限
【授業の学習内容】 文章や映像などのコンテンツを編集するためのスキルを学習します。 ＜講師プロフィール＞ 株式会社ヒューマンセントリックスで5年間、イベントのOPやダイジェスト、会社紹介や商品紹介などさまざまな映像の編集業務を担当。その後はフリーランスとして主にNHKの番組のOP映像やテロップ編集、映像の構成からアニメーション部分などを担当する。							
【到達目標】 情報を整理し、構成を調整し、最終的な成果物を魅力的に仕上げる能力を向上させます。 実習や実践的な経験を積むことで、エディティングスキルを向上させます。							

授業計画・内容	
1回目	マルチカメラの撮影と編集①
2回目	マルチカメラの撮影と編集②
3回目	マルチカメラの撮影と編集③
4回目	マルチカメラの撮影と編集④
5回目	マルチアングルシーケンスの組み立て①
6回目	マルチアングルシーケンスの組み立て②
7回目	マルチアングルシーケンスの組み立て③
8回目	マルチアングルシーケンスの組み立て④
9回目	ライブイベントの編集と配信①
10回目	ライブイベントの編集と配信②
11回目	ライブイベントの編集と配信③
12回目	ライブイベントの編集と配信④
13回目	ライブイベントの編集と配信⑤
14回目	卒業進級制作 準備
15回目	卒業進級制作 準備
準備学習 時間外学 習	パソコンを使用しての編集作業になります。 普段からパソコンを使用し、パソコン操作に慣れてください。
評価方法	■出席率：40% ■受講態度：30% ■【到達目標に対する達成度】：30%
受講生への メッセージ	映像制作、広告、メディア業界、コンテンツ制作など、さまざまな職業において重要なスキルとなります。 しっかり学習しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	編集技術VI Editing TechnologyVI	必修 選択	選択必修	年次	3年		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	通年 木曜3限
【授業の学習内容】 文章や映像などのコンテンツを編集するためのスキルを学習します。 <講師プロフィール> 株式会社ヒューマンセントリックスで5年間、イベントのOPやダイジェスト、会社紹介や商品紹介などさまざまな映像の編集業務を担当。その後はフリーランスとして主にNHKの番組のOP映像やテロップ編集、映像の構成からアニメーション部分などを担当する。							
【到達目標】 情報を整理し、構成を調整し、最終的な成果物を魅力的に仕上げる能力を向上させます。 実習や実践的な経験を積むことで、エディティングスキルを向上させます。							

授業計画・内容	
1回目	映像フォーマットと圧縮設定
2回目	映像フォーマットと圧縮設定
3回目	オンラインプラットフォームへのアップロード
4回目	映像制作のポートフォリオ作成
5回目	映像制作のポートフォリオ作成
6回目	映像制作のポートフォリオ作成□
7回目	映像制作のポートフォリオ作成□
8回目	映像制作のポートフォリオ作成□
9回目	卒業制作①
10回目	卒業制作②
11回目	卒業制作③
12回目	卒業制作④
13回目	卒業進級制作 準備①
14回目	卒業進級制作 準備②
15回目	卒業進級制作 評価・振り返り
準備学習 時間外学 習	パソコンを使用しての編集作業になります。 普段からパソコンを使用し、パソコン操作に慣れてください。
評価方法	■出席率：40% ■受講態度：30% ■【到達目標に対する達成度】：30%
受講生への メッセージ	映像制作、広告、メディア業界、コンテンツ制作など、さまざまな職業において重要なスキルとなります。 しっかり学習しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	編集技術Ⅶ Editing TechnologyⅦ	必修 選択	選択必修	年次	4年		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	通年 木曜4限
【授業の学習内容】 文章や映像などのコンテンツを編集するためのスキルを学習します。 <講師プロフィール> 株式会社ヒューマンセントリックスで5年間、イベントのOPやダイジェスト、会社紹介や商品紹介などさまざまな映像の編集業務を担当。その後はフリーランスとして主にNHKの番組のOP映像やテロップ編集、映像の構成からアニメーション部分などを担当する。							
【到達目標】 情報を整理し、構成を調整し、最終的な成果物を魅力的に仕上げる能力を向上させます。 実習や実践的な経験を積むことで、エディティングスキルを向上させます。							

授業計画・内容	
1回目	トーン＆ムード別演出スタイルの研究①（シネマ／ドラマ）
2回目	トーン＆ムード別演出スタイルの研究②（CM／MV）
3回目	映像ジャンルごとの編集スタイル分析①（ドキュメンタリー）
4回目	映像ジャンルごとの編集スタイル分析②（SNS向け動画）
5回目	ストック素材やフッテージの活用と著作権理解
6回目	効果的なBGM選定と演出（雰囲気の変化を操る）
7回目	モーショングラフィックス応用（After Effects連携）
8回目	ロゴアニメーションとイントロ動画制作①
9回目	ロゴアニメーションとイントロ動画制作②
10回目	スピード編集演習：短時間で高品質を目指す
11回目	編集者の視点：他者の作品分析とコメント実習
12回目	グループ制作①：チームで映像を構成・分担
13回目	グループ制作②：演出と編集の最終調整
14回目	グループ制作③：プレゼン準備とスライド作成
15回目	グループ発表会：講評と自己評価／相互フィードバック
準備学習 時間外学 習	パソコンを使用しての編集作業になります。 普段からパソコンを使用し、パソコン操作に慣れてください。
評価方法	■出席率：40% ■受講態度：30% ■【到達目標に対する達成度】：30%
受講生への メッセージ	映像制作、広告、メディア業界、コンテンツ制作など、さまざまな職業において重要なスキルとなります。 しっかり学習しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	編集技術Ⅷ Editing TechnologyⅧ	必修 選択	選択必修	年次	4年		
学科・コース	スーパーエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	通年 木曜4限
【授業の学習内容】 文章や映像などのコンテンツを編集するためのスキルを学習します。 <講師プロフィール> 株式会社ヒューマンセントリックスで5年間、イベントのOPやダイジェスト、会社紹介や商品紹介などさまざまな映像の編集業務を担当。その後はフリーランスとして主にNHKの番組のOP映像やテロップ編集、映像の構成からアニメーション部分などを担当する。							
【到達目標】 情報を整理し、構成を調整し、最終的な成果物を魅力的に仕上げる能力を向上させます。 実習や実践的な経験を積むことで、エディティングスキルを向上させます。							

授業計画・内容	
1回目	卒業・進級制作テーマ決定と企画立案
2回目	プロジェクトのスケジュール設計と役割分担
3回目	撮影素材の準備と管理方法（クラウド活用含む）
4回目	編集工程の中間レビュー①：構成と演出の確認
5回目	編集工程の中間レビュー②：音響とタイミングの調整
6回目	編集工程の中間レビュー③：エフェクトとビジュアル統一
7回目	講師チェックと改善指導：完成度向上に向けた修正
8回目	本編集作業①（個人orチーム別）
9回目	本編集作業②（ディテール調整・細部演出）
10回目	書き出し設定と最終テスト上映
11回目	成果物プレゼン資料作成（ポートフォリオ構成）
12回目	成果発表会①（グループA・B）
13回目	成果発表会②（グループC・D）
14回目	成果発表会まとめと今後の展望共有
15回目	最終振り返り・ポートフォリオ仕上げと提出
準備学習 時間外学 習	パソコンを使用しての編集作業になります。 普段からパソコンを使用し、パソコン操作に慣れてください。
評価方法	■出席率：40% ■受講態度：30% ■【到達目標に対する達成度】：30%
受講生への メッセージ	映像制作、広告、メディア業界、コンテンツ制作など、さまざまな職業において重要なスキルとなります。 しっかり学習しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	コンポジションソングライティングプロジェクト Composition Songwriting Project	必修 選択	選択必修	年次	1.2.3.4		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	360 (6)	開講区分 曜日・時限	前期 月曜2.3.4限
【授業の学習内容】 音楽プロダクション、レコードメーカー、一般企業より楽曲制作依頼を受け、滋慶学園COMグループ音楽系8校でそれぞれチームを編成し楽曲制作を行う。学生それぞれが、チームの中で役割を持ち、共同制作を行いながら実際の制作現場のシミュレーションを行う。 (講師プロフィール) 永吉啓嗣：株式会社日本芸能文化社チーフマネージャー。福岡でメジャーに向けた新人発掘、大手放送局への音楽制作まで幅広く行う。 他：福岡の第一線で現役で活躍する音楽クリエイター、アーティスト、ボーカルディレクター、レコーディング&MIXエンジニアによる講師陣							
【到達目標】 各案件での楽曲採用を最大の目標とし、総合的なクリエイティブ能力を向上させる。 1年生は主に楽曲制作スピードの向上 2年生は主に楽曲クオリティの向上 3年生、4年生はスピードとクオリティを踏まえ作品に価値を生み出しマネタイズできる実践力を身につける							

授業計画・内容	
1回目	企業課題制作／オリエンテーション
2回目	企業課題制作／コンペティション分析①
3回目	企業課題制作／プレゼンテーション基礎
4回目	企業課題制作／作品プレゼンテーション①
5回目	企業課題制作／コンペティション分析②
6回目	企業課題制作／セルフレコーディング基礎
7回目	企業課題制作／コライティング基礎
8回目	企業課題制作／作品プレゼンテーション②
9回目	企業課題制作／コンペティション分析③
10回目	企業課題制作／コードワーク基礎
11回目	企業課題制作／作品プレゼンテーション③
12回目	企業課題制作／コンペティション分析④
13回目	企業課題制作／ミックスダウン基礎
14回目	Jikei Composer GP
15回目	Jikei Composer GP
準備学習 時間外学習	課題を家に持ち帰るのではなく可能な限り授業中に集中して制作し完成させていくことを目標とします
評価方法	各案件での楽曲採用が最大の評価であり また、チーム編成である故の出席率、及び毎回の楽曲提出が最低限の評価基準となる
受講生への メッセージ	とにかく制作に向き合う時間であり、第一線で活躍する講師陣と制作を共有できる貴重な時間になります。音楽制作におけるインプットとアウトプットを兼ねた効率的な成長の場です。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	コンポジションソングライティングプロジェクト Composition Songwriting Project	必修 選択	選択必修	年次	1.2.3.4		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	360 (6)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜2.3.4限
【授業の学習内容】 音楽プロダクション、レコードメーカー、一般企業より楽曲制作依頼を受け、滋慶学園COMグループ音楽系8校でそれぞれチームを編成し楽曲制作を行う。学生それぞれが、チームの中で役割を持ち、共同制作を行いながら実際の制作現場のシミュレーションを行う。 (講師プロフィール) 永吉啓嗣：株式会社日本芸能文化社チーフマネージャー。福岡でメジャーに向けた新人発掘、大手放送局への音楽制作まで幅広く行う。 他：福岡の第一線で現役で活躍する音楽クリエイター、アーティスト、ボーカルディレクター、レコーディング&MIXエンジニアによる講師陣							
【到達目標】 各案件での楽曲採用を最大の目標とし、総合的なクリエイティブ能力を向上させる。 1年生は主に楽曲制作スピードの向上 2年生は主に楽曲クオリティの向上 3年生、4年生はスピードとクオリティを踏まえ作品に価値を生み出しマネタイズできる実践力を身につける							

授業計画・内容	
1回目	企業課題制作／コンペティション分析⑤
2回目	企業課題制作／マスタリング基礎
3回目	企業課題制作／作品プレゼンテーション⑤
4回目	企業課題制作／コンペティション分析⑥
5回目	企業課題制作／楽曲アレンジ基礎
6回目	企業課題制作／サウンドエフェクト基礎
7回目	企業課題制作／作品プレゼンテーション⑦
8回目	企業課題制作／コンペティション分析⑧
9回目	企業課題制作／ボーカルディレクション基礎
10回目	企業課題制作／作品プレゼンテーション⑧
11回目	企業課題制作／コンペティション分析⑨
12回目	企業課題制作／プロデュースワーク基礎
13回目	卒業進級制作 準備
14回目	卒業進級制作 準備
15回目	卒業進級制作 準備
準備学習 時間外 学習	課題を家に持ち帰るのではなく可能な限り授業中に集中して制作し完成させていくことを目標とします
評価方法	各案件での楽曲採用が最大の評価であり また、チーム編成である故の出席率、及び毎回の楽曲提出が最低限の評価基準となる
受講生への メッセージ	とにかく制作に向き合う時間であり、第一線で活躍する講師陣と制作を共有できる貴重な時間になります。音楽制作におけるインプットとアウトプットを兼ねた効率的な成長の場です。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	作品制作ワークショップ Creation Seminar	必修 選択	選択必修	年次	1.2.3		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	180 (12)	開講区分 曜日・時限	前期 金曜4.5限
【授業の学習内容】 本授業は学生自ら立案したプロジェクトを題材に作家／アーティストとしてのセルフプロデュース能力を高める為の授業である。プロジェクトの立案／企画／運営→作品制作→発表→検証 が一連の流れとなる。単に「楽曲を作る」ではなく、「その楽曲にどう価値を生むのか」までを現役で活躍する講師と一緒に考え、制作に取り組むことで、自身の業界における作家／アーティストとしての自立像を作っていく。 <実務者経験> 式場のバイオリン演奏者							
【到達目標】 アーティスト、クリエイターとしての「音楽を職業にする」ために必要なスキル ・実践的なクリエイティブ能力 ・戦略的なセルフプロデュース能力 を向上させる。授業の中で自身の楽曲を収益化させることを最大の目標とする。							

授業計画・内容	
1回目	オリジナル楽曲制作／オリエンテーション
2回目	オリジナル楽曲制作／講義：音楽のマネタイズについて
3回目	オリジナル楽曲制作／講義：音楽業界について
4回目	オリジナル楽曲制作／講義：作詞について
5回目	オリジナル楽曲制作／講義：ミックスダウンについて
6回目	オリジナル楽曲制作／講義：ルーツミュージックについて
7回目	オリジナル楽曲制作／講義：ヒット曲の分析法
8回目	オリジナル楽曲制作／講義：プラグインの考え方
9回目	オリジナル楽曲制作／講義：コンペの考え方
10回目	オリジナル楽曲制作／講義：SNS戦略について
11回目	オリジナル楽曲制作／講義：メタバースについて
12回目	オリジナル楽曲制作／講義：サブスクリプションサービスについて
13回目	オリジナル楽曲制作／講義：著作権について
14回目	配信リリースイベント
15回目	配信リリースイベント
準備学習 時間外学 習	
評価方法	半期に最低1曲をアウトプットすることが最低限の評価基準とする
受講生への メッセージ	音楽業界はレーベル一強の時代から完全に個の時代に入っています。アーティストも作家も、狭い偏った知識・技術だけでは仕事になりません。多角的な視点で自らの音楽を分析し、制作し、行動し、しっかりと結果を出すことがとても重要です。皆さんが各々に自分の新たな可能性を見出し、その音楽の世界を広げることを、本授業担当講師は目標にします。一緒に充実した楽しい授業にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	作品制作ワークショップ Creation Seminar	必修 選択	選択必修	年次	1.2.3		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	180 (12)	開講区分 曜日・時限	後期 金曜4.5限
【授業の学習内容】 本授業は学生自ら立案したプロジェクトを題材に作家／アーティストとしてのセルフプロデュース能力を高める為の授業である。プロジェクトの立案／企画／運営→作品制作→発表→検証 が一連の流れとなる。単に「楽曲を作る」ではなく、「その楽曲にどう価値を生むのか」までを現役で活躍する講師と一緒に考え、制作に取り組むことで、自身の業界における作家／アーティストとしての自立像を作っていく。 <実務者経験> 式場のバイオリン演奏者							
【到達目標】 アーティスト、クリエイターとしての「音楽を職業にする」ために必要なスキル ・実践的なクリエイティブ能力 ・戦略的なセルフプロデュース能力 を向上させる。授業の中で自身の楽曲を収益化させることを最大の目標とする。							

授業計画・内容	
1回目	オリジナル楽曲制作／講義：JASRAC/Nextoneについて
2回目	オリジナル楽曲制作／講義：音楽出版社について
3回目	オリジナル楽曲制作／講義：NFTについて
4回目	オリジナル楽曲制作／講義：音響機材について
5回目	オリジナル楽曲制作／講義：セルフレコーディングについて
6回目	オリジナル楽曲制作／講義：コライティングについて
7回目	オリジナル楽曲制作／講義：音響機材について
8回目	オリジナル楽曲制作／講義：EQについて
9回目	オリジナル楽曲制作／講義：コンプレッサーについて
10回目	オリジナル楽曲制作／講義：マスタリングについて
11回目	オリジナル楽曲制作／講義：AIプラグインについて
12回目	オリジナル楽曲制作／講義：確定申告について
13回目	卒業進級制作 準備
14回目	卒業進級制作 準備
15回目	卒業進級制作 準備
準備学習 時間外 学習	
評価方法	半期に最低1曲をアウトプットすることが最低限の評価基準とする
受講生への メッセージ	音楽業界はレーベル一強の時代から完全に個の時代に入っています。アーティストも作家も、狭い偏った知識・技術だけでは仕事になりません。多角的な視点で自らの音楽を分析し、制作し、行動し、しっかりと結果を出すことがとても重要です。皆さんが各々に自分の新たな可能性を見出し、その音楽の世界を広げることを、本授業担当講師は目標にします。一緒に充実した楽しい授業にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	DAWオペレーションⅢ DAW OperationⅢ	必修 選択	選択必修	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜3,4限
【授業の学習内容】 最先端のサウンド作り出すための、リズムトラック制作・エフェクトを使った音色加工を学びます。 ＜講師プロフィール＞ 黒子のバスケ公式リミックス提供、『Key』20周年記念リミックスCD「Key Best Song Remix -to the Future-」公式リミックス提供。KONAMI『SOUND VOLTEX VIVIDWAVE』へ公式リミックス提供。							
【到達目標】 年代・ジャンル別のヒット曲を分析する力を養い、時代に即したトラックの作成や音色加工方法を学びます。							

授業計画・内容	
1回目	70年代～80年代ポップスのサウンド分析①
2回目	70年代～80年代ポップスのサウンド分析②
3回目	70年代～80年代ポップスのサウンド分析③
4回目	90年代R&B・Hip-Hopのサウンド分析①
5回目	90年代R&B・Hip-Hopのサウンド分析②
6回目	90年代R&B・Hip-Hopのサウンド分析③
7回目	2000年代EDM/クラブミュージックのサウンド分析①
8回目	2000年代EDM/クラブミュージックのサウンド分析②
9回目	2000年代EDM/クラブミュージックのサウンド分析③
10回目	現代（2020年代）ポップ・トラップ・K-POPの分析①
11回目	現代（2020年代）ポップ・トラップ・K-POPの分析②
12回目	現代（2020年代）ポップ・トラップ・K-POPの分析③
13回目	課題制作
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	各授業内で行う実技チェック（ミニテスト）の期間中の平均評価
評価方法	各授業内で行う実技チェック（ミニテスト）の期間中の平均評価
受講生への メッセージ	皆さんの好きな音楽のルーツとなるアーティストや楽曲に触れ、音楽の感性を広げると共に、バンド・作曲活動で十分に役立ててください。
【使用教科書・教材・参考書】 iPad . 課題曲の譜面や音源資料 譜面	

科目名 (英)	DAWオペレーションⅣ DAW OperationⅣ	必修 選択	選択必修	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜3,4限
【授業の学習内容】 最先端のサウンド作り出すための、リズムトラック制作・エフェクトを使った音色加工を学びます。 <講師プロフィール> 黒子のバスケ公式リミックス提供、『Key』20周年記念リミックスCD「Key Best Song Remix -to the Future-」公式リミックス提供。KONAMI『SOUND VOLTEX VIVIDWAVE』へ公式リミックス提供。							
【到達目標】 年代・ジャンル別のヒット曲を分析する力を養い、時代に即したトラックの作成や音色加工方法を学びます。							

授業計画・内容	
1回目	70～80年代ポップスの音色再現とリメイク実習①
2回目	70～80年代ポップスの音色再現とリメイク実習②
3回目	70～80年代ポップスの音色再現とリメイク実習③
4回目	90年代サウンドの再現実習①
5回目	90年代サウンドの再現実習②
6回目	90年代サウンドの再現実習③
7回目	2000年代EDMのトラックメイク実習①
8回目	2000年代EDMのトラックメイク実習②
9回目	2000年代EDMのトラックメイク実習③
10回目	自分で選んだジャンルを分析し、再現する①
11回目	自分で選んだジャンルを分析し、再現する②
12回目	自分で選んだジャンルを分析し、再現する③
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	課題曲の音源、譜面等の事前確認をしておく事
評価方法	各授業内で行う実技チェック（ミニテスト）の期間中の平均評価
受講生への メッセージ	皆さんの好きな音楽のルーツとなるアーティストや楽曲に触れ、音楽の感性を広げると共に、バンド・作曲活動で十分に役立ててください。
【使用教科書・教材・参考書】 iPad . 課題曲の譜面や音源資料 譜面	

科目名 (英)	DAWオペレーションⅤ DAW Operation V	必修 選択	選択必修	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜3,4限
【授業の学習内容】 最先端のサウンド作り出すための、リズムトラック制作・エフェクトを使った音色加工を学びます。 <講師プロフィール> 黒子のバスケ公式リミックス提供、『Key』20周年記念リミックスCD「Key Best Song Remix -to the Future-」公式リミックス提供。KONAMI『SOUND VOLTEX VIVIDWAVE』へ公式リミックス提供。							
【到達目標】 より現代的な音楽トレンドを踏まえた音作り・トラックメイキングを習得し、オリジナリティを持った音源制作を目指す。							

授業計画・内容	
1回目	前年度復習＋近年のトレンド分析（ヒップホップ／K-POP／シティポップ）
2回目	現代ヒップホップ・ビートメイキング実習①（808、スネア、ループ）
3回目	現代ヒップホップ・ビートメイキング実習②（ラップ乗せ想定）
4回目	K-POPサウンドの特徴とリファレンス分析①
5回目	K-POPサウンドの再現実習②（ジャンル融合型）
6回目	シティポップ再評価と再現実習①（80年代風＋Lo-Fi）
7回目	シティポップ再現実習②（ボーカル用トラック作り）
8回目	海外インディーポップの音作り分析と実習①
9回目	海外インディーポップの音作り実習②
10回目	現代的な音色デザイン①（Serum、Vitalなどの活用）
11回目	現代的な音色デザイン②（Pad、Lead、Bass）
12回目	サウンドの引き算・空間処理の考え方
13回目	トラック制作ワーク①（自由課題制作）
14回目	トラック制作ワーク②（発表・講評）
15回目	まとめ・ポートフォリオ制作ガイダンス
準備学習 時間外学 習	課題曲の音源、譜面等の事前確認をしておく事
評価方法	各授業内で行う実技チェック（ミニテスト）の期間中の平均評価
受講生への メッセージ	皆さんの好きな音楽のルーツとなるアーティストや楽曲に触れ、音楽の感性を広げると共に、バンド・作曲活動で十分に役立ててください。
【使用教科書・教材・参考書】 iPad . 課題曲の譜面や音源資料 譜面	

科目名 (英)	DAWオペレーションVI DAW OperationVI	必修 選択	選択必修	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜3,4限
【授業の学習内容】 最先端のサウンド作り出すための、リズムトラック制作・エフェクトを使った音色加工を学びます。 <講師プロフィール> 黒子のバスケ公式リミックス提供、『Key』20周年記念リミックスCD「Key Best Song Remix -to the Future-」公式リミックス提供。KONAMI『SOUND VOLTEX VIVIDWAVE』へ公式リミックス提供。							
【到達目標】 音楽ジャンルの枠を超えたクロスオーバー制作力と、自分の音楽的個性の確立を目指す。							

授業計画・内容	
1回目	ジャンルクロスオーバーの概念と分析
2回目	クロスオーバー制作実習①（例：Jazz×Trap）
3回目	クロスオーバー制作実習②（例：和楽器×EDM）
4回目	映像やゲームに合わせたBGM制作①（映像の読み解き）
5回目	映像やゲームに合わせたBGM制作②（実習）
6回目	1分以内の短尺コンテンツ用音源制作（TikTok等）①
7回目	1分以内の短尺コンテンツ用音源制作②
8回目	自分のスタイルを活かしたリミックス制作①
9回目	自分のスタイルを活かしたリミックス制作②
10回目	オリジナルトラック企画構想・プレゼン①
11回目	オリジナルトラック制作実習①
12回目	オリジナルトラック制作実習②
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	課題曲の音源、譜面等の事前確認をしておく事
評価方法	各授業内で行う実技チェック（ミニテスト）の期間中の平均評価
受講生への メッセージ	皆さんの好きな音楽のルーツとなるアーティストや楽曲に触れ、音楽の感性を広げると共に、バンド・作曲活動で十分に役立ててください。
【使用教科書・教材・参考書】 iPad . 課題曲の譜面や音源資料 譜面	

科目名（英）	レコーディングゼミⅢ	必修選択	必修選択	年次	3		
	Recording Seminar Ⅲ	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	90 (6)	開講区分	前期
学科・コース	スーパー・エンターテインメント科・音楽プロデュース科（レコーディング専攻者）					曜日・時限	木曜日 3.4.5限
【授業の学習内容】 プロミュージシャン・卒業生等の楽曲をレコーディングおよびミックスして配信音源の完成形まで作り上げる。 ＜講師プロフィール＞レコーディングエンジニア 安室奈美恵、荻野目洋子、ゴダイゴ、ミッキー吉野の専属エンジニアを務める。映画「スイング・ガールズ」などの映画音楽制作にも携わる。 【到達目標】 アーティストのアルバムを完成させることが出来る。							

授業計画・内容	
1回目	「Made in Japan2」 ミックス
2回目	「Made in Japan2」 ミックス
3回目	「Made in Japan2」 ミックス
4回目	「Made in Japan2」 ミックス
5回目	「Made in Japan2」 ミックス
6回目	「Made in Japan2」 ミックス
7回目	「Made in Japan2」 ミックス
8回目	「Made in Japan2」 ミックス
9回目	「Made in Japan2」 ミックス
10回目	「Made in Japan2」 ミックス
11回目	「Made in Japan2」 マスタリング
12回目	Sora & Reiya Project プリプロ
13回目	Sora & Reiya Project プリプロ
14回目	ミュージカル演習 リハーサル
15回目	ミュージカル演習 本番
準備学習 時間外学習	Pro Tools知識
評価方法	作品提出
受講生への メッセージ	アーティストがアルバムを完成させるまでの、エンジニアの仕事を学びます。コミュニケーション力、ホスピタリティを発揮しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名（英）	レコーディングゼミⅣ Recording Seminar Ⅳ	必修選択	必修選択	年次	3		
学科・コース	スーパー・エンターテインメント科・音楽プロデュース科（レコーディング専攻者）	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	90 (6)	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜日 3.4.5限
【授業の学習内容】 プロミュージシャン・卒業生等の楽曲をレコーディングおよびミックスして配信音源の完成形まで作り上げる。 ＜講師プロフィール＞レコーディングエンジニア 安室奈美恵、荻野目洋子、ゴダイゴ、ミッキー吉野の専属エンジニアを務める。映画「スイング・ガールズ」などの映画音楽制作にも携わる。 【到達目標】 アーティストのアルバムを完成させることが出来る。							

授業計画・内容	
1回目	Sora & Reiya Project レコーディング
2回目	Sora & Reiya Project レコーディング
3回目	Sora & Reiya Project レコーディング
4回目	Sora & Reiya Project レコーディング
5回目	Sora & Reiya Project レコーディング
6回目	Sora & Reiya Project レコーディング
7回目	Sora & Reiya Project レコーディング
8回目	Sora & Reiya Project レコーディング
9回目	Sora & Reiya Project ミックス
10回目	Sora & Reiya Project ミックス
11回目	Sora & Reiya Project ミックス
12回目	Sora & Reiya Project マスタリング
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	Pro Tools知識
評価方法	作品提出
受講生への メッセージ	アーティストがアルバムを完成させるまでの、エンジニアの仕事を学びます。コミュニケーション力、ホスピタリティを発揮しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名（英）	レコーディングゼミⅤ	必修選択	必修選択	年次	4		
	Recording Seminar Ⅴ	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	90 (6)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーエンターテインメント科・音楽プロデュース科（レコーディング専攻者）					曜日・時限	木曜日 3.4.5限
【授業の学習内容】 プロミュージシャン・卒業生等の楽曲をレコーディングおよびミックスして配信音源の完成形まで作り上げる。 ＜講師プロフィール＞レコーディングエンジニア 安室奈美恵、荻野目洋子、ゴダイゴ、ミッキー吉野の専属エンジニアを務める。映画「スイング・ガールズ」などの映画音楽制作にも携わる。 【到達目標】 アーティストのアルバムを完成させることが出来る。							

授業計画・内容	
1回目	「MaMaアーティストプロジェクト」 ミックス
2回目	「MaMaアーティストプロジェクト」 ミックス
3回目	「MaMaアーティストプロジェクト」 ミックス
4回目	「MaMaアーティストプロジェクト」 ミックス
5回目	「MaMaアーティストプロジェクト」 ミックス
6回目	「MaMaアーティストプロジェクト」 ミックス
7回目	「MaMaアーティストプロジェクト」 ミックス
8回目	「MaMaアーティストプロジェクト」 ミックス
9回目	「MaMaアーティストプロジェクト」 ミックス
10回目	「MaMaアーティストプロジェクト」 ミックス
11回目	「MaMaアーティストプロジェクト」 マスタリング
12回目	「Flap」 プリプロ
13回目	「Flap」 プリプロ
14回目	ミュージカル演習 リハーサル
15回目	ミュージカル演習 本番
準備学習 時間外学習	Pro Tools知識
評価方法	作品提出
受講生への メッセージ	アーティストがアルバムを完成させるまでの、エンジニアの仕事を学びます。コミュニケーション力、ホスピタリティを発揮しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名（英）	レコーディングゼミⅣ Recording Seminar Ⅳ	必修選択	必修選択	年次	4		
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科（レコーディング専攻者）	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	90 (6)	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜日 3.4.5限
【授業の学習内容】 プロミュージシャン・卒業生等の楽曲をレコーディングおよびミックスして配信音源の完成形まで作り上げる。 ＜講師プロフィール＞レコーディングエンジニア 安室奈美恵、荻野目洋子、ゴダイゴ、ミッキー吉野の専属エンジニアを務める。映画「スイング・ガールズ」などの映画音楽制作にも携わる。 【到達目標】 アーティストのアルバムを完成させることが出来る。							

授業計画・内容	
1回目	Flap案件 レコーディング
2回目	Flap案件 レコーディング
3回目	Flap案件 レコーディング
4回目	Flap案件 レコーディング
5回目	Flap案件 レコーディング
6回目	Flap案件 レコーディング
7回目	Flap案件 レコーディング
8回目	Flap案件 レコーディング
9回目	Flap案件 ミックス
10回目	Flap案件 ミックス
11回目	Flap案件 ミックス
12回目	Flap案件 マスタリング
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	Pro Tools知識
評価方法	作品提出
受講生への メッセージ	アーティストがアルバムを完成させるまでの、エンジニアの仕事を学びます。コミュニケーション力、ホスピタリティを発揮しましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	編集・ディレクションⅢ・Ⅳ	必修 選択	選択必修	年次	3年		
	Editing & DirectionⅢ・Ⅳ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科					曜日・時限	金曜2,3限
【授業の学習内容】 I・IIで学んだ基本エフェクトを基盤にして、ジャンルごとに沿ったエフェクトを掛けられるようになる。 <実務者経験> テレビCM・ドラマ・お芝居などの楽曲制作、吹奏楽コンクールや様々なコンサートで依頼を受け作曲し演奏を行っている。							
【到達目標】 ジャンルに沿ったボーカルの音作りができるようになる。 特殊なエフェクト（ボコーダー等）が問題なく使用できるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認
2回目	I・IIのおさらい ボーカルに対しての空間系エフェクトの使用方法②
3回目	ロック系楽曲に対してのボーカル処理について①
4回目	ロック系楽曲に対してのボーカル処理について②
5回目	ロック系楽曲に対してのボーカル処理について③
6回目	ダンス系楽曲に対してのボーカル処理について①
7回目	ダンス系楽曲に対してのボーカル処理について②
8回目	ダンス系楽曲に対してのボーカル処理について③
9回目	バラード系楽曲に対してのボーカル処理について①
10回目	バラード系楽曲に対してのボーカル処理について②
11回目	バラード系楽曲に対してのボーカル処理について③
12回目	テスト実施
13回目	特別授業/卒業進級制作 準備
14回目	特別授業/卒業進級制作 準備
15回目	特別授業/卒業進級制作 準備
準備学習 時間外学 習	歌モノの自作楽曲準備
評価方法	■出席率 40% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】30%
受講生への メッセージ	ジャンルに沿ったボーカルの音作りについて学びます。自作楽曲で実際に"使える"ようなエフェクトを教えたいと考えていますので、今のうちに楽曲は作り貯めておいてください。
【使用教科書・教材・参考書】 Macbook.Logic Pro X	

科目名 (英)	編集・ディレクションⅤ・Ⅵ	必修 選択	選択必修	年次	4 年		
	Editing & DirectionⅤ・Ⅵ	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科					曜日・時限	金曜2,3限
【授業の学習内容】 前期で学んだ基本エフェクトを基盤にして、ジャンルごとに沿ったエフェクトを掛けられるようになる。 <実務者経験> テレビCM・ドラマ・お芝居などの楽曲制作、吹奏楽コンクールや様々なコンサートで依頼を受け作曲し演奏を行っている。							
【到達目標】 ジャンルに沿ったボーカルの音作りができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	シラバス及び到達目標の確認
2回目	Ⅲ・Ⅳのおさらい ボーカルに対しての空間系エフェクトの使用方法②
3回目	POPS系楽曲に対してのボーカル処理について①
4回目	POPS系楽曲に対してのボーカル処理について②
5回目	POPS系楽曲に対してのボーカル処理について③
6回目	R&B系楽曲に対してのボーカル処理について①
7回目	R&B系楽曲に対してのボーカル処理について②
8回目	R&B系楽曲に対してのボーカル処理について③
9回目	HIPHOP系楽曲に対してのボーカル処理について①
10回目	HIPHOP系楽曲に対してのボーカル処理について②
11回目	HIPHOP系楽曲に対してのボーカル処理について③
12回目	テスト実施
13回目	特別授業/卒業進級制作 準備
14回目	特別授業/卒業進級制作 準備
15回目	特別授業/卒業進級制作 準備
準備学習 時間外学 習	歌モノの自作楽曲準備
評価方法	■出席率 40% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】30%
受講生への メッセージ	ジャンルに沿ったボーカルの音作りについて学びます。自作楽曲で実際に"使える"ようなエフェクトを教えたいと考えていますので、今のうちに楽曲は作り貯めておいてください。
【使用教科書・教材・参考書】 Macbook.Logic Pro X	

科目名 (英)	ヴォーカルテクニク Vocal Technique I	必修 選択	選択 必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜日1限目
【授業の学習内容】 譜面や図を用いてのリズム、リズムパターンの解説とリズムトラックを用いてグループワークトレーニング 譜面を用いてのさまざまなスケールの解説と歌唱実践、トラックを用いてのグループワークトレーニング リズムとメロディーを合わせたインプロビゼーションの解説と実践、課題曲や小小節フレーズでのダイナミックスのトレーニング (講師プロフィール) 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 リズム、リズムパターンのバリエーションを理解して歌えるようになろう♪ スケールを歌いこなせるようになろう♪ リズムとメロディーを用いてさまざまなリズムパターンとシンプルなコード進行の中で歌えるようになろう♪ ダイナミックスをコントロールして歌えるようになろう♪							

授業計画・内容	
1回目	さまざまなテクニクを知り、可能性を見つけよう
2回目	リズムとリズムパターンを聴き取れるようになろう
3回目	リズムとリズムパターンを体感して再現できるようになろう
4回目	3種類のスケールを聴き取れるようになろう
5回目	3種類のスケールを歌えるようになろう
6回目	リズムパターンの中でリズムを駆使してスケールを歌えるようになろう
7回目	小テスト
8回目	3和音の聴き取りと機能が理解できるようになろう
9回目	シンプルなコード進行の中でリズムとメロディーを用いて歌ってみよう
10回目	2種類のダイナミックスを聴き取れるようになろう
11回目	2種類のダイナミックスを再現できるようになろう
12回目	リズムとメロディーとダイナミックスを用いてシンプルなコード進行の中で歌ってみよう
13回目	評価週
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	課題曲視聴、分析、歌唱 音源トラックでの歌唱試行 譜面、図解の熟読
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	テクニクを知り、習得することで、みなさんのヴォーカル力は進化していくでしょう♪ より自由に、より楽しく、より感動的に歌える、本格派と一緒に目指しましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 譜面 図表 リズム、音源トラック 振り返りシート	

科目名 (英)	ヴォーカルテクニック Vocal Technique II	必修 選択	選択 必修	年次	1		
学科・コース	スーパー・エンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜日1限目
【授業の学習内容】 課題曲や小・小節フレーズでの音色のトレーニング、音色とダイナミクスを合わせたインプロビゼーションの解説と実践 和音の機能解説と聴感トレーニング、課題曲を用いた歌詞のアナライズ 〈講師プロフィール〉 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカリスト、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 音色をコントロールして歌えるようになる♪ 音色とダイナミクスを合わせて音楽的に歌えるようになる♪ リズムとメロディーを用いてさまざまなリズムパターンと複雑なコード進行の中で歌えるようになる♪ 歌唱の理解と自由解釈を通して、感情と歌唱表現を一致させて歌えるようになる♪							

授業計画・内容	
1回目	3種類の音色を聴き取れるようになる
2回目	3種類の音色を再現できるようになる
3回目	ダイナミクスと音色を聴き取れるようになる
4回目	ダイナミクスと音色を同時に再現できるようになる
5回目	自由に歌ってみよう
6回目	小テスト
7回目	複雑な3和音を聴き取れるようになる
8回目	複雑な3和音の中でリズムとメロディーをコントロールして歌えるようになる
9回目	歌詞の世界観を味わい深く理解できるようになる
10回目	歌詞を解釈して自身の感情や歌唱表現と繋ぎ合わせられるようになる
11回目	自由に表現して歌ってみよう
12回目	評価週
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	課題曲視聴、分析、歌唱 音源トラックでの歌唱試行 譜面、図解の熟読
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	テクニックを知り、習得することで、みなさんのヴォーカル力は進化していくでしょう♪ より自由に、より楽しく、より感動的に歌える、本格派と一緒に目指しましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 図表 リズム、音源トラック 振り返りシート	

科目名 (英)	ヴォーカルテクニク Vocal Technique Ⅲ	必修 選択	選択 必修	年次	2		
学科・コース	スーパー・エンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜日2限目
【授業の学習内容】 譜面や図を用いてのリズム、リズムパターンの解説とリズムトラックを用いてグループワークトレーニング、譜面を用いてのさまざまなスケールの解説と歌唱実践、 トラックを用いてのグループワークトレーニング、リズムとメロディーを合わせたインプロビゼーションの解説と実践 課題曲や小小節フレーズでのダイナミックスのトレーニング 〈講師プロフィール〉 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校で音楽教育を行っている。							
【到達目標】 リズム、リズムパターンのバリエーションを理解して歌えるようになろう♪ スケールを歌いこなせるようになろう♪ リズムとメロディーを用いてさまざまなリズムパターンとシンプルなコード進行の中で歌えるようになろう♪ ダイナミックスをコントロールして歌えるようになろう♪							

授業計画・内容	
1回目	さまざまなテクニクを知り、可能性を広げよう
2回目	リズムとリズムパターン聴き取り、その主なジャンルが理解できるようになろう
3回目	リズムとリズムパターンを体感して再現できるようになろう
4回目	6種類のスケールを聴き取れるようになろう
5回目	6種類のスケールを歌えるようになろう
6回目	リズムパターンの中でリズムを駆使してスケールを歌いこなそう
7回目	小テスト
8回目	4和音の聴き取りと機能が理解できるようになろう
9回目	シンプルなコード進行の中でリズムとメロディーを用いて歌いこなせるようになろう
10回目	4種類のダイナミックスを聴き取れるようになろう
11回目	4種類のダイナミックスを再現できるようになろう
12回目	リズムとメロディーとダイナミックスを用いてシンプルなコード進行の中で歌いこなそう
13回目	評価週
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	課題曲視聴、分析、歌唱 音源トラックでの歌唱試行 譜面、図解の熟読
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	テクニクを知り、習得することで、みなさんのヴォーカル力は進化していくでしょう♪ より自由に、より楽しく、より感動的に歌える、本格派と一緒に目指しましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 譜面 図表 リズム、音源トラック 振り返しシート	

科目名 (英)	ヴォーカルテクニック Vocal Technique IV	必修 選択	選択 必修	年次	2		
学科・コース	スーパー・エンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜日2限目
【授業の学習内容】 課題曲や小・小節フレーズでの音色のトレーニング、音色とダイナミクスを合わせたインプロビゼーションの解説と実践 和音の機能解説と聴感トレーニング、課題曲を用いた歌詞のアナライズ 〈講師プロフィール〉 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカリスト、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 音色をコントロールして歌えるようになる♪ 音色とダイナミクスを合わせて音楽的に歌えるようになる♪ リズムとメロディーを用いてさまざまなリズムパターンと複雑なコード進行の中で歌えるようになる♪ 歌唱の理解と自由解釈を通して、感情と歌唱表現を一致させて歌えるようになる♪							

授業計画・内容	
1回目	5種類の音色を聴き取れるようになる
2回目	5種類の音色を再現できるようになる
3回目	ダイナミクスと音色を聴き取れるようになる
4回目	ダイナミクスと音色を同時に再現できるようになる
5回目	ダイナミクスと音色を自由に歌いこなそう
6回目	小テスト
7回目	複雑な4和音を聴き取れるようになる
8回目	複雑な4和音の中でリズムとメロディーをコントロールして歌いこなそう
9回目	歌詞の世界観を味わい深く理解できるようになる
10回目	歌詞を解釈して自身の感情や歌唱表現と繋ぎ合わせられるようになる
11回目	自由に表現して歌えるようになる
12回目	評価週
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	課題曲視聴、分析、歌唱 音源トラックでの歌唱試行 譜面、図解の熟読
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	テクニックを知り、習得することで、みなさんのヴォーカル力は進化していくでしょう♪ より自由に、より楽しく、より感動的に歌える、本格派と一緒に目指しましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 譜面 図表 リズム、音源トラック 振り返りシート	

科目名 (英)	ヴォーカルテクニックV Vocal Technique V	必修 選択	選択 必修	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 金曜1限
【授業の学習内容】 ボーカリゼーションによる発声的歌唱の強化 スケルトトレーニングによる音程の精度向上 インプロビゼーションによる音楽的表現度の自由化 【講師プロフィール】 YUI、絢香のデビュー前のボーカルレッスン担当。グラミー賞受賞アーティストTAKE6のリーダー、クロードマックナイトさんや、EXILEのChoo Choi Trainなど数多くの名曲を手がける中西圭三さんと共演。自身の所属するTHE SOULMATICSFAMILYのために年間50曲以上コーラスアレンジし、九州を中心に活動するクワイアへも提供。地元うきはのための楽曲制作を行う。							
【到達目標】 ボーカリゼーションを用いて柔軟な発声的歌唱ができるようになる♪ スケルトトレーニングで音程の精度を上げよう♪ インプロビゼーションのアプローチを理解実践し自由なフレーズを歌唱できるようになる♪							

授業計画・内容	
1回目	リズム、メロディー、和音感、インプロビゼーション、歌詞解釈の基礎を土台にした技術についての解説と実践
2回目	ボーカリゼーション:得意な母音、苦手な母音の発見
3回目	ボーカリゼーション:声門アタックと氣息音アタック回避のためのワーク
4回目	ボーカリゼーション:アーティキュレーショントレーニング
5回目	評価
6回目	音程の精度:上昇アプローチによるピッチコントロール
7回目	音程の精度:下降アプローチによるピッチコントロール
8回目	評価
9回目	インプロビゼーション:モチーフを意識してのタイムストレッチ、リズムックディスプレイメント
10回目	インプロビゼーション:モチーフを意識してのダブルタイム、ハーフタイム
11回目	評価
12回目	ジャンル別ボーカリゼーション:ロックステップス、ロックシンコペーション
13回目	ジャンル別ボーカリゼーション:マイナーオクターブ、ラテンオクターブ
14回目	ジャンル別ボーカリゼーション: R & Bペンタトニックとパターン、ゴスペルスイング
15回目	評価
準備学習 時間外 学習	情報と体感の紐付け 各種項目を意識した楽曲視聴と歌唱トレーニング 反復練習による無意識化
評価方法	遅刻欠席、予習復習のチェック、授業態度、評価における理解度
受講生への メッセージ	テクニックを知り、習得することで、みなさんのヴォーカル力は進化していくでしょう♪ より本格的に歌えるよう、一緒に歩みましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 図書 リズム、音源トラック 振り返しシート	

科目名 (英)	ヴォーカルテクニックVI Vocal Technique VI	必修 選択	選択 必修	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 金曜1限
【授業の学習内容】 ジャンル別のコーラスワークでの知識と音楽力強化 高度なインプロビゼーションの理解と実践でのフレーズの自由化 総合的な歌唱のアプローチ 【講師プロフィール】 YUI、絢香のデビュー前のボーカルレッスン担当。グラミー賞受賞アーティストTAKE6のリーダー、クロードマックナイトさんや、EXILEのChoo Choi Trainなど数多くの名曲を手がける中西圭三さんと共演。自身の所属するTHE SOULMATICSFAMILYのために年間50曲以上コーラスアレンジし、九州を中心に活動するクワイアへも提供。地元うきはのための楽曲制作を行う。							
【到達目標】 ジャンル別のコーラスワークの特徴を理解し再現できるようになる♪ 高度なインプロビゼーションのアプローチを理解し歌唱できるようになる♪ 基礎を土台とした魅力的な歌唱ができるようになる♪							

授業計画・内容	
1回目	ジャンル別ハーモニーエクササイズ:2声ポップロック
2回目	ジャンル別ハーモニーエクササイズ: 2声カントリー
3回目	ジャンル別ハーモニーエクササイズ:2声ブルース
4回目	評価
5回目	ジャンル別ハーモニーエクササイズ: 2声R & Bポップ
6回目	ジャンル別ハーモニーエクササイズ:2声ファンク
7回目	評価
8回目	インプロビゼーション:モチーフを意識してのメロディックレンジ、クロマティックスケール
9回目	インプロビゼーション:モチーフを意識してのメロディックレンジ、トライトニックスケール
10回目	インプロビゼーション:モチーフを意識してのメロディックレンジ、テトラトニックスケール
11回目	自己評価と他者評価による音楽性の構築
12回目	総合評価
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	情報と体感の紐付け 各種項目を意識した楽曲視聴と歌唱トレーニング 反復練習による無意識化
評価方法	遅刻欠席、予習復習のチェック、授業態度、評価における理解度
受講生への メッセージ	テクニックを知り、習得することで、みなさんのヴォーカル力は進化していくでしょう♪ より本格的に歌えるよう、一緒に歩みましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 図表 リズム、音源トラック 振り返りシート	

科目名 (英)	ヴォーカルテクニックⅦ	必修 選択	選択 必修	年次	4		
	Vocal Technique Ⅶ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科					曜日・時限	金曜2限
【授業の学習内容】 ボーカリゼーションによる発声的歌唱の応用 リズム的なスケルトレーニングによる音程の精度向上 インプロビゼーションによる音楽的表現の自由化と最適化 【講師プロフィール】 YUI、絢香のデビュー前のボーカルレッスン担当。グラミー賞受賞アーティストTAKE6のリーダー、クロードマックナイトさんや、EXILEのChoo Choi Trainなど数多くの名曲を手がける中西圭三さんと共演。自身の所属するTHE SOULMATICSFAMILYのために年間50曲以上コーラスアレンジし、九州を中心に活動するクワイアへも提供。地元うきはのための楽曲制作を行う。							
【到達目標】 ボーカリゼーションを用いて柔軟な発声的歌唱の応用ができるようになる♪ スケルトレーニングで躍動感のある歌唱ができるようになる♪ インプロビゼーションのアプローチを理解実践し自由なフレーズを歌いてなそう♪							

授業計画・内容	
1回目	基礎を土台にした技術向上の解説と実践
2回目	ボーカリゼーション:得意な母音、苦手な母音の発見と活用
3回目	ボーカリゼーション:バランスの取れたアタック
4回目	ボーカリゼーション:アーティキュレーションと歌唱スタイルの融合
5回目	評価
6回目	音程の精度:リズム的な上昇アプローチによるピッチコントロール
7回目	音程の精度:リズム的な下降アプローチによるピッチコントロール
8回目	評価
9回目	インプロビゼーション:モチーフを意識してのタイムストレッチ、リズムディスプレイメントのピークポイントコントロール
10回目	インプロビゼーション:モチーフを意識してのダブルタイム、ハーフタイムのピークのピークポイントコントロール
11回目	評価
12回目	ジャンル別ボーカリゼーション:ロックペンタトニックアルペジオ、ロックボーカリーズ
13回目	ジャンル別ボーカリゼーション:ラテンロングトーン、ラテンボーカリーズ
14回目	ジャンル別ボーカリゼーション: ジャズスイング、ジャズワルツ、ジャズバラード
15回目	評価
準備学習 時間外 学習	情報と体感の紐付け 各種項目を意識した楽曲視聴と歌唱トレーニング 反復練習による無意識化
評価方法	遅刻欠席、予習復習のチェック、授業態度、評価における理解度
受講生への メッセージ	テクニックを知り、習得することで、みなさんのヴォーカル力は進化していくでしょう♪ 世界bに通用する歌唱を目指し、一緒に歩みましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 ―― 図表 リズム、音源トラック 振り返りシート	

科目名 (英)	ヴォーカルテクニックⅧ	必修 選択	選択 必修	年次	4		
	Vocal Technique Ⅷ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科					曜日・時限	金曜2限
【授業の学習内容】 ジャンル別のコーラスワークでの知識と音楽力強化と継続学習 高度なインプロビゼーションの理解と実践でのフレーズの自由化と最適化 総合的な歌唱のアプローチと音楽性の設定 【講師プロフィール】 YUI、絢香のデビュー前のボーカルレッスン担当。グラミー賞受賞アーティストTAKE6のリーダー、クロードマックナイトさんや、EXILEのChoo Choi Trainなど数多くの名曲を手がける中西圭三さんと共演。自身の所属するTHE SOULMATICSFAMILYのために年間50曲以上コーラスアレンジし、九州を中心に活動するクワイアへも提供。地元うきはのための楽曲制作を行う。							
【到達目標】 ジャンル別のコーラスワークの特徴を理解し自由に歌いこなそう♪ 高度なインプロビゼーションのアプローチを理解し歌いこなそう♪ 基礎を土台とし魅力的な歌唱の発展を継続させよう♪							

授業計画・内容	
1回目	ジャンル別ハーモニーエクササイズ:3声ポップロック
2回目	ジャンル別ハーモニーエクササイズ: 3声カントリー
3回目	ジャンル別ハーモニーエクササイズ:3声ブルース
4回目	評価
5回目	ジャンル別ハーモニーエクササイズ: 3声R & Bポップ
6回目	ジャンル別ハーモニーエクササイズ:3声ファンク
7回目	評価
8回目	インプロビゼーション:モチーフを意識してのメロディックレンジ、クロマティックスケールのピークポイントコントロール
9回目	インプロビゼーション:モチーフを意識してのメロディックレンジ、トライトニックスケールのピークポイントコントロール
10回目	インプロビゼーション:モチーフを意識してのメロディックレンジ、テトラトニックスケールのピークポイントコントロール
11回目	自己評価と他者評価による音楽性の適宜適応設定
12回目	総合評価
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	情報と体感の紐付け 各種項目を意識した楽曲視聴と歌唱トレーニング 反復練習による無意識化
評価方法	遅刻欠席、予習復習のチェック、授業態度、評価における理解度
受講生への メッセージ	テクニックを知り、習得することで、みなさんのヴォーカル力は進化していくでしょう♪ 世界bに通用する歌唱を目指し、一緒に歩みましょう♪
--- 図表 リズム、音源トラック 振り返りシート	

科目名 (英)	テクニック I Drum Technique I	選択 必修	選択 必修	年次	1		
学科・コース	スーパーエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜4限
【授業の学習内容】 ドラムの基礎的な演奏技術と応用方法の結びつきを理解・体得する。 (講師プロフィール) 専門学校卒業後、ドラムの個人レッスンやバンドのケアを行う。 また、自らのバンドでの海外公演や小学校での学習支援アシスタント活動など、多岐に渡って活動している。							
【到達目標】 ドラムセットで演奏するために必要な技術の習得と楽器構造の理解を通じて、個性を生かした音楽表現やアイデアを生み出す基礎力を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	ドラム譜の読み方、基本的なセッティングと操作方法、8ビート、8分音符の記譜を理解する
2回目	8ビート、4小節感覚を身につける、クリックを使った練習方法、カウンティング、8分音符の記譜を理解する
3回目	8ビート、8小節感覚を身につける、オープンリムショットとクローズリムショット、16分音符の記譜を理解する
4回目	アクセント無しのシングルストローク、両手16ビート、オープンリムショット、16分音符の記譜を理解する
5回目	16ビートのバリエーション、16分裏拍のストロークとバスドラムのタイミングを合わせるエクササイズ①
6回目	16ビートのバリエーション、16分裏拍のストロークとバスドラムのタイミングを合わせるエクササイズ②
7回目	8ビートおよび片手16ビートでのダウンアップテクニック、アップストロークにバスドラムを合わせるエクササイズ
8回目	16分音符のアクセント移動（1アクセント）とドラムセットへの応用①
9回目	16分音符のアクセント移動（1アクセント）とドラムセットへの応用②
10回目	16分音符のアクセント移動（2アクセント）とリズムパターン、ドラムセットへの応用①
11回目	16分音符のアクセント移動（2アクセント）とリズムパターン、ドラムセットへの応用②
12回目	ダブルストロークを用いた32分音符と16分音符のコンビネーション、リズムパターン、ドラムセットへの応用①
13回目	期末テスト
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間 外学習	パッドおよびドラムセットでの継続的な予習・復習が必要
評価方法	各課題の理解度・達成度（60%） 出席率（40%）
受講生へのメッセージ	ミュージシャン、アーティストとしての音楽表現を豊かにするために必要な基礎技術と知識を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 配布プリント	

科目名 (英)	テクニックⅡ Drum TechniqueⅡ	選択 必修	選択 必修	年次	1		
学科・コース	スーパーエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜4限
【授業の学習内容】 ドラムの基礎的な演奏技術と応用方法の結びつきを理解・体得する。 (講師プロフィール) 専門学校卒業後、ドラムの個人レッスンやバンドのケアを行う。 また、自らのバンドでの海外公演や小学校での学習支援アシスタント活動など、多岐に渡って活動している。							
【到達目標】 ドラムセットで演奏するために必要な技術の習得と楽器構造の理解を通じて、個性を生かした音楽表現やアイデアを生み出す基礎力を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	ダブルストロークを用いた32分音符と16分音符のコンビネーション、リズムパターン、ドラムセットへの応用②
2回目	8ビートシャッフルのリズムパターン、ハイハットのエクササイズ、3連符の手順と記譜を理解する
3回目	8ビートシャッフルの8分裏拍にバスドラムを合わせるエクササイズ、3連符の手順と記譜を理解する
4回目	2拍3連符のエクササイズ、手順の振り分けとドラムセットへの応用
5回目	8ビートのシンコペーションを使ったリズムパターン、HHオーブクローズ
6回目	16ビートのシンコペーションを使ったリズムパターン、HHオーブクローズ①
7回目	16ビートのシンコペーションを使ったリズムパターン、HHオーブクローズ②
8回目	ハイハットを4分音符で演奏する、速いテンポの8ビートとバスドラムの奏法
9回目	ハイハットを8分音符で演奏する、バスドラムのダブルストロークを用いた16ビート①
10回目	ハイハットを8分音符で演奏する、バスドラムのダブルストロークを用いた16ビート② ハイハットを16分音符で演奏する、バスドラムのダブルストロークを用いた16ビート
11回目	ハイハットを4分音符で演奏する、速いテンポの8ビートシャッフルとバスドラムの奏法
12回目	ハイハットを8分音符で演奏する、バスドラムのダブルストロークを用いた16ビートシャッフル
13回目	ミュージカル演習
14回目	We Are FSM 卒業進級制作リハーサル
15回目	We Are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間 外学習	パッドおよびドラムセットでの継続的な予習・復習が必要
評価方法	各課題の理解度・達成度 (60%) 出席率 (40%)
受講生への メッセージ	ミュージシャン、アーティストとしての音楽表現を豊かにするために必要な基礎技術と知識を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 配布プリント	

科目名 (英)	テクニクⅢ Drum TechniqueⅢ	選択 必修	選択 必修	年次	2		
学科・コース	スーパーエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜3限
【授業の学習内容】 ドラムの基礎的な演奏技術と応用方法の結びつきを理解・体得する。 (講師プロフィール) 専門学校卒業後、ドラムの個人レッスンやバンドのケアを行う。 また、自らのバンドでの海外公演や小学校での学習支援アシスタント活動など、多岐に渡って活動している。							
【到達目標】 ドラムセットで演奏するために必要な技術の習得と楽器構造の理解を通じて、個性を生かした音楽表現やアイデアを生み出す基礎力を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	速いテンポの8ビート、ゴーストノート①
2回目	速いテンポの8ビート、ゴーストノート② 速いテンポの8/12拍子パターン、ゴーストノート①
3回目	速いテンポの8/12拍子パターン、ゴーストノート① ツインペダルの基礎練習 (8ビート応用)
4回目	速いテンポの16ビート、HHのバリエーション、16分の裏拍にバスドラムを合わせるエクササイズ①
5回目	速いテンポの16ビート、HHのバリエーション、16分の裏拍にバスドラムを合わせるエクササイズ②
6回目	ツインペダルの基礎練習 (オルタネイト)
7回目	8ビートおよび片手16ビートでのダウンアップテクニック、アップストロークにバスドラムを合わせるエクササイズ、バスドラムのシングル3連打、4連打
8回目	16分音符、手足のコンビネーション (バスドラム1打) ドラムセットへの応用①
9回目	16分音符、手足のコンビネーション (バスドラム1打) ドラムセットへの応用②
10回目	16分音符、手足のコンビネーション (バスドラム2打→シングル、ツインペダル) ドラムセットへの応用①
11回目	16分音符、手足のコンビネーション (バスドラム2打→シングル、ツインペダル) ドラムセットへの応用②
12回目	8分音符と16分音符を組み合わせた手足のコンビネーション (シングル、ツインペダル) ①
13回目	期末テスト
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	パッドおよびドラムセットでの継続的な予習・復習が必要
評価方法	各課題の理解度・達成度 (60%) 出席率 (40%)
受講生へのメッセージ	ミュージシャン、アーティストとしての音楽表現を豊かにするために必要な基礎技術と知識を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 配布プリント	

科目名 (英)	テクニクⅣ Drum TechniqueⅣ	選択 必修	選択 必修	年次	2		
学科・コース	スーパー・エンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜3限
【授業の学習内容】 ドラムの基礎的な演奏技術と応用方法の結びつきを理解・体得する。 (講師プロフィール) 専門学校卒業後、ドラムの個人レッスンやバンドのケアを行う。 また、自らのバンドでの海外公演や小学校での学習支援アシスタント活動など、多岐に渡って活動している。							
【到達目標】 ドラムセットで演奏するために必要な技術の習得と楽器構造の理解を通じて、個性を生かした音楽表現やアイデアを生み出す基礎力を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	32分音符と16分音符を組み合わせた手足のコンビネーション（シングル、ツインペダル）②
2回目	8ビートシャッフルのシンコペーション01、Fill in手順の応用①
3回目	8ビートシャッフルのシンコペーション01、Fill in手順の応用② 8ビートシャッフルのシンコペーション02
4回目	ツインペダル基礎練習（シャッフル、3連符）
5回目	小節線を跨ぐパターン、Fill inの練習と応用①
6回目	小節線を跨ぐパターン、Fill inの練習と応用② 速いテンポの16ビートのシンコペーションとHHオープンクローズ①
7回目	速いテンポの16ビートのシンコペーションとHHオープンクローズ②
8回目	シングル、ツインペダルの2ビート（HH表、裏）
9回目	シングル、ツインペダルの2ビート（HH表、裏）と手2足2のコンビネーション ツインペダルの16ビート（32分3打）①
10回目	ツインペダルの16ビート（32分3打）② ツインペダルの16ビート（32分4打）と手2足4、手4足4のコンビネーション
11回目	8シャッフル、HH/リエーションとゴーストノート（手順の応用） シングル、ツインペダルを使ったコンビネーションFill in
12回目	16シャッフル、HH/リエーションとゴーストノート（手順の応用） シングル、ツインペダルを使ったコンビネーションFill in
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間 外 学習	パッドおよびドラムセットでの継続的な予習・復習が必要
評価方法	各課題の理解度・達成度（60%） 出席率（40%）
受講生への メッセージ	ミュージシャン、アーティストとしての音楽表現を豊かにするために必要な基礎技術と知識を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 配布プリント	

科目名 (英)	テクニックV	必修 選択	選択 必修	年次	3		
	Technique V	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーエンターテイメント科・音楽プロデュース科					曜日・時限	水曜3限
【授業の学習内容】 ドラムの基礎的な演奏技術・知識と応用方法の結びつきを理解・体得する。 (講師プロフィール) 専門学校卒業後、自身が運営するドラム教室にて個人レッスンやバンドの指導を行う。 また、自身のバンドでの国内および海外公演、小学校での学習支援アシスタント活動、 音楽教育を通じた不登校児童へのサポートや障がい児の支援など、多岐に渡って活動している。							
【到達目標】 主にポピュラーミュージックで必要とされる演奏や制作に必要な技術・知識を身につける。 自分らしい音楽表現やアイデアを生み出すための基礎力を身につける。 ドラムセットおよびデジタルパーカッション等の楽器構造を理解する。							

授業計画・内容	
1回目	アップテンポの8ビート、ゴーストノート①
2回目	アップテンポの8ビート、ゴーストノート②
3回目	アップテンポの8/12拍子パターン、ゴーストノート①
4回目	アップテンポの8/12拍子パターン、ゴーストノート②
5回目	ツインペダルの基礎練習（8ビート応用）①
6回目	ツインペダルの基礎練習（8ビート応用）②
7回目	速いテンポの16ビート、HHのバリエーション、16分の裏拍にバスドラムを合わせるエクササイズ①
8回目	速いテンポの16ビート、HHのバリエーション、16分の裏拍にバスドラムを合わせるエクササイズ②
9回目	ツインペダルの基礎練習（オルタネイト）①
10回目	ツインペダルの基礎練習（オルタネイト）②
11回目	8ビートおよび片手16ビートでのダウンアップテクニック、アップストロークにバスドラムを合わせるエクササイズ、バスドラムのシングル3連打、4連打①
12回目	8ビートおよび片手16ビートでのダウンアップテクニック、アップストロークにバスドラムを合わせるエクササイズ、バスドラムのシングル3連打、4連打②
13回目	8ビートおよび片手16ビートでのダウンアップテクニック、アップストロークにバスドラムを合わせるエクササイズ、バスドラムのシングル3連打、4連③
14回目	期末試験
15回目	総復習
準備学習 時間外 学習	バッドおよびドラムセットでの継続的な予習・復習が必要
評価方法	各課題の理解度・達成度（60%） 出席率（40%）
受講生への メッセージ	ミュージシャン、アーティストとしての音楽表現を豊かにするために必要な基礎技術と知識を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 配布プリント	

科目名 (英)	テクニックVI TechniqueVI	必修 選択	選択 必修	年次	3		
学科・コース	スーパー・エンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	水曜3限
【授業の学習内容】 ドラムの基礎的な演奏技術・知識と応用方法の結びつきを理解・体得する。 (講師プロフィール) 専門学校卒業後、自身が運営するドラム教室にて個人レッスンやバンドの指導を行う。 また、自身のバンドでの国内および海外公演、小学校での学習支援アシスタント活動、 音楽教育を通じた不登校児童へのサポートや障がい児の支援など、多岐に渡って活動している。							
【到達目標】 主にポピュラーミュージックで必要とされる演奏や制作に必要な技術・知識を身につける。 自分らしい音楽表現やアイデアを生み出すための基礎力を身につける。 ドラムセットおよびデジタルパーカッション等の楽器構造を理解する。							

授業計画・内容	
1回目	16分音符、手足のコンビネーション (バスドラム1打) ドラムセットへの応用①
2回目	16分音符、手足のコンビネーション (バスドラム1打) ドラムセットへの応用②
3回目	16分音符、手足のコンビネーション (バスドラム2打→シングル) ドラムセットへの応用①
4回目	16分音符、手足のコンビネーション (バスドラム2打→シングル) ドラムセットへの応用②
5回目	16分音符、手足のコンビネーション (バスドラム2打→ツインペダル) ドラムセットへの応用①
6回目	16分音符、手足のコンビネーション (バスドラム2打→ツインペダル) ドラムセットへの応用②
7回目	32分音符と16分音符を組み合わせた手足のコンビネーション (シングル) ①
8回目	32分音符と16分音符を組み合わせた手足のコンビネーション (ツインペダル) ②
9回目	3連16分音符、手足のコンビネーション (シングル) ①
10回目	3連16分音符、手足のコンビネーション (シングル) ②
11回目	3連16分音符、手足のコンビネーション (ツインペダル) ③
12回目	期末試験と復習
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	パッドおよびドラムセットでの継続的な予習・復習が必要
評価方法	各課題の理解度・達成度 (60%) 出席率 (40%)
受講生への メッセージ	ミュージシャン、アーティストとしての音楽表現を豊かにするために必要な基礎技術と知識を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 配布プリント	

科目名 (英)	テクニックⅦ	必修 選択	選択 必修	年次	4		
	TechniqueⅦ	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科					曜日・時限	水曜4限
【授業の学習内容】							
ドラムの基礎的な演奏技術・知識と応用方法の結びつきを理解・体得する。 (講師プロフィール) 専門学校卒業後、自身が運営するドラム教室にて個人レッスンやバンドの指導を行う。 また、自身のバンドでの国内および海外公演、小学校での学習支援アシスタント活動、音楽教育を通じた不登校児童へのサポートや障がい児の支援など、多岐に渡って活動している。							
【到達目標】							
主にポピュラーミュージックで必要とされる演奏や制作に必要な技術・知識を身につける。 自分らしい音楽表現やアイデアを生み出すための基礎力を身につける。 ドラムセットおよびデジタルパーカッション等の楽器構造を理解する。							

授業計画・内容	
1回目	アップテンポの16ビートのシンコペーションとHHオープンクローズ①
2回目	アップテンポの16ビートのシンコペーションとHHオープンクローズ②
3回目	8ビートシャッフルのシンコペーション、3連符Fill in①
4回目	8ビートシャッフルのシンコペーション、3連符Fill in②
5回目	8ビートシャッフルのシンコペーション、3連符Fill in③
6回目	小節線を跨ぐパターン、Fill inの練習と応用①
7回目	小節線を跨ぐパターン、Fill inの練習と応用②
8回目	フットハイハットを使ったリズムパターン、6連符Fill in①
9回目	フットハイハットを使ったリズムパターン、6連符Fill in②
10回目	フットハイハットを使ったリズムパターン、6連符Fill in③
11回目	8シャッフル、16シャッフルのHHバリエーションとゴーストノート①
12回目	8シャッフル、16シャッフルのHHバリエーションとゴーストノート②
13回目	8シャッフル、16シャッフルのHHバリエーションとゴーストノート③
14回目	期末試験
15回目	総復習
準備学習 時間外 学習	パッドおよびドラムセットでの継続的な予習・復習が必要
評価方法	各課題の理解度・達成度（60%） 出席率（40%）
受講生への メッセージ	ミュージシャン、アーティストとしての音楽表現を豊かにするために必要な基礎技術と知識を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 配布プリント	

科目名 (英)	テクニックⅧ	必修 選択	選択 必修	年次	4		
	TechniqueⅧ	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科					曜日・時限	水曜4限
【授業の学習内容】 ドラムの基礎的な演奏技術・知識と応用方法の結びつきを理解・体得する。 (講師プロフィール) 専門学校卒業後、自身が運営するドラム教室にて個人レッスンやバンドの指導を行う。 また、自身のバンドでの国内および海外公演、小学校での学習支援アシスタント活動、 音楽教育を通じた不登校児童へのサポートや障がい児の支援など、多岐に渡って活動している。							
【到達目標】 主にポピュラーミュージックで必要とされる演奏や制作に必要な技術・知識を身につける。 自分らしい音楽表現やアイデアを生み出すための基礎力を身につける。 ドラムセットおよびデジタルパーカッション等の楽器構造を理解する。							

授業計画・内容	
1回目	スウィング基礎①
2回目	スウィング基礎②
3回目	スウィング基礎③
4回目	スウィング基礎④
5回目	2ビート（シングル、ツインベダル）①
6回目	2ビート（シングル、ツインベダル）②
7回目	2ビート（シングル、ツインベダル）③
8回目	16ビート（ツインベダル）①
9回目	16ビート（ツインベダル）②
10回目	16ビート（ツインベダル）③
11回目	16ビート（ツインベダル）④
12回目	期末試験と復習
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	パッドおよびドラムセットでの継続的な予習・復習が必要
評価方法	各課題の理解度・達成度（60%） 出席率（40%）
受講生への メッセージ	ミュージシャン、アーティストとしての音楽表現を豊かにするために必要な基礎技術と知識を習得する科目です。 反復練習を日課にしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 配布プリント	

科目名 (英)	スタイルアナライズ I Style Analysis I	必修 選択	選択 必修	年次	1		
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日4限目
【授業の学習内容】 ・楽曲を教え、準備していく過程の中、音楽を構築していく為の知識と技術を学ぶ授業。発音、音程、リズム、アナライズ、あらゆるカテゴリーの必要性を知り、自身の歌唱力を上げていく。 〈講師プロフィール〉 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカリスト、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 歌唱に必要な知識と技術を、楽曲を通して知ることができる。また、人前でパフォーマンスをすることでの経験値を積む事ができる。また、田原先生と運動しているので、継続してプロセスをふんでいくことができる。							

授業計画・内容	
1回目	授業内容説明。男性・女性 カントリーロードを学ぶ
2回目	カントリーロードの復習。歌唱技術・知識を学ぶ
3回目	カントリーロードの仕上げ。歌詞を見ずに、対面で歌う練習・アドバイス
4回目	男性・Take on me 女性 I feel the earte move を学ぼう
5回目	課題曲復習。歌唱技術・知識を学ぶ
6回目	2週目課題曲仕上げ。歌詞を見ずに、対面で歌う練習・アドバイス
7回目	田原先生の間発表会への予習（歌唱指導・ステージでの心がけ）
8回目	男性・The dock of the bay 女性・I say little prayer を学ぼう
9回目	課題曲復習。歌唱技術・知識を学ぶ
10回目	3週目課題曲仕上げ。歌詞を見ずに、対面で歌う練習・アドバイス
11回目	授業発表会に向けての指導・アドバイス
12回目	田原先生授業内発表会リハーサル
13回目	まとめ
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	課題曲の予習・復習
評価方法	出席率 授業態度 課題曲仕上げ度
受講生への メッセージ	課題曲を通して、授業外でのプロセスの積み方を、学生の中に沢山経験してください。努力した分、必ず結果が出る事を信じて、頑張りましょう
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	スタイルアナライズⅡ Style Analysis Ⅱ	必修 選択	選択 必修	年次	1		
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 月曜日4限目
【授業の学習内容】 ・楽曲を教え、準備していく過程の中、音楽を構築していく為の知識と技術を学ぶ授業。発音、音程、リズム、アナライズ、あらゆるカテゴリーの必要性を知り、自身の歌唱力を上げていく。 〈講師プロフィール〉 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 歌唱に必要な知識と技術を、楽曲を通して知ることができる。また、人前でパフォーマンスをすることでの経験値を積む事ができる。また、田原先生と運動しているので、継続してプロセスをふんでいくことができる。							

授業計画・内容	
1回目	後期授業プロセスの説明。男性 Honesty 女性 Time after time を学ぼう
2回目	1週目課題曲の復習、講義。楽曲に必要な技術・知識を学ぶ
3回目	1週目課題曲の仕上げ。対面での歌唱・アドバイス
4回目	男性 Every breath you take 女性 We are never ever getting betterを学ぼう
5回目	2週目課題曲の復習、講義。楽曲に必要な技術・知識を学ぶ
6回目	2週目課題曲の仕上げ。歌詞を見ずに、対面での歌唱・アドバイス
7回目	中間発表会へのリハーサル
8回目	男性・Perfect 女性 Some one like youを学ぼう
9回目	3週目課題曲の復習、講義。楽曲に必要な技術・知識を学ぶ
10回目	3週目課題曲の仕上げ。歌詞を見ずに、対面での歌唱・アドバイス
11回目	田原先生の授業内発表会リハーサル
12回目	まとめ
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	課題曲の予習・復習
評価方法	出席率 授業態度 課題曲仕上げ度
受講生への メッセージ	1年後期を質の高さを意識したプロセスをふむことによって、2年次に向けて、モチベーションを高くもって迎える事ができます。音楽は積み重ねることで、表現が広がっていきます。後期も頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	スタイルアナライズⅢ Style Analyze Ⅲ	必修 選択	選択 必修	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日4限目
【授業の学習内容】 文字表や短い会話文でのハングルの基礎解説と実践、課題曲を用いての言葉の基礎と音楽的表現の解説と実践、歴史や文化の解説とエンターテインメントについての考察と歌唱への応用実践 〈講師プロフィール〉 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 ハングルの発音の基礎を理解して歌えるようになろう♪ オギャンの基礎を理解して歌えるようになろう♪ 音楽的表現を理解し歌えるようになろう♪ 時代背景や文化を知りそれらを理解して歌えるようになろう♪							

授業計画・内容	
1回目	ことば、歌唱の発音、楽曲や歌唱分析、時代背景や文化を学ぶことで広がる可能性を見つけよう、デュオの課題曲①
2回目	発音①(母音、ワ行、ヤ行)
3回目	発音②(ロ、ㄌ、ㄴ、ㄷ、平音、パッチム①)
4回目	発音③(ㄹ、ㄴ、ㄱ、濃音、激音、パッチム②)、デュオの課題曲②
5回目	オギャン①(低中の基本)、発音を意識して歌えるようになろう
6回目	オギャン②(高中の基本)、リズムとグルーブと発音を意識して歌えるようになろう
7回目	小テスト、デュオの課題曲③
8回目	発音①バリエーション、ダイナミクスを意識して歌えるようになろう
9回目	発音②バリエーション、音色を意識して歌えるようになろう
10回目	発音③バリエーション、デュオの課題曲④
11回目	オギャン①バリエーション、韓国文化と歴史から学ぼう
12回目	オギャン②バリエーション、K-POPの歴史から学ぼう
13回目	評価週
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	発音練習 楽曲の熟聴 歌唱練習
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	古き良きから最新の楽曲や王道曲の分析や歌唱と、時代背景や文化を知り学ぶことで、長く歌い続けられる自分自身の確かなスタイルを一緒に見つけていきましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 課題曲音源、歌詞 ハングル表、オギャン解説表	

科目名 (英)	スタイルアナライズⅣ Style Analysis Ⅳ	必修 選択	選択 必修	年次	2		
学科・コース	スーパーエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 曜日・時限 火曜日4限目
【授業の学習内容】 課題曲や短いフレーズを用いて、歌唱のためのことばのアプローチ実践、ジャンルや年代ごとの歌唱解説と実践 コーラスワークの解説と実践、自身の歌唱スタイルを構築するための考察と実践 〈講師プロフィール〉 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 ハングルの発音全般とオギャンを歌唱の中で活かせるようになろう♪ ジャンルや年代に対応した歌唱ができるようになろう♪ 少人数でのボーカルアンサンブルができるようになろう♪ 自分自身のスタイルを見つけ進化成長し続けられるようになろう♪							

授業計画・内容	
1回目	発音①ラップMix、デュオ課題曲⑤
2回目	発音②ラップMix、ジャンル年代歌唱比較①
3回目	発音③ラップMix、ジャンル年代歌唱比較②
4回目	オギャン①ラップMix、デュオ課題曲⑥
5回目	オギャン②ラップMix、課題曲⑥でアンサンブルチャレンジ①
6回目	小テスト、課題曲⑥でアンサンブルチャレンジ②
7回目	課題曲⑦、課題曲⑧でアンサンブルとラップチャレンジ①
8回目	課題曲⑧でアンサンブルとラップチャレンジ②
9回目	課題曲⑧でアンサンブルとラップチャレンジ③
10回目	自分自身のアーティストスタイルについて考えてみよう
11回目	成果成長のために、学びを振り返ろう
12回目	評価週
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	発音練習 楽曲の熟聴 歌唱練習
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	古き良きから最新の楽曲や王道曲の分析や歌唱と、時代背景や文化を知り学ぶことで、長く歌い続けられる自分自身の確かなスタイルを一緒に見つけていきましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 課題曲音源、歌詞 ハングル表、オギャン解説表	

科目名 (英)	スタイルアナライズⅤ Style Analysis Ⅴ	必修 選択	選択 必修	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 月曜4限
【授業の学習内容】 各種ジャンルのビートとコード進行を用いての分析と作曲メソッド 特殊和音の理解と活用 基本的な代理和音の理解とメロディーの生成 【講師プロフィール】 YUI、絢香のデビュー前のボーカルレッスン担当。グラミー賞受賞アーティストTAKE6のリーダー、クロードマックナイトさんや、EXILEのChoo Choi Trainなど数多くの名曲を手がける中西圭三さんと共演。自身の所属するTHE SOULMATICSFAMILYのために年間50曲以上コーラスアレンジし、九州を中心に活動するクワイアへも提供。地元うきはのための楽曲制作を行う。							
【到達目標】 様々なジャンルでのモチーフとセクションでのリズムとメロディーとコードの差別化ができる 特殊な和音でのメロディーメイクができる シンプルなコード進行の中で作曲メソッドを活かすことができる							

授業計画・内容	
1回目	リズム、メロディー、コードを用いたセクションの差別化
2回目	リズム、メロディー、コードを用いたモチーフの差別化
3回目	評価
4回目	4ビート、2ビート、コード進行とメロディーメイク
5回目	主要ジャンル、コード進行とメロディーメイク
6回目	副ジャンル、コード進行とメロディーメイク
7回目	評価
8回目	特殊三和音を含むコード進行、楽曲の分析、メロディーメイク
9回目	特殊四和音を含むコード進行、楽曲の分析、メロディーメイク
10回目	評価
11回目	ダイアトニックコードの代理和音を用いたコード進行、メロディーメイク
12回目	カデンツと終止でのメロディーメイク
13回目	We Are FSM RH
14回目	ツーコードでのメロディーメイク
15回目	総合評価
準備学習 時間外学習	事前配布資料での予習 各種メソッドを用いての分析 各種メソッドを用いての試作
評価方法	遅刻欠席、予習復習のチェック、授業態度、発表頻度と質
受講生への メッセージ	プロが実践する知識と技術を、本格的に個性的に楽曲制作していくための分析力を一緒に身につけていきましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 コード表 スケール表 参考楽曲 参考楽曲関連資料	

科目名 (英)	スタイルアナライズⅥ Style Analysis Ⅵ	必修 選択	選択 必修	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 月曜4限
【授業の学習内容】 ドミナント系コードでのスケール より高度なドミナントコードプロGRESSION 基本的なモジュレーション 【講師プロフィール】 YUI、絢香のデビュー前のボーカルレッスン担当。グラミー賞受賞アーティストTAKE6のリーダー、クロードマックナイトさんや、EXILEのChoo Choi Trainなど数多くの名曲を手がける中西圭三さんと共演。自身の所属するTHE SOULMATICSFAMILYのために年間50曲以上コーラスアレンジし、九州を中心に活動するクワイアへも提供。地元うきはのための楽曲制作を行う。							
【到達目標】 ドミナント系のコードスケールを楽曲制作に活用できる より高度なドミナント系のアプローチが理解し活用できる 基本的な転調の理解と活用ができる							

授業計画・内容	
1回目	ドミナントコードバリエーションのコードスケール
2回目	セカンダリドミナントのコードスケール
3回目	評価
4回目	サブスティテュートドミナント、クエスチョンアンドアンサーの応用
5回目	エクステンデッドドミナント、コールアンドレスポンスの応用
6回目	モーダルインターチェンジ、繰り返しのアプローチの応用
7回目	メロディックマイナー派生モード、リズムアプローチの応用
8回目	評価
9回目	モジュレーション、近親調、プレゼン思案
10回目	ダイレクトモジュレーション、プレゼン準備
11回目	ピボットモジュレーション、プレゼンリハ
12回目	総合評価
13回目	We Are FSM RH
14回目	We Are FSM RH
15回目	We Are FSM 本番
準備学習 時間外 学習	事前配布資料での予習 各種メソッドを用いての分析 各種メソッドを用いての試作
評価方法	遅刻欠席、予習復習のチェック、授業態度、発表頻度と質
受講生への メッセージ	プロが実践する知識と技術を、本格的に個性的に楽曲制作していくための分析力を一緒に身につけていきましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 コード表 スケール表 参考楽曲 参考楽曲関連資料	

科目名 (英)	スタイルアナライズⅦ	必修 選択	選択 必修	年次	4		
	Style Analysis Ⅶ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 月曜5限
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科						
【授業の学習内容】 作曲技法の音楽的アプローチ コードスケール モジュレーション 【講師プロフィール】 YUI、絢香のデビュー前のボーカルレッスン担当。グラミー賞受賞アーティストTAKE6のリーダー、クロードマックナイトさんや、EXILEのChoo Choi Trainなど数多くの名曲を手がける中西圭三さんと共演。自身の所属するTHE SOULMATICSFAMILYのために年間50曲以上コーラスアレンジし、九州を中心に活動するクワイアへも提供。地元うきはのための楽曲制作を行う。							
【到達目標】 各種コードでのスケールを理解し活用できる モジュレーションを理解し活用できる 作曲メソッドを用いながら聴感での楽曲制作ができる							

授業計画・内容	
1回目	リズム、メロディー、コードを用いたセクションとモチーフの差別化
2回目	各ジャンルにおける総合的なメロディーメイク
3回目	評価
4回目	サブスティテュートドミナント、ディミニッシュセブンス、オーギュメントのコードスケール
5回目	モーダルインターチェンジのコードスケール、コードワーク
6回目	評価
7回目	プライマリードミナント転調、クエスチョンアンドアンサーの活用
8回目	セカンダリードミナント転調、コールアンドレスポンスの活用
9回目	サブスティテュートドミナント転調、繰り返しのアプローチの活用
10回目	エクステンデッドドミナント転調、リズムアプローチの活用
11回目	評価
12回目	アヴェイラブルテンションとアヴォイド
13回目	ドミナントコードのアヴェイラブルテンション
14回目	マイナーキーのアヴェイラブルテンション
15回目	総合評価
準備学習 時間外学習	事前配布資料での予習 各種メソッドを用いての分析 各種メソッドを用いての試作
評価方法	遅刻欠席、予習復習のチェック、授業態度、発表頻度と質
受講生への メッセージ	プロが実践する高度な知識と技術を、より本格的により个性的に楽曲制作していくための分析力を一緒に身につけていきましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 コード表 スケール表 参考楽曲 参考楽曲関連資料	

科目名 (英)	スタイルアナライズⅧ Style Analysis Ⅷ	必修 選択	選択 必修	年次	4		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 月曜5限
【授業の学習内容】 作曲技法の多面的アプローチ リハーモナイズ 継続学習と発展 【講師プロフィール】 YUI、絢香のデビュー前のボーカルレッスン担当。グラミー賞受賞アーティストTAKE6のリーダー、クロードマックナイトさんや、EXILEのChoo Choi Trainなど数多くの名曲を手がける中西圭三さんと共演。自身の所属するTHE SOULMATICSFAMILYのために年間50曲以上コーラスアレンジし、九州を中心に活動するクワイアへも提供。地元うきはのための楽曲制作を行う。							
【到達目標】 技術的、感覚的、演出的な作曲のアプローチを理解し実践できる コンパウンドコードの理解と活用ができる コード理論、作曲メソッドが自身の楽曲制作に反映し発展させることができる							

授業計画・内容	
1回目	魅力溢れるメロディーメイク
2回目	作曲力の永続的なトレーニング
3回目	評価
4回目	分数コードとその用法、クエスチョンアンドアンサーの実践
5回目	ハイブリッドコードとその選択方法、コールアンドレスポンスの実践
6回目	コードのハイブリッド化、繰り返しのアプローチの実践
7回目	ポリコードとその導入方法、リズムアプローチの実践
8回目	評価
9回目	テクニカルアプローチの多面的比較
10回目	センシブルアプローチの多面的比較
11回目	プロダクティブアプローチの多面的比較
12回目	総合評価
13回目	We Are FSM RH
14回目	We Are FSM RH
15回目	We Are FSM 本番
準備学習 時間外 学習	事前配布資料での予習 各種メソッドを用いての分析 各種メソッドを用いての試作
評価方法	遅刻欠席、予習復習のチェック、授業態度、発表頻度と質
受講生への メッセージ	プロが実践する高度な知識と技術を、より本格的により个性的に楽曲制作していくための分析力を一緒に身につけていきましょう♪
【使用教科書・教材・参考書】 コード表 スケール表 参考楽曲 参考楽曲関連資料	

科目名 (英)	バンドアンサンブル I Band Ensemble I	必修 選択	選択 必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日 3 限目
【授業の学習内容】 現在のライブシーンで役立つ技術・能力・知識を身につける。 イベント制作・課題曲を通してアンサンブル能力、コミュニケーション能力、ステージマナー、ステージパフォーマンスを学んでいく。 アレンジのアイデアと理解、各パートの演奏技術と知識、デジタル機材の使用方法、楽曲や譜面に対する知識を身につける。 (講師プロフィール) 福岡中心にPops/Rock/Jazzなど広いフィールドで活躍するほかにもCM楽曲制・アーティストのサポート（LIVE/レコーディング）、など活動は多岐にわたる							
【到達目標】 楽曲を通してメンバーとコミュニケーションを取り、自分らしい演奏やパフォーマンスができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	課題曲① 授業概要説明。ステージマナーを身につけていこう！ 機材や楽器の基本的な使い方を覚えよう！
2回目	課題曲① カウントの出し方、曲の締め方のやり方を身につけよう！ アンサンブルにおける音量バランスを覚えよう！
3回目	課題曲② 基本的な譜面の読み方を理解して、演奏しよう！
4回目	課題曲② 共通譜面におけるリハーサルマーク、リピート記号や括弧、D・S等の記号の意味を理解し演奏しよう！
5回目	課題曲③ 演奏中にアイコンタクト等、演奏中にコミュニケーションを取ろう！
6回目	課題曲③ 鏡を使い、パフォーマンスを意識した演奏してみよう！
7回目	学園祭に向けて 課題曲より楽曲を仕上げていこう！
8回目	課題曲④ 楽曲のリズムを演奏者全員で共有しFeelの合った演奏をしてみよう①
9回目	課題曲④ 楽曲のリズムを演奏者全員で共有しFeelの合った演奏をしてみよう②
10回目	課題曲⑤ 楽曲における抑揚の付け方、演奏の表現方法を学ぼう①
11回目	課題曲⑤ 楽曲における抑揚の付け方、演奏の表現方法を学ぼう②
12回目	テスト週 本番を想定してリハーサルをしよう！
13回目	テスト週 前期で学んだことを活かし、オリジナルバンドを組んで演奏しよう！
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外 学習	受講前には音源、譜面、歌詞を基に自身が歌唱・演奏する事前練習を行う。
評価方法	■ 授業へ取り組み姿勢（40%） ■ 各課題曲での目標の達成度、実践度（30%） ■ 自己実現力と演奏力（歌唱力）の向上度（30%）
受講生への メッセージ	失敗を恐れずにたくさんトライして、共に学ぶ仲間と音楽を楽しみましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 音源、譜面（歌詞）、各自のMac、iPad（録音や動画撮影用）、各パートの楽器	

科目名 (英)	バンドアンサンブルⅡ Band Ensemble Ⅱ	必修 選択	選択 必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜日 3 限目
【授業の学習内容】 現在のライブシーンで役立つ技術・能力・知識を身につける。 イベント制作・課題曲を通してアンサンブル能力、コミュニケーション能力、ステージマナー、ステージパフォーマンスを学んでいく。 アレンジのアイデアと理解、各パートの演奏技術と知識、デジタル機材の使用法、楽曲や譜面に対する知識を身につける。 (講師プロフィール) 福岡中心にPops/Rock/Jazzなど広いフィールドで活躍するほかにもCM楽曲制・アーティストのサポート（LIVE/レコーディング）、など活動は多岐にわたる							
【到達目標】 楽曲を通してメンバーとコミュニケーションを取り、自分らしい演奏やパフォーマンスができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作1
2回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作2
3回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作3
4回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作4
5回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作5
6回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作6
7回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作7
8回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作8
9回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作9
10回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作10
11回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作11
12回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作12
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	受講前には音源、譜面、歌詞を基に自身が歌唱・演奏する事前練習を行う。
評価方法	■ 授業へ取り組む姿勢（40%） ■ 各課題曲での目標の達成度、実践度（30%） ■ 自己実現力と演奏力（歌唱力）の向上度（30%）
受講生への メッセージ	失敗を恐れずにたくさんトライして、共に学ぶ仲間と音楽を楽しみましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 音源、譜面（歌詞）、各自のMac、iPad（録音や動画撮影用）、各パートの楽器	

科目名 (英)	バンドアンサンブルⅢ Band Ensemble Ⅲ	必修 選択	選択 必修	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日 4 限目
【授業の学習内容】 現在のライブシーンで役立つ技術・能力・知識を身につける。 イベント制作・課題曲を通してアンサンブル能力、コミュニケーション能力、ステージマナー、ステージパフォーマンスを学んでいく。 アレンジのアイデアと理解、各パートの演奏技術と知識、デジタル機材の使用法、楽曲や譜面に対する知識を身につける。 (講師プロフィール) 福岡中心にPops/Rock/Jazzなど広いフィールドで活躍するほかにもCM楽曲制・アーティストのサポート（LIVE/レコーディング）、など活動は多岐にわたる							
【到達目標】 様々なジャンルの楽曲より、バンドアレンジやデジタル機材を用いたアレンジ、ステージパフォーマンスができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	授業概要説明、課題曲① 楽曲よりリズム、抑揚、構成などを演奏者全員で合わせて演奏しよう テーマ：ストレートなRock①
2回目	課題曲① 楽曲よりリズム、抑揚、構成などを演奏者全員で合わせて演奏しよう テーマ：ストレートなRock②
3回目	課題曲② 楽曲よりリズム、抑揚、構成などを演奏者全員で合わせて演奏しよう テーマ：Funk、R & B、POPSなどの16ビート①
4回目	課題曲② 楽曲よりリズム、抑揚、構成などを演奏者全員で合わせて演奏しよう テーマ：Funk、R & B、POPSなどの16ビート②
5回目	課題曲③ 楽曲よりリズム、抑揚、構成などを演奏者全員で合わせて演奏しよう テーマ：Shuffle、Swing16thなどのハネたグルーヴ感①
6回目	課題曲③ 楽曲よりリズム、抑揚、構成などを演奏者全員で合わせて演奏しよう テーマ：Shuffle、Swing16thなどのハネたグルーヴ感②
7回目	学園祭に向けて 課題曲より楽曲を仕上げていこう！
8回目	実演ライブに向けて 選曲、構成、アレンジなどアイデアを出して考えてみよう①
9回目	実演ライブに向けて 選曲、構成、アレンジなどアイデアを出して考えてみよう②
10回目	実演ライブに向けて 鏡を使ってお互いにステージパフォーマンスを確認しよう①
11回目	実演ライブに向けて 鏡を使ってお互いにステージパフォーマンスを確認しよう②
12回目	実演ライブに向けて 本番を想定してリハーサルをしよう！
13回目	実演ライブ 本番 前期で学んだことを活かし最高のパフォーマンスをしよう！
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外 学習	受講前には音源、譜面、歌詞を基に自身が歌唱・演奏する事前練習を行う。
評価方法	■ 授業へ取り組み姿勢（40%） ■ 各課題曲での目標の達成度、実践度（30%） ■ 自己実現力と演奏力（歌唱力）の向上度（30%）
受講生への メッセージ	ひとりひとりの最高のパフォーマンスを磨いていく為に、一緒に表現の幅をどんどん広げていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 音源、譜面（歌詞）、各自のMac、iPad（録音や動画撮影用）、各パートの楽器	

科目名 (英)	バンドアンサンブルⅣ Band Ensemble Ⅳ	必修 選択	選択 必修	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜日 4 限目
【授業の学習内容】 現在のライブシーンで役立つ技術・能力・知識を身につける。 イベント制作・課題曲を通してアンサンブル能力、コミュニケーション能力、ステージマナー、ステージパフォーマンスを学んでいく。 アレンジのアイデアと理解、各パートの演奏技術と知識、デジタル機材の使用方法、楽曲や譜面に対する知識を身につける。 (講師プロフィール) 福岡中心にPops/Rock/Jazzなど広いフィールドで活躍するほかにもCM楽曲制・アーティストのサポート（LIVE/レコーディング）、など活動は多岐にわたる							
【到達目標】 楽曲を通してメンバーとコミュニケーションを取り、自分らしい演奏やパフォーマンスができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作1
2回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作2
3回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作3
4回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作4
5回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作5
6回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作6
7回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作7
8回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作8
9回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作9
10回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作10
11回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作11
12回目	We Are FSMに向けて楽曲のアレンジ 制作12
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	受講前には音源、譜面、歌詞を基に自身が歌唱・演奏する事前練習を行う。
評価方法	■ 授業へ取り組む姿勢（40%） ■ 各課題曲での目標の達成度、実践度（30%） ■ 自己実現力と演奏力（歌唱力）の向上度（30%）
受講生への メッセージ	ひとりひとりの最高のパフォーマンスを磨いていく為に、一緒に表現の幅をどんどん広げていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 音源、譜面（歌詞）、各自のMac、iPad（録音や動画撮影用）、各パートの楽器	

科目名 (英)	バンドアンサンブルⅤ	必修 選択	選択 必修	年次	3		
	Band Ensemble Ⅴ	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	前期 火曜3・4限
【授業の学習内容】 ・バンドメンバーと円滑なコミュニケーションをとる能力を身に付ける。 ・観ている人を感動させられるパフォーマンス・演奏技術を身に付ける。 ・楽曲のアレンジ(サイズチェンジ・キーチェンジ)の能力・理論を身に付ける。 【講師プロフィール】 福岡を中心にPops/Rock/Jazzなど広いフィールドで活躍するほかにもCM楽曲制・アーティストのサポート（LIVE/レコーディング）、など活動は多岐にわたる							
【到達目標】 ・ボーカルの力を最大限活かすことの出来る演奏が出来る。 ・ボーカルの要望に即座に対応し、円滑にリハーサルを進めることが出来る。 ・他パートの演奏にも耳を配り、臨機応変に演奏内容を変えられるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	授業概要説明、課題曲①I Wish：ボーカルが歌しやすい音量感で演奏しよう
2回目	課題曲①I Wish：楽曲のサイズを変更して(XTime)、セクションの合図を出してみよう。ボーカルが安心できる演奏をしよう。
3回目	課題曲①I Wish：ボーカルが自然にノれる演奏をしよう
4回目	課題曲②ボーカルが自然にノれる演奏をしよう
5回目	課題曲②ボーカルが安心できるフィル、オカズを入れよう
6回目	課題曲②ボーカルが歌しやすい音量感で演奏しよう
7回目	課題曲③ボーカルが自然にノれる演奏をしよう
8回目	課題曲③ボーカルが安心できるフィル、オカズを入れよう
9回目	課題曲③ボーカルが歌しやすい音量感で演奏しよう
10回目	課題曲④ボーカルが自然にノれる演奏をしよう
11回目	課題曲④ボーカルが安心できるフィル、オカズを入れよう
12回目	課題曲④ボーカルが歌しやすい音量感で演奏しよう
13回目	課題曲⑤ボーカルが自然にノれる演奏をしよう
14回目	課題曲⑤ボーカルが安心できるフィル、オカズを入れよう
15回目	課題曲⑤ボーカルが歌しやすい音量感で演奏しよう
準備学習 時間外学習	・授業前にもらった資料をもとに、予習をする ・授業までに、譜面の作成をする ・授業で習った内容をもとに、継続的に復習する
評価方法	・出席率(40%) ・授業に取り組む姿勢(30%) ・各授業での達成度・実践度(30%)
受講生への メッセージ	ミュージシャンにとって、ライブはたくさんの人に評価を得られる最大のチャンスです。 お客さんや関係者に感動を与え、たくさんの人から必要とされる人材になれるよう成長していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 ・筆記用具 ・iPad,Mac ・課題テキスト(授業で配布します) ・五線譜	

科目名 (英)	バンドアンサンブルⅥ Band Ensemble Ⅵ	必修 選択	選択 必修	年次	3		
学科・コース	スーパーエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	後期 火曜3・4限
【授業の学習内容】 ・バンドメンバーと円滑なコミュニケーションをとる能力を身に付ける。 ・観ている人を感動させられるパフォーマンス・演奏技術を身に付ける。 ・楽曲のアレンジ(サイズチェンジ・キーチェンジ)の能力・理論を身に付ける。 【講師プロフィール】 福岡を中心にPops/Rock/Jazzなど広いフィールドで活躍するほかにもCM楽曲制・アーティストのサポート（LIVE/レコーディング）、など活動は多岐にわたる							
【到達目標】 ・ボーカルの力を最大限活かすことの出来る演奏が出来る。 ・ボーカルの要望に即座に対応し、円滑にリハーサルを進めることが出来る。 ・他パートの演奏にも耳を配り、臨機応変に演奏内容を変えられるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	We Are FSMに向けて 楽曲担当振り割り
2回目	We Are FSMに向けて コーラス担当振り割り
3回目	We Are FSMに向けて 担当楽曲練習
4回目	We Are FSMに向けて 楽曲アレンジの調整①
5回目	We Are FSMに向けて 楽曲アレンジの調整②
6回目	We Are FSMに向けて 楽曲アレンジの調整③
7回目	We Are FSMに向けて パフォーマンスチェック①
8回目	We Are FSMに向けて パフォーマンスチェック②
9回目	We Are FSMに向けて パフォーマンスチェック③
10回目	全曲通しリハーサル①
11回目	全曲通しリハーサル②
12回目	全曲通しリハーサル③
13回目	We Are FSM RH
14回目	We Are FSM RH
15回目	We Are FSM 本番
準備学習 時間外 学習	・授業前にもらった資料をもとに、予習をする ・授業までに、譜面の作成をする ・授業で習った内容をもとに、継続的に復習する
評価方法	・出席率(40%) ・授業に取り組む姿勢(30%) ・各授業での達成度・実践度(30%)
受講生への メッセージ	ミュージシャンにとって、ライブはたくさんの人に評価を得られる最大のチャンスです。 お客さんや関係者に感動を与え、たくさんの人から必要とされる人材になれるよう成長していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 ・筆記用具 ・iPad,Mac ・課題テキスト(授業で配布します) ・五線譜	

科目名 (英)	バンドアンサンブルⅦ Band Ensemble Ⅶ	必修 選択	選択 必修	年次	4		
学科・コース	スーパー・エンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	前期 火曜3・4限
【授業の学習内容】 ・バンドメンバーと円滑なコミュニケーションをとる能力を身に付ける。 ・観ている人を感動させられるパフォーマンス・演奏技術を身に付ける。 ・楽曲のアレンジ(サイズチェンジ・キーチェンジ)の能力・理論を身に付ける。 【講師プロフィール】 福岡を中心にPops/Rock/Jazzなど広いフィールドで活躍するほかにもCM楽曲制・アーティストのサポート（LIVE/レコーディング）、など活動は多岐にわたる							
【到達目標】 ・ボーカルの力を最大限活かすことの出来る演奏が出来る。 ・ボーカルの要望に即座に対応し、円滑にリハーサルを進めることが出来る。 ・他パートの演奏にも耳を配り、臨機応変に演奏内容を変えられるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	課題曲①ルパート曲、ボーカルが楽器陣を先導してみよう
2回目	課題曲①楽曲のサイズを変更して(XTime)、セクションの合図を出してみよう
3回目	課題曲①バンド全体でアイコンタクトを取りながら演奏してみよう
4回目	課題曲②譜面を書いてバンドメンバーと共有してみよう
5回目	課題曲②コーラスワーク、セクションのアレンジをしてみよう
6回目	課題曲②完成したアレンジを演奏しよう
7回目	課題曲③既存の楽曲のアレンジをしてみよう
8回目	課題曲③コーラスワーク、セクションのアレンジをしてみよう
9回目	課題曲③完成したアレンジを演奏しよう
10回目	課題曲④既存の楽曲のアレンジをしてみよう
11回目	課題曲④コーラスワーク、セクションのアレンジをしてみよう
12回目	課題曲④完成したアレンジを演奏しよう
13回目	課題曲⑤既存の楽曲のアレンジをしてみよう
14回目	課題曲⑤コーラスワーク、セクションのアレンジをしてみよう
15回目	課題曲⑤完成したアレンジを演奏しよう
準備学習 時間外学習	・授業前にもらった資料をもとに、予習をする ・授業までに、譜面の作成をする ・授業で習った内容をもとに、継続的に復習する
評価方法	・出席率(40%) ・授業に取り組む姿勢(30%) ・各授業での達成度・実践度(30%)
受講生への メッセージ	ミュージシャンにとって、ライブはたくさんの人に評価を得られる最大のチャンスです。 お客さんや関係者に感動を与え、たくさんの人から必要とされる人材になれるよう成長していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 ・筆記用具 ・iPad,Mac ・課題テキスト(授業で配布します) ・五線譜	

科目名 (英)	バンドアンサンブルⅧ Band Ensemble Ⅷ	必修 選択	選択 必修	年次	4		
学科・コース	スーパー・エンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	後期 火曜3・4限
【授業の学習内容】 ・バンドメンバーと円滑なコミュニケーションをとる能力を身に付ける。 ・観ている人を感動させられるパフォーマンス・演奏技術を身に付ける。 ・楽曲のアレンジ(サイズチェンジ・キーチェンジ)の能力・理論を身に付ける。 【講師プロフィール】 福岡を中心にPops/Rock/Jazzなど広いフィールドで活躍するほかにもCM楽曲制・アーティストのサポート（LIVE/レコーディング）、など活動は多岐にわたる							
【到達目標】 ・ボーカルの力を最大限活かすことの出来る演奏が出来る。 ・ボーカルの要望に即座に対応し、円滑にリハーサルを進めることが出来る。 ・他パートの演奏にも耳を配り、臨機応変に演奏内容を変えられるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	We Are FSMに向けて 楽曲担当振り割り
2回目	We Are FSMに向けて コーラス担当振り割り
3回目	We Are FSMに向けて 担当楽曲練習
4回目	We Are FSMに向けて 楽曲アレンジの調整①
5回目	We Are FSMに向けて 楽曲アレンジの調整②
6回目	We Are FSMに向けて 楽曲アレンジの調整③
7回目	We Are FSMに向けて パフォーマンスチェック①
8回目	We Are FSMに向けて パフォーマンスチェック②
9回目	We Are FSMに向けて パフォーマンスチェック③
10回目	全曲通しリハーサル①
11回目	全曲通しリハーサル②
12回目	全曲通しリハーサル③
13回目	We Are FSM RH
14回目	We Are FSM RH
15回目	We Are FSM 本番
準備学習 時間外 学習	・授業前にもらった資料をもとに、予習をする ・授業までに、譜面の作成をする ・授業で習った内容をもとに、継続的に復習する
評価方法	・出席率(40%) ・授業に取り組む姿勢(30%) ・各授業での達成度・実践度(30%)
受講生への メッセージ	ミュージシャンにとって、ライブはたくさんの人に評価を得られる最大のチャンスです。 お客さんや関係者に感動を与え、たくさんの人から必要とされる人材になれるよう成長していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 ・筆記用具,iPad,Mac ・課題テキスト(授業で配布します) ・五線譜	

科目名 (英)	アンサンブル I Ensemble I	必修 選択	選択 必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜日 2 限目
【授業の学習内容】 楽曲を教え、準備していく過程の中、音楽を構築していく為の知識と技術を学ぶ授業。発音、音程、リズム、アナライズ、あらゆるカテゴリの必要性を知り、自身の歌唱力を上げていく。また、知識を教員が教授するだけでなく、構成主義に基づく教育の上で成果物を公に示していくことを定期的に実施し、小さな本番を繰り返して改善するサイクルの中で新たな発見を促す。 〈講師プロフィール〉 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 歌唱に必要な知識と技術を、楽曲を通して知ることができる。また、人前でパフォーマンスをすることでの経験値を積む事ができる。そしてその経験の中で、仮説、試作、実践、振り返り、再構築、実践、、、という学びのサイクルの本質を学ぶことを目標とする。							

授業計画・内容	
1回目	授業内容説明。男性・女性 カントリーロードを学ぶ
2回目	カントリーロードの復習。歌唱技術・知識を学ぶ
3回目	カントリーロードの仕上げ。歌詞を見ずに歌唱
4回目	男性・Take on me 女性 I feel the earte move を学ぶ
5回目	課題曲復讐。歌唱技術・知識を学ぶ
6回目	2週目課題曲仕上げ。歌詞を見ずに歌う
7回目	中間発表、配信を通して成果物を発表、振り返り
8回目	男性・The dock of the bay 女性・I say little prayer を学ぶ
9回目	課題曲復讐。歌唱技術・知識を学ぶ
10回目	3週目課題曲仕上げ。歌詞を見ずに歌う
11回目	前期最後の発表曲を歌唱指導
12回目	前期発表（試験）
13回目	まとめ
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	課題曲の予習・復習
評価方法	出席率 授業態度 課題曲仕上げ度
受講生への メッセージ	音楽は、課題曲を通してその曲だけを歌えるようになっても成果は十分ではありません。大切なのは練習の仕方、ステージに立つ経験の中で得る学び、改善してまた次に臨むこと、このサイクルを学ぶことが重要です。練習の仕方を学び、どのような曲でもその習慣が生かされるような基礎力を見に付けましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 譜面・図表・リズム、音源トラック 振り返りシート	

科目名 (英)	アンサンブル II Ensemble II	必修 選択	選択 必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 金曜日 2 限目
【授業の学習内容】 楽曲を教え、準備していく過程の中、音楽を構築していく為の知識と技術を学ぶ授業。発音、音程、リズム、アナライズ、あらゆるカテゴリの必要性を知り、自身の歌唱力を上げていく。また、知識を教員が教授するだけでなく、構成主義に基づく教育の上で成果物を公に示していくことを定期的の実施し、小さな本番を繰り返して改善するサイクルの中で新たな発見を促す。 〈講師プロフィール〉 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 歌唱に必要な知識と技術を、楽曲を通して知ることができる。また、人前でパフォーマンスをすることでの経験値を積む事ができる。そしてその経験の中で、仮説、試作、実践、振り返り、再構築、実践、、、という学びのサイクルの本質を学ぶことを目標とする。							

授業計画・内容	
1回目	後期授業プロセスの説明。男性 Honesty 女性 Time after time を学ぶ
2回目	1週目課題曲の復習、講義。楽曲に必要な技術・知識を学ぶ
3回目	1週目課題曲の仕上げ。歌詞を見ずに歌う
4回目	男性 Every breath you take 女性 We are never ever getting betterを学ぶ
5回目	2週目課題曲の復習、講義。楽曲に必要な技術・知識を学ぶ
6回目	2週目課題曲の仕上げ。歌詞を見ずに歌う
7回目	中間発表会、配信にて成果物を発表、振り返り
8回目	男性・Perfect 女性 Some one like youを学ぶ
9回目	3週目課題曲の復習、講義。楽曲に必要な技術・知識を学ぶ
10回目	3週目課題曲の仕上げ。歌詞を見ずに歌う
11回目	最終発表（後期試験）
12回目	まとめ
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	課題曲の予習・復習
評価方法	出席率 授業態度 課題曲仕上げ度
受講生への メッセージ	成長に重要なのは、経験を活かすことです。前期に学んだことは後期に活かすこと、同じミスを繰り返さない、もし繰り返す場合はその原因をしっかりとみつけて改善していくことが大切です。成長をサイクルをつかみとっていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 譜面・図表・リズム、音源トラック 振り返りシート	

科目名 (英)	アンサンブル Ⅲ Ensemble Ⅲ	必修 選択	選択 必修	年次	2		
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科					曜日・時限	金曜日 3 限目
【授業の学習内容】							
世界に通用するヴォーカリストを目指す上で必要最低限の洋楽曲のレパートリーを、様々なジャンル、有名な曲から抜粋しレクチャーされた内容を各自演奏し披露する。観客の前でフロントマンとして説得力のある歌唱力、パフォーマンス力、コーラスワーク、演奏をする上での自身のトータルセルフプロデュース力を身につける。世界的な名曲に真摯に向き合い演奏することにより、好みに左右されることがない良いものから学びを得ていき今後展開していくそれぞれのヴォーカルスタイルの基盤を築く。 (講師プロフィール) 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15か所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】							
英語での歌唱を楽しめるようになる。好みに左右されないレパートリーを常に練習、準備することで歌唱力、表現力を身につけ様々なシーンで応用、対応出来るようになる。人前で自分のベストパフォーマンスが出来るようになる。かつよく歌う自分を具体的にプランし体現出来るようになる。コーラスワークの歌唱対応力、コーラス時の動き、立居振る舞いが出来るようになる。							

授業計画・内容	
1回目	授業概要説明、課題曲①Don't stop believin' 1コーラスレクチャー（発音、リズム、音程）、発表
2回目	課題曲①1コーラス発表、フィードバック実践
3回目	課題曲②Careless whisper,Rehub 1コーラスレクチャー（発音、リズム、音程）、発表
4回目	課題曲②1コーラス発表、フィードバック実践
5回目	課題曲③Livin' la vida loca,Just missed the train 1コーラスレクチャー（発音、リズム、音程）、発表
6回目	課題曲③1コーラス発表、フィードバック実践
7回目	課題曲④What's goin' on,I wanna dance with somebody 1コーラスレクチャー（発音、リズム、音程）、発表
8回目	課題曲④1コーラス発表、フィードバック実践
9回目	課題曲⑤Always,Stronger 1コーラスレクチャー（発音、リズム、音程）、発表
10回目	課題曲⑤1コーラス発表、フィードバック実践
11回目	課題曲⑥This love,I will survive 1コーラスレクチャー（発音、リズム、音程）、発表
12回目	課題曲⑥1コーラス発表、フィードバック実践
13回目	前期発表会
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	オリジナルアーティストの動画鑑賞等
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	一年生時に学んできたことをいかに土台として応用を効かせられるか、また、これから得る学びに対していかに恐れずチャレンジしていけるか、様々な楽曲を通して体験してもらえと思っています。今見えていることに縛られず、まだ知らない自分をたくさんのジャンルやアーティストによって手に入れていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	
譜面・図表・リズム、音源トラック 振り返りシート	

科目名 (英)	アンサンブル IV Ensemble IV	必修 選択	選択 必修	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 金曜日 3 限目
【授業の学習内容】 世界に通用するヴォーカリストを目指す上で必要最低限の洋楽曲のレパートリーを、様々なジャンル、有名な曲から抜粋しレクチャーされた内容を各自演奏し披露する。観客の前でフロントマンとして説得力のある歌唱力、パフォーマンス力、コーラスワーク、演奏をする上での自身のトータルセルフプロデュース力を身につける。世界的な名曲に真摯に向き合い演奏することにより、好みに左右されることがなく良いものから学びを得ていき今後展開していくそれぞれのヴォーカルスタイルの基盤を築く。 (講師プロフィール) 200曲以上をレパートリーに持つゴスペルグループ。年間60本を超える全国の小中学校、高等学校での芸術鑑賞会、イベント出演は六本木ヒルズから老人ホーム、ツアーやレコーディングは五木ひろしから平井 堅、海外では中国の日本大使館からNYアポロシアター、そしてミュージカルRENTへの出演。ディレクター池末信の教育メソッドを用いて、15カ所以上の学校やボーカalsクール、プロダクションへの講師派遣、K-POPやJ-POPアーティストのレコーディングディレクションを行う。							
【到達目標】 英語での歌唱を楽しめるようになる。好みに左右されないレパートリーを常に練習、準備することで歌唱力、表現力を身につけ様々なシーンで応用、対応出来るようになる。人前で自分のベストパフォーマンスが出来るようになる。かつこよく歌う自分を具体的にプランし体現出来るようになる。コーラスワークの歌唱対応力、コーラス時の動き、立居振る舞いが出来るようになる。							

授業計画・内容	
1回目	課題曲①Just the way you are,Theme from Mahogany 1コーラスレクチャー（発音、リズム、音程）、発表
2回目	課題曲① 1コーラス発表、フィードバック実践
3回目	課題曲②All of me,Underdog 1コーラスレクチャー（発音、リズム、音程）、発表
4回目	課題曲② 1コーラス発表、フィードバック実践
5回目	課題曲③Thousand miles 1コーラスレクチャー（発音、リズム、音程）、発表
6回目	課題曲③ 1コーラス発表、フィードバック実践
7回目	課題曲④Perfect,Roar 1コーラスレクチャー（発音、リズム、音程）、発表
8回目	課題曲④ 1コーラス発表、フィードバック実践
9回目	課題曲⑤Endless love 1コーラスレクチャー（発音、リズム、音程）、発表
10回目	課題曲⑤ 1コーラス発表、フィードバック実践
11回目	発表会リハーサル
12回目	後期発表会
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	オリジナルアーティストの動画鑑賞等
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	一年生時に学んできたことをいかに土台として応用を効かせられるか、また、これから得る学びに対していかに恐れずチャレンジしていけるか、様々な楽曲を通して体験してもらえと思っています。今見えていることに縛られず、まだ知らない自分をたくさんのジャンルやアーティストによって手に入れていきましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 譜面・図表・リズム、音源トラック 振り返りシート	

科目名 (英)	アンサンブルⅤ Ensemble Ⅴ	必修 選択	選択 必修	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜5限
【授業の学習内容】 ジャムセッションの現場で演奏される頻度が高いインストゥルメンタルの楽曲を演奏する。ジャムセッションの進行やルール、演奏する編成に適したアプローチを学ぶ。 【講師プロフィール】 山口 涼也。ギタリスト、インストラクター。FOS GUITAR SCHOOL代表。ギターマガジン最強プレイヤーズコンテスト2011準グランプリ。JTC Guitar Jam of the month 2020 April 優勝。JTC Guitar Jam of the month 2020 Final 準優勝。							
【到達目標】 課題曲のメロディ、バックিংのリズムに合った適切なアプローチで弾くことが出来る。セクションの変わり目やソロの受け渡し等でアイコンタクトが出来る。コード進行のアナライズを行い適切なソロを弾くことが出来る。バンドリーダーとしてメンバーに進行や決め事を伝えることが出来る。							

授業計画・内容	
1回目	「Key=E 3コードのブルース(8th)」ステージマナーを養い、楽器・機材の基本的な使い方を覚える。
2回目	「Key=A 3コードのブルース(シャッフル)」カウントの出し方、曲の締め方を理解する。アンサンブルにおける音量バランスを覚える。□
3回目	「3コードのブルース(メロディあり)」基本的な楽譜の読み方を理解し、演奏する。□
4回目	「3コードのブルース(メロディ・ソロあり)」共通譜面におけるリピータ記号や括弧、コード等の記号の意味を理解し演奏する。□
5回目	「Cissy Strut」演奏中のアイコンタクト等、コミュニケーション能力を養う。リハーサルマークの意味を理解し演奏する。□
6回目	「Cissy Strut」演奏中のアイコンタクト等、コミュニケーション能力を養う。楽曲を完成させる。□
7回目	「The Chicken」楽曲のリズムを演奏者全員が体の動きを通して共有し、Feelの合った演奏を学ぶ。□
8回目	「The Chicken」ストレートとスウィングの16beatの違いを理解し演奏する。楽曲を完成させる。□
9回目	「Sunny」楽曲における抑揚のつけかた、演奏の表現方法を学ぶ。□
10回目	「Sunny」イントロ、アウトロの作成方法を学ぶ。楽曲を完成させる。□
11回目	「Chameleon」楽曲のキメを理解し演奏する。キメ後の拍数をカウントする。□
12回目	「Chameleon」ソロを弾く。楽曲を完成させる。
13回目	ソロの作り方、アドリブのアイデア、バックিংやコードコンピングのアイデア講座
14回目	テスト週 これまでの知識を生かしてバンドを作り演奏する。(リハーサル)
15回目	テスト週 これまでの知識を生かしてバンドを作り演奏する。(本番)
準備学習 時間外 学習	受講の前には音源、譜面を基に自身が演奏するパートの練習を行う。
評価方法	授業へ取り組み姿勢 (40%) 各課題曲での目標の達成度、実戦度 (30%) 自己実現力と演奏力の向上度 (30%)
受講生への メッセージ	失敗を恐れずにチャレンジする気持ちを大切にして、一緒に音楽を楽しみましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 音源、譜面、各自のMac、iPad（録音用、動画撮影用）、オリジナルテキスト、滋慶学園テキスト	

科目名 (英)	アンサンブルVI Ensemble VI	必修 選択	選択 必修	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 木曜5限
【授業の学習内容】 ジャムセッションの現場で演奏される頻度が高いインストゥルメンタルの楽曲を演奏する。ジャムセッションの進行やルール、演奏する編成に適したアプローチを学ぶ。 【講師プロフィール】山口 涼也。ギタリスト、インストラクター。FOS GUITAR SCHOOL代表。ギターマガジン最強プレイヤーズコンテスト2011準グランプリ。JTC Guitar Jam of the month 2020 April 優勝。JTC Guitar Jam of the month 2020 Final 準優勝。							
【到達目標】 課題曲のメロディ、バックিংのリズムに合った適切なアプローチで弾くことが出来る。セクションの変わり目やソロの受け渡し等でアイコンタクトが出来る。コード進行のアナライズを行い適切なソロを弾くことが出来る。バンドリーダーとしてメンバーに進行や決め事を伝えることが出来る。							

授業計画・内容	
1回目	「Led Boots」リズムパターンのキメや変拍子を理解し演奏する。
2回目	「Led Boots」楽曲を完成させる。
3回目	「Footprints」4分の3拍子のリズムを理解し演奏する。
4回目	「Footprints」楽曲を完成させる。
5回目	「C Jam Blues」Swingのリズムを理解し演奏する。□
6回目	「C Jam Blues」4barsや8barsの受け渡しができるようになる。□
7回目	「Fly me to the moon」Ebsa Novaのリズムを理解し演奏する。□
8回目	「Fly me to the moon」定番のイントロやエンディング、セクションの変わり目のリズムパターンを理解し演奏する。□
9回目	「Isn't she lovely」リズムパターンのキメや拍子を理解し演奏する。
10回目	「Isn't she lovely」楽曲を完成させる。
11回目	テスト週 これまでの知識を生かしてバンドを作り演奏する。(リハーサル) □
12回目	テスト週 これまでの知識を生かしてバンドを作り演奏する。(本番) □
13回目	We Are FSM RH
14回目	We Are FSM RH
15回目	We Are FSM 本番
準備学習 時間外 学習	受講の前には音源、譜面を基に自身が演奏するパートの練習を行う。
評価方法	授業へ取り組み姿勢（40%） 各課題曲での目標の達成度、実戦度（30%） 自己実現力と演奏力の向上度（30%）
受講生への メッセージ	失敗を恐れずにチャレンジする気持ちを大切にして、一緒に音楽を楽しみましょう！
【使用教科書・教材・参考書】 音源、譜面、各自のMac、iPad（録音用、動画撮影用）、オリジナルテキスト、滋慶学園テキスト	

科目名 (英)	アンサンブルⅦ Ensemble Ⅶ	必修 選択	選択 必修	年次	4		
学科・コース	スーパーエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 月曜5限
【授業の学習内容】 ジャムセッションの現場で演奏される頻度が高いインストルメンタルの楽曲を演奏する。ジャムセッションの進行やルール、演奏する編成に適したアプローチを学ぶ。 【講師プロフィール】山野修作(ギター) 2003年 NYに渡りジャズギター界の巨匠ジョン・アバークロムビー、ジーン・バートンシーニアに師事。その後度々渡米し、世界的なドラマーであるビル・スチュアートらとNYで3枚のCDを製作。同時にNYのトップミュージシャンであるアダム・バーンバウム(ピアノ)、マット・クローシー(ベース)、マーク・ファーバー(ドラム)らとホールコンサートなどを含む全国ツアーを継続している。							
【到達目標】 現場での即戦力になるのはもちろん、より高いレベルでのアーティストになる為の下地作りをする。							

授業計画・内容	
1回目	ブルース
2回目	ブルース 2
3回目	Medium Swing
4回目	Medium Swing 2
5回目	Medium Fast Swing
6回目	Medium Fast Swing 2
7回目	Jazz Waltz
8回目	Jazz Waltz 2
9回目	Bossa Nova
10回目	Bossa Nova 2
11回目	Samba その他Latin
12回目	Samba その他Latin 2
13回目	まとめ
14回目	まとめ 2
15回目	中間テスト
準備学習 時間外 学習	各リズムパターン・ルーディメンツ
評価方法	中間テスト
受講生への メッセージ	周りから信頼されるミュージシャンになれるよう頑張りましょう。

科目名 (英)	アンサンブルⅧ Ensemble Ⅷ	必修 選択	選択 必修	年次	4		
学科・コース	スーパー・eエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 月曜5限
【授業の学習内容】 ジャムセッションの現場で演奏される頻度が高いインストルメンタルの楽曲を演奏する。ジャムセッションの進行やルール、演奏する編成に適したアプローチを学ぶ。 【講師プロフィール】山野修作(ギター) 2003年 NYに渡りジャズギター界の巨匠ジョン・アバークロムビー、ジーン・バートンシーニに師事。その後度々渡米し、世界的なドラマーであるビル・スチュアートらとNYで3枚のCDを製作。同時にNYのトップミュージシャンであるアダム・バーンバウム(ピアノ)、マット・クローシー(ベース)、マーク・ファーバー(ドラム)らとホールコンサートなどを含む全国ツアーを継続している。							
【到達目標】 現場での即戦力になるのはもちろん、より高いレベルでのアーティストになる為の下地作りをする。							

授業計画・内容	
1回目	前期おさらい
2回目	Fast Swing
3回目	Fast Swing 2
4回目	Latin & Swing
5回目	Latin & Swing 2
6回目	Slow tempo
7回目	Slow tempo 2
8回目	5/4 7/4など変拍子
9回目	5/4 7/4など変拍子 2
10回目	おさらい
11回目	おさらい 2
12回目	期末テスト
13回目	We Are FSM RH
14回目	We Are FSM RH
15回目	We Are FSM 本番
準備学習 時間外 学習	各リズムパターン・ルーディメンツ
評価方法	期末テスト
受講生への メッセージ	周りから信頼されるミュージシャンになれるよう頑張りました

科目名 (英)	ゴスペルアンサンブル	選択 必修	選択必修	年次	1.2		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日5限目・6限目
【授業の学習内容】							
世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル（黒人霊歌）のコンテンポラリーゴスペル（近代的なゴスペル）を中心に、オーセンティック（本格的）なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。							
〈講師プロフィール〉 マサチューセッツ州にあるバークリー音楽大学映画音楽科にて作曲、編曲、指揮法等を学び1991年、卒業後帰国。1996年に東京スクールオブミュージック専門学校副校長就任。1998年福岡スクールオブミュージック専門学校、大阪スクールオブミュージック専門学校、2002年名古屋コミュニケーションアート専門学校、2007年仙台コミュニケーションアート専門学校副校長就任。プロデューサー、ゴスペルディレクター、シンガー、作編曲家、ボイストレーナー。							
【到達目標】							
「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」 それらを体感し信じられること。							
授業計画・内容							
1回目	説明、NLPワーク、新曲2曲レクチャー						
2回目	メディテーションワーク、2曲復習、新曲1曲						
3回目	3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス						
4回目	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー						
5回目	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー						
6回目	3曲新曲、ワーク						
7回目	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス						
8回目	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス						
9回目	プレイフルワーク、楽曲復習						
10回目	楽曲復習、新曲レクチャー						
11回目	楽曲復習、新曲レクチャー						
12回目	楽曲復習、ケイティワーク						
13回目	9月特別授業						
14回目	9月特別授業						
15回目	ミュージカル演習						
準備学習 時間外学習	楽曲の復習、パート毎の音の確認						
評価方法	実技テスト（楽曲の歌唱、パフォーマンスの実演、正しいパート音を歌唱できているか）						
受講生への メッセージ	ゴスペルは音楽のルーツです。難しい楽曲もありますが失敗することを恐れず、チャレンジしていきましょう。その積み重ねがあれば世界に通用するスキルも身につけていきます。						
【使用教科書・教材・参考書】							
歌詞カード、ボイスレコーダー							

科目名 (英)	ゴスペルアンサンブル	選択 必修	選択必修	年次	1.2		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
【授業の学習内容】							
世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル（黒人霊歌）のコンテンポラリーゴスペル（近代的なゴスペル）を中心に、オーセンティック（本格的）なゴスペルのサウンドを作るための声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。							
〈講師プロフィール〉 マサチューセッツ州にあるバークリー音楽大学映画音楽科にて作曲、編曲、指揮法等を学び1991年、卒業後帰国。1996年に東京スクールオブミュージック専門学校副校長就任。1998年福岡スクールオブミュージック専門学校、大阪スクールオブミュージック専門学校、2002年名古屋コミュニケーションアート専門学校、2007年仙台コミュニケーションアート専門学校副校長就任。プロデューサー、ゴスペルディレクター、シンガー、作編曲家、ボイストレーナー。							
【到達目標】 心技体において確実な成長を体感し、講師からの客観的視点より成長を認めれること。 それらをゴスペルアンサンブルメンバー全員で達成できていること。							
授業計画・内容							
1回目	ワーク、新曲3曲レクチャー						
2回目	楽曲復習						
3回目	海外研修						
4回目	新曲2曲レクチャー、パフォーマンスレクチャー						
5回目	楽曲復習、動き復習						
6回目	ケイティワーク、2曲新曲						
7回目	楽曲復習、動き復習						
8回目	楽曲復習						
9回目	新曲2曲レクチャー、楽曲復習						
10回目	イベント演習						
11回目	イベント演習						
12回目	イベント演習						
13回目	ミュージカル演習						
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル						
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番						
準備学習 時間外学習	楽曲の復習、パート毎の音の確認						
評価方法	実技テスト（楽曲の歌唱、パフォーマンスの実演、正しいパート音を歌唱できているか）						
受講生への メッセージ	ゴスペルは音楽のルーツです。難しい楽曲もありますが失敗することを恐れず、チャレンジしていきましょう。その積み重ねがあれば世界に通用するスキルも身につけていきます。						
【使用教科書・教材・参考書】 歌詞カード、ボイスレコーダー							

科目名 (英)	ゴスペルアンサンブル	選択 必修	選択必修	年次	3.4		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
【授業の学習内容】							
世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル（黒人霊歌）のコンテンポラリーゴスペル（近代的なゴスペル）を中心に、オーセンティック（本格的）なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。							
〈講師プロフィール〉 マサチューセッツ州にあるバークリー音楽大学映画音楽科にて作曲、編曲、指揮法等を学び1991年、卒業後帰国。1996年に東京スクールオブミュージック専門学校副校長就任。1998年福岡スクールオブミュージック専門学校、大阪スクールオブミュージック専門学校、2002年名古屋コミュニケーションアート専門学校、2007年仙台コミュニケーションアート専門学校副校長就任。プロデューサー、ゴスペルディレクター、シンガー、作編曲家、ボイストレーナー。							
【到達目標】 「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」 それらを体感し信じられること。							
授業計画・内容							
1回目	説明、NLPワーク、新曲2曲レクチャー						
2回目	メディテーションワーク、2曲復習、新曲1曲						
3回目	3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス						
4回目	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー						
5回目	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー						
6回目	3曲新曲、ワーク						
7回目	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス						
8回目	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス						
9回目	プレイフルワーク、楽曲復習						
10回目	楽曲復習、新曲レクチャー						
11回目	楽曲復習、新曲レクチャー						
12回目	楽曲復習、ケイティワーク						
13回目	9月特別授業						
14回目	9月特別授業						
15回目	ミュージカル演習						
準備学習 時間外学習	楽曲の復習、パート毎の音の確認						
評価方法	実技テスト（楽曲の歌唱、パフォーマンスの実演、正しいパート音を歌唱できているか）						
受講生への メッセージ	ゴスペルは音楽のルーツです。難しい楽曲もありますが失敗することを恐れず、チャレンジしていきましょう。その積み重ねがあれば世界に通用するスキルも身についていきます。						
【使用教科書・教材・参考書】							
歌詞カード、ボイスレコーダー							

科目名 (英)	ゴスペルアンサンプル	選択 必修	選択必修	年次	3.4		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
【授業の学習内容】							
世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル（黒人霊歌）のコンテンポラリーゴスペル（近代的なゴスペル）を中心に、オーセンティック（本格的）なゴスペルのサウンドを作るための声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。							
〈講師プロフィール〉 マサチューセッツ州にあるバークリー音楽大学映画音楽科にて作曲、編曲、指揮法等を学び1991年、卒業後帰国。1996年に東京スクールオブミュージック専門学校副校長就任。1998年福岡スクールオブミュージック専門学校、大阪スクールオブミュージック専門学校、2002年名古屋コミュニケーションアート専門学校、2007年仙台コミュニケーションアート専門学校副校長就任。プロデューサー、ゴスペルディレクター、シンガー、作編曲家、ボイストレーナー。							
【到達目標】 心技体において確実な成長を体感し、講師からの客観的視点より成長を認めれること。 それらをゴスペルアンサンプルメンバー全員で達成できていること。							
授業計画・内容							
1回目	ワーク、新曲3曲レクチャー						
2回目	楽曲復習						
3回目	海外研修						
4回目	新曲2曲レクチャー、パフォーマンスレクチャー						
5回目	楽曲復習、動き復習						
6回目	ケイティワーク、2曲新曲						
7回目	楽曲復習、動き復習						
8回目	楽曲復習						
9回目	新曲2曲レクチャー、楽曲復習						
10回目	イベント演習						
11回目	イベント演習						
12回目	イベント演習						
13回目	ミュージカル演習						
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル						
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番						
準備学習 時間外学習	楽曲の復習、パート毎の音の確認						
評価方法	実技テスト（楽曲の歌唱、パフォーマンスの実演、正しいリパート音を歌唱できているか）						
受講生への メッセージ	ゴスペルは音楽のルーツです。難しい楽曲もありますが失敗することを恐れず、チャレンジしていきましょう。その積み重ねがあれば世界に通用するスキルも身につけていきます。						
【使用教科書・教材・参考書】 歌詞カード、ボイスレコーダー							

科目名 (英)	ダンステクニック I Dance technic I	必修 選択	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパー・eエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火1限
【授業の学習内容】 踊りの技術上達のためには、機能的な体の使い方を理解しないといけません。まず、解剖学的知識を深めながら体の知識を学び、その機能的な体の使い方を理解してもらいます。実践では、柔軟性と筋力強化を集中して行ないながら並行してバランスやターン、ジャンプなどのテクニックを学ぶことで、技術向上を目指していきます。また機能的と言われるバレエでの身体の使い方は、他ジャンルのダンス技術も高めてくれます。例えば、バランス力・ターン・ジャンプ力・動きのキレなど。そういったものを結びつけていようクラスを進めていきます。 【講師プロフィール】宝塚歌劇団月組卒業							
【到達目標】 まず第一に、基礎柔軟性・基礎筋力的大幅な向上。第二に適切な姿勢と動作の習得。最後にダンスの基礎動作にそれを応用していきテクニックの向上。具体的には、アダジオ（スロウに行う動作）でのバランス力などの習得、様々なピルエット（ターン）を行える軸などの習得。様々なジャンプを行えるための体幹などの習得。							

授業計画・内容	
1回目	『バレエ解剖学』 機能的な身体の使い方を学ぶ
2回目	『バレエスタンス』 立ち方と姿勢。どうして最初に学ばないといけないのか
3回目	ターンアウト（大腿骨の外旋）を学ぶ。ジャンプやピルエットの力の根源となる動作①
4回目	ターンアウト（大腿骨の外旋）を学ぶ。ジャンプやピルエットの力の根源となる動作②
5回目	基本動作の必要性を学び実践する プリエとルルベ、タンジュ、ロンデジャンプ、フォンデュ、デベロッパ、バットマン①
6回目	基本動作の必要性を学び実践する プリエとルルベ、タンジュ、ロンデジャンプ、フォンデュ、デベロッパ、バットマン②
7回目	基本動作の必要性を学び実践する プリエとルルベ、タンジュ、ロンデジャンプ、フォンデュ、デベロッパ、バットマン③
8回目	ジャンプの仕方からその強化まで学ぶ① どの筋肉が働いてる？ 上半身と下半身の連動性とは？
9回目	ジャンプの仕方からその強化まで学ぶ② どの筋肉が働いてる？ 上半身と下半身の連動性とは？
10回目	ピルエット（ターン）の仕方からその強化まで学ぶ①
11回目	ピルエット（ターン）の仕方からその強化まで学ぶ②
12回目	様々な『パ』ステップとピルエット、ジャンプを学ぶ トンベ、パドブレ、グリッサード、グランジャンプ その他②
13回目	様々な『パ』ステップとピルエット、ジャンプを学ぶ トンベ、パドブレ、グリッサード、グランジャンプ その他③
14回目	前期まとめ・試験
15回目	9月特別講義
準備学習 時間外学 習	ダンスの技術向上には、体が機能的に働くよう、姿勢や動作改善がとても重要になります。まず、自分がどのように生活をしているのか意識を向けることが課題です。次に姿勢や動作改善のためには、柔軟や筋力強化をする必要があります。それぞれの欠点に合わせてストレッチと筋力強化を行い、姿勢動作改善を行うことが日々の課題です。
評価方法	テストを最終コマに行います。項目は、バランス力、柔軟性、しなやかさ、またステップ、ピルエット、ジャンプといった物を評価させていただきます。
受講生への メッセージ	バレエ基礎クラスでの最終目標は、ボディコンディショニングと合わせて『身体能力の向上』を目指します。ダンスでは、表現力の前にやはりテクニック（技術）が一番の難問になってきます。踊りにキレを出す、ルルベでのバランス力、ピルエットの安定感、しなやかな動き、ジャンプ力、怪我をしない体、これらの技術向上を目的としクラスを行います。まずは、技術が上がることの喜びを一緒に感じていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 レッスン着・シューズ・タオル	

科目名 (英)	ダンステクニックⅡ Dance technicⅡ	必修 選択	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパー・eエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	火1限
【授業の学習内容】 前期では、機能的な身体の使い方について、バレエを通して勉強してもらいました。バレエでの体の使い方（機能的な体の使い方）というのは、日々の練習や体づくりの繰り返しになります。なので、後期ではテクニックの練習はできる限り継続して行なってもらいます。しかし同時に表現力も身につける必要があるため、ポールドブラ（アームスの動き）と顔の動きの合わせ方なども身につけてもらいます。ステージ上では、振り付けや曲によって、力強さ・しなやかさなどの表現方法を変えないといけな いため、「顔」の印象、踊り方など応用をクラスで身につけてもらいます。 【講師プロフィール】宝塚歌劇団月組卒業							
【到達目標】 ピルエット・ワルツ・アダジオ・ブティアレグロ・グランアレグロ・一連のバレエの「パ」を行ってもらいます。							

授業計画・内容	
1回目	プリエヤルルベによる足裏強化、そしてアンディオール（凱旋筋群）の強化①
2回目	プリエヤルルベによる足裏強化、そしてアンディオール（凱旋筋群）の強化②
3回目	ターンとジャンプ、テクニック強化① グランジャンプのコツとトレーニング方法
4回目	ターンとジャンプ、テクニック強化② シェネやピケ、様々なターンのコツとトレーニング方法
5回目	ターンとジャンプ、テクニック強化③ ジャンプとターンを組み合わせた動作
6回目	ターンとジャンプ、テクニック強化④ ジャンプとターンを組み合わせた動作
7回目	ポールドブラ（背中と腕）、顔の使い方を学ぶ 応用編）ステージ上で印象を与えるダンサーになるためには①
8回目	ポールドブラ（背中と腕）、顔の使い方を学ぶ 応用編）ステージ上で印象を与えるダンサーになるためには②
9回目	実践① 様々な『パ』ステップとピルエット、ジャンプを学ぶ トンベ、バドブレ、グリッサード、グランジャンプ その他
10回目	実践② 様々な『パ』ステップとピルエット、ジャンプを学ぶ トンベ、バドブレ、グリッサード、グランジャンプ その他
11回目	実践③ 様々な『パ』ステップとピルエット、ジャンプを学ぶ トンベ、バドブレ、グリッサード、グランジャンプ その他
12回目	後期まとめ
13回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	後期ではトレーニングにより筋疲労がよく起こることが考えられます、そうならないように、毎日ストレッチやメンテナンスでコンディションを整えることを行ってもらいます。
評価方法	最終コマあたりでバレエ「パ」の動作についてテストを行い、評価します。
受講生への メッセージ	前期では、ストレッチ・メンテナンス・筋力トレーニングを併合して技術向上を目指しています。これはダンスを行う以上、後期でも同じになります。ですが、ステージパフォーマンスがこれからの課題になってくるので、「踊り方」「表情」など様々な表現方法も身につけていただきたいと思います。プロになるためには技術という壁が一番高くなってくると思います。どのように超えていけるか一緒に取り組んでいきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 レッスン着・シューズ・タオル	

科目名 (英)	ダンステクニックⅢ Dance technicⅢ	必修 選択	選択必修	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	月1限
【授業の学習内容】 踊りの技術上達のためには、機能的な体の使い方を理解しないといけません。まず、解剖学的知識を深めながら体の知識を学び、その機能的な体の使い方を理解してもらいます。実践では、柔軟性と筋力強化を集中して行ないながら並行してバランスやターン、ジャンプなどのテクニックを学ぶことで、技術向上を目指していきます。また機能的と言われるバレエでの身体の使い方は、他ジャンルのダンス技術も高めてくれます。例えば、バランス力・ターン・ジャンプ力・動きのキレなど。そういったものを結びつけていようクラスを進めていきます。 【講師プロフィール】宝塚歌劇団月組卒業							
【到達目標】 まず第一に、基礎柔軟性・基礎筋力の大幅な向上。第二に適切な姿勢と動作の習得。最後にダンスの基礎動作にそれを応用していきテクニックの向上。具体的には、アダジオ（スロウに行う動作）でのバランス力などの習得、様々なピルエット（ターン）を行える軸などの習得。様々なジャンプを行えるための体幹などの習得。							

授業計画・内容	
1回目	『バレエ解剖学』 機能的な身体の使い方を学ぶ
2回目	『バレエスタンス』 立ち方と姿勢。どうして最初に学ばないといけないのか
3回目	ターンアウト（大腿骨の外旋）を学ぶ。ジャンプやピルエットの力の根源となる動作①
4回目	ターンアウト（大腿骨の外旋）を学ぶ。ジャンプやピルエットの力の根源となる動作②
5回目	基本動作の必要性を学び実践する プリエとルルベ、タンジュ、ロンデジャンプ、フォンデュ、デベロッペ、バットマン①
6回目	基本動作の必要性を学び実践する プリエとルルベ、タンジュ、ロンデジャンプ、フォンデュ、デベロッペ、バットマン②
7回目	基本動作の必要性を学び実践する プリエとルルベ、タンジュ、ロンデジャンプ、フォンデュ、デベロッペ、バットマン③
8回目	ジャンプの仕方からその強化まで学ぶ① どの筋肉が働いてる？ 上半身と下半身の連動性とは？
9回目	ジャンプの仕方からその強化まで学ぶ② どの筋肉が働いてる？ 上半身と下半身の連動性とは？
10回目	ピルエット（ターン）の仕方からその強化まで学ぶ①
11回目	ピルエット（ターン）の仕方からその強化まで学ぶ②
12回目	様々な『パ』ステップとピルエット、ジャンプを学ぶ トンベ、パドブレ、グリッサード、グランジャンプ その他②
13回目	様々な『パ』ステップとピルエット、ジャンプを学ぶ トンベ、パドブレ、グリッサード、グランジャンプ その他③
14回目	ミュージカル演習
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学 習	ダンスの技術向上には、体が機能的に動くよう、姿勢や動作改善がとても重要になります。まず、自分がどのように生活をしているのか意識を向けることが課題です。次に姿勢や動作改善のためには、柔軟や筋力強化をする必要があります。それぞれの欠点に合わせてストレッチと筋力強化を行い、姿勢動作改善を行うことが日々の課題です。
評価方法	テストを最終コマに行います。項目は、バランス力、柔軟性、しなやかさ、またステップ、ピルエット、ジャンプといった物を評価させていただきます。
受講生への メッセージ	バレエ基礎クラスでの最終目標は、ボディコンディショニングと合わせて『身体能力の向上』を目指します。ダンスでは、表現力の前にやはりテクニック（技術）が一番の難問になってきます。踊りにキレを出す、ルルベでのバランス力、ピルエットの安定感、しなやかな動き、ジャンプ力、怪我をしない体、これらの技術向上を目的としクラスを行います。まずは、技術が上がることの喜びを一緒に感じていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 レッスン着・シューズ・タオル	

科目名 (英)	ダンステクニックⅣ Ballet Basic	必修 選択	選択必修	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月1限
【授業の学習内容】 前期では、機能的な身体の使い方について、バレエを通して勉強してもらいました。バレエでの体の使い方（機能的な体の使い方）というのは、日々の練習や体づくりの繰り返しになります。なので、後期ではテクニックの練習はできる限り継続して行なってもらいます。しかし同時に表現力も身につける必要があるため、ポールドブラ（アームスの動き）と顔の動きの合わせ方なども身につけてもらいます。ステージ上では、振り付けや曲によって、力強さ・しなやかさなどの表現方法を変えないといけな ため、「顔」の印象、踊り方など応用をクラスで身につけてもらいます。 【講師プロフィール】宝塚歌劇団月組卒業							
【到達目標】 ピルエット・ワルツ・アダジオ・ブティアレグロ・グランアレグロ・一連のバレエの「パ」を行ってもらいます。							

授業計画・内容	
1回目	プリエヤルルベによる足裏強化、そしてアンディオール（凱旋筋群）の強化①
2回目	プリエヤルルベによる足裏強化、そしてアンディオール（凱旋筋群）の強化②
3回目	ターンとジャンプ、テクニック強化① グランジャンプのコツとトレーニング方法
4回目	ターンとジャンプ、テクニック強化② シェネやピケ、様々なターンのコツとトレーニング方法
5回目	ターンとジャンプ、テクニック強化③ ジャンプとターンを組み合わせた動作
6回目	ターンとジャンプ、テクニック強化④ ジャンプとターンを組み合わせた動作
7回目	ポールドブラと顔の使い方を学ぶ 応用編）ステージ上での表現や印象を与えるダンサー①
8回目	ダンサーとしての表現・表情の重要性を知ろう。ステージ上で観客は何を見ている？
9回目	実践① 様々な『パ』ステップとピルエット、ジャンプを学ぶ トンベ、バドブレ、グリッサード、グランジャンプ その他
10回目	実践② 様々な『パ』ステップとピルエット、ジャンプを学ぶ トンベ、バドブレ、グリッサード、グランジャンプ その他
11回目	実践③ 様々な『パ』ステップとピルエット、ジャンプを学ぶ トンベ、バドブレ、グリッサード、グランジャンプ その他
12回目	後期まとめ・試験
13回目	ミュージカル実習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	後期ではトレーニングにより筋疲労がよく起こることが考えられます、そうならないように、毎日ストレッチやメンテナンスでコンディションを整えることを行ってもらいます。
評価方法	最終コマあたりでバレエ「パ」の動作についてテストを行い、評価します。
受講生への メッセージ	前期では、ストレッチ・メンテナンス・筋力トレーニングを併合して技術向上を目指しています。これはダンスを行う以上、後期でも同じになります。ですが、ステージパフォーマンスがこれからの課題になってくるので、「踊り方」「表情」など様々な表現方法も身につけていただきたいと思います。プロになるためには技術という壁が一番高くなってくると思います。どのように超えていけるか一緒に取り組んでいきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 レッスン着・シューズ・タオル	

科目名 (英)	ダンスパフォーマンスⅠ Dance Performance I	必修 選択	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパーエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 月2限
【授業の学習内容】 ダンス＆ヴォーカルではソロ＋ダンサー～全員がマイクを持つなどの様々な演奏形態であったり、ポップス、EDM、ロック、ファンクなど色々なジャンルに対応出来る技術が必要です。1年生では与えられた振りや歌割りを短い時間の中で表現でき、デレクションを入れる事で「自身の表現の幅を広げる」を授業の中で実施していきます。 【講師プロフィール】 レコーディングディレクション、ライブディレクション、ヴォーカルトレーニングを行っており、 千賀健永（Kis-My-Ft2） / 藤原さくら（アミューズ） / May'n（ホリプロ）など様々なアーティストのヴォーカルトレーニングを担当。							
【到達目標】 自分の表現できるテクニックの幅を広げる為の実習を行う。							

授業計画・内容	
1回目	【目標①】【セッション1】1st TAからCTへのブリッジリットメント① 課題曲1振り落とし 1コーラス目＋基礎作り（毎回）（＋yuki）
2回目	【目標①】1st TAからCTへのブリッジリットメント② 課題曲1振り落とし 2コーラス目以降＋パート分け歌唱（＋yuki）
3回目	【目標①】1st TA強化トレーニング 課題曲1振り落とし 構成＋パート別け（＋yuki）
4回目	【目標①】2nd 母音を入れ声帯閉鎖補助でのブリッジリットメント① 課題曲1パフォーマンス（＋yuki）
5回目	【目標①】2nd 母音を入れ声帯閉鎖補助でのブリッジリットメント② 課題曲1パフォーマンス固め
6回目	【目標①】3rd 声帯閉鎖補助なしでのブリッジリットメント① 課題曲1パフォーマンス確認
7回目	【目標①】3rd 声帯閉鎖補助なしでのブリッジリットメント② 課題曲1パフォーマンス最終チェック
8回目	【目標①】3rd 声帯閉鎖補助なしでのブリッジリットメント③ 課題曲2振り落とし 1コーラス目＋メロ確（＋yuki）
9回目	【目標①】【セッション2】1st 軟口蓋のストレッチングによる共鳴空間拡大① 課題曲2振り落とし 2コーラス目以降＋パート分け歌唱（＋yuki）
10回目	【目標②】1st 軟口蓋のストレッチングによる共鳴空間拡大② 課題曲2振り落とし 構成＋パート別け（＋yuki）
11回目	【目標②】2nd 胸骨甲状筋ストレッチング① 課題曲2パフォーマンス
12回目	【目標②】2nd 胸骨甲状筋ストレッチング② 課題曲1と2パフォーマンス
13回目	前期まとめ
14回目	試験
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学 習	（目標①）1曲を安定して歌うためには体力が必要ですので自分のパート以外も何度も繰り返して練習をしてください。 （目標②）全員の表現が揃うことが大切になりますのでレッスンの映像を確認して復習が必要です。
評価方法	●出席率（50%） ●定期テスト（30%） ●受講意欲（20%）
受講生への メッセージ	この授業はグループとして1つの作品を作っていますので、体調管理に気をつけて欠席をしないようにしてください。
【使用教科書・教材・参考書】 ●iPad、メモ用紙、ペン	

科目名 (英)	ダンスパフォーマンスⅡ Dance PerformanceⅡ	必修 選択	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパーエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 月2限
【授業の学習内容】 自分で考え、表現していくための授業を実施していきます。オリジナル曲を用いて振りや構成、歌割など自分たちで作り上げていきます。限られた時間の中でクオリティを上げる練習をしていきます。 【講師プロフィール】 レコーディングディレクション、ライブディレクション、ヴォーカルトレーニングを行っており、 千賀健永 (Kis-My-Ft2) / 藤原さくら (アムーズ) / May'n (ホリプロ) など様々なアーティストのヴォーカルトレーニングを担当。							
【到達目標】 歌う為の体作り、自分の感性を表現できるテクニックを学ぶ為の実習を行う。							

授業計画・内容	
1回目	【セクション2】3rd チェスト 課題曲③渡し、アレンジや歌詞による曲の解釈 メロ確認
2回目	3rd チェスト 課題曲③パート分け歌唱、自分達で1コーラス分振り作り
3回目	4th ブリジットリートメント 課題曲③パート分け、構成作り 2コーラス分振り作り
4回目	4th ブリジットリートメント 課題曲③構成作り 2コーラス分振り作り
5回目	【セクション3】1st TAのバンブアップ 課題曲③パフォーマンス固め
6回目	1st TAのバンブアップ 課題曲③パフォーマンス確認
7回目	2st TA→CTのバンブアップ 課題曲④渡し、アレンジや歌詞による曲の解釈 メロ確認
8回目	2st TA→CTのバンブアップ 課題曲④パート分け歌唱、自分達で1コーラス分振り作り (2グループ)
9回目	3rd mixのバンブアップ 課題曲④パート分け、自分達で②2コーラス分振り作り
10回目	3rd mixのバンブアップ 課題曲④構成作り 2コーラス分振り作り
11回目	4th ヘッドのバンブアップ 課題曲④パフォーマンス固め
12回目	4th ヘッドのバンブアップ 課題曲④パフォーマンス確認
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	(目標①) 全員の表現が揃うことが大切になりますのでレッスンの映像を確認して復習が必要です。 (目標②) 見解を広げるために普段から自分の好きな音楽以外も聴いたり歌ったりする事が必要です。 (目標③) 1曲を安定して歌うためには体力が必要ですので自分のパート以外も何度も繰り返して練習をしてください。
評価方法	●出席率 (50%) ●定期テスト (30%) ●受講意欲 (20%)
受講生への メッセージ	この授業はグループとして1つの作品を作っていますので、体調管理に気をつけて欠席をしないようにしてください。
【使用教科書・教材・参考書】 ●iPad、ペン	

科目名 (英)	ダンスパフォーマンスⅢ Dance PerformanceⅢ	必修 選択	選択必修	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木2限
【授業の学習内容】 2年生では与えられた振りと歌割りを表現するのではなく、歌詞や楽器のサウンド、アレンジなどから意図を汲み取り「どんな表現を求められているのかを自分で考え、体現していく」ための授業を実施していきます。オリジナル曲を用いて振りや構成、歌割など自分たちで作り上げていきます。限られた時間の中でクオリティを上げる練習をしていきます。 【講師プロフィール】 レコーディングディレクション、ライブディレクション、ヴォーカルトレーニングを行っており、 千賀健永（Kis-My-Ft2）/ 藤原さくら（アムーズ）/ May'n（ホリプロ）など様々なアーティストのヴォーカルトレーニングを担当。							
【到達目標】 歌う為の体作り、自分の感性を表現できるテクニックを学ぶ為の実習を行う。 〈具体的な目的〉 目標①歌詞やアレンジなどからどう表現するべきか曲の意図を汲み取る力をつける 目標②適正な音域などによるパート割りをする事により表現効果を増すテクニックを身につける 目標③課題曲に自分で振りを作り、構成をつける力を身につける事ができるようになる							

授業計画・内容	
1回目	（目標①②）オリジナル曲渡し、アレンジや歌詞による曲の解釈 パート割の為の歌唱、1コーラス分振り作り
2回目	（目標②③）1コーラス分振り作り
3回目	（目標②③） 2コーラス分振り作り、構成作り
4回目	（目標①②③） 2コーラス分振り作り、構成作り
5回目	（目標①②③）パフォーマンス確認
6回目	（目標①②③）パフォーマンス最終確認
7回目	（目標①②）課題曲②渡し、自分たちでのパート割、1コーラス分振り作り （男女グループ）
8回目	（目標②③） 1コーラス分振り作り
9回目	（目標②③） 2コーラス分振り作り、構成作り
10回目	（目標①②③） 2コーラス以降振り作り、構成作り
11回目	（目標①②③）パフォーマンス確認
12回目	（目標①②③）パフォーマンス最終確認
13回目	前期まとめ
14回目	試験
15回目	ミュージカル演習
準備学習 時間外学習	（目標①）1曲を安定して歌うためには体力が必要ですので自分のパート以外も何度も繰り返して練習をしてください。 （目標②）全員の表現が揃うことが大切になりますのでレッスンの映像を確認して復習が必要です。
評価方法	●出席率（50%） ●定期テスト（30%） ●受講意欲（20%）
受講生への メッセージ	この授業はグループとして1つの作品を作っていますので、体調管理に気をつけて欠席をしないようにしてください。
【使用教科書・教材・参考書】 ●iPad、メモ用紙、ペン	

科目名 (英)	ダンスパフォーマンスⅣ Dance PerformanceⅣ	必修 選択	選択必修	年次	2		
学科・コース	スーパーエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 木2限
【授業の学習内容】 2年生では与えられた振りと歌割りを表現するのではなく、歌詞や楽器のサウンド、アレンジなどから意図を汲み取り「どんな表現を求められているのかを自分で考え、体現していく」ための授業を実施していきます。オリジナル曲を用いて振りや構成、歌割など自分たちで作りに上げていきます。限られた時間の中でクオリティを上げる練習をしていきます。 【講師プロフィール】 レコーディングディレクション、ライブディレクション、ヴォーカルトレーニングを行っており、 千賀健永（Kis-My-Ft2） / 藤原さくら（アムューズ） / May'n（ホリプロ）など様々なアーティストのヴォーカルトレーニングを担当。							
【到達目標】 歌う為の体作り、自分の感性を表現できるテクニックを学ぶ為の実習を行う。							

授業計画・内容	
1回目	（目標①②）課題曲②渡し、自分たちでのパート割、1コーラス分振り作り （ソロ）
2回目	（目標②③） 1コーラス分振り作り
3回目	（目標②③） 2コーラス分振り作り、構成作り
4回目	（目標①②③） 2コーラス以降振り作り、構成作り
5回目	（目標①②③） パフォーマンス確認
6回目	（目標①②③） パフォーマンス最終確認
7回目	（目標①②）課題曲②渡し、自分たちでのパート割、1コーラス分振り作り （ソロ）
8回目	（目標②③） 1コーラス分振り作り
9回目	（目標②③） 2コーラス分振り作り、構成作り
10回目	（目標①②③） 2コーラス以降振り作り、構成作り
11回目	（目標①②③） パフォーマンス確認
12回目	（目標①②③） パフォーマンス最終確認
13回目	ミュージカル演習
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	（目標①）パートを割る事による表現効果の理解が不可欠ですのでヴォーカルが2人以上いるグループを聴く予習が必要です。 （目標②）曲のジャンルやコンセプトによるキャッチーなキメ表現が必要になるので手振りなどの予習が必要です。 （目標③）3度、5度などの理解が必要ですのでメロディーに対してどうハモっているのか予習が必要です。
評価方法	●出席率（50%） ●定期テスト（30%） ●受講意欲（20%）
受講生への メッセージ	この授業はグループとして1つの作品を作っていますので、体調管理に気をつけて欠席をしないようにしてください。
【使用教科書・教材・参考書】 ●iPad、メモ用紙、ペン	

科目名 (英)	ダンスパフォーマンスⅤ Dance PerformanceⅤ	必修 選択	選択必修	年次	3		
学科・コース	スーパーエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 火曜3限
【授業の学習内容】 ストレッチ、アイソレーション、リズムトレーニング、ルーティーンワーク、自主制作、ソロパフォーマンス (講師) 福岡を拠点に、県内外でのshow、judge、lesson、バックアップダンサー、PV出演、振り付けなどを行い活動中。							
【到達目標】 ダンスの知識や技術を使い自主制作やソロパフォーマンスが出来るようになる。また、自己プロデュースをする事が大事なので自分のダンスでの長所を見つける事が出来る様になる。							

授業計画・内容	
1回目	アイソレーション、リズムトレーニングベーシック
2回目	アップ、ダウンのリズムを軸にアイソレの確認
3回目	前後のリズム、リズムバリエーション
4回目	ブレイクダウンを使った軸の意識を確認
5回目	重心移動を意識したステップやムーブ
6回目	ハウス基礎
7回目	ハウスのリズムバリエーション
8回目	ヒップホップから派生したステップ
9回目	様々なステップのリズムバリエーション
10回目	フロアムーブのベーシック
11回目	フロアムーブの応用
12回目	ルーティーン自主作成
13回目	ルーティーン＋ソロ
14回目	前期まとめ
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	
評価方法	●出席率（50%） ●定期テスト（30%） ●受講意欲（20%）
受講生への メッセージ	ヒップホップやハウスのニュースクール中心のレッスンですが、オールドスクールの要素は必須な事が多くあるので柔軟に考えて取り組んでいきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスパフォーマンスⅥ Dance PerformanceⅥ	必修 選択	選択必修	年次	3		
学科・コース	スーパー・エンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 火曜3限
【授業の学習内容】 ストレッチ、アイソレーション、リズムトレーニング、ルーティーンワーク、自主制作 (講師) 福岡を拠点に、県内外でのshow、judge、lesson、バックアップダンサー、PV出演、振り付けなどを行い活動中。							
【到達目標】 授業で得た知識や技術を使って、自身でルーティーン制作やソロパフォーマンスが出来るようになる							

授業計画・内容	
1回目	ヒップホップ、オールドスクール要素を多めに
2回目	サイドワーク、バックスライド
3回目	ボディーウェーブ、ハンドウェーブ
4回目	ルーティーン+自主作成
5回目	ハウスダンスベーシック
6回目	ハウスダンスのステップ応用
7回目	ハウスダンス ターンを中心に様々なステップ
8回目	ルーティーン+自主作成
9回目	ヒップホップルーティーン
10回目	ハウスルーティーン
11回目	ルーティーン+ソロパフォーマンス
12回目	一年間のまとめ
13回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	
評価方法	●出席率 (50%) ●定期テスト (30%) ●受講意欲 (20%)
受講生への メッセージ	普通の授業で得た知識や技術をしっかりと身につけて、将来自分自信がプレイヤー、教える立場になった時に役に立てるようにしよう。流行りに敏感な業界ですが、基礎の部分は大事なので自分の土台作りをしっかりとしよう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスパフォーマンスⅦ Dance PerformanceⅦ	必修 選択	選択必修	年次	4		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日 3 限
授業の学習内容 ダンス全般に必要な基礎の土台を作る。ウォーミングアップ、リズムトレーニング、アイソレーション、筋トレ、応用、振り付け、各パートの基礎力向上を目指す。リズム感を養い、対応できる体づくりを目指す。各々の意識を高めていきたい。 (講師) クラブ等show出演の他、sunsetliveなどの野外フェス出演、インストラクター、ダンスコンテスト審査員、振付等、福岡を拠点に幅広い分野でダンサーとして活躍中。 【到達目標】 継続出来れば、自然なリズムが取れるようになる。多様なリズムが体で表現出来るようになる。 様々なジャンルのダンスに必要なことが身に染みて分かるようになる。 やる気、頑張り次第で体力、筋力が付く。							

授業計画・内容	
1回目	正しい体の使い方や流れ、その他の説明（ストレッチ、筋トレ） 個人チェック
2回目	確認、アイソレーションの意識
3回目	アイソレーション、リズムトレーニング、出来次第で進む。（以下、WUP、リズムトレ、アイソレ、筋トレ、応用は必須。）
4回目	それぞれの強化指導。出来てるかチェック。簡単なコレオ。
5回目	それぞれの強化指導。簡単なコレオ。
6回目	それぞれの強化指導。簡単なコレオ。
7回目	細かい指導。 チェック。
8回目	グループに分かれて小テスト。
9回目	それぞれの強化指導。簡単なコレオ。
10回目	それぞれの強化指導。簡単なコレオ。
11回目	グループに分かれて構成。
12回目	夏の課題
13回目	テスト。後期に向けてのカウンセリング
14回目	9月特別授業
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	次の授業に向けて復習。練習は必須。日々のストレッチ、筋トレの習慣はつける。＝目標達成への近道です。
評価方法	●出席率（50%） ●定期テスト（30%） ●受講意欲（20%）
受講生への メッセージ	ただのダンスレッスンにならない様に、これは仕事というイメージを持つことが大切です。基礎とは幅広く奥が深いです。経験者、未経験者、様々ありますが出来る。出来た。で終わらず追求心を持って取り組んで欲しいです。日々の積み重ね、努力が夢への近道です。
【使用教科書・教材・参考書】	
特になし	

科目名 (英)	ダンスパフォーマンスⅧ Dance PerformanceⅧ	必修 選択	選択必修	年次	4		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜日 3 限
【授業の学習内容】 様々なリズムの取り方や踊り方を学ぶ。各パートの基礎力向上を目指す。リズム感を養い、対応できる体づくりを目指す。各々の意識を高めていき表現できるような授業に近づけていきたい。ダンスの楽しさを感じ取る。サークルセッションやグループワーク有り。 (講師) クラブ等show出演の他、sunsetliveなどの野外フェス出演、インストラクター、ダンスコンテスト審査員、振付等、福岡を拠点に幅広い分野でダンサーとして活躍中。							
【到達目標】 様々なリズムの取り方や踊り方を学ぶ。個人個人が踊れるようになることを目標に。 グループワークでチームワーク力を高める。団結力。ソロ力強化。							

授業計画・内容	
1回目	以下WUP,リズトレ、アイソレ、筋トレ、応用は必須 基礎とコレオ
2回目	コレオ
3回目	コレオ小テスト
4回目	コレオ ジャンルmix、グループセッション (以下同文)
5回目	コレオ ジャンルmix
6回目	コレオ ジャンルmix
7回目	コレオ ジャンルmix
8回目	構成、グループワーク、発表
9回目	コレオ+フリーダンスグループワーク
10回目	小テスト 一人ずつ
11回目	自主コレオ課題
12回目	発表。集大成。
13回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学習	自主コレオを短くても出来るように踊れる準備をしておく。前期でした内容は必ず出来るようになっておく。
評価方法	●出席率 (50%) ●定期テスト (30%) ●受講意欲 (20%)
受講生への メッセージ	前期の内容は忘れないように継続してやっていきます！レベルアップしていけるように積み重ねを忘れずに授業に取り組んで欲しいです。楽しく踊りましょう！！
【使用教科書・教材・参考書】 特になし。	

科目名 (英)	ダンスクリエイション I Dance Creation I	必修 選択	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜4限
【授業の学習内容】 案件に対して対応できるようになるため、舞台知識、発想の瞬発力、構成の妙、またポジションによつての動き方を指導（プロデュース、振付師、スタンドイン、プレイヤー）それと同時に裏方の知識も指導。 （講師）19歳より大阪の専門学校にてダンス、演技、歌を学ぶ。スペースワールドにレヴューダンサーとして就職後、東京、ロサンゼルスと在住しさらに技術を高める。ほぼ全てのジャンルを高次元でこなし、さらにそれをM i xさせたオリジナルスタイルで自身を表現。またディレクターとして20代後半に頭角を現し、様々なダンスチーム、アーティストにも振付、演出指導をしている。特にアイドル業界では何組ものアイドルへの振付。その数述べ300曲を超える。現在も九州を拠点に、関西、関東などで活動中。							
【到達目標】 様々な現場で対応できる知識と経験を得る。好きな曲、好きな振付ではなくクライアントの要望に応えられるような振付ができる。							

授業計画・内容	
1回目	舞台基礎知識
2回目	照明基礎知識
3回目	照明応用知識
4回目	音響知識と編集力
5回目	テーマをランダムに決めた振付
6回目	セクション分けをしたもの作り
7回目	プレゼン、直し
8回目	直しが入った後のプレゼン
9回目	上級テーマで制作
10回目	制作期間とスケジュール管理
11回目	発表
12回目	セッション
13回目	コンテスト
14回目	まとめテスト
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学 習	
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	もの作りはきついしんどいですがやり終えた後の作品は我が子のように愛おしいです。ハマります
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスクリエイションⅡ Dance CreationⅡ	必修 選択	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜4限
【授業の学習内容】 卒業制作に向かい前期で得た知識と経験を生かしたもの作り。またそこから1歩進んだテクニックや考え方のレクチャー (講師) 19歳より大阪の専門学校にてダンス、演技、歌を学ぶ。スペースワールドにレビューダンサーとして就職後、東京、ロサンゼルスと在住しさらに技術を高める。ほぼ全てのジャンルを高次元でこなし、さらにそれをM i xさせたオリジナルスタイルで自身を表現。またディレクターとして20代後半に頭角を現し、様々なダンスチーム、アーティストにも振付、演出指導をしている。特にアイドル業界では何組ものアイドルへの振付。その数述べ300曲を超える。現在も九州を拠点に、関西、関東などで活動中。							
【到達目標】 スケジュール管理や、メールでのやりとりなど社会人ダンサーとしてしっかりした土台を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	制作テーマ決め
2回目	テーマ議論
3回目	作成開始
4回目	作成、スケジュール管理
5回目	作成、リハーサル場所の確保
6回目	作成
7回目	作成
8回目	内覧会、直し
9回目	直し、衣装
10回目	小道具やではけの確認
11回目	照明案、制作チームと打ち合わせ
12回目	ブラッシュアップ
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	1年間の集大成。最高のものを作りましょう！！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスクリエイションⅢ Dance CreationⅢ	必修 選択	選択必修	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜4限
【授業の学習内容】 案件に対して対応できるようになるため、舞台知識、発想の瞬発力、構成の妙、またポジションによつての動き方を指導（プロデュース、振付師、スタンドイン、プレイヤー）それと同時に裏方の知識も指導。 （講師）19歳より大阪の専門学校にてダンス、演技、歌を学ぶ。スペースワールドにレヴューダンサーとして就職後、東京、ロサンゼルスと在住しさらに技術を高める。ほぼ全てのジャンルを高次元でこなし、さらにそれをM i xさせたオリジナルスタイルで自身を表現。またディレクターとして20代後半に頭角を現し、様々なダンスチーム、アーティストにも振付、演出指導をしている。特にアイドル業界では何組ものアイドルへの振付。その数述べ300曲を超える。現在も九州を拠点に、関西、関東などで活動中。							
【到達目標】 様々な現場で対応できる知識と経験を得る。好きな曲、好きな振付ではなくクライアントの要望に応えられるような振付ができる。							

授業計画・内容	
1回目	1年次振り返り、年間目標設定
2回目	制作テーマ決め
3回目	テーマ議論
4回目	作成開始
5回目	作成、スケジュール管理
6回目	作成、リハーサル場所の確保
7回目	作成
8回目	作成
9回目	内覧会、直し
10回目	直し、衣装
11回目	小道具やではけの確認
12回目	照明案、制作チームと打ち合わせ
13回目	ブラッシュアップ
14回目	まとめテスト
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	ものの作りはきついししんどいですがやり終えた後の作品は我が子のように愛おしいです。ハマります
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスクリエイションⅣ Dance CreationⅣ	必修 選択	選択必修	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜4限
【授業の学習内容】 卒業制作に向かい前期で得た知識と経験を生かしたもの作り。またそこから1歩進んだテクニックや考え方のレクチャー (講師) 19歳より大阪の専門学校にてダンス、演技、歌を学ぶ。スペースワールドにレビューダンサーとして就職後、東京、ロサンゼルスと在住しさらに技術を高める。ほぼ全てのジャンルを高次元でこなし、さらにそれをM i xさせたオリジナルスタイルで自身を表現。またディレクターとして20代後半に頭角を現し、様々なダンスチーム、アーティストにも振付、演出指導をしている。特にアイドル業界では何組ものアイドルへの振付。その数述べ300曲を超える。現在も九州を拠点に、関西、関東などで活動中。							
【到達目標】 スケジュール管理や、メールでのやりとりなど社会人ダンサーとしてしっかりした土台を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	制作テーマ決め
2回目	テーマ議論
3回目	作成開始
4回目	作成、スケジュール管理
5回目	作成、リハーサル場所の確保
6回目	作成
7回目	作成
8回目	内覧会、直し
9回目	直し、衣装
10回目	小道具やではけの確認
11回目	照明案、制作チームと打ち合わせ
12回目	ブラッシュアップ
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	1年間の集大成。最高のものを作りましょう！！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスクリエイションⅤ Dance Creation V	必修 選択	選択必修	年次	3		
学科・コース	スーパーエンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜4限
【授業の学習内容】 案件に対して対応できるようになるため、舞台知識、発想の瞬発力、構成の妙、またポジションによつての動き方を指導（プロデュース、振付師、スタンドイン、プレイヤー）それと同時に裏方の知識も指導。 （講師）19歳より大阪の専門学校にてダンス、演技、歌を学ぶ。スペースワールドにレヴューダンサーとして就職後、東京、ロサンゼルスと在住しさらに技術を高める。ほぼ全てのジャンルを高次元でこなし、さらにそれをM i x させたオリジナルスタイルで自身を表現。またディレクターとして20代後半に頭角を現し、様々なダンスチーム、アーティストにも振付、演出指導をしている。特にアイドル業界では何組ものアイドルへの振付。その数述べ300曲を超える。現在も九州を拠点に、関西、関東などで活動中。							
【到達目標】 様々な現場で対応できる知識と経験を得る。好きな曲、好きな振付ではなくクライアントの要望に応えられるような振付ができる。							

授業計画・内容	
1回目	2年次振り返り、年間目標設定
2回目	制作テーマ決め
3回目	テーマ議論
4回目	作成開始
5回目	作成、スケジュール管理
6回目	作成、リハーサル場所の確保
7回目	作成
8回目	作成
9回目	内覧会、直し
10回目	直し、衣装
11回目	小道具やではけの確認
12回目	照明案、制作チームと打ち合わせ
13回目	ブラッシュアップ
14回目	まとめテスト
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	ものの作りはきついしんどいですがやり終えた後の作品は我が子のように愛おしいです。ハマります
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスクリエイションVI Dance CreationVI	必修 選択	選択必修	年次	3		
学科・コース	スーパーエンターテイメント科・音楽プロデュース科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜4限
【授業の学習内容】 卒業制作に向かい前期で得た知識と経験を生かしたもの作り。またそこから1歩進んだテクニックや考え方のレクチャー (講師) 19歳より大阪の専門学校にてダンス、演技、歌を学ぶ。スペースワールドにレビューダンサーとして就職後、東京、ロサンゼルスと在住しさらに技術を高める。ほぼ全てのジャンルを高次元でこなし、さらにそれをM i xさせたオリジナルスタイルで自身を表現。またディレクターとして20代後半に頭角を現し、様々なダンスチーム、アーティストにも振付、演出指導をしている。特にアイドル業界では何組ものアイドルへの振付。その数述べ300曲を超える。現在も九州を拠点に、関西、関東などで活動中。							
【到達目標】 スケジュール管理や、メールでのやりとりなど社会人ダンサーとしてしっかりした土台を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	制作テーマ決め
2回目	テーマ議論
3回目	作成開始
4回目	作成、スケジュール管理
5回目	作成、リハーサル場所の確保
6回目	作成
7回目	作成
8回目	内覧会、直し
9回目	直し、衣装
10回目	小道具やではけの確認
11回目	照明案、制作チームと打ち合わせ
12回目	ブラッシュアップ
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	1年間の集大成。最高のものを作りましょう！！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスクリエイションⅦ Dance CreationⅦ	必修 選択	選択必修	年次	4		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜4限
【授業の学習内容】 案件に対して対応できるようになるため、舞台知識、発想の瞬発力、構成の妙、またポジションによっての動き方を指導（プロデューサー、振付師、スタンドイン、プレイヤー）それと同時に裏方の知識も指導。 （講師）19歳より大阪の専門学校にてダンス、演技、歌を学ぶ。スペースワールドにレヴューダンサーとして就職後、東京、ロサンゼルスと在住しさらに技術を高める。ほぼ全てのジャンルを高次元でこなし、さらにそれをM i xさせたオリジナルスタイルで自身を表現。またディレクターとして20代後半に頭角を現し、様々なダンスチーム、アーティストにも振付、演出指導をしている。特にアイドル業界では何組ものアイドルへの振付。その数述べ300曲を超える。現在も九州を拠点に、関西、関東などで活動中。							
【到達目標】 様々な現場で対応できる知識と経験を得る。好きな曲、好きな振付ではなくクライアントの要望に応えられるような振付ができる。							

授業計画・内容	
1回目	3年次振り返り、年間目標設定
2回目	制作テーマ決め
3回目	テーマ議論
4回目	作成開始
5回目	作成、スケジュール管理
6回目	作成、リハーサル場所の確保
7回目	作成
8回目	作成
9回目	内覧会、直し
10回目	直し、衣装
11回目	小道具やではけの確認
12回目	照明案、制作チームと打ち合わせ
13回目	ブラッシュアップ
14回目	まとめテスト
15回目	9月特別授業
準備学習 時間外学習	
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	もの作りはきついしんどいですがやり終えた後の作品は我が子のように愛おしいです。ハマります
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ダンスクリエイションⅧ Dance CreationⅧ	必修 選択	選択必修	年次	4		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 火曜4限
【授業の学習内容】 卒業制作に向かい前期で得た知識と経験を生かしたものの作り。またそこから1歩進んだテクニックや考え方のレクチャー (講師) 19歳より大阪の専門学校にてダンス、演技、歌を学ぶ。スペースワールドにレビューダンサーとして就職後、東京、ロサンゼルスと在住しさらに技術を高める。ほぼ全てのジャンルを高次元でこなし、さらにそれをM i xさせたオリジナルスタイルで自身を表現。またディレクターとして20代後半に頭角を現し、様々なダンスチーム、アーティストにも振付、演出指導をしている。特にアイドル業界では何組ものアイドルへの振付。その数述べ300曲を超える。現在も九州を拠点に、関西、関東などで活動中。							
【到達目標】 スケジュール管理や、メールでのやりとりなど社会人ダンサーとしてしっかりした土台を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	制作テーマ決め
2回目	テーマ議論
3回目	作成開始
4回目	作成、スケジュール管理
5回目	作成、リハーサル場所の確保
6回目	作成
7回目	作成
8回目	内覧会、直し
9回目	直し、衣装
10回目	小道具やではけの確認
11回目	照明案、制作チームと打ち合わせ
12回目	ブラッシュアップ
13回目	ミュージカル本番
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	
評価方法	■出席率 ■受講態度 ■【到達目標に対する達成度】
受講生への メッセージ	1年間の集大成。最高のものを作りましょう！！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ミュージカルプロジェクト Musical Project	必修 選択	選択必修	年次	1.2.3		
学科・コース	スーパー・エンターテインメント科・音楽プロデュース科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	360 (24)	開講区分 曜日・時限	通年 4.5限
【授業の学習内容】 幅広く活動できるプロを育成する為、ダンス・歌・演技の3つの要素を取り入れたミュージカルのスキルを身につけることができる。 ※実務経験：関西を中心に活躍する劇作家・演出家で、年間100本近くの上演を誇る高等学校向け進路啓発ミュージカルをはじめ、全国の専門学校で上演されている「Step of Life」「Hospital of Miracle」、ベストセラー書籍の舞台化「甲子園だけが高校野球ではない」など、日本一ティーンに観られている、と言えるほどの舞台演出家です。							
【到達目標】 「生きることの素晴らしさ」をそれぞれの学習分野を通して伝える。 ミュージカル・イベント制作に必要なスキルを学ぶ。 エンターテイナー・パフォーマーとしての考え方、感じ方を習得することができる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーションにてミュージカルのコンセプトと内容、社会貢献について理解することができる
2回目	メンバー顔合わせと今後のスケジュール確認や製作期間中の注意事項、役割分担を決めレッスンを行う
3回目	台本の読み合わせを行い、オーディションに向けて自分がチャレンジしたい役を決定する
4回目	各役ごとに歌と演技のオーディションを行う
5回目	各役ごとに歌と演技のオーディションを行う
6回目	仮キャストの発表～台本の読み合わせ～発声方法・演技指導を行う
7回目	ダンスシーンの振付・歌唱稽古開始し、歌唱・振付を覚えることができる
8回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
9回目	台詞を暗記し立ち稽古開始～演技指導～ステージマナーを学ぶことができる
10回目	立ち稽古～広いアクティングエリアを使用し立ち位置の確認と導線、動きの確認をすることができる
11回目	リハーサル～実施に公演するホールを使用し、衣装を着用、小道具を使用してのリハーサルを行う
12回目	ホールリハーサルでの反省点を振り返り、修正と強化練習によってクオリティーを上げることができる
13回目	ホールを使用してのリハーサル～本番に向けての最終確認とサウンドチェック・リハーサルを行う
14回目	進級発表本番1回目を行う
15回目	進級発表本番2回目を行う
準備学習 時間外学習	稽古の振り返り
評価方法	■出席率 40% ■授業へ取り組む姿勢 30% ■各課題曲の目標の達成度、実践度 30%
受講生への メッセージ	スキルを身につけるだけでなく、パフォーマーとしての礼儀やマナーも身につけることができる。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	動画撮影制作Ⅷ Broadcast technology)	必修 選択	選択必修	年次	1.2		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
						曜日・時限	金曜 1・2限
【授業の学習内容】 配信におけるサウンドと映像の基礎知識を身につけ、生ライブの運営のみならず配信ライブの運営にも携われる技術を身につける。							
【到達目標】 ライブイベント等の収録配信・ライブ配信を行えるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	商用配信案件の概要とプロセス
2回目	顧客のニーズヒアリングと提案の仕方
3回目	プレゼン資料と見積もり作成演習
4回目	本番前の進行管理と段取り術
5回目	配信現場でのマナーとプロ意識
6回目	実案件シミュレーション①（設営）
7回目	実案件シミュレーション②（テクニカル）
8回目	実案件シミュレーション③（本番）
9回目	実案件シミュレーション④（撤収・報告）
10回目	実案件振り返りとプロの視点
11回目	トラブル対応ケーススタディ
12回目	現場での応用力テスト
13回目	就職に向けたポートフォリオ整理①
14回目	就職に向けたポートフォリオ整理②
15回目	模擬面接・業界研究
準備学習 時間外学 習	予習・復習 PC操作
評価方法	期末テスト
受講生への メッセージ	新しいライブイベントの形である、配信ライブを皆さんでも行えるように、しっかりと知識と技術を身につけましょう
【使用教科書・教材・参考書】 パソコン	

科目名 (英)	動画撮影制作Ⅶ Broadcast technology)	必修 選択	選択必修	年次	3.4		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
						曜日・時限	金曜 1・2限
【授業の学習内容】 配信におけるサウンドと映像の基礎知識を身につけ、生ライブの運営のみならず配信ライブの運営にも携われる技術を身につける。							
【到達目標】 ライブイベント等の収録配信・ライブ配信を行えるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	卒業制作テーマ設定と構成会議
2回目	チーム分けと役割分担、企画設計
3回目	システム設計とスケジュール管理
4回目	素材・デザイン・演出案の作成
5回目	機材準備とテクニカルテスト
6回目	中間リハーサル①
7回目	中間リハーサル②
8回目	本番直前リハーサル
9回目	卒業制作本番配信①
10回目	卒業制作本番配信②
11回目	映像・音声の編集と納品準備
12回目	成果プレゼン資料の作成
13回目	成果発表会①
14回目	成果発表会②
15回目	振り返りと修了式
準備学習 時間外学 習	予習・復習 PC操作
評価方法	期末テスト
受講生への メッセージ	新しいライブイベントの形である、配信ライブを皆さんでも行えるように、しっかりと知識と技術を身につけましょう
【使用教科書・教材・参考書】 パソコン	

科目名 (英)	イベント制作 I Event Production I	選択 必修	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分 曜日・時限	前期 金曜3,4,5限
【授業の学習内容】 ・イベント企画書の作成とプレゼンテーション ・会場設計、機材手配、タイムテーブル作成 ・チームでの役割分担と現場対応力の育成							
【到達目標】 イベントの企画・設計・実施を一貫して行う実践力を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション - 授業概要・役割分担・制作とは何か
2回目	イベントの種類と構成要素 - コンサート・舞台・展示などの違い
3回目	チームビルディング - コミュニケーション・協力の技術
4回目	イベント① - 企画書の作成 (コンセプト・目的設定)
5回目	イベント① - 企画書の作成 (内容・予算・スケジュール記載)
6回目	イベント① - 会場レイアウトと導線設計、ステージ・客席配置
7回目	イベント① - イベント演習
8回目	イベント① - フィードバック
9回目	会場使用に関する法知識 - 使用許可・消防・電源などの基礎
10回目	イベント② - 企画書の作成 (コンセプト・目的設定)
11回目	イベント② - 企画書の作成 (内容・予算・スケジュール記載)
12回目	イベント② - 会場レイアウトと導線設計、ステージ・客席配置
13回目	イベント② - イベント演習
14回目	イベント② - フィードバック
15回目	前期まとめ
準備学習 時間外学 習	・身近なイベントを観察・分析する。 ・イベントに関するニュースや事例を調べる。
評価方法	出席率と授業態度で判断します。 ○実技テスト : 40% ○課題提出 : 30% (課題提出、提出期限の厳守) ○習熟度 : 30% (到達目標に対する習熟度) 出席 : 別途規定 (出席率2/3を下回る場合は単位認定(なし)) に基づきます
受講生への メッセージ	イベントは「人の心を動かす現場」です。企画・準備・運営といったすべての工程に関わることで、 舞台裏の面白さと大変さをリアルに体験できます。 仲間と協力し、失敗も成功も共有しながら、あなたならではのイベントと一緒に創り上げましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	イベント制作 II Event Production II	選択 必修	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分 曜日・時限	後期 金曜3,4,5限
【授業の学習内容】 ・イベント企画書の作成とプレゼンテーション ・会場設計、機材手配、タイムテーブル作成 ・チームでの役割分担と現場対応力の育成							
【到達目標】 イベントの企画・設計・実施を一貫して行う実践力を身につける。							

授業計画・内容	
1回目	宣伝・広報の基礎 - SNS・ポスター・チラシなど
2回目	簡易機材リスト作成 - 照明・音響・映像機材の基本把握
3回目	イベント③ - 企画書の作成 (コンセプト・目的設定)
4回目	イベント③ - 企画書の作成 (内容・予算・スケジュール記載)
5回目	イベント③ - 会場レイアウトと導線設計、ステージ・客席配置
6回目	イベント③ - イベント演習
7回目	イベント③ - フィードバック
8回目	リアルイベントとオンライン配信 - 両者の特徴と併用方法
9回目	イベント④ - 企画書の作成 (コンセプト・目的設定)
10回目	イベント④ - 企画書の作成 (内容・予算・スケジュール記載)
11回目	イベント④ - 会場レイアウトと導線設計、ステージ・客席配置
12回目	イベント④ - イベント演習
13回目	イベント④ - フィードバック
14回目	予算管理と収支計画収入と支出の設計と調整
15回目	後期まとめ
準備学習 時間外学 習	・身近なイベントを観察・分析する。 ・イベントに関するニュースや事例を調べる。
評価方法	出席率と授業態度で判断します。 ○実技テスト : 40% ○課題提出 : 30% (課題提出、提出期限の厳守) ○習熟度 : 30% (到達目標に対する習熟度) 出席 : 別途規定 (出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし) に基づきます
受講生への メッセージ	イベントは「人の心を動かす現場」です。企画・準備・運営といったすべての工程に関わることで、舞台裏の面白さと大変さをリアルに体験できます。 仲間と協力し、失敗も成功も共有しながら、あなたならではのイベントと一緒に創り上げましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	イベント制作 Ⅲ Event Production Ⅲ	選択 必修	選択必修	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分 曜日・時限	前期 金曜3,4,5限
【授業の学習内容】 ・イベント企画書の作成とプレゼンテーション ・会場設計、機材手配、タイムテーブル作成 ・宣伝・広報・運営・接客の基礎実践							
【到達目標】 チームで協力しながら制作を進行するコミュニケーション力を養う。							

授業計画・内容	
1回目	1年次の振り返り - 課題の明確化と改善目標
2回目	スポンサー・協力依頼 - 協賛や後援の交渉練習
3回目	イベント⑤ - 企画書の作成 (コンセプト・目的設定)
4回目	イベント⑤ - 企画書の作成 (内容・予算・スケジュール記載)
5回目	イベント⑤ - 会場レイアウトと導線設計、ステージ・客席配置
6回目	イベント⑤ - イベント演習
7回目	イベント⑤ - フィードバック
8回目	安全対策とリスクマネジメント - 備品管理・トラブル対策計画
9回目	ゲスト対応・接客マナー - 招聘・当日対応の実践練習
10回目	イベント⑥ - 企画書の作成 (コンセプト・目的設定)
11回目	イベント⑥ - 企画書の作成 (内容・予算・スケジュール記載)
12回目	イベント⑥ - 会場レイアウトと導線設計、ステージ・客席配置
13回目	イベント⑥ - イベント演習
14回目	イベント⑥ - フィードバック
15回目	前期まとめ
準備学習 時間外学 習	・身近なイベントを観察・分析する。 ・イベントに関するニュースや事例を調べる。
評価方法	出席率と授業態度で判断します。 ○実技テスト : 40% ○課題提出 : 30% (課題提出、提出期限の厳守) ○習熟度 : 30% (到達目標に対する習熟度) 出席 : 別途規定 (出席率2/3を下回る場合は単位認定(なし)に基づきます)
受講生への メッセージ	イベントは「人の心を動かす現場」です。企画・準備・運営といったすべての工程に関わることで、 舞台裏の面白さと大変さをリアルに体験できます。 仲間と協力し、失敗も成功も共有しながら、あなたならではのイベントと一緒に創り上げましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	イベント制作 IV Event Production IV	選択 必修	選択必修	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分 曜日・時限	後期 金曜3,4,5限
【授業の学習内容】 ・イベント企画書の作成とプレゼンテーション ・会場設計、機材手配、タイムテーブル作成 ・宣伝・広報・運営・接客の基礎実践							
【到達目標】 チームで協力しながら制作を進行するコミュニケーション力を養う。							

授業計画・内容	
1回目	中規模イベント企画会議 - 実施イベントのテーマと構成決定
2回目	イベント制作実習① - 実際のイベントを運営
3回目	イベント制作実習② - 実際のイベントを運営
4回目	イベント制作実習③ - 実際のイベントを運営
5回目	イベント制作実習④ - 実際のイベントを運営
6回目	イベント制作実習⑤ - 実際のイベントを運営
7回目	イベント制作実習⑥ - 実際のイベントを運営
8回目	実施イベント報告書作成成果・課題・改善点の整理
9回目	中規模イベント企画会議 - 実施イベントのテーマと構成決定
10回目	イベント制作実習⑦ - 実際のイベントを運営
11回目	イベント制作実習⑧ - 実際のイベントを運営
12回目	イベント制作実習⑨ - 実際のイベントを運営
13回目	イベント制作実習⑩ - 実際のイベントを運営
14回目	実施イベント報告書作成成果・課題・改善点の整理
15回目	後期まとめ
準備学習 時間外学 習	・身近なイベントを観察・分析する。 ・イベントに関するニュースや事例を調べる。
評価方法	出席率と授業態度で判断します。 ○実技テスト : 40% ○課題提出 : 30% (課題提出、提出期限の厳守) ○習熟度 : 30% (到達目標に対する習熟度) 出席 : 別途規定 (出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし) に基づきます
受講生への メッセージ	イベントは「人の心を動かす現場」です。企画・準備・運営といったすべての工程に関わることで、 舞台裏の面白さと大変さをリアルに体験できます。 仲間と協力し、失敗も成功も共有しながら、あなたならではのイベントを一緒に創り上げましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	イベント制作 V Event Production V	選択 必修	選択必修	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜3,4,5限
【授業の学習内容】 ・イベント企画書の作成とプレゼンテーション ・会場設計、機材手配、タイムテーブル作成 ・学内外での模擬イベント・実践イベントの企画・運営							
【到達目標】 トラブルや変更柔軟に対応できる現場対応力を培う。							

授業計画・内容	
1回目	自主企画テーマ設定 - 個人またはグループによる自由テーマ設定
2回目	調査・ヒアリング① - 対象・ニーズ・事例調査
3回目	調査・ヒアリング② - 対象・ニーズ・事例調査□
4回目	企画立案・提案プレゼン① - 企画書作成とプレゼン実施
5回目	企画立案・提案プレゼン② - 企画書作成とプレゼン実施
6回目	企画立案・提案プレゼン③ - 企画書作成とプレゼン実施
7回目	本番に向けた準備① - 実施計画・スタッフ管理・機材手配など
8回目	本番に向けた準備② - 実施計画・スタッフ管理・機材手配など
9回目	本番に向けた準備③ - 実施計画・スタッフ管理・機材手配など
10回目	本番に向けた準備④ - 実施計画・スタッフ管理・機材手配など
11回目	本番に向けた準備⑤ - 実施計画・スタッフ管理・機材手配など
12回目	イベント実施① - 自主イベントの開催・運営
13回目	イベント実施② - 自主イベントの開催・運営□
14回目	振り返りと成果報告 - レポート作成と自己評価
15回目	ポートフォリオ制作 - 写真・記録・企画書のまとめと発表
準備学習 時間外学習	・身近なイベントを観察・分析する。 ・イベントに関するニュースや事例を調べる。
評価方法	出席率と授業態度で判断します。 ○実技テスト : 40% ○課題提出 : 30% (課題提出、提出期限の厳守) ○習熟度 : 30% (到達目標に対する習熟度) 出席 : 別途規定 (出席率2/3を下回る場合は単位認定(はなし)) に基づきます
受講生への メッセージ	イベントは「人の心を動かす現場」です。企画・準備・運営といったすべての工程に関わることで、 舞台裏の面白さと大変さをリアルに体験できます。 仲間と協力し、失敗も成功も共有しながら、あなたならではのイベントを一緒に創り上げましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	イベント制作 VI Event Production VI	選択 必修	選択必修	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分 曜日・時限	後期 金曜3,4,5限
【授業の学習内容】 ・イベント企画書の作成とプレゼンテーション ・会場設計、機材手配、タイムテーブル作成 ・学内外での模擬イベント・実践イベントの企画・運営							
【到達目標】 トラブルや変更柔軟に対応できる現場対応力を培う。							

授業計画・内容	
1回目	自主企画テーマ設定 - 個人またはグループによる自由テーマ設定
2回目	調査・ヒアリング① - 対象・ニーズ・事例調査
3回目	調査・ヒアリング② - 対象・ニーズ・事例調査□
4回目	企画立案・提案プレゼン① - 企画書作成とプレゼン実施
5回目	企画立案・提案プレゼン② - 企画書作成とプレゼン実施
6回目	企画立案・提案プレゼン③ - 企画書作成とプレゼン実施
7回目	本番に向けた準備① - 実施計画・スタッフ管理・機材手配など
8回目	本番に向けた準備② - 実施計画・スタッフ管理・機材手配など
9回目	本番に向けた準備③ - 実施計画・スタッフ管理・機材手配など
10回目	本番に向けた準備④ - 実施計画・スタッフ管理・機材手配など
11回目	本番に向けた準備⑤ - 実施計画・スタッフ管理・機材手配など
12回目	イベント実施① - 自主イベントの開催・運営
13回目	イベント実施② - 自主イベントの開催・運営□
14回目	振り返りと成果報告 - レポート作成と自己評価
15回目	ポートフォリオ制作 - 写真・記録・企画書のまとめと発表
準備学習 時間外学 習	・身近なイベントを観察・分析する。 ・イベントに関するニュースや事例を調べる。
評価方法	出席率と授業態度で判断します。 ○実技テスト : 40% ○課題提出 : 30% (課題提出、提出期限の厳守) ○習熟度 : 30% (到達目標に対する習熟度) 出席 : 別途規定 (出席率2/3を下回る場合は単位認定(はなし)) に基づきます
受講生への メッセージ	イベントは「人の心を動かす現場」です。企画・準備・運営といったすべての工程に関わることで、 舞台裏の面白さと大変さをリアルに体験できます。 仲間と協力し、失敗も成功も共有しながら、あなたならではのイベントと一緒に創り上げましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	イベント制作 VII Event Production VII	選択 必修	選択必修	年次	4		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分 曜日・時限	前期 金曜3,4,5限
【授業の学習内容】 ・イベント企画書の作成とプレゼンテーション ・会場設計、機材手配、タイムテーブル作成 ・学内外での模擬イベント・実践イベントの企画・運営							
【到達目標】 トラブルや変更柔軟に対応できる現場対応力を培う。							

授業計画・内容	
1回目	自主企画テーマ設定 - 個人またはグループによる自由テーマ設定
2回目	調査・ヒアリング① - 対象・ニーズ・事例調査
3回目	調査・ヒアリング② - 対象・ニーズ・事例調査□
4回目	企画立案・提案プレゼン① - 企画書作成とプレゼン実施
5回目	企画立案・提案プレゼン② - 企画書作成とプレゼン実施
6回目	企画立案・提案プレゼン③ - 企画書作成とプレゼン実施
7回目	本番に向けた準備① - 実施計画・スタッフ管理・機材手配など
8回目	本番に向けた準備② - 実施計画・スタッフ管理・機材手配など
9回目	本番に向けた準備③ - 実施計画・スタッフ管理・機材手配など
10回目	イベント実施① - 自主イベントの開催・運営
11回目	本番に向けた準備① - 実施計画・スタッフ管理・機材手配など
12回目	本番に向けた準備② - 実施計画・スタッフ管理・機材手配など
13回目	イベント実施② - 自主イベントの開催・運営□
14回目	振り返りと成果報告 - レポート作成と自己評価
15回目	4年前期まとめ
準備学習 時間外学 習	・身近なイベントを観察・分析する。 ・イベントに関するニュースや事例を調べる。
評価方法	出席率と授業態度で判断します。 ○実技テスト : 40% ○課題提出 : 30% (課題提出、提出期限の厳守) ○習熟度 : 30% (到達目標に対する習熟度) 出席 : 別途規定 (出席率2/3を下回る場合は単位認定(はなし)) に基づきます
受講生への メッセージ	イベントは「人の心を動かす現場」です。企画・準備・運営といったすべての工程に関わることで、 舞台裏の面白さと大変さをリアルに体験できます。 仲間と協力し、失敗も成功も共有しながら、あなたならではのイベントと一緒に創り上げましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	イベント制作Ⅷ Event ProductionⅧ	選択 必修	選択必修	年次	4		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分 曜日・時限	後期 金曜3,4,5限
【授業の学習内容】 ・イベント企画書の作成とプレゼンテーション ・会場設計、機材手配、タイムテーブル作成 ・学内外での模擬イベント・実践イベントの企画・運営							
【到達目標】 トラブルや変更柔軟に対応できる現場対応力を培う。							

授業計画・内容	
1回目	自主企画テーマ設定 - 個人またはグループによる自由テーマ設定
2回目	調査・ヒアリング① - 対象・ニーズ・事例調査
3回目	調査・ヒアリング② - 対象・ニーズ・事例調査〇
4回目	企画立案・提案プレゼン① - 企画書作成とプレゼン実施
5回目	企画立案・提案プレゼン② - 企画書作成とプレゼン実施
6回目	本番に向けた準備① - 実施計画・スタッフ管理・機材手配など
7回目	本番に向けた準備② - 実施計画・スタッフ管理・機材手配など
8回目	本番に向けた準備③ - 実施計画・スタッフ管理・機材手配など
9回目	卒業制作準備-内容確認
10回目	卒業制作準備-情報収集・資料作成
11回目	卒業制作準備-情報収集・リハーサル見学
12回目	卒業制作準備-機材選定・最終資料確認
13回目	卒業制作準備
14回目	卒業制作
15回目	総まとめ
準備学習 時間外学 習	・身近なイベントを観察・分析する。 ・イベントに関するニュースや事例を調べる。
評価方法	出席率と授業態度で判断します。 ○実技テスト : 40% ○課題提出 : 30% (課題提出、提出期限の厳守) ○習熟度 : 30% (到達目標に対する習熟度) 出席 : 別途規定 (出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし) に基づきます
受講生への メッセージ	イベントは「人の心を動かす現場」です。企画・準備・運営といったすべての工程に関わることで、舞台裏の面白さと大変さをリアルに体験できます。 仲間と協力し、失敗も成功も共有しながら、あなたならではのイベントと一緒に創り上げましょう！
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ステージ・イベント・プロダクション プロジェクト I Stage&Event Production Project I	選択 必修	選択必修	年次	1		
		授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科					曜日・時限	木曜4限目
【授業の学習内容】 SO.ON projectの運営に必要な知識と実践スキルを学ぶ。 イベント制作、グッズ制作、SNS運用、収支管理、ファン対応など多面的な活動を体験する。 チームでの分担と協働によるプロジェクトベース学習を行う。 実際の放課後ライブを通じて成果をアウトプットする。							
【到達目標】 アイドル運営の基本知識と現場対応力を身につけている。 チームで役割分担しながらイベント・SNS・物販などを企画運営できる。 成果物を通じて表現力・企画力・コミュニケーション力を高める。 ライブ企画・準備・運営の流れを理解し、実行できる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション／SO.ON projectとは
2回目	SO.ON projectの歴史と現状分析
3回目	放課後ライブの基礎知識（企画～実施までの流れ）
4回目	放課後ライブ準備①：役割分担とチーム編成
5回目	放課後ライブ①（実施）
6回目	ライブのふりかえり／課題抽出
7回目	ファン層リサーチとペルソナ作成
8回目	SNS運用の基本と現状分析
9回目	投稿企画の立案・ビジュアル制作演習
10回目	グッズの役割と基本アイデア発想法
11回目	グッズ企画立案ワーク①
12回目	放課後ライブ準備②：運営改善の実行案作成
13回目	放課後ライブ②（実施）
14回目	ふりかえり／レポート作成演習
15回目	クォーターまとめプレゼン（改善提案）
準備学習 時間外学 習	
評価方法	■出席率 50% ■【到達目標に対する達成度】 50%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 特になし	

科目名 (英)	ステージ・イベント・プロダクション プロジェクトⅡ Stage&Event Production ProjectⅡ	選択 必修	選択必修	年次	1		
		授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科					曜日・時限	木曜4限目
【授業の学習内容】 SO.ON projectの運営に必要な知識と実践スキルを学ぶ。 イベント制作、グッズ制作、SNS運用、収支管理、ファン対応など多面的な活動を体験する。 チームでの分担と協働によるプロジェクトベース学習を行う。 実際の放課後ライブを通じて成果をアウトプットする。							
【到達目標】 アイドル運営の基本知識と現場対応力を身につけている。 チームで役割分担しながらイベント・SNS・物販などを企画運営できる。 成果物を通じて表現力・企画力・コミュニケーション力を高める。 ライブ企画・準備・運営の流れを理解し、実行できる。							

授業計画・内容	
1回目	前回ライブからの改善実施計画
2回目	SNS広告の基本知識とシミュレーション演習
3回目	SNS広告の実施と効果測定
4回目	放課後ライブ準備③：イベント構成演出会議
5回目	放課後ライブ③（実施）
6回目	ライブふりかえり＋動画分析ワーク
7回目	グッズ企画立案ワーク②（原価と利益）
8回目	販売戦略の立案（会場・EC販売）
9回目	イベント動線と現場導線計画演習
10回目	放課後ライブ準備④：運営マニュアル作成
11回目	放課後ライブ④（実施）
12回目	ライブのふりかえり／スタッフレポート作成
13回目	企画書づくり演習（グッズ／ライブ）
14回目	ファンアンケート作成と実施計画
15回目	まとめプレゼン（収益と運営の成果）
準備学習 時間外学 習	
評価方法	■出席率 50% ■【到達目標に対する達成度】 50%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 特になし	

科目名 (英)	ステージ・イベント・プロダクション プロジェクトⅢ Stage&Event Production ProjectⅢ	選択 必修	選択必修	年次	2		
		授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜4限目
【授業の学習内容】 SO.ON projectの運営に必要な知識と実践スキルを学ぶ。 イベント制作、グッズ制作、SNS運用、収支管理、ファン対応など多面的な活動を体験する。 チームでの分担と協働によるプロジェクトベース学習を行う。 実際の放課後ライブを通じて成果をアウトプットする。							
【到達目標】 アイドル運営の基本知識と現場対応力を身につけている。 チームで役割分担しながらイベント・SNS・物販などを企画運営できる。 成果物を通じて表現力・企画力・コミュニケーション力を高める。 ライブ企画・準備・運営の流れを理解し、実行できる。							

授業計画・内容	
1回目	現場課題の再抽出とチーム分担
2回目	ファンマーケティングの基本知識
3回目	放課後ライブ準備⑤：コンセプトライブ企画立案
4回目	放課後ライブ⑤（実施）
5回目	ライブふりかえり＋SNS分析
6回目	音響・照明の基礎とライブ演出の理解
7回目	照明プランと演出プラン作成演習
8回目	コラボ企画の可能性と注意点
9回目	他学科連携（映像／音響など）アイデア出し
10回目	放課後ライブ準備⑥：演出実装練習
11回目	放課後ライブ⑥（実施）
12回目	ライブ動画編集基礎とアーカイブ制作
13回目	収支計算演習（ライブ・グッズ）
14回目	成果を可視化する資料作成演習
15回目	第3Q成果発表プレゼン（成果と提案）
準備学習 時間外学 習	
評価方法	■出席率 50% ■【到達目標に対する達成度】 50%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 特になし	

科目名 (英)	ステージ・イベント・プロダクション プロジェクト IV Stage&Event Production Project IV	選択 必修	選択必修	年次	2		
		授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科					曜日・時限	木曜4限目
【授業の学習内容】 SO.ON projectの運営に必要な知識と実践スキルを学ぶ。 イベント制作、グッズ制作、SNS運用、収支管理、ファン対応など多面的な活動を体験する。 チームでの分担と協働によるプロジェクトベース学習を行う。 実際の放課後ライブを通じて成果をアウトプットする。							
【到達目標】 アイドル運営の基本知識と現場対応力を身につけている。 チームで役割分担しながらイベント・SNS・物販などを企画運営できる。 成果物を通じて表現力・企画力・コミュニケーション力を高める。 ライブ企画・準備・運営の流れを理解し、実行できる。							

授業計画・内容	
1回目	新チーム編成と目標共有
2回目	年間スケジュール全体設計演習
3回目	放課後ライブ準備⑦：演出強化と役割最適化
4回目	放課後ライブ⑦（実施）
5回目	ライブ分析＋課題のブレイクダウン
6回目	グッズ制作実践（発注～納品）
7回目	販売準備（価格設定・在庫管理）
8回目	売上報告書作成とプレゼン演習
9回目	SNSプロモーション動画制作
10回目	放課後ライブ準備⑧：PR強化とファン誘導
11回目	放課後ライブ⑧（実施）
12回目	アンケート回収と分析ワーク
13回目	ファンミーティング／オフライン企画立案
14回目	チーム別業務報告とふりかえり
15回目	半期総まとめ＋全体プレゼン
準備学習 時間外学 習	
評価方法	■出席率 50% ■【到達目標に対する達成度】 50%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 特になし	

科目名 (英)	ステージ・イベント・プロダクション プロジェクト V	選択 必修	選択必修	年次	3		
	Stage&Event Production Project V	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科					曜日・時限	木曜4限目
【授業の学習内容】 SO.ON projectの運営に必要な知識と実践スキルを学ぶ。 イベント制作、グッズ制作、SNS運用、収支管理、ファン対応など多面的な活動を体験する。 チームでの分担と協働によるプロジェクトベース学習を行う。 実際の放課後ライブを通じて成果をアウトプットする。							
【到達目標】 アイドル運営の基本知識と現場対応力を身につけている。 チームで役割分担しながらイベント・SNS・物販などを企画運営できる。 成果物を通じて表現力・企画力・コミュニケーション力を高める。 ライブ企画・準備・運営の流れを理解し、実行できる。							

授業計画・内容	
1回目	放課後ライブ④振り返りと改善点共有
2回目	チーム再編成と役割見直しワーク
3回目	スケジュール管理の基礎（ガントチャート活用）
4回目	企画書フォーマットの理解と作成①
5回目	企画書フォーマットの理解と作成②
6回目	SNSアナリティクス分析（数値を元に改善案）
7回目	中長期イベント企画プレスト（3ヶ月スパン）
8回目	シナリオ／演出付きライブ企画①（テーマ決定）
9回目	シナリオ／演出付きライブ企画②（構成設計）
10回目	コール&レスポンス演習／観客参加型演出
11回目	グッズ開発プロセス（発注・納期・在庫）
12回目	追加収益アイデア会議（チエキ・配信など）
13回目	放課後ライブ準備（稽古・搬入・音響確認）
14回目	放課後ライブ⑤最終リハーサル
15回目	放課後ライブ⑤
準備学習 時間外学 習	
評価方法	■出席率 50% ■【到達目標に対する達成度】 50%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 特になし	

科目名 (英)	ステージ・イベント・プロダクション プロジェクト VI Stage&Event Production Project VI	選択 必修	選択必修	年次	3		
		授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科					曜日・時限	木曜4限目
【授業の学習内容】 SO.ON projectの運営に必要な知識と実践スキルを学ぶ。 イベント制作、グッズ制作、SNS運用、収支管理、ファン対応など多面的な活動を体験する。 チームでの分担と協働によるプロジェクトベース学習を行う。 実際の放課後ライブを通じて成果をアウトプットする。							
【到達目標】 アイドル運営の基本知識と現場対応力を身につけている。 チームで役割分担しながらイベント・SNS・物販などを企画運営できる。 成果物を通じて表現力・企画力・コミュニケーション力を高める。 ライブ企画・準備・運営の流れを理解し、実行できる。							

授業計画・内容	
1回目	フィードバック&SNS・アンケート分析
2回目	定例ミーティングの進行と記録方法ワーク
3回目	配信ライブ体験①：配信の基礎知識
4回目	配信ライブ体験②：OBS操作体験／配信設計
5回目	ファン参加型企画の実践（例：投票・リクエスト）
6回目	アイドルドキュメンタリー風映像企画①（構成）
7回目	アイドルドキュメンタリー風映像企画②（撮影）
8回目	動画編集演習（簡易な編集ソフトを使用）
9回目	YouTube運用／チャンネル戦略入門
10回目	放課後ライブ告知動画の制作ワーク
11回目	演出表現の深掘り（照明・映像演出演習）
12回目	タレントのセルフプロデュース研究
13回目	放課後ライブ準備（配信演出含む）
14回目	放課後ライブ⑥
15回目	振り返り・反省と次回へ向けた改善会議
準備学習 時間外学 習	
評価方法	■出席率 50% ■【到達目標に対する達成度】 50%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 特になし	

科目名 (英)	ステージ・イベント・プロダクション プロジェクト VII	選択 必修	選択必修	年次	4		
	Stage&Event Production Project VII	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科					曜日・時限	木曜4限目
【授業の学習内容】 SO.ON projectの運営に必要な知識と実践スキルを学ぶ。 イベント制作、グッズ制作、SNS運用、収支管理、ファン対応など多面的な活動を体験する。 チームでの分担と協働によるプロジェクトベース学習を行う。 実際の放課後ライブを通じて成果をアウトプットする。							
【到達目標】 アイドル運営の基本知識と現場対応力を身につけている。 チームで役割分担しながらイベント・SNS・物販などを企画運営できる。 成果物を通じて表現力・企画力・コミュニケーション力を高める。 ライブ企画・準備・運営の流れを理解し、実行できる。							

授業計画・内容	
1回目	ファンとのコミュニケーションマナー再確認
2回目	他アイドルグループ分析／ベンチマーキング
3回目	SNSでの表現技術（絵文字・言葉選び）
4回目	フォトグラファー体験ワーク（撮影・加工）
5回目	イベント装飾・空間演出案の制作
6回目	夏以降の大型イベントに向けた企画立案①
7回目	夏以降の大型イベントに向けた企画立案②
8回目	キャラクター性を活かした演技演習
9回目	即興トーク&質問対応トレーニング
10回目	ストーリーテリングライブ構成ワーク
11回目	ブランド価値の可視化ワーク
12回目	宣伝用Webページ／特設ページの構成企画
13回目	映像演出付きライブ準備（MV風導入演出）
14回目	ライブ予行練習（通し・段取り確認）
15回目	放課後ライブ⑦
準備学習 時間外学 習	
評価方法	■出席率 50% ■【到達目標に対する達成度】 50%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 特になし	

科目名 (英)	ステージ・イベント・プロダクション プロジェクトⅧ Stage&Event Production Project Ⅷ	選択 必修	選択必修	年次	4		
		授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科					曜日・時限	木曜4限目
【授業の学習内容】 SO.ON projectの運営に必要な知識と実践スキルを学ぶ。 イベント制作、グッズ制作、SNS運用、収支管理、ファン対応など多面的な活動を体験する。 チームでの分担と協働によるプロジェクトベース学習を行う。 実際の放課後ライブを通じて成果をアウトプットする。							
【到達目標】 アイドル運営の基本知識と現場対応力を身につけている。 チームで役割分担しながらイベント・SNS・物販などを企画運営できる。 成果物を通じて表現力・企画力・コミュニケーション力を高める。 ライブ企画・準備・運営の流れを理解し、実行できる。							

授業計画・内容	
1回目	総合演習：ファンイベント＋ライブ企画設計①
2回目	総合演習：ファンイベント＋ライブ企画設計②
3回目	グループでの役割分担と実施準備
4回目	総まとめ用SNSキャンペーン立案と展開
5回目	成果発表会用資料・動画の制作①
6回目	成果発表会用資料・動画の制作②
7回目	最終ライブ演出案ブラッシュアップ
8回目	ゲスト招待・運営体制整備
9回目	音響・照明・配信リハーサル
10回目	リハーサル＋舞台設営準備
11回目	放課後ライブ⑧（卒業公演想定）
12回目	成果発表会準備（プレゼン構成）
13回目	成果発表会プレゼンリハーサル
14回目	成果発表会（企画発表・映像上映など）
15回目	振り返りと修了式／受講証授与
準備学習 時間外学 習	
評価方法	■出席率 50% ■【到達目標に対する達成度】 50%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 特になし	

科目名 (英)	イベントプランニング I	選択 必修	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜4限目
【授業の学習内容】 SO.ON projectの運営に必要な知識と実践スキルを学ぶ。 イベント制作、グッズ制作、SNS運用、収支管理、ファン対応など多面的な活動を体験する。 チームでの分担と協働によるプロジェクトベース学習を行う。 実際の放課後ライブを通じて成果をアウトプットする。							
【到達目標】 アイドル運営の基本知識と現場対応力を身につけている。 チームで役割分担しながらイベント・SNS・物販などを企画運営できる。 成果物を通じて表現力・企画力・コミュニケーション力を高める。 ライブ企画・準備・運営の流れを理解し、実行できる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション／SO.ON projectとは
2回目	SO.ON projectの歴史と現状分析
3回目	放課後ライブの基礎知識（企画～実施までの流れ）
4回目	放課後ライブ準備①：役割分担とチーム編成
5回目	放課後ライブ①（実施）
6回目	ライブのふりかえり／課題抽出
7回目	ファン層リサーチとペルソナ作成
8回目	SNS運用の基本と現状分析
9回目	投稿企画の立案・ビジュアル制作演習
10回目	グッズの役割と基本アイデア発想法
11回目	グッズ企画立案ワーク①
12回目	放課後ライブ準備②：運営改善の実行案作成
13回目	放課後ライブ②（実施）
14回目	ふりかえり／レポート作成演習
15回目	クォーターまとめプレゼン（改善提案）
準備学習 時間外学 習	
評価方法	■出席率 50% ■【到達目標に対する達成度】 50%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 特になし	

科目名 (英)	イベントプランニング I	選択 必修	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 木曜4限目
【授業の学習内容】 SO.ON projectの運営に必要な知識と実践スキルを学ぶ。 イベント制作、グッズ制作、SNS運用、収支管理、ファン対応など多面的な活動を体験する。 チームでの分担と協働によるプロジェクトベース学習を行う。 実際の放課後ライブを通じて成果をアウトプットする。							
【到達目標】 アイドル運営の基本知識と現場対応力を身につけている。 チームで役割分担しながらイベント・SNS・物販などを企画運営できる。 成果物を通じて表現力・企画力・コミュニケーション力を高める。 ライブ企画・準備・運営の流れを理解し、実行できる。							

授業計画・内容	
1回目	前回ライブからの改善実施計画
2回目	SNS広告の基本知識とシミュレーション演習
3回目	SNS広告の実施と効果測定
4回目	放課後ライブ準備③：イベント構成演出会議
5回目	放課後ライブ③（実施）
6回目	ライブふりかえり＋動画分析ワーク
7回目	グッズ企画立案ワーク②（原価と利益）
8回目	販売戦略の立案（会場・EC販売）
9回目	イベント動線と現場導線計画演習
10回目	放課後ライブ準備④：運営マニュアル作成
11回目	放課後ライブ④（実施）
12回目	ライブのふりかえり／スタッフレポート作成
13回目	企画書づくり演習（グッズ／ライブ）
14回目	ファンアンケート作成と実施計画
15回目	まとめプレゼン（収益と運営の成果）
準備学習 時間外学 習	
評価方法	■出席率 50% ■【到達目標に対する達成度】 50%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 特になし	

科目名 (英)	イベントプランニング I	選択 必修	選択必修	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜4限目
【授業の学習内容】 SO.ON projectの運営に必要な知識と実践スキルを学ぶ。 イベント制作、グッズ制作、SNS運用、収支管理、ファン対応など多面的な活動を体験する。 チームでの分担と協働によるプロジェクトベース学習を行う。 実際の放課後ライブを通じて成果をアウトプットする。							
【到達目標】 アイドル運営の基本知識と現場対応力を身につけている。 チームで役割分担しながらイベント・SNS・物販などを企画運営できる。 成果物を通じて表現力・企画力・コミュニケーション力を高める。 ライブ企画・準備・運営の流れを理解し、実行できる。							

授業計画・内容	
1回目	現場課題の再抽出とチーム分担
2回目	ファンマーケティングの基本知識
3回目	放課後ライブ準備⑤：コンセプトライブ企画立案
4回目	放課後ライブ⑤（実施）
5回目	ライブふりかえり＋SNS分析
6回目	音響・照明の基礎とライブ演出の理解
7回目	照明プランと演出プラン作成演習
8回目	コラボ企画の可能性と注意点
9回目	他学科連携（映像／音響など）アイデア出し
10回目	放課後ライブ準備⑥：演出実装練習
11回目	放課後ライブ⑥（実施）
12回目	ライブ動画編集基礎とアーカイブ制作
13回目	収支計算演習（ライブ・グッズ）
14回目	成果を可視化する資料作成演習
15回目	第3Q成果発表プレゼン（成果と提案）
準備学習 時間外学 習	
評価方法	■出席率 50% ■【到達目標に対する達成度】 50%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 特になし	

科目名 (英)	イベントプランニング I	選択 必修	選択必修	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 木曜4限目
【授業の学習内容】 SO.ON projectの運営に必要な知識と実践スキルを学ぶ。 イベント制作、グッズ制作、SNS運用、収支管理、ファン対応など多面的な活動を体験する。 チームでの分担と協働によるプロジェクトベース学習を行う。 実際の放課後ライブを通じて成果をアウトプットする。							
【到達目標】 アイドル運営の基本知識と現場対応力を身につけている。 チームで役割分担しながらイベント・SNS・物販などを企画運営できる。 成果物を通じて表現力・企画力・コミュニケーション力を高める。 ライブ企画・準備・運営の流れを理解し、実行できる。							

授業計画・内容	
1回目	新チーム編成と目標共有
2回目	年間スケジュール全体設計演習
3回目	放課後ライブ準備⑦：演出強化と役割最適化
4回目	放課後ライブ⑦（実施）
5回目	ライブ分析＋課題のブレイクダウン
6回目	グッズ制作実践（発注～納品）
7回目	販売準備（価格設定・在庫管理）
8回目	売上報告書作成とプレゼン演習
9回目	SNSプロモーション動画制作
10回目	放課後ライブ準備⑧：PR強化とファン誘導
11回目	放課後ライブ⑧（実施）
12回目	アンケート回収と分析ワーク
13回目	ファンミーティング／オフライン企画立案
14回目	チーム別業務報告とふりかえり
15回目	半期総まとめ＋全体プレゼン
準備学習 時間外学 習	
評価方法	■出席率 50% ■【到達目標に対する達成度】 50%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 特になし	

科目名 (英)	イベントプランニング I	選択 必修	選択必修	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜4限目
【授業の学習内容】 SO.ON projectの運営に必要な知識と実践スキルを学ぶ。 イベント制作、グッズ制作、SNS運用、収支管理、ファン対応など多面的な活動を体験する。 チームでの分担と協働によるプロジェクトベース学習を行う。 実際の放課後ライブを通じて成果をアウトプットする。							
【到達目標】 アイドル運営の基本知識と現場対応力を身につけている。 チームで役割分担しながらイベント・SNS・物販などを企画運営できる。 成果物を通じて表現力・企画力・コミュニケーション力を高める。 ライブ企画・準備・運営の流れを理解し、実行できる。							

授業計画・内容	
1回目	放課後ライブ④振り返りと改善点共有
2回目	チーム再編成と役割見直しワーク
3回目	スケジュール管理の基礎（ガントチャート活用）
4回目	企画書フォーマットの理解と作成①
5回目	企画書フォーマットの理解と作成②
6回目	SNSアナリティクス分析（数値を元に改善案）
7回目	中長期イベント企画プレスト（3ヶ月スパン）
8回目	シナリオ／演出付きライブ企画①（テーマ決定）
9回目	シナリオ／演出付きライブ企画②（構成設計）
10回目	コール&レスポンス演習／観客参加型演出
11回目	グッズ開発プロセス（発注・納期・在庫）
12回目	追加収益アイデア会議（チェキ・配信など）
13回目	放課後ライブ準備（稽古・搬入・音響確認）
14回目	放課後ライブ⑤最終リハーサル
15回目	放課後ライブ⑤
準備学習 時間外学 習	
評価方法	■出席率 50% ■【到達目標に対する達成度】 50%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 特になし	

科目名 (英)	イベントプランニング I	選択 必修	選択必修	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 木曜4限目
【授業の学習内容】 SO.ON projectの運営に必要な知識と実践スキルを学ぶ。 イベント制作、グッズ制作、SNS運用、収支管理、ファン対応など多面的な活動を体験する。 チームでの分担と協働によるプロジェクトベース学習を行う。 実際の放課後ライブを通じて成果をアウトプットする。							
【到達目標】 アイドル運営の基本知識と現場対応力を身につけている。 チームで役割分担しながらイベント・SNS・物販などを企画運営できる。 成果物を通じて表現力・企画力・コミュニケーション力を高める。 ライブ企画・準備・運営の流れを理解し、実行できる。							

授業計画・内容	
1回目	フィードバック&SNS・アンケート分析
2回目	定例ミーティングの進行と記録方法ワーク
3回目	配信ライブ体験①：配信の基礎知識
4回目	配信ライブ体験②：OBS操作体験／配信設計
5回目	ファン参加型企画の実践（例：投票・リクエスト）
6回目	アイドルドキュメンタリー風映像企画①（構成）
7回目	アイドルドキュメンタリー風映像企画②（撮影）
8回目	動画編集演習（簡易な編集ソフトを使用）
9回目	YouTube運用／チャンネル戦略入門
10回目	放課後ライブ告知動画の制作ワーク
11回目	演出表現の深掘り（照明・映像演出演習）
12回目	タレントのセルフプロデュース研究
13回目	放課後ライブ準備（配信演出含む）
14回目	放課後ライブ⑥
15回目	振り返り・反省と次回へ向けた改善会議
準備学習 時間外学 習	
評価方法	■出席率 50% ■【到達目標に対する達成度】 50%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 特になし	

科目名 (英)	イベントプランニング I	選択 必修	選択必修	年次	4		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜4限目
【授業の学習内容】 SO.ON projectの運営に必要な知識と実践スキルを学ぶ。 イベント制作、グッズ制作、SNS運用、収支管理、ファン対応など多面的な活動を体験する。 チームでの分担と協働によるプロジェクトベース学習を行う。 実際の放課後ライブを通じて成果をアウトプットする。							
【到達目標】 アイドル運営の基本知識と現場対応力を身につけている。 チームで役割分担しながらイベント・SNS・物販などを企画運営できる。 成果物を通じて表現力・企画力・コミュニケーション力を高める。 ライブ企画・準備・運営の流れを理解し、実行できる。							

授業計画・内容	
1回目	ファンとのコミュニケーションマナー再確認
2回目	他アイドルグループ分析／ベンチマーキング
3回目	SNSでの表現技術（絵文字・言葉選び）
4回目	フォトグラファー体験ワーク（撮影・加工）
5回目	イベント装飾・空間演出案の制作
6回目	夏以降の大型イベントに向けた企画立案①
7回目	夏以降の大型イベントに向けた企画立案②
8回目	キャラクター性を活かした演技演習
9回目	即興トーク&質問対応トレーニング
10回目	ストーリーテリングライブ構成ワーク
11回目	ブランド価値の可視化ワーク
12回目	宣伝用Webページ／特設ページの構成企画
13回目	映像演出付きライブ準備（MV風導入演出）
14回目	ライブ予行練習（通し・段取り確認）
15回目	放課後ライブ⑦
準備学習 時間外学 習	
評価方法	■出席率 50% ■【到達目標に対する達成度】 50%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 特になし	

科目名 (英)	イベントプランニング I	選択 必修	選択必修	年次	4		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 木曜4限目
【授業の学習内容】 SO.ON projectの運営に必要な知識と実践スキルを学ぶ。 イベント制作、グッズ制作、SNS運用、収支管理、ファン対応など多面的な活動を体験する。 チームでの分担と協働によるプロジェクトベース学習を行う。 実際の放課後ライブを通じて成果をアウトプットする。							
【到達目標】 アイドル運営の基本知識と現場対応力を身につけている。 チームで役割分担しながらイベント・SNS・物販などを企画運営できる。 成果物を通じて表現力・企画力・コミュニケーション力を高める。 ライブ企画・準備・運営の流れを理解し、実行できる。							

授業計画・内容	
1回目	総合演習：ファンイベント＋ライブ企画設計①
2回目	総合演習：ファンイベント＋ライブ企画設計②
3回目	グループでの役割分担と実施準備
4回目	総まとめ用SNSキャンペーン立案と展開
5回目	成果発表会用資料・動画の制作①
6回目	成果発表会用資料・動画の制作②
7回目	最終ライブ演出案ブラッシュアップ
8回目	ゲスト招待・運営体制整備
9回目	音響・照明・配信リハーサル
10回目	リハーサル＋舞台設営準備
11回目	放課後ライブ⑧（卒業公演想定）
12回目	成果発表会準備（プレゼン構成）
13回目	成果発表会プレゼンリハーサル
14回目	成果発表会（企画発表・映像上映など）
15回目	振り返りと修了式／受講証授与
準備学習 時間外学 習	
評価方法	■出席率 50% ■【到達目標に対する達成度】 50%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 特になし	

科目名 (英)	PAテクニック I PA Technique I	選択 必修	選択必修	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	前期 水曜1,2限
【授業の学習内容】 自主企画・運営を通じて実務力を学ぶ。 <講師プロフィール> NumbershotやSunsetLive、阿蘇ロックフェスティバルなど九州各地の様々なイベントやコンサートを手掛けるPAエンジニア。FSM卒業生。							
【到達目標】 イベント・公演の内容に応じたPAプラン（マイク配置、卓設定、オペレーション設計など）を自立して作成・提案できる。 会場特性（残響、反響など）や音響トラブル（ハウリング、断線など）に応じた的確な判断と対処ができる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション・3年間の総復習 - PAの役割、実務レベルの視点
2回目	プロ現場の事例分析 - ツアーPA、大型フェス、舞台PA
3回目	企画演習①：イベント内容の決定 - ジャンル・規模・会場の選定
4回目	企画演習②：音響設計プラン - 会場図・回線表・機材リスト
5回目	予算と見積もり - 機材レンタル、人件費、運搬費
6回目	タイムテーブルと段取り - 仕込み→リハ→本番→撤収
7回目	ステージプラン作成 - 楽器配置、マイク、モニター設計
8回目	音響資料作成(図面・伝達表) - ステージ図、伝達表、ケーブルマップ
9回目	プロジェクトチーム編成 - 現場リーダー、FOH、モニター係など
10回目	現場運営訓練①：指示出しと連携口 現場会話、無線の使い方訓練
11回目	機材搬入搬出訓練 - 配線・収納・順路と安全確認
12回目	外部音響現場見学・実習① - 实在イベント見学
13回目	外部音響現場見学・実習② - 質問、反省、比較考察
14回目	トラブル対処演習(ケーススタディ) - 緊急対応・代替案作成
15回目	前期まとめ
準備学習 時間外学 習	・できる限り、いろんなジャンルの音楽を聴く事 ・本校が協力する各研修に参加すること。 ・時間があれば自習等で復習を行い、わからない部分を明確にして授業時等で質問してもらう
評価方法	出席率と授業態度で判断します。 ○実技テスト：40% ○課題提出：30%（課題提出、提出期限の厳守） ○習熟度：30%（到達目標に対する習熟度） 出席：別途規定（出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし）に基づきます
受講生への メッセージ	「情けは人の為ならず」
【使用教科書・教材・参考書】 ・PA入門 三訂版	

科目名 (英)	PAテクニック II PA Technique II	選択 必修	選択必修	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	後期 水曜1,2限
【授業の学習内容】 自主企画・運営を通じて実務力を学ぶ。 <講師プロフィール> NumbershotやSunsetLive、阿蘇ロックフェスティバルなど九州各地の様々なイベントやコンサートを手掛けるPAエンジニア。FSM卒業生。							
【到達目標】 ワイヤレスマイク運用、複数拠点への音声分配、音響録音など発展的な応用技術を実践できる。 卒業制作や学外公演においてPAチーフとして全体設計・運用・チーム管理を遂行できる。							

授業計画・内容	
1回目	実地リハーサル①：システム設置 - プリプロダクション仕込み
2回目	実地リハーサル②：バンドサウンド構築 - モニター・FOH調整
3回目	実地リハーサル③：フィードバック会 - 問題点洗い出し
4回目	イベント本番①：準備日 - 搬入、設営
5回目	イベント本番②：リハーサル - 音出し・サウンドチェック
6回目	イベント本番③：実演日 - ローテーション担当実施
7回目	イベント本番④：撤収と反省会 - トラブル確認、成功点共有
8回目	音響レポート作成指導 - 設計～本番～課題まとめ
9回目	音響職の進路研究①：業界構造 - 音響会社、ホール、劇場など
10回目	音響職の進路研究②：面接と自己PR - ポートフォリオ、志望理由など
11回目	外部講師特別講義① - プロPA（実演 or 講義）
12回目	外部講師特別講義② - 大規模イベントの音響事例
13回目	卒業制作準備①：自主イベント企画 - 予算、出演者交渉、会場
14回目	卒業制作準備②：音響設計・チーム運営 - 音響マネジメント力
15回目	卒業制作実施 - フルオペレーション実践
準備学習 時間外学 習	・できる限り、いろんなジャンルの音楽を聴く事 ・本校が協力する各研修に参加すること。 ・時間があれば自習等で復習を行い、わからない部分を明確にして授業時等で質問してもらう
評価方法	出席率と授業態度で判断します。 ○実技テスト：40% ○課題提出：30%（課題提出、提出期限の厳守） ○習熟度：30%（到達目標に対する習熟度） 出席：別途規定（出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし）に基づきます
受講生への メッセージ	「情けは人の為ならず」
【使用教科書・教材・参考書】 ・PA入門 三訂版	

科目名 (英)	PAテクニック Ⅲ PA Technique Ⅲ	選択 必修	選択必修	年次	4		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	後期 水曜1,2限
【授業の学習内容】 自主企画・運営を通じて実務力を学ぶ。 ＜講師プロフィール＞ NumbershotやSunsetLive、阿蘇ロックフェスティバルなど九州各地の様々なイベントやコンサートを手掛けるPAエンジニア。FSM卒業生。							
【到達目標】 ワイヤレスマイク運用、複数拠点への音声分配、音響録音など発展的な応用技術を実践できる。 卒業制作や学外公演においてPAチーフとして全体設計・運用・チーム管理を遂行できる。							

授業計画・内容	
1回目	4年次で求められる実務的視点やリーダーシップの役割について
2回目	全国ツアー、野外フェス、劇場公演など、多様なPA現場の映像・資料を通して、規模や構造、スタッフ構成の違いを分析する
3回目	チームで想定イベント（ライブ／演劇など）を企画し、ジャンル、会場、編成、規模を決定する
4回目	会場図、音響回線図、マイク配置、モニター配置などを検討・設計する。音響目線からのイベント構築
5回目	機材レンタル費、人件費、交通費などを含んだ予算書を作成および見積書の読み方・書き方
6回目	タイムテーブルと段取り
7回目	実際の演者・楽器編成を想定したステージ図面を作成し、配置と導線、安全性を意識した設計
8回目	音響資料作成（図面・伝達表）
9回目	プロジェクトチーム編成とロール分担
10回目	現場運営訓練①：指示出しと連携
11回目	機材搬入・搬出訓練
12回目	トラブル対処演習（ケーススタディ）①
13回目	トラブル対処演習（ケーススタディ）②
14回目	前期まとめ・中間プレゼン①
15回目	前期まとめ・中間プレゼン②
準備学習 時間外学 習	・できる限り、いろんなジャンルの音楽を聴く事 ・本校が協力する各研修に参加すること。 ・時間があれば自習等で復習を行い、わからない部分を明確にして授業時等で質問してもらう
評価方法	出席率と授業態度で判断します。 ○実技テスト：40% ○課題提出：30%（課題提出、提出期限の厳守） ○習熟度：30%（到達目標に対する習熟度） 出席：別途規定（出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし）に基づきます
受講生への メッセージ	「情けは人の為ならず」
【使用教科書・教材・参考書】 ・PA入門 三訂版	

科目名 (英)	PAテクニック IV PA Technique IV	選択 必修	選択必修	年次	4		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	後期 水曜1,2限
【授業の学習内容】 自主企画・運営を通じて実務力を学ぶ。 <講師プロフィール> NumbershotやSunsetLive、阿蘇ロックフェスティバルなど九州各地の様々なイベントやコンサートを手掛けるPAエンジニア。FSM卒業生。							
【到達目標】 ワイヤレスマイク運用、複数拠点への音声分配、音響録音など発展的な応用技術を実践できる。 卒業制作や学外公演においてPAチーフとして全体設計・運用・チーム管理を遂行できる。							

授業計画・内容	
1回目	音響チームワーク演習①：役割交代制実習
2回目	音響チームワーク演習②：設営から撤収までの一貫運用
3回目	プロ現場の想定演習①：仮設ステージ対応
4回目	プロ現場の想定演習②：スピード仕込み訓練
5回目	音響機材レンタルと発注の知識
6回目	音響業界の契約・報酬のしくみ
7回目	音響業務の安全管理
8回目	音響ディレクション演習①：複数バンドの転換指示
9回目	音響ディレクション演習②：MC中の調整・即応演習
10回目	現場資料作成演習（応用）
11回目	音響フィードバック・ディスカッション
12回目	音響スーパーバイザー体験①：他チーム指導と講評①
13回目	音響スーパーバイザー体験①：他チーム指導と講評②
14回目	卒業制作事前準備・最終調整
15回目	卒業制作
準備学習 時間外学 習	・できる限り、いろんなジャンルの音楽を聴く事 ・本校が協力する各研修に参加すること。 ・時間があれば自習等で復習を行い、わからない部分を明確にして授業時等で質問してもらう
評価方法	出席率と授業態度で判断します。 ○実技テスト：40% ○課題提出：30%（課題提出、提出期限の厳守） ○習熟度：30%（到達目標に対する習熟度） 出席：別途規定（出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし）に基づきます
受講生への メッセージ	「情けは人の為ならず」
【使用教科書・教材・参考書】 ・PA入門 三訂版	

科目名 (英)	検定対策 I Measures test I	選択 必修	選択必修	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜4限
【授業の学習内容】 現場での電源・LAN設計と施工、配線図・ネットワーク構成図の作成 複雑な電源・ネットワーク構成の統合管理、トラブルシューティング演習 <講師プロフィール> ステージオフィスヤマダ代表。コンサートや日本舞踊、バレエなどの多くの公演に携わる。クロスエフエム開局に携わり、博多駅スタジオのシステム担当、ユニバーシアード福岡大会コミュニティラジオシステム担当の他、九州各県のコミュニティ放送設立に際してシステム設計から立ち上げに関わっている。							
【到達目標】 大規模な舞台・イベント等の電源・通信ネットワーク構成を自ら設計できる。 複数の電源回路を分散・統合し、安全かつ効率的に配線できる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション／試験概要・合格基準
2回目	電気の基礎①（電圧・電流・抵抗）
3回目	電気の基礎②（オームの法則・電力）
4回目	電気の基礎③（直流・交流の違い）
5回目	電気回路①（直列・並列回路）
6回目	電気回路②（合成抵抗・計算問題）
7回目	電気回路③（電力・電力量計算）
8回目	電気機器（ブレーカー・配線用機器）
9回目	電気材料（ケーブル・電線の種類）
10回目	図記号・配線図の読み方
11回目	法規①（電気設備技術基準）
12回目	法規②（安全・施工ルール）
13回目	過去問題演習①（基礎）
14回目	過去問題演習②（応用）
15回目	模擬試験（筆記）＋解説
準備学習 時間外学 習	学内外において開催されている各種催事・イベントを見学することで、あらゆる場面を見ることができるので積極的に触れるように努力する。各種メディア（4K-TV、インターネット等）での劇場上演映像等を、聴取することで多くの舞台に触れる事ができるので、機会があれば聴取するように努める。
評価方法	出席率と授業態度で判断します。 ○実技テスト：40% ○課題提出：30%（課題提出、提出期限の厳守） ○習熟度：30%（到達目標に対する習熟度） 出席：別途規定（出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし）に基づきます
受講生への メッセージ	判らない事は、なんでも質問して可能な限り疑問の解消に努めましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 ・PA照明舞台用語辞典 ・公立文化施設 舞台技術ハンドブック	

科目名 (英)	検定対策Ⅱ Measures test Ⅱ	選択 必修	選択必修	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 木曜4限
【授業の学習内容】 現場での電源・LAN設計と施工、配線図・ネットワーク構成図の作成 複雑な電源・ネットワーク構成の統合管理、トラブルシューティング演習 <講師プロフィール> ステージオフィスヤマダ代表。コンサートや日本舞踊、バレエなどの多くの公演に携わる。クロスエフエム開局に携わり、博多駅スタジオのシステム担当、ユニバーシアード福岡大会コミュニティラジオシステム担当の他、九州各県のコミュニティ放送設立に際してシステム設計から立ち上げに関わっている。							
【到達目標】 大規模な舞台・イベント等の電源・通信ネットワーク構成を自ら設計できる。 複数の電源回路を分散・統合し、安全かつ効率的に配線できる。							

授業計画・内容	
1回目	技能試験概要／工具の使い方
2回目	電線加工①（VVFストリップ）
3回目	電線加工②（リングスリーブ圧着）
4回目	基本回路①（単極スイッチ）
5回目	基本回路②（3路スイッチ）
6回目	基本回路③（コンセント回路）
7回目	複線図の書き方
8回目	候補問題①（施工）
9回目	候補問題②（施工）
10回目	候補問題③（施工）
11回目	時間制限付き実技①
12回目	時間制限付き実技②
13回目	時間制限付き実技③
14回目	模擬技能試験
15回目	総合フィードバック／試験直前対策
準備学習 時間外学 習	学内外において開催されている各種催事・イベントを見学することで、あらゆる場面を見ることができるので積極的に触れるように努力する。各種メディア（4K-TV、インターネット等）での劇場上演映像等を、聴取することで多くの舞台に触れる事ができるので、機会があれば聴取するように努める。
評価方法	出席率と授業態度で判断します。 ○実技テスト：40% ○課題提出：30%（課題提出、提出期限の厳守） ○習熟度：30%（到達目標に対する習熟度） 出席：別途規定（出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし）に基づきます
受講生への メッセージ	判らない事は、なんでも質問して可能な限り疑問の解消に努めましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 ・PA照明舞台用語辞典 ・公立文化施設 舞台技術ハンドブック	

科目名 (英)	マネージャー I Manager Workshop I)	必修 選択	選択 必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時限	火曜日・3限目
【授業の学習内容】 芸能・エンタメ業界の役割、タレントの役割、マネジメント・事務所側の役割等、各テーマに沿って掘り下げて話していく。 又、世の中の動きや流行に応じて一般視聴者、消費者が求めるものを常に追求し作り上げていく事を自らが考えられるようにしていく。 <講師プロフィール>文化放送開発センター〜トップコート其々10年以上の社歴を経て、2013年サテライト東京に着任。 大手事務所での新人開発やマネジメント経験から、俳優・タレントとしての商品価値を高め、マネジメント&プロデュースをしています。							
【到達目標】 ①「インプット（興味・情報収集）」芸能・エンタメ業界、又それだけに限らず、世の中の動向に興味を持ってもらう ②「夢と現実」業界で働く上で実際に起こるそれぞれの「やりがいや喜び、苦悩や厳しさ」を知ってもらう ③「精神力」外・内面的に自分磨きと努力が大事。仕事への覚悟と体力、強い精神力、忍耐力を養う ④「タレントについて」タレント発掘の仕方、育て方、接し方、戦略の立て方 ⑤「裏方の業務内容」芸能事務所、マネージャーの業務内容、営業や現場での心得・注意やトラブル対処法を知ってもらう							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介・この授業で学びたいこと
2回目	業界で働く上で必要な力
3回目	感性を鍛えるワーク「天国と地獄」表現
4回目	マネージャーの仕事①：種類と役割（営業・サポート）
5回目	マネージャーの仕事②：契約書から学ぶタレントと事務所の関係
6回目	社会に必要な人格①：松坂桃李のエピソード
7回目	社会に必要な人格②：山寺宏一／堺雅人のエピソード
8回目	言語力を鍛える：『愛の讃歌』感想を言語化
9回目	社会に必要な人格③：ある俳優の失敗編
10回目	好きなタレントについて語る①
11回目	好きなタレントについて語る②
12回目	番組作りから学ぶキャスティングの考え方
13回目	雇用側の視点と社会人スキル
14回目	前期筆記試験：人事評価表記入ワーク
15回目	特別講義：自己診断・TAKAHIROマネジメント事例紹介
準備学習 時間外 学習	今、そしてこれからの時代のタレントプロモーションを視野に学んでいきましょう。
評価方法	提出物の内容・提出期日・出席状況
受講生への メッセージ	日本音楽事業者協会、プロモーターズ連盟などの業界団体や Dwveiw, narrowなどのサイト、あるいは自分好きなタレントや エンタメシーン等から沢山学びましょう。 ＊ ネットの評判は、話半分！環境は自分で変えられる！！
【使用教科書・教材・参考書】	
オリジナル資料	

科目名 (英)	マネージャー I Manager Workshop II	必修 選択	選択 必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時限	火曜日・3限目
【授業の学習内容】 芸能・エンタメ業界の役割、タレントの役割、マネジメント・事務所側の役割等、各テーマに沿って掘り下げて話していく。 又、世の中の動きや流行に応じて一般視聴者、消費者が求めるものを常に追求し作り上げていく事を自らが考えられるようにしていく。 <講師プロフィール>文化放送開発センター〜トップコート其々10年以上の社歴を経て、2013年サテライト東京に着任。 大手事務所での新人開発やマネジメント経験から、俳優・タレントとしての商品価値を高め、マネジメント&プロデュースをしています。							
【到達目標】 ①「インプット（興味・情報収集）」芸能・エンタメ業界、又それだけに限らず、世の中の動向に興味を持ってもらう ②「夢と現実」業界で働く上で実際に起こるそれぞれの「やりがいや喜び、苦悩や厳しさ」を知ってもらう ③「精神力」外・内面的に自分磨きと努力が大事。仕事への覚悟と体力、強い精神力、忍耐力を養う ④「タレントについて」タレント発掘の仕方、育て方、接し方、戦略の立て方 ⑤「裏方の業務内容」芸能事務所、マネージャーの業務内容、営業や現場での心得・注意やトラブル対処法を知ってもらう							

授業計画・内容	
1回目	タレントの職業としての価値を考える
2回目	おすすめインフルエンサーをプレゼン①
3回目	おすすめインフルエンサーをプレゼン②
4回目	新人開発の極意を考える
5回目	芸能の仕事の多様性：「入り口は一つではない」
6回目	演技体験①：台本から意図を読み取る
7回目	演技体験②：演出家が求める演技とは
8回目	情報解禁とは？プロモーションとの関係
9回目	芸能界のお金事情：タレントのギャラとマネージャーの報酬
10回目	後期試験（口述）：即興質問に答える
11回目	あいさつと「オーラ」の話
12回目	We are FSM制作リハーサル①
13回目	We are FSM制作リハーサル②
14回目	We are FSM制作本番①
15回目	We are FSM制作本番②／振り返りと講評
準備学習 時間外 学習	今、そしてこれからの時代のタレントプロモーションを視野に学んでいきましょう。
評価方法	提出物の内容・提出期日・出席状況
受講生への メッセージ	日本音楽事業者協会、プロモーターズ連盟などの業界団体や Dwveiw, narrowなどのサイト、あるいは自分好きなタレントや エンタメシーン等から沢山学びましょう。 ＊ネットの評判は、話半分に！環境は自分で変えられる！！
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナル資料	

科目名 (英)	マネージャー I Manager Workshop III	必修 選択	選択 必修	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時限	火曜日・3限目
【授業の学習内容】 芸能・エンタメ業界の役割、タレントの役割、マネジメント・事務所側の役割等、各テーマに沿って細かく掘り下げて話していく。 又、世の中の動きや流行に応じて一般視聴者、消費者が求めるものを常に追求し作り上げていく事を自らが考えられるようにしていく。 <講師プロフィール>文化放送開発センター〜トップコート其々10年以上の社歴を経て、2013年サテライト東京に着任。 大手事務所での新人開発やマネジメント経験から、俳優・タレントとしての商品価値を高め、マネジメント&プロデュースをしています。							
【到達目標】 ①「インプット（興味・情報収集）」芸能・エンタメ業界、又それだけに限らず、世の中の動向に興味を持ってもらう ②「夢と現実」業界で働く上で実際に起こるそれぞれの「やりがいや喜び、苦悩や厳しさ」を知ってもらう ③「精神力」外・内面的に自分磨きと努力が大事。仕事への覚悟と体力、強い精神力、忍耐力を養う ④「タレントについて」タレント発掘の仕方、育て方、接し方、戦略の立て方 ⑤「裏方の業務内容」芸能事務所、マネージャーの業務内容、営業や現場での心得・注意やトラブル対処法を知ってもらう							

授業計画・内容	
1回目	コミュニケーション力：言語・非言語・離見の見
2回目	弱気を克服する思考法
3回目	芸能界のお金事情②：収益構造の深掘り
4回目	情報解禁②：SNSとの関係と炎上リスク
5回目	インフルエンサー分析とマネジメント視点①
6回目	インフルエンサー分析とマネジメント視点②
7回目	アドバイス事例紹介①：志望者との関わり
8回目	現場見学：稽古場見学と新人開発解説
9回目	アドバイス事例紹介②：タレント育成の工夫
10回目	就職に向けて①：質疑応答・悩み相談
11回目	就職に向けて②：質問会とアドバイス
12回目	後期口述試験：3分スピーチ（時事ネタ）
13回目	一期一会：ディズニーダンサーの悔恨から学ぶ
14回目	We are FSM 卒業進級制作 リハーサル
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外 学習	今、そしてこれからの時代のタレントプロモーションを視野に学んでいきましょう。
評価方法	提出物の内容・提出期日・出席状況
受講生への メッセージ	日本音楽事業者協会、プロモーターズ連盟などの業界団体や Dwveiw, narrowなどのサイト、あるいは自分好きなタレントや エンタメシーン等から沢山学びましょう。 * ネットの評判は、話半分に！環境は自分で変えられる！！
【使用教科書・教材・参考書】	
オリジナル資料	

科目名 (英)	マネージャー I Manager Workshop III IV)	必修 選択	選択 必修	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時限	火曜日・3限目
【授業の学習内容】 芸能・エンタメ業界の役割、タレントの役割、マネジメント・事務所側の役割等、各テーマに沿って細かく掘り下げて話していく。 又、世の中の動きや流行に応じて一般視聴者、消費者が求めるものを常に追求し作り上げていく事を自らが考えられるようにしていく。 <講師プロフィール>文化放送開発センター〜トップコート其々10年以上の社歴を経て、2013年サテライト東京に着任。 大手事務所での新人開発やマネジメント経験から、俳優・タレントとしての商品価値を高め、マネジメント&プロデュースをしています。							
【到達目標】 ①「インプット（興味・情報収集）」芸能・エンタメ業界、又それだけに限らず、世の中の動向に興味を持ってもらう ②「夢と現実」業界で働く上で実際に起こるそれぞれの「やりがいや喜び、苦悩や厳しさ」を知ってもらう ③「精神力」外・内面的に自分磨きと努力が大事。仕事への覚悟と体力、強い精神力、忍耐力を養う ④「タレントについて」タレント発掘の仕方、育て方、接し方、戦略の立て方 ⑤「裏方の業務内容」芸能事務所、マネージャーの業務内容、営業や現場での心得・注意やトラブル対処法を知ってもらう							

授業計画・内容	
1回目	コンセプトワーク①：あるイベントのコンセプトを考える
2回目	コンセプトワーク②：グループ発表と講評
3回目	イベントブックイング演習①：条件に合うキャストを考える
4回目	イベントブックイング演習②：交渉のシミュレーション
5回目	SNSプロモーション基礎①：ストーリーの組み立て
6回目	SNSプロモーション基礎②：実例比較と効果測定
7回目	広報用文章作成ワーク①：キャッチコピーとプロフィール文
8回目	広報用文章作成ワーク②：プレスリリース模擬作成
9回目	マネージャーあるある座談会（講師・ゲスト編）
10回目	業界志望動機ブラッシュアップ演習
11回目	履歴書・職務経歴書の作り方と添削指導
12回目	面接ロールプレイ①：自己PRと志望理由
13回目	面接ロールプレイ②：実際の質問対応訓練
14回目	学びのまとめワーク：これまでの振り返る
15回目	中間発表：自己プロデュースと職業理解のまとめプレゼン
準備学習 時間外 学習	今、そしてこれからの時代のタレントプロモーションを視野に学んでいきましょう。
評価方法	提出物の内容・提出期日・出席状況
受講生への メッセージ	日本音楽事業者協会、プロモーターズ連盟などの業界団体や Dwveiw, narrowなどのサイト、あるいは自分好きなタレントや エンタメシーン等から沢山学びましょう。 * ネットの評判は、話半分に！環境は自分で変えられる！！
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナル資料	

科目名 (英)	マネージャー I Manager Workshop V	必修 選択	選択 必修	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時限	火曜日・4,5限目
【授業の学習内容】 芸能・エンタメ業界の役割、タレントの役割、マネジメント・事務所側の役割等、各テーマに沿って細かく掘り下げて話していく。又、世の中の動きや流行に応じて一般視聴者、消費者が求めるものを常に追求し作り上げていく事を自らが考えられるようにしていく。 <講師プロフィール>文化放送開発センター〜トップコート其々10年以上の社歴を経て、2013年サテライト東京に着任。 大手事務所での新人開発やマネジメント経験から、俳優・タレントとしての商品価値を高め、マネジメント&プロデュースをしています。							
【到達目標】 ①「インプット（興味・情報収集）」芸能・エンタメ業界、又それだけに限らず、世の中の動向に興味を持ってもらう ②「夢と現実」業界で働く上で実際に起こるそれぞれの「やりがいや喜び、苦悩や厳しさ」を知ってもらう ③「精神力」外・内面的に自分磨きと努力が大事。仕事への覚悟と体力、強い精神力、忍耐力を養う ④「タレントについて」タレント発掘の仕方、育て方、接し方、戦略の立て方 ⑤「裏方の業務内容」芸能事務所、マネージャーの業務内容、営業や現場での心得・注意やトラブル対処法を知ってもらう							

授業計画・内容	
1回目	オーディションの裏側：選考基準とその意味を読み解く
2回目	キャスティング実践ワーク①：条件に合う人材を選定する
3回目	キャスティング実践ワーク②：演者へのオファー文章作成
4回目	実践！シチュエーション別ロールプレイ①（現場トラブル対応）
5回目	実践！シチュエーション別ロールプレイ②（遅刻・スケジュール混乱時）
6回目	「裏方の美学」：現場で求められる所作と配慮
7回目	演者と信頼関係を築くコミュニケーション法
8回目	タレントの悩みや不安への対応方法（傾聴・共感・提案）
9回目	芸能マネージャーに必要な「言わない勇気」と「伝える力」
10回目	プロモーション企画立案①：新商品のPRプランを考える
11回目	プロモーション企画立案②：プレゼン&講評
12回目	スポンサーとの関係性：企業の視点を理解する
13回目	マネジメントに必要なスケジュール管理術
14回目	現場で重宝される「段取り力」と「空気の読み方」
15回目	中間発表：現場シミュレーションプレゼン（チーム発表）
準備学習 時間外 学習	今、そしてこれからの時代のタレントプロモーションを視野に学んでいきましょう。
評価方法	提出物の内容・提出期日・出席状況
受講生への メッセージ	日本音楽事業者協会、プロモーターズ連盟などの業界団体や Dwveiw, narrowなどのサイト、あるいは自分好きなタレントやエンタメシーン等から沢山学びましょう。 * ネットの評判は、話半分に！環境は自分で変えられる！！
【使用教科書・教材・参考書】	
オリジナル資料	

科目名 (英)	マネージャー I Manager Workshop VI)	必修 選択	選択 必修	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時限	火曜日・4,5限目
【授業の学習内容】 芸能・エンタメ業界の役割、タレントの役割、マネジメント・事務所側の役割等、各テーマに沿って細かく掘り下げて話していく。又、世の中の動きや流行に応じて一般視聴者、消費者が求めるものを常に追求し作り上げていく事を自らが考えられるようにしていく。 <講師プロフィール>文化放送開発センター〜トップコート其々10年以上の社歴を経て、2013年サテライト東京に着任。大手事務所での新人開発やマネジメント経験から、俳優・タレントとしての商品価値を高め、マネジメント&プロデュースをしています。							
【到達目標】 ①「インプット（興味・情報収集）」芸能・エンタメ業界、又それだけに限らず、世の中の動向に興味を持ってもらう ②「夢と現実」業界で働く上で実際に起こるそれぞれの「やりがいや喜び、苦悩や厳しさ」を知ってもらう ③「精神力」外・内面的に自分磨きと努力が大事。仕事への覚悟と体力、強い精神力、忍耐力を養う ④「タレントについて」タレント発掘の仕方、育て方、接し方、戦略の立て方 ⑤「裏方の業務内容」芸能事務所、マネージャーの業務内容、営業や現場での心得・注意やトラブル対処法を知ってもらう							

授業計画・内容	
1回目	ブランディング基礎：タレントの“イメージ”を作る
2回目	タレント育成プランを考える①：短期・中期目標の設定
3回目	タレント育成プランを考える②：プロセスとKPIの設計
4回目	業界の動向を読む：近年のトレンドと求められる人材
5回目	TikTok・YouTube・配信文化とマネージャーの役割
6回目	エージェンツ制とは？従来の事務所制との違いを知る
7回目	番組企画書を読む：マネージャーはどこを見るか？
8回目	番組出演交渉のシミュレーション（ギャラ・拘束条件など）
9回目	危機管理①：SNS炎上時の対応と判断基準
10回目	危機管理②：トラブルの初動対応とリスク分散の考え方
11回目	スポンサーや媒体側との交渉術
12回目	芸能マネジメントにおける法知識（肖像権・著作権・契約書）
13回目	タレントとファンの関係性を深掘る（推し活文化の考察）
14回目	ファンイベントの企画運営ワーク①（構想と設計）
15回目	ファンイベントの企画運営ワーク②（企画プレゼン）
準備学習 時間外 学習	今、そしてこれからの時代のタレントプロモーションを視野に学んでいきましょう。
評価方法	提出物の内容・提出期日・出席状況
受講生への メッセージ	日本音楽事業者協会、プロモーターズ連盟などの業界団体や Dwveiw, narrowなどのサイト、あるいは自分好きなタレントやエンタメシーン等から沢山学びましょう。 * ネットの評判は、話半分に！環境は自分で変えられる！！
【使用教科書・教材・参考書】	
オリジナル資料	

科目名 (英)	マネージャー I Manager Workshop VII	必修 選択	選択 必修	年次	4		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
						曜日・時限	火曜日・4,5限目
【授業の学習内容】 芸能・エンタメ業界の役割、タレントの役割、マネジメント・事務所側の役割等、各テーマに沿って細かく掘り下げて話していく。又、世の中の動きや流行に応じて一般視聴者、消費者が求めるものを常に追求し作り上げていく事を自らが考えられるようにしていく。 <講師プロフィール>文化放送開発センター〜トップコート其々10年以上の社歴を経て、2013年サテライト東京に着任。大手事務所での新人開発やマネジメント経験から、俳優・タレントとしての商品価値を高め、マネジメント&プロデュースをしています。							
【到達目標】 ①「インプット（興味・情報収集）」芸能・エンタメ業界、又それだけに限らず、世の中の動向に興味を持ってもらう ②「夢と現実」業界で働く上で実際に起こるそれぞれの「やりがいや喜び、苦悩や厳しさ」を知ってもらう ③「精神力」外・内面的に自分磨きと努力が大事。仕事への覚悟と体力、強い精神力、忍耐力を養う ④「タレントについて」タレント発掘の仕方、育て方、接し方、戦略の立て方 ⑤「裏方の業務内容」芸能事務所、マネージャーの業務内容、営業や現場での心得・注意やトラブル対処法を知ってもらう							

授業計画・内容	
1回目	現場業務の流れを知る（ライブ・舞台・撮影・イベント）
2回目	イベント制作の基本①：準備・リハ・本番の進行管理
3回目	イベント制作の基本②：現場の安全管理・ケータリング等
4回目	タレントケアとマネジメント（体調管理、メンタルサポート）
5回目	ライブ演出と演者の関係（裏方の視点から演出を見る）
6回目	現場見学レポート①（リハーサルなど）【※現場によって変動】
7回目	現場見学レポート②（本番当日や仕込み）【※現場によって変動】
8回目	振り返りとフィードバック：現場対応力の向上
9回目	代打・キャンセル時の対応訓練（リスクと即応）
10回目	関係各所とのやりとり練習（クライアント・技術・制作）
11回目	台本の読み方と確認ポイント（演者視点＋マネージャー視点）
12回目	メディア取材対応：コメント作成とバブ対応
13回目	スケジュール帳を用いた想定ワーク（2週間分の管理）
14回目	実務テスト：現場進行台本の作成ワーク
15回目	これまでのまとめ：現場で必要な力を再確認
準備学習 時間外 学習	今、そしてこれからの時代のタレントプロモーションを視野に学んでいきましょう。
評価方法	提出物の内容・提出期日・出席状況
受講生への メッセージ	日本音楽事業者協会、プロモーターズ連盟などの業界団体や Dwveiw, narrowなどのサイト、あるいは自分好きなタレントやエンタメシーン等から沢山学びましょう。 * ネットの評判は、話半分に！環境は自分で変えられる！！
【使用教科書・教材・参考書】	
オリジナル資料	

科目名 (英)	マネージャー I Manager Workshop Ⅷ	必修 選択	選択 必修	年次	4		
授業 形態		授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科					曜日・時限	火曜日・4,5限目
【授業の学習内容】 芸能・エンタメ業界の役割、タレントの役割、マネジメント・事務所側の役割等、各テーマに沿って細かく掘り下げて話していく。又、世の中の動きや流行に応じて一般視聴者、消費者が求めるものを常に追求し作り上げていく事を自らが考えられるようにしていく。 <講師プロフィール>文化放送開発センター〜トップコート其々10年以上の社歴を経て、2013年サテライト東京に着任。大手事務所での新人開発やマネジメント経験から、俳優・タレントとしての商品価値を高め、マネジメント&プロデュースをしています。							
【到達目標】 ①「インプット（興味・情報収集）」芸能・エンタメ業界、又それだけに限らず、世の中の動向に興味を持ってもらう ②「夢と現実」業界で働く上で実際に起こるそれぞれの「やりがいや喜び、苦悩や厳しさ」を知ってもらう ③「精神力」外・内面的に自分磨きと努力が大事。仕事への覚悟と体力、強い精神力、忍耐力を養う ④「タレントについて」タレント発掘の仕方、育て方、接し方、戦略の立て方 ⑤「裏方の業務内容」芸能事務所、マネージャーの業務内容、営業や現場での心得・注意やトラブル対処法を知ってもらう							

授業計画・内容	
1回目	総合実習：新人タレントの売り込み戦略を立案①
2回目	総合実習：新人タレントの売り込み戦略を立案②
3回目	チーム発表①（売り込み戦略・自己分析・市場分析）
4回目	チーム発表②（講評とフィードバック）
5回目	自分が目指すマネージャー像を言語化する
6回目	自己PRの組み立て：強みとエピソードをリンクさせる
7回目	模擬面接①：面接官による質疑応答と評価
8回目	模擬面接②：他者フィードバックと自己改善
9回目	内定者インタビュー・卒業生による講話（予定）
10回目	合同企業説明会や就活イベントへの準備講座
11回目	時事問題プレゼン：社会の流れと芸能の関係を考える
12回目	卒業プレゼン準備：ポートフォリオと発表練習
13回目	卒業プレゼン本番①（講師・外部講師の前で実施）
14回目	卒業プレゼン本番②（チームごとに発表）
15回目	修了振り返りと未来設計：自己成長と今後の展望
準備学習 時間外 学習	今、そしてこれからの時代のタレントプロモーションを視野に学んでいきましょう。
評価方法	提出物の内容・提出期日・出席状況
受講生への メッセージ	日本音楽事業者協会、プロモーターズ連盟などの業界団体や Dwveiw, narrowなどのサイト、あるいは自分好きなタレントやエンタメシーン等から沢山学びましょう。 * ネットの評判は、話半分！環境は自分で変えられる！！
【使用教科書・教材・参考書】	
オリジナル資料	

科目名 (英)	マネジメント概論 I	選択 必修	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	前期 金曜 3・4時限目
【授業の学習内容】 業界理解： ワークショップを通して、音楽業界の構造やビジネスモデルを理解し、マネージャーの役割を明確にする。 プロモーション企画、スケジュール管理、契約交渉、効果的なコミュニケーション、SNSやストーリーミングサービスを使用したプロモーションなどの実務能力を身につける。 FSM内で、他コースとのハブになるようなコースになる							
【到達目標】 【到達目標】 業界理解： ワークショップを通して、音楽業界の構造やビジネスモデルを理解し、マネージャーの役割を明確にする。 プロモーション企画、スケジュール管理、契約交渉、効果的なコミュニケーション、SNSやストーリーミングサービスを使用したプロモーションなどの実務能力を身につける。 FSM内で、他コースとのハブになるようなコースになる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション（目的・スケジュール・自己紹介）
2回目	プレゼンテーション：自己紹介
3回目	プレゼンテーション：アーティスト・楽曲紹介
4回目	AIトラック生成 + HIPHOPリリック作成①
5回目	AIトラック生成 + リリック作成②
6回目	アーティスト体験 レコーディング①
7回目	アーティスト体験 レコーディング②
8回目	MIX／資料制作（AIでジャケット生成）
9回目	Keynoteで発表準備
10回目	SNS用ショート動画制作①（YouTube／Instagram／TikTok）
11回目	SNS用ショート動画制作②（YouTube／Instagram／TikTok）
12回目	SNSマーケティング（アルゴリズム解説）
13回目	プロモーション企画①（事例研究）
14回目	プロモーション企画②（実践編）
15回目	前期振り返り／後期課題説明
準備学習 時間外学 習	
評価方法	■出席率 50% ■【到達目標に対する達成度】 50%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 特になし	

科目名 (英)	マネジメント概論 II	選択 必修	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	後期 金曜 3・4時限目
【授業の学習内容】 業界理解： ワークショップを通して、音楽業界の構造やビジネスモデルを理解し、マネージャーの役割を明確にする。 プロモーション企画、スケジュール管理、契約交渉、効果的なコミュニケーション、SNSやストーリーミングサービスを使用したプロモーションなどの実務能力を身につける。 FSM内で、他コースとのハブになるようなコースになる							
【到達目標】 【到達目標】 業界理解： ワークショップを通して、音楽業界の構造やビジネスモデルを理解し、マネージャーの役割を明確にする。 プロモーション企画、スケジュール管理、契約交渉、効果的なコミュニケーション、SNSやストーリーミングサービスを使用したプロモーションなどの実務能力を身につける。 FSM内で、他コースとのハブになるようなコースになる。							

授業計画・内容	
1回目	業界構造の理解①（音楽ビジネス全体像）
2回目	業界構造の理解②（マネージャーの役割）
3回目	スケジュール管理基礎①
4回目	スケジュール管理基礎②
5回目	プロモーション手法比較（TV／ラジオ／SNS）
6回目	チームプロジェクト：企画立案①
7回目	チームプロジェクト：企画立案②
8回目	発表準備とプレゼン練習
9回目	プレゼンテーション：企画発表
10回目	契約交渉の基礎（実務演習）
11回目	契約書の読み方・書き方
12回目	コミュニケーションワーク①
13回目	コミュニケーションワーク②
14回目	実務シミュレーション①（模擬案件）
15回目	実務シミュレーション②（模擬案件）
準備学習 時間外学 習	
評価方法	■出席率 50% ■【到達目標に対する達成度】 50%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 特になし	

科目名 (英)	マネジメント概論 Ⅲ	選択 必修	選択必修	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	前期 金曜 3・4時限目
【授業の学習内容】 業界理解： ワークショップを通して、音楽業界の構造やビジネスモデルを理解し、マネージャーの役割を明確にする。 プロモーション企画、スケジュール管理、契約交渉、効果的なコミュニケーション、SNSやストーリーミングサービスを使用したプロモーションなどの実務能力を身につける。 FSM内で、他コースとのハブになるようなコースになる							
【到達目標】 【到達目標】 業界理解： ワークショップを通して、音楽業界の構造やビジネスモデルを理解し、マネージャーの役割を明確にする。 プロモーション企画、スケジュール管理、契約交渉、効果的なコミュニケーション、SNSやストーリーミングサービスを使用したプロモーションなどの実務能力を身につける。 FSM内で、他コースとのハブになるようなコースになる。							

授業計画・内容	
1回目	SNS分析ツールの使い方（TikTok／Instagram）
2回目	再生数・エンゲージメントの理解
3回目	データに基づく改善施策の立案
4回目	ライブイベントの企画・準備①
5回目	ライブイベントの企画・準備②
6回目	ライブ当日のマネジメント
7回目	イベント振り返りとレポート作成
8回目	アーティストとの面談ロールプレイ①
9回目	アーティストとの面談ロールプレイ②
10回目	ストーリーミング時代の戦略①
11回目	ストーリーミング時代の戦略②
12回目	アーティストブランディング入門
13回目	ファンベース構築とロイヤル顧客
14回目	映像・ビジュアル戦略の立案
15回目	中間まとめ・発表
準備学習 時間外学 習	
評価方法	■出席率 50% ■【到達目標に対する達成度】 50%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 特になし	

科目名 (英)	マネジメント概論 IV	選択 必修	選択必修	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	後期 金曜 3・4時限目
【授業の学習内容】 業界理解： ワークショップを通して、音楽業界の構造やビジネスモデルを理解し、マネージャーの役割を明確にする。 プロモーション企画、スケジュール管理、契約交渉、効果的なコミュニケーション、SNSやストーリーミングサービスを使用したプロモーションなどの実務能力を身につける。 FSM内で、他コースとのハブになるようなコースになる							
【到達目標】 【到達目標】 業界理解： ワークショップを通して、音楽業界の構造やビジネスモデルを理解し、マネージャーの役割を明確にする。 プロモーション企画、スケジュール管理、契約交渉、効果的なコミュニケーション、SNSやストーリーミングサービスを使用したプロモーションなどの実務能力を身につける。 FSM内で、他コースとのハブになるようなコースになる。							

授業計画・内容	
1回目	MV撮影の流れを理解する
2回目	MV撮影のディレクション体験①
3回目	MV撮影のディレクション体験②
4回目	編集指示書の作り方
5回目	DaVinci Resolveの基本操作
6回目	カラーグレーディング基礎
7回目	レタッチ基礎（写真素材を使用）
8回目	実践ワーク：編集素材を活用①
9回目	実践ワーク：編集素材を活用②
10回目	郊外スタジオでの撮影準備
11回目	郊外スタジオ実習①（現地撮影）
12回目	郊外スタジオ実習②（現地撮影）
13回目	編集・仕上げ工程
14回目	完成作品の発表会
15回目	作品に対するフィードバック会
準備学習 時間外学 習	
評価方法	■出席率 50% ■【到達目標に対する達成度】 50%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 特になし	

科目名 (英)	マネジメント概論 V	選択 必修	選択必修	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	前期 金曜 3・4時限目
【授業の学習内容】 業界理解： ワークショップを通して、音楽業界の構造やビジネスモデルを理解し、マネージャーの役割を明確にする。 プロモーション企画、スケジュール管理、契約交渉、効果的なコミュニケーション、SNSやストーリーミングサービスを使用したプロモーションなどの実務能力を身につける。 FSM内で、他コースとのハブになるようなコースになる							
【到達目標】 【到達目標】 業界理解： ワークショップを通して、音楽業界の構造やビジネスモデルを理解し、マネージャーの役割を明確にする。 プロモーション企画、スケジュール管理、契約交渉、効果的なコミュニケーション、SNSやストーリーミングサービスを使用したプロモーションなどの実務能力を身につける。 FSM内で、他コースとのハブになるようなコースになる。							

授業計画・内容	
1回目	再生リスト戦略（サブスク配信設計）
2回目	ジャケット／アートワークの企画
3回目	チーム制作：配信リリース準備①
4回目	チーム制作：配信リリース準備②
5回目	リリースプロモーション計画①
6回目	リリースプロモーション計画②
7回目	SNS投稿カレンダーの作成
8回目	各種SNSに合わせたコンテンツ設計
9回目	インフルエンサーマーケティング基礎
10回目	タイアップ戦略（ブランド／企業）
11回目	PR資料作成（メディア向け）
12回目	プレスリリースの作成と送付方法
13回目	模擬配信リリース体験①
14回目	模擬配信リリース体験②
15回目	成果発表と振り返り
準備学習 時間外学 習	
評価方法	■出席率 50% ■【到達目標に対する達成度】 50%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 特になし	

科目名 (英)	マネジメント概論 VI	選択 必修	選択必修	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	後期 金曜 3・4時限目
【授業の学習内容】 業界理解： ワークショップを通して、音楽業界の構造やビジネスモデルを理解し、マネージャーの役割を明確にする。 プロモーション企画、スケジュール管理、契約交渉、効果的なコミュニケーション、SNSやストーリーミングサービスを使用したプロモーションなどの実務能力を身につける。 FSM内で、他コースとのハブになるようなコースになる							
【到達目標】 【到達目標】 業界理解： ワークショップを通して、音楽業界の構造やビジネスモデルを理解し、マネージャーの役割を明確にする。 プロモーション企画、スケジュール管理、契約交渉、効果的なコミュニケーション、SNSやストーリーミングサービスを使用したプロモーションなどの実務能力を身につける。 FSM内で、他コースとのハブになるようなコースになる。							

授業計画・内容	
1回目	学内ライブイベントの企画①
2回目	学内ライブイベントの企画②
3回目	機材リストの作成と進行計画
4回目	予算作成と交渉演習
5回目	スタッフ配置と役割分担
6回目	ゲネプロ・通し確認
7回目	本番当日マネジメント
8回目	振り返りミーティング
9回目	来場者アンケートの設計
10回目	マーケティング結果の分析
11回目	SNSでの報告・アーカイブ投稿
12回目	協力会社との関係構築演習
13回目	マネジメントポートフォリオ整理①
14回目	マネジメントポートフォリオ整理②
15回目	進路面談に向けた準備
準備学習 時間外学 習	
評価方法	■出席率 50% ■【到達目標に対する達成度】 50%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 特になし	

科目名 (英)	マネジメント概論 VII	選択 必修	選択必修	年次	4		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	前期 金曜 3・4時限目
【授業の学習内容】 業界理解： ワークショップを通して、音楽業界の構造やビジネスモデルを理解し、マネージャーの役割を明確にする。 プロモーション企画、スケジュール管理、契約交渉、効果的なコミュニケーション、SNSやストーリーミングサービスを使用したプロモーションなどの実務能力を身につける。 FSM内で、他コースとのハブになるようなコースになる							
【到達目標】 【到達目標】 業界理解： ワークショップを通して、音楽業界の構造やビジネスモデルを理解し、マネージャーの役割を明確にする。 プロモーション企画、スケジュール管理、契約交渉、効果的なコミュニケーション、SNSやストーリーミングサービスを使用したプロモーションなどの実務能力を身につける。 FSM内で、他コースとのハブになるようなコースになる。							

授業計画・内容	
1回目	AIと音楽マネジメントの未来予測
2回目	業界インタビュー素材の活用
3回目	現場視察の事前学習
4回目	現場視察レポート作成
5回目	マネジメント戦略の再確認
6回目	アーティスト支援の多様な形態
7回目	ストーリーテリング演習①
8回目	ストーリーテリング演習②
9回目	SNSキャラ設計ワーク
10回目	ペルソナ作成とターゲティング
11回目	ブランド価値の可視化ワーク
12回目	ポートフォリオプレゼン資料作成①
13回目	ポートフォリオプレゼン資料作成②
14回目	模擬プレゼン発表会
15回目	プレゼンフィードバック会
準備学習 時間外学 習	
評価方法	■出席率 50% ■【到達目標に対する達成度】 50%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 特になし	

科目名 (英)	マネジメント概論Ⅷ	選択 必修	選択必修	年次	4		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時限	後期 金曜 3・4時限目
【授業の学習内容】 業界理解： ワークショップを通して、音楽業界の構造やビジネスモデルを理解し、マネージャーの役割を明確にする。 プロモーション企画、スケジュール管理、契約交渉、効果的なコミュニケーション、SNSやストーリーミングサービスを使用したプロモーションなどの実務能力を身につける。 FSM内で、他コースとのハブになるようなコースになる							
【到達目標】 【到達目標】 業界理解： ワークショップを通して、音楽業界の構造やビジネスモデルを理解し、マネージャーの役割を明確にする。 プロモーション企画、スケジュール管理、契約交渉、効果的なコミュニケーション、SNSやストーリーミングサービスを使用したプロモーションなどの実務能力を身につける。 FSM内で、他コースとのハブになるようなコースになる。							

授業計画・内容	
1回目	就職対策講座（マネージャー職）
2回目	業界研究発表会①
3回目	業界研究発表会②
4回目	模擬面接演習①
5回目	模擬面接演習②
6回目	卒業制作企画立案①
7回目	卒業制作企画立案②
8回目	卒業制作中間報告会
9回目	卒業制作ブラッシュアップ期間
10回目	卒業制作完成①
11回目	卒業制作完成②
12回目	最終プレゼン準備
13回目	最終プレゼンテーション
14回目	講師フィードバック・総括
15回目	卒業式・証書授与・記念撮影
準備学習 時間外学 習	
評価方法	■出席率 50% ■【到達目標に対する達成度】 50%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 特になし	

科目名 (英)	プロダクション I Production I)	必修 選択	選択 必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 金曜1限
【到達目標】 業界理解：音楽業界の構造やビジネスモデルを理解し、マネージャーの役割を明確にする。 実務スキル：アーティストのスケジュール管理、プロモーション企画、契約交渉、PCスキルなどの実務能力を身につける。 コミュニケーション能力：アーティスト、スタッフ、メディアなど多方面との効果的なコミュニケーション手法を習得する。 問題解決力：現場で起こりうるトラブルや課題に対して、柔軟かつ迅速に対応できる力を養う。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーションと業界概要 内容：コースの目的と進め方、音楽業界の全体像、マネージャーの役割紹介。セクション分け（社長、新人発掘&SNS、映像制作、Web管理、ブックイング）
2回目	アーティストプロモーション計画① 内容：学内アーティストのプロモーション計画。年間スケジュール作成演習。ライブ鑑賞
3回目	アーティストプロモーション計画② 内容：プロモーション計画プレゼンテーション。可能であればアーティスト立ち合い
4回目	デジタルコンテンツ制作① 内容：SNS、Youtubeアカウント、Webサイトの制作
5回目	レコーディングと制作進行管理①/イベントブックイング① 内容：レコーディングの流れ、スタジオ手配、制作スケジュール管理
6回目	デジタルコンテンツ制作② 内容：SNS、Youtubeアカウント、Webサイトの制作
7回目	レコーディングと制作進行管理②コラボ手配//イベントブックイング② 内容：レコーディング実習
8回目	MV制作① 内容：アーティストのミュージックビデオの企画・プレゼン
9回目	ライブイベント企画① 内容：イベントの内容を企画。プレゼン
10回目	MV制作② 内容：ブックイングや絵コンテ作成
11回目	ライブイベント企画② 内容：イベント準備。ブックイング。プロモーション、情報共有などを行う。
12回目	MV制作③※黒須先生、石田先生コラボ 内容：ミュージックビデオ撮影
13回目	ライブイベント企画③※黒須先生コラボ 内容：ライブイベントを楽しむ
14回目	チーム内ミーティング&フィードバック
15回目	第1クール成果発表（中間レビュー）
準備学習 時間外学習	
評価方法	■出席率 30% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 40%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	プロダクションⅡ ProductionⅡ	必修 選択	選択 必修	年次	1		
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 金曜1限
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科						
【到達目標】 業界理解: 音楽業界の構造やビジネスモデルを理解し、マネージャーの役割を明確にする。 実務スキル: アーティストのスケジュール管理、プロモーション企画、契約交渉、PCスキルなどの実務能力を身につける。 コミュニケーション能力: アーティスト、スタッフ、メディアなど多方面との効果的なコミュニケーション手法を習得する。 問題解決力: 現場で起こりうるトラブルや課題に対して、柔軟かつ迅速に対応できる力を養う。							

授業計画・内容	
1回目	ライブイベント本番準備①（タイムテーブル作成）
2回目	MV編集①（Premiere Proで基礎編集）
3回目	ライブイベント本番準備②（リハーサル管理）
4回目	MV編集②（仕上げ・テロップ・公開準備）
5回目	ライブイベント実施&ふりかえり
6回目	宣材素材制作（アー写／プロフィール文作成）
7回目	アーティストブランディング演習①（分析と提案）
8回目	ブランディング演習②（ビジュアル設計とSNS連動）
9回目	契約や著作権の基礎知識講義（音楽業界法務）
10回目	メディア対応演習（模擬インタビュー）
11回目	PCスキル：Excel／スケジュール管理演習
12回目	メール&電話対応ロールプレイ（実践）
13回目	問題解決演習①（現場トラブル対応シナリオ）
14回目	問題解決演習②（チーム連携を活かした対応）
15回目	第2クール成果発表とフィードバック
準備学習 時間外学習	
評価方法	■出席率 30% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 40%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	プロダクション Ⅲ Production Ⅲ	必修 選択	選択 必修	年次	2		
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 金曜3限
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科						
【到達目標】 業界理解: 音楽業界の構造やビジネスモデルを理解し、マネージャーの役割を明確にする。 実務スキル: アーティストのスケジュール管理、プロモーション企画、契約交渉、PCスキルなどの実務能力を身につける。 コミュニケーション能力: アーティスト、スタッフ、メディアなど多方面との効果的なコミュニケーション手法を習得する。 問題解決力: 現場で起こりうるトラブルや課題に対して、柔軟かつ迅速に対応できる力を養う。							

授業計画・内容	
1回目	新アーティストプロジェクト立ち上げ
2回目	プロモーション計画策定とSNS戦略
3回目	ブックイング強化演習（対バン交渉ロールプレイ）
4回目	MV企画リニューアル／他校コラボ計画
5回目	制作実務：楽曲公開に向けたスケジュール管理
6回目	メールマガジンやWeb運営強化（情報設計）
7回目	撮影・音響など技術知識の基礎
8回目	物販・グッズ企画①（原価計算と利益設定）
9回目	物販・グッズ企画②（デザイン・発注・販売計画）
10回目	パフォーマンス演出（照明・SE演出演習）
11回目	SNS運用とインサイト分析実習
12回目	外部イベント参加
13回目	アーティストの「強み発見」ワークショップ
14回目	プロジェクトレビューとフィードバック
15回目	第3クール成果発表とフィードバック
準備学習 時間外学習	
評価方法	■出席率 30% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 40%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	プロダクション IV Production IV	必修 選択	選択 必修	年次	2		
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 金曜3限
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科						
【到達目標】 業界理解: 音楽業界の構造やビジネスモデルを理解し、マネージャーの役割を明確にする。 実務スキル: アーティストのスケジュール管理、プロモーション企画、契約交渉、PCスキルなどの実務能力を身につける。 コミュニケーション能力: アーティスト、スタッフ、メディアなど多方面との効果的なコミュニケーション手法を習得する。 問題解決力: 現場で起こりうるトラブルや課題に対して、柔軟かつ迅速に対応できる力を養う。							

授業計画・内容	
1回目	中規模ライブイベントの設計（ホール・ライブハウス）
2回目	イベント集客戦略設計（チケット管理含む）
3回目	関係者との打ち合わせ演習（想定企業連携）
4回目	本番までの段取り作成／リハーサル設計
5回目	外注・協力業者との調整演習
6回目	チーム内進捗ミーティングとリーダー育成
7回目	場内オペレーション／搬入搬出の流れ理解
8回目	音響・照明スタッフとの連携方法
9回目	クレーム対応シナリオ演習①（顧客対応）
10回目	クレーム対応シナリオ演習②（トラブル時の冷静判断）
11回目	ミニフェス型イベントの企画ワークショップ
12回目	SNSでの炎上対策&リスクマネジメント講義
13回目	機材管理・レンタル実務の基礎知識
14回目	第4クール実習イベント（校内開催）
15回目	フィードバックと総括プレゼン
準備学習 時間外学習	
評価方法	■出席率 30% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 40%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	プロダクションV Production V	必修 選択	選択 必修	年次	3		
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 金曜4限
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科						
【到達目標】 業界理解: 音楽業界の構造やビジネスモデルを理解し、マネージャーの役割を明確にする。 実務スキル: アーティストのスケジュール管理、プロモーション企画、契約交渉、PCスキルなどの実務能力を身につける。 コミュニケーション能力: アーティスト、スタッフ、メディアなど多方面との効果的なコミュニケーション手法を習得する。 問題解決力: 現場で起こりうるトラブルや課題に対して、柔軟かつ迅速に対応できる力を養う。							

授業計画・内容	
1回目	インターン準備①：現場で求められる基本行動
2回目	インターン準備②：実務マナーと報連相訓練
3回目	音楽制作現場の見学（または実地解説映像）
4回目	他学科（映像・Web・声優）との合同ミーティング
5回目	アーティスト×他学科連携企画①（企画立案）
6回目	アーティスト×他学科連携企画②（進行管理演習）
7回目	他校イベント・地域フェス分析ワーク
8回目	仮想インターン演習①（ライブ現場シミュレーション）
9回目	仮想インターン演習②（プロダクション現場想定）
10回目	上級SNSマーケティング演習（AI分析／ハッシュタグ設計）
11回目	スポンサー提案プレゼン演習
12回目	危機管理マニュアル作成ワークショップ
13回目	現場の「判断力」トレーニング（ケーススタディ）
14回目	成果物制作（ポートフォリオ／動画／企画書）
15回目	第5クール最終レビュー＆プレゼン発表
準備学習 時間外学習	
評価方法	■出席率 30% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 40%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	プロダクション VI	必修 選択	選択 必修	年次	3		
	Production VI	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 金曜4限
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科						
【到達目標】 業界理解: 音楽業界の構造やビジネスモデルを理解し、マネージャーの役割を明確にする。 実務スキル: アーティストのスケジュール管理、プロモーション企画、契約交渉、PCスキルなどの実務能力を身につける。 コミュニケーション能力: アーティスト、スタッフ、メディアなど多方面との効果的なコミュニケーション手法を習得する。 問題解決力: 現場で起こりうるトラブルや課題に対して、柔軟かつ迅速に対応できる力を養う。							

授業計画・内容	
1回目	新人アーティストチーム組み換え&方針転換
2回目	フルセットプロモーション計画立案（SNS/動画/グッズ）
3回目	制作費・予算管理の基礎（見積もりと実行計画）
4回目	協力者／出演者管理台帳の作成と共有
5回目	ステージ演出案の作成ワークショップ
6回目	地域・行政との連携を想定した企画案プレゼン
7回目	機材リスト作成／手配演習（音響・照明・映像）
8回目	アーティストの「売り出しポイント」再設計演習
9回目	ローカルメディア対応ロールプレイ
10回目	集客数シミュレーションとPDCA設計
11回目	SNSキャンペーン設計とKPI分析演習
12回目	他校イベントへの見学・ボランティア参加
13回目	他チームの中間レビューと相互フィードバック
14回目	成果物収集&成果資料作成（GoogleDrive等）
15回目	中間成果発表会（来客・講評あり）
準備学習 時間外学習	
評価方法	■出席率 30% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 40%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	プロダクション VII Production VII	必修 選択	選択 必修	年次	4		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 金曜5限
【到達目標】 業界理解: 音楽業界の構造やビジネスモデルを理解し、マネージャーの役割を明確にする。 実務スキル: アーティストのスケジュール管理、プロモーション企画、契約交渉、PCスキルなどの実務能力を身につける。 コミュニケーション能力: アーティスト、スタッフ、メディアなど多方面との効果的なコミュニケーション手法を習得する。 問題解決力: 現場で起こりうるトラブルや課題に対して、柔軟かつ迅速に対応できる力を養う。							

授業計画・内容	
1回目	フェス型イベントの設計①（複数ステージ想定）
2回目	フェス型イベントの設計②（タイムテーブル設計）
3回目	動員予測とプロモーション計画の調整
4回目	プレスリリース作成演習と配信計画
5回目	外部アーティスト招致プレゼン演習
6回目	実地交渉ワーク（企業、会場、印刷会社など）
7回目	イベント全体会議とタスク管理練習（ツール活用）
8回目	イベント本番に向けたチーム分担最終調整
9回目	モバイルオーダー／配信機材など先端技術講義
10回目	動画配信演出の演習（リアルタイム操作含む）
11回目	グッズ物販の本番準備・在庫管理シミュレーション
12回目	パフォーマンス当日の進行演習（全体進行）
13回目	フェス模擬本番リハーサル（通し確認）
14回目	模擬フェス実施（来場者参加型、他学科連携）
15回目	実施後の振り返り／反省会／成果発表
準備学習 時間外学習	
評価方法	■出席率 30% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 40%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	プロダクションⅧ ProductionⅧ)	必修 選択	選択 必修	年次	4		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 金曜5限
【到達目標】 業界理解: 音楽業界の構造やビジネスモデルを理解し、マネージャーの役割を明確にする。 実務スキル: アーティストのスケジュール管理、プロモーション企画、契約交渉、PCスキルなどの実務能力を身につける。 コミュニケーション能力: アーティスト、スタッフ、メディアなど多方面との効果的なコミュニケーション手法を習得する。 問題解決力: 現場で起こりうるトラブルや課題に対して、柔軟かつ迅速に対応できる力を養う。							

授業計画・内容	
1回目	卒業制作企画①（個人・チームで選択）
2回目	卒業制作企画②（調査・目的・KPI設計）
3回目	中間進捗発表＆フィードバック
4回目	制作資料整備（契約書／進行表／報告書）
5回目	プレゼン資料＆動画制作演習（プロ仕様）
6回目	模擬営業活動（作品持ち込み・企業訪問ロールプレイ）
7回目	卒業制作の実地テスト（実施 or 映像完成）
8回目	最終編集・調整・アーカイブ化
9回目	卒業発表リハーサル（校内チェック）
10回目	最終発表会（ゲスト・企業・講師参加）
11回目	振り返り＆ポートフォリオまとめ（作品＋資料）
12回目	今後の進路共有・面接想定演習
13回目	業界人ゲスト講話＆質疑応答（年度締め）
14回目	1年の成果まとめ／写真・映像収録
15回目	最終授業：授業修了セレモニーと卒業メッセージ
準備学習 時間外学習	
評価方法	■出席率 30% ■受講態度 30% ■【到達目標に対する達成度】 40%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ビジネス I Business Basic)	必修 選択	選択 必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜3限
【授業の学習内容】 2020年からのコロナ禍に直面し、社会全体が史上まれにみるパラダイムシフト（枠組みの大転換）に見舞われた。特に、エンターテインメントビジネスへの影響は計り知れない。本講座は、こうした時代背景をとらえ、社会を生き抜き、かつ、将来的にビジネスに関わっていく上で、知っておくべき基本的な知識や今日の話題、さらには、知っていることで発展性のあるテーマに関し学び、かつ、興味をもって接する態度・習慣を育成する。講義全体を通して、多様な講師のビジネスキャリアを反映した具体的な事例を多数取り上げることで、学んだことが実ビジネスへ容易に展開できる構成とする。 【講師プロフィール】 経営管理学修士（MBA） キッサニア広報・マーケティング部長、アートアクアリウム美術館総館長、他							
【到達目標】 講義で紹介される、社会やビジネス全般にわたる今日の話題を理解し、興味をもって接することができる。且つ、取り上げられたテーマに関して、自分なりの意見を持って、発言・記述できるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	授業ガイダンスとビジネスの基本を理解する
2回目	会社とは何かを理解する
3回目	経営の役割と目的を学ぶ
4回目	経営資源（人・物・金・情報）を理解する
5回目	事業運営の基本プロセスを学ぶ
6回目	個人事業と法人の違いを理解する
7回目	株式会社の仕組みを学ぶ
8回目	株式と資金調達の基本を理解する
9回目	所有と経営の分離を理解する
10回目	大企業と中小企業の違いを学ぶ
11回目	ベンチャー企業の特徴を理解する
12回目	企業の成長プロセスを学ぶ
13回目	会社倒産の仕組みを理解する
14回目	企業再生の基本を学ぶ
15回目	前期の振り返りを行う
準備学習 時間外学習	講義後資料を復習し、不明点を自ら調べる。または、次回講義で質問する習慣を身につける。
評価方法	筆記または実技による採点
受講生への メッセージ	全国をZoomで繋いで行うハイブリッドスタイルの授業です。これからの時代に必ず必要なスキルですので、積極的に発言しながら頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 使用教材は、講義ごとに教員が準備した資料を使用する。	

科目名 (英)	ビジネスⅡ Business Basic)	必修 選択	選択 必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜3限
【授業の学習内容】 2020年からのコロナ禍に直面し、社会全体が史上まれにみるパラダイムシフト（枠組みの大転換）に見舞われた。特に、エンターテインメントビジネスへの影響は計り知れない。本講座は、こうした時代背景をとらえ、社会を生き抜き、かつ、将来的にビジネスに関わっていく上で、知っておくべき基本的な知識や今日的な話題、さらには、知っていることで発展性のあるテーマに関し学び、かつ、興味をもって接する態度・習慣を育成する。講義全体を通して、多様な講師のビジネスキャリアを反映した具体的な事例を多数取り上げることで、学んだことが実ビジネスへ容易に展開できる構成とする。 【講師プロフィール】経営管理学修士（MBA） キッサニア広報・マーケティング部長、アートアクアリウム美術館総館長、他							
【到達目標】 講義で紹介される、社会やビジネス全般にわたる今日的話題を理解し、興味をもって接することができる。且つ、取り上げられたテーマに関して、自分なりの意見を持って、発言・記述できるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	ビジネスモデルの基本を学ぶ
2回目	収益構造の考え方を理解する
3回目	市場と顧客の関係を学ぶ
4回目	需要と供給の基本を理解する
5回目	価格の決め方を学ぶ
6回目	競争と差別化の考え方を学ぶ
7回目	マーケティングの基礎を理解する
8回目	ブランドの役割を学ぶ
9回目	ケーススタディを分析する
10回目	自分の意見をまとめる
11回目	発表とディスカッションを行う
12回目	課題の振り返りを行う
13回目	ビジネスへの関心を深める
14回目	年間の振り返りを行う
15回目	総括を行う
準備学習 時間外学 習	講義後資料を復習し、不明点を自ら調べる。または、次回講義で質問する習慣を身につける。
評価方法	筆記または実技による採点
受講生への メッセージ	全国をZoomで繋いで行うハイブリッドスタイルの授業です。これからの時代に必ず必要なスキルですので、積極的に発言しながら頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 使用教材は、講義ごとに教員が準備した資料を使用する。	

科目名 (英)	ビジネスⅢ Business Basic)	必修 選択	選択 必修	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜3限
【授業の学習内容】 2020年からのコロナ禍に直面し、社会全体が史上まれにみるパラダイムシフト（枠組みの大転換）に見舞われた。特に、エンターテインメントビジネスへの影響は計り知れない。本講座は、こうした時代背景をとらえ、社会を生き抜き、かつ、将来的にビジネスに関わっていく上で、知っておくべき基本的な知識や今日的な話題、さらには、知っていることで発展性のあるテーマに関し学び、かつ、興味をもって接する態度・習慣を育成する。講義全体を通して、多様な講師のビジネスキャリアを反映した具体的な事例を多数取り上げることで、学んだことが実ビジネスへ容易に展開できる構成とする。 【講師プロフィール】 経営管理学修士（MBA） キッサニア広報・マーケティング部長、アートアクアリウム美術館総館長、他							
【到達目標】 講義で紹介される、社会やビジネス全般にわたる今日的話題を理解し、興味をもって接することができる。且つ、取り上げられたテーマに関して、自分なりの意見を持って、発言・記述できるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	前年度の復習と応用内容の導入を行う
2回目	経営戦略の基本を理解する
3回目	SWOT分析を学ぶ
4回目	競争戦略を理解する
5回目	ポジショニングの考え方を学ぶ
6回目	事業計画の作り方を学ぶ
7回目	新規事業の考え方を理解する
8回目	イノベーションの概念を学ぶ
9回目	デジタル化とビジネスの変化を理解する
10回目	サブスクリプションモデルを学ぶ
11回目	プラットフォームビジネスを理解する
12回目	グローバルビジネスを学ぶ
13回目	組織マネジメントの基本を理解する
14回目	リーダーシップを学ぶ
15回目	チーム運営を実践する
準備学習 時間外学習	講義後資料を復習し、不明点を自ら調べる。または、次回講義で質問する習慣を身につける。
評価方法	筆記または実技による採点
受講生への メッセージ	全国をZoomで繋いで行うハイブリッドスタイルの授業です。これからの時代に必ず必要なスキルですので、積極的に発言しながら頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 使用教材は、講義ごとに教員が準備した資料を使用する。	

科目名 (英)	ビジネスⅣ	必修 選択	選択 必修	年次	2		
	Business Basic	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科					曜日・時限	月曜3限
【授業の学習内容】							
2020年からのコロナ禍に直面し、社会全体が史上まれにみるパラダイムシフト（枠組みの大転換）に見舞われた。特に、エンターテインメントビジネスへの影響は計り知れない。本講座は、こうした時代背景をとらえ、社会を生き抜き、かつ、将来的にビジネスに関わっていく上で、知っておくべき基本的な知識や今日的な話題、さらには、知っていることで発展性のあるテーマに関し学び、かつ、興味をもって接する態度・習慣を育成する。講義全体を通して、多様な講師のビジネスキャリアを反映した具体的な事例を多数取り上げることで、学んだことが実ビジネスへ容易に展開できる構成とする。							
【講師プロフィール】経営管理学修士（MBA） キッサニア広報・マーケティング部長、アートアクアリウム美術館総館長、他							
【到達目標】							
講義で紹介される、社会やビジネス全般にわたる今日的話題を理解し、興味をもって接することができる。且つ、取り上げられたテーマに関して、自分なりの意見を持って、発言・記述できるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	財務の基本を学ぶ
2回目	売上と利益の違いを理解する
3回目	コスト構造を理解する
4回目	投資と回収の考え方を学ぶ
5回目	リスクマネジメントを学ぶ
6回目	企業倫理とコンプライアンスを理解する
7回目	ケーススタディを分析する
8回目	グループで課題に取り組む
9回目	中間発表を行う
10回目	フィードバックを受ける
11回目	企画を改善する
12回目	最終発表を行う
13回目	講評を受ける
14回目	振り返りを行う
15回目	年間総括を行う
準備学習 時間外学習	講義後資料を復習し、不明点を自ら調べる。または、次回講義で質問する習慣を身につける。
評価方法	筆記または実技による採点
受講生への メッセージ	全国をZoomで繋いで行うハイブリッドスタイルの授業です。これからの時代に必ず必要なスキルですので、積極的に発言しながら頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 使用教材は、講義ごとに教員が準備した資料を使用する。	

科目名 (英)	ビジネスV Business Basic)	必修 選択	選択 必修	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜3限
【授業の学習内容】 2020年からのコロナ禍に直面し、社会全体が史上まれにみるパラダイムシフト（枠組みの大転換）に見舞われた。特に、エンターテインメントビジネスへの影響は計り知れない。本講座は、こうした時代背景をとらえ、社会を生き抜き、かつ、将来的にビジネスに関わっていく上で、知っておくべき基本的な知識や今日の話題、さらには、知っていることで発展性のあるテーマに関し学び、かつ、興味をもって接する態度・習慣を育成する。講義全体を通して、多様な講師のビジネスキャリアを反映した具体的な事例を多数取り上げることで、学んだことが実ビジネスへ容易に展開できる構成とする。 【講師プロフィール】 経営管理学修士（MBA） キッサニア広報・マーケティング部長、アートアクアリウム美術館総館長、他							
【到達目標】 講義で紹介される、社会やビジネス全般にわたる今日の話題を理解し、興味をもって接することができる。且つ、取り上げられたテーマに関して、自分なりの意見を持って、発言・記述できるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	授業ガイダンスとビジネスの基本を理解する
2回目	会社とは何かを理解する
3回目	経営の役割と目的を学ぶ
4回目	経営資源（人・物・金・情報）を理解する
5回目	事業運営の基本プロセスを学ぶ
6回目	個人事業と法人の違いを理解する
7回目	株式会社の仕組みを学ぶ
8回目	株式と資金調達の基本を理解する
9回目	所有と経営の分離を理解する
10回目	大企業と中小企業の違いを学ぶ
11回目	ベンチャー企業の特徴を理解する
12回目	企業の成長プロセスを学ぶ
13回目	会社倒産の仕組みを理解する
14回目	企業再生の基本を学ぶ
15回目	前期の振り返りを行う
準備学習 時間外学習	講義後資料を復習し、不明点を自ら調べる。または、次回講義で質問する習慣を身につける。
評価方法	筆記または実技による採点
受講生への メッセージ	全国をZoomで繋いで行うハイブリッドスタイルの授業です。これからの時代に必ず必要なスキルですので、積極的に発言しながら頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 使用教材は、講義ごとに教員が準備した資料を使用する。	

科目名 (英)	ビジネスVI Business Basic)	必修 選択	選択 必修	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜3限
【授業の学習内容】 2020年からのコロナ禍に直面し、社会全体が史上まれにみるパラダイムシフト（枠組みの大転換）に見舞われた。特に、エンターテインメントビジネスへの影響は計り知れない。本講座は、こうした時代背景をとらえ、社会を生き抜き、かつ、将来的にビジネスに関わっていく上で、知っておくべき基本的な知識や今日的な話題、さらには、知っていることで発展性のあるテーマに関し学び、かつ、興味をもって接する態度・習慣を育成する。講義全体を通して、多様な講師のビジネスキャリアを反映した具体的な事例を多数取り上げることで、学んだことが実ビジネスへ容易に展開できる構成とする。 【講師プロフィール】経営管理学修士（MBA） キッザニア広報・マーケティング部長、アートアクアリウム美術館総館長、他							
【到達目標】 講義で紹介される、社会やビジネス全般にわたる今日的話題を理解し、興味をもって接することができる。且つ、取り上げられたテーマに関して、自分なりの意見を持って、発言・記述できるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	ビジネスモデルの基本を学ぶ
2回目	収益構造の考え方を理解する
3回目	市場と顧客の関係を学ぶ
4回目	需要と供給の基本を理解する
5回目	価格の決め方を学ぶ
6回目	競争と差別化の考え方を学ぶ
7回目	マーケティングの基礎を理解する
8回目	ブランドの役割を学ぶ
9回目	ケーススタディを分析する
10回目	自分の意見をまとめる
11回目	発表とディスカッションを行う
12回目	課題の振り返りを行う
13回目	ビジネスへの関心を深める
14回目	年間の振り返りを行う
15回目	総括を行う
準備学習 時間外学 習	講義後資料を復習し、不明点を自ら調べる。または、次回講義で質問する習慣を身につける。
評価方法	筆記または実技による採点
受講生への メッセージ	全国をZoomで繋いで行うハイブリッドスタイルの授業です。これからの時代に必ず必要なスキルですので、積極的に発言しながら頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 使用教材は、講義ごとに教員が準備した資料を使用する。	

科目名 (英)	ビジネスⅦ Business Basic)	必修 選択	選択 必修	年次	4		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜3限
【授業の学習内容】 2020年からのコロナ禍に直面し、社会全体が史上まれにみるパラダイムシフト（枠組みの大転換）に見舞われた。特に、エンターテインメントビジネスへの影響は計り知れない。本講座は、こうした時代背景をとらえ、社会を生き抜き、かつ、将来的にビジネスに関わっていく上で、知っておくべき基本的な知識や今日的な話題、さらには、知っていることで発展性のあるテーマに関し学び、かつ、興味をもって接する態度・習慣を育成する。講義全体を通して、多様な講師のビジネスキャリアを反映した具体的な事例を多数取り上げることで、学んだことが実ビジネスへ容易に展開できる構成とする。 【講師プロフィール】 経営管理学修士（MBA） キッサニア広報・マーケティング部長、アートアクアリウム美術館総館長、他							
【到達目標】 講義で紹介される、社会やビジネス全般にわたる今日的話題を理解し、興味をもって接することができる。且つ、取り上げられたテーマに関して、自分なりの意見を持って、発言・記述できるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	前年度の復習と応用内容の導入を行う
2回目	経営戦略の基本を理解する
3回目	SWOT分析を学ぶ
4回目	競争戦略を理解する
5回目	ポジショニングの考え方を学ぶ
6回目	事業計画の作り方を学ぶ
7回目	新規事業の考え方を理解する
8回目	イノベーションの概念を学ぶ
9回目	デジタル化とビジネスの変化を理解する
10回目	サブスクリプションモデルを学ぶ
11回目	プラットフォームビジネスを理解する
12回目	グローバルビジネスを学ぶ
13回目	組織マネジメントの基本を理解する
14回目	リーダーシップを学ぶ
15回目	チーム運営を実践する
準備学習 時間外学習	講義後資料を復習し、不明点を自ら調べる。または、次回講義で質問する習慣を身につける。
評価方法	筆記または実技による採点
受講生への メッセージ	全国をZoomで繋いで行うハイブリッドスタイルの授業です。これからの時代に必ず必要なスキルですので、積極的に発言しながら頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 使用教材は、講義ごとに教員が準備した資料を使用する。	

科目名 (英)	ビジネスⅧ Business Basic)	必修 選択	選択 必修	年次	4		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜3限
【授業の学習内容】 2020年からのコロナ禍に直面し、社会全体が史上まれにみるパラダイムシフト（枠組みの大転換）に見舞われた。特に、エンターテインメントビジネスへの影響は計り知れない。本講座は、こうした時代背景をとらえ、社会を生き抜き、かつ、将来的にビジネスに関わっていく上で、知っておくべき基本的な知識や今日的な話題、さらには、知っていることで発展性のあるテーマに関し学び、かつ、興味をもって接する態度・習慣を育成する。講義全体を通して、多様な講師のビジネスキャリアを反映した具体的な事例を多数取り上げることで、学んだことが実ビジネスへ容易に展開できる構成とする。 【講師プロフィール】経営管理学修士（MBA） キッサニア広報・マーケティング部長、アートアクアリウム美術館総館長、他							
【到達目標】 講義で紹介される、社会やビジネス全般にわたる今日的話題を理解し、興味をもって接することができる。且つ、取り上げられたテーマに関して、自分なりの意見を持って、発言・記述できるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	財務の基本を学ぶ
2回目	売上と利益の違いを理解する
3回目	コスト構造を理解する
4回目	投資と回収の考え方を学ぶ
5回目	リスクマネジメントを学ぶ
6回目	企業倫理とコンプライアンスを理解する
7回目	ケーススタディを分析する
8回目	グループで課題に取り組む
9回目	中間発表を行う
10回目	フィードバックを受ける
11回目	企画を改善する
12回目	最終発表を行う
13回目	講評を受ける
14回目	振り返りを行う
15回目	年間総括を行う
準備学習 時間外学習	講義後資料を復習し、不明点を自ら調べる。または、次回講義で質問する習慣を身につける。
評価方法	筆記または実技による採点
受講生への メッセージ	全国をZoomで繋いで行うハイブリッドスタイルの授業です。これからの時代に必ず必要なスキルですので、積極的に発言しながら頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 使用教材は、講義ごとに教員が準備した資料を使用する。	

科目名 (英)	マーケティング I 音楽ビジネス・A&R実践)	必修 選択	選択 必修	年次	1		
学科・コース	スーパー・エンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時限	月1・2限目
【授業の学習内容】 本授業では、音楽業界において即戦力として活躍するために必要な基礎知識と実践力を養うことを目的とする。 アーティストを一つの“企業プロジェクト”として捉え、課題発見・戦略立案・プロモーション設計を行いながら、マーケティング思考を実践的に学ぶ。 また、SNS（特にTikTok）を活用した現代的なプロモーション手法を取り入れ、実際に投稿・分析を行うことで「売れる仕組み」を体感する。 さらに、業界で活躍するゲスト講師による特別講義や、卒業生との交流を通して、リアルな現場感覚とキャリア形成への理解を深める。 音楽業界への強い志を持ち、自ら考え行動できる人材の育成を目指す。 <講師プロフィール> 中央大学卒業後、マネジメント業務を経て、レコード会社である東芝EMI（現ユニバーサルミュージック）にて宣伝・制作を担当。 吉川晃司やDREAMS COME TRUEの宣伝プランナー、大黒摩季のチーフマネージャーとして活動。 また、NAONのYAONのキャスティングやメディアディレクション、andropのインディーズ期のプロモーションにも携わる。 近年ではTani Yuukiのプロモーションや新人アーティストの宣伝戦略を担当するなど、幅広く活躍している。							
【到達目標】 ・音楽業界の構造とA&R・プロモーションの役割を理解できる ・アーティストの課題を分析し、戦略的な施策を立案できる ・SNSを活用したプロモーションを実践できる ・チームでプロジェクトを推進する力を身につける ・業界で求められる思考力・行動力・継続力を養う ・就職活動に向けたキャリア意識を高める							

授業計画・内容	
1回目	授業概要と音楽マーケティングの基本を理解する
2回目	音楽業界の構造とビジネスモデルを学ぶ
3回目	A&Rとプロモーションの役割を理解する
4回目	アーティストを企業として捉える視点を学ぶ
5回目	成功事例から売れる仕組みを分析する
6回目	ターゲットとファンの違いを理解する
7回目	消費者心理の基礎を学ぶ
8回目	SNS時代の音楽マーケティングを理解する
9回目	TikTokの特徴と拡散構造を学ぶ
10回目	好きなアーティストの分析を行う
11回目	アーティストの強みを言語化する
12回目	講評を受ける
13回目	コンセプト設計の基礎を学ぶ
14回目	簡単なプロモーション案を考える
15回目	プレゼンテーションの基礎を学ぶ
準備学習 時間外 学習	・企画課題・提出物：40% ・SNS運用・実践成果：20% ・プレゼンテーション：20% ・授業態度・参加度：20%
評価方法	提出物の内容・提出期日・出席状況
受講生への メッセージ	日本音楽事業者協会、プロモーターズ連盟などの業界団体や Dwveiw、narrowなどのサイト、あるいは自分好きなタレントやエンタメシーン等から沢山学びましょう。 * ネットの評判は、話半分に！環境は自分で変えられる！！
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナル資料	

科目名 (英)	マーケティングⅡ 音楽ビジネス・A&R実践)	必修 選択	選択 必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	月1・2限目
【授業の学習内容】 本授業では、音楽業界において即戦力として活躍するために必要な基礎知識と実践力を養うことを目的とする。 アーティストを一つの“企業プロジェクト”として捉え、課題発見・戦略立案・プロモーション設計を行いながら、マーケティング思考を実践的に学ぶ。 また、SNS（特にTikTok）を活用した現代的なプロモーション手法を取り入れ、実際に投稿・分析を行うことで「売れる仕組み」を体感する。 さらに、業界で活躍するゲスト講師による特別講義や、卒業生との交流を通して、リアルな現場感覚とキャリア形成への理解を深める。 音楽業界への強い志を持ち、自ら考え行動できる人材の育成を目指す。 <講師プロフィール> 中央大学卒業後、マネジメント業務を経て、レコード会社である東芝EMI（現ユニバーサルミュージック）にて宣伝・制作を担当。 吉川晃司やDREAMS COME TRUEの宣伝プランナー、大黒摩季のチーフマネージャーとして活動。 また、NAONのYAONのキャスティングやメディアディレクション、andropのインディーズ期のプロモーションにも携わる。 近年ではTani Yuukiのプロモーションや新人アーティストの宣伝戦略を担当するなど、幅広く活躍している。 【到達目標】 ・音楽業界の構造とA&R・プロモーションの役割を理解できる ・アーティストの課題を分析し、戦略的な施策を立案できる ・SNSを活用したプロモーションを実践できる ・チームでプロジェクトを推進する力を身につける ・業界で求められる思考力・行動力・継続力を養う ・就職活動に向けたキャリア意識を高める							

授業計画・内容	
1回目	自己プロデュースを考える
2回目	自分の強みと価値を整理する
3回目	情報収集力の重要性を理解する
4回目	トレンド分析の方法を学ぶ
5回目	音楽チャートの見方を学ぶ
6回目	データから傾向を読み取る
7回目	簡単な企画立案を行う
8回目	グループワークで意見交換を行う
9回目	企画の言語化を行う
10回目	プレゼンテーションを実施する
11回目	フィードバックを受け改善する
12回目	講評を受ける
13回目	発想力を高めるトレーニングを行う
14回目	前期の振り返りを行う
15回目	年間総括を行う
準備学習 時間外 学習	・企画課題・提出物：40% ・SNS運用・実践成果：20% ・プレゼンテーション：20% ・授業態度・参加度：20%
評価方法	提出物の内容・提出期日・出席状況
受講生への メッセージ	日本音楽事業者協会、プロモーターズ連盟などの業界団体や Dwveiw、narrowなどのサイト、あるいは自分好きなタレントやエンタメシーン等から沢山学びましょう。 * ネットの評判は、話半分に！環境は自分で変えられる！！
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナル資料	

科目名 (英)	マーケティングⅢ 音楽ビジネス・A&R実践)	必修 選択	選択 必修	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時限	月1・2限目
【授業の学習内容】 本授業では、音楽業界において即戦力として活躍するために必要な基礎知識と実践力を養うことを目的とする。 アーティストを一つの“企業プロジェクト”として捉え、課題発見・戦略立案・プロモーション設計を行いながら、マーケティング思考を実践的に学ぶ。 また、SNS（特にTikTok）を活用した現代的なプロモーション手法を取り入れ、実際に投稿・分析を行うことで「売れる仕組み」を体感する。 さらに、業界で活躍するゲスト講師による特別講義や、卒業生との交流を通して、リアルな現場感覚とキャリア形成への理解を深める。 音楽業界への強い志を持ち、自ら考え行動できる人材の育成を目指す。 <講師プロフィール> 中央大学卒業後、マネジメント業務を経て、レコード会社である東芝EMI（現ユニバーサルミュージック）にて宣伝・制作を担当。 吉川晃司やDREAMS COME TRUEの宣伝プランナー、大黒摩季のチーフマネージャーとして活動。 また、NAONのYAONのキャスティングやメディアディレクション、andropのインディーズ期のプロモーションにも携わる。 近年ではTani Yuukiのプロモーションや新人アーティストの宣伝戦略を担当するなど、幅広く活躍している。 【到達目標】 ・音楽業界の構造とA&R・プロモーションの役割を理解できる ・アーティストの課題を分析し、戦略的な施策を立案できる ・SNSを活用したプロモーションを実践できる ・チームでプロジェクトを推進する力を身につける ・業界で求められる思考力・行動力・継続力を養う ・就職活動に向けたキャリア意識を高める							

授業計画・内容	
1回目	マーケティング戦略の基本を理解する
2回目	ターゲット設定とペルソナ設計を行う
3回目	ブランディングの考え方を学ぶ
4回目	アーティストの世界観設計を行う
5回目	SNS戦略の全体設計を学ぶ
6回目	TikTokコンテンツの企画を立てる
7回目	投稿フォーマットを理解する
8回目	実際にSNS投稿を行う
9回目	投稿結果の分析を行う
10回目	改善施策を考える
11回目	コンテンツのPDCAを回す
12回目	講評を受ける
13回目	ストーリー設計を行う
14回目	ファン導線を設計する
15回目	プロモーション全体設計を行う
準備学習 時間外 学習	・企画課題・提出物：40% ・SNS運用・実践成果：20% ・プレゼンテーション：20% ・授業態度・参加度：20%
評価方法	提出物の内容・提出期日・出席状況
受講生への メッセージ	日本音楽事業者協会、プロモーターズ連盟などの業界団体や Dwveiw、narrowなどのサイト、あるいは自分好きなタレントやエンタメシーン等から沢山学びましょう。 * ネットの評判は、話半分に！環境は自分で変えられる！！
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナル資料	

科目名 (英)	マーケティングⅣ 音楽ビジネス・A&R実践)	必修 選択	選択 必修	年次	2		
学科・コース	スーパーエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	月1・2限目
【授業の学習内容】 本授業では、音楽業界において即戦力として活躍するために必要な基礎知識と実践力を養うことを目的とする。 アーティストを一つの“企業プロジェクト”として捉え、課題発見・戦略立案・プロモーション設計を行いながら、マーケティング思考を実践的に学ぶ。 また、SNS（特にTikTok）を活用した現代的なプロモーション手法を取り入れ、実際に投稿・分析を行うことで「売れる仕組み」を体感する。 さらに、業界で活躍するゲスト講師による特別講義や、卒業生との交流を通して、リアルな現場感覚とキャリア形成への理解を深める。 音楽業界への強い志を持ち、自ら考え行動できる人材の育成を目指す。 <講師プロフィール> 中央大学卒業後、マネジメント業務を経て、レコード会社である東芝EMI（現ユニバーサルミュージック）にて宣伝・制作を担当。 吉川晃司やDREAMS COME TRUEの宣伝プランナー、大黒摩季のチーフマネージャーとして活動。 また、NAONのYAONのキャスティングやメディアディレクション、andropのインディーズ期のプロモーションにも携わる。 近年ではTani Yuukiのプロモーションや新人アーティストの宣伝戦略を担当するなど、幅広く活躍している。 【到達目標】 ・音楽業界の構造とA&R・プロモーションの役割を理解できる ・アーティストの課題を分析し、戦略的な施策を立案できる ・SNSを活用したプロモーションを実践できる ・チームでプロジェクトを推進する力を身につける ・業界で求められる思考力・行動力・継続力を養う ・就職活動に向けたキャリア意識を高める							

授業計画・内容	
1回目	チームで企画立案を行う
2回目	役割分担と進行管理を行う
3回目	中間プレゼンを実施する
4回目	フィードバックを受ける
5回目	企画を再構築する
6回目	実践プロジェクトを進行する
7回目	データ分析を行う
8回目	数値改善を行う
9回目	SNS運用を継続する
10回目	最終企画をまとめる
11回目	プレゼン資料を作成する
12回目	講評を受ける
13回目	講評を受ける
14回目	応用内容の振り返りを行う
15回目	年間総括を行う
準備学習 時間外 学習	・企画課題・提出物：40% ・SNS運用・実践成果：20% ・プレゼンテーション：20% ・授業態度・参加度：20%
評価方法	提出物の内容・提出期日・出席状況
受講生への メッセージ	日本音楽事業者協会、プロモーターズ連盟などの業界団体や Dwveiw、narrowなどのサイト、あるいは自分好きなタレントやエンタメシーン等から沢山学びましょう。 * ネットの評判は、話半分に！環境は自分で変えられる！！
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナル資料	

科目名 (英)	マーケティングⅤ 音楽ビジネス・A&R実践)	必修 選択	選択 必修	年次	3		
学科・コース	スーパーエンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時限	月1・2限目
【授業の学習内容】 本授業では、音楽業界において即戦力として活躍するために必要な基礎知識と実践力を養うことを目的とする。 アーティストを一つの“企業プロジェクト”として捉え、課題発見・戦略立案・プロモーション設計を行いながら、マーケティング思考を実践的に学ぶ。 また、SNS（特にTikTok）を活用した現代的なプロモーション手法を取り入れ、実際に投稿・分析を行うことで「売れる仕組み」を体感する。 さらに、業界で活躍するゲスト講師による特別講義や、卒業生との交流を通して、リアルな現場感覚とキャリア形成への理解を深める。 音楽業界への強い志を持ち、自ら考え行動できる人材の育成を目指す。 <講師プロフィール> 中央大学卒業後、マネジメント業務を経て、レコード会社である東芝EMI（現ユニバーサルミュージック）にて宣伝・制作を担当。 吉川晃司やDREAMS COME TRUEの宣伝プランナー、大黒摩季のチーフマネージャーとして活動。 また、NAONのYAONのキャスティングやメディアディレクション、andropのインディーズ期のプロモーションにも携わる。 近年ではTani Yuukiのプロモーションや新人アーティストの宣伝戦略を担当するなど、幅広く活躍している。							
【到達目標】 ・音楽業界の構造とA&R・プロモーションの役割を理解できる ・アーティストの課題を分析し、戦略的な施策を立案できる ・SNSを活用したプロモーションを実践できる ・チームでプロジェクトを推進する力を身につける ・業界で求められる思考力・行動力・継続力を養う ・就職活動に向けたキャリア意識を高める							

授業計画・内容	
1回目	A&Rの実務内容を理解する
2回目	アーティスト発掘の考え方を学ぶ
3回目	市場ニーズの分析を行う
4回目	アーティスト戦略を立案する
5回目	リリース戦略を設計する
6回目	MVや映像との連動を考える
7回目	SNSと楽曲の連動施策を考える
8回目	バズの再現性について考える
9回目	実在アーティストを想定して企画する
10回目	チームでプロジェクトを進行する
11回目	進行管理と課題解決を行う
12回目	講評を受ける
13回目	フィードバックを受け改善する
14回目	プロモーション施策を実行する
15回目	SNS運用を強化する
準備学習 時間外 学習	・企画課題・提出物：40% ・SNS運用・実践成果：20% ・プレゼンテーション：20% ・授業態度・参加度：20%
評価方法	提出物の内容・提出期日・出席状況
受講生への メッセージ	日本音楽事業者協会、プロモーターズ連盟などの業界団体や Dwveiw、narrowなどのサイト、あるいは自分好きなタレントやエンタメシーン等から沢山学びましょう。 ＊ネットの評判は、話半分に！環境は自分で変えられる！！！
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナル資料	

科目名 (英)	マーケティング VI 音楽ビジネス・A&R実践)	必修 選択	選択 必修	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	月1・2限目
【授業の学習内容】 本授業では、音楽業界において即戦力として活躍するために必要な基礎知識と実践力を養うことを目的とする。 アーティストを一つの“企業プロジェクト”として捉え、課題発見・戦略立案・プロモーション設計を行いながら、マーケティング思考を実践的に学ぶ。 また、SNS（特にTikTok）を活用した現代的なプロモーション手法を取り入れ、実際に投稿・分析を行うことで「売れる仕組み」を体感する。 さらに、業界で活躍するゲスト講師による特別講義や、卒業生との交流を通して、リアルな現場感覚とキャリア形成への理解を深める。 音楽業界への強い志を持ち、自ら考え行動できる人材の育成を目指す。 <講師プロフィール> 中央大学卒業後、マネジメント業務を経て、レコード会社である東芝EMI（現ユニバーサルミュージック）にて宣伝・制作を担当。 古川晃司やDREAMS COME TRUEの宣伝プランナー、大黒摩季のチーフマネージャーとして活動。 また、NAONのYAONのキャスティングやメディアディレクション、andropのインディーズ期のプロモーションにも携わる。 近年ではTani Yuukiのプロモーションや新人アーティストの宣伝戦略を担当するなど、幅広く活躍している。 【到達目標】 ・音楽業界の構造とA&R・プロモーションの役割を理解できる ・アーティストの課題を分析し、戦略的な施策を立案できる ・SNSを活用したプロモーションを実践できる ・チームでプロジェクトを推進する力を身につける ・業界で求められる思考力・行動力・継続力を養う ・就職活動に向けたキャリア意識を高める							

授業計画・内容	
1回目	数値分析と改善を行う
2回目	成果を最大化する施策を考える
3回目	プロジェクトをブラッシュアップする
4回目	最終企画をまとめる
5回目	プレゼン準備を行う
6回目	最終プレゼンを実施する
7回目	講評と評価を受ける
8回目	改善点を整理する
9回目	ポートフォリオ化を行う
10回目	業界研究を行う
11回目	キャリア設計を考える
12回目	講評を受ける
13回目	実務理解を深める
14回目	年間振り返りを行う
15回目	総括を行う
準備学習 時間外 学習	・企画課題・提出物：40% ・SNS運用・実践成果：20% ・プレゼンテーション：20% ・授業態度・参加度：20%
評価方法	提出物の内容・提出期日・出席状況
受講生への メッセージ	日本音楽事業者協会、プロモーターズ連盟などの業界団体や Dwveiw、narrowなどのサイト、あるいは自分好きなタレントやエンタメシーン等から沢山学びましょう。 * ネットの評判は、話半分に！環境は自分で変えられる！！
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナル資料	

科目名 (英)	マーケティング VII 音楽ビジネス・A&R実践)	必修 選択	選択 必修	年次	4		
学科・コース	スーパー・エンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時限	月1・2限目
【授業の学習内容】 本授業では、音楽業界において即戦力として活躍するために必要な基礎知識と実践力を養うことを目的とする。 アーティストを一つの“企業プロジェクト”として捉え、課題発見・戦略立案・プロモーション設計を行いながら、マーケティング思考を実践的に学ぶ。 また、SNS（特にTikTok）を活用した現代的なプロモーション手法を取り入れ、実際に投稿・分析を行うことで「売れる仕組み」を体感する。 さらに、業界で活躍するゲスト講師による特別講義や、卒業生との交流を通して、リアルな現場感覚とキャリア形成への理解を深める。 音楽業界への強い志を持ち、自ら考え行動できる人材の育成を目指す。 <講師プロフィール> 中央大学卒業後、マネジメント業務を経て、レコード会社である東芝EMI（現ユニバーサルミュージック）にて宣伝・制作を担当。 吉川晃司やDREAMS COME TRUEの宣伝プランナー、大黒摩季のチーフマネージャーとして活動。 また、NAONのYAONのキャスティングやメディアディレクション、andropのインディーズ期のプロモーションにも携わる。 近年ではTani Yuukiのプロモーションや新人アーティストの宣伝戦略を担当するなど、幅広く活躍している。 【到達目標】 ・音楽業界の構造とA&R・プロモーションの役割を理解できる ・アーティストの課題を分析し、戦略的な施策を立案できる ・SNSを活用したプロモーションを実践できる ・チームでプロジェクトを推進する力を身につける ・業界で求められる思考力・行動力・継続力を養う ・就職活動に向けたキャリア意識を高める							

授業計画・内容	
1回目	実務レベルのマーケティング思考を理解する
2回目	クライアント視点で課題を整理する
3回目	市場分析と競合分析を行う
4回目	戦略立案を行う
5回目	施策設計を行う
6回目	実行プランを作成する
7回目	プロジェクトを開始する
8回目	スケジュール管理を行う
9回目	チームマネジメントを行う
10回目	実行フェーズを進める
11回目	問題発生時の対応を行う
12回目	講評を受ける
13回目	成果分析を行う
14回目	改善施策を提案する
15回目	プロジェクトを完成させる
準備学習 時間外 学習	・企画課題・提出物：40% ・SNS運用・実践成果：20% ・プレゼンテーション：20% ・授業態度・参加度：20%
評価方法	提出物の内容・提出期日・出席状況
受講生への メッセージ	日本音楽事業者協会、プロモーターズ連盟などの業界団体や Dwveiw、narrowなどのサイト、あるいは自分好きなタレントやエンタメシーン等から沢山学びましょう。 * ネットの評判は、話半分に！環境は自分で変えられる！！
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナル資料	

科目名 (英)	マーケティングⅧ 音楽ビジネス・A&R実践)	必修 選択	選択 必修	年次	4		
学科・コース	スーパー・エンターテインメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	月1・2限目
【授業の学習内容】 本授業では、音楽業界において即戦力として活躍するために必要な基礎知識と実践力を養うことを目的とする。 アーティストを一つの“企業プロジェクト”として捉え、課題発見・戦略立案・プロモーション設計を行いながら、マーケティング思考を実践的に学ぶ。 また、SNS（特にTikTok）を活用した現代的なプロモーション手法を取り入れ、実際に投稿・分析を行うことで「売れる仕組み」を体感する。 さらに、業界で活躍するゲスト講師による特別講義や、卒業生との交流を通して、リアルな現場感覚とキャリア形成への理解を深める。 音楽業界への強い志を持ち、自ら考え行動できる人材の育成を目指す。 <講師プロフィール> 中央大学卒業後、マネジメント業務を経て、レコード会社である東芝EMI（現ユニバーサルミュージック）にて宣伝・制作を担当。 古川晃司やDREAMS COME TRUEの宣伝プランナー、大黒摩季のチーフマネージャーとして活動。 また、NAONのYAONのキャスティングやメディアディレクション、andropのインディーズ期のプロモーションにも携わる。 近年ではTani Yuukiのプロモーションや新人アーティストの宣伝戦略を担当するなど、幅広く活躍している。 【到達目標】 ・音楽業界の構造とA&R・プロモーションの役割を理解できる ・アーティストの課題を分析し、戦略的な施策を立案できる ・SNSを活用したプロモーションを実践できる ・チームでプロジェクトを推進する力を身につける ・業界で求められる思考力・行動力・継続力を養う ・就職活動に向けたキャリア意識を高める							

授業計画・内容	
1回目	プレゼン資料を作成する
2回目	クライアント向け提案を行う
3回目	フィードバックを反映する
4回目	最終ブラッシュアップを行う
5回目	デモリールを作成する
6回目	ポートフォリオを完成させる
7回目	自己ブランディングを行う
8回目	就職活動戦略を立てる
9回目	面接対策を行う
10回目	最終プレゼン準備を行う
11回目	卒業制作発表を行う
12回目	講評を受ける
13回目	4年間の振り返りを行う
14回目	今後のキャリアを整理する
15回目	社会人としての目標を設定する
準備学習 時間外 学習	・企画課題・提出物：40% ・SNS運用・実践成果：20% ・プレゼンテーション：20% ・授業態度・参加度：20%
評価方法	提出物の内容・提出期日・出席状況
受講生への メッセージ	日本音楽事業者協会、プロモーターズ連盟などの業界団体や Dwveiw、narrowなどのサイト、あるいは自分好きなタレントやエンタメシーン等から沢山学びましょう。 * ネットの評判は、話半分に！環境は自分で変えられる！！
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナル資料	

科目名 (英)	クリエイティブ映像Ⅰ	必修 選択	選択必修	年次	1		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	前期 火曜4・5
【授業の学習内容】							
映像表現手法の基本を学んだ後に企画、撮影、編集を行い自分の作品に活用することで応用力を磨く。							
【到達目標】							
様々なテーマに対して、映像制作することで、 目的に合った映像の作り方を身につけることができる							

授業計画・内容	
1回目	映像制作の基礎理解と使用ツールの概要を学ぶ
2回目	編集ソフトの基本操作と画面構成を理解する
3回目	カット編集とトリミングの基本を習得する
4回目	テロップとBGM挿入の基礎を学ぶ
5回目	映像の構図とカメラワークの基本を理解する
6回目	カメラ機材の使い方と撮影基礎を学ぶ
7回目	簡単な撮影課題を実施する
8回目	撮影素材の取り込みと整理方法を学ぶ
9回目	シンプルな編集課題を実施する
10回目	映像の流れとカット割りの考え方を理解する
11回目	モーショントラッキングの基本概念を学ぶ
12回目	トラッキングを使った簡単な情報表示を作る
13回目	トラッキングを活用した映像企画を作成する
14回目	トラッキング用の撮影を行う
15回目	トラッキング編集を行い作品を完成させる
準備学習 時間外学習	様々な映像作品を観察する。主に企画やフレーム、光の当たり方、演出方法など習ったことを中心に意思して映像作品を多く見る事が重要です。
評価方法	評価は 授業態度はもちろん 課題提出作品の完成度。主に企画書と絵コンテ、撮影技法と編集技法のをそれぞれの合計に加えて、 機材の扱い方等も加味されます。
受講生への メッセージ	皆さん、つくることを楽しんでいきましょう！

科目名 (英)	クリエイティブ映像Ⅱ	必修 選択	選択必修	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	後期 火曜4・5
【授業の学習内容】							
映像表現手法の基本を学んだ後に企画、撮影、編集を行い自分の作品に活用することで応用力を磨く。							
【到達目標】							
様々なテーマに対して、映像制作することで、 目的に合った映像の作り方を身につけることができる							

授業計画・内容	
1回目	3Dカメラトラッカーの基本を理解する
2回目	3D空間を意識した映像表現を学ぶ
3回目	3Dトラッキングの企画を作成する
4回目	奥行きを意識した撮影を行う
5回目	3Dトラッキング編集を行う
6回目	3Dトラッキング作品を完成させる
7回目	クロマキー合成の基本を理解する
8回目	合成に適した撮影方法を学ぶ
9回目	クロマキー映像の企画を作成する
10回目	クロマキー撮影を実施する
11回目	クロマキー編集を行う
12回目	合成映像作品を完成させる
13回目	基礎技術の振り返りと改善を行う
14回目	複合課題として短編映像を制作する
15回目	作品講評と総括を行う
準備学習 時間外学習	様々な映像作品を観察する。主に企画やフレーム、光の当たり方、演出方法など習ったことを中心に意思して映像作品を多く見る事が重要です。
評価方法	評価は 授業態度はもちろん 課題提出作品の完成度。主に企画書と絵コンテ、撮影技法と編集技法のをそれぞれの合計に加えて、 機材の扱い方等も加味されます。
受講生への メッセージ	皆さん、つくることを楽しんでいきましょう！

科目名 (英)	クリエイティブ映像Ⅲ	必修 選択	選択必修	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	前期 火曜4・5
【授業の学習内容】							
映像表現手法の基本を学んだ後に企画、撮影、編集を行い自分の作品に活用することで応用力を磨く。							
【到達目標】							
様々なテーマに対して、映像制作することで、 目的に合った映像の作り方を身につけることができる							

授業計画・内容	
1回目	映像表現の応用技術とAfter Effects操作を強化する
2回目	ロトブラシの基本操作を学ぶ
3回目	被写体切り抜きの精度を高める方法を理解する
4回目	ブラシアニメーションの基礎を学ぶ
5回目	ロトブラシを活用した企画を作成する
6回目	素材撮影を行う
7回目	ロトブラシ編集を実施する
8回目	ロトブラシ作品を完成させる
9回目	Mocha AEの平面トラッキングを理解する
10回目	画面差し替えの基本を学ぶ
11回目	Mocha AEを活用した企画を作成する
12回目	トラッキング用の撮影を行う
13回目	Mocha AE編集を実施する
14回目	Mocha AE作品を完成させる成させる
15回目	映像と音の関係性を理解する
準備学習 時間外学習	様々な映像作品を観察する。主に企画やフレーム、光の当たり方、演出方法など習ったことを中心に意思して映像作品を多く見る事が重要です。
評価方法	評価は 授業態度はもちろん 課題提出作品の完成度。主に企画書と絵コンテ、撮影技法と編集技法のをそれぞれの合計に加えて、 機材の扱い方等も加味されます。
受講生への メッセージ	皆さん、つくることを楽しんでいきましょう！

科目名 (英)	クリエイティブ映像Ⅳ	必修 選択	選択必修	年次	2		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	後期 火曜4・5
【授業の学習内容】							
映像表現手法の基本を学んだ後に企画、撮影、編集を行い自分の作品に活用することで応用力を磨く。							
【到達目標】							
様々なテーマに対して、映像制作することで、 目的に合った映像の作り方を身につけることができる							

授業計画・内容	
1回目	効果音とBGMの演出手法を学ぶ
2回目	音を意識した映像編集を行う
3回目	SNS動画の構成と特徴を理解する
4回目	縦動画と短尺動画の編集手法を学ぶ
5回目	SNS向け動画の企画を作成する
6回目	SNS動画の撮影を行う
7回目	SNS動画の編集を行う
8回目	SNS動画作品を完成させる
9回目	タイトルやモーショングラフィックスの応用を学ぶ
10回目	情報伝達を意識したデザインを作成する
11回目	モーショングラフィックスを使った映像制作を行う
12回目	応用作品を完成させる
13回目	作品のブラッシュアップを行う
14回目	ポートフォリオの作成を開始する
15回目	講評と振り返りを行う
準備学習 時間外学習	様々な映像作品を観察する。主に企画やフレーム、光の当たり方、演出方法など習ったことを中心に意思して映像作品を多く見る事が重要です。
評価方法	評価は 授業態度はもちろん 課題提出作品の完成度。主に企画書と絵コンテ、撮影技法と編集技法のをそれぞれの合計に加えて、 機材の扱い方等も加味されます。
受講生への メッセージ	皆さん、つくることを楽しんでいきましょう！

科目名 (英)	クリエイティブ映像Ⅴ	必修 選択	選択必修	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	前期 火曜4・5
【授業の学習内容】							
映像表現手法の基本を学んだ後に企画、撮影、編集を行い自分の作品に活用することで応用力を磨く。							
【到達目標】							
様々なテーマに対して、映像制作することで、 目的に合った映像の作り方を身につけることができる							

授業計画・内容	
1回目	実践的な映像制作フローと役割分担を理解する
2回目	チーム制作の進め方とコミュニケーションを学ぶ
3回目	ミュージックビデオの演出手法を理解する
4回目	MVの企画とコンテ作成を行う
5回目	MVの撮影準備を行う
6回目	MVの撮影を実施する
7回目	MVの編集を行う
8回目	MV作品を完成させる
9回目	ドキュメンタリー映像の構成を学ぶ
10回目	取材計画と企画を作成する
11回目	インタビュー撮影を行う
12回目	ドキュメンタリー編集を行う
13回目	ドキュメンタリー作品を完成させる
14回目	広告映像の目的設計を理解する
15回目	商品やサービスのPR企画を作成する
準備学習 時間外学習	様々な映像作品を観察する。主に企画やフレーム、光の当たり方、演出方法など習ったことを中心に意思して映像作品を多く見る事が重要です。
評価方法	評価は 授業態度はもちろん 課題提出作品の完成度。主に企画書と絵コンテ、撮影技法と編集技法のをそれぞれの合計に加えて、 機材の扱い方等も加味されます。
受講生への メッセージ	皆さん、つくることを楽しんでいきましょう！

科目名 (英)	クリエイティブ映像Ⅵ	必修 選択	選択必修	年次	3		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	前期 火曜4・5
【授業の学習内容】							
映像表現手法の基本を学んだ後に企画、撮影、編集を行い自分の作品に活用することで応用力を磨く。							
【到達目標】							
様々なテーマに対して、映像制作することで、 目的に合った映像の作り方を身につけることができる							

授業計画・内容	
1回目	広告映像の撮影を行う
2回目	広告映像の編集を行う
3回目	広告映像作品を完成させる
4回目	クライアントワークの流れを理解する
5回目	修正対応とフィードバックの考え方を学ぶ
6回目	企画提案資料の作成を行う
7回目	プレゼンテーションを実施する
8回目	映像の品質向上のための改善を行う
9回目	チーム作品のブラッシュアップを行う
10回目	複合プロジェクト制作を実施する
11回目	実践作品を完成させる
12回目	ポートフォリオの強化を行う
13回目	業界研究と進路設計を行う
14回目	作品講評とフィードバックを受ける
15回目	年間総括を行う
準備学習 時間外学習	様々な映像作品を観察する。主に企画やフレーム、光の当たり方、演出方法など習ったことを中心に意思して映像作品を多く見る事が重要です。
評価方法	評価は 授業態度はもちろん 課題提出作品の完成度。主に企画書と絵コンテ、撮影技法と編集技法のをそれぞれの合計に加えて、 機材の扱い方等も加味されます。
受講生への メッセージ	皆さん、つくることを楽しんでいきましょう！

科目名 (英)	クリエイティブ映像Ⅶ	必修 選択	選択必修	年次	4		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	前期 火曜4・5
【授業の学習内容】							
映像表現手法の基本を学んだ後に企画、撮影、編集を行い自分の作品に活用することで応用力を磨く。							
【到達目標】							
様々なテーマに対して、映像制作することで、 目的に合った映像の作り方を身につけることができる							

授業計画・内容	
1回目	卒業制作の方向性とテーマ設定を行う
2回目	コンセプト設計とターゲット設定を行う
3回目	シナリオと構成台本を作成する
4回目	絵コンテと演出設計を行う
5回目	撮影計画とスケジュールを作成する
6回目	ロケハンと技術テストを実施する
7回目	撮影準備と機材確認を行う
8回目	本撮影①を実施する
9回目	本撮影②を実施する
10回目	本撮影③を実施する
11回目	編集作業①ラフカットを行う
12回目	編集作業②構成調整を行う
13回目	編集作業③演出加工を行う
14回目	編集作業④モーショングラフィックスを追加する
15回目	編集作業⑤音響とカラー調整を行う
準備学習 時間外学習	様々な映像作品を観察する。主に企画やフレーム、光の当たり方、演出方法など習ったことを中心に意思して映像作品を多く見る事が重要です。
評価方法	評価は 授業態度はもちろん 課題提出作品の完成度。主に企画書と絵コンテ、撮影技法と編集技法のをそれぞれの合計に加えて、 機材の扱い方等も加味されます。
受講生への メッセージ	皆さん、つくることを楽しんでいきましょう！

科目名 (英)	クリエイティブ映像Ⅷ	必修 選択	選択必修	年次	4		
学科・コース	スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	前期 火曜4・5
【授業の学習内容】							
映像表現手法の基本を学んだ後に企画、撮影、編集を行い自分の作品に活用することで応用力を磨く。							
【到達目標】							
様々なテーマに対して、映像制作することで、 目的に合った映像の作り方を身につけることができる							

授業計画・内容	
1回目	仮完成版のレビューを行う
2回目	フィードバックを元に修正を行う
3回目	最終編集を行う
4回目	卒業制作作品を完成させる
5回目	上映用データを書き出す
6回目	プレゼン資料を作成する
7回目	ポートフォリオを完成させる
8回目	デモリールを制作する
9回目	プレゼン練習を行う
10回目	卒業制作発表を実施する
11回目	講評とフィードバックを受ける
12回目	作品の最終ブラッシュアップを行う
13回目	就職活動用資料を整理する
14回目	4年間の振り返りを行う
15回目	映像クリエイターとしての今後の目標を設定する
準備学習 時間外学習	様々な映像作品を観察する。主に企画やフレーム、光の当たり方、演出方法など習ったことを中心に意思して映像作品を多く見る事が重要です。
評価方法	評価は 授業態度はもちろん 課題提出作品の完成度。主に企画書と絵コンテ、撮影技法と編集技法のをそれぞれの合計に加えて、 機材の扱い方等も加味されます。
受講生への メッセージ	皆さん、つくることを楽しんでいきましょう！

科目名 (英)	特殊映像 I Video Direction I	必修 選択	選択必修	年次	3年		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分	通年
						曜日・時限	月曜 5・6限
【授業の学習内容】 学生にストーリーテリングの重要性を学び、映像ディレクションにおいて効果的なストーリーの構築と伝達能力を養います。 <講師プロフィール> CM編集、MV制作、VP映像編集を行っており、現在は広告代理店で勤務しながらディレクションからプロモーションも行う。							
【到達目標】 映像制作の基本的なプロセスと技術について理解し、映像ディレクションに必要なスキルを身につけます。							

授業計画・内容	
1回目	映像ディレクションの役割と責任
2回目	映像ディレクターのスキルと資質
3回目	ストーリーボードの作成とプランニング①
4回目	ストーリーボードの作成とプランニング②
5回目	キャスティングとリハーサルの準備①
6回目	キャスティングとリハーサルの準備②
7回目	カメラの使い方と撮影テクニック
8回目	アクターへの指導と演出の基本①
9回目	アクターへの指導と演出の基本②
10回目	編集ソフトウェアの使用と基本的な編集技術①
11回目	編集ソフトウェアの使用と基本的な編集技術②
12回目	サウンドデザインとモーショングラフィックスの導入①
13回目	サウンドデザインとモーショングラフィックスの導入②
14回目	We are FSM 卒業進級制作
15回目	We are FSM 卒業進級制作口
準備学習 時間外学 習	映像表現の可能性を広げるために、さまざまな種類の映像作品を観覧してください。
評価方法	■出席率：40% ■受講態度：30% ■【到達目標に対する達成度】：30%
受講生へ の メッセージ	映像ディレクションの基本的な原則と技術を習得し、クリエイティブな映像作品を制作する能力や映像制作プロセスの実践的な知識を身につけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	特殊映像Ⅱ Video DirectionⅡ	必修 選択	選択必修	年次	4年		
学科・コース	スーパーeエンターテインメント科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分 曜日・時限	通年 月曜 5・6限
【授業の学習内容】 学生にストーリーテリングの重要性を学び、映像ディレクションにおいて効果的なストーリーの構築と伝達能力を養います。 ＜講師プロフィール＞ CM編集、MV制作、VP映像編集を行っており、現在は広告代理店で勤務しながらディレクションからプロモーションも行う。 ＜講師プロフィール＞ CM編集、MV制作、VP映像編集を行っており、現在は広告代理店で勤務しながらディレクションからプロモーションも行う。 映像制作の基本的なプロセスと技術について理解し、映像ディレクションに必要なスキルを身につけます。							

授業計画・内容	
1回目	グループによる短編映像の制作とディレクション①
2回目	グループによる短編映像の制作とディレクション②
3回目	グループによる短編映像の制作とディレクション③
4回目	映像のストーリーテリングと演出の実践①
5回目	映像のストーリーテリングと演出の実践②
6回目	異なる映画理論のアプローチと映画ディレクションの関連性
7回目	有名な映画ディレクターの作品分析と批評
8回目	グループによる長編映画の制作とディレクション①
9回目	グループによる長編映画の制作とディレクション②
10回目	グループによる長編映画の制作とディレクション③
11回目	プロジェクト管理とチームワークの重要性
12回目	映画制作の全体プロセスの実践と発展
13回目	We are FSM 卒業進級制作 準備①
14回目	We are FSM 卒業進級制作 準備②
15回目	We are FSM 卒業進級制作 本番
準備学習 時間外学 習	映像表現の可能性を広げるために、さまざまな種類の映像作品を観覧してください。
評価方法	■出席率：40% ■受講態度：30% ■【到達目標に対する達成度】：30%
受講生へ の メッセージ	映像ディレクションの基本的な原則と技術を習得し、クリエイティブな映像作品を制作する能力や映像制作プロセスの実践的な知識を身につけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	